

平成 27 年度 建設産業担い手確保・育成コンソーシアム  
プログラム・教材等ワーキンググループ報告書

資料編

平成 27 年度 建設産業担い手確保・育成コンソーシアム  
プログラム・教材等ワーキンググループ報告書  
資料編

目 次

1. 建設産業担い手確保・育成コンソーシアム

- 建設産業活性化会議 中間とりまとめ
- 建設産業担い手確保・育成コンソーシアム関連資料
  - ・建設産業担い手確保・育成コンソーシアム構成員
  - ・建設産業担い手確保・育成コンソーシアム設置趣旨
  - ・アクションプログラム（第1版）
  - ・アクションプログラム（第2版）
  - ・講師養成のための教育訓練現場実習プログラムの試行実施について
  - ・平成 28 年度地域連携ネットワーク構築支援先

2. 高等学校卒業生等の進路、及び建設系職業訓練校の状況

- 建設業就業者等に関する統計（KKS）
- 高等学校等の状況について
- 職業訓練校の状況及びアンケート調査結果（概要）

3. 職業能力基準関連資料

- 職業能力評価基準リーフレット（中央職業能力開発協会）
- 大工技能者職業能力基準（木造技能者育成検討委員会）
  - ・大工技能者職業能力基準（案）技術・技能
  - ・大工技能者職業能力基準（案）職業意識
  - ・大工技能者職業能力評価シート
- 技能検定の概要
- 建設技能者の業種別団体・資格等・登録基幹技能者一覧

4. 建設関連職業訓練施設の訓練実施状況の検証

- 富士教育訓練センター
  - ・平成 27 年度訓練生募集案内
  - ・訓練コース実施状況（建築・土木）
  - ・建築躯体系訓練コース カリキュラム概要・カリキュラムシート（全6コース）
- 三田建設技能研修センター概要
  - ・平成 27 年度受講生募集案内
  - ・訓練・講習コース及びテキスト（建築・土木）
- 企業等の職業訓練校
  - ・金子架設工業株式会社
  - ・株式会社岩野商会
  - ・職業訓練法人広島建設アカデミー

## 5. プレ入職等に対する建設業団体・建設関連企業等の取組み

### ○建設業団体等による一般向けプログラム

- ・建設業団体等による一般向けプログラム（平成 23・24・26 年度）

### ○総合工事業団体による取組み（カリキュラム概要、カリキュラムシート）

### ○専門工事業団体による取組み（カリキュラム概要、カリキュラムシート）

### ○富士教育訓練センターでの実習プログラム（カリキュラム概要、カリキュラムシート）

### ○教員向けの施工体験実習（カリキュラム概要、カリキュラムシート）

## 6. 平成 27 年度 厚生労働省 建設労働者緊急育成支援事業の実施状況

### ○建設労働者緊急育成支援事業の概要

### ○建設労働者緊急育成支援事業

## 7. プレ入職を対象とした教材開発及び体験実習カリキュラム（試案）

### ○建設現場で働くための基礎知識（仮称）

### ○建築躯体系職種体験実習カリキュラム（試案）

- ・カリキュラム概要
- ・カリキュラムシート
- ・実習用モデル（案）



## 1. 建設産業担い手確保・育成コンソーシアム

○建設産業活性化会議 中間取りまとめ

○建設産業担い手確保・育成コンソーシアム関連資料

- ・建設産業担い手確保・育成コンソーシアム構成員
- ・建設産業担い手確保・育成コンソーシアム設置趣旨
- ・アクションプログラム（第1版）
- ・アクションプログラム（第2版）
- ・講師養成のための教育訓練現場実習プログラムの試行実施について
- ・平成28年度地域連携ネットワーク構築支援先

**課題**

- 建設投資の急激な減少により、ダンピング受注や下請企業へのしわ寄せ等が横行し、離職者の増加、若手入職者の減少といった構造的な問題が発生。
- 現下の大型建築工事等の入札不調・不落を含め、公共事業の円滑な施工確保のため、市場の実態を反映した最新の予定価格での発注や人材の効率的な活用等の対策を実施。
- 今後の復興事業やオリンピック・パラリンピック東京大会による当面の一時的な需要増に対し高齢者の踏み止まりや離職者の再入職等を図りつつ、**2020年以降も見据え、今後懸念される中長期的な担い手不足に対し、官民一体となって、総合的な人材確保・育成策を講じることが必要。**

**基本的考え方**

- 建設産業の担い手確保・育成を図るため、①技能者の処遇改善、②若手の早期活躍の推進、③将来を見通すことのできる環境整備、④教育訓練の充実強化、⑤女性の更なる活躍の推進に取り組む。
- また、労働力人口が減少する中、生産性の向上が不可欠であり、⑥建設生産システムの省力化・効率化・高度化に発注者・元請・下請が一体となって取り組む。
- 建設生産システムの省力化・効率化・高度化により、より円滑に資金が元請から専門工事業者、現場の職人まで行き渡る環境整備、計画的な工期・工程等による週休2日制の実現につなげる。併せて、民間設備投資を含め建設投資が円滑に実施される環境整備につなげる。

【中長期的視点に立った総合的な人材確保・育成対策の推進】

**高齢者の踏み止まり、離職者の再入職、中核的な技能者の確保・育成**

- 技能者の賃金カーブは全産業に比べて低い。ある上、45～49歳がピークで、その後は減少傾向。

**若者等の入職と就業継続**

【若者が建設業に就職・定着しない主な理由】

【収入・福利面】

- 収入の低さ【57.7%】
- 社会保険等福利の未整備【18.7%】

【休日確保や労働環境】

- 仕事のきつさ【44.3%】
- 休日の少なさ【37.8%】
- 作業環境の厳しさ【36.3%】

【働くことの誇りや希望、将来への不安】

- 職業イメージの悪さ【28.9%】
- 仕事量の減少への不安【12.2%】

※平成19年3月種別普通「建設技能労働力の確保に関する調査報告書」から入職しない理由のアンケート結果より引用。

●24歳以下の入職者数の推移  
H9年 24万人 → H24年 8.3万人  
※厚生労働省「雇用動向調査」より

●建設業就業者に占める55歳以上の割合  
建設業 34.3% (全産業 28.7%)

●建設業就業者に占める29歳以下の割合  
建設業 10.2% (全産業 16.6%)

●建設業で活躍する女性技能労働者数  
9万人 (全技能者数の約2.7%) (H24年)  
※総務省「労働力調査」より

**推進体制**

- 建設業界、教育訓練施設、教育機関、関係行政機関等が一体となった「次世代の担い手確保・育成のための推進会議」(仮称)を設置。
- 地域の人材確保に関する協議会や建設業団体等において、建設業界、教育機関等の連携強化
- 官民含めた発注者との連携強化

**1. 技能者の処遇改善の徹底**

- 建設産業の労働条件は、賃金、社会保険加入等において他産業と比べて立ち遅れ。若年層にとっては、賃金だけでなく、休日確保等も重要。
- 中堅を担う技能者をはじめ熟練した技術やマネジメントに見合う処遇が必要

【対策の方向性】

- (1)適切な賃金水準の確保
  - ・設計労務単価の適切な設定
  - ・中核となる技能労働者のマネジメント能力の反映等
- (2)社会保険等未加入対策の強化
- (3)週休2日制の実現
- (4)ダンピング対策の強化

【※重層下請構造の改善等を通じ、より円滑に賃金が現場の技能者に行き渡る環境を整備】

【※適正な工期・工程等により、計画的な休日確保や作業時間の短縮】

**2. 誇り(若手の早期活躍の推進)**

- 若者達が建設業で働くことに誇りや希望をもてるようにすることが必要。
- このため、優秀な若手技術者等の早期の活躍や、技能者が入職から中核的な技能に至るキャリアパスを構築することが重要。

【対策の方向性】

- ・優秀な若手技術者等が早期に活躍できる環境整備
- ・若手から中核的な技能者へのキャリアアップ等

**3. 将来性(将来を見通すことのできる環境整備)**

- 仕事量の減少への不安が払拭され、雇い側、働かぬ双方が将来を見通しを持てる必要がある

【対策の方向性】

- ・中長期的な事業の見通しの確保
- ・公共事業予算の安定的・持続的な確保等

**4. 教育訓練の充実強化等**

- 償上を超えた教育訓練のシステムを構築することが必要

【対策の方向性】

- ・富士教育訓練センターの機能の充実強化(ハード/ソフト)
- ・地域のネットワークで人材育成を支える仕組みの構築

**5. 女性の更なる活躍の推進**

- 女性の担い手確保を国内人材育成・確保の柱の一つに位置づける。

【対策の方向性】

- ・5年以内に女性技術者・技能者を倍増
- ・官民挙げた行動計画を夏頃までに策定

**6. 建設生産システムの省力化・効率化・高度化**

発注者・元請・下請等、関係者のパートナーシップのもとで、建設生産のムリ・ムダ・ムラの排除、現場の施工力の再生により、建設生産システム全体の生産性向上や高付加価値化、関係者の適正な利潤の確保を図る

**① 現場の省力化・効率化**

- 将来の労働力人口の減少を見据え、更なる効率化による生産性の向上が不可欠
- 現場の省力化や適正な工期・工程の確保等により、生産性の向上とともに、作業時間の短縮、休日確保等、現場の労働条件を改善

【対策の方向性】

- (1)新技術・新工法の開発、現場での活用促進
- (2)発注見通しの統合、施工時期の平準化、適正工期の設定
- (3)受発注者間、元下間のコミュニケーションの円滑化等
- (4)技術者・技能者の効率的活用

**② 重層下請構造の改善**

- 建設業の産業特性上、一定の下請構造は不可避であるものの、行き過ぎた重層化により間接経費が増加し、生産性の低下や労務費へのしわ寄せが発生
- 元請下請契約の片務性により下請業者が不利な地位に置かれる等の課題も指摘
- 技能者を大切に施工力に優れた専門工事業者が安定して受注できる環境を整備

【対策の方向性】

- (1)行き過ぎた重層化の回避
- (2)技能者の雇用形態の明確化(常時雇用・月給制・週休2日)
- (3)適正な元請下請関係の促進

○行政は、検討を要する施策は速やかに検討の場を設けて議論を開始。  
○事業者団体等関係機関は、具体的な行動計画、推進要綱等を策定。本会議で取組状況を把握。  
○今後、施策の実施主体や実施スケジュールを整理し、工程表を作成。  
○現場の取組を踏まえ、関係者による新たな提案や施策の策定を不断に実施⇒今日から行動開始

【官民一体となって取り組むべき具体的施策】

**1. 技能者の処遇改善の徹底**

**(1) 適切な賃金水準の確保等**

- 実態を反映した適切な公共工事設計労務単価の設定
- 昨年10月に実施している公共事業労務費調査に加え、本年7月にも公共事業労務費フォローアップ調査を実施し、機動的に対応
- 各建設業団体等による適切な賃金水準確保の取組を徹底・強化
- 賃金の動向を把握するため、とび工、鉄筋工、型枠工の3職種について、新たにモニター調査を実施
- 中核となる技能者の技能やマネジメント能力等の熟練度を適切に賃金に反映
  - ・登録基幹技能者に対する評価・活用や元請企業による手当支給の取組を推進
  - ・技能者のマネジメント能力の評価と処遇のあり方を検討
- 高齢者が就労しやすい環境整備
- 現場の安全管理の徹底

**(2) 社会保険等未加入対策の更なる強化**

- 直轄工事で元請、一定の一次下請を加入業者に限定する措置を実施。他の公共工事発注者に対して同様の取組を検討するよう要請。事業者団体の取組等を通じて民間発注工事も取組を拡大
- 法定福利費を内訳明示した見積り見積書の活用等の更なる推進(活用状況の調査、下請指方向イテラティブの改訂等)
- 下請の選定時に、元請による加入状況の確認・指導を徹底
- 労働者性と事業者性の判断基準に関する更なる周知徹底
- 民間工事を含め、社会保険等への加入状況を的確に把握
- ITを活用した施工・就労管理システムの有効活用を図り、企業レベル、作業員レベル双方での加入促進方を強化

**(3) 週休2日制の実現**

- 発注者・元請・下請一体となって、週休2日制の実現を目指し、4週8休の体制取得を考慮した適正工期の設定と請負代金の発注・契約締結の促進。また、現場の工期管理の徹底等による土曜閉所の変更。(やむを得ない事情で工期を延長する場合の適切な設計変更やコスト負担)
- 短工期受注の改善等、業界一体となった取組を促進

**(4) ダンピング対策の強化**

- 改正品確法、改正入契法に基づき、地方公共団体によるダンピング対策を強化
- 全ての地方公共団体で、最低制限価格、低入札価格調査制度を導入・活用。未導入の団体に対して個別に要請
- 歩切りの根拠(必要に応じて個別発注者名を公表)
- 適正な価格による契約の徹底に向け年内目途に「運用指針」策定

**2. 誇り(若手の早期活躍の推進)**

**(1) 優秀な若手技術者等が早期に活躍できる環境整備**

- 優秀な技術者の確保・育成等の検討(検討委員会を7月中目途に設置)
  - ・優秀な若手に技術検定の受験資格を早期にも付与
  - ・工業高校と連携し若手が受験しやすい環境づくり(会場に工業高校を活用)
  - ・若手技術者が活躍できる技術者配置要件の見直し
- 若手の確保・育成に関し、入札契約手続での評価への反映
  - ・直轄工事で、若手技術者の配置を条件とするモデル工事の実施
  - ・直轄工事で、過去の実績を問わないモデル工事の実施
  - ・若手技術者の実績を適切に評価するための工事実績等のデータベースの活用(実績データの登録の徹底、国以外の機関のデータの共有化)
  - ・経営事項審査の評価に若手技術者・技能労働者の育成・確保状況を導入

**(2) 若手から中核的な技能者へのキャリアアップ**

- 若年技術者を対象とする新たな奨励制度を創設
- 技能労働者のキャリアパスの提示(入職後の経験年数に応じた職位、責任、技能、基幹技能者等へのルート、その後の多様なキャリアの可能性の提示)
- 登録基幹技能者に対する評価・活用や元請企業による手当支給の取組を推進(再掲)

**(3) 建設産業への理解や関心の向上**

- 若者等の入職意欲に資する広報活動を積極的・広域的に推進
  - ・建設業団体や地域の特色を活かした広報活動の展開
  - ・既存の社会資本や建設現場、入職者向けメディア等様々な媒体を活用した広報活動や録光と一体となった現場見学ツアー(インフラツーリズム)の展開
  - ・建設業団体と教育現場(小・中・高・大学等)とのコラボレーションの推進
  - 建設産業戦略的広報推進協議会等によるモデル的な広報事業の展開

**3. 将来性(将来を見通すことのできる環境整備)**

**(1) 中長期的な事業の見通しの確保**

- 防災対策や老朽化対策等の事業の中長期的な見通しの確保
- 公共事業予算の安定的・持続的な確保
- 改正品確法に基づき適正な利潤が確保できる予定価格の適正な設定

**(2) 「地域の守り手」が維持・確保される入札契約**

- 品確法改正も踏まえ、以下を確保・拡充。
  - ・若手技術者・技能労働者や建設機材の保有状況等、地域を支える建設企業の多面的な事業の適切な評価
  - ・複数事業契約、複数工種の包括発注、共同受注方式等の適用拡大
  - 多様な入札契約方式の導入・活用について「運用指針」策定(再掲)

**(3) 民間の活かさやノウハウの導入・活用**

- 夏頃までに官民挙げた行動計画を策定
  - ・直轄工事で、女性技術者の配置を条件とするモデル工事を実施
  - 女性技能者のための研修の充実
  - 事業促進PPPの活用推進による事業監理の効率化
  - インフラの点検・診断、調査・設計等の資格制度の確立や新技術の活用等
  - 調査・設計の品質確保に向けた監設コンサルタント等の制度のあり方について検討
  - PPP/PFI、指定管理者制度、コンセッションの利用促進
  - 工品買付保証のための制度のあり方について検討

**6. 建設生産システムの省力化・効率化・高度化**

**① 現場の省力化・効率化**

**(1) 新技術・新工法の開発、現場での活用促進**

- 情報化施工、BIM、CIM、情報共有システム等の活用推進
- フレキシブル製造の活用拡大
- ITを活用した施工・就労管理システム(施工体制台帳、作業員名簿等の電子情報化)の活用による現場管理の効率化
- 調査・設計等施工に係る情報のデータベースによる発注者間の共有化

**(2) 発注見通し統合、施工時期の平準化、適正工期の設定**

- 地域の実情等に配慮した発注見通しを公表・公表
- 公共発注の一層の平準化(債務負担行為の有効活用、施工時期の平準化、工期に見合った価格の検討)
- 適正な工期設定及び適切な仕組
- 適正な工期設定を支えるための検討(必要な場合には適切な設計変更及びこれに伴い必要な請負代金や工期の変更)
- 施工段階における工程表やクリティカルパスの受発注者間の共有化
- 民間工事で適正工期確保、工事量の平準化(適正工期の検討など民間発注者との連携強化)
- 工期受注の改善等、業界一体となった取組を促進(再掲)

**(3) 受発注者間、元下間のコミュニケーションの円滑化等**

- 元請と専門工事業者が工程を適切に管理する手法の普及(円滑な施工のために事前準備作業を明確化し関係者と共有化する工程管理手法等)
- 元請と専門工事業者が対等な立場に立ち対話を行う場の整備・拡大・活用
- ITを活用した現場管理によるVE等、生産性向上のシステムの導入・活用についての検討
- 設計・施工における受発注者間の円滑なコミュニケーションの確保(三者会合(専門工事業者も適宜参加)、発注者のワンデーレスポンス、設計変更会合(円滑な活用))
- スキルやマンパワーが不足している発注者に対する支援

**(4) 技術者・技能者の効率的な活用**

- 技術者の効率的な配置の検討(検討委員会を7月中目途に設置)(再掲)
- 多能工の育成・活用・適切な処遇の確保
- 技能労働者の、時的な送出入を可能とする建設業務労働者就業機会確保事業の活用促進等

**② 重層下請構造の改善**

**(1) 行き過ぎた重層化の回避**

- 工程等による枚数目標設定
- 不要な次数の削減のための仕組みについて検討(下請次数の実態調査を実施。標準次数の設定や制度・対策を検討)
- いづれの中抜きをほしめ、施工上必要なしわい業者の介入の抑制

**(2) 技能者の雇用形態の明確化**

- 常時雇用・月給・週休2日制を原則とする雇用形態の普及と専門工事業者の受注量の安定化・平準化
- 元請と専門工事業者の連携の仕組みづくり
- 技能労働者を大切に施工力のある専門工事業者の適正な評価
- 労働者性と事業者性の判断基準に関する更なる周知徹底(再掲)

**(3) その他(適正な元請下請関係の促進)**

- 建設業法令遵守ガイドラインの運用協議会
  - ・特に「追加変更工事の対価等の処理方法の事前取り決め
  - ・施工条件・範囲リストの明示化と普及の徹底
  - ・中間前払金制度、出来高部分払い制度の活用促進等による下請への早期支払の確保
  - 実態に合わせた一般管理費等の適正な算定方法の検討

## 建設産業担い手確保・育成コンソーシアム構成員

(平成 26 年 10 月現在)

一般社団法人 日本建設業連合会  
一般社団法人 全国建設業協会  
一般社団法人 全国中小建設業協会  
全国建設業協同組合連合会  
一般社団法人 全国建設産業団体連合会  
一般社団法人 建設産業専門団体連合会

公益社団法人 全国工業高等学校長協会  
全国専門学校土木教育研究会  
全国専門学校建築教育連絡協議会

職業訓練法人 全国建設産業教育訓練協会 富士教育訓練センター  
職業訓練法人 近畿建設技能研修協会 三田建設技能研修センター

厚生労働省  
国土交通省

一般財団法人 建設業振興基金

(順不同)

## 建設産業担い手確保・育成コンソーシアムの設置について

### 1. 設置趣旨

建設産業界の喫緊の課題となっている若者・担い手の確保・育成について、本財団において、「建設産業の人材確保・育成方針（平成 25 年 12 月）」をとりまとめ、担い手確保・育成に取り組む基本的姿勢を示すとともに、連携強化による効果的な教育訓練体系の構築について提言をしたところである。

また、国土交通省建設産業活性化会議の「中間とりまとめ（平成 26 年 6 月）」においても、個社を超え地域のネットワークで担い手育成を支える仕組みの構築が提言されたところである。

これらを踏まえ、総合工事業団体、専門工事業団体、行政機関、職業訓練校、教育機関等の関係者が、建設産業の担い手確保・育成に一体となって行動する体制をつくるため、関係者からなる「建設産業担い手確保・育成コンソーシアム」（以下「コンソーシアム」という。）を設置することとする。

### 2. 構成員

コンソーシアムは、建設産業の担い手確保・育成について、実績、知見、能力を有し、今後の担い手確保・育成を推進していく意志を有する者により構成（事務局：（一財）建設業振興基金内に設置）。

また、コンソーシアムには、運営についての意思決定を行うための機関として、コンソーシアム構成員からなる企画運営会議及び企画運営会議幹事会を設置することとする。

### 3. 事業内容

コンソーシアムは、教育訓練の実践的な役割を担う富士教育訓練センターと連携を図り、充実した教育訓練の実践、教育訓練をはじめとした担い手確保・育成に資する提案、担い手確保・育成に係る広報等、中核的な役割を果たすための事業を実施していくこととする。

事業の実施に当たっては、アクションプログラムを策定し、「担い手育成基盤整備基金（ソフト事業分）」を活用して、平成 26 年度から 5 カ年を目途に事業を推進していく。



# 建設産業担い手確保・育成アクションプログラム（第1版）

－ 若者を建設産業に取り戻すために －

平成26年10月29日

建設産業担い手確保・育成コンソーシアム

## I. 目的

本コンソーシアムは、建設産業の担い手確保・育成について、実績、知見、能力を有し、今後の担い手確保・育成を推進していく意志を有する者により構成し、建設産業団体、関係行政機関、職業訓練校、教育機関等の関係機関が一体となって、建設産業における担い手確保・育成に取り組んでいくための体制を整備し、若年者の入職促進、育成のための事業を具体化し、実行することを目的として設立するものである。

## II. アクションプログラムの枠組み

本コンソーシアムは、「担い手育成基盤整備基金（ソフト事業分）」を活用し、設立から概ね5年間を目途に活動することとし、アクションプログラム（第1版）においては、担い手不足が特に懸念される野丁場系の技能者に当面の重点を置き、本コンソーシアム及び富士教育訓練センターが中核的機能を担いつつ、全国的な教育訓練体系を構築することを目指すこととする。

このため、平成26年度下半期～平成27年度にかけて、以下の事業を順次、実施することとし、必要に応じて所要の追加・修正を行うとともに、更なる事業展開について検討を進めることとする。

## III. 事業内容

### 1. 地域連携ネットワーク等担い手確保・育成のためのネットワーク構築

個社を超えて、地域の関係者が一体となって教育訓練体系を構築することを目指し、地域連携ネットワーク等の形成に有益な情報を調査・取りまとめ・提供するとともに、地域連携ネットワーク等担い手確保・育成のためのネットワークによる先進的な取組を支援する。

- 地域における連携ネットワークの構築を促進するため、他地域のモデルとなり得る協会等の取り組み事例の調査・分析を行い、他の地域でのネットワーク形成のための参考となるよう資料を取りまとめ提供する。
- 総合工事業団体、専門工事業団体、関係行政機関、職業訓練校、工業高校等の教育機関等の地域連携ネットワーク等、担い手確保・育成のため、複数の機関が一体となって実施する具体的な取組に対して支援を行う。

- ・平成26年度下半期：5件程度
- ・平成27年度：上記に加え10件程度（各ブロック1～2件程度）

## 2. 教育訓練等基盤の充実・強化

充実した教育訓練の実践、教育訓練をはじめとした担い手確保・育成に資する提案、担い手確保・育成のための広報等について、教育訓練の実践的な役割を担う富士教育訓練センターと連携を図りつつ、教育訓練体系の構築に向け中核的な役割を果たすため、以下の事業を実施する。

### (1) プログラム・教材等の整備

当面、入職前の若年者や初任者及び入職後2年目～5年目に必要なプログラム・教材等の整備を進めることとする。

(職長クラス、熟練技能者クラスの養成に必要なプログラム・教材等については、平成27年度以降に着手することとする。)

#### <若年者の入職促進に係るプログラム・教材等について>

- 工業高校生等を対象として行われているインターンシップや出前講座等の効果の検証と効果的な手法の開発・提案を行う。
- 工業高校生等を対象として行う実習教育に必要なプログラム・教材等を整備する。
- 工業高校教員等に対し、建設産業の役割や職種ごとの仕事内容等、建設産業に対する関心や理解を高めるための情報を整備・提供する。
- 工業高校教員等に対する実践的な研修機会を提供するため、専門工事業団体や全国工業高等学校長協会事務局と連携を図り、工業高校教員の研修内容等に関するニーズを把握するとともに、これに応じたプログラム・教材等を整備する。

#### <初任者及び入職後2年目～5年目に係る教材等について>

- 職業訓練校等が使用している既存教材（講師が独自で作成した補助教材を含む）の収集及び同教材を使用したプログラム、訓練等の情報を整理する。
- 建設企業等が求める職業訓練の内容（安全衛生、技術習得・技能習得、取得させたい資格等）について調査する。
- 収集した教材の内容を検証し、使用できるものについては他機関での利用等、幅広い活用に向けた条件整備を行う。また、修正が必要な教材や新たに必要となる教材等については、優先順位を踏まえつつ順次整備する。

### (2) 講師の発掘・育成

- 各職業訓練校等における講師候補者や、1. の地域連携ネットワークが取り組む活動をサポートする講師候補者等の発掘・育成を支援する。

- 建設マスター、登録基幹技能者等を講師として活用することについて、その実現性、ニーズ等を調査・検討する。
- 富士教育訓練センターにおいて、各職業訓練校の講師候補者等を対象に講師養成のための仕組みを整備する。
- 収集した講師情報については、全国版講師DB（人材バンク）を作成し、関係者間で共有することとする。

### （３）担い手確保・育成に関する情報等の集約及び提案

- 担い手確保・育成に取り組む建設産業団体等の関係機関や有識者の持つ経験、情報、知見を集約するとともに、本コンソーシアムの活動を通じて得られた成果等をも踏まえつつ、関係機関に対して、担い手確保・育成に資する提案を行う。

### （４）若年者の入職促進に向けた戦略的広報の推進

建設産業への理解の促進と魅力の発信を図るため、建設産業人材確保・育成推進協議会（建設産業戦略的広報推進協議会）と連携して以下の事業に取り組むこととする。

- 建設産業担い手確保・育成コンソーシアム専用WEBページを立ち上げ、アクションプログラムに基づく事業の実施状況をはじめ、本コンソーシアムに関連する各種情報をタイムリーに提供する。
- 建設産業の担い手確保・育成を図るためのWEBサイト（「建設現場へGO!」、「18歳のハローワーク」、「建設産業で働く女性がカッコイイ」）の内容の充実を図るとともに、「建設現場へGO!」のロゴマークの活用等により、関係団体等のHPとの相互リンク、ネットワーク化を図る。
- 今後、必要と考えられる情報を検討・発信

## 3. 職業訓練校ネットワークの構築

富士教育訓練センターと連携した職業訓練校のネットワークを構築するため、本コンソーシアムの目的を共有し、かつ、連携が可能な職業訓練校の情報を収集するとともに、当該職業訓練校間の情報交換、相互協力、その他共同事業の展開等を推進する場を設置する。

- 本コンソーシアムの目的を共有する職業訓練校についての情報の収集・整理を行い、職業訓練校DBを構築する。また、併せて、地域において職業訓練校が関係者と連携して取り組む優良事例を調査する。
- 上記職業訓練校間の情報交換や運営の相互協力を行うための「建設関連職業訓練校等連絡会議（仮称）」を立ち上げる。

#### IV. ワーキンググループの設置について

建設産業担い手確保・育成コンソーシアム規約第9条に基づき、コンソーシアムに以下のワーキンググループ（WG）を設置する。

##### ○「プログラム・教材等WG」

「Ⅲ. 事業内容2.（1）」に掲げるプログラム・教材等の整備について、専門的観点から調査・検討、行動を行うために、学識経験者、総合工事業者、専門工事業者、職業訓練校、教育機関等からなるWGを設置する。

#### V. 事業の進め方について

各事業のスケジュールについては、別紙、アクションプログラム(第1版)工程表のとおり。

なお、企画運営会議については、定例的に年2回程度（3月・6月）開催し、必要がある場合には、随時、開催することとする。

# 建設産業担い手確保・育成コンソーシアムアクションプログラム(第1版)

## アクションプログラム(第1版)について

コンソーシアムにおける活動については、アクションプログラムを策定し、計画的かつ効果的に展開

### アクションプログラム(第1版)の枠組み

- 本コンソーシアムの事業推進に当たっては、建設業振興基金に設置された「担い手育成基盤整備基金(ソフト事業分)」を活用し、設立から概ね5年間を用途に活動
- 担い手不足が特に懸念される野丁場系の技能者に当面の重点
- 本コンソーシアム及び富士教育訓練センターが中核的機能を担いつつ、全国的な教育訓練体系を構築

平成26年度下半期～平成27年度にかけて、以下に掲げる事業を順次、実施

### (1) 地域連携ネットワーク等担い手確保・育成のためのネットワーク構築

個社を超えて、地域の関係者が一体となって教育訓練体系を構築することを目指し、地域連携ネットワークの形成に有益な情報を調査・取りまとめ提供するとともに、先進的な取り組みを支援

- 〈支援対象件数〉
  - 平成26年度下半期：7件
  - 平成27年度：上記に加え10件程度(各ブロック1～2件程度)

### (2) 教育訓練等基盤の充実・強化

充実した教育訓練の実践、教育訓練をはじめとした担い手確保・育成に資する提案、担い手確保・育成のための広報等について、教育訓練の実践的な役割を担う富士教育訓練センターと連携を図りつつ、教育訓練体系の構築に向け中核的な役割を果たすため、以下の事業を実施

- ① **プログラム・教材等の整備(プログラム・教材等ワーキンググループ立ち上げ(H27.1.19))**
  - 当面、入職前の若年者や初任者及び入職後2～5年目に必要なプログラム・教材等、現状について検証を行いつつ、所要の整備
  - ② **講師の発掘・育成**
    - 各職業訓練校等における講師候補者や、地域連携ネットワークが取り組む活動をサポートする講師候補者等の発掘・育成を支援
  - ③ **担い手確保・育成に関する情報収集及び提案**
    - 建設産業団体等の関係機関や有識者の持つ経験、情報、知見を集約するとともに本コンソーシアムの活動を通じて得られた成果等をも踏まえつつ、担い手確保・育成に資する提案
  - ④ **若年者の入職促進に向けた戦略的広報の推進**
    - 建設産業への理解の促進と魅力の発信を図るため、建設産業人材確保・育成推進協議会(建設産業戦略的広報推進協議会)と連携して事業を推進

### (3) 職業訓練校ネットワークの構築

富士教育訓練センターと連携可能な各地域の職業訓練校間の情報交換、相互協力、その他共同事業の展開等

- 本コンソーシアムの目的を共有する職業訓練校に於いての職業訓練校DBを構築
- 上記、職業訓練校間の情報交換や相互協力を行うための「建設関連職業訓練校等連絡会議」を立ち上げ(H26.12.10)

## 建設産業担い手確保・育成アクションプログラム（第2版）

－ 若者を建設産業に取り戻すために －

平成27年4月22日

建設産業担い手確保・育成コンソーシアム

### I. アクションプログラム（第2版）策定に当たっての基本的な考え方

本コンソーシアムは、建設産業の担い手確保・育成について、実績、知見、能力を有し、今後の担い手確保・育成を推進していく意志を有する者により構成し、建設産業団体、行政機関、職業訓練校、教育機関等の関係機関が一体となって、建設産業における担い手確保・育成に取り組んでいくための体制を整備し、若年者の入職促進、育成のための事業を具体化し、実行することを目的として設立したものである。

本コンソーシアムは、「担い手育成基盤整備基金（ソフト事業分）」を活用し、設立から概ね5年間を目途に活動することとし、アクションプログラム（第1版）においては、平成26年度下半期～平成27年度にかけて、担い手不足が特に懸念される野丁場系の技能者に当面の重点を置き、本コンソーシアム及び富士教育訓練センターが中核的機能を担いつつ、全国的な教育訓練体系を構築することを目指すこととした。

アクションプログラム（第2版）では、アクションプログラム（第1版）における平成26年度下半期の成果を踏まえ、基本的な考え方を踏襲しつつ、平成27年度において、以下のとおり具体的な取組を更に拡充・発展させていくこととする。

### II. 事業内容

#### 1. 地域連携ネットワークの構築支援

地域の関係者が一体となって教育訓練体系を構築することを目指し、地域における担い手確保・育成のためのネットワーク（以下、「地域連携ネットワーク」という。）の取組を支援する。

##### （1）地域連携ネットワークの新たな支援先の選定等

平成27年度においては、新たに15件程度を選定し、支援する。

平成26年度に選定した7件のうち、実施事業として選定した2件については、引き続き支援を行うとともに、予備調査として選定した5件については、調査結果を踏まえ、教育訓練体系の具体化に取り組む場合には、実施事業に移行し、引き続き支援を行う。

##### （2）ネットワーク構築に係るアドバイザーの整備

地域連携ネットワークの事業化に向けて、取組上の課題を解決するため、担い手確保・育成に関して知見を有するアドバイザーが対応できるよう体制を整備する。

##### （3）進捗状況の把握と課題等の整理（26・27年度実施団体）

平成26年度、平成27年度に選定した地域連携ネットワークの取組について、それぞれの内容、課題、解決方法等を取りまとめ、他地域の参考となるよう取組内容をweb等で発信する。また、関係者間で情報を共有するため、事業報告会を本年度2回程度開催する。

## 2. 教育訓練等基盤の充実・強化

地域連携ネットワークによる全国各地域の教育訓練体系の構築を支援するため、建設産業の担い手確保・育成に取り組む関係団体・機関が、知見やノウハウ、様々な資源を活用して、効果的な教育訓練を行うことができるよう、プログラム・教材等の条件整備を図るとともに、建設産業における担い手確保のための広報を積極的に推進する。

### (1) プログラム・教材等の整備

#### ①職業能力基準の整備

職種ごとに技能者の能力をレベル1（見習技能者）、レベル2（中堅技能者）、レベル3（職長、熟練技能者）、レベル4（基幹技能者）の各レベルに段階的に分類した上で、それぞれのレベルで求められる職務・技能、資格等について可視化・体系化した簡易な基準を整備することとし、型枠等躯体系職種から、順次、作成に着手する。更に、担い手確保の観点から、生徒・未就職者等も視野に入れ、プレ入職（仮称）として建設産業への入職促進に向けた教育訓練についても体系化する。

#### ②各職業能力レベルに対応したプログラム・教材の整備

各地域の主な職業訓練施設における既存プログラム・教材の検証を引き続き行うこととし、特に若年者の教育訓練を強化する観点から、レベル1に対応したプログラム・教材の内容を重点的に検証する。さらに、型枠・鉄筋等の躯体系職種から、レベル1に対応した全国の職業訓練施設等での展開が可能なプログラム・教材等の整備に着手する。

併せて入職前の教育訓練メニューのうち、特に資格取得や職業体験、実習等、実質的にレベル1に近いプログラムを実施した際の就職率・定着率等への効果を調査し、入職前の効果的なメニューについて、全国的な展開を促進する。

### (2) 担い手確保・育成に関する情報等の集約及び発信

建設産業団体等がそれぞれの地域において行政機関、教育機関等との連携により実施する担い手確保・育成に関する取組を収集したwebサイト「担い手確保・育成取組事例集」について、現在、建設産業人材確保・育成推進協議会及び、建設産業戦略的広報推進協議会（以下、「人材協／広報協議会」という。）の構成団体における約150事例が掲載されているが、今後、更に質・量ともに充実を図る。

### (3) 若年者の入職促進に向けた戦略的広報の推進

人材協／広報協議会との連携の上、広報業務の更なる拡充を図る。

#### ①人材協が運営するwebサイトの拡充

「建設現場へGO!」、「18歳のハローワーク」、「建設産業で働く女性がカッコイイ」等のwebサイトの拡充を図るため、以下の取組を行う。

##### ○建設現場へGO!

新規情報へのリンクを更に拡充するとともに、特に現場見学会等に関する情報提供を求める教育機関等が多いことから、現場見学会等に応じる企業・行政機関、建設産業団体等を紹介するコンテンツを構築する。

※民間工事を含め、発注者の理解を得ながら、現場見学会の実施や資料映像の撮影可能現場等の確保に努める。

### ○18歳のハローワーク

建設現場における作業内容やそれぞれの専門職種等が連携して建物等ができることを伝えるweb版「施工体系図」の構築やそれぞれの専門職種の若手、中堅、熟練工のそれぞれの仕事内容をインタビュー形式で掲載していくコンテンツを拡充する。

### ○建設産業で働く女性がカッコイイ

女性経営者、女性技術・技能者等に対するインタビューや女性の活躍を支える建設企業情報等を掲載する。

### ○web情報更新に関する通知機能の構築

webサイトの更新情報を関係者にリアルタイムで確実に周知するため、事前に登録されたメールアドレスに対して、更新内容を自動通知する機能を構築する。

### ②電子ライブラリーの構築

各建設業団体等が、若年者の入職促進に資する冊子や資料等を作成するに当たり活用することができる、建設業のしくみや建設技能者等の写真・イラスト等のコンテンツを無料で提供する電子ライブラリーを構築する。

### ③「建設業界ガイドブック」の刷新

「建設業界ガイドブック」の内容を刷新し、充実を図るとともに、「建設業界ガイドブック概要版「ニッポンをつくる人たち、まもる人たち」を新たに制作する。

## 3. 職業訓練校ネットワークの構築

地域連携ネットワークにおける教育訓練体系の構築を支援するため、富士教育訓練センターを中核とした職業訓練校のネットワークである「建設関連職業訓練校等連絡会議」において、「2. (1) プログラム・教材等の整備」における成果を共有、活用されるよう情報提供に努めるとともに、この場を通じた各職業訓練校間の情報交換、相互協力を推進する。

### ①地域における職業訓練校等の講師養成の支援

各地域の職業訓練校講師を養成することを目指し、富士教育訓練センターにおいて、核となるコース・講師のもとでの教育実習を行う。

### ②全国版講師データベースの作成

各地域における職業訓練の実施を支援するため、既存の職業訓練校講師をはじめ、講師候補者を含めた各地域の講師情報を収集し、各地域の職業訓練校等に対して当該情報を提供する全国版講師データベースを構築する。



### ③全国の職業訓練校の情報収集・発信、建設関連職業訓練校等連絡会議の拡充

全国の建設関連職業訓練校の訓練メニュー等を収集・情報発信するとともに、本コンソーシアムの目的を共有する職業訓練校等に対し建設関連職業訓練校等連絡会議への参画を呼びかけ、メンバーとして順次、追加する。

## Ⅲ. 国の施策等との連携について

本コンソーシアムは、建設産業団体、行政機関、職業訓練校、教育機関等の関係機関が一体となって、全国的な教育訓練体系を構築することを目指すものであるが、平成 27 年度政府予算において、国においても建設産業担い手確保・育成に関連した様々な施策（※）が予定されていることから、本コンソーシアムにおいても、これら施策と十分な連携を図りつつ推進していくこととする。

※国土交通省「地域建設産業活性化支援事業」、「建設業における女性活躍を推進する地域の取組に係る調査検討業務」、厚生労働省「建設労働者緊急育成支援事業」等

# 建設産業担い手確保・育成コンソーシアムアクションプログラム（第2版）

## アクションプログラム（第2版）について

アクションプログラム（第1版）における平成26年度下半期の成果を踏まえ、以下の基本的な考え方を踏襲しつつ、平成27年度において具体的な取り組みを更に拡充・発展させていく。

- 本コンソーシアムの事業推進に当たっては、建設業振興基金に設置された「担い手育成基盤整備基金（ソフト事業分）」を活用し、設立から概ね5年間を目的に活動
- 担い手不足が特に懸念される野丁場系の技能者に当面の重点
- 本コンソーシアム及び富士教育訓練センターが中核的機能を担い、全国的な教育訓練体系を構築

平成27年度において、以下に掲げる事業を順次、実施  
※平成27年度政府予算により実施される施策とも連携し実施

## 事業内容

### 1. 地域連携ネットワークの構築支援

#### (1) 地域連携ネットワークの新たな支援先の選定等

- ・平成27年度 15件程度選定
- ・平成26年度に選定した7件のうち、実施事業として選定した2件については、引き続き支援。予備調査として選定した5件については、調査結果を踏まえ、実施事業に移行する場合には、引き続き支援。

#### (2) ネットワーク構築に係るアドバイザーの整備

- ・取組上の課題を解決するため、担い手確保・育成に関して知見を有するアドバイザーが対応できるような体制整備

#### (3) 進捗状況の把握と課題等の整理（26・27年度実施団体）

- ・地域連携ネットワークの取組について、他地域の参考となるよう取組内容をweb等で発信
- ・関係者間で情報共有するため、事業報告会を本年度2回程度開催

## 支援

### 2. 教育訓練等基盤の充実・強化

#### (1) プログラム・教材等の整備

- ① 職業能力基準の整備
  - ・職種ごとに技能者の能力をレベル1～レベル4に分類し、各レベルに求められる職務・技能、資格等について体系的に整理。型枠等躯体系職種から順次、作成に着手
  - ・生徒・未就職者も視野に入れ、プレ入職（仮称）として建設産業への入職促進に向けた教育訓練を体系化
- ② 各職業能力レベルに対応したプログラム・教材の内容を重点的に検証し、型枠等の躯体系職種から整備
  - ・レベル1に対応したプログラム・教材の内容を重点的に検証し、型枠等の躯体系職種から整備
  - ・資格取得や職業体験、実習等、実質的にレベル1に近いプログラムを実施した際の就職率・定着率等への効果を調査し入職前の効果的なメニューについて、全国的な展開を促進

#### (2) 担い手確保・育成に関する情報等の集約及び発信

- ・担い手確保・育成取組事例集の拡充

#### (3) 若年者の入職促進に向けた戦略的広報の推進

- ① 建設産業人材確保・育成推進協議会／建設産業戦略的広報推進協議会 が運営するWEBサイト（「建設現場へGO！」「18才のハローワーク」等）の拡充
- ② 電子ライブラリーの構築
  - ・建設業のしくみや建設技能者等の写真・イラスト等のコンテンツを無料で提供
- ③ 「建設業界ガイドブック」の刷新

### 3. 職業訓練校ネットワークの構築

- ① 地域における職業訓練校等の講師養成の支援
  - ・富士教育センターにおいて、核となるコース・講師のもとでの教育実習の実施
  - ② 全国版講師データベースの作成
    - ・講師情報を収集し、同様な職業訓練を各地で実施できる体制整備を支援
  - ③ 全国の職業訓練校の情報収集・発信、建設関連職業訓練校等連絡会議の拡充
- ・全国の建設系職業訓練校の訓練メニュー等を収集・情報発信
- ・目的を共有する職業訓練校等をメンバーとして順次、追加

富士教育訓練センターにおける  
「講師養成のための教育訓練現場実習プログラム」の試行実施について

平成 27 年 7 月 16 日  
職業訓練法人全国建設産業訓練協会  
富士教育訓練センター  
一般財団法人建設業振興基金

1. 目的

担い手確保・育成コンソーシアムにおける各地域連携ネットワーク等において、専門工事業者のOBなどを職業訓練の講師として活用する気運が高まっているが、講師としての経験が不足していることが多く、富士教育訓練センターにおける講師養成・育成支援のニーズが高いことから、今般、講師養成のための教育訓練現場実習プログラム（以下「実習プログラム」）を試行的に実施するものである。

2. 概要

実習プログラムは、各地域における講師候補者が、富士教育訓練センターで実施している技能実習コースの座学及び技能訓練に講師補助として立ち会い、教育訓練カリキュラムや使用している教材等の把握及び教授方法や心構えを学ぶものである。

なお、実習プログラムを修了した者に対しては、富士教育訓練センターより、修了証を交付することとする。

3. 平成 27 年度「実習プログラム」対応コース

今年度は、以下のコースを受入可能コースとして設定することとし、第一弾として、長崎県建設産業団体連合会（平成 26 年度地域連携ネットワーク支援先）における「鉄筋」の講師候補者を 7 月 22 日から「4. 躯体基礎コース」に受け入れることとしている。

	コース名	日数	日 程
1	土木施工管理基礎	46日	① 6/11(木)～ 8/ 7(金) ② 1/12(火)～ 3/ 9(水)
2	土木施工科(1)	24日	① 1/12(火)～ 2/ 9(火)
3	建築施工管理基礎	46日	① 1/12(火)～ 3/ 9(水)
4	躯体基礎	48日	① 6/ 9(火)～ 8/ 7(金)
5	型枠基礎	24日	①11/ 9(月)～12/ 9(水) ② 1/12(火)～ 2/ 9(火)
6	左官基礎	45日	① 6/ 1(月)～ 7/25(土) ② 9/28(月)～11/25(水)
7	土木基礎多能工(2)	47日	① 8/24(月)～10/24(土)
8	建築基礎多能工(2)	47日	① 8/24(月)～10/24(土)

※富士教育訓練センターで実施しているこのほかのコースについても、カリキュラムや講義方法等の問い合わせなどに対応していく予定としている。

建設産業担い手確保・育成コンソーシアム  
平成28年度 地域連携ネットワーク構築支援先

1. 予備調査申請団体

No.	地域	事業管理者
(1)	茨城県	(一社)茨城県建設業協会
(2)	東京都	(一社)東京都中小建設業協会
(3)	新潟県	(一社)新潟県建設業協会
(4)	山梨県	(一社)山梨県建設業協会
(5)	滋賀県	(一社)滋賀県建設業協会

No.	地域	事業管理者
(6)	京都府	(一社)京都府建設業協会
(7)	和歌山県	(一社)和歌山県營繕協会
(8)	岡山県	(一社)岡山県建設業協会
(9)	大分県	大分県建設産業団体連合会
(10)	沖縄県	(一社)沖縄県建設業協会

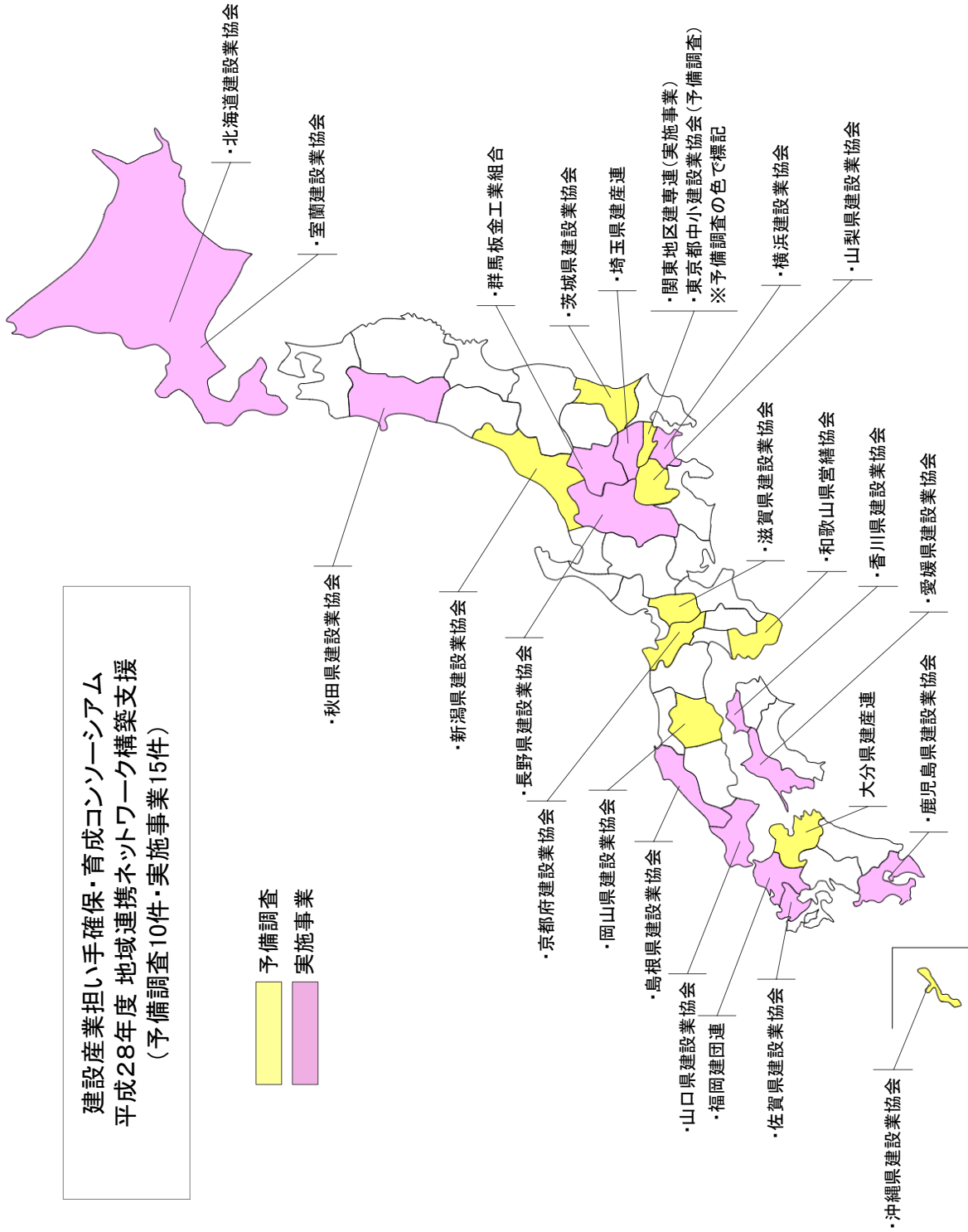
2. 実施事業申請団体

No.	地域	事業管理者
(1)	北海道	(一社)北海道建設業協会
(2)		(一社)室蘭建設業協会
(3)	秋田県	(一社)秋田県建設業協会
(4)	群馬県	群馬県板金工業組合
(5)	埼玉県	(一社)埼玉県建設産業団体連合会
(6)	神奈川県	(一社)横浜建設業協会
(7)	関東ブロック	建設産業専門団体関東地区連合会
(8)	長野県	(一社)長野県建設業協会

No.	地域	事業管理者
(9)	島根県	(一社)島根県建設業協会
(10)	山口県	(一社)山口県建設業協会
(11)	香川県	建設産業専門団体四国地区連合会
(12)	愛媛県	(一社)愛媛県建設業協会
(13)	福岡県	(一社)福岡県建設専門工事業団体連合会
(14)	佐賀県	(一社)佐賀県建設業協会
(15)	鹿児島県	(一社)鹿児島県建設業協会

建設産業担い手確保・育成コンソーシアム  
 平成28年度 地域連携ネットワーク構築支援  
 (予備調査10件・実施事業15件)

予備調査  
 実施事業



＜予備調査の主な内容＞

- ① 地域連携ネットワーク構築に向けた調査
  - ・建設業団体(総合工事業・専門工事業)が現有する人材確保・育成に係る組織の調査
  - ・人材の確保・育成に係る組織の連携方策の調査及び関係団体による協議会の設置
- ② 先進事例の情報収集
  - ・地域内外の先進的な取組事例の調査
- ③ 地域における教育機関や教育訓練施設等との連携可能性に関する調査
  - ・既存訓練施設(ポリテクセンター等)の訓練内容の現状調査と新たな活用方策の検討
  - ・地域内の大学、工業高校等の教育機関の教育内容等に関する調査
- ④ 広報活動の検討
  - ・工業高校等の技術・技能の指導体制の確立を旨とした建設業への入職支援戦略の調査検討
  - ・技術者や技能者の訓練、教育、処遇改善およびキャリアパスなどの広報方策の検討



実施事業への  
移行可能性の  
検討・確認

1. 予備調査申請団体

事業管理者	主な特徴
(一社)茨城県建設業協会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・先進事例の調査</li> <li>・地域における教育訓練施設等の調査</li> <li>・建設産業への親近感を醸成し、興味を持ってもらうため、中学生を対象とした体験学習の実施に係る調査検討</li> <li>・三多摩連合、各区建設業協会、神奈川クレーション協会、日本型枠工事業協会、東京都等行政との連携を検討</li> <li>・入職後2～3年目の従業員を対象とした研修のニーズ調査</li> <li>・出前講座・現場見学の実施可能性調査</li> <li>・入職1～2年目の技能者等を対象とした基礎的な教育訓練の実施に向けて、県内の教育訓練施設の現況調査、ニーズ調査、教育訓練の内容等について調査検討</li> </ul>
(一社)東京都中小建設業協会	
(一社)新潟県建設業協会	

(一社)山梨県建設業協会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ネットワーク協議会の設置及び会員等の意識調査</li> <li>・県内及び近県の建設訓練施設の現状調査及び活用方策の検討</li> <li>・県内建設企業の求人、就職、定着状況又は、県内高校等の就職状況等を定期的に把握するためのシステムの検討</li> </ul>
(一社)滋賀県建設業協会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・先進事例の取組の視察、分析</li> <li>・専門工事業団体・行政・教育機関・教育訓練施設等と連携して、県内の教育機関の充実等を図ることにより、若手技術者を継続的に育成する方策を調査検討</li> </ul>
(一社)京都府建設業協会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種建設業団体と地域連携ネットワーク構築に向けた調査</li> <li>・先進事例の情報収集</li> <li>・地域における教育機関や訓練施設等との連携可能性に関する調査</li> <li>・建設産業界が取り組んでいる訓練・教育、キャリアパス等について、広報する方策の検討</li> </ul>
(一社)和歌山県営繕協会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県内建設企業の人材育成方策の調査分析(特に営繕協会会員や県内建築団体等への聞き取り調査を実施)</li> <li>・県内教育機関や訓練施設の現状調査</li> <li>・地域ネットワーク構築の可能性検討</li> </ul>
(一社)岡山県建設業協会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域連携ネットワーク構築に向けた関係団体による担い手確保・育成の連携のあり方について調査</li> <li>・既存訓練施設(岡山県建設技術センター等)の教育・研修内容の現状調査及び新たな活用方策について検討</li> <li>・戦略的広報の試験的实施 <ul style="list-style-type: none"> <li>i 建設産業への理解を促進するための広報イベント</li> <li>ii 高校生の建設業への入職促進事業(現場見学会・企業説明会)</li> </ul> </li> </ul>
大分県建設産業団体連合会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建設産業団体、行政、教育機関等の連携ネットワーク構築に向けた調査</li> <li>・先進事例の情報収集及び地域における教育訓練施設等の現状調査</li> </ul>
(一社)沖縄県建設業協会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係団体、行政、教育訓練機関との連携ネットワーク構築に向けた調査</li> <li>・先進事例の情報収集、教育訓練施設等の現状調査</li> <li>・小中高校を対象とした出前講座、工業高校、専門学校・大学・一般などを対象に合同企業説明会実施等の検討</li> <li>・無料職業紹介事業を活用した入職促進に繋げる方策の検討</li> </ul>

2. 実施事業申請団体

事業管理者	主な特徴
(一社)北海道建設業協会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・帯広地区において、入社3～5年以内の技術・技能職員を対象に潜在能力発現のための能力向上研修の実施</li> <li>・網走地区において、入社3年以内の技術・技能・事務職員を対象に、建設業や労働安全の基礎等の研修を実施</li> <li>・札幌地区)において、入社3～5年以内の社員を対象に、新入社員の指導者等としての能力育成研修を実施するとともに、広報担当職員のスキルアップ研修を実施</li> <li>・全道で、建設関連職種について、若手職業訓練指導員等の指導技法の育成向上を図るための研修を実施</li> </ul>
(一社)室蘭建設業協会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業管理者の他、日胆(にったん)地区測量設計協会、行政(胆振総合振興局、室蘭開発建設部)と連携して、</li> <li>・合同新入社員研修、フォローアップ研修を実施</li> <li>・建設業の魅力伝える効果的な広報</li> </ul>
(一社)秋田県建設業協会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県内の総合工事業・専門工事業団体、行政、教育訓練機関等と連携し、「建設産業担い手確保・育成検討委員会(仮称)」を設置</li> <li>・高校生を対象とした現場見学会の実施</li> <li>・新卒入職者を対象とする研修会やフォローアップ研修の実施</li> <li>・建設雇用管理実態調査の実施</li> </ul>
群馬県板金工業組合	<ul style="list-style-type: none"> <li>・板金・瓦・鉄筋などの職種を対象に、多職種が合同で行う基礎訓練と専門業種毎で行う実地訓練を、「利根沼田アカデミー」を活用して実施するとともに、研修成果を踏まえて、より効果的な教育プログラム等を開発</li> <li>・安定した訓練生の確保を目指すとともに、各学校と連携し関連業界への入職促進を図るための広報等を実施</li> </ul>
(一社)埼玉県建設産業団体連合会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入職促進のため、ホームページへの設置等、インターンシップ、現場見学会等を実施</li> <li>・合同新入社員研修、フォローアップ研修の実施</li> <li>・熟年技能者へのティーチングスキル向上研修等の実施</li> <li>・若手職員を対象とした、施工管理技術者、技能士等の資格取得支援</li> <li>・女性活躍推進のため、研修、座談会、現場見学会等の実施</li> </ul>
(一社)横浜建設業協会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高校生を対象としたインターンシップ、出前講座の実施</li> <li>・横浜市建設関連企業合同就職面接会への参加等</li> <li>・新入社員研修等の検討・実施</li> </ul>
建設産業専門団体関東地区連合会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「関東圏専門工事業担い手確保・育成推進協議会(夢協)」が主唱して、</li> <li>・出前講座、若者合宿、職長講習会の実施</li> <li>・技能労働者の家族を対象とした現場見学会や一般参加型の現場見学会の実施</li> <li>・建設産業への入職促進・定着率の向上を目的とした技能労働者の処遇改善のための各種取り組みを実施</li> </ul>



<p>(一社)長野県建設業協会</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「担い手確保・育成推進協議会」において、事業の拡大・継続性の検討を行うとともに既存訓練施設活用に向けて調整を実施</li> <li>・豪雪災害対応除雪機械の免許取得者のための技術向上講習の実施</li> <li>・新入社員研修の実施</li> <li>・型枠・鉄筋等の技能社員を対象として、技術力向上講座を富士教育訓練センターに派遣して実施</li> <li>・入職促進に資する広報</li> </ul>
<p>(一社)島根県建設業協会</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「島根県建設産業担い手確保・育成コンソーシアム」の設置、開催</li> <li>・専門工事業（鉄筋工事業）の技能者を対象として、1級又は2級技能士の資格取得のための勉強会を開催</li> <li>・専門工事業の担い手確保に資するため、就職企業説明会等への参加や紙媒体での広報を実施</li> </ul>
<p>(一社)山口県建設業協会</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・内定者又は新入社員研修の実施(三田建設技能研修センターもしくは県内施設)</li> <li>・県内のポリテクセンター、西部高等産業技術学校を活用し、高・鉄筋の技能士取得のための講習会等を開催</li> <li>・高校生の現場実習に薦、鉄筋系専門工事業の参加を促すとともに、PRちらしを作成し配布</li> <li>・一般向けの「ものづくりフェア」において、PR展示と作業体験を実施</li> <li>・将来の技能講師養成のために富士教育訓練センターの講師研修に参加</li> </ul>
<p>建設産業専門団体四国地区連合会</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県内高等学校、高等技術学校等での出前講習の充実</li> <li>・本年開校予定の「匠の学舎アカデミー」、「職人育成塾」に対し、OJT受入や講師派遣の協力</li> <li>・若者の定着を図るため、業種の垣根を越えた「フレッシュマン合宿」を開催するとともに、熟練技能者を対象に若者を指導するためのスキル向上を目的とした「職長研修」を実施</li> <li>・「土曜学習応援団」に登録し、小学生・中学生を対象に建設業のものづくりの魅力を伝承</li> </ul>
<p>(一社)愛媛県建設業協会</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・富士教育訓練センターを活用するなど、中堅・熟練技能者にカリキュラムや使用教材等の把握、教授法を習得させ、技術者・技能者の育成に貢献</li> <li>・県内関係教育機関を利用した新規入職者研修の実施等</li> <li>・教育・職業訓練機関の教師等と建設業関係団体(事業者)との意見交換会の開催</li> <li>・建設業を目標している人向けのポータルサイトを開設・運営するなど戦略的な広報</li> </ul>
<p>(一社)福岡県建設専門工事業団体連合会</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「建設専門工事業雇用促進・労働改善協議会」を定期的で開催し、技能労働者の雇用の促進、育成等について討議し、研修所運営や団体活動に提言</li> <li>・協議会の提言を踏まえ、建設専門工事業の技能・技術研修所を運営し、新入社員研修等諸研修の実施</li> <li>・専門工事業の仕事とはどのような仕事なのか、魅力を伝えるための積極的な広報</li> <li>・専門工事業業界の啓発のため、講師を招へいし、年3回程度勉強会を実施</li> </ul>

<p>(一社)佐賀県建設業協会</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建設業に就職してもらいたい人, 在職者, 一般県民・市民を対象に, 建設業に誇りが持てるような広報活動実施</li> <li>・未就業者、新規入職者などの教育訓練システムの検討及び研修の試行実施</li> </ul>
<p>(一社)鹿児島県建設業協会</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不足している型枠工の教育訓練を実施するために, 鹿児島建築工友会や鹿児島県技能士会連合会と連携し, 指導者養成訓練のスキームを検討. 指導者養成向けのテキストの作成.</li> <li>・県内教育訓練施設を活用し, 型枠工の技能研修を実施</li> <li>・奄美地区において, 本土から講師を派遣して本土と同様の新入社員研修を実施. その成果を踏まえ, 他の離島についても実施を検討.</li> </ul>

## 2. 高等学校卒業生等の進路、及び建設系職業訓練校の状況

○建設業就業者等に関する統計（KKS）

○高等学校等の状況について

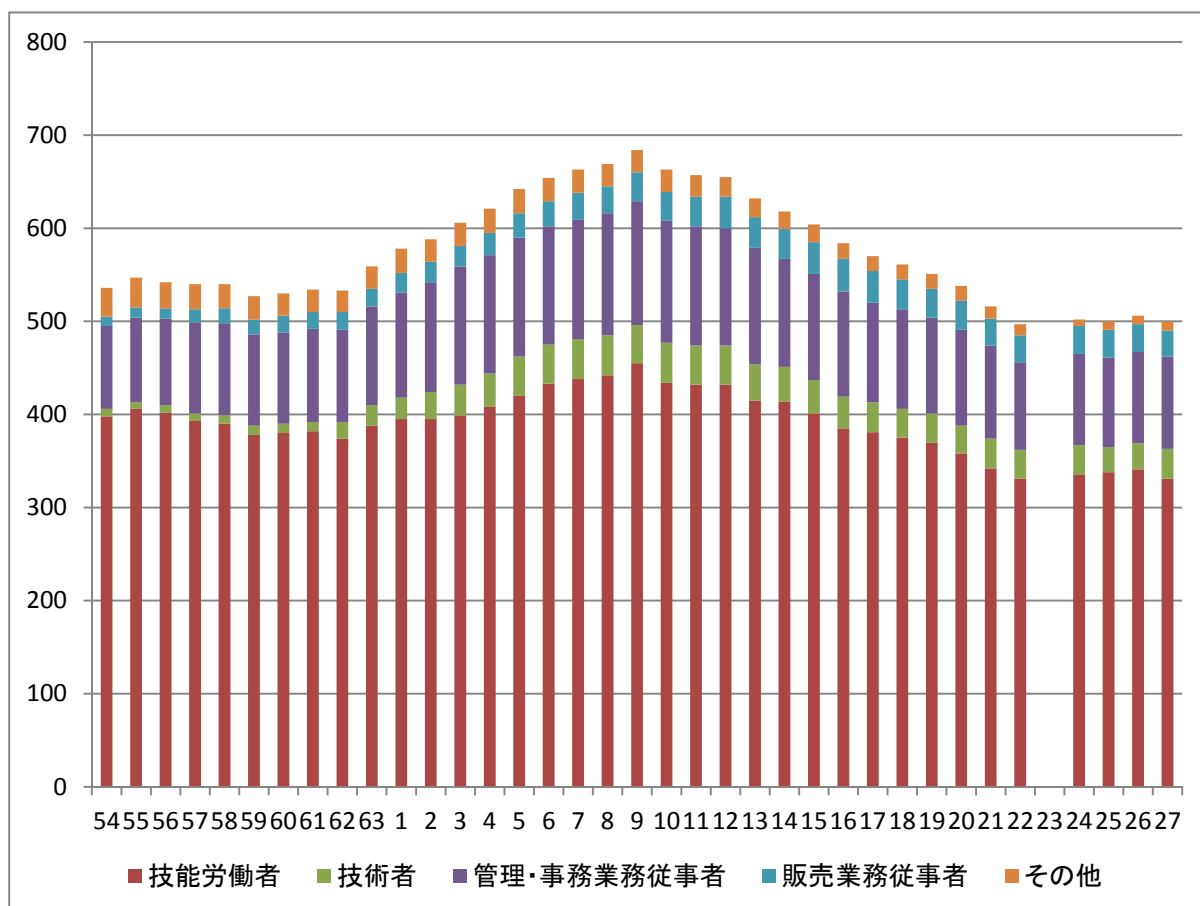
○職業訓練校の状況及びアンケート調査結果（概要）

## 1. 建設業就業者（労働力調査）

- ・建設業就業者数は平成9年の685万人をピークに減少傾向にあり、平成9年と平成27年との比較では155万人が減少している。
- ・技能労働者数についても同傾向があり、上記期間内で124万人が減少。

（単位：万人）

	就業者	技能労働者	技術者	管理・事務 業務従事者	販売 業務従事者	その他
54	536	398	8	89	10	31
57	541	393	8	98	14	27
60	530	380	10	98	18	24
63	560	388	22	106	19	24
3	604	399	33	127	22	25
6	655	433	42	127	27	25
9	685	455	41	133	31	24
12	653	432	42	126	34	21
15	604	401	36	114	34	19
18	559	375	31	107	32	16
21	517	342	32	100	29	13
24	503	335	32	98	30	7
25	499	338	27	96	30	9
26	505	341	28	98	30	9
27	500	331	32	99	28	10

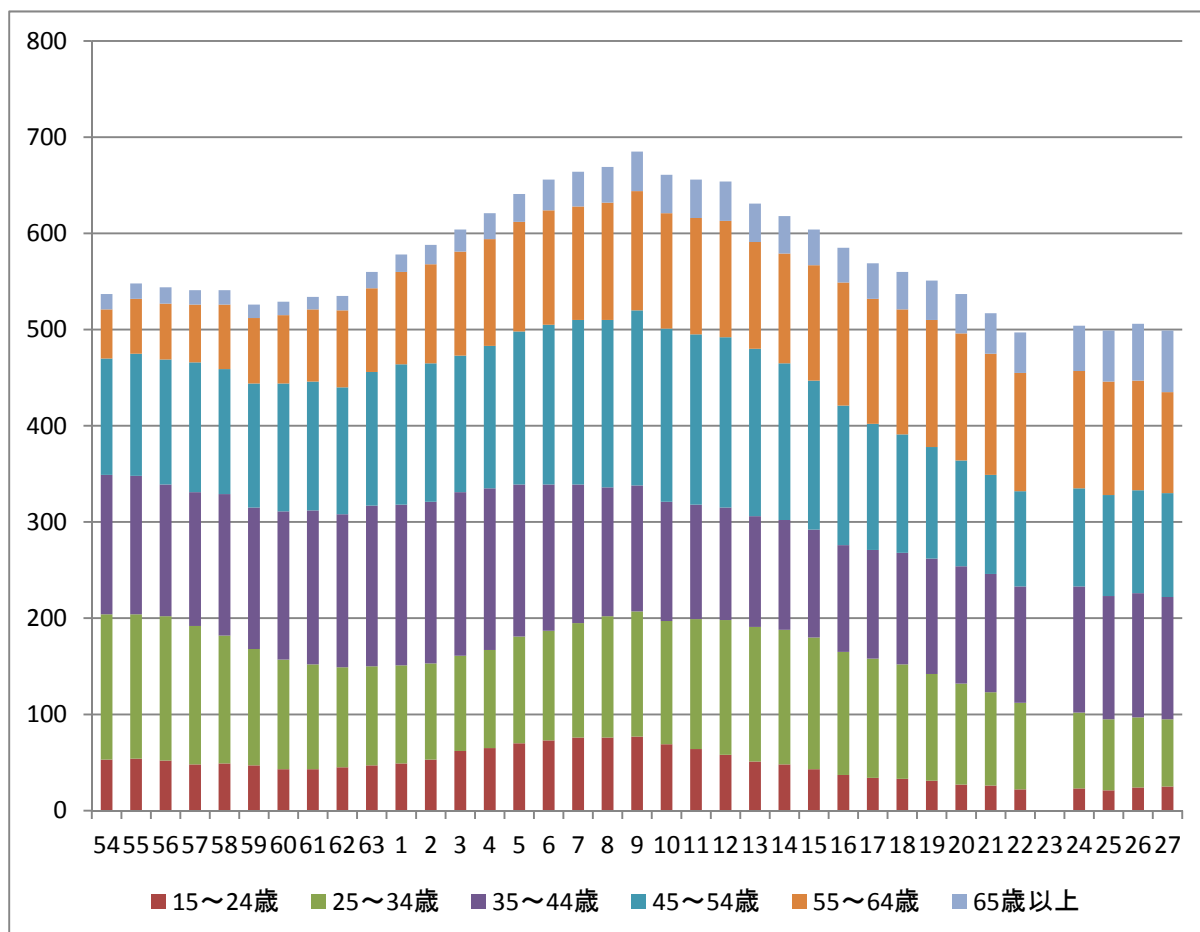


## 2. 就業者の年齢構成（労働力調査）

- ・建設業就業者を年齢別にみると、34歳以下層の減少と、55歳以上層の増加が顕著。
- ・昭和54年と平成27年の比較では、34歳以下層が109万人減少する一方で、55歳以上層が98万人増加している。

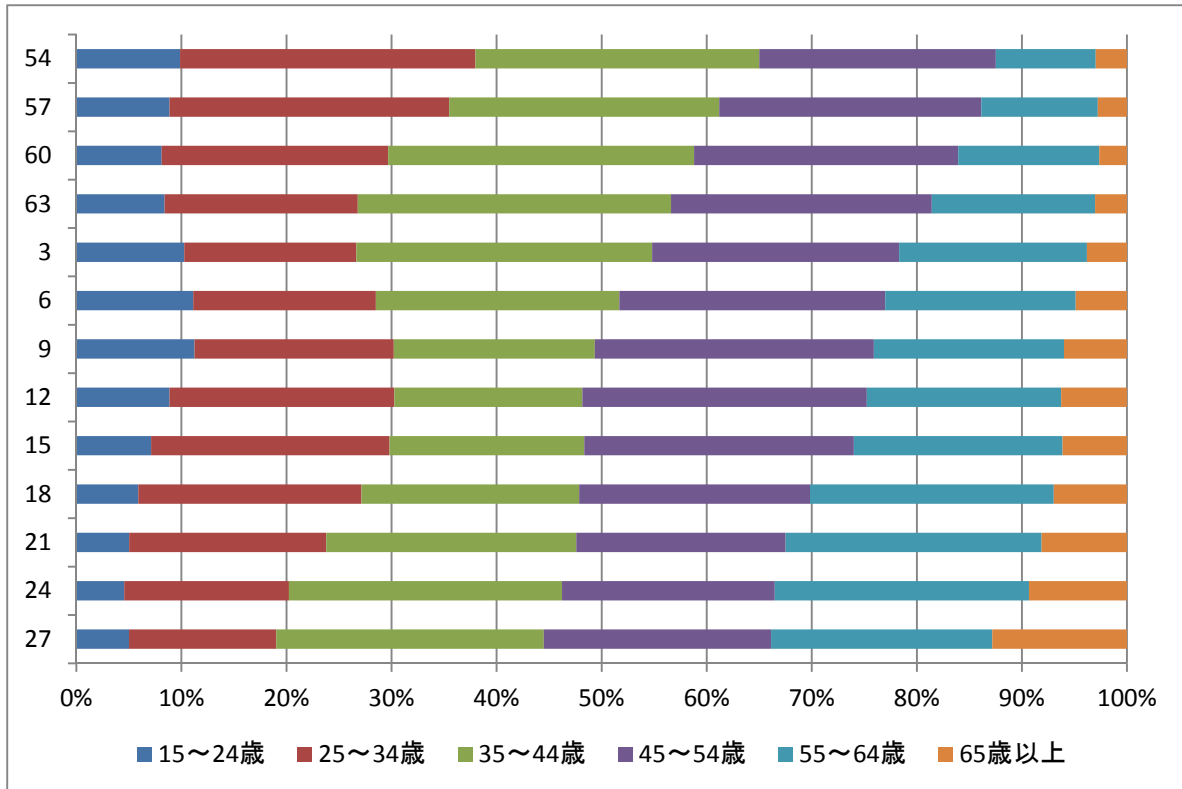
（単位：万人）

	就業者	15～24歳	25～34歳	35～44歳	45～54歳	55～64歳	65歳以上
54	536	53	151	145	121	51	16
57	541	48	144	139	135	60	15
60	530	43	114	154	133	71	14
63	560	47	103	167	139	87	17
3	604	62	99	170	142	108	23
6	655	73	114	152	166	119	32
9	685	77	130	131	182	124	41
12	653	58	140	117	177	121	41
15	604	43	137	112	155	120	37
18	559	33	119	116	123	130	39
21	517	26	97	123	103	126	42
24	503	23	79	131	102	122	47
25	499	21	74	128	105	118	53
26	505	24	73	129	107	114	59
27	500	25	70	127	108	105	64

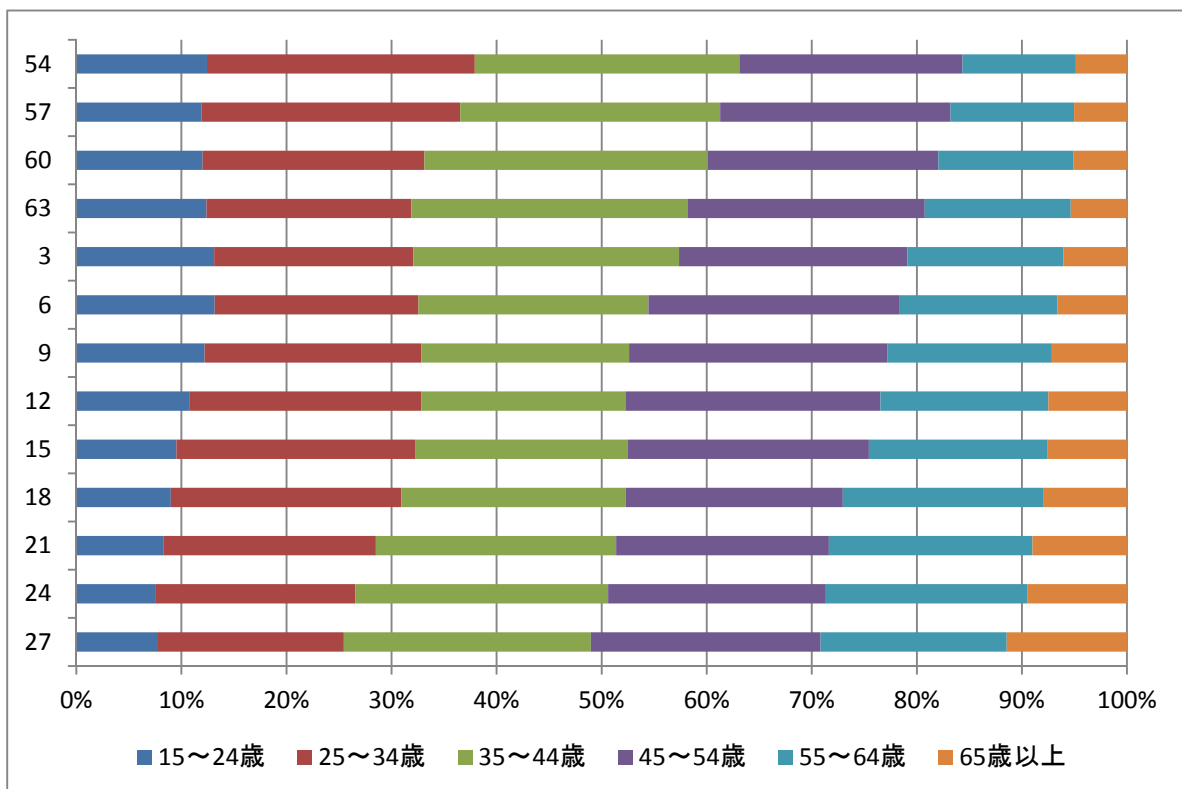


- ・ 就業者の年齢構成の高齢化は、全産業においても見られる傾向であるが、建設業は高齢化傾向が顕著。

構成比（建設業）



構成比（全産業）



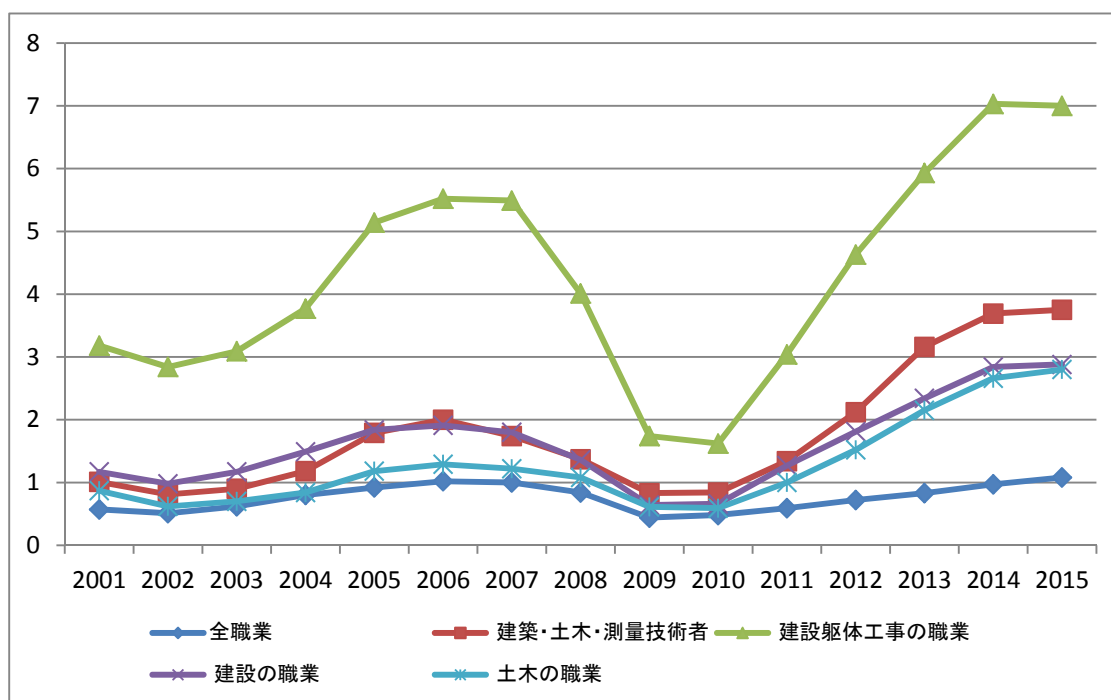
### 3. 求人倍率（一般職業紹介状況）

- ・全産業及び建設業の他職別工事業と比較し、建築躯体工事の求人倍率は、特に高率で推移。

※労働力調査等の資料には野丁場系職種に関する統計なし。

（単位：％）

	全職業	建築・土木・ 測量技術者	建設躯体工 事の職業	建設の職業	土木の職業
2001	0.57	1.01	3.18	1.17	0.87
2002	0.51	0.81	2.84	0.98	0.62
2003	0.80	1.18	3.77	1.49	0.84
2004	0.92	1.79	5.14	1.84	1.18
2005	0.92	1.79	5.14	1.84	1.18
2006	1.02	2.00	5.52	1.91	1.29
2007	1.00	1.74	5.49	1.80	1.22
2008	0.84	1.37	4.01	1.36	1.08
2009	0.44	0.83	1.74	0.64	0.61
2010	0.48	0.84	1.62	0.66	0.59
2011	0.59	1.34	3.04	1.27	1.00
2012	0.72	2.12	4.63	1.81	1.52
2013	0.83	3.16	5.93	2.34	2.15
2014	0.97	3.69	7.03	2.84	2.66
2015	1.08	3.75	7.00	2.88	2.80



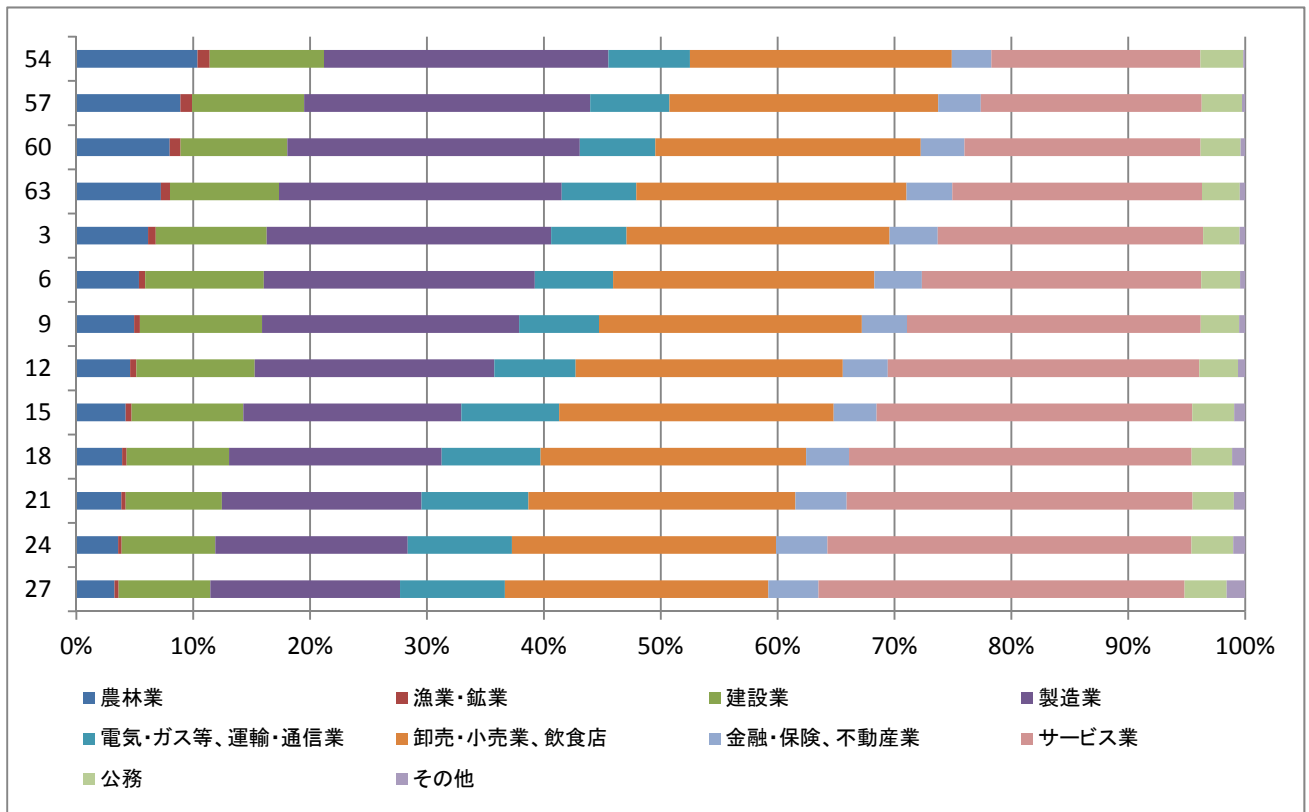
【参考1】産業別就業者（労働力調査）

- ・全産業に占める各産業の割合をみると、農林業、建設業、製造業の就業比率が減少傾向。
- ・それらに代わり、サービス業の就業比率が大きく増加している。

（単位：万人）

	全産業	農林業	漁業・鉱業	建設業	製造業	電気・ガス等、運輸・通信業	卸売・小売業、飲食店	金融・保険、不動産業	サービス業	公務	その他
54	5,479	568	57	536	1,333	382	1,228	185	980	201	9
57	5,638	502	56	541	1,380	382	1,296	206	1,065	195	15
60	5,807	464	54	530	1,453	376	1,318	217	1,173	199	23
63	6,011	435	47	560	1,454	384	1,389	236	1,284	194	28
3	6,369	391	42	604	1,550	411	1,433	263	1,446	199	30
6	6,453	346	34	655	1,496	432	1,443	262	1,542	215	28
9	6,557	324	33	685	1,442	448	1,475	253	1,648	215	34
12	6,446	297	34	653	1,321	449	1,474	248	1,718	214	39
15	6,316	266	32	604	1,178	528	1,483	232	1,705	227	59
18	6,382	250	25	559	1,161	541	1,450	234	1,871	222	71
21	6,282	242	23	517	1,073	575	1,435	275	1,859	222	61
24	6,270	224	19	503	1,032	559	1,418	275	1,954	224	64
27	6,376	208	23	500	1,035	572	1,437	273	1,997	230	101

構成比





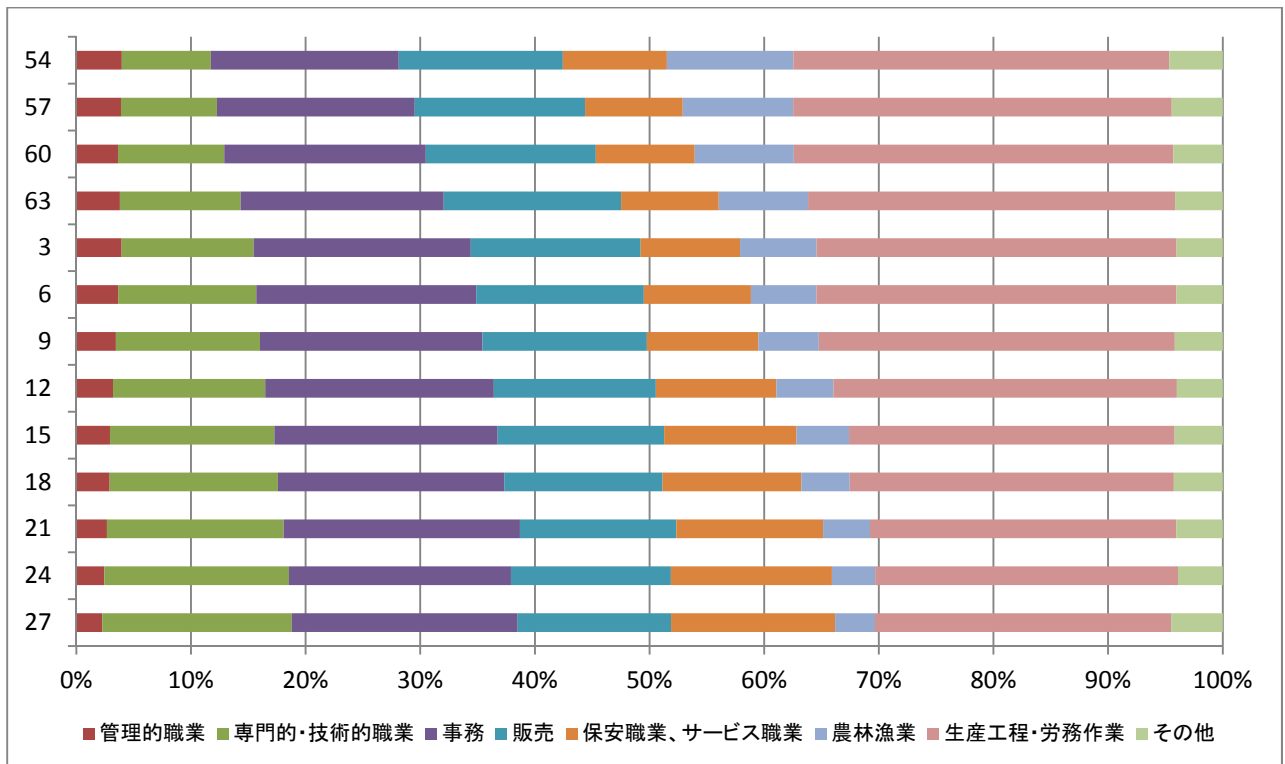
【参考2】職業別就業者（労働力調査）

- ・建設技能労働者を含む生産工程従事者・労務作業者が減少傾向。
- ・一方、専門的・技術的職業、保安職業・サービス職業従事者は増加傾向。

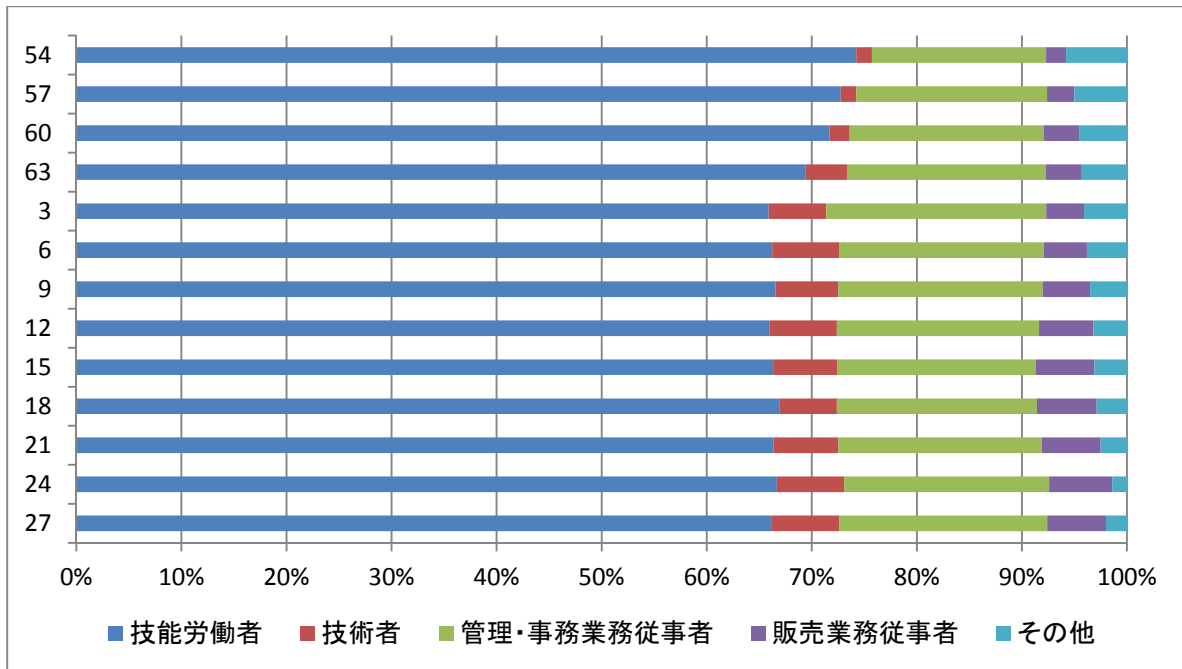
（単位：万人）

	就業者	管理的職業	専門的・技術的職業	事務	販売	保安職業、サービス職業	農林漁業	生産工程・労務作業	その他
54	5,479	217	426	898	784	497	605	1,797	255
57	5,638	220	471	973	838	480	543	1,862	251
60	5,807	211	538	1,021	861	501	502	1,923	250
63	6,011	228	633	1,065	930	512	469	1,924	250
3	6,369	252	733	1,206	944	552	425	2,000	257
6	6,453	235	778	1,238	943	603	369	2,026	261
9	6,557	226	824	1,273	940	637	346	2,037	274
12	6,446	206	856	1,285	911	677	321	1,931	258
15	6,316	185	906	1,230	917	729	289	1,794	265
18	6,382	185	937	1,260	881	772	269	1,805	272
21	6,282	168	968	1,295	857	804	257	1,678	255
24	6,270	153	1,010	1,214	875	880	237	1,656	245
27	6,376	144	1,054	1,256	853	912	222	1,647	287

構成比



- ・なお、建設業における職業別就業者比率については、昭和 50 年代から平成初頭にかけて、技能労働者の比率が 10%程度減少する動きが見られる。
- ・しかし、以降は職業別就業者比率に大きな変化は見られない。



#### 4. 建設業入職者の年齢構成（雇用動向調査）

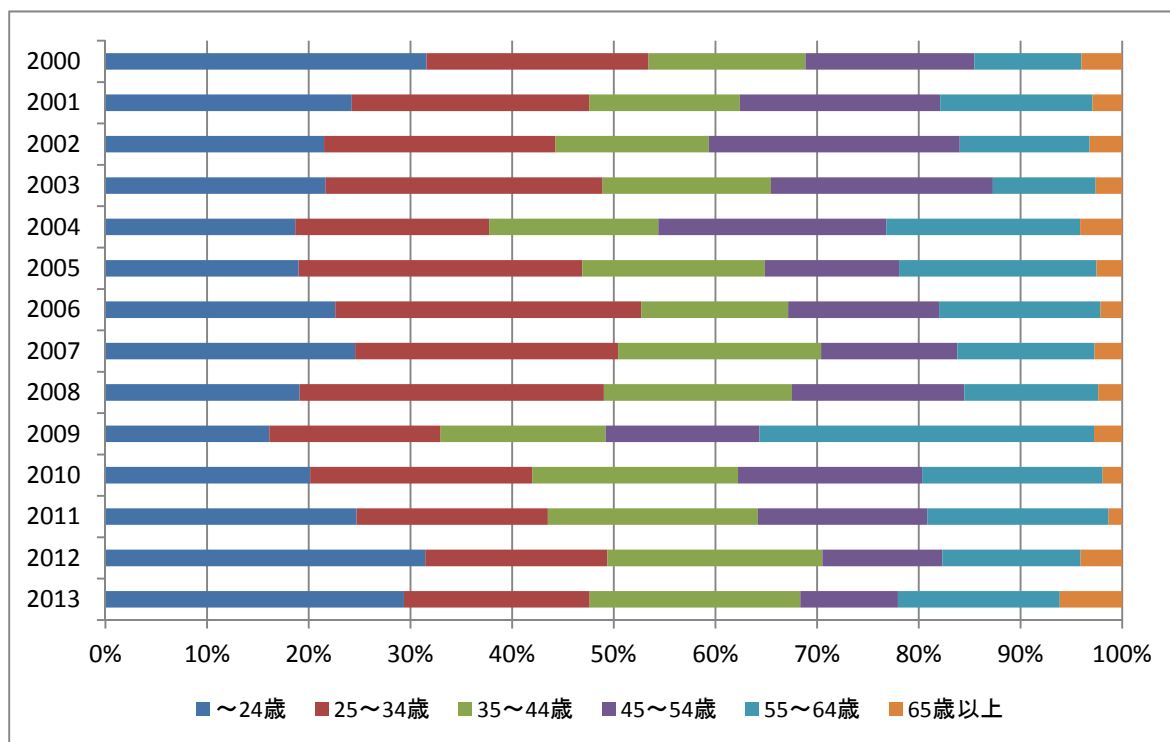
※各年度で数字のバラツキが大きい（全産業で数値を採った場合、バラツキは少ない）。

※雇用動向調査の統計作成手法（サンプル採取、推計方法等）の問題か？

（単位：千人）

	～24歳	25～34歳	35～44歳	45～54歳	55～64歳	65歳以上
2000	174.9	120.9	85.4	92	58.3	22.2
2001	120.3	116	73.5	97.9	74.4	14.5
2002	118.5	125.4	83	136	70.3	17.7
2003	76.9	97	58.9	77.6	35.9	9.3
2004	72.2	73.7	64.3	86.7	73.7	16
2005	66.7	97.9	63	46.3	68.1	8.9
2006	93.8	124.8	60	61.6	65.9	8.8
2007	85.6	90.2	69.6	46.7	47	9.5
2008	53.3	83.5	51.6	47.3	36.7	6.6
2009	51.8	54.1	52.2	48.6	105.7	8.9
2010	49.5	53.7	49.8	44.5	43.7	4.7
2011	68.4	52.1	57.2	46.1	49.4	3.7
2012	83.1	47.3	55.9	31.2	35.9	10.8
2013	101.5	63.1	71.6	33.2	55	21.2

構成比



## 5. 建設業離職者の年齢構成（雇用動向調査）

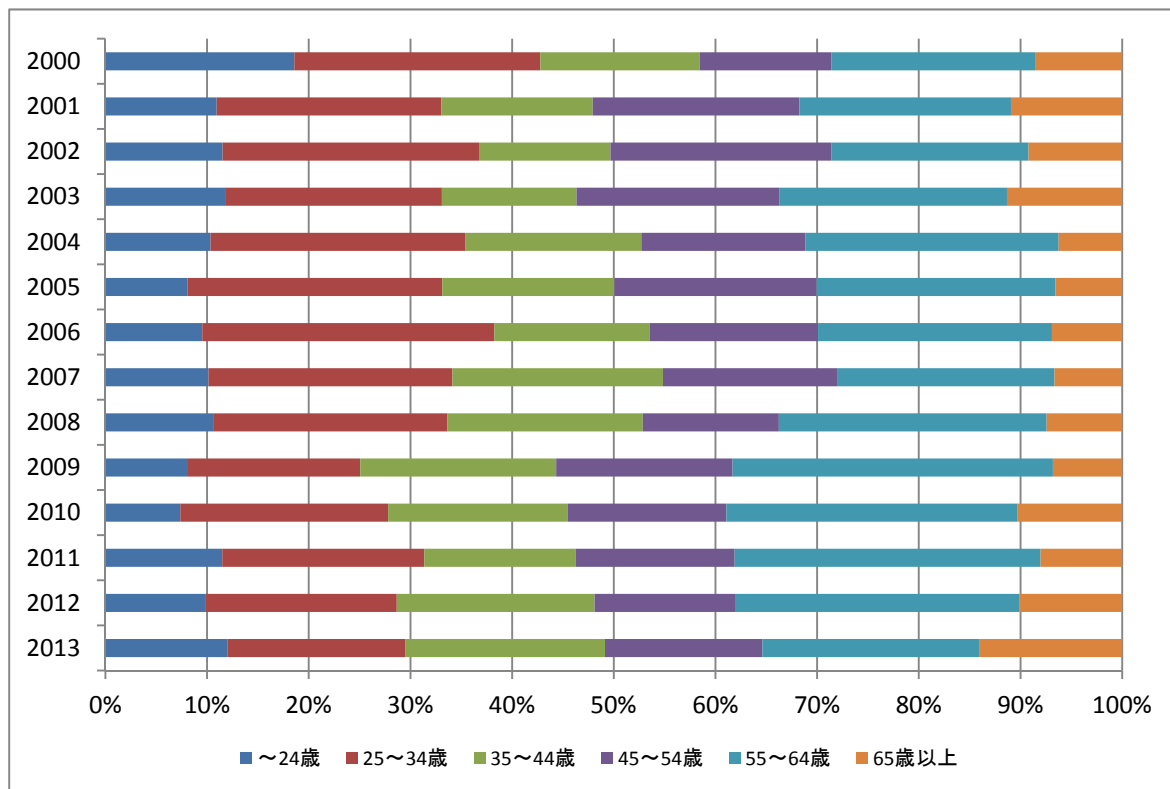
※各年度で数字のバラツキが大きい（全産業で数値を採った場合、バラツキは少ない）。

※雇用動向調査の統計作成手法（サンプル採取、推計方法等）の問題か？

（単位：千人）

	～24歳	25～34歳	35～44歳	45～54歳	55～64歳	65歳以上
2000	121.1	157.7	102.2	84.2	131.1	55.4
2001	68.8	138.9	93.5	127.8	130.8	68.8
2002	86.8	190	97.3	163.5	146.2	69.4
2003	64.8	116.2	72.4	109.3	122.2	62
2004	44.2	107	74.1	69	106.4	26.7
2005	37.5	116.7	78.8	92.7	109.3	30.6
2006	47	141.8	75.2	81.8	113.5	34.1
2007	37.8	89.4	77.1	64.1	79.4	24.8
2008	41.5	90.3	75.3	52.4	103.2	29.1
2009	26.6	55.5	63.1	56.8	103.2	22.3
2010	21.5	59.7	51.6	45.5	83.7	30
2011	33.5	57.9	43.4	45.6	87.7	23.4
2012	25.5	49	50.6	35.9	72.7	26.3
2013	36.9	53.7	60.2	47.5	65.4	43.2

構成比



## 6. 新規学卒者の就業・離職状況

- ・全産業と比較し、建設業の離職率は高率で推移。
- ・全産業との離職率の開きは、徐々に小幅になってきているが、依然、全産業より高い離職率となっている。

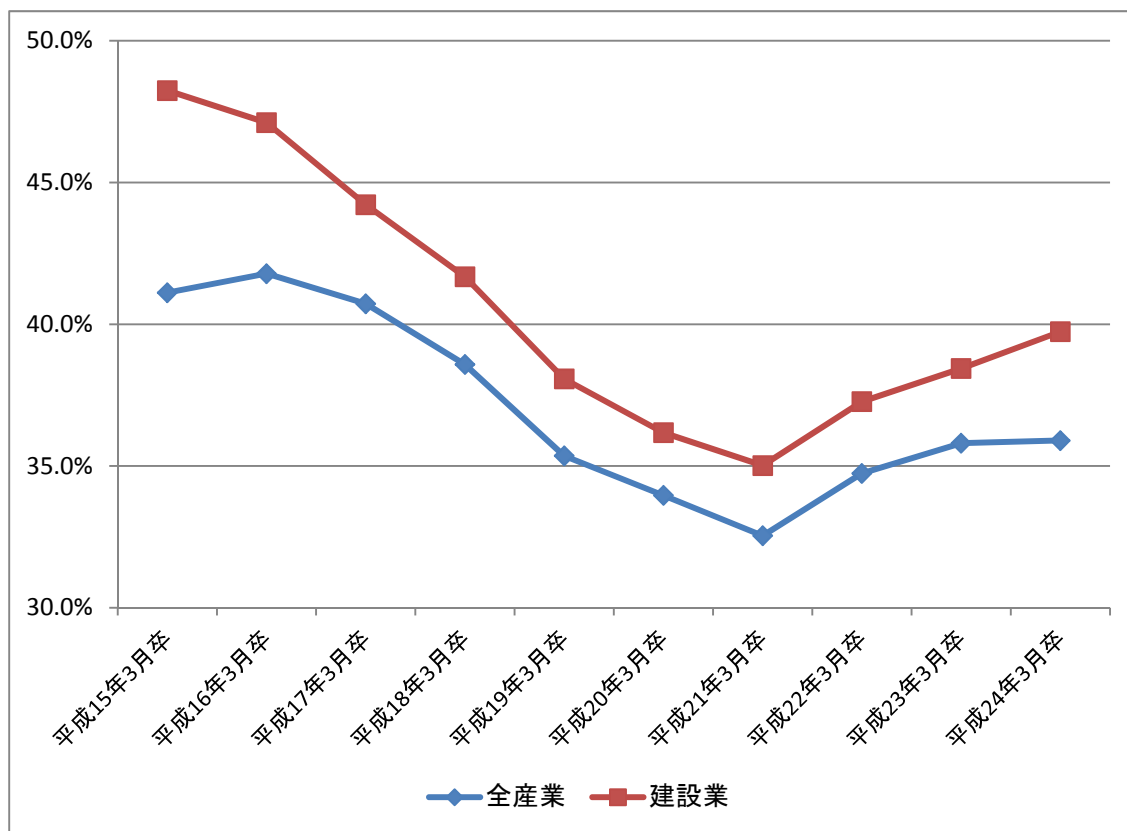
### 新規学卒就職者の3年以内離職状況(建設業)

	新規学卒合計						
	就職者数	離職者数 (3年目まで)	離職率 (3年目まで)	離職者数 (2年目まで)	離職率 (2年目まで)	離職者数 (1年目まで)	離職率 (1年目まで)
平成15年3月卒	30,253	14,595	48.2%	11,760	38.9%	7,829	25.9%
平成16年3月卒	28,658	13,501	47.1%	11,192	39.1%	7,317	25.5%
平成17年3月卒	29,356	12,981	44.2%	10,450	35.6%	7,075	24.1%
平成18年3月卒	30,562	12,737	41.7%	10,167	33.3%	6,570	21.5%
平成19年3月卒	31,405	11,957	38.1%	9,735	31.0%	6,054	19.3%
平成20年3月卒	30,216	10,931	36.2%	8,535	28.2%	5,475	18.1%
平成21年3月卒	28,334	9,922	35.0%	7,810	27.6%	4,703	16.6%
平成22年3月卒	31,002	11,555	37.3%	9,435	30.4%	6,091	19.6%
平成23年3月卒	30,079	11,563	38.4%	9,018	30.0%	6,087	20.2%
平成24年3月卒	32,034	12,730	39.7%	9,922	31.0%	6,240	19.5%
平成25年3月卒	35,580			11,004	30.9%	6,879	19.3%
平成26年3月卒	38,819					7,249	18.7%

### 新規学卒就職者の3年以内離職状況(全産業)

	新規学卒合計						
	就職者数	離職者数 (3年目まで)	離職率 (3年目まで)	離職者数 (2年目まで)	離職率 (2年目まで)	離職者数 (1年目まで)	離職率 (1年目まで)
平成15年3月卒	682,331	280,537	41.1%	212,007	31.1%	127,550	18.7%
平成16年3月卒	703,043	293,781	41.8%	221,758	31.5%	130,998	18.6%
平成17年3月卒	734,986	299,314	40.7%	229,170	31.2%	135,354	18.4%
平成18年3月卒	781,852	301,661	38.6%	231,707	29.6%	139,313	17.8%
平成19年3月卒	801,126	283,265	35.4%	219,429	27.4%	129,415	16.2%
平成20年3月卒	802,296	272,509	34.0%	201,877	25.2%	120,704	15.0%
平成21年3月卒	754,521	245,532	32.5%	183,845	24.4%	104,465	13.8%
平成22年3月卒	644,173	223,800	34.7%	171,923	26.7%	104,568	16.2%
平成23年3月卒	658,487	235,779	35.8%	174,654	26.5%	111,209	16.9%
平成24年3月卒	692,090	248,442	35.9%	184,663	26.7%	108,453	15.7%
平成25年3月卒	717,682			189,984	26.5%	112,196	15.6%
平成26年3月卒	737,353					110,954	15.0%

### 3年目までの離職率



【参考】転職者の前産業（雇用動向調査）

※転職により建設業に入職した者の全産業は、建設業が過半。他産業からの流入よりは同一産業内での移動が多数を占める状況。

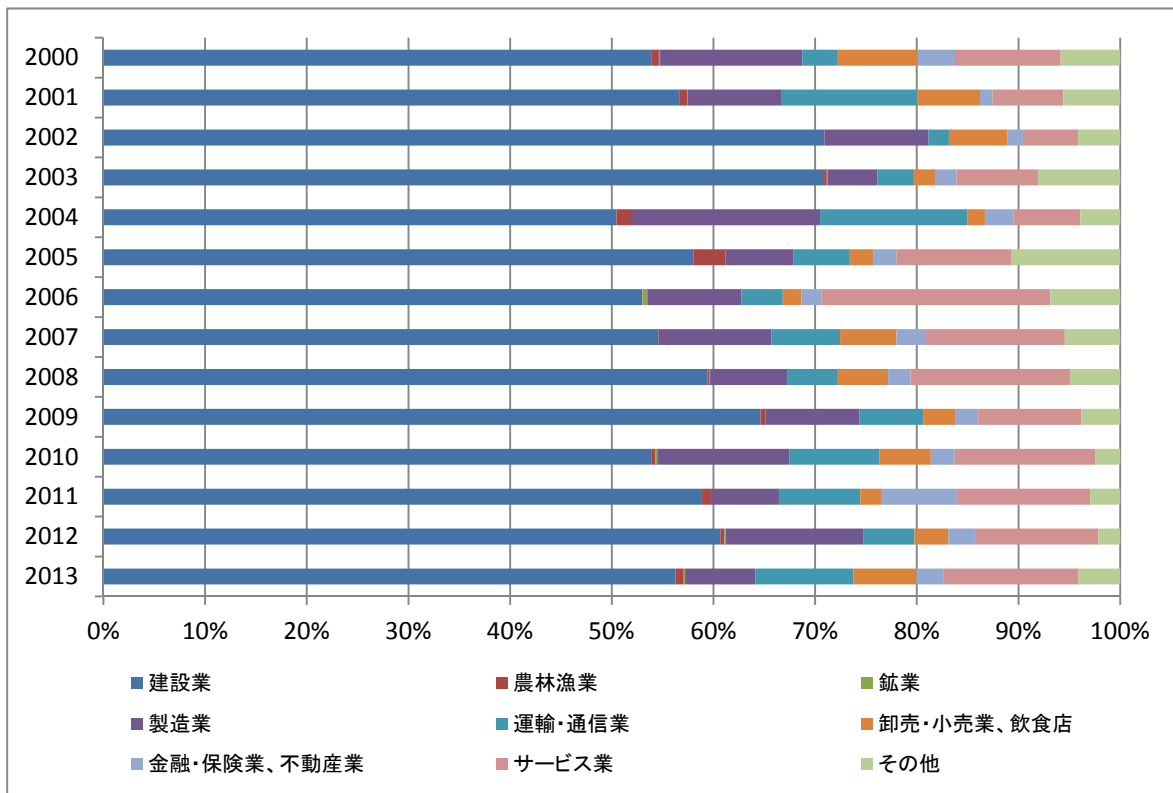
※なお、製造業入職者においても同様傾向がみられ、建設業の特徴的な動きとはいえない。

建設業入職者の前産業（転職者）

（単位：千人）

	計	建設業	農林漁業	鉱業	製造業	運輸・通信業	卸売・小売業、飲食店	金融・保険業、不動産業	サービス業	その他
2000	331.3	178.7	2.3	0.4	46.3	11.6	26.1	12.1	34.4	19.4
2001	354.1	198.7	2.7	0.3	32.4	46.8	21.6	4.4	24.4	19.6
2002	345.6	244.6	0.5	0.0	34.8	6.9	19.8	5.3	18.7	14.3
2003	255.8	181.3	0.7	0.2	12.5	9.2	5.5	5.2	20.5	20.7
2004	254.9	128.2	3.9	0.0	47.0	36.9	4.3	7.1	16.7	10.0
2005	247.3	142.5	7.7	0.0	16.4	13.7	5.6	5.6	27.9	26.2
2006	271.1	143.7	0.1	1.3	25.1	11.0	5.0	5.3	61.1	18.6
2007	213.5	116.0	0.3	0.0	23.7	14.4	11.8	6.0	29.3	11.6
2008	180.3	105.9	0.4	0.1	13.5	8.9	8.8	3.9	28.0	8.8
2009	242.0	156.4	1.2	0.0	22.4	15.1	7.6	5.5	24.6	9.2
2010	166.6	89.7	0.7	0.3	21.6	14.8	8.4	3.9	23.0	4.1
2011	160.1	94.2	1.4	0.0	10.7	12.8	3.4	11.8	21.0	4.7
2012	158.4	96.0	0.6	0.2	21.4	8.0	5.3	4.1	19.2	3.4
2013	191.4	107.3	1.4	0.4	13.2	18.4	11.8	5.0	25.4	7.8

構成比



【参考】入職経路（雇用動向調査）

- ・全産業と比較し、縁故による入職が多い。
- ・一方、広告による入職は、全産業と比較して少ない。

構成比(建設業)

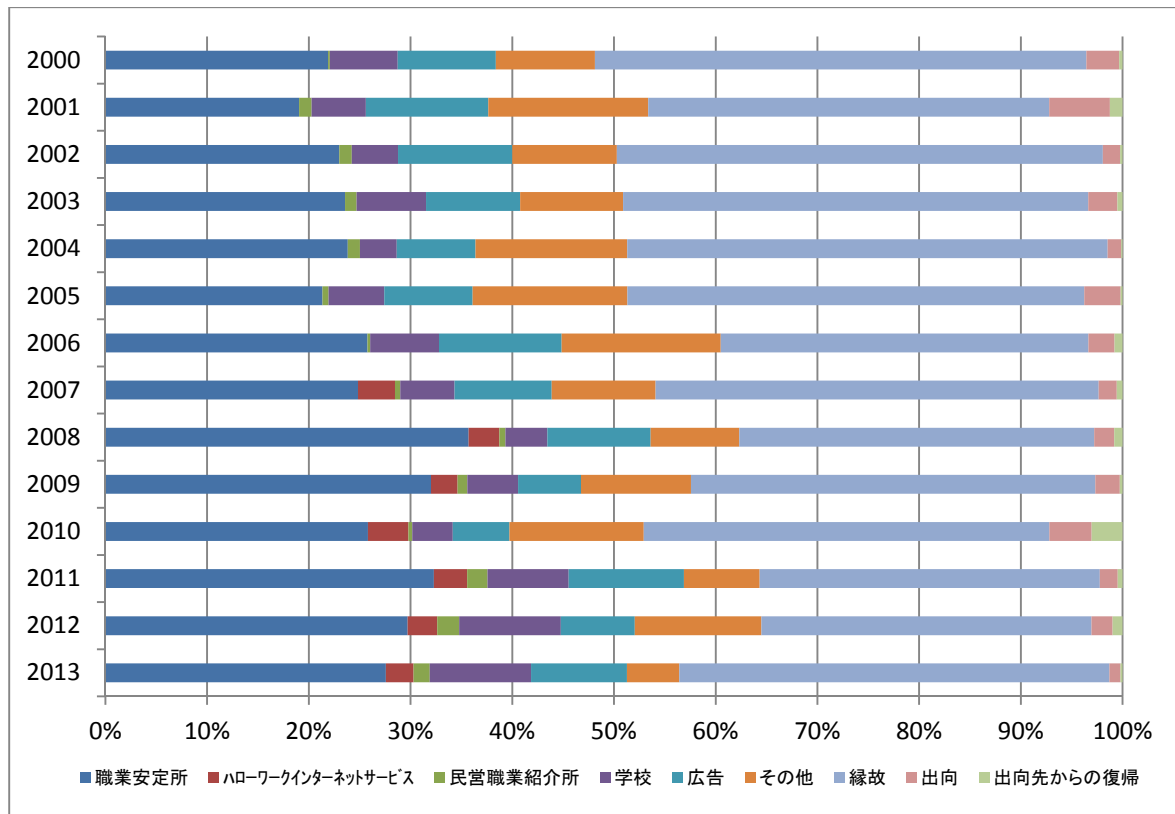
	職 業 紹 介 機 関 等						縁故・出向等		
	職業安定所	ハローワークインターネットサービス	民営職業紹介所	学校	広告	その他	縁故	出向	出向先からの復帰
2000	21.9%	0.0%	0.2%	6.7%	9.6%	9.7%	48.3%	3.2%	0.3%
2001	19.0%	0.0%	1.2%	5.3%	12.0%	15.7%	39.4%	6.0%	1.2%
2002	23.0%	0.0%	1.2%	4.6%	11.2%	10.3%	47.8%	1.7%	0.2%
2003	23.6%	0.0%	1.1%	6.8%	9.3%	10.1%	45.7%	2.9%	0.5%
2004	23.8%	0.0%	1.2%	3.6%	7.7%	14.9%	47.2%	1.3%	0.1%
2005	21.3%	0.0%	0.6%	5.5%	8.7%	15.2%	44.9%	3.6%	0.2%
2006	25.8%	0.0%	0.3%	6.8%	12.1%	15.6%	36.2%	2.6%	0.8%
2007	24.8%	3.6%	0.5%	5.3%	9.5%	10.2%	43.6%	1.8%	0.6%
2008	35.7%	3.0%	0.6%	4.1%	10.1%	8.7%	34.9%	2.0%	0.8%
2009	32.0%	2.6%	1.0%	5.0%	6.2%	10.8%	39.7%	2.4%	0.3%
2010	25.8%	4.0%	0.4%	4.0%	5.6%	13.2%	39.9%	4.1%	3.0%
2011	32.3%	3.3%	2.0%	8.0%	11.3%	7.4%	33.4%	1.8%	0.5%
2012	29.7%	2.9%	2.2%	10.0%	7.3%	12.4%	32.4%	2.1%	1.0%
2013	27.6%	2.7%	1.6%	10.0%	9.4%	5.1%	42.3%	1.1%	0.2%

構成比(全産業)

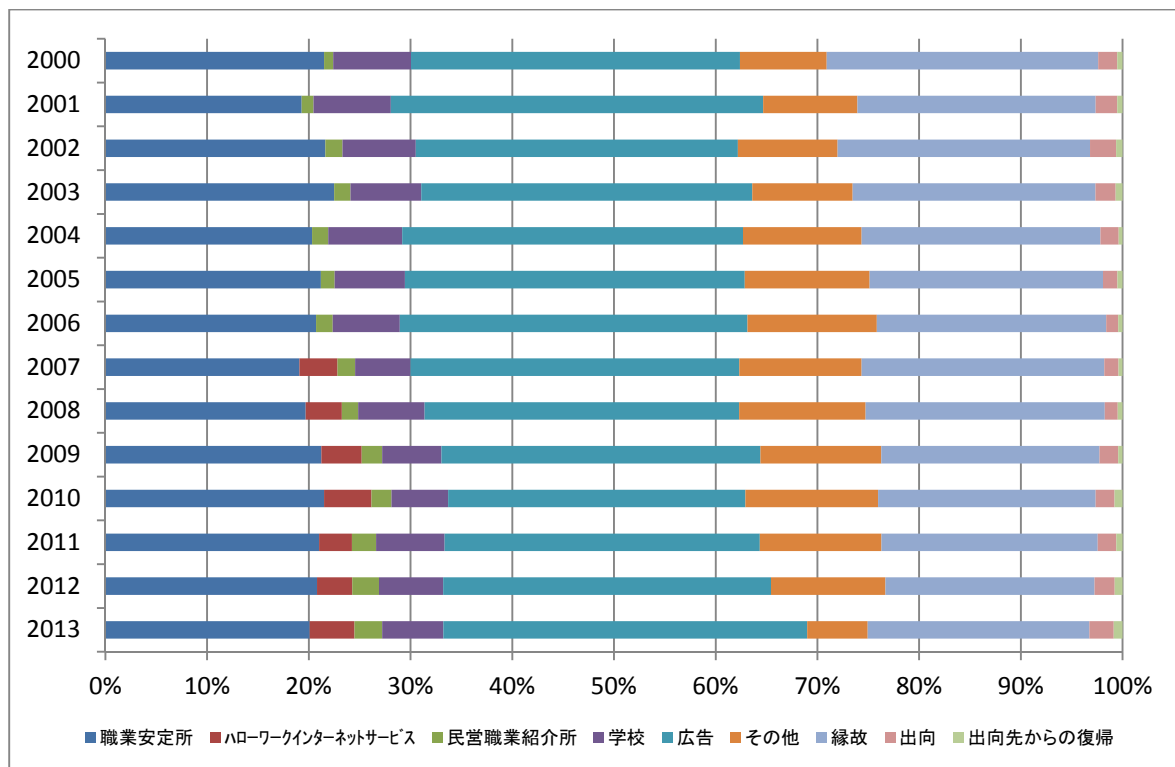
	職 業 紹 介 機 関 等						縁故・出向等		
	職業安定所	ハローワークインターネットサービス	民営職業紹介所	学校	広告	その他	縁故	出向	出向先からの復帰
2000	21.5%	0.0%	0.9%	7.7%	32.3%	8.5%	26.7%	1.9%	0.5%
2001	19.3%	0.0%	1.2%	7.6%	36.6%	9.3%	23.4%	2.1%	0.5%
2002	21.6%	0.0%	1.7%	7.2%	31.7%	9.8%	24.8%	2.6%	0.6%
2003	22.5%	0.0%	1.6%	6.9%	32.5%	9.9%	23.9%	2.0%	0.7%
2004	20.3%	0.0%	1.6%	7.3%	33.5%	11.7%	23.5%	1.8%	0.4%
2005	21.2%	0.0%	1.3%	6.9%	33.4%	12.3%	22.9%	1.4%	0.5%
2006	20.7%	0.0%	1.6%	6.6%	34.2%	12.7%	22.5%	1.2%	0.4%
2007	19.1%	3.7%	1.7%	5.5%	32.3%	12.0%	23.9%	1.4%	0.4%
2008	19.7%	3.6%	1.6%	6.5%	30.9%	12.4%	23.5%	1.3%	0.5%
2009	21.2%	4.0%	2.0%	5.8%	31.4%	11.9%	21.5%	1.8%	0.4%
2010	21.5%	4.7%	2.0%	5.6%	29.2%	13.1%	21.4%	1.8%	0.8%
2011	21.0%	3.2%	2.4%	6.7%	31.0%	12.0%	21.3%	1.8%	0.6%
2012	20.8%	3.5%	2.6%	6.3%	32.2%	11.3%	20.5%	2.0%	0.8%
2013	20.1%	4.4%	2.7%	6.0%	35.8%	5.9%	21.8%	2.4%	0.9%



構成比（建設業）



構成比（全産業）



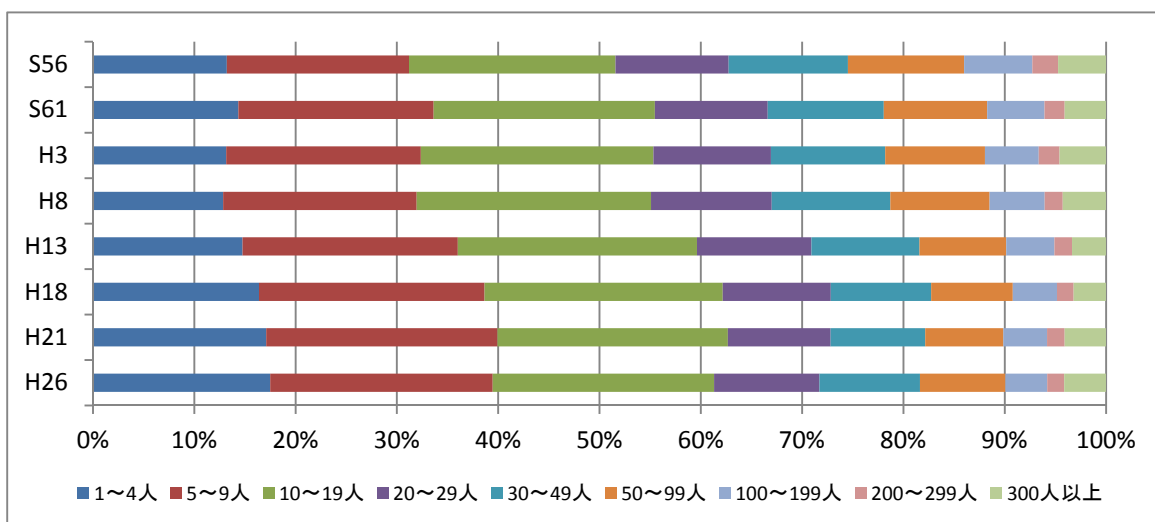
【参考】 従業者規模別従業者（経済センサス、事業所・企業統計調査）

- ・建設業においては、約 40%（H26 数値）の従業者が従業者 9 名以下の事業所で従事しており、全産業と比較し、従業者規模の小さい事業所で従事する者の割合が高い。
- ・また、建設業においては従業者 9 名以下の事業所で従事する者の割合は増加傾向にあり、全産業における傾向と逆傾向を示している。

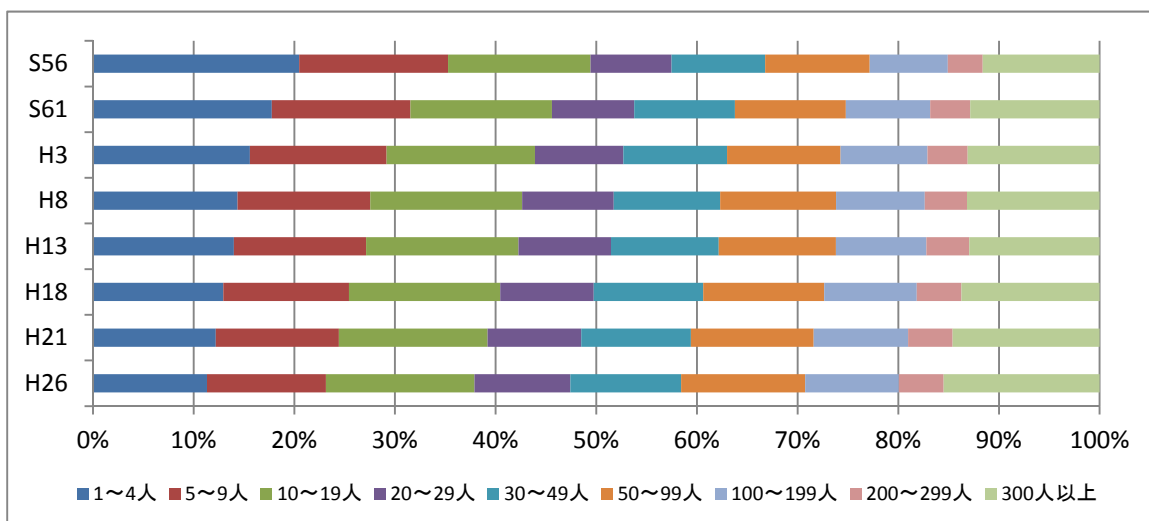
(単位:千人)

	従業者計	1~4人	5~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~99人	100~199人	200~299人	300人以上
56	4,948	654	889	1,008	552	582	567	333	125	234
61	4,796	688	924	1,047	533	549	489	271	95	195
3	5,281	694	1,014	1,213	612	596	519	280	108	242
8	5,774	741	1,103	1,336	687	675	565	314	102	247
13	4,943	729	1,050	1,167	558	527	423	235	85	165
18	4,144	679	922	974	442	410	333	181	67	132
21	4,320	738	986	982	438	403	333	186	75	176
26	3,791	663	832	828	394	376	319	156	63	156

構成比（建設業）



構成比（全産業）



## 高等学校等の状況について

### 1. 高等学校関係

- 平成26年度の工業高校数は603校、うち建設系高校数は356校となっており、漸減傾向にある。
- 学科数については、全学科数、工業系学科数、建設系学科数ともに大幅に減少してきたが、平成24年度以降、減少幅が縮小している。
- 生徒数については、全生徒数、工業系学科生徒数、建設系学科生徒数ともに大幅に減少してきたが、全生徒数は平成21年度以降横ばいで推移し、工業系生徒数、建設系生徒数においても平成24年度以降は減少幅が縮小している。

#### (1) 工業高校の状況

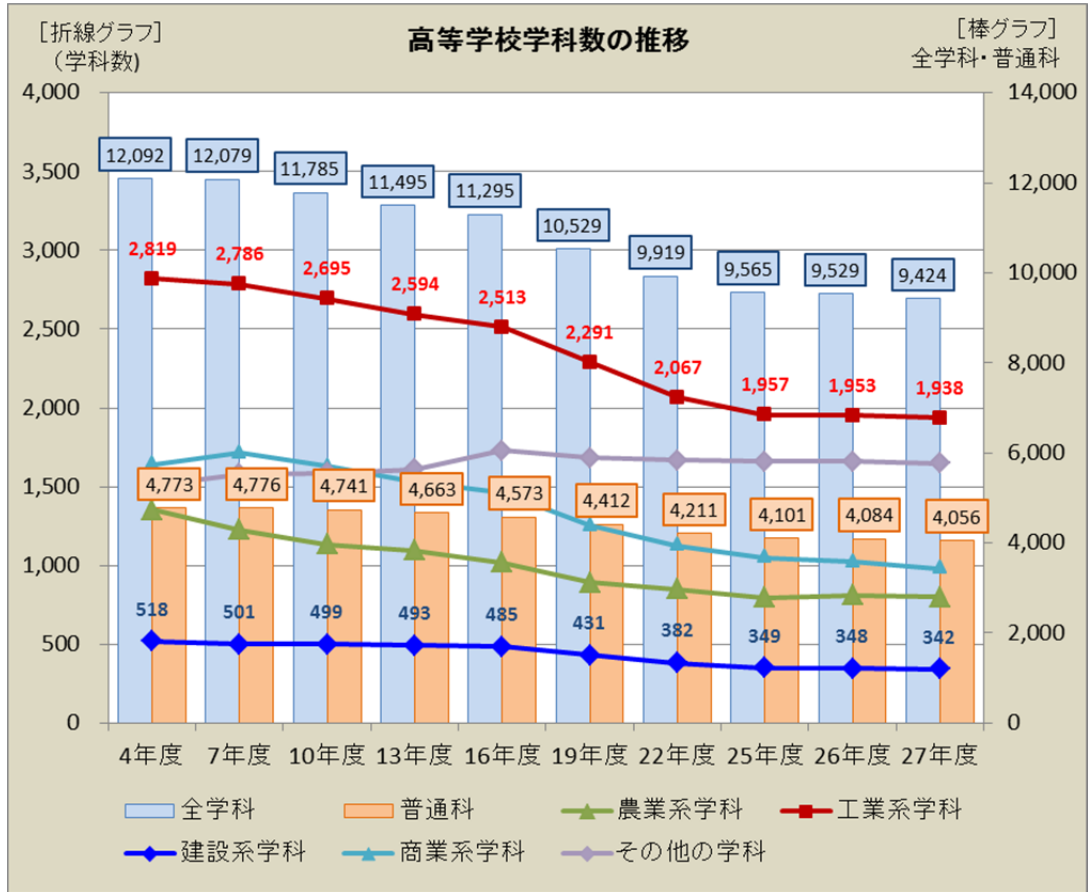
年度	工業高校数	うち建設系高校数
22	612	390
24	612	362
26	603	356

全国工業高等学校長協会(会員校)基本調査より

#### (2) 学科数及び生徒数の推移

##### ① 学科数の推移

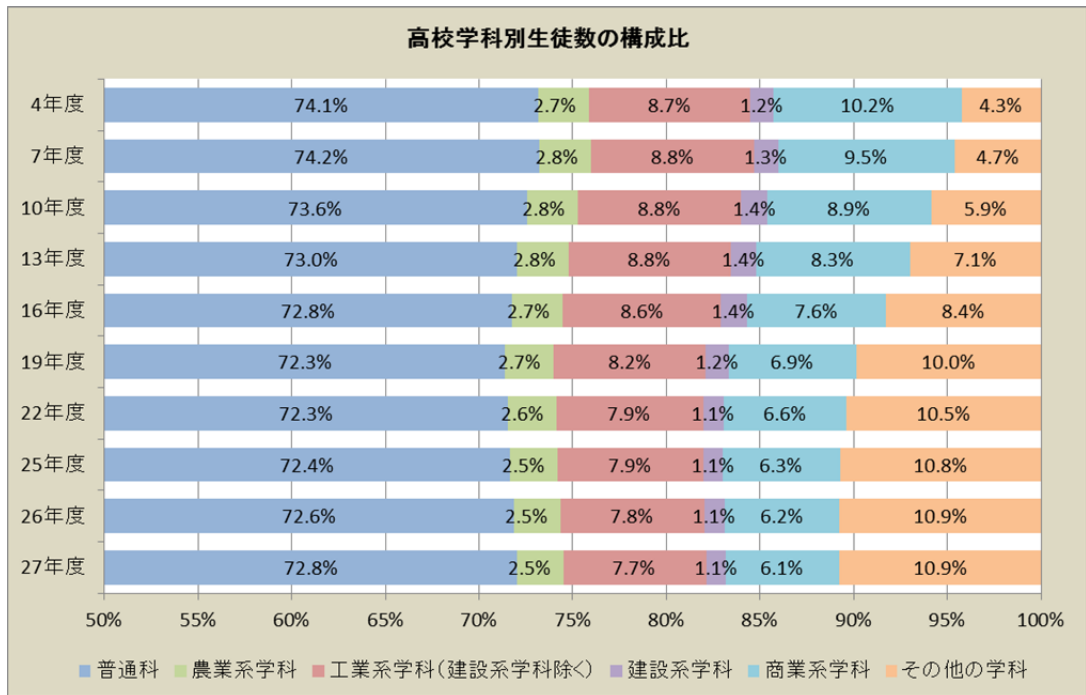
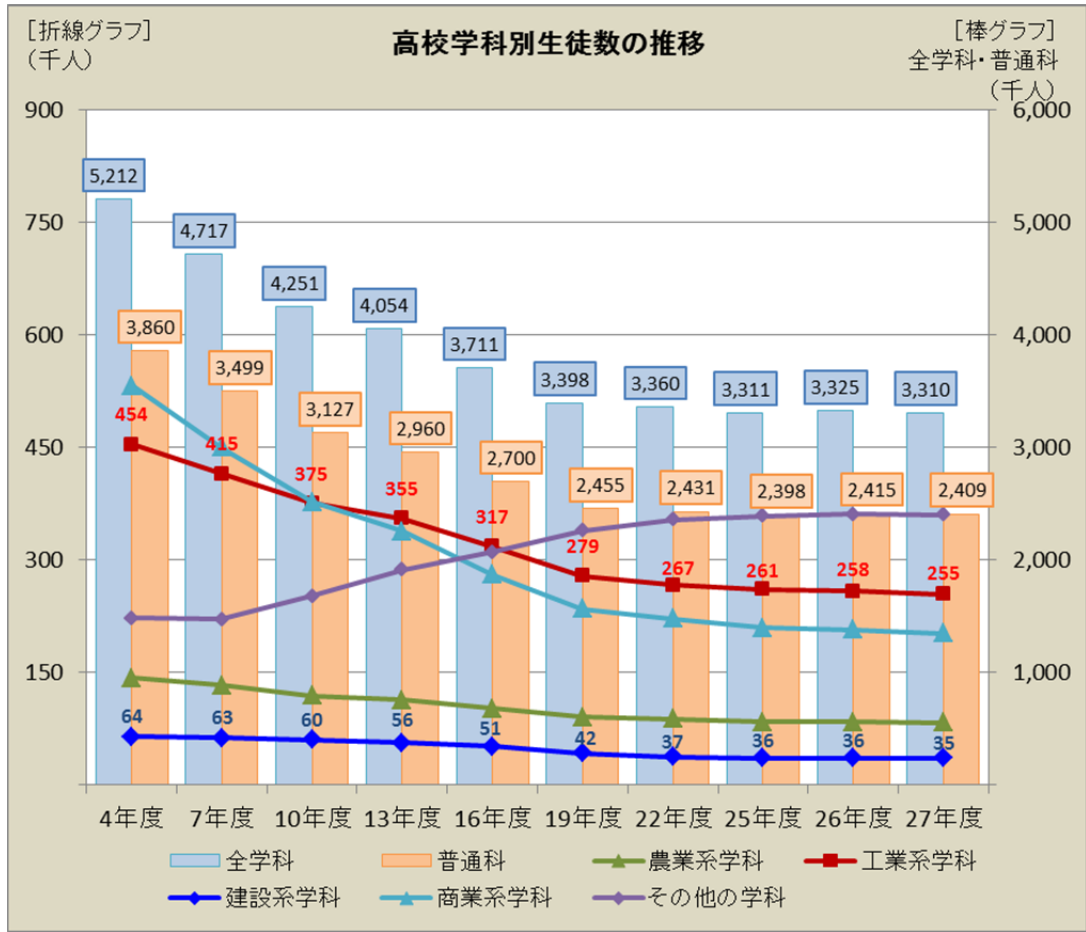
年度	全学科	普通科	農業系学科	工業系学科	建設系学科	商業系学科	その他学科
	増減割合	増減割合	増減割合	増減割合	増減割合	増減割合	増減割合
4年度	12,092	4,773	1,352	2,819	518	1,639	1,509
	-	-	-	-	-	-	-
7年度	12,079	4,776	1,225	2,786	501	1,714	1,578
	-0.1%	0.1%	-9.4%	-1.2%	-3.3%	4.6%	4.6%
10年度	11,785	4,741	1,133	2,695	499	1,628	1,588
	-2.4%	-0.7%	-7.5%	-3.3%	-0.4%	-5.0%	0.6%
13年度	11,495	4,663	1,096	2,594	493	1,531	1,611
	-2.5%	-1.6%	-3.3%	-3.7%	-1.2%	-6.0%	1.4%
16年度	11,295	4,573	1,020	2,513	485	1,459	1,730
	-1.7%	-1.9%	-6.9%	-3.1%	-1.6%	-4.7%	7.4%
19年度	10,529	4,412	892	2,291	431	1,252	1,682
	-6.8%	-3.5%	-12.5%	-8.8%	-11.1%	-14.2%	-2.8%
22年度	9,919	4,211	848	2,067	382	1,127	1,666
	-5.8%	-4.6%	-4.9%	-9.8%	-11.4%	-10.0%	-1.0%
25年度	9,565	4,101	796	1,957	349	1,050	1,661
	-3.6%	-2.6%	-6.1%	-5.3%	-8.6%	-6.8%	-0.3%
26年度	9,529	4,084	811	1,953	348	1,021	1,660
	-0.4%	-0.4%	1.9%	-0.2%	-0.3%	-2.8%	-0.1%
27年度	9,424	4,056	800	1,938	342	982	1,648
	-1.1%	-0.7%	-1.4%	-0.8%	-1.7%	-3.8%	-0.7%
4年度との比較 (27年度)	-2,668	-717	-552	-881	-176	-657	139
	-22.1%	-15.0%	-40.8%	-31.3%	-34.0%	-40.1%	9.2%



## ② 生徒数の推移

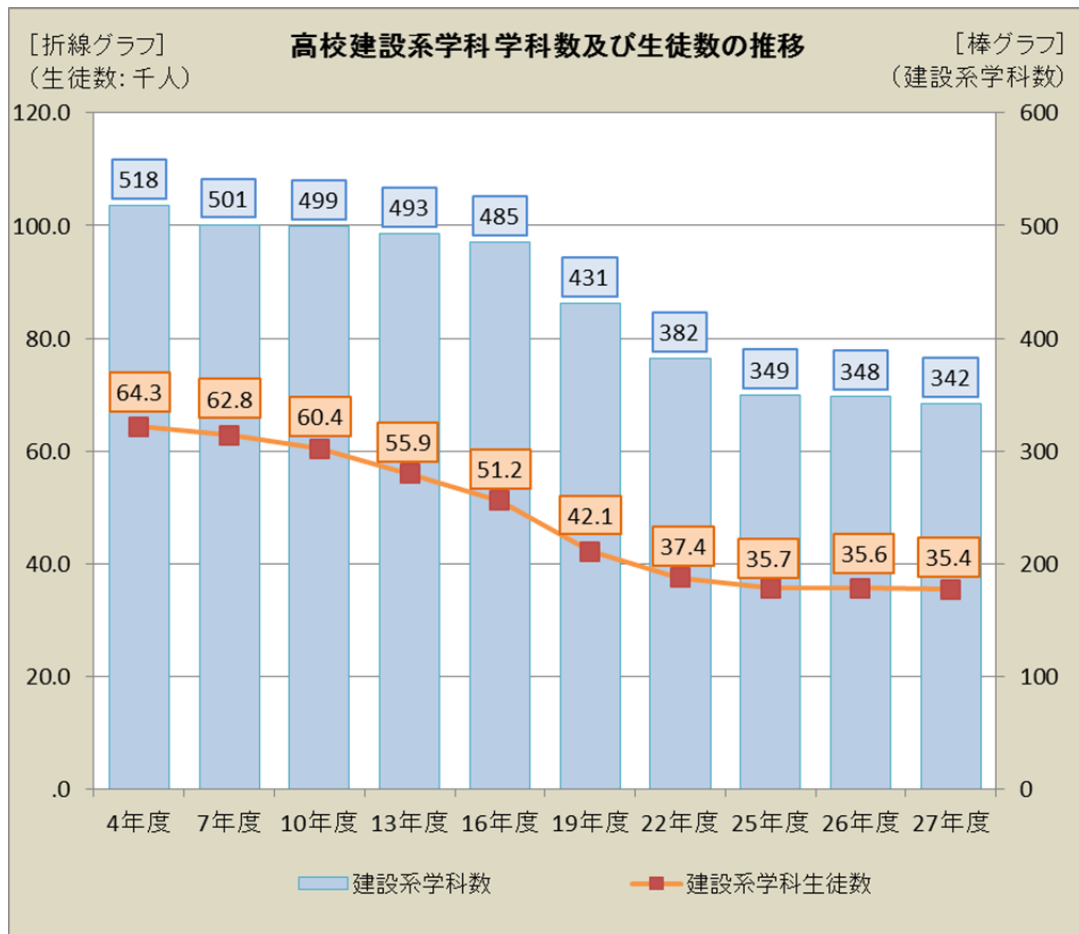
(人数単位:千人)

年度	全生徒数	普通科生徒数	農業系生徒数	工業系生徒数	建設系生徒数	商業系生徒数	その他生徒数
	増減割合	増減割合	増減割合	増減割合	増減割合	増減割合	増減割合
4年度	5,212	3,860	143	454	64.3	532	222
7年度	4,717	3,499	133	415	62.8	450	220
10年度	4,251	3,127	119	375	60.4	377	252
13年度	4,054	2,960	113	355	55.9	338	287
16年度	3,711	2,700	102	317	51.2	281	311
19年度	3,398	2,455	90	279	42.1	235	339
22年度	3,360	2,431	88	267	37.4	221	354
25年度	3,311	2,398	84	261	35.7	209	359
26年度	3,325	2,415	84	258	35.6	207	361
27年度	3,310	2,409	83	255	35.4	202	360
4年度との比較(27年度)	-1,902	-1,450	-60	-200	-28.9	-330	138
	-36.5%	-37.6%	-41.8%	-44.0%	-44.9%	-62.0%	62.1%



出所：文部科学省 学校基本調査より作成

③ 建設系学科数及び生徒数の推移

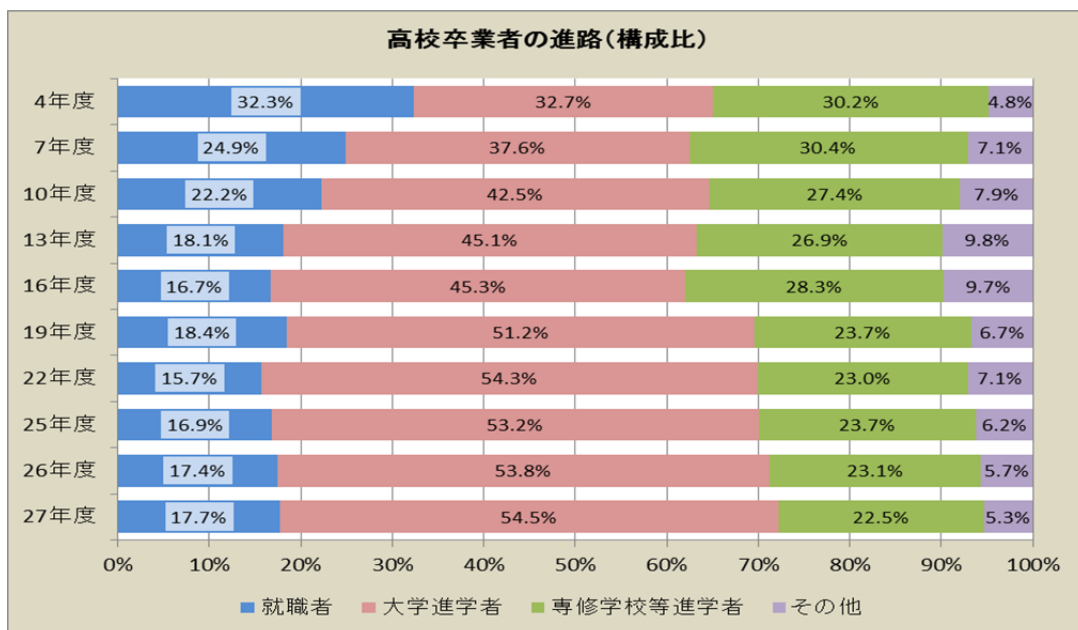
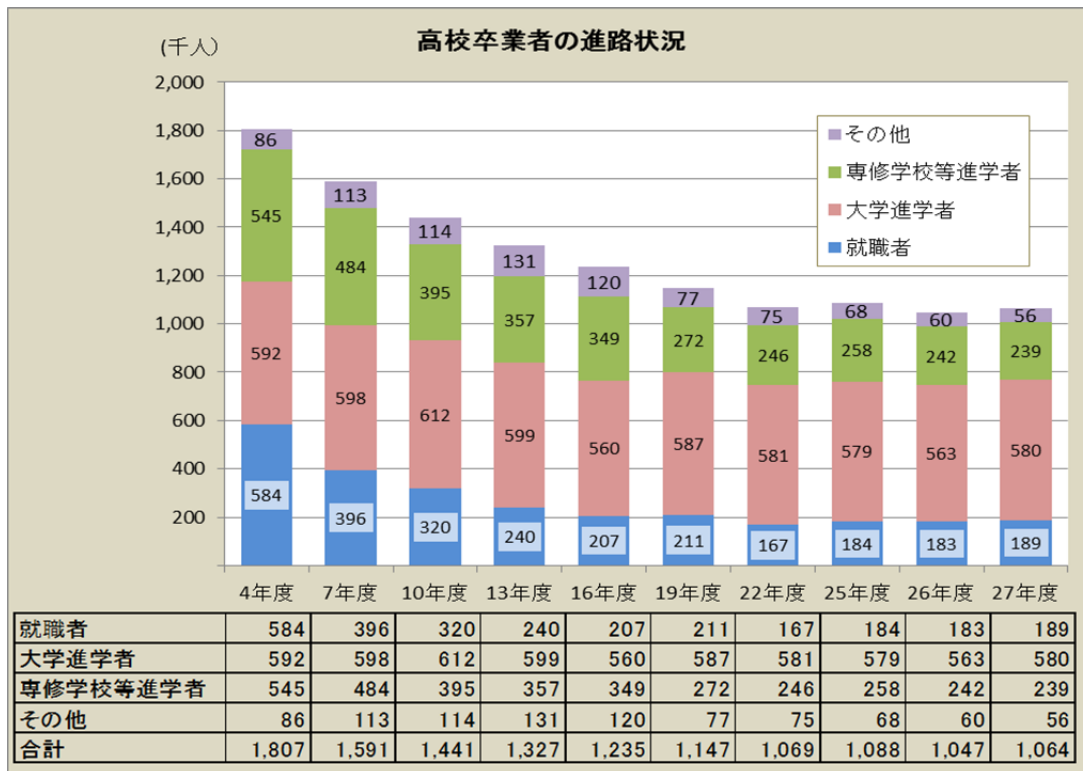


出所：文部科学省 学校基本調査より作成

### (3) 高校生の進路

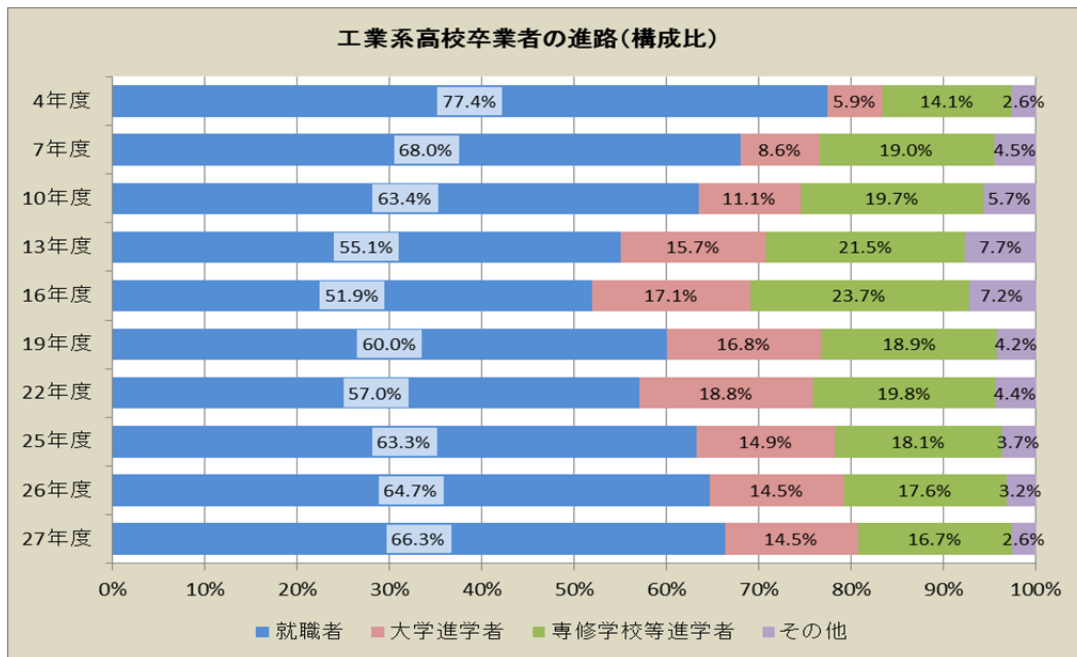
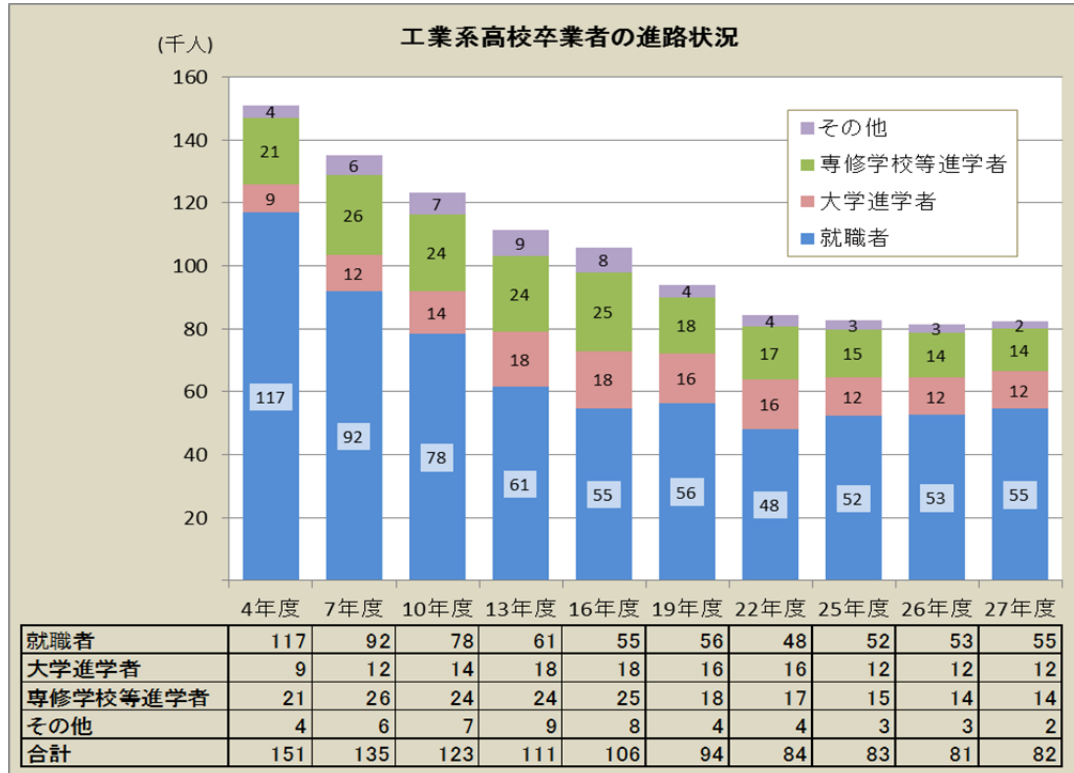
- 高校卒業者の進路をみると、大学進学者、専修学校等進学者、就職者ともに平成21年度以降、ほぼ横ばいの傾向となっている。
- 工業系高校卒業者の進路をみると、大学進学者、専修学校等進学者は減少傾向からここ数年は横ばい傾向に、就職者は大幅な減少から平成15年度以降はほぼ横ばいの傾向となっている。

#### ① 高校卒業者の進路状況



出所：文部科学省 学校基本調査より作成

## ② 工業系高校卒業者の進路状況



出所：文部科学省 学校基本調査より作成



③ 平成27年3月高校卒業者の進路状況（都道府県別）

都道府県	就職者 総数 (人)	建設業への 就職者数 (人)	就職割合 (%)	【参考】	【参考】	建設業の割合(建設業就職者÷就職者総数×100)
				建設業地元就 職者数(人)	地元就職割合 (%)	
北海道	10,182	990	9.7%	918	92.7%	9.7%
青森	4,092	419	10.2%	223	53.2%	10.2%
岩手	3,584	460	12.8%	284	61.7%	12.8%
宮城	4,732	463	9.8%	384	82.9%	9.8%
秋田	2,641	312	11.8%	225	72.1%	11.8%
山形	3,134	359	11.5%	292	81.3%	11.5%
福島	5,249	487	9.3%	412	84.6%	9.3%
茨城	5,515	423	7.7%	381	90.1%	7.7%
栃木	3,821	291	7.6%	244	83.8%	7.6%
群馬	3,418	273	8.0%	256	93.8%	8.0%
埼玉	8,198	713	8.7%	558	78.3%	8.7%
千葉	6,627	571	8.6%	487	85.3%	8.6%
東京	6,685	746	11.2%	687	92.1%	11.2%
神奈川	5,256	544	10.4%	450	82.7%	10.4%
新潟	3,896	491	12.6%	454	92.5%	12.6%
富山	2,081	186	8.9%	175	94.1%	8.9%
石川	2,208	212	9.6%	197	92.9%	9.6%
福井	1,787	180	10.1%	153	85.0%	10.1%
山梨	1,480	142	9.6%	126	88.7%	9.6%
長野	3,488	329	9.4%	305	92.7%	9.4%
岐阜	4,360	324	7.4%	274	84.6%	7.4%
静岡	7,140	434	6.1%	395	91.0%	6.1%
愛知	11,819	690	5.8%	663	96.1%	5.8%
三重	4,209	225	5.3%	193	85.8%	5.3%
滋賀	2,284	106	4.6%	94	88.7%	4.6%
京都	1,981	140	7.1%	116	82.9%	7.1%
大阪	8,613	645	7.5%	581	90.1%	7.5%
兵庫	6,319	394	6.2%	338	85.8%	6.2%
奈良	1,395	82	5.9%	57	69.5%	5.9%
和歌山	1,990	128	6.4%	96	75.0%	6.4%
鳥取	1,300	127	9.8%	92	72.4%	9.8%
島根	1,434	217	15.1%	159	73.3%	15.1%
岡山	4,022	352	8.8%	279	79.3%	8.8%
広島	3,515	256	7.3%	224	87.5%	7.3%
山口	3,421	261	7.6%	206	78.9%	7.6%
徳島	1,535	102	6.6%	76	74.5%	6.6%
香川	1,662	170	10.2%	154	90.6%	10.2%
愛媛	2,541	245	9.6%	195	79.6%	9.6%
高知	1,154	135	11.7%	93	68.9%	11.7%
福岡	7,587	706	9.3%	588	83.3%	9.3%
佐賀	2,638	314	11.9%	214	68.2%	11.9%
長崎	3,962	399	10.1%	178	44.6%	10.1%
熊本	4,140	384	9.3%	217	56.5%	9.3%
大分	2,771	341	12.3%	240	70.4%	12.3%
宮崎	3,241	297	9.2%	168	56.6%	9.2%
鹿児島	4,167	402	9.6%	197	49.0%	9.6%
沖縄	2,405	294	12.2%	164	55.8%	12.2%
計	189,679	16,761	8.8%	13,462	80.3%	8.8%

\* 就職者には大学及び専修学校等進学者のうち調査期日(5月1日)時点で就職している者を含む。

出所：文部科学省 学校基本調査より作成

④ 高校卒業者の就職割合の推移（都道府県別）

都道府県	H4	H7	H10	H13	H16	H19	H22	H25	H26	H27	H27-H4 (ポイント)
北海道	41.30%	32.43%	27.52%	22.89%	19.98%	20.84%	18.27%	21.89%	22.92%	23.37%	△ 17.93
青森	53.15%	44.57%	40.04%	33.14%	29.99%	32.70%	28.54%	31.88%	32.70%	32.61%	△ 20.54
岩手	50.07%	40.72%	37.53%	31.91%	29.94%	31.47%	27.13%	29.91%	30.23%	30.62%	△ 19.45
宮城	40.61%	32.58%	29.23%	23.20%	21.30%	25.30%	19.93%	23.28%	24.05%	23.87%	△ 16.74
秋田	51.69%	41.04%	36.19%	31.93%	30.02%	31.52%	26.75%	29.54%	30.06%	29.68%	△ 22.01
山形	49.17%	39.74%	37.18%	32.57%	29.17%	28.86%	25.00%	28.23%	29.64%	29.48%	△ 19.69
福島	48.89%	39.32%	37.28%	30.41%	27.86%	30.21%	25.95%	28.53%	28.34%	29.41%	△ 19.48
茨城	37.02%	27.89%	24.50%	19.84%	18.89%	20.97%	17.41%	20.00%	20.92%	21.57%	△ 15.45
栃木	38.54%	30.47%	27.31%	22.07%	19.90%	22.09%	18.24%	19.81%	22.29%	21.85%	△ 16.69
群馬	37.42%	27.27%	24.46%	19.92%	16.76%	17.78%	15.98%	17.89%	18.66%	19.60%	△ 17.82
埼玉	29.78%	21.56%	18.92%	14.48%	13.02%	14.57%	12.14%	13.22%	13.96%	14.36%	△ 15.42
千葉	26.55%	18.50%	16.54%	12.60%	11.72%	14.14%	11.34%	12.51%	13.17%	13.51%	△ 13.04
東京	20.23%	12.81%	10.57%	7.52%	6.82%	7.56%	5.76%	5.89%	6.24%	6.64%	△ 13.59
神奈川	22.68%	15.16%	13.68%	9.80%	8.96%	9.66%	7.81%	7.66%	7.80%	8.14%	△ 14.54
新潟	42.08%	31.66%	26.13%	20.70%	17.83%	19.32%	15.75%	17.34%	18.93%	19.60%	△ 22.47
富山	32.57%	26.12%	22.51%	19.45%	19.38%	20.24%	18.02%	20.60%	22.17%	22.22%	△ 10.35
石川	35.55%	27.49%	23.18%	20.64%	19.69%	21.07%	19.29%	20.88%	21.95%	21.41%	△ 14.15
福井	35.74%	29.59%	25.90%	24.04%	20.62%	22.40%	19.66%	23.55%	24.00%	23.82%	△ 11.92
山梨	32.67%	24.94%	21.35%	17.88%	14.83%	15.60%	14.08%	15.10%	16.63%	17.31%	△ 15.36
長野	33.75%	25.50%	21.37%	16.84%	14.61%	15.73%	13.49%	16.38%	18.26%	18.47%	△ 15.28
岐阜	40.51%	33.00%	29.54%	25.48%	22.80%	23.77%	20.91%	22.64%	23.23%	23.60%	△ 16.91
静岡	35.78%	27.14%	24.28%	21.97%	21.09%	22.91%	20.26%	21.29%	21.50%	22.03%	△ 13.75
愛知	31.28%	23.62%	21.32%	18.14%	16.93%	19.43%	16.84%	17.75%	18.64%	18.71%	△ 12.57
三重	40.38%	32.15%	28.73%	24.51%	23.42%	26.22%	23.94%	25.24%	26.02%	26.33%	△ 14.05
滋賀	32.33%	25.30%	22.93%	17.85%	15.50%	17.44%	15.29%	16.56%	17.46%	18.48%	△ 13.85
京都	25.69%	19.48%	15.92%	11.14%	9.73%	9.75%	8.49%	8.42%	8.25%	8.63%	△ 17.07
大阪	27.91%	21.04%	17.70%	12.76%	11.30%	12.53%	10.70%	11.19%	11.62%	11.66%	△ 16.25
兵庫	27.94%	21.24%	18.14%	13.93%	13.12%	14.71%	12.76%	13.19%	13.56%	13.78%	△ 14.17
奈良	24.71%	18.90%	15.51%	11.03%	10.33%	11.78%	10.47%	10.88%	11.83%	11.70%	△ 13.00
和歌山	40.43%	31.35%	25.91%	18.53%	17.76%	20.54%	19.00%	20.54%	20.85%	21.86%	△ 18.57
鳥取	44.75%	38.30%	33.51%	28.62%	24.58%	24.86%	20.70%	23.81%	24.97%	25.72%	△ 19.03
島根	43.14%	33.85%	29.84%	25.27%	22.25%	23.20%	19.93%	21.98%	21.93%	23.19%	△ 19.94
岡山	35.25%	28.45%	25.02%	20.80%	19.26%	21.78%	18.84%	21.19%	21.97%	22.81%	△ 12.44
広島	26.01%	18.83%	16.80%	13.06%	13.03%	14.16%	12.74%	13.76%	14.38%	14.80%	△ 11.21
山口	38.71%	32.01%	28.69%	24.87%	24.85%	28.53%	26.58%	27.82%	28.65%	30.05%	△ 8.66
徳島	39.83%	30.56%	27.52%	21.37%	20.53%	21.04%	19.34%	21.67%	22.85%	23.78%	△ 16.05
香川	32.90%	25.28%	21.00%	16.42%	15.24%	17.05%	16.06%	18.79%	18.24%	20.11%	△ 12.78
愛媛	37.46%	30.78%	26.32%	22.37%	19.88%	22.20%	20.09%	21.64%	21.99%	22.17%	△ 15.29
高知	40.11%	31.94%	26.04%	18.44%	15.81%	19.58%	15.85%	17.77%	17.65%	18.32%	△ 21.79
福岡	32.81%	25.50%	22.15%	18.52%	16.44%	18.63%	15.91%	17.25%	17.56%	18.07%	△ 14.74
佐賀	46.93%	41.05%	37.89%	33.09%	29.31%	32.77%	29.92%	30.98%	32.17%	32.02%	△ 14.91
長崎	44.29%	37.44%	34.69%	28.51%	27.25%	31.05%	27.88%	29.59%	29.49%	30.66%	△ 13.63
熊本	42.04%	35.18%	32.93%	28.85%	26.94%	29.64%	24.10%	25.31%	25.00%	26.02%	△ 16.02
大分	42.13%	35.86%	32.47%	27.77%	25.28%	27.65%	25.13%	26.22%	26.54%	26.35%	△ 15.78
宮崎	46.58%	39.52%	35.58%	32.21%	31.32%	32.50%	26.59%	29.65%	29.14%	30.24%	△ 16.33
鹿児島	44.88%	36.53%	32.73%	28.13%	26.02%	28.54%	25.14%	26.53%	27.72%	27.39%	△ 17.49
沖縄	25.78%	18.42%	20.21%	14.06%	14.83%	17.98%	13.11%	15.24%	16.81%	16.16%	△ 9.62
全国	33.07%	25.64%	22.74%	18.43%	16.92%	18.53%	15.78%	16.97%	17.53%	17.82%	△ 15.25

\* 就職割合＝就職者数÷高卒者数×100（就職者には大学及び専修学校等進学者のうち調査期日(5月1日)時点で就職している者を含む）

\* 赤色は前年度比減、青色は前年度比増を示している。

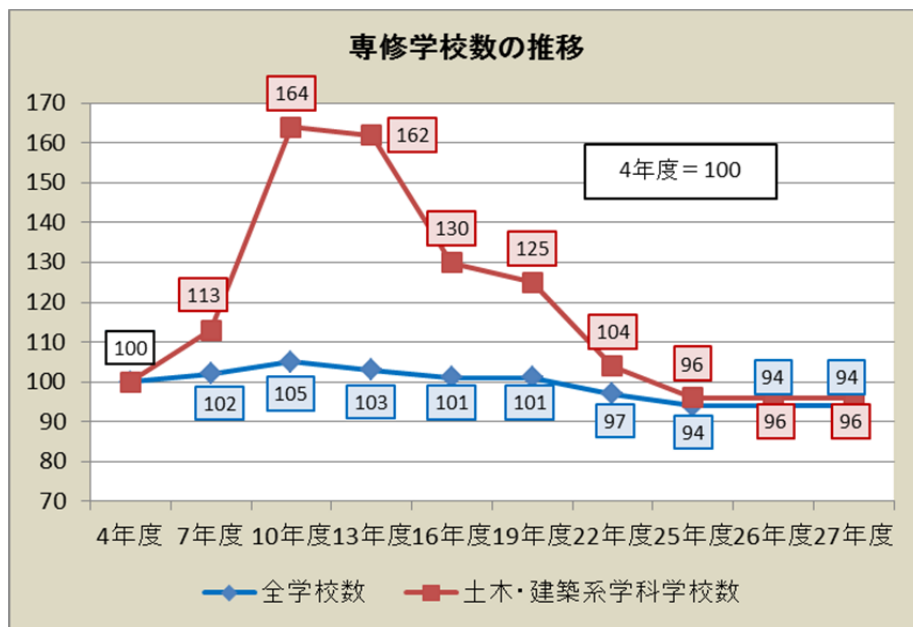
出所：文部科学省 学校基本調査より作成

## 2. 専修学校の状況

- 専修学校数は、全学校数、土木・建築系学科学校数ともに平成24年度以降、減少傾向からほぼ横ばいの傾向となっている。
- 専修学校生徒数は、全生徒数及び土木・建築生徒数ともに平成21年度以降、横ばいから増加の傾向となっている。

### (1) 専修学校数の推移

年度	全学校数		うち土木・建築系学科学校数	
	数	増減率	数	増減率
4年度	3,409	-	76	-
7年度	3,476	2.0%	86	13.2%
10年度	3,573	2.8%	125	45.3%
13年度	3,495	-2.2%	123	-1.6%
16年度	3,444	-1.5%	99	-19.5%
19年度	3,435	-0.3%	95	-4.0%
22年度	3,311	-3.6%	79	-16.8%
25年度	3,216	-2.9%	73	-7.6%
26年度	3,206	-0.3%	73	0.0%
27年度	3,201	-0.2%	73	0.0%

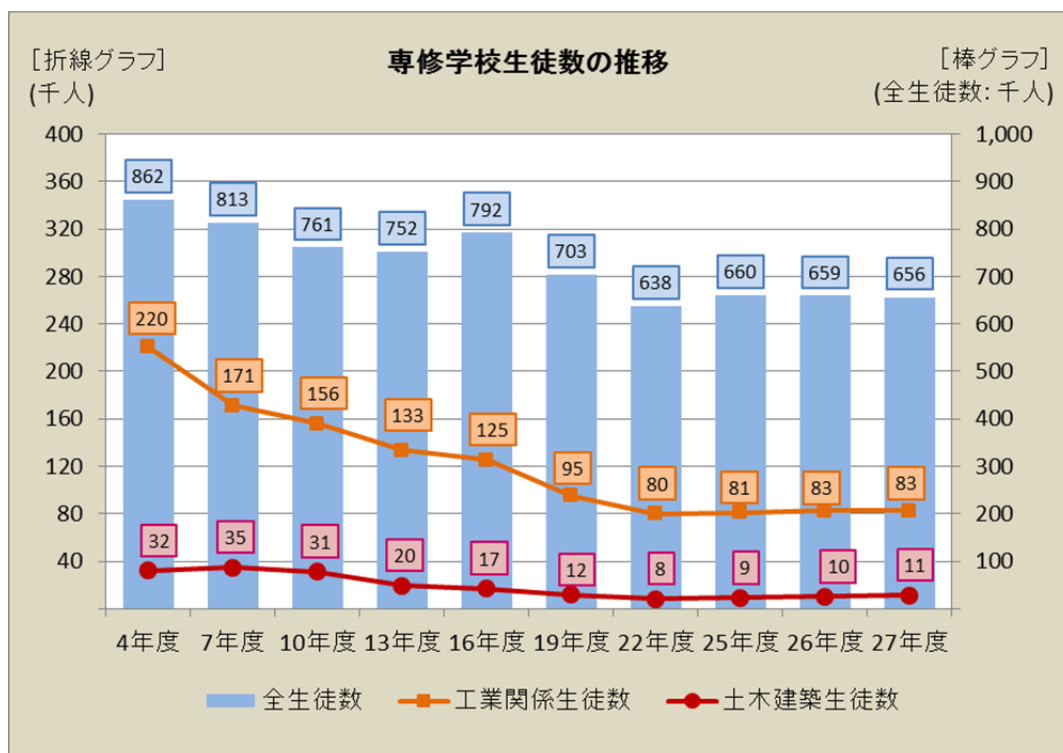


出所：文部科学省 学校基本調査より作成

## (2) 専修学校生徒数の推移

(人数:千人)

年度	全生徒数		工業関係生徒数		土木建築生徒数	
	生徒数	増減率	生徒数	増減率	生徒数	増減率
4年度	862	-	220	-	31.9	-
7年度	813	-5.6%	171	-22.3%	34.9	9.5%
10年度	761	-6.4%	156	-8.8%	31.2	-10.8%
13年度	752	-1.1%	133	-14.5%	19.6	-37.0%
16年度	792	5.3%	125	-6.0%	16.9	-13.7%
19年度	703	-11.2%	95	-24.0%	11.8	-30.5%
22年度	638	-9.3%	80	-16.0%	8.4	-28.7%
25年度	660	3.5%	81	1.1%	9.2	9.8%
26年度	659	-0.1%	83	2.0%	10.2	10.8%
27年度	656	-0.5%	83	0.0%	11.4	11.3%



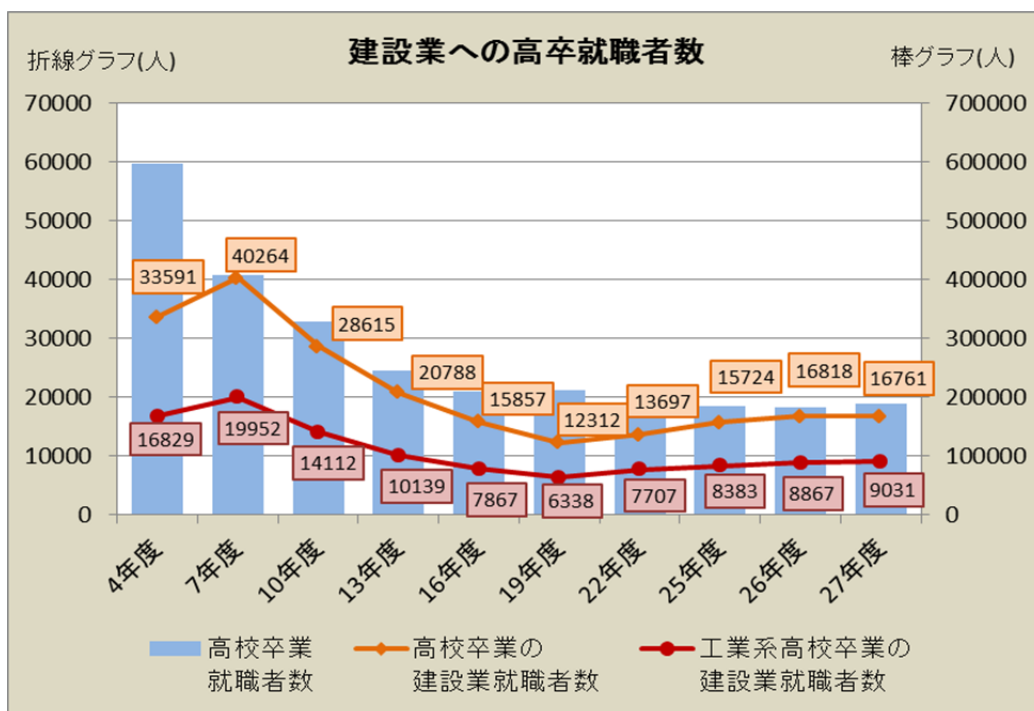
出所：文部科学省 学校基本調査より作成

### 3. 建設業への就職状況

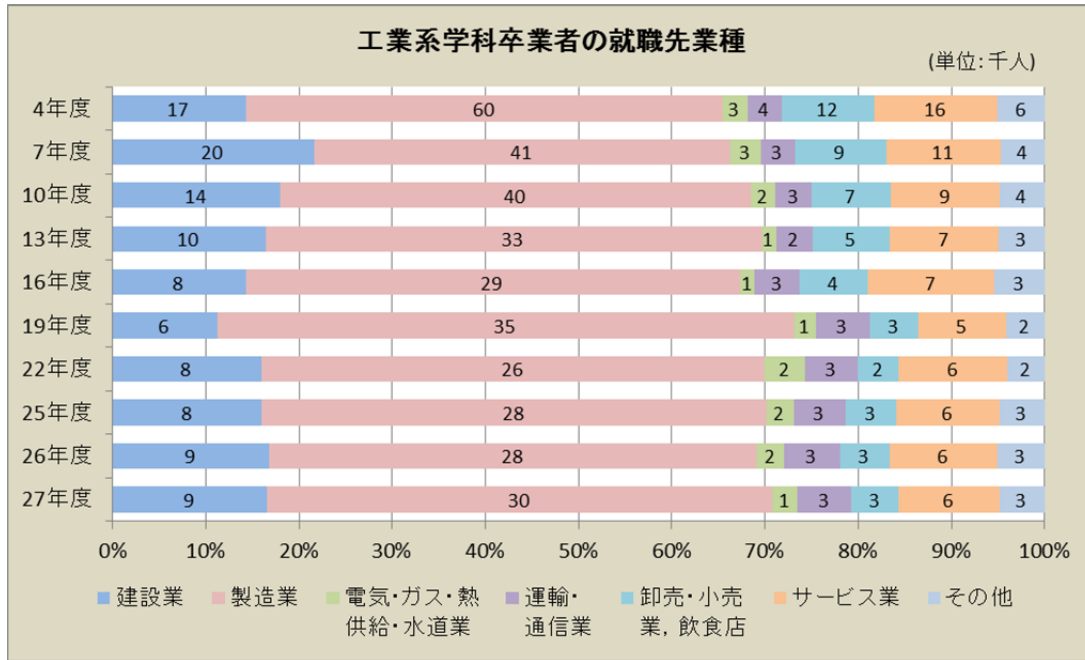
○高校全体及び工業系学科からの建設業への就職者数は、大幅に減少してきたが、平成21年度以降は増加傾向となっている。

#### (1) 高校及び工業系学科からの建設業への就職者

年度	高卒 就職者数(人)	高校卒業の 建設業就職者数(人)		工業系高校卒業の 建設業就職者数(人)	
	増減率	増減率	対高卒就職者 割合	増減率	対高卒就職者 割合
4年度	597,658	33,591	5.6%	16,829	2.8%
	-	-	-	-	-
7年度	407,914	40,264	9.9%	19,952	4.9%
	-31.7%	19.9%		18.6%	
10年度	327,672	28,615	8.7%	14,112	4.3%
	-19.7%	-28.9%		-29.3%	
13年度	244,505	20,788	8.5%	10,139	4.1%
	-25.4%	-27.4%		-28.2%	
16年度	208,903	15,857	7.6%	7,867	3.8%
	-14.6%	-23.7%		-22.4%	
19年度	212,600	12,312	5.8%	6,338	3.0%
	1.8%	-22.4%		-19.4%	
22年度	168,673	13,697	8.1%	7,707	4.6%
	-20.7%	11.2%		21.6%	
25年度	184,603	15,724	8.5%	8,383	4.5%
	9.4%	14.8%		8.8%	
26年度	183,584	16,818	9.2%	8,867	4.8%
	-0.6%	7.0%		5.8%	
27年度	189,679	16,761	8.8%	9,031	4.8%
	3.3%	-0.3%		1.8%	

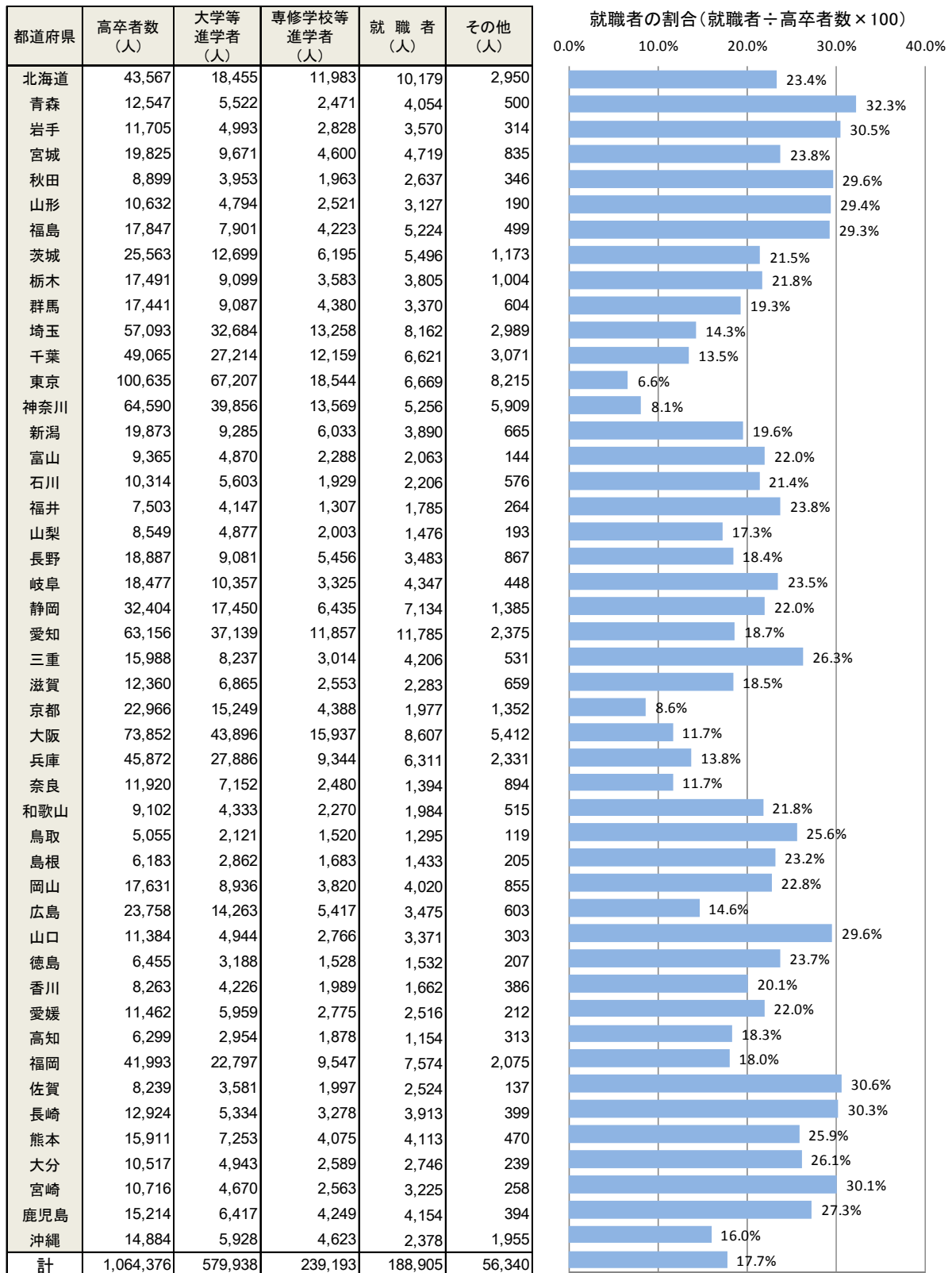


出所：文部科学省 学校基本調査より作成



出所：文部科学省 学校基本調査より作成

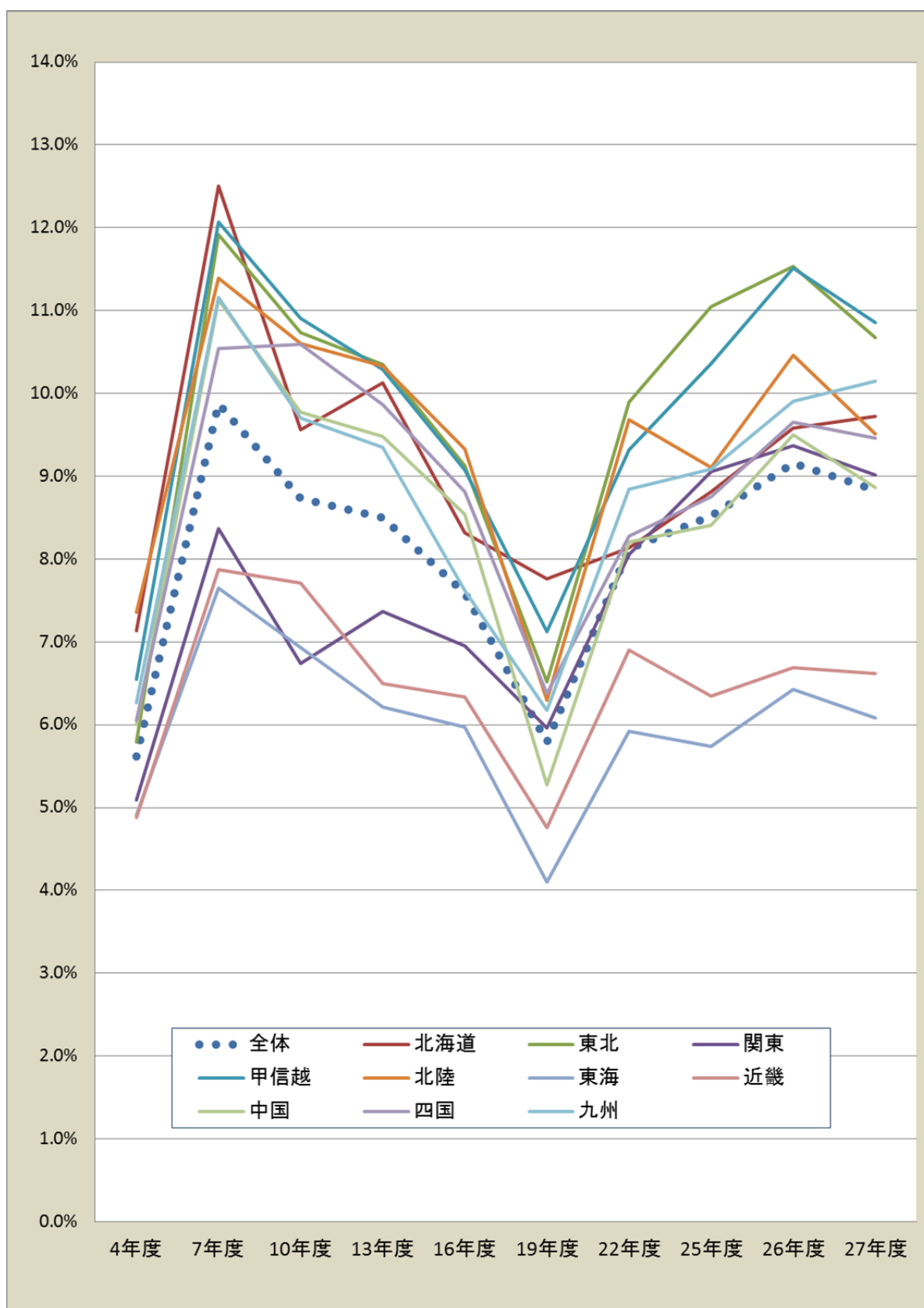
(2) 平成 27 年 3 月高卒就職者の建設業への就職状況 (都道府県別)



\* 就職者には大学及び専修学校等進学者のうち調査期日(5月1日)時点で就職している者を含む。

出所：文部科学省 学校基本調査より作成

(3) 高卒就職者における建設業就業者割合の推移 (地域別)



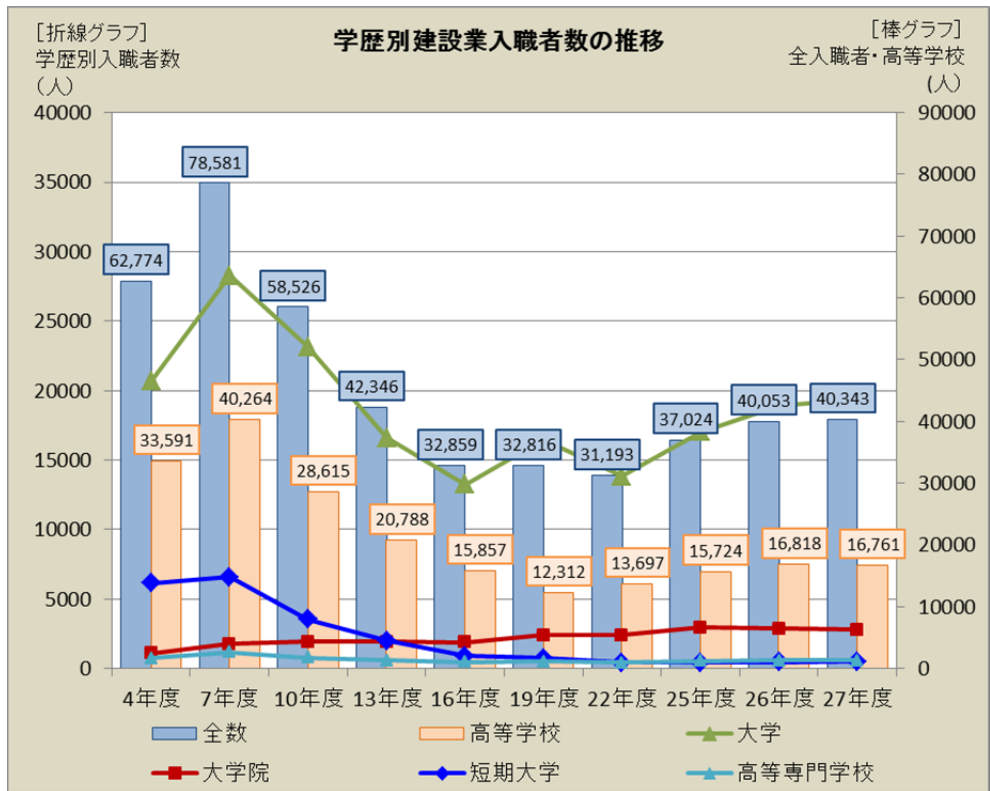
出所：文部科学省 学校基本調査より作成



(4) 学歴別建設業入職者数の推移

年度	全入職者数	高等学校	大学	大学院	短期大学	高等専門学校
	増減割合	増減割合	増減割合	増減割合	増減割合	増減割合
4年度	62,774	33,591	20,677	1,085	6,153	752
7年度	78,581	40,264	28,281	1,770	6,580	1,177
10年度	58,526	28,615	23,161	1,919	3,538	787
13年度	42,346	20,788	16,589	1,915	1,995	570
16年度	32,859	15,857	13,255	1,877	914	465
19年度	32,816	12,312	16,425	2,381	738	498
22年度	31,193	13,697	13,826	2,396	428	442
25年度	37,024	15,724	17,033	2,955	435	528
26年度	40,053	16,818	18,942	2,889	468	588
27年度	40,343	16,761	19,342	2,792	510	590
4年度との比較 (27年度)	-22,431 -35.7%	-16,830 -50.1%	-1,335 -6.5%	1,707 157.3%	-5,643 -91.7%	-162 -21.5%

\* 赤は30%以上の増減率



出所：文部科学省 学校基本調査より作成

## 職業訓練校の状況及びアンケート調査結果（概要）

### 1. 全国の建設系職業訓練校の状況

建設系の訓練を行う職業訓練校の実数については、集計方法の違い等により多少の差異はあるものの、厚生労働省HP等から基金が集計した結果によると、H26年度、建設系のコースを有する訓練校は以下のとおり。

- 認定職業訓練校（建設系訓練設置校） 377校
  - 公共職業訓練校（建設系訓練以外を含む） 291校
- 計 668校**

#### <認定職業訓練について>

事業主団体等が行う職業訓練のうち、教科、訓練期間、設備等について厚生労働省令で定める基準に適合して行われているものは、申請により都道府県知事の認定を受けることができ、この認定を受けた職業訓練を認定職業訓練といい、同訓練を実施する主体を認定職業訓練校という。認定職業訓練校のブロック別校数は左記のとおり。

ブロック	認定訓練校数
北海道	36
東北	49
関東	103
北陸	26
中部	46
近畿	42
中国	22
四国	7
九州・沖縄	46
計	377

※認定訓練校数は分校等を含む

#### <公共職業訓練について>

国及び都道府県等は、離職者、在職者及び学卒者に対する公共職業訓練を実施しており、公共職業訓練を行っている公共職業能力開発施設は以下のとおり。

施設	主な職業訓練の種類	設置主体	備考(通称等)
職業能力開発校	中卒・高卒者等、離職者及び在職者に対する職業訓練を実施	都道府県 市町村	高等技術専門学校 職業能力開発センター テクカレッジ 産業技術専門学校等(165)
職業能力開発短期大学校	高卒者等に対する高度な職業訓練を実施(専門課程)	機構 都道府県	ポリテクカレッジ(32)
職業能力開発大学校	高卒者等に対する高度な職業訓練を実施(専門課程) 専門課程修了者等に対する高度で専門的かつ応用的な職業訓練を実施(応用課程)	機構	ポリテクカレッジ 職業能力開発総合大学校を含め(11)
職業能力開発促進センター	離職者及び在職者に対する短期間の職業訓練を実施	機構	ポリテクセンター(63)
障害者職業能力開発校	障害者の能力、適性等に応じた職業訓練を実施	国 都道府県	(20)

※ 機構とは、(独)高齢・障害・求職者雇用支援機構、上記( )内の数は分校等を含む

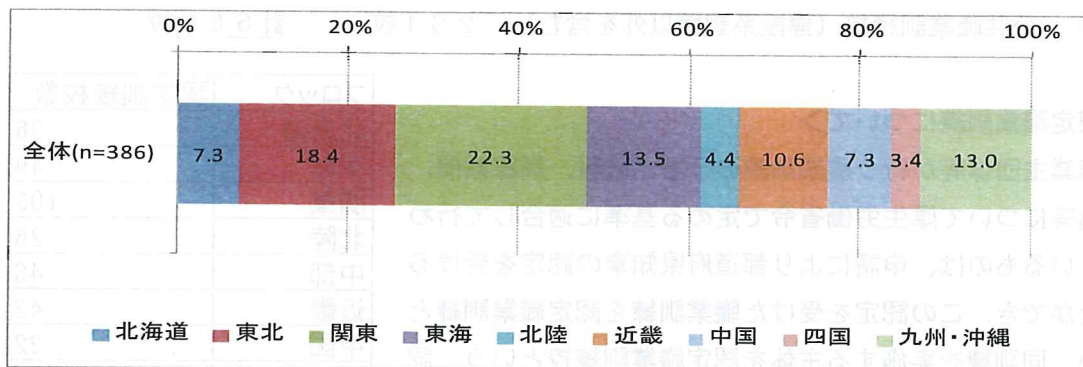
※ 備考欄の( )内の数値は、全国の施設数(建設系コースを実施していない施設を含む)

## 2. アンケート調査結果（概要）

※説明、グラフについては、国土交通省・建設産業専門団体連合会調査結果をもとに基金作成

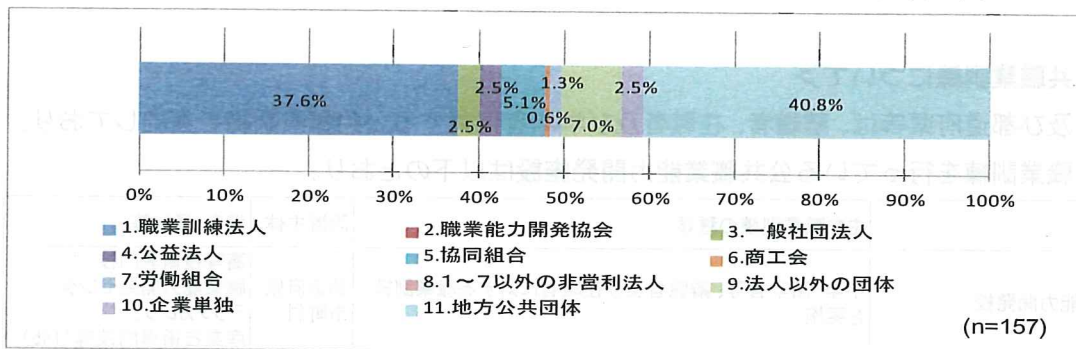
今般、国土交通省が実施した「専門工事業者等に対する新たな評価手法や登録基幹技能者の活用、学校・教育機関との連携等による担い手の確保・育成に関する調査・検討業務」において職業訓練校・建設系専門学校等386校を対象としたアンケート調査結果は以下のとおり。（実施時期：平成26年3月、回収率46.6%（180校/386校））

アンケート送付施設の立地地域



### 1) 回答施設属性

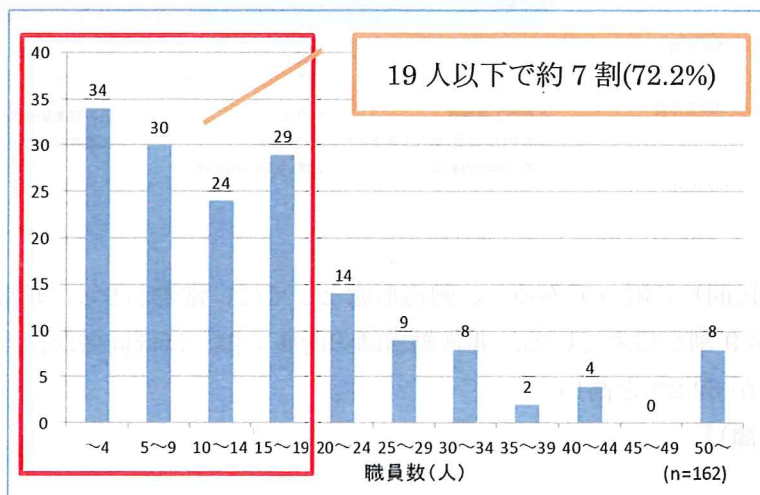
「11.地方公共団体」が最も多く40.8%、次いで「1.職業訓練法人」の割合が高く37.6%。



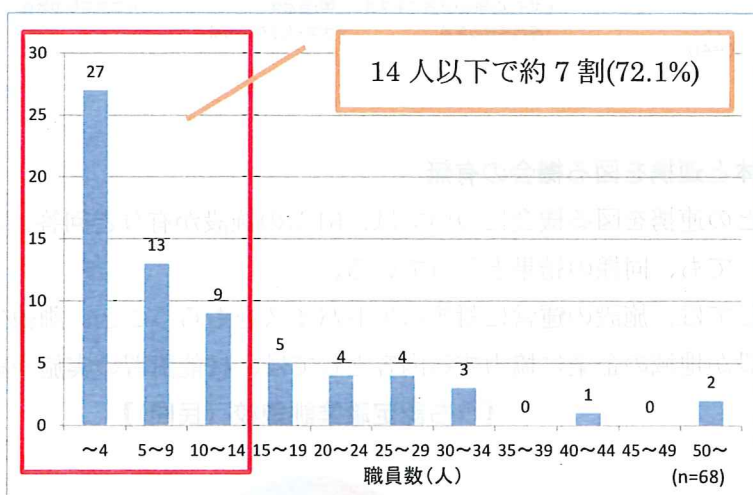
## 2) 職員数

職員数の分布を見ると、4人以下が34施設(21.0%)、9人以下でみると計64施設(39.5%)、19人以下でみると計117施設(72.2%)であり、小規模な施設が多いことが窺える。

なお、認定職業訓練校(民間)に限ってみると、4人以下が27施設(39.7%)と約4割を占め、9人以下で計40施設(58.8%)と約6割を占めてあり、全体よりも更に小規模な施設が多いことが分かる。



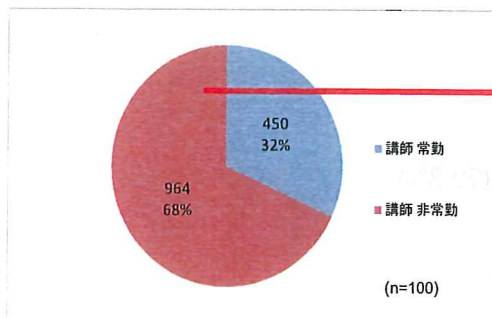
### 【うち認定職業訓練校(民間)】



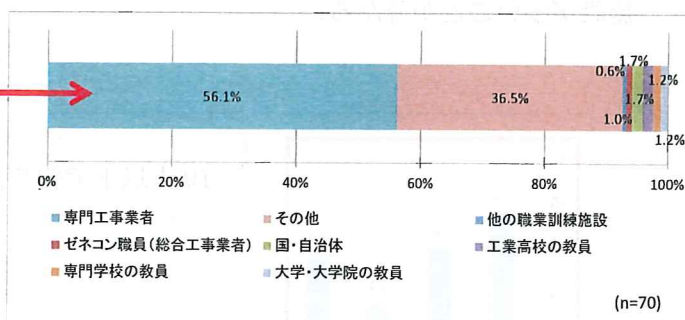
### 3) 講師の勤務形態

講師の勤務形態としては、常勤が32%、非常勤が68%と非常勤の割合が高い。また、非常勤講師の所属では専門工事業者の割合が56.1%と高い。

講師の常勤・非常勤の内訳

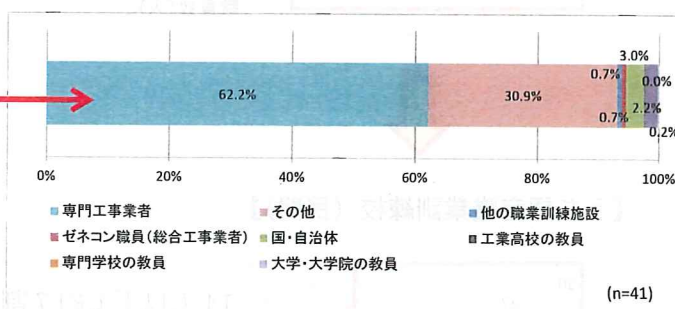
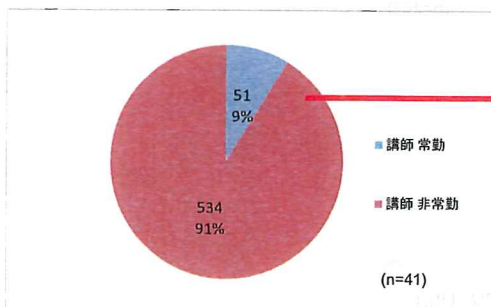


非常勤講師の所属



なお、認定職業訓練校（民間）に限ってみると、勤務形態としては、常勤が9%、非常勤が91%と、非常勤の割合が9割を超えている。非常勤講師の所属では、ほぼ同様な傾向を示し、専門工事業者の割合が62.2%と高い

【うち認定職業訓練校（民間）】

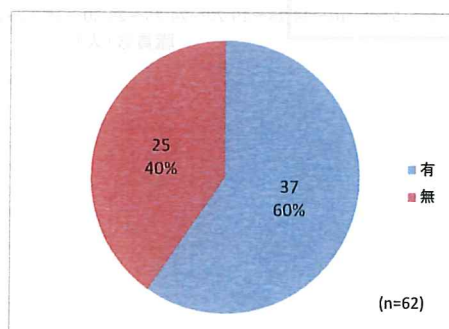
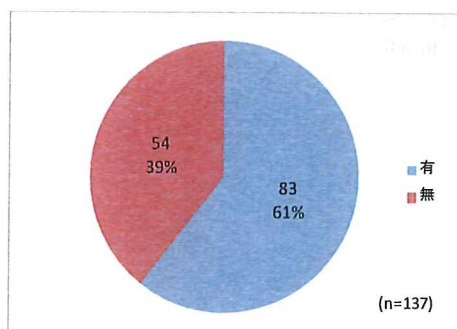


### 4) 地域の企業・建設業団体と連携を図る機会の有無

地域の企業や建設業団体との連携を図る機会については、61%の施設が有りと回答、認定職業訓練校（民間）に限っても、同様の結果となっている。

連携内容の具体的内容としては、施設の運営に対するアドバイスをもらうこと、訓練生の就職の紹介等。また、施設が地域の企業に協力する内容としては、技能講習の実施や講師派遣等があった。

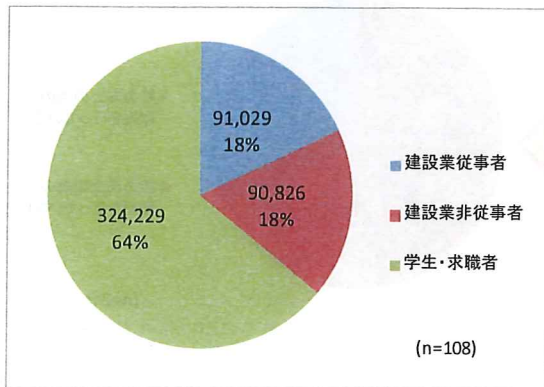
【うち認定職業訓練校（民間）】



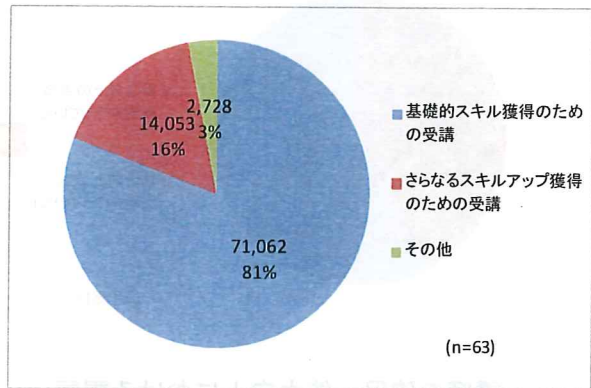
### 5) 受講生の区分について

受講生の属性では、学生・求職者が全体の64%を占めているが、認定職業訓練校（民間）に限ってみると、建設業従事者が9割とそのほとんどを占めている。受講目的では、基礎的スキル獲得のための受講が、いずれも全体の約8割を占めている。

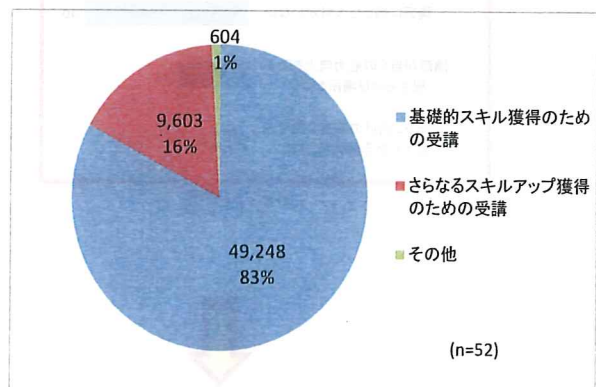
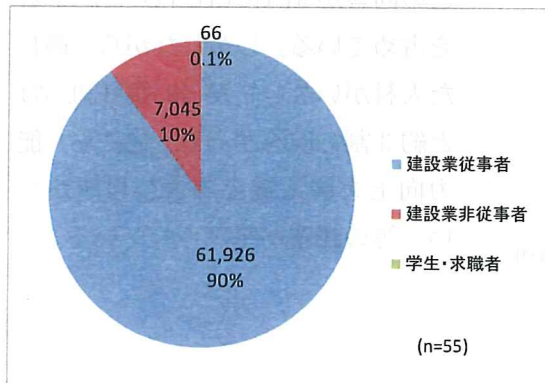
受講者の属性



受講目的



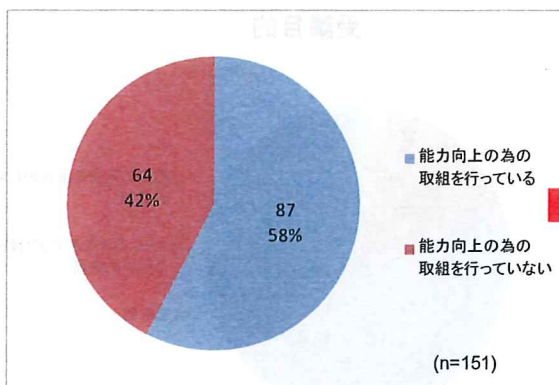
【うち認定職業訓練校（民間）】



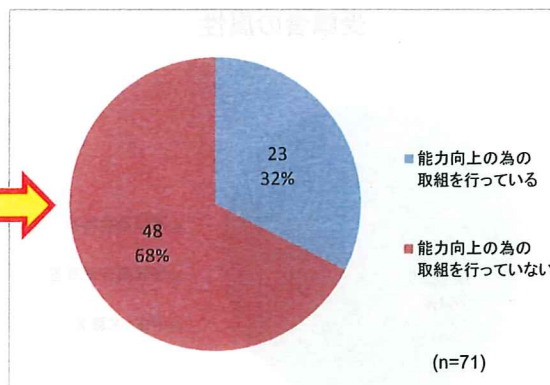
## 6) 講師の能力向上・確保について

講師の能力の向上を図っているとの回答は全体の58%となっているが、認定職業訓練校(民間)に限ってみると逆転し、約3分の1の施設しか取り組んでいない。

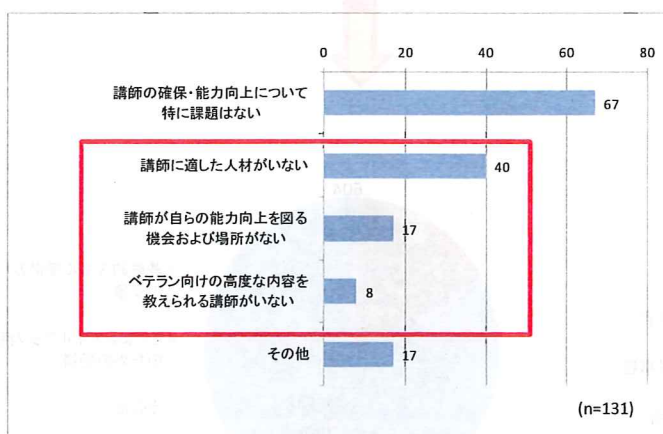
講師の能力向上のための取組



【うち認定職業訓練校(民間)】

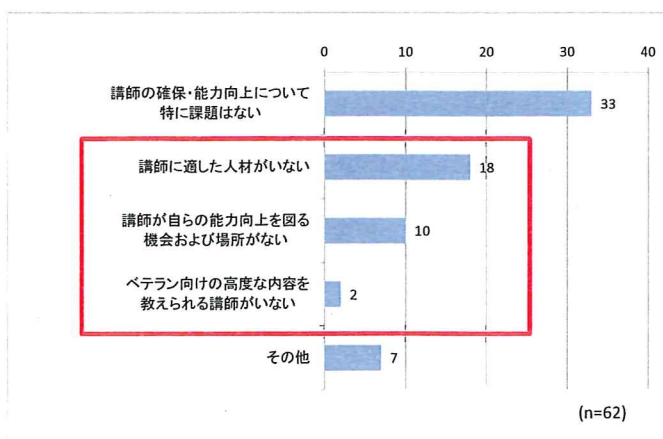


講師の確保・能力向上における課題



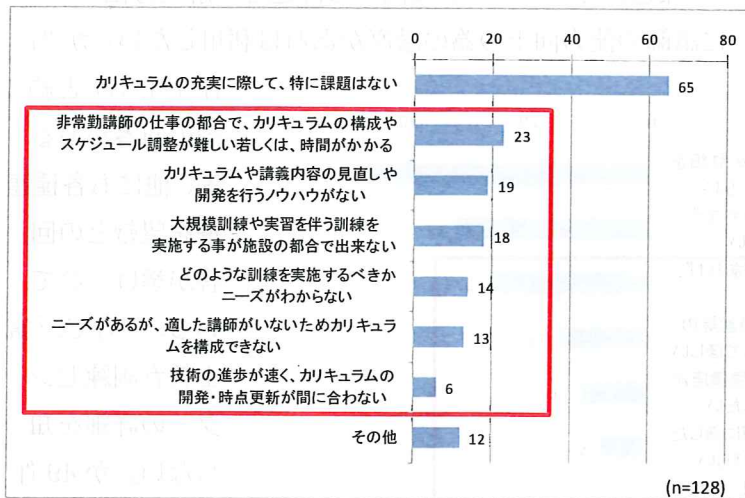
講師の確保・能力向上に対する課題をみると、「特に課題はない」との回答が67件(51.1%)と約半数を占めている。しかしながら「適した人材がない」が40件(30.5%)と約3割の回答があり、他にも「能力向上を図る機会および場所がない」等の課題が挙げられている。

【うち認定職業訓練校(民間)】



認定職業訓練校(民間)に限ってみると、同様に「特に課題はない」との回答が33件(53.2%)と約半数を占めている。しかしながら、やはり「適した人材がない」が18件(29.0%)と約3割の回答があり、他にも「能力向上を図る機会および場所がない」等の課題が挙げられている。

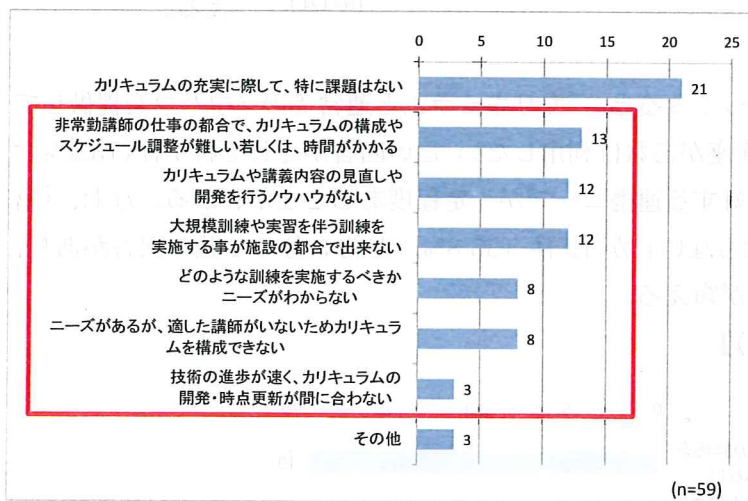
## 7) カリキュラムに関する課題



カリキュラムについては、「特に課題はない」との回答が65件(50.8%)と約半数を占めている。しかしながら、施設設備や人的資源の制約に起因するノウハウ不足等の各種課題について、それぞれ1~2割程度の回答がある。



### 【うち認定職業訓練校（民間）】

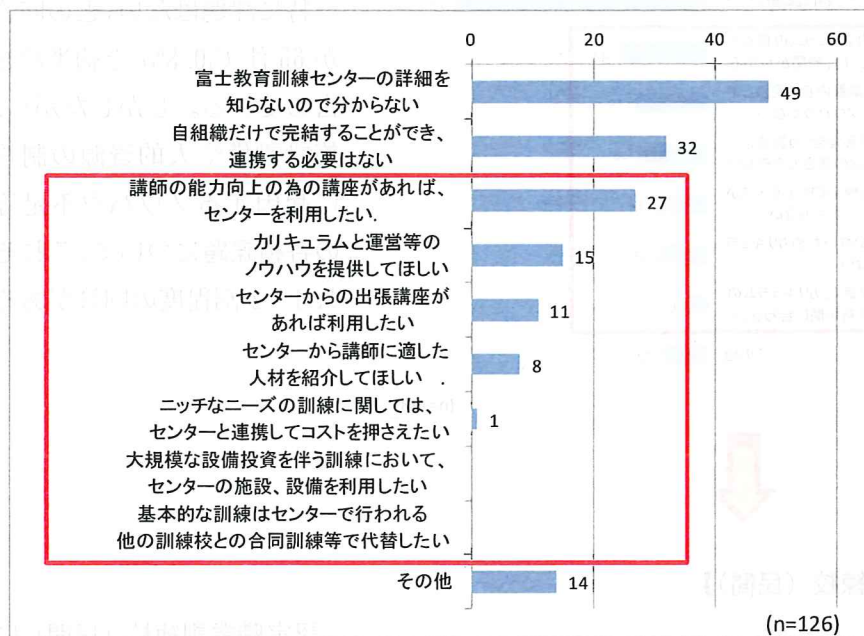


認定職業訓練校（民間）に限ってみると、「特に課題はない」との回答が21件(35.6%)と一番多いものの、約3分の1にとどまっており、全体に比べると少なくなっている。課題としては同様の傾向があり、施設設備や人的資源の制約に起因するノウハウ不足等の各種課題について、それぞれ1~2割程度の回答がある。



## 8) 富士教育訓練センターに対するニーズ

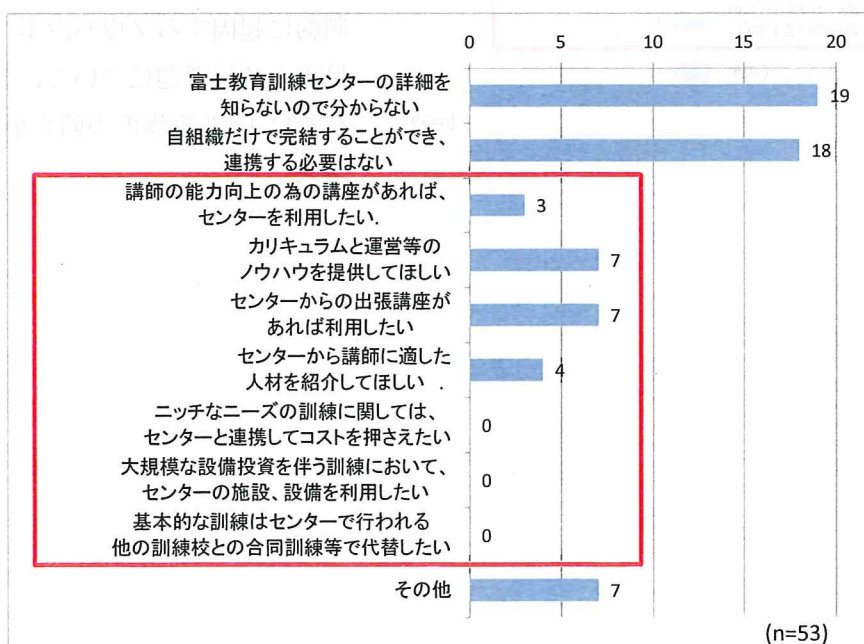
講師の確保・能力の向上における課題、カリキュラムに関する課題等の解決方法の一つとして、「富士教育訓練センターに講師の能力向上の為の講座があれば利用したい」が27



件(21.4%)と約2割の回答がある等、他にも各種連携を望むとの回答が挙げられている。一方で、「富士教育訓練センターの詳細を知らない」が49件(38.9%)と約4割の回答があり、まだまだ知名度が低い状況も窺える。

認定職業訓練校(民間)に限ってみると、「カリキュラムと運営等のノウハウを提供してほしい」、「センターからの出張講座があれば利用したい」との回答がそれぞれ7件(13.2%)あり、富士教育訓練センターに対する連携ニーズが一定程度あることがわかる。なお、「富士教育訓練センターの詳細を知らない」が19件(35.8%)と約3分の1強の回答があり、全体と同様に知名度が低い状況が窺える。

### 【うち認定職業訓練校(民間)】





### 3. 職業能力基準関連資料

○職業能力評価基準リーフレット（中央職業能力開発協会）

○大工技能者職業能力基準（木造技能者育成検討委員会）

- ・大工技能者職業能力基準（案）技術・技能
- ・大工技能者職業能力基準（案）職業意識
- ・大工技能者職業能力評価シート

○技能検定の概要

○建設業の業種別団体・資格等・登録基幹技能者一覧

# 職業能力評価基準の ご案内

～ 能力の“見える化”をめざして～



中央職業能力開発協会

昨今の企業を取り巻く厳しい環境の中における雇用システムの構造的な変化により、企業の人事システムも個人の能力や仕事の成果に基づくものへと変わってきています。このため、企業は従業員に求める職業能力を、従業員は自らの職業能力を“互いに分かりやすい形”で示せるような共通言語の整備が重要になっています。

## 職業能力評価基準とは

厚生労働省では、働く人の能力が適正に評価され、一人ひとりの能力が最大限に発揮される社会の実現を目指しそのインフラ整備を推進しています。この職業能力評価基準は、能力を適正に評価するための公正で透明性の高い仕組みづくりのために平成14年度から策定されているものです。

## 職業能力評価基準の特徴

職業能力評価基準は、仕事をこなすために必要な「知識」と「技能・技術」に加え、成果につながる典型的な「職務行動例」について、担当者から組織部門責任者までの4つのレベルを設定し、業種別、職種・職務別に整理・体系化しています。

- 企業において期待される責任・役割の範囲と職務のレベルに応じて必要な職業能力を記述しています。
- 仕事の内容を **職種** → **職務** → **課業（能力ユニット）** → **能力細目** へ細分化し、課業（能力ユニット）ごとに求められる職業能力を記述しています。企業の実態に応じて必要な能力ユニットを組み合わせたり、評価基準をカスタマイズして人事評価や人材育成の指針等として利用することが可能です。
- 仕事を効果的、効率的に遂行するために保有すべき「知識」と「技能・技術」に加え「成果につながる行動」を具体的に記述しています。
- 業界団体との連携によって、実際の企業の現場を調査することにより作成されているため、業界が求める人材ニーズに即した内容が掲載されています。

## 今、求められている人材マネジメント

～自社が従業員に求める職業能力や人材像の明確化、  
公正な人事評価制度の構築、人材育成体系の効果的設計～

### 企業は

- 自社が求める能力要件を具体的に示したい
- 従業員が納得できる評価基準を整備したい
- 従業員の能力を客観的に把握し、効果的に人材育成を行いたい

### 従業員は

- どのように仕事をすれば企業から評価されるのか知りたい
- キャリア形成の目標・指針がほしい
- 自身の能力を客観的に把握したい

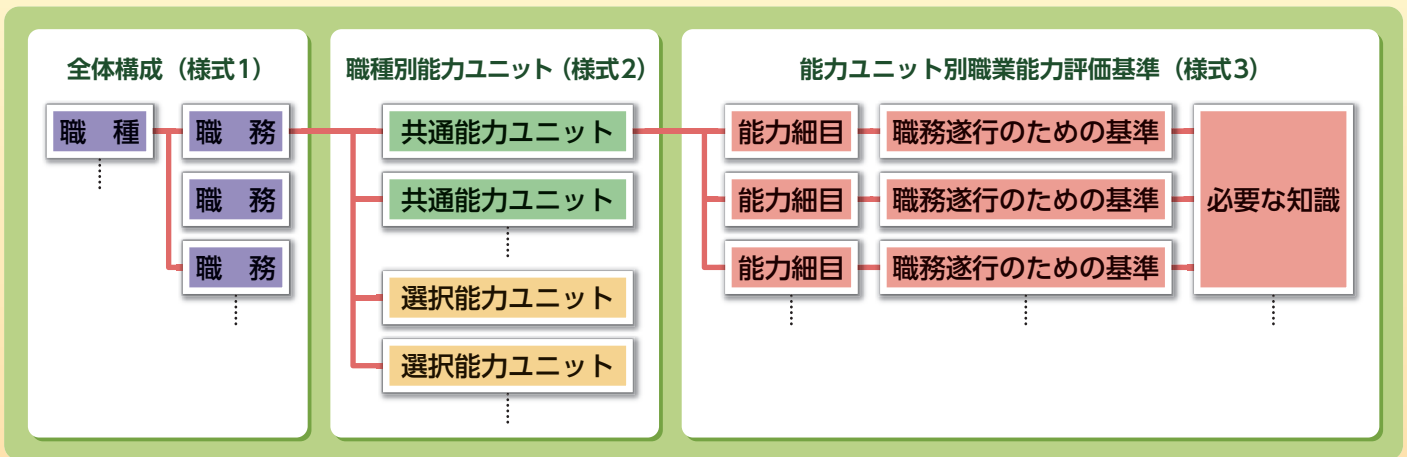
客観的で具体的な能力評価の共通言語・ものさしにより  
“能力の見える化”を図ることが期待される

企業の人材ニーズと従業員の職業能力の整合を図ることができれば、  
相乗効果により大きな力となり、企業価値向上の実現に繋がる

この実現のために **職業能力評価基準** のご活用を提案します。

# 職業能力評価基準の構成

仕事の内容を「職種」「職務」「能力ユニット」「能力細目」に細分化し、下図のとおり、全体構成（様式1）、職種別能力ユニット一覧（様式2）、能力ユニット別職業能力評価基準（様式3）として整理しています。



実際の各様式の例をご案内します。（例）事務系職種－人事・人材開発・労務管理職種－人事職務－人事企画ユニット

全体構成（様式1）

職種	職務	レベル			
		レベル1 スタッフ	レベル2 シニア・スタッフ	レベル3 スペシャリスト マネジャー	レベル4 シニア・スペシャリスト シニア・マネジャー
経営戦略	経営戦略				
人事・人材開発・労務管理	人事開発				
	労務管理				
	企業法務				
企業法務・総務・広報	総務				
	広報				

様式1では、職種を「職務」×「レベル」のマトリックスとして体系化し、全体構成として一覧を示しています。

職種別能力ユニット一覧（様式2）

<共通能力ユニット>		L1	L2	L3	L4
職務	能力ユニット名	スタッフ	シニア・スタッフ	スペシャリスト	マネジャー
全職種共通	ビジネス知識の習得	00C001L11			
	PCの基本操作	00C002L11			
	企業管理とコンプライアンス	00C003L11	00C004L22		00C005L34
	関係者との連携による業務の遂行	00C006L11	00C007L22		00C008L34
	課題の設定と成果の追求	00C009L11	00C010L22		00C011L34
	業務効率化の推進	00C015L11	00C016L22		00C017L34
	<選択能力ユニット>		L1	L2	L3
職務	能力ユニット名	スタッフ	シニア・スタッフ	スペシャリスト	マネジャー
人事企画	人事企画・雇用管理基礎	00S009L11			
	賃金・社会保障基礎	00S010L11			
	国際人事・労務管理基礎	00S011L11			
	人事企画	00S012L22			
	雇用管理	00S013L22			
賃金管理	00S014L22				

様式2では、職務構成や一人ひとりの職務内容の違いを能力ユニットの組み合わせにより反映できるように「職種別能力ユニット一覧」として示しています。

能力ユニット別職業能力評価基準（様式3）

レベル1 スタッフ	レベル2 シニア・スタッフ	レベル3 スペシャリスト マネジャー	レベル4 シニア・スペシャリスト シニア・マネジャー	共通
能力ユニット名: 人事企画 ユニット番号: 00S012L22				人事・人材開発 企業法務・ 経理・ 経営情報
概要: 職群・資格制度、人事評価、職務分析・職務評価等の各種人事制度の設計及び運用を行う能力				
職務遂行のための基準 ①人事制度に関する企画と立案 ○人事制度に関する専門的知識を有し、上位方針を踏まえて職群コース体系、等級制度、専門職制度等の立案を行っている。 ○モラル・サーベイ等を企画・実行し、その結果を的確に分析している。 ○人事評価をめぐる最新動向を把握し、人事評価制度や各種のアセスメント、評価者訓練等に関する運営計画を立案している。 ○昇進・昇格制度の目的を理解し、人事制度全体と整合した昇進・昇格制度の立案を行っている。 ○人事制度に関する社員向け説明資料を的確に作成している。 ○人事制度の企画・立案に際し、優先順位を的確に判断している。				
②人事制度運用				経営情報

様式3は、Plan（計画）-Do（実行）-See（評価）という仕事のサイクルに沿って設定されており、このサイクルに沿って能力ユニットを「能力細目」に細分化し、各細目ごとに「職務遂行のための基準」を記述しています。

## 職務概要書

職種	職務
職種: 人事・人材開発・労務管理	職務: 人事
<b>【概要】</b> 人事制度の企画・運用、要員計画の作成、採用・配置・退職管理、賃金管理その他の人の資源管理に関する仕事。ただし、「人材開発」及び「労務管理」の仕事は含まない。	
<b>【仕事の内容】</b> 人事の仕事は、大別すると以下のとおりである。会社の規模及び業態によって、一人の担当者が下記全ての仕事を担当する場合もあれば、数人で分掌する場合もある。	
①人事制度の企画及び運用 職群・資格制度、等級制度、昇進・昇格制度などの人事制度の企画、策定及び制度の運用を行う仕事。	
②要員計画の作成及び管理 人員計画の作成及びこれに基づく従業員の使用、配置・異動管理、出向・転勤、退職までの要員管理を行う仕事。	

各様式のほかに、「職務」について、その概要、仕事内容、求められる経験・能力、関連する資格等についてとりまとめている「職務概要書」もご参照ください。

この職業能力評価基準は、これまでに業種横断的な事務系職種のほか53の幅広い業種にわたり272職種626職務約6,800ユニットの整備を完了しています。(平成27年5月末現在)

## 職業能力評価基準の整備状況 (平成27年5月現在)

### 事務系職種

- 経営戦略
- 人事・人材開発・労務管理
- 企業法務・総務・広報
- 経理・財務管理
- 経営情報システム
- 営業・マーケティング・広告
- 生産管理
- ロジスティクス
- 国際事業

### 建設業関係

- 総合工事業
- 鉄筋工事業
- 型枠工事業
- 防水工事業
- 左官工事業
- 造園工事業
- 電気通信工事業

### 運輸業関係

- ロジスティクス分野  
【運送業・倉庫業】
- マテリアル・ハンドリング業

### 製造業関係

- 電気機械器具製造業
- プラスチック製品製造業
- フルードパワー分野
- ファインセラミックス製品製造業
- 自動車製造業（「組立」職種）
- 光学機器製造業
- パン製造業
- 軽金属製品製造業
- 鍛造業
- 金属プレス加工業
- 石油精製業
- ねじ製造業
- 鋳造業

### 卸売・小売業関係

- スーパーマーケット業
- 卸売業（食品・菓子・雑貨等）
- DIY業
- コンビニエンスストア業
- 専門店業  
（「店舗マネジメント」職種）
- 百貨店業（「販売」職種）

### 金融・保険業関係

- クレジットカード業
- 信用金庫業

### サービス業関係

- ホテル業
- 市場調査業
- 外食産業
- 広告業
- フィットネス産業
- クリーニング業
- 在宅介護業
- ボウリング場業
- 写真館業
- 産業廃棄物処理業
- ビルメンテナンス業
- 旅館業
- 施設介護業
- 添乗サービス業

### その他

- 印刷業
- アパレル分野
- エンジニアリング業
- 自動販売機製造・管理運営業
- イベント産業
- プラントメンテナンス業
- ウェブ・コンテンツ制作業  
（モバイル）
- 屋外広告業
- ディスプレイ業

事務系職種のほか **計53業種**

職業能力評価基準はすべてインターネット上で公開しており、無料でダウンロードいただくことが可能です。


また、実際に多くの企業において様々な用途でご使用いただいている豊富な活用事例も公開しております。詳しくは、下記をご覧ください。

<http://www.hyouka.javada.or.jp/> 又は、

職業能力評価基準

検索

（お問い合わせ先）

 **中央職業能力開発協会**  
能力開発支援部 評価制度開発課

〒160-8327 東京都新宿区西新宿7-5-25 西新宿木村屋ビルディング11階  
TEL ● 03-6758-2815 / 2817 FAX ● 03-3365-2716  
メールでのお問い合わせはホームページをご覧ください。

当協会では、厚生労働省の委託を受け職業能力評価基準を  
策定するとともに、普及促進を図っています。

資料編3-4

(H27.06)

大工技能者 職業能力基準 (技術・技能) 枠組(案)

職業レベル	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	
級数	一	★	★★	★★★	
名称	見習い大工	標準大工	上級大工	上級熟練大工	
経験年数(目安)	～5年	5年～	10年～	15年～	
賃金指標(目安)	65	100	130	165	
EDF	レベル3	レベル4	レベル5	レベル6	
大工技能者対象イメージ	訓練校で訓練中の大工や見習いとして修業中の大工	訓練校での訓練(2～3年制)を修了し、現場での経験を積んだ大工店大工／一人親方	工務店大工／一人親方	工務店大工／一人親方	
区分の目安(職務表)	木材や梁の基礎的な知識がある。簡単な継手・仕口の加工作業を知っている。大工道具、電動工具の安全な使い方を知っている。	作業工程・役割を理解し、フレットされた部材を用いた住宅の建て方、下地取付、仕上げ作業ができる。	住宅一棟分の伏図の作成、木拾い、構造材の加工ができる。手元への指示、各職方との段取りの調整ができる。	概方(棟方)を管理、または概方(棟方)の代理として設計・営業を行う。工事管理を行う。技能、知識を第三者に正しく説明、指導ができる。	
生産レベルの目安(作業の精度・早さ)	構造材のフレット、既製の建材部品を使用した住宅において、上回の指示を受け、手順を確認しながら作業を行うことができる。	構造材のフレット、既製の建材部品を使用した住宅において、ロスを考慮した正確な取付けができ、一般的な早さ・精度がある。	構造材にフレットを使用し、一部造作・枠材の加工が必要な住宅において、一般的な早さ・精度がある。	内部真壁の住宅、木葺きを用いた住宅、入母屋の住宅などの要件から木材加工、造作までに対して、一般的な早さ・精度がある。	
安全衛生作業法	● 服装・髪・保護具、工具の正しい取扱いができる ● 足場と高所での安全作業、危険予知、建設機械等の災害防止、応急処置に関する正しい知識がある	● ー ● ー	● 服装・髪・保護具、工具の正しい取扱いの指導ができる ● 足場と高所での安全作業、危険予知、建設機械等の災害防止、応急処置について指導ができる	● ー ● ー	
道具の知識・管理	手道具	● 一般的な手道具を扱える ● 一般的な電動工具が使える ● 電動工具が使える	● 手道具の使い方と手入れ方法を理解して、一通りできる<手道具> ● 電動工具の使い方と手入れ方法を理解している<電動工具> ● 電動工具の使い方と手入れ方法を修得している<電動工具>	● 手道具の使い方と手入れに習熟している<手道具> ● 木工機械の使い方を修得している<木工機械>	● 手道具の使い方と手入れを第三者に正しく指導することができる ● 自在に木工機械を操り、木材加工ができる。 ● 木工機械の使用法を第三者に正しく説明、指導できる
	電動工具 木工機械	● 一般的な電動工具が使える ● 電動工具が使える	● 電動工具の使い方と手入れ方法を理解している<電動工具> ● 電動工具の使い方と手入れ方法を修得している<電動工具>	● 手道具の使い方と手入れに習熟している<手道具> ● 木工機械の使い方を修得している<木工機械>	● 自在に木工機械を操り、木材加工ができる。 ● 木工機械の使用法を第三者に正しく説明、指導できる
木材・木造知識	樹種	● 道具、丸のこ、釘打ち機を安全に使用できる ● 丸のこ、かんなの研ぎの知識がある	● 道具、丸のこ、釘打ち機を自在に扱える ● 丸のこ、かんなの研ぎができる	● 道具の使い方と手入れに習熟している<手道具> ● 木工機械の使い方を修得している<木工機械>	● 手道具の使い方と手入れを第三者に正しく指導することができる ● 自在に木工機械を操り、木材加工ができる。 ● 木工機械の使用法を第三者に正しく説明、指導できる
	木材知識	● 樹種(スギ、ヒノキ、ベニヤ、ケヤキ、クリ)の知識がある ● 構造材の名称が分かる ● 住宅部材の名称が分かる	● 「劣化の軽減」や防蟻・防蟻補強の知識がある ● 構造用合板、普通合板、耐水合板、コンパネ等の知識がある	● 木材の基礎知識(乾燥・収縮・強さ)がある。 ● 木材の基礎知識(乾燥・収縮・強さ)がある。	● 木材の基礎知識(乾燥・収縮・強さ)がある。 ● 木材の基礎知識(乾燥・収縮・強さ)がある。
図面の理解・作成	伏図・木拾い	● 伏図が読み取れる	● 伏図が読み取れる ● 簡単な伏図が作成できる	● 伏図が読み取れる ● 伏図が読み取れる ● 伏図が読み取れる	● 伏図が読み取れる ● 伏図が読み取れる ● 伏図が読み取れる
	設計図書	● 設計図面が読み取れる	● 設計図書・仕様書を理解できる ● 指示を受けて、木造住宅の設計補助ができる	● 設計図書・仕様書を理解できる ● 指示を受けて、木造住宅の設計補助ができる	● 設計図書・仕様書を理解できる ● 指示を受けて、木造住宅の設計補助ができる
各職方との連携	● 指示を受けて、簡単な原寸型板を基に、加工ができる	● 指示を受けて、簡単な原寸型板を基に、加工ができる	● 指示を受けて、簡単な原寸型板を基に、加工ができる	● 指示を受けて、簡単な原寸型板を基に、加工ができる	
構造材の加工	● 指示を受けて、一定の仕口・継手の加工ができる(ほぞ穴、雄、雌等)	● 指示を受けて、一定の仕口・継手の加工ができる(ほぞ穴、雄、雌等)	● 指示を受けて、一定の仕口・継手の加工ができる(ほぞ穴、雄、雌等)	● 指示を受けて、一定の仕口・継手の加工ができる(ほぞ穴、雄、雌等)	
地盤張り	● 指示を受けて、地盤張りができる	● 指示を受けて、地盤張りができる	● 指示を受けて、地盤張りができる	● 指示を受けて、地盤張りができる	
水廻り・造り方	● 指示を受けて、水廻り・造り方ができる(土台組、軸組、床組、小屋組み)	● 指示を受けて、水廻り・造り方ができる(土台組、軸組、床組、小屋組み)	● 指示を受けて、水廻り・造り方ができる(土台組、軸組、床組、小屋組み)	● 指示を受けて、水廻り・造り方ができる(土台組、軸組、床組、小屋組み)	
建て方	● 指示を受けて、接合金物の取付ができる ● 指示を受けて、土台の取付ができる ● 指示を受けて、防かひの取付ができる	● 指示を受けて、接合金物の取付ができる ● 指示を受けて、土台の取付ができる ● 指示を受けて、防かひの取付ができる	● 指示を受けて、接合金物の取付ができる ● 指示を受けて、土台の取付ができる ● 指示を受けて、防かひの取付ができる	● 指示を受けて、接合金物の取付ができる ● 指示を受けて、土台の取付ができる ● 指示を受けて、防かひの取付ができる	
各部(床、壁、天井、屋根)の地下	● 指示を受けて、運搬ができる ● 指示を受けて、地下地の取付ができる ● 指示を受けて、土台の取付ができる ● 指示を受けて、防かひの取付ができる	● 指示を受けて、運搬ができる ● 指示を受けて、地下地の取付ができる ● 指示を受けて、土台の取付ができる ● 指示を受けて、防かひの取付ができる	● 指示を受けて、運搬ができる ● 指示を受けて、地下地の取付ができる ● 指示を受けて、土台の取付ができる ● 指示を受けて、防かひの取付ができる	● 指示を受けて、運搬ができる ● 指示を受けて、地下地の取付ができる ● 指示を受けて、土台の取付ができる ● 指示を受けて、防かひの取付ができる	
リフォーム	● 指示を受けて、運搬ができる ● 指示を受けて、地下地の取付ができる ● 指示を受けて、土台の取付ができる ● 指示を受けて、防かひの取付ができる	● 指示を受けて、運搬ができる ● 指示を受けて、地下地の取付ができる ● 指示を受けて、土台の取付ができる ● 指示を受けて、防かひの取付ができる	● 指示を受けて、運搬ができる ● 指示を受けて、地下地の取付ができる ● 指示を受けて、土台の取付ができる ● 指示を受けて、防かひの取付ができる	● 指示を受けて、運搬ができる ● 指示を受けて、地下地の取付ができる ● 指示を受けて、土台の取付ができる ● 指示を受けて、防かひの取付ができる	
開口部・金属製建具工事	● 指示に従い、サッシ取付部の防水処理ができる ● 指示に従い、アルミサッシの取付ができる	● 指示に従い、サッシ取付部の防水処理ができる ● 指示に従い、アルミサッシの取付ができる	● 指示に従い、サッシ取付部の防水処理ができる ● 指示に従い、アルミサッシの取付ができる	● 指示に従い、サッシ取付部の防水処理ができる ● 指示に従い、アルミサッシの取付ができる	
各部(床、壁、天井、外部)の仕上げ	● 指示に従い、作業手順を確認しながら、構造用合板、石膏ボードを張り付けられる ● 指示に従い、作業手順を確認しながら、フローリング張りができる	● 指示に従い、作業手順を確認しながら、構造用合板、石膏ボードを張り付けられる ● 指示に従い、作業手順を確認しながら、フローリング張りができる	● 指示に従い、作業手順を確認しながら、構造用合板、石膏ボードを張り付けられる ● 指示に従い、作業手順を確認しながら、フローリング張りができる	● 指示に従い、作業手順を確認しながら、構造用合板、石膏ボードを張り付けられる ● 指示に従い、作業手順を確認しながら、フローリング張りができる	
外部仕上げ	● 指示に従い、作業手順を確認しながら、サイディング張りができる	● 指示に従い、作業手順を確認しながら、サイディング張りができる	● 指示に従い、作業手順を確認しながら、サイディング張りができる	● 指示に従い、作業手順を確認しながら、サイディング張りができる	
和室の造作	● 指示に従い、作業手順を確認しながら、既製の家具部材を組み立てられる	● 指示に従い、作業手順を確認しながら、既製の家具部材を組み立てられる	● 指示に従い、作業手順を確認しながら、既製の家具部材を組み立てられる	● 指示に従い、作業手順を確認しながら、既製の家具部材を組み立てられる	
造作加工・取付	● 指示に従い、作業手順を確認しながら、既製の家具部材を組み立てられる	● 指示に従い、作業手順を確認しながら、既製の家具部材を組み立てられる	● 指示に従い、作業手順を確認しながら、既製の家具部材を組み立てられる	● 指示に従い、作業手順を確認しながら、既製の家具部材を組み立てられる	
2×4	● 指示に従い、作業手順を確認しながら、既製の家具部材を組み立てられる	● 指示に従い、作業手順を確認しながら、既製の家具部材を組み立てられる	● 指示に従い、作業手順を確認しながら、既製の家具部材を組み立てられる	● 指示に従い、作業手順を確認しながら、既製の家具部材を組み立てられる	
省エネルギー施工	● 指示に従い、作業手順を確認しながら、断熱施工ができる	● 指示に従い、作業手順を確認しながら、断熱施工ができる	● 指示に従い、作業手順を確認しながら、断熱施工ができる	● 指示に従い、作業手順を確認しながら、断熱施工ができる	
省エネ構造	● 指示に従い、作業手順を確認しながら、断熱施工ができる	● 指示に従い、作業手順を確認しながら、断熱施工ができる	● 指示に従い、作業手順を確認しながら、断熱施工ができる	● 指示に従い、作業手順を確認しながら、断熱施工ができる	
バリアフリー施工	● 指示に従い、作業手順を確認しながら、断熱施工ができる	● 指示に従い、作業手順を確認しながら、断熱施工ができる	● 指示に従い、作業手順を確認しながら、断熱施工ができる	● 指示に従い、作業手順を確認しながら、断熱施工ができる	
木造の基礎知識	● 指示に従い、作業手順を確認しながら、断熱施工ができる	● 指示に従い、作業手順を確認しながら、断熱施工ができる	● 指示に従い、作業手順を確認しながら、断熱施工ができる	● 指示に従い、作業手順を確認しながら、断熱施工ができる	
木質構造理解	● 指示に従い、作業手順を確認しながら、断熱施工ができる	● 指示に従い、作業手順を確認しながら、断熱施工ができる	● 指示に従い、作業手順を確認しながら、断熱施工ができる	● 指示に従い、作業手順を確認しながら、断熱施工ができる	
耐力壁	● 指示に従い、作業手順を確認しながら、断熱施工ができる	● 指示に従い、作業手順を確認しながら、断熱施工ができる	● 指示に従い、作業手順を確認しながら、断熱施工ができる	● 指示に従い、作業手順を確認しながら、断熱施工ができる	
水平構面	● 指示に従い、作業手順を確認しながら、断熱施工ができる	● 指示に従い、作業手順を確認しながら、断熱施工ができる	● 指示に従い、作業手順を確認しながら、断熱施工ができる	● 指示に従い、作業手順を確認しながら、断熱施工ができる	
架構・接合部	● 指示に従い、作業手順を確認しながら、断熱施工ができる	● 指示に従い、作業手順を確認しながら、断熱施工ができる	● 指示に従い、作業手順を確認しながら、断熱施工ができる	● 指示に従い、作業手順を確認しながら、断熱施工ができる	
法適合性 コンプライアンス	● 労働安全衛生法に関する法規の基礎的な理解 ● 建築関連法規の概要の理解	● 労働安全衛生法に関する法規の基礎的な理解 ● 建築関連法規の概要の理解	● 労働安全衛生法に関する法規の基礎的な理解 ● 建築関連法規の概要の理解	● 労働安全衛生法に関する法規の基礎的な理解 ● 建築関連法規の概要の理解	
職業能力開発促進法	○ 3級建築大工技能士 ○ 技能士補	○ 3級建築大工技能士 ○ 技能士補	○ 3級建築大工技能士 ○ 技能士補	○ 3級建築大工技能士 ○ 技能士補	
労働安全衛生法	● 安全衛生教育(雇入れ時) ● 玉掛特別教育(1t未満) ● 高所作業車運転特別教育(10m未満) ● 足場の組立て等作業従事者特別教育 ● 移動式クレーン特別教育(1t未満) ● 丸のこ等取組業者安全衛生教育(特別教育に準じる教育)	● 職長・安全衛生責任者教育 ● 玉掛技能講習(1t以上) ● 高所作業車運転技能講習(10m以上) ● 足場の組立て等作業主任者技能講習 ● 小型移動式クレーン特別教育(1t以上5t未満) ● 自由研削機等の取組等業務特別教育 ● 木造建築施工管理士(建築) ● 2級建築施工管理士(建築) ● 2級建築施工管理士(躯体) ● 2級建築施工管理士(仕上げ) ● 主任技術者 ● 木造建築士	● 職長・安全衛生責任者教育(再) ● 玉掛技能講習(1t以上) ● 高所作業車運転技能講習(10m以上) ● 足場の組立て等作業主任者技能講習 ● 小型移動式クレーン特別教育(1t以上5t未満) ● 自由研削機等の取組等業務特別教育 ● 木造建築施工管理士(建築) ● 2級建築施工管理士(建築) ● 2級建築施工管理士(躯体) ● 2級建築施工管理士(仕上げ) ● 主任技術者 ● 木造建築士	● 職長・安全衛生責任者教育(再) ● 玉掛技能講習(1t以上) ● 高所作業車運転技能講習(10m以上) ● 足場の組立て等作業主任者技能講習 ● 小型移動式クレーン特別教育(1t以上5t未満) ● 自由研削機等の取組等業務特別教育 ● 木造建築施工管理士(建築) ● 2級建築施工管理士(建築) ● 2級建築施工管理士(躯体) ● 2級建築施工管理士(仕上げ) ● 主任技術者 ● 木造建築士	● 職長・安全衛生責任者教育(再) ● 玉掛技能講習(1t以上) ● 高所作業車運転技能講習(10m以上) ● 足場の組立て等作業主任者技能講習 ● 小型移動式クレーン特別教育(1t以上5t未満) ● 自由研削機等の取組等業務特別教育 ● 木造建築施工管理士(建築) ● 2級建築施工管理士(建築) ● 2級建築施工管理士(躯体) ● 2級建築施工管理士(仕上げ) ● 主任技術者 ● 木造建築士
建設業法	○ 建設業法 ○ 建設業法に基づく備前義務 ○ 建設業法に基づく備前義務(10年間義務化) ○ 木造住宅の構造・設備に関する理解	○ 建設業法 ○ 建設業法に基づく備前義務 ○ 建設業法に基づく備前義務(10年間義務化) ○ 木造住宅の構造・設備に関する理解	○ 建設業法 ○ 建設業法に基づく備前義務 ○ 建設業法に基づく備前義務(10年間義務化) ○ 木造住宅の構造・設備に関する理解	○ 建設業法 ○ 建設業法に基づく備前義務 ○ 建設業法に基づく備前義務(10年間義務化) ○ 木造住宅の構造・設備に関する理解	
建築士法	○ 建築士法 ○ 建築士法に基づく備前義務 ○ 建築士法に基づく備前義務(10年間義務化) ○ 木造住宅の構造・設備に関する理解	○ 建築士法 ○ 建築士法に基づく備前義務 ○ 建築士法に基づく備前義務(10年間義務化) ○ 木造住宅の構造・設備に関する理解	○ 建築士法 ○ 建築士法に基づく備前義務 ○ 建築士法に基づく備前義務(10年間義務化) ○ 木造住宅の構造・設備に関する理解	○ 建築士法 ○ 建築士法に基づく備前義務 ○ 建築士法に基づく備前義務(10年間義務化) ○ 木造住宅の構造・設備に関する理解	
その他	○ 普通自動車免許	○ 普通自動車免許	○ 普通自動車免許	○ 普通自動車免許	
学校教育法	○ 普通自動車免許	○ 普通自動車免許	○ 普通自動車免許	○ 普通自動車免許	

<資格 凡例> ○: 仕事をするとともに必須の資格 ○: 取得する事が望ましい資格 ※: ステップアップしていくことで望ましい資格

大工技能者および派生・専門職種別の技能範囲

	[共通] 基本	[共通] 手道具 木材	[施工] 躯体	[施工] 現場	[施工] 手刻 リフォーム	[施工] 仕上	[施工] 2×4	[計画] 設計 法規
標準大工(大工見習い)	●	●	●	●	●	●	●	●
上級大工・上級熟練大工	●	●	●	●	●	●	●	●
社寺等伝統系大工	●	●	●	●	●	●	●	●
2×4大工	●	●	●	●	●	●	○	●
フレーマー(建て方大工)	●	●	●	●	●	●	○	●
木材加工大工	●	●	●	●	●	●	○	●
内装・造作大工	●	●	●	●	●	●	○	●
リフォーム系大工	●	●	●	●	●	●	○	●
指導員	●	●	●	●	●	●	○	●

※: 技能の修得は必要はないが、知識・経験として理解している



大工技能者 職業能力基準（職業意識） 枠組(案)

		レベル1	レベル2	レベル3	レベル4
		—	★	★★	★★★
		見習い大工	標準大工	上級大工	上級熟練大工
社会的責任とコンプライアンス	法令・諸ルールの理解	● 就業規則や工事関連の諸ルール及び法令について、内容を理解している。	● 就業規則や工事関連の諸ルール及び法令についての内容を理解して、遵守している。	—	● 就業規則や工事関連の諸ルール及び法令についての内容を理解し、他者の範となるように行動で示し、指導している。
	法令・諸ルールの遵守	● 普段顔を合わせる範囲で、現場の利害関係者を理解している。 ● 仕事に関する法的または倫理的な事項について、過去の問題となった具体例（事例）を知っている。 ● しなければならない仕事の手順を故意に省くことなく、指示されたとおりに正確に作業を行っている。	● 建て主、設計者及び元請等の利害関係者を理解している。 — ● しなければならない仕事の手順を故意に省くことなく、正確に作業を行っている。	— ● 仕事に関する法的または倫理的な問題についての具体例（事例）を理解し、それが現場に及ぼす影響を理解している。	● 建て主、設計者及び元請等の利害関係者を理解して、連携が取れている。 ● 仕事に関する法的または倫理的な問題についての具体例（事例）を理解し、現場に及ぼす影響や対処法を検討している。 ● しなければならない仕事の手順の内容を理解し、他者の範となるように行動で示し、指導している。
チームワークとコミュニケーション能力	チームワーク	● 指示された仕事が社会的道徳や環境、安全などと明らかに矛盾する場合には、その矛盾点を指摘できる。 ● 不測の事態に面しても直ちに報告し、上司の指示に従い冷静に行動できる。	● 遂行すべき仕事が社会的道徳や環境、安全などと明らかに矛盾する場合には、矛盾点を指摘し、上司の判断を仰ぎ、問題解決を行っている。 — ● 不測の事態に面しても直ちに報告し、上司の判断を仰ぎ、適切な問題解決を行っている。	● 遂行すべき仕事が社会的道徳や環境、安全などと明らかに矛盾する場合には、たとえ大きな成果が得られそうな場合であっても断念している。 — ● 不測の事態に面しても冷静な現状分析に基づき、適切な問題解決を行っている。	— — —
	コミュニケーション能力	● 自分から明るく元気な挨拶をし、上司などからの問いかけにはハキハキ答えている。 ● 業務上の報告・連絡・相談をきちんと行っている。 ● 現場において上司や作業仲間とともに他職種の人たちと積極的にコミュニケーションの場に参加している。 ● 人にお願いするときは丁寧な言葉使いで依頼し、内容を正しく伝えている。	● 現場において上司や作業仲間とともに他職種の人達と積極的にコミュニケーションの場に参加している。 ● 報告、連絡、相談の大切さを理解して、日々の業務内容を上司、先輩に報告している。 — ● 上司の指示により、現場関係者とのコミュニケーションの場に参加している。	— ● 日々の活動の中で、報告、連絡、相談を自ら率先して実施し、その重要性を部下や後輩に認識させている。 — ● 地域の行事等には上司とともに参加して、近隣・周辺に対して普段から挨拶するなどのコミュニケーションをとっている。	● 工事終了後も利害関係者及び現場関係者と良い人間関係を維持するように意思疎通を図り、コミュニケーションを活発にしている。 — — ● 地域の行事等に参加し、近隣・周辺に対して普段から部下や作業者にマナーよく挨拶するように率先垂範または指導している。
作業の効率と職業人としての自覚	道具の活用・管理	● 大工道具、電動工具の手入れや管理を自分で行っている。 ● 工具が壊れたらすぐに会社に報告している。	● 自分の道具の手入れを行っており、円滑に作業が開始できるように備えている。 ● 工具が壊れたらすぐに報告し、修理に出して使えるようにしている。	● 後輩や部下等に対して、道具の手入れや管理の範となり、指導できている。 ● 会社の工具や機械の状態を把握し、必要に応じてメンテナンスや買替の判断をしている。 ● 会社の道具と個人の持ち物を把握し、整理と管理が出来ている。	● 会社の道具と個人の持ち物を把握しており、扱い方を観察して指導している。 — —
	作業の効率化	● 上司や先輩の作業を見ながら、自分の技能を高める努力を行っている。 ● あいばんで作業ができる。 ● 人の指示を聞いて仕事ができる。 ● 資材搬入時に材料確認をしている。	● 目標工程に沿って、1日の目標を立てて段取りが出来ている。 ● 他職の段取りができる。 — ● 納品書の保管・管理ができている。	— — — ● 会社の在庫を把握している。	— — — —
職業人としての自覚	職業人としての自覚	● 建築大工としての責任感や厳しさを理解して緊張感をもって仕事に取り組んでいる。 ● 現場において適切な言葉遣いや言動、望ましい行動の規範を理解して、心がけている。 ● 指示を受けて、分かり易く工事写真を撮ることができている。 ● 指示された内容、打合せ事項、上司からのアドバイス等をメモに取っている。 ● 公私の区別は明確にしている。	● 建築大工としての責任感や厳しさを理解して緊張感をもって仕事を遂行している。 ● 現場において適切な言葉遣いや言動、望ましい行動の規範を身に付けて、仕事を遂行している。 ● 各部位、各工程毎に工事写真を撮り、施工内容を記録している。 ● 打合せ事項や数量、スケジュール等をメモに取り、確認して間違いを無くしている。	● 現場において適切な言葉遣いや言動、望ましい行動の規範を率先して示し、日常業務の具体的な場面において部下の行動を指導している。 ● 各部位、各工程毎に工事写真を撮り、施工内容を記録・管理しており、部下、後輩等の手本や顧客への説明資料として活用している。 — —	● 建築大工としての責任感や厳しさを理解して緊張感をもって仕事を遂行し、他者の範となるように行動で示している。 — — —
	安全管理と環境保全	安全衛生の推進	● 安全衛生のルールに従い、安全装置や保護具の使用・着用を適切に行っている。 ● 自分が危険だと思うことについては、主体的に上司に伝え、作業場を整理整頓し、事故につながりかねないことを無くすよう気を配っている。	● 建設業の労働安全衛生法について基本的考え方を理解している。 ● 労働災害を防止するための危険予知活動等、現場の一員として積極的に参加している。	● 建設業の労働安全衛生法を理解し、無災害になるような安全推進、危険防止措置を率先して行っている。 —
現場マナー	環境保全	● 作業で生じたごみの抑制、分別について、その現場に応じた適切な対応を行っている。 ● 現場の材料の無駄を無くすこと、リサイクルを心がけている。	● 環境問題への社会的取組みについて理解し、ごみの抑制、分別について、できることを率先して行うよう心がけている。 ● 現場の材料の無駄を無くすこと、リサイクルを心がけ、普段の業務で意識的に実践している。	● 環境問題への社会的取組みについて理解し、ごみの抑制、分別について、できることを自ら現場において業界等と協力して実施している。 ● 現場の材料の無駄を無くすこと、リサイクルを心がけ、現場において出来る事を立案して、部下や後輩達に対して手本を示している。	— —
	現場マナー	● 現場の近隣周辺に対して挨拶や会釈等をするなどで、現場のイメージを良くすると同時に地域社会の一員として仕事をしている。 ● 現場及び近隣の掃除を行い、地域に配慮している。 ● 指示を受けて現場の整理整頓が出来る。 ● 養生の必要性、注意点を理解して、指示を受けて養生が出来る。 ● 現場における喫煙ルール、周辺道路での喫煙禁止を遵守している。 ● 事前に指示を受けた場所に駐車・駐輪している。 ● 騒音や振動、粉塵など、現場周辺の住民への影響に気を配って作業を進めている。	● 工程ごとに整理整頓を心がけ、整然と作業ができていく。 ● 養生の必要性を理解して、工程の仕上がり毎に養生して仕事を遂行している。 — ● 近隣等に対して影響を配慮し、事前に指示を受けた場所に駐車・駐輪している。 ● 近隣等に対して騒音や振動、粉塵など健康に影響を与えないようにするにはどうしたらよいかを考えている。	● 現場及び近隣の掃除を率先して行い、部下や後輩達に対して手本を示している。 — ● 他職の段取りを理解して、手戻りが無いように、工程の仕上がり毎に養生している。 — ● 近隣等に対して騒音や振動、粉塵など健康に影響を与えないようにする具体的方法を立案して協力している。	● 現場の近隣・周辺等に対して、代表して挨拶に行ったり、現場のイメージを良くする活動を推進している。 ● 整理整頓を常に行い、他者の範となるように行動で示し、部下を指導している。 — —
人材育成	人材育成	● 仕事で問題に直面した際は、一人で悩まずに上司や同僚に率直に相談し、より良い問題解決を図っている。 ● 指示された仕事に関心を持ち、自分が納得いくように上司、先輩の仕事の進め方を観察しながら早くチームに溶け込めるように努力している。 ● 分からないことを上司、先輩に積極的に質問して業務内容を早く覚えようとしている。	● 部下、後輩の倫理的な相談に対して適切な助言を与え、ともに、解決に向けて一歩に取組んでいる。 ● 部下や後輩等の実施した作業に対して気付いた事項を指摘したり、自分の知識や仕事のコツ等を説明して早くチームの中で溶け込めるよう働きかけている。 ● 業務や作業に不慣れな後輩等に対しては、見本を自分でやって見せて孤立しないように配慮している。 ● 上司の指示に基づいて後輩等と話合ったり、悩みを聞いた時に人間関係を良くしようとしている。 ● 作業中に後輩等から作業等について相談や質問をされた時は、分かる範囲で分かりやすく説明しようとしている。	● 部下の行動の法令、諸ルールへの適合性を確認し、倫理、社会道徳に則った行動をとるように指導している。 — —	● リーダーまたは手本を示す役割として、現場や社の内外を問わず人をうまく引きつけている。 — —

評価実施日
年 月 日

# 大工技能者 職業能力評価シート

社名	評価者 氏名
----	--------

社員 ・ 請負	所属	年齢	本人 氏名
---------	----	----	-------

最終学歴	高校 大学 ( )	専門学校 大学院 ( )	年卒業
------	-----------------	--------------------	-----

※シートの記入時間の目安は約30分です。

大分類	中分類	番号	内容	本人評価	上司評価	
① 経験年数	経験年数	0	大工になったの経験年数 0 5年未満 (2年=0.4)    1 5~10年未満 (8年=1.6)    2 10~15年未満 (11年=2.4)    3 15~20年未満 (19年=3.8)    4 20年以上			
		小計	評価点数	0 / 4	0 / 4	
		割合	0%	0%		
② 社会的責任と法令順守	社会的責任	1	会社の就業規則や工事関係の諸ルール及び法令について理解している 0 少し理解していない    1 ある程度理解している    2 完全に理解している    3 規則・法令の指し示ができる    4 適切に指導している			
		2	建て主、設計者及び元請等の関係者との信頼関係について理解している 0 少し理解していない    1 ある程度理解している    2 完全に理解している    3 理解し適切な会話をしている    4 理解し問題を処理している			
	法令順守	3	しなければならない仕事の手順をわざと省くことなく、作業を行っている 0 指示され手順通りできる    1 ある程度理解している    2 完全に理解し作業している    3 作業手順を指示できる    4 適切に指導している			
		4	仕事が社会的道徳などと明らかに矛盾する場合は、断っている 0 どうするか分からない    1 指示通りに仕事をする    2 会社に相談する    3 仕事を行わない    4 会社に矛盾点を指摘できる			
		5	現場で問題が起きた場合、解決のための適切な行動をとっている 0 どうするか分からない    1 指示を待っている    2 直ぐに監督に報告している    3 監督に報告しその場に対応    4 会社に報告し指示している			
	小計	評価点数	0 / 20	0 / 20		
		割合	0%	0%		
	③ 職業人としての自覚	職業人としての自覚	6	社会人として適切な言葉遣いや望ましい行動を心がけている 0 少しできている    1 ほぼできている    2 実践している    3 言葉遣い行動共に模範的    4 適切に指導している		
			7	公私の区別を明確にしている 0 不十分である    1 理解している    2 実践している    3 模範的に仕事している    4 適切に指導している		
			8	打合せ事項等は、メモに取り間違いを無くようにしている 0 メモを取っていない    1 理解している    2 実践している    3 模範的である    4 適切に指導している		
9			建築大工としての責任感や厳しさを理解して、緊張感をもって仕事に取り組んでいる 0 少し理解していない    1 理解している    2 責任感を持ち取り組んでいる    3 模範的に取り組んでいる    4 適切に指導している			
10			自分の仕事の工事写真を工程ごとに記録・整理している 0 していない    1 指示され行っている    2 実践している    3 記録を整理し会社に提出    4 後輩の指導に役立っている			
小計		評価点数	0 / 20	0 / 20		
		割合	0%	0%		

大分類	中分類	番号	内容	本人評価	上司評価		
④ チームワークとコミュニケーション	チームワーク	11	作業指示に従い、単独行動をとることなく、周囲に気を配って作業をしている 0 指示に従っている 1 次作業を考慮している 2 周囲を考え作業している 3 周囲を考え指示をしている 4 適切に指導している				
		12	作業が円滑に進むよう同僚や他職と進捗状況を共有し、協力して仕事を進めている 0 指示に従っている 1 進捗状況を報告している 2 実践している 3 情報共有を率先している 4 情報共有を指導している				
		13	自分の担当作業をきちんと行った上で、余力がある場合には進んで周囲の仕事を手伝っている 0 指示された作業を行っている 1 作業の余力はない 2 実践している 3 作業内容を指示している 4 協働の指導をしている				
		14	休みを取る場合には休暇願等を出して承認を得ており、無断で休んで段取りや工程計画に影響を与えないように配慮している 0 配慮していない 1 無断で休暇・遅刻は行わない 2 工程を考え休暇をとる 3 工程を考え指示している 4 休暇等を適切に指導している				
	コミュニケーション能力	15	近隣・他職・関係者と挨拶ができ、問いかけにははっきりと返事をしている 0 関係者には挨拶している 1 他職も含め挨拶している 2 近隣にも積極的に挨拶する 3 近隣配慮を指示している 4 適切に指導している				
		16	人にお願いをする時には、内容を正しく伝え、丁寧な言葉使いで依頼している 0 不得意である 1 行う努力をしている 2 実践している 3 模範的である 4 適切に指導している				
		17	現場関係者とコミュニケーションを活発にし、良い人間関係を維持している 0 不得意である 1 相手によりできる 2 誰とでもできる 3 積極的に行っている 4 適切に指導できる				
		18	仕事の上で、進捗状況や問題点などの報告・連絡を会社に行っている 0 指示され行っている 1 聞かれたら行っている 2 積極的に行っている 3 報告・連絡を指示している 4 適切に指導している				
	小計	評価点数			0 / 32	0 / 32	
		割合			0%	0%	
	⑤ 現場マナー	現場マナー	19	整理整頓、ゴミの分別・抑制に心がけ、できることを行っている 0 指示され行っている 1 理解し行っている 2 積極的に行っている 3 指示を出し模範となっている 4 適切に指導している			
			20	養生の必要性を理解し、他職の段取りを意識して、工程毎に必要な養生を行っている 0 指示され行っている 1 理解し行っている 2 積極的に行っている 3 指示を出し模範となっている 4 適切に指導している			
			21	現場内や周辺道路における喫煙ルールや禁煙マナーに配慮している 0 指示され行っている 1 理解し行っている 2 積極的に行っている 3 指示を出し模範となっている 4 適切に指導している			
			22	現場内や周辺道路における違法駐車に配慮している 0 指示され行っている 1 理解し行っている 2 積極的に行っている 3 指示を出し模範となっている 4 適切に指導している			
			23	現場の近隣等に対して挨拶を行い、騒音や粉塵などの影響を与えないように配慮している 0 指示され行っている 1 理解し行っている 2 積極的に行っている 3 指示を出し模範となっている 4 適切に指導している			
		小計	評価点数			0 / 20	0 / 20
			割合			0%	0%

大分類	中分類	番号	内容	本人評価	上司評価	
⑥ 労働安全衛生管理	安全衛生の推進	24	現場・工場での作業の安全を心がけている 0 なにもしていない 1 一応心掛けている 2 普段から心掛けている 3 実践している 4 安全の指導を行っている			
		25	高所から物を投げない、落とさないよう、道具や資材を管理している 0 知っている 1 理解し、実践している 2 道具は落下防止ひも付き 3 日頃から指示を怠らない 4 適切に指導している			
		26	現場作業ではヘルメットを着用している 0 着用していない 1 建方時は着用している 2 高所では着用している 3 常に着用している 4 適切に指導している			
		27	現場作業では安全帯を着用している 0 着用していない 1 高所作業時に着用している 2 常に着用し親綱を足場等に連結している 3 ハーネス型安全帯を活用している 4 適切に指導している			
		28	電動工具等の安全装置を適切に使用している 0 使用していない 1 使用しない時もある 2 作業の効率を考え使用 3 常に使用している 4 適切に指導している			
	小計		評価点数	0 / 20	0 / 20	
			割合	0%	0%	
	⑦ 道具の知識と管理	道具の管理	29	会社の工具と個人の道具を区別して扱い、どちらも大切に管理している 0 区別していない 1 自分の工具は大切にしている 2 どちらも大切にしている 3 大切に扱うよう指示している 4 適切な指導をしている		
			30	会社の工具が壊れた時にはすぐに報告し、必要に応じて修理に出している 0 報告していない 1 報告している 2 報告し、修理に出している 3 報告するよう指示している 4 適切な指導をしている		
			31	手道具や電動工具の手入れを日頃から行い、円滑に作業を開始できるように備えている 0 ほとんどやっていない 1 時々手入れをしている 2 いつも手入れをしている 3 手入れを怠らないよう指示している 4 適切な指導をしている		
		手道具	32	手道具の使用方法や手入れ方法の習得とその技能はどのくらいか 0 手道具の名前を知っている 1 一通りの手道具は持っている 2 のみ、かんなの研ぎができる 3 のみの桂を直している 4 台直しかんなを使っている		
電動工具		33	一般的な電動工具の使用方法と手入れ方法の習得とその技能はどのくらいか 0 一通りの電動工具を持っている 1 一通りの電動工具をさせる 2 丸鋸は3台以上を使い分けている 3 エアー(釘打ち機)を3台以上持っている 4 電動工具の正しい使用法を指導している			
木工機械		34	据付型木工機械の使用方法の習得とその技能はどのくらいか 0 プレーナーで平らに削れる 1 角のみでホゾが掘れる 2 ルーターで大入れ蟻掛が作れる 3 モルダーで化粧廻縁を作れる 4 木工機械の正しい使用法を指導している			
小計			評価点数	0 / 24	0 / 24	
			割合	0%	0%	

大分類	中分類	番号	内容	本人評価	上司評価	
⑧ 木材・建材の知識	樹種	35	住宅に用いる一般的な樹種の知識をもっている <input type="checkbox"/> 柱・梁に使う樹種を知っている <input type="checkbox"/> フローリングに使う樹種を知っている <input type="checkbox"/> ドア枠に使う樹種を知っている <input type="checkbox"/> 農林規格の樹種区分を知っている <input type="checkbox"/> 樹種による使分けを指導している			
		36	木材の特性についての知識をもっている <input type="checkbox"/> 芯材と辺材が分かる <input type="checkbox"/> 柱の元・末が分かる <input type="checkbox"/> 木表・木裏が分かる <input type="checkbox"/> 乾燥と収縮の関係が分かる <input type="checkbox"/> 曲がり材の使い方を指導できる			
	木材の知識	37	木材の種類と使用法についての知識をもっている <input type="checkbox"/> 集成材と無垢材が分かる <input type="checkbox"/> 羽柄材など部位別に樹種、品質が分かる <input type="checkbox"/> 木材の定尺が分かる <input type="checkbox"/> 化粧用集成材の使い分けができる <input type="checkbox"/> 丸太材の使い方を指導できる			
		38	ボードや合板の種類を理解し使用している <input type="checkbox"/> 構造用合板が分かる <input type="checkbox"/> ボードの不燃・準不燃が分かる <input type="checkbox"/> ボードの釘ピッチと線空を知っている <input type="checkbox"/> 1類と2類の合板を使い分けられる <input type="checkbox"/> 正しい使用法を指導している			
	建材の知識	39	断熱材の種類と正しい施工法を理解している <input type="checkbox"/> 繊維系とプラスチック系の断熱材を知っている <input type="checkbox"/> 防湿フィルムの止め方を知っている <input type="checkbox"/> 気流止めの必要な場所を知っている <input type="checkbox"/> 筋交いやコンセント部分の正しい施工法を知っている <input type="checkbox"/> 正しい施工法を指導している			
		小計	評価点数	0 / 20	0 / 20	
		割合	0%	0%		
	⑨ 木造の知識	木造架構	40	一般的な木造住宅や伝統的な木造の架構（構造体）の部位の名称を理解している <input type="checkbox"/> 一般的な住宅は一通り理解している <input type="checkbox"/> 一般的な住宅は完全に理解している <input type="checkbox"/> 伝統的な木造もある程度分かる <input type="checkbox"/> 船槽（せがい）造りが分かる <input type="checkbox"/> 伝統的な木造を指導している		
			41	仕口・継手の種類と使用法、その加工法を知っている <input type="checkbox"/> 仕口・継手を知らない <input type="checkbox"/> プレカットの仕口・継手を知っている <input type="checkbox"/> 仕口の金物（羽子板等）の取付けができる <input type="checkbox"/> 車知栓や込栓の仕口・継手を知っている <input type="checkbox"/> 木造架構を自在に組み上げる技能を指導できる		
			42	接合部の仕様を理解し、金物を仕上げに応じて選択できる <input type="checkbox"/> まだ、理解していない <input type="checkbox"/> 金物の種類と取付け方がわかる <input type="checkbox"/> Z, D, Sマーク金物の違いが分かる <input type="checkbox"/> 仕上げに応じて金物を使い分けられる <input type="checkbox"/> 金物の使い分けを正しく指導できる		
耐力壁と水平構面		43	筋交いや構造用合板の耐力壁のつくり方や役割を知っている <input type="checkbox"/> 知らない <input type="checkbox"/> 耐力壁の役割を知っている <input type="checkbox"/> 耐力壁とアンカーボルトの関係を知っている <input type="checkbox"/> 耐力壁と柱の金物の関係を知っている <input type="checkbox"/> 耐力壁の正しい施工法を指導している			
		44	火打ちや厚物合板による水平構面のつくり方や役割を知っている <input type="checkbox"/> 不十分である <input type="checkbox"/> 火打ちの使い方を知っている <input type="checkbox"/> 厚物合板の川の字と四周止めを知っている <input type="checkbox"/> 耐力壁線を知っている <input type="checkbox"/> 水平構面の役割を説明できる			
小計		評価点数	0 / 20	0 / 20		
		割合	0%	0%		

大分類	中分類	番号	内容	本人評価	上司評価	
⑩ 図面の理解	設計図書	45	平面図などの一般図、矩計図などの詳細図を読むことができる 0 平面図から部屋の構成が分かる 1 平面詳細図から仕上げの位置が分かる 2 矩計図から高さ関係の位置が分かる 3 設計図面から納まりを考えられる 4 設計図面の読み方を指導できる			
		46	設計図面以外の標準仕様書や特記仕様書を見て、仕上げ等の仕様が理解できる 0 見たことがない 1 見たことはある程度 2 特記仕様書を見て理解している 3 図面、仕上げ表、特記の違いを気をつけている 4 特記を理解し指導している			
	伏図と木拾い	47	伏図や軸組図等の構造図が読み取れる 0 伏図を読み取れない 1 伏図から部材の位置が分かる 2 簡単な伏図が作成できる 3 伏図・軸組図が作成できる 4 間違いを指摘し正しい伏図を指導できる			
		48	伏図や軸組図等を用いて、構造材の木拾いができる 0 木拾いはできない 1 断面や長さ等を読み取れる 2 定尺を考慮して継手位置の修正ができる 3 木拾いができる 4 木拾いを指導できる			
		49	構造材だけでなく、羽柄材や造作材、ボードや合板等の木工事の見積ができる 0 拾いはできない 1 ボードや合板の拾いができる 2 羽柄材の拾いができる 3 造作材の拾いができる 4 木工事の拾いを指導できる			
	小計	評価点数			0 / 20	0 / 20
		割合			0%	0%
	⑪ 建て方	建て方	50	土台の墨出し、据え付け、アンカー用穴明けができる 0 指示を受けて穴あけはできる 1 指示を受けて据付を補助できる 2 土台の据付ができる 3 墨や据付の確認ができる 4 土台の据付の指導ができる		
			51	建て方の作業手順を理解し、道具や金物の段取りができる 0 指示を受け道具の準備ができる 1 図面を見て金物の準備ができる 2 完全に建方の手順を理解している 3 全ての段取りの指示ができる 4 段取りの指導をしている		
			52	建て方を理解し、部材の運搬、建て方、建て入れ直しができる 0 指示を受け部材の運搬ができる 1 指示を受けずに部材の運搬ができる 2 金物、筋交いを含め建て方ができる 3 棟梁として建方を仕切れる 4 スピーディーな建て方の指導ができる		
53			野地板張りや耐力壁取付け作業ができる 0 指示を受け作業ができる 1 歩留まり良く野地を割り付け作業ができる 2 構造用合板等の面材耐力壁が正しく施工できる 3 筋交いが正しく施工されているかチェックできる 4 野地や耐力壁作業の指導ができる			
54			接合金物の位置、仕様を確認し、取り付けができる 0 接合金物の位置、仕様はまだ分からない 1 指示を受けて取付けができる 2 仕様を確認し取付けができる 3 正しく金物が使われているかチェックできる 4 接合金物の正しい使用法を指導できる			
小計		評価点数			0 / 20	0 / 20
	割合			0%	0%	

大分類	中分類	番号	内容	本人評価	上司評価	
⑫ 下地等の取付け	各部下地等工事	55	大引きの取付け、調整ができる ○ 基本的な施工法を知っている 1 指示を受けて作業ができる 2 鋼製束の取付け、高き調整ができる 3 和室の大引の取付けができる 4 取付け、調整のコツを指導できる			
		56	間柱、窓台、まぐさの取付けができる ○ 基本的な施工法を知っている 1 指示を受け正しく施工できる 2 手順を理解し、普通の速度で作業できる 3 仕様を理解し、早く施工できる 4 場数を踏んでおり、早く正しい施工を指導できる			
		57	根太、野縁、各種下地の取付けができる ○ 基本的な施工法を知っている 1 指示を受け正しく施工できる 2 仕上げや断熱材を考慮し施工できる 3 機器の施工要領を見て、早く正しく下地を施工できる 4 場数を踏んでおり、早く正しい施工を指導できる			
		58	防湿シート付繊維系断熱材等を正しく施工できる ○ 基本的な施工法を知っている 1 指示を受け正しく施工できる 2 隙間や通気止め位置を判断し施工できる 3 設備貫通部を含め、早く正しく施工できる 4 どのような部位でも正しい施工法を指導できる			
		59	外張り断熱、付加断熱を正しく施工できる ○ 基本的な施工法を知っている 1 指示を受け正しく施工できる 2 気密のとり方を理解し、施工できる 3 取合い部を含め、早く正しく施工できる 4 場数を踏んでおり、早く正しい施工を指導できる			
	小計	評価点数			0 / 20	0 / 20
		割合			0%	0%
	⑬ 外部廻り工事	外部下地等工事	60	防水紙（透湿防水シート等）を施工基準に従い張り込みできる ○ 基本的な施工法を知っている 1 指示を受け正しく施工できる 2 施工基準を理解し通常の速さで施工できる 3 早く正しく施工できる 4 施工基準の内容や施工のコツを指導できる		
			61	通気層を確保する外壁材（サイディング等）の下地を正しく施工できる ○ 基本的な施工法を知っている 1 指示を受け正しく施工できる 2 通気を確保しながらジョイント部や出隅を施工できる 3 外壁材の種類、厚さに合わせ、早く正しく施工できる 4 場数を踏んでおり施工の問題点を踏まえ正しく指導できる		
			62	軒天の上げ裏、破風、鼻隠しの取付けが正しくできる ○ 基本的な施工法を知っている 1 指示を受け正しく施工できる 2 化粧破風、鼻隠しの施工が正しくできる 3 化粧破風、鼻隠しを含め軒天の施工が早くきれいにできる 4 場数を踏んでおり施工の問題点を踏まえ正しく指導できる		
建具の取付け		63	防水や外壁材を考慮し、サッシの取り付けが正しくできる ○ 基本的な施工法を知っている 1 指示を受け正しく施工できる 2 先張りシート、防水テープを使い正しく施工できる 3 正しい施工が普通より早くきれいにできる 4 場数を踏んでおり施工の問題点を踏まえ正しく指導できる			
		64	防水や外壁材との取合いを考慮し、玄関ドア、シャッターの取付けが正しくできる ○ 基本的な施工法を知っている 1 指示を受け正しく施工できる 2 重量や点検を考慮し下地を含め取付けできる 3 正しい施工が普通より早くきれいにできる 4 場数を踏んでおり施工の問題点を踏まえ正しく指導できる			
小計		評価点数			0 / 20	0 / 20
		割合			0%	0%



大分類	中分類	番号	内容	本人評価	上司評価
⑭ 仕上・造作工事	仕上各工部事	65	せっこうボード等のボード類、フローリング張り等の施工ができる 0 基本的な施工法を知っている 1 ボード張り、フローリング張りができる 2 割付を行い、下合板上にフローリングを施工できる 3 根太の上に厚物フローリングを施工できる 4 場数を踏んでおり施工上の問題点を踏まえ正しく指導できる		
		66	和室の造作ができる 0 長押や落掛等の和室の造作の名前を知っている 1 指示を受け仕上げの手伝いができる 2 大壁仕様の和室造作ができる 3 真壁造の和室の長押が入れられる 4 場数を踏んでおり施工上の問題点を踏まえ正しく指導できる		
	加工・枠材取付	67	建具廻りの枠材について、加工・取付ができる 0 枠材加工・取付の概要を知っている 1 既製枠材の加工・取付ができる 2 無垢材の造作材を加工・取付けできる 3 角柄、メチ入り相欠き留めができる 4 場数を踏んでおり施工上の問題点を踏まえ正しく指導できる		
		68	既製品（システムキッチン、洗面化粧台、建具）の取付、造作家具の製作・取付ができる 0 既成品の取付け補助ができる 1 指示を受け取付けができる 2 下地を含め既製品の取付ができる 3 簡単な造作家具を無垢材で加工取付けできる 4 框型の造作家具の製作、取付けができる		
	加工・階段取付	69	階段の加工・取付ができる 0 階段の加工取付けの知識がある 1 指示を受け取付け補助ができる 2 フレット階段の取付ができる 3 折れ階段の加工・取付ができる 4 スリッパ階段の加工・取付ができる		
		小計	評価点数	0 / 20	0 / 20
		割合	0%	0%	
⑮ 構造材の墨付・加工	矩計棒	70	矩計棒（献竿）や原寸型板の作成やそれを用いた加工や寸法の検査ができる 0 したことはない 1 簡単な原寸型板を基に加工できる 2 矩計棒（献竿）の作成ができる 3 原寸型板を作成し、加工ができる 4 矩計棒や原寸型板の作成指導ができる		
		71	仕口・継手を理解し構造材の墨付ができる 0 墨付けはできない 1 指示をうけながら簡単な墨付ができる 2 仕口・継手の墨付ができる 3 住宅一棟分の墨付ができる 4 丸太・太鼓梁の墨付の指導ができる		
	刻み	72	構造材の仕口・継手の刻みができる 0 刻みはできない 1 ホソ穴、蟻、鎌の刻みはできる 2 追っかけ大栓等の刻みができる 3 加えて、曲がりやを考慮しメチを入れられる 4 全ての仕口・継手の指導ができる		
		小計	評価点数	0 / 12	0 / 12
		割合	0%	0%	
⑯ 作業の効率化	作業の効率化	73	会社や監督からの指示を受けて、仕様を理解し正しく作業ができる 0 指示を受け作業ができる 1 仕様を理解し作業ができる 2 正しい作業ができる 3 正しい作業の指示ができる 4 仕様が適切か判断できる		
		74	工程に沿って一日の目標を立て、段取りや作業が出来ている 0 指示に従っていない 1 一日の目標を立てている 2 目標設定し段取りしている 3 工程の指示をしている 4 工程を管理し指導している		
	作業の効率化	75	工程に沿って、相番作業や他職の段取りができる 0 指示に従っていない 1 他職を考慮し相番できる 2 相番・他職の段取りができる 3 段取りの指示をしている 4 適切な工程管理をしている		
		76	現場に乗込む前に、必要な資材等の搬入計画・他業種の乗込み計画を把握している 0 把握していない 1 大まかに把握している 2 正確に把握している 3 正確に把握し工程を確認している 4 搬入計画等を指導している		
	作業の効率化	77	資材搬入時には、資材の確認や納品書の管理をしている 0 していない 1 資材の受け取りのみを行う 2 資材の受け取り確認を行う 3 納品書の管理を行う 4 資材管理の指導をしている		
		小計	評価点数	0 / 20	0 / 20
		割合	0%	0%	

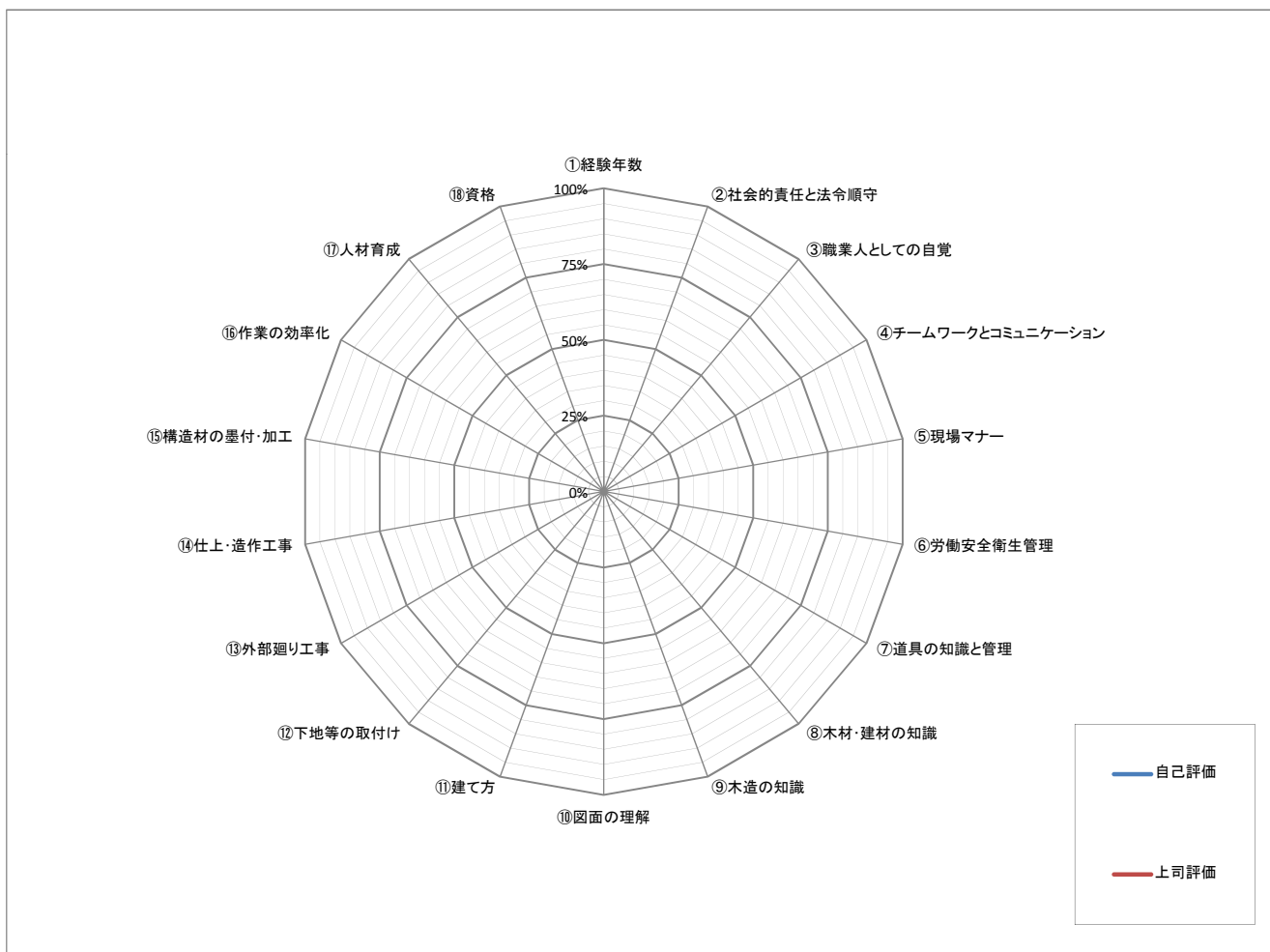
大分類	中分類	番号	内容	本人評価	上司評価	
⑰ 人材育成	人材育成	78	仕事に興味を持ち、分からないことは先輩に積極的に質問し、納得して仕事している 0 仕事に興味は持っていない 1 あまり質問はない 2 積極的に質問している 3 質問に答えている 4 質問するよう指導している			
		79	後輩の作業で気付いた事項を指摘したり、自分の知識や仕事のコツ等を説明している 0 指摘はまだできない 1 間違いのみを指摘する 2 作業法を指摘する 3 指摘し説明している 4 丁寧に指導している			
		80	仕事に不慣れな後輩等に対し、見本を自分でやって見せて孤立しないよう配慮している 0 まだ見せるほどではない 1 時々、やって見せている 2 常に、実践している 3 不慣れな者に絶えず配慮 4 適切に配慮する指導をしている			
		81	部下の特性や性格を把握し意思疎通できるよう、一人一人に合わせ具体的に声を掛けている 0 まだ把握できない 1 意思疎通に心がけている 2 具体的に声をかけている 3 絶えず不慣れな者へ配慮 4 不慣れな者への配慮を指導している			
		82	作業について相談、質問された時しっかり聞き、体験や事例で分かりやすく説明している 0 まだ体験を説明できない 1 分かる範囲で心がけている 2 しっかり聞き説明している 3 絶えず心がけている 4 説明するよう指導している			
		小計		評価点数	0 / 20	0 / 20
			割合	0%	0%	
	⑱ 資格	大工技能士	83	大工技能士の資格を持っている 0 持っていない 1 3級建築大工技能士 2 技能士補 3 2級建築大工技能士 4 1級建築大工技能士・枠組壁建築技能士		
		労安衛生法	84	労働安全衛生法に係る講習を受け資格を取得している 0 講習を受けていない 1 丸鋸の安全教育 2 玉掛技能講習 (1t以上) 3 足場組立技能講習 4 木造組立技能講習		
		建築士	85	建築士の資格を持っている 0 もっていない 4 木造・二級・一級建築士		
小計			評価点数	0 / 12	0 / 12	
			割合	0%	0%	

大分類	中分類	番号	内容	本人評価	上司評価
基本事項	① 経験年数		評価点数	0 / 4	0 / 4
			割合	0%	0%
	⑱ 資格		評価点数	0 / 12	0 / 12
			割合	0%	0%
取組み姿勢	⑰ 人材育成		評価点数	0 / 20	0 / 20
			割合	0%	0%
	⑯ 作業の効率化		評価点数	0 / 20	0 / 20
			割合	0%	0%
基本的な立振舞い	② 社会的責任		評価点数	0 / 20	0 / 20
			割合	0%	0%
	③ 職業人としての自覚		評価点数	0 / 20	0 / 20
			割合	0%	0%
	④ チームワーク		評価点数	0 / 32	0 / 32
			割合	0%	0%
	⑤ 現場マナー		評価点数	0 / 20	0 / 20
			割合	0%	0%
	⑥ 労働安全衛生管理		評価点数	0 / 20	0 / 20
			割合	0%	0%
木材・木造の知識	⑦ 道具の知識と管理		評価点数	0 / 24	0 / 24
			割合	0%	0%
	⑧ 木材・建材の知識		評価点数	0 / 20	0 / 20
			割合	0%	0%
	⑨ 木造の知識		評価点数	0 / 20	0 / 20
			割合	0%	0%
	⑩ 図面の理解		評価点数	0 / 20	0 / 20
			割合	0%	0%
大工技能	⑪ 建て方		評価点数	0 / 20	0 / 20
			割合	0%	0%
	⑫ 下地等の取付け		評価点数	0 / 20	0 / 20
			割合	0%	0%
	⑬ 外部廻り工事		評価点数	0 / 20	0 / 20
			割合	0%	0%
	⑭ 仕上・造作工事		評価点数	0 / 20	0 / 20
			割合	0%	0%
	⑮ 構造材の墨付・加工		評価点数	0 / 12	0 / 12
			割合	0%	0%

大分類	中分類	番号	内容	本人評価	上司評価
基本的な立振舞い評価			基本的な立振舞いに関する点数	0 / 112	0 / 112
			割合	0%	0%
			レベル	レベル 1	レベル 1
木材・木造の知識			木材・木造の知識に関する点数	0 / 84	0 / 84
			割合	0%	0%
			レベル	レベル 1	レベル 1
大工技能			大工技能に関する点数	0 / 92	0 / 92
			割合	0%	0%
			レベル	レベル 1	レベル 1
総合評価			総合点数	0 / 306	0 / 306
			総合割合	0%	0%
			総合レベル	レベル 1	レベル 1

※総合評価にあつては、「基本的な立振舞い」×0.25、「木材・木造の知識」×0.5、「経験年数と資格」×4.0、「人材育成と作業効率」×2.0の重みづけを行い評価している。

※その他の評価にあつては、重みづけをしていない。



<コメント>

(技能)

---

---

---

(素行)

---

---

---

本人：

(技能)

---

---

---

(素行)

---

---

---

<次期 目標設定>

評価者：

---

---

---

---

---

本人：

---

---

---

---

---

大分類	中分類	番号	内容	本人評価	上司評価	
⑨ 木造 (2×4) の知識	木造架構	40	2×4住宅の部位の名称や架構(構造体)を理解している 0 2×4住宅の名称は一通り理解している 1 2×4住宅の名称は完全に理解している 2 構造用合板の張り方の原則を理解している 3 フィンクトラスの切妻屋根ができる 4 トラスによる寄棟屋根ができる			
		41	継手や接合部の補強法を知っている 0 継手を知らない 1 2×4の一般的な継手を知っている 2 たて枠の欠き込みと穴あけの原則を知っている 3 上枠・頭つなぎの補強法が分かる 4 606支持柱の取付け方が分かる			
		42	接合部の仕様を理解し、金物を選択できる 0 まだ、理解していない 1 金物の種類と取付け方がわかる 2 C、Zマーク金物の違いが分かる 3 帯金物を省略する場合の合板お張り方が分かる 4 金物の使い分けを正しく指導できる			
	耐力壁と水平構面	43	耐力壁のつくり方や役割を知っている 0 耐力壁の役割を知らない 1 耐力壁の役割を知っている 2 ストラップアンカーの必要な場所が分かる 3 耐力壁が十字に交わる場合の隅柱構成が分かる 4 耐力壁の正しい施工法を指導している			
		44	床枠組みのつくり方や役割を知っている 0 不十分である 1 床根太の継手の原則を知っている 2 床開口の限度と補強法を知っている 3 床枠組みの補強法を全て理解している 4 床枠組みの役割を説明できる			
	小計	評価点数			0 / 20	0 / 20
		割合			0 %	0 %

## 技能検定の概要

### 受検資格（実務経験年数）

1級	7年 (2級合格後 2年、3級合格後 4年)
2級	2年 (3級合格後 0年)
3級	0年 (検定職種に関する学科に在学する者及び検定職種に関する訓練科において職業訓練を受けている者等も受検可能)

### とび（とび作業）

1級	(1) 鋼管を使用して真づか小屋組の作業を行う。	標準時間	1時間30分	打切り時間	1時間50分
	(2) そり(こした)にのせた重量物の運搬の作業を行う。	試験時間	10分		
	(3) 3種類の重量物の目測の作業を行う。	試験時間	5分		
2級	(1) 鋼管を使用して片流れ小屋組の作業を行う。	標準時間	1時間30分	打切り時間	1時間50分
	(2) 3種類の重量物の目測の作業を行う。	試験時間	5分		

### 型枠施工（型枠工事作業）

1級	(1) 作業試験は、型起こし台（合板パネル）上に基礎型枠（片側半分のもの）の下ごしらえ及び組立てを行う。	標準時間	5時間	打切り時間	5時間30分
	(2) ペーパーテストは、躯体図及び仕様等に従い、型枠加工図（下ごしらえ図）に必要な寸法、パイプサポートの位置等について行う。	試験時間	2時間		
2級	型起こし台（合板パネル）上に基礎型枠（片側半分のもの）の下ごしらえ及び組立てを行う。	標準時間	5時間	打切り時間	5時間30分

### 鉄筋施工（鉄筋施工図作成作業）

1級	2階建て鉄筋コンクリート造の建築物の基礎伏図、はり・床伏図、各部断面リスト等に基づき、柱、大ばり及び小ばりの鉄筋施工図並びに加工絵符（えふ）の作成について行う。	試験時間	3時間
2級	2階建て鉄筋コンクリート造の建築物のはり・床伏図、断面リスト等に基づき、スラブの鉄筋施工図並びに加工絵符（えふ）の作成について行う。	試験時間	2時間30分

### 鉄筋施工（鉄筋組立て作業）

1級	曲げ加工した鉄筋を使用し、図面及び仕様に従い、基礎、柱及びはりの取合い部の鉄筋の組立てを行う。	標準時間	1時間40分	打切り時間	2時間10分
2級	曲げ加工した鉄筋を使用し、図面及び仕様に従い、基礎、柱及びはりの取合い部の鉄筋の組立てを行う。	標準時間	1時間20分	打切り時間	1時間40分

### 左官（左官作業）

1級	(1) 壁、天井及びそで壁の一部と仮定された下地に所定の塗り仕上げを行う。	標準時間	4時間50分	打切り時間	5時間15分
	(2) 吹付け下地（普通合板）に仕上げ吹付けを行う。	試験時間	10分		
2級	(1) 壁及びそで壁の一部と仮定された下地に所定の塗り仕上げを行う。	標準時間	4時間50分	打切り時間	5時間15分
	(2) 吹付け下地（普通合板）に仕上げ吹付けを行う。	試験時間	5分		

### 建築大工（大工工事作業）

1級	振隅木小屋組の平面図、振隅木及び配付たる木の現寸展開図を作成し、木ごしらえ及び墨付けをした後、加工組立てを行う。	標準時間	5時間30分	打切り時間	5時間45分
2級	柱建て四方転びの平面図、正面図、側面図及び柱の現寸展開図を作成し、木ごしらえ及び墨付けをした後、加工組立てを行う。	標準時間	5時間30分	打切り時間	5時間45分
3級	材料に直接墨付けした後、桁、はり、つか、むな桁及びたる木の加工組立てを行い、切り妻小屋組の一部を製作する。	標準時間	2時間45分	打切り時間	3時間

法定 28 業種	建築系	土木系	団体	免許・資格等	登録基幹技能者
(土)		土木工事業	(一社)日本建設業連合会	<input type="checkbox"/> 1、2級土木施工管理技士	登録トンネル基幹技能者 登録機械土工基幹技能者 登録海上起重基幹技能者 登録PC基幹技能者 登録運動施設基幹技能者
(建)	建築工事業		(一社)日本建設業連合会	<input type="checkbox"/> 一、二級建築士 <input type="checkbox"/> 1、2級建築施工管理技士	
(大)	大工工事業		(一社)全国中小建築工事業団体連合会	<input type="checkbox"/> 1、2級建築大工技能士 <input type="checkbox"/> 一、二級建築士、木造建築士 <input type="checkbox"/> 1、2級建築施工管理技士 <input type="checkbox"/> 木造建築物の組立て等作業主任技能講習 <input type="checkbox"/> 足場の組立て等作業主任技能講習	登録建築大工基幹技能者
	型枠大工工事業	型枠大工工事業	(一社)日本型枠工事業協会	<input type="checkbox"/> 1、2級型枠施工技能士	登録型枠基幹技能者
(左)	左官工事業		(一社)日本左官業組合連合会	<input type="checkbox"/> 1、2、3級左官技能士	登録左官基幹技能者 登録外壁仕上基幹技能者
(と)	とび・土工・コンクリート工事業	とび・土工・コンクリート工事業	(一社)日本建設躯体工事業団体連合会 (一社)日本高工業連合会	<input type="checkbox"/> 1、2、3級とび技能士 <input type="checkbox"/> 足場の組み立て等作業主任	登録コンクリート圧送基幹技能者 登録トンネル基幹技能者 登録機械土工基幹技能者 登録PC基幹技能者 登録高・土工基幹技能者 登録切断穿孔基幹技能者 登録エクステリア基幹技能者 登録グラウト基幹技能者 登録運動施設基幹技能者 登録基礎工基幹技能者 登録標識・路面標示基幹技能者
(石)	石工事業	石工事業			
(屋)	屋根工事業		(一社)全日本瓦工事業連盟	<input type="checkbox"/> 1、2級かわらぶき技能士 <input type="checkbox"/> 瓦屋根工事技士 <input type="checkbox"/> 一社)全瓦連瓦屋根診断技士	
(電)	電気工事業	電気工事業	(一社)日本電設工業協会	<input type="checkbox"/> 第1、2種電気工事士 <input type="checkbox"/> 第1、2、3種電気主任技術者 <input type="checkbox"/> 建築設備士 <input type="checkbox"/> 1、2級電気工事施工管理技士	登録電気工事基幹技能者
(管)	管工事業		全国管工事業協同組合連合会	<input type="checkbox"/> 1、2級配管技能士 <input type="checkbox"/> 1、2級管工事施工管理技士 <input type="checkbox"/> 1、2級土木施工管理技士 <input type="checkbox"/> 給水装置工事主任技術者	登録配管基幹技能者 登録ダクト基幹技能者 登録冷凍空調基幹技能者
	空調衛生設備工事業		(一社)日本空調衛生工事業協会	<input type="checkbox"/> 1、2級管工事施工管理技士 <input type="checkbox"/> 建築設備士	登録配管基幹技能者 登録ダクト基幹技能者 登録冷凍空調基幹技能者
(タ)	タイル・れんが・ブロック工事業		(一社)日本タイル煉瓦工事業会	<input type="checkbox"/> 1、2級タイル張り技能士	登録タイル張り基幹技能者 登録エクステリア基幹技能者
(鋼)	鋼構造物工事業	鋼構造物工事業	(一社)鉄骨建設業協会	<input type="checkbox"/> 1、2級鉄骨製作管理技術者 <input type="checkbox"/> 建築鉄骨製品検査技術者 <input type="checkbox"/> 建築鉄骨超音波検査技術者	登録橋梁基幹技能者
(筋)	鉄筋工事業	鉄筋工事業	(公社)全国鉄筋工事業協会	<input type="checkbox"/> 1、2級鉄筋施工技能士	登録鉄筋基幹技能者 登録PC基幹技能者 登録圧接基幹技能者
	ガス圧接工事業	ガス圧接工事業	全国圧接業共同組合連合会	<input type="checkbox"/> 手動ガス圧接 1種	登録圧接基幹技能者
(ほ)		舗装工事業	(一社)日本道路建設業協会	<input type="checkbox"/> 1、2級土木施工管理技士 <input type="checkbox"/> 1、2級舗装施工管理技術者	登録運動施設基幹技能者
(しゆ)		浸漑(しゆんせつ)工事業	(一社)日本理立浸漑協会		登録海上起重基幹技能者
(板)	板金工事業		(一社)日本建築板金協会	<input type="checkbox"/> 1、2、3級建築板金技能士 <input type="checkbox"/> 職長・安全衛生責任者教育講習 <input type="checkbox"/> アーク溶接作業特別教育講習 <input type="checkbox"/> 玉掛技能講習 <input type="checkbox"/> 高所作業車運転技能講習	登録建築板金基幹技能者
(ガ)	ガラス工事業				
(塗)	塗装工事業	塗装工事業	(一社)日本塗装工業会	<input type="checkbox"/> 1、2級建築塗装技能士 <input type="checkbox"/> 有機溶剤作業主任者 <input type="checkbox"/> 乙種危険物取扱者	登録建築塗装基幹技能者 登録標識・路面標示基幹技能者
(防)	防水工事業		(一社)全国防水工事業協会	<input type="checkbox"/> 1、2級防水施工技能士	登録防水基幹技能者
(内)	内装仕上工事業		(一社)全国建設室内工事業協会	<input type="checkbox"/> 1、2、3級内装仕上げ施工技能士 <input type="checkbox"/> 1、2級表装技能士(壁装作業)	登録内装仕上工事業基幹技能者
(機)	機械器具設置工事	機械器具設置工事			
(熱)	熱絶縁工事業		日本ウレタン断熱協会 日本ウレタン工業協会	<input type="checkbox"/> 1、2級熱絶縁工事 (吹付け硬質ウレタンフォーム断熱工事業) <input type="checkbox"/> 1、2級熱絶縁工事(保温保冷工事業)	登録保温保冷基幹技能者
(通)	電気通信工事				
(園)	造園工事業	造園工事業	(一社)日本造園建設業協会	<input type="checkbox"/> 1、2級造園施工管理技士 <input type="checkbox"/> 1、2級造園技能士 <input type="checkbox"/> 植栽基盤診断士 <input type="checkbox"/> 植栽基盤診断士補 <input type="checkbox"/> 街路樹剪定士 <input type="checkbox"/> 公園管理運営士	登録造園基幹技能者 登録運動施設基幹技能者
(井)	さく井工事業				
(建)	金属製建具工事業		(一社)カーテンウォール・防火開口部協会	<input type="checkbox"/> 1、2級カーテンウォール施工技能士 <input type="checkbox"/> 1、2級サッシ施工技能士	登録サッシ・カーテンウォール基幹技能者
(水)	水道施設工事	水道施設工事			
(消)	消防施設工事業	消防施設工事業	消防施設工事協会	<input type="checkbox"/> 消防設備士(甲種1～5類、乙種1～7類) <input type="checkbox"/> 消防設備点検資格者(第1、2種)	登録消火設備基幹技能者
(清)	清掃施設工事	切断穿孔工事業	ダイヤモンド工事業協同組合	<input type="checkbox"/> コンクリート等切断穿孔技士	登録切断穿孔基幹技能者
	コンクリート圧送工事業	コンクリート圧送工事業	(一社)全国コンクリート圧送事業団体連合会	<input type="checkbox"/> 労働安全衛生法に定める特別教育 (コンクリートポンプ車) <input type="checkbox"/> 1、2級コンクリート圧送施工技能士	登録コンクリート圧送基幹技能者
		機械土工事業	(一社)日本機械土工協会	<input type="checkbox"/> 1、2級建設機械施工技士 <input type="checkbox"/> 車両系建設機械運転技能講習	登録機械土工基幹技能者
	プレストレスト・コンクリート工事業	プレストレスト・コンクリート工事業	(一社)プレストレスト・コンクリート工事業協会	<input type="checkbox"/> 1、2級土木施工管理技士 <input type="checkbox"/> プレストレストコンクリート技士	登録PC基幹技能者
	建設揚重業	建設揚重業	(一社)全国クレーン建設業協会	<input type="checkbox"/> 移動式クレーン運転士 <input type="checkbox"/> 小型移動式クレーン	
	外壁仕上工事業		日本外壁仕上業協同組合連合会	<input type="checkbox"/> 外壁仕上1級技能者	登録外壁仕上基幹技能者
	基礎工事業	基礎工事業	全国基礎工事業協同組合連合会 (一社)日本基礎建設協会	<input type="checkbox"/> 移動式クレーン(5t未満)の運転 <input type="checkbox"/> 玉掛け(1t未満) <input type="checkbox"/> 車両系建設機械(基礎工事業) <input type="checkbox"/> 車両系建設機械(掘削・整地) <input type="checkbox"/> 1、2級施工管理技士(土木・建設機械)	登録基礎工基幹技能者
	計装工事業		(一社)日本計装工業会	<input type="checkbox"/> 1、2級計装士	



#### 4. 建設関連職業訓練施設の訓練実施状況の検証

##### ○富士教育訓練センター

- ・平成 27 年度訓練生募集案内
- ・訓練コース実施状況（建築・土木）
- ・建築躯体系訓練コースカリキュラム概要・カリキュラムシート
  - 1) 型枠基礎
  - 2) 左官基礎
  - 3) 躯体基礎
  - 4) 鉄筋基礎
  - 5) 建築基礎多能工(1)
  - 6) 建築基礎多能工(2)

##### ○三田建設技能研修センター

- ・平成 27 年度受講生募集案内
- ・訓練・講習コース及びテキスト（建築・土木）

##### ○企業等の職業訓練校

- ・金子架設工業株式会社
- ・株式会社岩野商会
- ・職業訓練法人広島建設アカデミー

吉原郵便局

料金後納郵便



ゆうメール



平成  
27  
年度

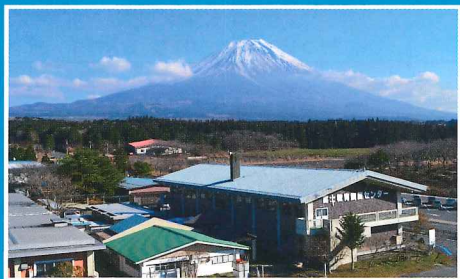
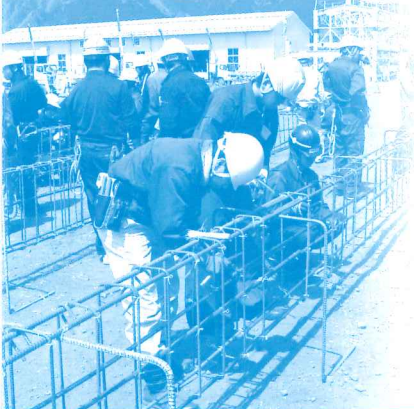
# 訓練生

# 募集案内

～助成金の活用で費用負担が軽くなります～

富士教育訓練センターで各種の教育訓練（認定訓練）を受けると、訓練生を派遣した事業主に対して、助成金の支給を受けることができるので、事業主の方の費用負担が軽くすみます。（支給要件に該当する場合に限りです）

女性訓練生も  
受講できます



職業訓練法人 全国建設産業教育訓練協会

## 富士教育訓練センター

〒418-0101 静岡県富士宮市根原492-8

TEL 0544-52-0968

URL <http://www.fuji-kkc.ac.jp>

資料編4-1

# 技能検定 学科免除コース

受験  
対策

技能検定の学科が免除されます！

一級及び二級技能士受験者を対象に、上級技能者が有すべき技能及びこれに関する知識の向上をはかり、技能検定試験基準に掲げる学科試験合格と同等程度の知識を習得する。

**対象** 平成27年度の技能検定を受験しようとする方

## ★一級技能士受験資格（実務経験年数）

- ①実務経験のみの場合 → 7年
- ②検定職種に関する学科の高校卒業後 → 6年
- ③検定職種に関する学科の大学卒業後 → 4年
- ④普通課程普通職業訓練（2,800時間未満）修了後 → 6年

## ★二級技能士受験資格（実務経験年数）

- ①実務経験のみの場合 → 2年
- ②3級合格後 → 実務経験不要
- ③検定職種に関する学科の高校卒業後 → 実務経験不要
- ④普通課程普通職業訓練（2,800時間未満）修了後 → 実務経験不要

**訓練日数** 14日間 ~ 21日間  
(前後半の2回に分けて実施)

**定員** 各10名/回 (10名以下の場合は中止します)

**受講費用** 各コース共 103,000円【税込み】+ 宿泊代 (2,790円 (1泊3食付) × 日数)【税込み】

<b>左官科（左官作業）</b> <b>一級</b> 前半 11/16(月)~11/21(土) 後半 1/12(火)~1/20(水) <b>二級</b> 前半 11/30(月)~12/5(土) 後半 1/18(月)~1/26(火)	<b>タイル張り科（タイル張り作業）</b> <b>一級</b> 前半 11/16(月)~11/21(土) 後半 1/12(火)~1/20(水) <b>二級</b> 前半 11/30(月)~12/5(土) 後半 1/18(月)~1/26(火)	<b>とび科（とび作業）</b> <b>一級</b> 前半 11/16(月)~11/21(土) 後半 1/12(火)~1/20(水) <b>二級</b> 前半 11/30(月)~12/5(土) 後半 1/18(月)~1/26(火)
<b>建築板金科（建築板金作業）</b> <b>一級</b> 前半 11/16(月)~11/21(土) 後半 1/12(火)~1/23(土) <b>二級</b> 前半 11/30(月)~12/5(土) 後半 1/18(月)~1/29(金)	<b>型枠施工科（型枠工事作業）</b> <b>一級</b> 前半 5/25(月)~5/30(土) 後半 6/22(月)~7/1(水) <b>二級</b> 前半 6/1(月)~6/6(土) 後半 7/6(月)~7/15(水)	<b>鉄筋施工科（鉄筋組立作業）</b> <b>一級</b> 前半 5/25(月)~5/30(土) 後半 6/22(月)~7/1(水) <b>二級</b> 前半 6/1(月)~6/6(土) 後半 7/6(月)~7/15(水)
<b>配管科（建築配管作業）</b> <b>一級</b> 前半 5/25(月)~5/30(土) 後半 6/22(月)~7/4(土) <b>二級</b> 前半 6/1(月)~6/6(土) 後半 7/6(月)~7/18(土)	<b>塗装科（鋼橋塗装作業）</b> <b>一級</b> 前半 5/25(月)~5/30(土) 後半 6/22(月)~7/1(水) <b>二級</b> 前半 6/1(月)~6/6(土) 後半 7/6(月)~7/15(水)	<b>造園科（造園作業）</b> <b>一級</b> 前半 11/16(月)~11/21(土) 後半 1/12(火)~1/20(水) <b>二級</b> 前半 11/30(月)~12/5(土) 後半 1/18(月)~1/26(火)
<b>れんが積み科（単一等級）</b> 前半 11/16(月)~11/21(土) 後半 1/12(火)~1/29(金)		

## 技能講習・特別教育

資格  
取得

静岡労働局長登録教習機関として  
23の技能講習を登録しています。

企業単独での講習も実施しています。

※実施要件等についてはお問合せ下さい。



登録番号	技能講習名	登録番号	技能講習名
53-1号	車両系建設機械(整地運搬等)運転技能講習	53-14号	建築物等の鉄骨の組立て等作業主任者技能講習
53-2号	車両系建設機械(解体用)運転技能講習	53-15号	木造建築物の組立等作業主任者技能講習
53-3号	不整地運搬車運転技能講習	53-17号	コンクリート橋架設等作業主任者技能講習
53-4号	高所作業車運転技能講習	53-18号	コンクリート造工作物の解体等作業主任者技能講習
53-5号	小型移動式クレーン運転技能講習	53-22号	フォークリフト運転技能講習
53-6号	玉掛け技能講習	53-23号	はい作業主任者技能講習
53-7号	ガス溶接技能講習	53-26号	有機溶剤作業主任者技能講習
53-8号	地山の掘削及び土止め支保工作業主任者技能講習	53-28号	酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者技能講習
53-10号	足場の組立て等作業主任者技能講習	53-29号	特定化学物質及び四アルキル鉛等作業主任者技能講習
53-11号	型枠支保工の組立て等作業主任者技能講習	53-30号	石綿作業主任者技能講習
53-12号	ずい道等の掘削等作業主任者技能講習	53-31号	鉛作業主任者技能講習
53-13号	ずい道等の覆工作業主任者技能講習		

※上記の技能講習の他、特別教育や安全衛生教育も実施しています。お問合せ下さい。

# 平成27年度 認定訓練募集コース

◆表示金額は[税込]金額です。  
◆宿泊代は、会員価格です。

\*→技能講習 ・・→特別教育

コース名	概要/対象者	定員	日数	日程	コースで実施する資格講習等	受講費用等
技術修得コース	1 土木施工管理基礎	15名	46日	① 4/ 2(木)～ 6/ 6(土) ② 5/15(金)～ 7/10(金) ③ 6/11(木)～ 8/ 7(金) ④ 1/12(火)～ 3/ 9(水)	* 車両系建設機械 * 小型移動式クレーン * 玉掛け ・ 低圧電気取扱	■ 訓練負担金 339,000円 ■ 宿泊代 153,450円
	2 土木施工科(1)	10名	24日	① 5/15(金)～ 6/12(金) ② 1/12(火)～ 2/ 9(火)	* 小型移動式クレーン * 玉掛け ・ 低圧電気取扱	■ 訓練負担金 206,000円 ■ 宿泊代 78,120円
	3 建築施工管理基礎	10名	46日	① 4/ 2(木)～ 6/ 6(土) ② 1/12(火)～ 3/ 9(水)	* 小型移動式クレーン * 玉掛け	■ 訓練負担金 272,000円 ■ 宿泊代 153,450円
	4 管工事施工管理基礎	10名	32日	①11/ 9(月)～12/19(土)	・ 高所作業車 ・ 自由研削砥石 ・ 小型車両系 ・ 酸素欠乏危険作業	■ 訓練負担金 206,000円 ■ 宿泊代 111,600円
	5 土木施工管理中級	10名	17日	① 6/29(月)～ 7/18(土)	* 地山の掘削及び 土止め支保工作業主任者 (受講条件により取得できない場合あり) ◎2級の技術検定は7月実施予定	■ 訓練負担金 134,000円 ■ 宿泊代 53,010円
	6 建築施工管理中級	10名	24日	① 1/12(火)～ 2/ 9(火)	* 型枠支保工の組立等作業主任者 * 足場の組立等作業主任者 (受講条件により取得できない場合あり) ◎2級の技術検定は10月実施予定	■ 訓練負担金 134,000円 ■ 宿泊代 78,120円
	7 トンネル 施工管理中級	10名	24日	①11/ 9(月)～12/ 9(水)	* ずい道等の掘削等作業主任者 * ずい道の覆工作業主任者 * 酸素欠乏・ 硫化水素危険作業主任者 ・ 職長教育 (受講条件により取得できない場合あり)	■ 訓練負担金 134,000円 ■ 宿泊代 78,120円
	8 地質調査技術者の 入職時教育	30名	5日	① 6/ 8(月)～ 6/12(金)	・ ボーリングマシンの運転	■ 訓練負担金 52,000円 ■ 宿泊代 11,160円
	9 建設機械運転基礎	10名	24日	① 5/15(金)～ 6/12(金)	* 車両系建設機械 * ガス溶接 ・ ローラー運転 ・ 低圧電気取扱	■ 訓練負担金 296,000円 ■ 宿泊代 78,120円
	10 躯体基礎	10名	48日	① 6/ 9(火)～ 8/ 7(金)	* 小型移動式クレーン * 玉掛け * 高所作業車	■ 訓練負担金 312,000円 ■ 宿泊代 164,610円
	11 型枠基礎	15名	24日	① 5/28(木)～ 6/25(木) ②11/ 9(月)～12/ 9(水) ③ 1/12(火)～ 2/ 9(火)	* 小型移動式クレーン * 玉掛け ・ 低圧電気取扱	■ 訓練負担金 154,000円 ■ 宿泊代 78,120円
	12 左官基礎	10名	45日	① 6/ 1(月)～ 7/25(土) ② 9/28(月)～11/25(水)	・ 高所作業車 ・ 巻き上げ機 ・ 低圧電気取扱 ・ 自由研削砥石	■ 訓練負担金 258,000円 ■ 宿泊代 150,660円
	13 タイル施工基礎	10名	17日	① 6/29(月)～ 7/18(土)	* 玉掛け ・ 自由研削砥石	■ 訓練負担金 103,000円 ■ 宿泊代 53,010円




技術修得コース

技能修得コース

# 平成27年度 認定訓練募集コース

◆表示金額は〔税込み〕金額です。  
◆宿泊代は、会員価格です。




\*→技能講習 …→特別教育

コース名	概要/対象者	定員	日数	日程	コースで実施する資格講習等	受講費用等
資格検定対策コース	14 <b>1級土木施工管理技士試験準備講習</b> 土木工学、都市工学、衛生工学、交通工学又は建築学等について習得し、1級土木施工管理技士試験の学科試験を準備する。 1級土木施工管理技士試験を受験する方	20名	7日	① 6/27(土)～7/3(金) ※検定試験の実施日より、講習日程が変更になる場合がございます。	◎1級の技術検定は 7月実施予定。	■訓練員負担金 103,000円 ■宿泊代 16,740円
	15 <b>1級土木施工管理技術検定・実地試験準備講習</b> 土木工学、都市工学、衛生工学、交通工学又は建築学等について習得し、1級土木施工管理技術検定・実地試験を準備する。 1級土木施工管理技術検定・実地試験を受検する方	20名	7日	① 9/26(土)～10/2(金) ※検定試験の実施日より、講習日程が変更になる場合がございます。	◎1級の技術検定実地検定は 10月実施予定。	■訓練員負担金 103,000円 ■宿泊代 16,740円
	16 <b>1級建築施工管理技士試験準備講習</b> 建築学、土木工学、都市工学、衛生工学、電気工学又は機械工学等について習得し、1級建築施工管理技士試験の学科試験を準備する。 1級建築施工管理技士試験を受験する方	20名	7日	① 6/6(土)～6/12(金) ※検定試験の実施日より、講習日程が変更になる場合がございます。	◎1級の技術検定は 6月実施予定。	■訓練員負担金 103,000円 ■宿泊代 16,740円
	17 <b>2級土木施工管理技士試験準備講習</b> 土木工学、都市工学、衛生工学、交通工学又は建築学等について習得し、2級土木施工管理技士試験の学科試験を準備する。 2級土木施工管理技士試験を受験する方	20名	7日	①10/17(土)～10/23(金) ※検定試験の実施日より、講習日程が変更になる場合がございます。	◎2級の技術検定は 10月実施予定。	■訓練員負担金 103,000円 ■宿泊代 16,740円
	18 <b>2級建築施工管理技士試験準備講習</b> 建築学、土木工学、都市工学、衛生工学、電気工学又は機械工学等について習得し、2級建築施工管理技士試験の学科試験を準備する。 2級建築施工管理技士試験を受験する方	20名	7日	①10/31(土)～11/6(金) ※検定試験の実施日より、講習日程が変更になる場合がございます。	◎2級の技術検定は 11月実施予定。	■訓練員負担金 103,000円 ■宿泊代 16,740円
19 <b>第二種電気工事士コース</b> 第二種電気工事士筆記試験の受験に必要な知識について、全般の準備とともに、実務に必要な技能講習資格を取得する。 工業高校電気科卒業と同等程度の知識を有する方で第二種電気工事士試験の受験を希望される方	10名	12日	① 5/25(月)～6/6(土) ※検定試験の実施日より、講習日程が変更になる場合がございます。	*高所作業車 …低圧電気取扱 	■訓練員負担金 186,000円 ■宿泊代 33,480円	
女性専用コース	20 <b>リフォーム施工(タイル工法)</b> このコースは、女性を対象に、タイルのリフォーム施工ができる人材を育成し、女性の技術・技能の向上を目指す。 日夕練・全夕協 推奨コース 女性専用コース(初心者歓迎)	10名	16日	①11/9(月)～11/28(土)	…低圧電気取扱 …自由研削砥石	■訓練員負担金 155,000円 ■宿泊代 53,010円
	21 <b>リフォーム施工(内装仕上)</b> このコースは、女性を対象に、鋼製下地のボード施工とクロス・長尺シート等の仕上施工ができる人材を育成し、女性の技術・技能の向上を目指す。 全室協・JCIF・日装連 推奨 女性専用コース(初心者歓迎)	10名	16日	①11/9(月)～11/28(土)	…低圧電気取扱 …自由研削砥石 	■訓練員負担金 155,000円 ■宿泊代 53,010円
	22 <b>リフォーム施工(左官工法)</b> このコースは、女性を対象に、左官技能の基本を学び、左官仕上ができる人材を育成し、女性の技術・技能の向上を目指す。 日左連 推奨コース 女性専用コース(初心者歓迎)	10名	16日	①11/9(月)～11/28(土)	…低圧電気取扱 …自由研削砥石	■訓練員負担金 155,000円 ■宿泊代 53,010円
リフォームコース	23 <b>リフォーム内装施工(鋼製下地・ボード)</b> リフォーム等における水回り配管工事完了後の内装工事の施工ができる人材を育成する。 全管連・日空衛・日設連 推奨 ユニットバス・システムキッチン・洗面化粧台等の設置に関する作業ができる管工事技能者が対象	10名	15日	①10/13(火)～10/30(金)	…自由研削砥石 …アーク溶接 【設備・管工事技能者対象】	■訓練員負担金 155,000円 ■宿泊代 47,430円
	24 <b>リフォーム内装施工(クロス・長尺シート)</b> リフォーム等における水回り配管、ボード立込完了後の内装工事の施工ができる人材を育成する。 全管連・日空衛・日設連 推奨 設備管工事技能者及び鋼製下地・ボード工事技能者で、リフォーム内装仕上げの技能習得を目指す方。	10名	15日	①11/9(月)～11/27(金)	…低圧電気 【設備・管工事技能者対象】	■訓練員負担金 155,000円 ■宿泊代 47,430円
	25 <b>リフォーム建築配管施工(給排水・衛生)</b> 内装仕上技能者が配管工事の知識と技能を習得し、住居系配管工事の施工ができる人材を育成する。 全室協・JCIF・日装連 推奨 鋼製下地・ボード貼り・クロス貼り・長尺シート貼り等に関する作業ができる内装仕上工事技能者が対象	10名	15日	①11/30(月)～12/17(木)	…自由研削砥石 …低圧電気 【内装技能者対象】 	■訓練員負担金 155,000円 ■宿泊代 47,430円
オーダーメイド	26 <b>企業・団体等の単独コース</b> =オーダーメイド= 技術職・技能職に限らず、事務職、営業職、管理職等、自社に必要な人材像を明確にし期待する到達レベルに達するようカリキュラム、日程を調整いたします。また、認定職業訓練としての実施も可能です。	5名以上		★富士教育訓練センターは、静岡県労働局長に登録した、技能講習の登録教育機関となっておりますので、建設業に必要な技能講習が取得できます。 ★カリキュラム内容に、現場等で必要な技能講習を盛り込み、教育訓練期間中に取得することが出来ます。 ★一般募集コースをアレンジすることも可能です。		

# 平成27年度 認定訓練募集コース

◆表示金額は【税込】金額です。  
◆宿泊代は、会員価格です。

\*→技能講習 …→特別教育

コース名	概要/対象者	定員	日数	日程	コースで実施する資格講習等	受講費用等	
多能工コース	27 土木基礎多能工(1)	土木工事に関わる技能者を対象に鉄筋型枠・仮設の施工方法を学び、安全作業・作業間調整を行い他業種との連携が出来る多能工として現場実務に携わる人材を育成する。 初心者(実務経験0~1年)	10名	46日	① 4/ 2(木)~ 6/ 6(土)	* 車両系建設機械 * 玉掛け * 小型移動式クレーン …アーク溶接 …ローラー運転	■ 訓練負担金 206,000円 ■ 宿泊代 153,450円
	28 土木基礎多能工(2)	土木基礎多能工(1)の修了者を対象に重機土工事・構造物工事の一連作業を体験させ安全作業法の基礎的な技術を習得する。 初心者(実務経験0~1年)	10名	47日	① 8/24(月)~10/24(土)	* 高所作業車 * 小型移動式クレーン * 玉掛け … 低圧電気取扱 … 自由研削砥石	■ 訓練負担金 258,000円 ■ 宿泊代 159,030円
	29 建築基礎多能工(1)	建築工事に携わる技能者を対象に、とび・仮設・鉄筋・鋼製下地・ボード貼り等を学び、安全作業、作業間調整を行い、他業種との連携ができる多能工として現場実務に携わる人材を育成する。 初心者(実務経験0~1年)	10名	46日	① 4/ 2(木)~ 6/ 6(土)	* 小型移動式クレーン * 玉掛け … 低圧電気取扱 … 自由研削砥石 … 携帯用丸のご盛作業	■ 訓練負担金 206,000円 ■ 宿泊代 153,450円
	30 建築基礎多能工(2)	建築基礎多能工(1)コース修了者を対象に型枠・フローリング等を学び、施工実習の一連作業を体験させ、作業間調整を行い、他業種との連携ができる多能工として現場実務に携わる人材を育成する。 初心者(実務経験0~1年)	10名	47日	① 8/24(月)~10/24(土)	* 高所作業車 * フォークリフト運転技能講習	■ 訓練負担金 258,000円 ■ 宿泊代 159,030円
	31 躯体多能工 (鉄筋施工) 日本型枠 推奨コース	型枠技能者に対して、他の業種を修得させ、多能工化を図る。建築工事の概要、工具類の取扱い、鉄筋工事の施工方法及び安全作業法について、基本的な技術を修得する。 実務経験3~5の型枠技能者が対象	10名	12日	① 2/29(月)~ 3/12(土)	【型枠技能者対象】	■ 訓練負担金 83,000円 ■ 宿泊代 33,480円
	32 躯体多能工 (型枠施工) 全鉄筋 推奨コース	鉄筋技能者に対して、他の業種を修得させ多能工化を図る。建築工事の概要、工具類の取扱い、型枠工事の施工方法及び安全作業法について、基本的な技術を修得する。 実務経験3~5の鉄筋技能者が対象	10名	12日	① 2/29(月)~ 3/12(土)	【鉄筋技能者対象】	■ 訓練負担金 83,000円 ■ 宿泊代 33,480円
	33 躯体多能工 (仮設施工) 全鉄筋・日本型枠 推奨コース	型枠・鉄筋技能者に対して、他の業種を修得させ、多能工化をはかる。仮設工事の概要、仮設機材、図面の見方、施工方法及び安全作業法について、基本的な技術を修得する。 実務経験3~5の鉄筋・型枠技能者が対象	10名	12日	① 2/29(月)~ 3/12(土)	【型枠・鉄筋技能者対象】	■ 訓練負担金 83,000円 ■ 宿泊代 33,480円
	34 左官施工管理中級 日左連・鹿島協連 推奨	左官実務経験者に仕上工事及び左官工事の関連工種ができる技術・技能を修得する。 (総合的な施工能力を養い、サブコンとしての技術力を強化する) 中級者(5~10年の経験者)	10名	17日	① 6/ 1(月)~ 6/20(土)		■ 訓練負担金 134,000円 ■ 宿泊代 53,010円
新入職コース	35 土木入職時導入教育	土木工事における入職時教育として、工事概要、材料の種類と名称、土木工事の種類と施工法等の基礎的な技術を習得させる。 新規入職者(実務経験のない方)	20名	12日	① 4/ 2(木)~ 4/16(木) ② 5/14(木)~ 5/28(木)	* 玉掛け 	■ 訓練負担金 162,000円 ■ 宿泊代 39,060円
	36 建築入職時導入教育	建築工事における入職時教育として、専門校事業の種類、請負形態、建築用語、施工法等の基礎的な技術を習得させる。 新規入職者(実務経験のない方)	20名	12日	① 4/ 2(木)~ 4/16(木) ② 5/14(木)~ 5/28(木)	* 玉掛け	■ 訓練負担金 162,000円 ■ 宿泊代 39,060円
測量コース	37 測量(1)	測量の概要、測量器材の取扱い、器械の設置法、距離、高さ、角度の測定方法を教育訓練し、測量の基礎的な技術を修得する。 初心者(実務経験0~1年)	10名	6日	① 7/13(月)~ 7/18(土) ② 10/19(月)~10/24(土)		■ 訓練負担金 73,000円 ■ 宿泊代 13,950円
	38 測量(2)	測量の基礎を復習し、縦横断測量、図面作成、丁張杭、位置出しを教育訓練し、測量の技術の向上をはかる。 初級者(実務経験1~3年)	10名	6日	① 10/26(月)~10/31(土)		■ 訓練負担金 73,000円 ■ 宿泊代 13,950円
	39 施工測量	縦横断測量、図面作成、丁張杭位置出し等を復習し、設計図面より丁張りが出来る技術を修得する。 中級者(実務経験3~5年)	10名	24日	① 1/12(火)~ 2/ 9(火)		■ 訓練負担金 155,000円 ■ 宿泊代 78,120円

# 平成27年度 認定訓練募集コース

◆表示金額は【税込み】金額です。  
◆宿泊代は、会員価格です。

\*→技能講習 . . →特別教育

コース名	概要/対象者	定員	日数	日程	コースで実施する資格講習等	受講費用等
40 各種研修コース	標高900m、富士山を間近に仰ぐ、朝霧高原の中に位置します。約200人のご宿泊と、会議室・教室・パソコン教室・体育館・野外実習場等の施設を要しており、新入社員研修から企業経営トップセミナー等、あらゆる形態の宿泊研修のご要望にお応えします。	5名以上				★ご利用に際しては、1ヶ月前までにご予約いただき、研修規模・使用教室使用機器等についての打ち合わせをお願いしています。 ★使用機器につきましては、各種取り揃えております。 ★また、大学、専門学校、高校等の勉強合宿・スポーツ合宿にも対応しています。
41 技能者能力向上研修 ～セールストークができる 技能者を指して～	「お客様にアピールできる」セールストークができる技能者として『意識・意欲・行動力』を養い、業績や利益の向上を目的とする。	★ご要望により、15名以上で、出張講座も可能です。	10名以上	3日		セールストークが出来る技能者として、『意識・意欲・行動力』を養い、業績や利益の向上を目的とした研修です。 ★企業単位にて、随時開催いたしますので、お問い合わせ下さい。
42 実務担当者 能力向上研修 ～これからの 実務担当者を目指して～	自信が持てる実務担当者として、『意識・意欲・行動力』を養い、業績や利益の向上を目的とする。	★ご要望により、15名以上で、出張講座も可能です。	10名以上	3日		自信が持てる実務担当者として、『意識・意欲・行動力』を養い、業績や利益の向上を目的とした研修です。 ★企業単位にて、随時開催いたしますので、お問い合わせ下さい。
43 施工管理責任者研修	建設業法では「請負人」の任務の代行として「現場代理人」を定めており、請負人（事業主）の代理者として「工事の施工に関する一切の事項を処理するもの」とされている。今後、現場代理人の業務遂行能力を高め、業績及び利益の向上を目的とする		10名以上	3日		建設業法第19条の2で定められた「現場代理人」の業務遂行能力を高め、業績及び利益の向上を目指すコースです。 ★企業単位にて、随時開催いたしますので、お問い合わせ下さい。 ★ご要望により、15名以上で、出張講座も可能です。
44 安全管理者 選任時研修	労働安全衛生規則が改正され、安全管理者の選任要件として、『安全管理者選任時研修』を修了していることが必要となりました。事業場の安全管理を的確に進めるため、安全管理者の知識、経験、安全技術力の向上をはかります。		10名以上	2日		労働安全衛生規則の改正により安全管理者の選任要件として「安全管理者選任時研修」を修了していることが必要となりました。 ★企業単位にて、随時開催いたしますので、お問い合わせ下さい。 ★ご要望により、15名以上で、出張講座も可能です。
45 職長のためのリスク アセスメント研修	労働安全衛生法の改正により、リスクアセスメント（危険性又は有害性等の調査）の実施が事業者の努力義務事項となりました。当研修では、それ以前に職長等の教育を修了し、リスクアセスメント教育を受講されていない方に対して研修を行うものです。		10名以上	1日		労働安全衛生規則の改正によりリスクアセスメント（危険性又は有害性の調査）の実施が事業者の努力義務事項となりました。 ★企業単位にて、随時開催いたしますので、お問い合わせ下さい。 ★ご要望により、15名以上で、出張講座も可能です。
46 職長・安全衛生責任者教育	労働安全衛生法60条にもとづく講習で、監督業務、作業者の適正配置、作業手順、異常・緊急時の処置等、現場の監督者が習得すべき事項について実施します。 （満年齢21才以上の方）	15名以上	職長 2日 安責 2日 職安 2日	ご相談の上決定いたします。また、出張講座も可能です。		1)「職長教育」修了証 2)「安全衛生責任者教育」修了証 3)「職長・安全衛生責任者教育」修了証

特別コース

## ～お申込みについて～

- ①受講申込書に必要事項を記入の上、FAX送信して下さい。※未記入がある場合には、受付できない場合があります。
- ②「建設産業団体名」欄は、必ずご記入下さい。※この欄に記入がない場合は、非会員扱いとなる場合があります。
- ③FAX以外では、受付できませんので、ご注意下さい。※電話でのお申込みは受付できません。

### ・お申込み開始日（申込み開始日以前の受付はできません）

会員（以下の会員の構成員） ⇒ 平成27年1月13日（火） 午前9時より  
会員以外 ⇒ 平成27年2月 2日（月） 午前9時より

### 会 員

(一社) 日本建設躯体工事業団体連合会	(一社) 全国タイル業協会	産業開発青年隊同窓会
(一社) 日本機械土工協会	(一社) プレストレスト・コンクリート工事業協会	(株) 建通新聞社
(公社) 全国鉄筋工事業協会	(一社) 日本鷹工業連合会	(株) 日刊建設通信新聞社
全国圧接業協同組合連合会	(一社) 日本造園建設業協会	(株) 日刊建設工業新聞社
(一社) 日本左官業組合連合会	(一社) 日本橋梁建設協会	(株) 建築資料研究社
日本外壁仕上業協同組合連合会	鹿島事業協同組合連合会	(株) イース・コーポレーション
(一社) 日本建築板金協会	(一社) 日本橋梁・鋼構造物塗装技術協会	
(一社) 日本塗装工業会	日本室内装飾事業協同組合連合会	(一社) 日本建設業連合会
日本建設インテリア事業協同組合連合会	(一社) 日本空調衛生工事業協会	(一社) 全国建設業協会
(一社) 全国建設室内工事業協会	(一社) 全国コンクリート圧送事業団体連合会	(一社) 全国中小建設業協会
全国管工事業協同組合連合会	(公社) 日本エクステリア建設業協会	(一社) 日本建設業経営協会
(一社) 全国地質調査業協会連合会	(一社) 日本運動施設建設業協会	日建連会員企業
(一社) 全国建設産業団体連合会	(一社) 日本冷凍空調設備工業連合会	
(一社) 全国防水工事業協会	(一社) 日本トンネル専門工事業協会	産業開発青年隊同窓会
全国マステック事業協同組合連合会	消防施設工事協会	(株) 建築資料研究社
(一社) 日本タイル煉瓦工事業会	(一社) 日本型枠工事業協会	NPO法人 J-ENEP
(一社) 全国道路標識・標示業協会		

# ～お申込みから修了まで～

## 1. コースの問い合わせ

富士教育訓練センターにお問合せいただくか、ホームページをご覧ください。

## 2. 申込み

受講申込書に必要事項を記入の上、富士教育訓練センターに直接お申込み下さい。

## 3. 入校案内

訓練開始の1ヶ月前になりましたら「入校案内」をお送りします。  
なお、定員に満たない場合は中止または延期する場合があります。

## 4. 宿泊・給食

富士教育訓練センターは全寮制です。快適な寮生活を送れるよう準備しております。

## 5. 教育訓練

教官、指導員は、職員の他、主として会員団体の専門工事業・建設関連業の各企業の経験豊富な人材が担当しております。  
訓練時間は、8:00～17:00までです。

## 6. 修了

訓練修了証の他、各コースで取得した資格講習等の修了証も交付いたします。

土木・建築・内装など  
富士山西麓の恵まれたフィールドで  
充実した教育を行っています。



建設機械運転実習場



鉄骨躯体教材



機械実習場



内装実習場



富士教育訓練センター本館



## 交通のご案内

### ●新幹線をご利用の場合

東海道新幹線「新富士」駅よりタクシーにて40～60分  
※新幹線は「こだま」のみの停車となります。

### ●お車をご利用の場合

中央高速道…河口湖インターより、国道139号線直進(28km)30～40分  
東名高速道路…富士インターより、西富士道路経由、国道139号線直進(28km)30～40分  
新東名高速道路…新富士インターより、西富士道路経由、国道139号線直進(26km)25～35分  
※道の駅「あさぎり高原」の隣です



職業訓練法人 全国建設産業教育訓練協会

# 富士教育訓練センター

〒418-0101 静岡県富士宮市根原492-8  
TEL 0544-52-0968 FAX 0544-52-1336  
URL <http://www.fuji-kkc.ac.jp>



コースの実施状況

毎年	ほぼ毎年	2年に1回	まれに	実施なし
----	------	-------	-----	------

富士教育訓練センター 訓練コース実施状況等について(建築)

建築	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4
建築施工管理	コース名 ■建築施工管理基礎(年2回募集)	■建築施工管理中級(年1回募集)		
	コース概要 将来の現場管理者を育成するため、建築工事の概論、設計図、積算、施工計画、測量、仮設工事、躯体工事及び安全管理等について基本的な技術・技能を修得する。	建築施工管理の基礎を復習し、建築計画、設計構造、施工計画、実行予算及び安全管理について向上をはかる。(2級施工管理技士のレベル)		
管工事施工管理	コース名 ■管工事施工管理基礎(年1回募集)	■管工事施工管理中級(給排水・衛生・空調設備)		
	コース概要 給排水・衛生・空調設備工事経験が0~1年の者を対象に、現場に必要な資格を修得させ、併せて設備工事管理者としての最低限必要な技術・技能を学ぶ。	二級管工事施工管理技士と同程度の内容を修得させ、実務に必要な技術技能を学ぶ。		
	コース名 ■管工事施工管理中級(給排水・衛生設備)			
	コース概要 二級管工事施工管理技士と同程度の内容を修得させ、実務に必要な技術技能を学ぶ。			
	コース名 ■管工事施工管理中級(空調設備)			
	コース概要 二級管工事施工管理技士と同程度の内容を修得させ、実務に必要な技術技能を学ぶ。			
電気工事士	コース名 第二種電気工事士コース	第一種電気工事士コース(コース1学科・コース2実技)		
	コース概要 第二種電気工事士筆記試験の受験に必要な知識について、全般的な準備とともに、実務に必要な建設用各種の技能講習資格を取得する。			
躯体工事	コース名 ■躯体基礎(年1回募集)			
	コース概要 初心者に対して、建築工事の概要、工具類の取扱い、測量の基礎、仮設工事、躯体工事、鉄筋コンクリート工事及び安全作業法の基本的な技能を修得させる。			
型枠工事	コース名 ■型枠基礎(年3回募集)			
	コース概要 型枠工事の概要、工具類の取扱い、型枠工事の施工方法及び安全作業法について基礎的な技能を修得させる。			
躯体多能工	コース名 ■躯体多能工(鉄筋施工、型枠技能者対象)(年1回募集)			
	コース概要 型枠技能者に対して、他の業種を修得させ、多能工化を図る。建築工事の概要、工具類の取扱い、鉄筋工事の施工方法及び安全作業法について、基本的な技術を修得する。			
	コース名 ■躯体多能工(仮設施工、型枠・鉄筋技能者対象)(年1回募集)			
	コース概要 型枠・鉄筋技能者に対して、他の業種を修得させ、多能工化をはかる。仮設工事の概要、仮設機材、図面の見方、施工方法及び安全作業法について、基本的な技術を修得する。			
左官	コース名 ■左官基礎(年2回募集)		■左官施工管理中級(年1回募集)	
	コース概要 伝統工法である、「漆喰塗り」「ラスター塗」「土壁塗」「珪藻土塗」等の基本を学び左官工法を活用した、内外仕上げ工法ができる技能者を育成する。			左官実務経験者に仕上工事及び左官工事の関連工種ができる技術・技能を修得する。 (総合的な施工能力を養い、サブコンとしての技術力を強化する)
タイル工	コース名 ■タイル施工基礎(年1回募集)			
	コース概要 タイル工事経験が0~1年の者を対象に、現場に必要な資格を修得させ、併せてタイル工事において最低限必要な技術・技能を学ぶ。			
建設機械	コース名 ■建設機械運転基礎(年1回募集)			
	コース概要 建設機械について、構造、機能、メンテナンス、運転操作、施工方法及び安全作業法を教育訓練し、基礎的な技能を修得させる。			
建築基礎多能工	コース名 ■建築基礎多能工(1)(年1回募集)			
	コース概要 建築工事に携わる技能者を対象に、とび施工、仮設施工、鉄筋施工、鉄骨施工、鋼製下地施工、ボード貼り施工を学び、且つ関連作業の資格を取得させ、安全作業、作業間調整を行い、他業種との連携ができる多能工として現場実務に携わる人材を育成する。			
測量コース	コース名 ■測量(1)(年2回募集)	■施工測量(年1回募集)		
	コース概要 測量の概要、測量器材の取扱、器械の設置法、距離、高さ、角度の測定方法を教育訓練し、測量の基礎的な技能を修得する。	縦横断測量、図面作成、丁張杭位置出し等を復習し、設計図面より丁張りが出る技術を修得する。		
女性対象コース	コース名 ■リフォーム施工(タイル工法)(年1回募集)			
	コース概要 リフォーム等の際、特に女性の繊細な感性が求められる場合がある。このコースは、女性を対象に、建築内外装、インテリア、ガーデニング、アートメイク等に幅広く使用されているタイルのリフォーム施工ができる人材を育成し、女性の技術・技能の向上を目指す。			
	コース名 ■リフォーム施工(内装仕上)(年1回募集)			
	コース概要 リフォーム等の際、特に女性の繊細な感性が求められる場合がある。このコースは、女性を対象に、リフォーム内装施工の主要部である鋼製下地のボード施工とクロス・長尺シート等の仕上施工ができる人材を育成し、女性の技術・技能の向上を目指す。			
	コース名 ■リフォーム施工(左官工法)(年1回募集)			
	コース概要 リフォーム等の際、特に女性の繊細な感性が求められる場合がある。このコースは、女性を対象に、左官施工のうち「漆喰塗り」「珪藻土塗」「置き引き工法」「スタッコローラー仕上」等の基本を学び、リフォーム施工に左官仕上ができる人材を育成、女性の技術・技能の向上を目指す。			
リフォームコース	コース名 ■リフォーム内装施工(鋼製下地・ボード)(年1回募集)			
	コース概要 【設備・管工事技能者対象】 リフォーム等におけるユニットバス、システムキッチン洗面化粧台等の水回り配管工事完了後の内装工事(鋼製下地・ボード)の施工ができる人材を育成する。			
	コース名 ■リフォーム内装施工(クロス・長尺シート)(年1回募集)			
	コース概要 【設備・管工事技能者対象】 リフォーム等におけるユニットバス、システムキッチン洗面化粧台等の水回り配管、ボード立込完了後の内装工事(クロス・長尺シート)の施工ができる人材を育成する。			
入職時訓練(建築)	コース名 ■建築入職時導入教育(年2回募集)			
	コース概要 建築工事における入職時教育として、専門校事業の種類類負形態、建築用語、施工法等の基礎的な技術を習得させる。			

コースの実施状況

富士教育訓練センター 訓練コース実施状況等について(土木)

毎年	ほぼ毎年	2年に1回	まれに	実施なし
----	------	-------	-----	------

土木		レベル1	レベル2	レベル3	レベル4
土木 施工 管理	コース名	■土木施工管理基礎【年4回募集】	■土木施工管理中級【年1回募集】	土木施工管理上級	
	コース概要	将来の現場管理者を育成するため、土木工事の概論、図面の見方、積算、施工計画、測量、建設機械及び安全管理等について基本的な技術・技能を修得する。	土木施工管理の基礎を復習し、測量、施工計画実行予算、施工管理及び安全管理等について向上をはかる。(2級施工管理技士のレベル)	土木施工管理の中級を復習し、問題解決能力の向上をはかる。(1級施工管理技士のレベル)	
	コース名		2級土木施工管理技士試験準備講習【カリキュラム】	1級土木施工管理技士試験準備講習【カリキュラム】 1級土木施工管理技術検定・実地試験準備講習【カリキュラム】	
	コース概要		土木工学、都市工学、衛生工学、交通工学又は建築学等について習得し、2級土木施工管理技士試験の学科試験を準備する。	試験準備講習では、土木工学、都市工学、衛生工学、交通工学又は建築学等について習得し、1級土木施工管理技士試験の学科試験を準備する。また、技術検定・実地試験準備講習では1級土木施工管理技術検定・実地試験準備をする。	
土工 科 施	コース名	■土木施工科(1)【年2回募集】			
	コース概要	実務経験1～3年者に、土工事概論、土木材料、土木測量、設計図の見方、土木施工法及び安全管理について基礎的な技術・技能を修得させる。			
土木 基礎 多能 工	コース名	■土木基礎多能工(1)【年1回募集】			
	コース概要	土木工事に関わる技能者を対象に鉄筋・型枠・仮設の施工方法を学び関連作業の資格を取得させ、安全作業・作業間調整を行い他業種との連携が出来る多能工として現場実務に携わる人材を育成する。			
	コース名	■土木基礎多能工(2)【年1回募集】			
	コース概要	土木基礎多能工(1)の修了者を対象に重機土工事・構造物工事の一連作業を体験させ安全作業法の基礎的な技能を習得する。			
トン ネル 施	コース名		■トンネル施工管理中級【年1回募集】		
	コース概要		トンネル工事における施工管理者に、施工方法、機械設備施工計画、実行予算管理、及び安全管理等について教育訓練し、工事責任者としての人材を育成する。		
(入 職 時 訓 練 土木)	コース名	■土木入職時導入教育【年2回募集】			
	コース概要	土木工事における入職時教育として、工事概要、材料の種類と名称、土木工事の種類と施工法等の基礎的な技術を習得させる。			
(入 職 時 訓 練 地質調査)	コース名	■地質調査技術者の入職時教育【年1回募集】			
	コース概要	ボーリング技術や孔内試験など現場作業の基礎技術を習得し、また調査計画の立案や発注者との渉外、報告書のとりまとめなど、地質調査業務の全般を対象に業務遂行上で重要となるポイントや勘所などを習得する。			

## カリキュラム概要・カリキュラムシート

■富士教育訓練センターで実施されたレベル1を対象とした建築躯体系訓練コースについて収集・整理

コース名	レディメイド or オーダーメイド	訓練日数
型枠基礎	レディメイドコース	24日間
左官基礎	レディメイドコース	45日間
躯体基礎	レディメイドコース	47日間
鉄筋基礎	オーダーメイドコース（全鉄筋）	18日間
建築基礎多能工(1)	レディメイドコース	46日間
建築基礎多能工(2)	レディメイドコース	47日間

型枠基礎 1/2

型枠工事		レベル1		型枠基礎		概要 型枠工事の概要、工具類の取扱い、型枠工事の施工法及び安全作業法について基礎的な技能の修得。	
開催頻度:3回/年		日数:24日間		受講者人数:15人		対象 初心者(実務経験0~3年)	
科目	教科概要	時間	学科 実習	形式 教材	教材 書籍名等	講師 番号	
1	安全衛生 ① 社会人の責任と義務 ④ 危険予知トレーニング	6h	6h	オリジナル 原稿用紙	a b 入校のしおり(生活ルール、1日の流れ、服装等) 訓練感想文	①②	
2	型枠概論 ① 型枠工事とは ④ 型枠材強度の検討	16h	16h	書籍	c 型枠及び型枠支保工組立て・解体工事の作業指針	③	
3	型枠工事実習 ① 型枠工事の使用法 ③ 型枠の加工方法	88h	8h 80h	オリジナル 書籍	d e 型枠工事実習用図面 型枠工事実習用図面 小型移動式クレーンの運転	③ ③④ ⑤	
4	労働安全衛生法 ① 小型移動式クレーン取扱[技能講習]	24h	16h 8h	書籍	f 玉掛け作業者必携	⑥⑦⑧ ⑨	
	② 玉掛け技能講習	24h	16h 8h	書籍	g 建設業における低圧電気取扱い作業の安全	⑧⑩⑪ ⑫	
	③ 低圧電気取扱[特別教育]	16h	9h 7h	書籍	h 携帯用丸のこ盤作業従事者安全教育	⑬	
	④ 丸のこ取扱[安全教育]	8h	8h	書籍			
合計		182h	79h 103h				

修了資格	技能講習	○小型移動式クレーン運転技能講習、○玉掛け技能講習
特別教育	○低圧電気取扱	
安全教育	○携帯用丸のこ盤作業従事者安全教育	

教材リスト	教材	名称 (書籍名等、採用ページ)	形式	出版社	価格(税込)	備考
a	入校のしおり(生活ルール、1日の流れ、服装等)		オリジナル			
b	訓練感想文		原稿用紙			
c	型枠及び型枠支保工組立て・解体工事の作業指針		書籍	建設業労働災害防止協会	1,950円	
d	型枠工事実習用図面		オリジナル			
r	小型移動式クレーンの運転		書籍	日本クレーン協会	1,645円	
f	玉掛け作業者必携		書籍	日本クレーン協会	1,645円	
g	建設業における低圧電気取扱い作業の安全		書籍	建設業労働災害防止協会	1,030円	
h	建設業における丸鋸盤取扱い作業の安全		書籍	建設業労働災害防止協会	1,030円	

型枠基礎 2/2

型枠工事		レベル1		型枠基礎		概要 型枠工事の概要、工具類の取扱い、型枠工事の施工法及び安全作業法について基礎的な技能の修得。	
開催頻度:3回/年		日数:24日間		受講者人数:15人		対象 初心者(実務経験0~3年)	
講師リスト	講師番号	職員/講師	年齢	所属・職種・前職等	資格・免許等(技能講習、特別教育等は省略)		
	①	講師	38	建設建材業・大型自動車ドライバー			
	②	職員	29	富士教育訓練センター			
	③	講師	79	型枠大工	職業訓練指導員(建築科)、型枠施工技能士1級、建築大工技能士1級、他		
	④	講師	71	型枠大工			
	⑤	講師	67	建設機械メーカー教習所講師			
	⑥	講師	66	総合建設業現場監督	1級土木施工管理技士、2級建設機械施工技士(第1種・第2種)		
	⑦	講師	60	総合建設業	2級土木施工管理技士、2級建設機械施工技士(第?種)		
	⑧	講師	55	専門工事業	○○○○		
	⑨	講師	65	建設機械メーカー運転保守管理業務他	○○○○		
	⑩	講師	75	富士教育訓練センター	職業訓練指導員(建設機械科)、2級建設機械施工技士(第1種)、クレーン・移動式クレーン運転士、他		
	⑪	講師	79	タイル工	職業訓練指導員(左官・タイル科)、1級タイル張り技能士、2級建築施工管理技士(仕上げ)他		
	⑫	講師	66	電気工事	○○○○		
	⑬	講師	74	型枠大工	職業訓練指導員(建設科)、1級型枠施工技能士		

科目	教科概要	授業形式	使用材料・機材等	数量
1	安全衛生 ① 社会人の責任と義務 ④ 危険予知トレーニング			
2	型枠概論 ① 型枠工事とは ④ 型枠材強度の検討			
3	型枠工事実習 ① 型枠工事の使用法 ③ 型枠の加工方法	学科 実習 実習 実習 実習 実習	製図台 型枠材料見本 コンパネ 枠組足場 丸パイプ 型枠用金物 パイプサポート	人数分 1セット 1式 1式 1式 1式 1式
4	労働安全衛生法 ① 小型移動式クレーン取扱[技能講習]	学科 実習	パソコン プロジェクター 4tカーゴクレーン	1台 1台 2台
	② 玉掛けワイヤー取扱[技能講習]	学科 実習	パソコン プロジェクター 4tユニック	1台 1台 3台
	③ 低圧電気取扱[特別教育]	学科 実習	パソコン プロジェクター 実習用分電盤	1台 1台 2台
	④ 丸のこ作業従事者[安全教育]	学科 実習	パソコン プロジェクター キュービクル(施設内)	1台 1台 1台

使用図面等	図面名等	数量	備考
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			

カリキュラムシート 型枠基礎

実施日	平成26年6月2日
-----	-----------

時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午後	学科	【安全衛生】 授業内容、注意事項等説明	2h	①	【入校のしおり】

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済		延べ時間		使用機材	
	1	2	3	4	5	6	7	8
	1	安全衛生[学科]	2h	6h				
		安全衛生[実習]	0h	0h				
	2	型枠概論[学科]	0h	16h				
		型枠概論[実習]	0h	0h				
	3	型枠工事実習[学科]	0h	8h				
		型枠工事実習[実習]	0h	80h				
	4	労働安全衛生法[学科]	0h	49h				
		労働安全衛生法[実習]	0h	23h				

カリキュラムシート 型枠基礎

実施日	平成26年6月3日
-----	-----------

時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	学科	【玉掛け技能講習】 ・クレーン等の概要	2h	⑨	【玉掛け作業者必携】 ・1.クレーン等に関する知識(P1-P32)
午前・午後	学科	【玉掛け技能講習】 ・クレーン等の玉掛けに必要な力学	3h	⑨	【玉掛け作業者必携】 ・2.クレーン等の玉掛けに必要な力学に関する知識(P33-P67)
午後	学科	【玉掛け技能講習】 ・クレーン等の玉掛けの方法	3h	⑨	【玉掛け作業者必携】 ・3.玉掛け用具の選定及び取扱い(P68-119) ・4.玉掛けの方法及び合図の方法(P120-149) ・5.玉掛け実技の方法(P150-175)

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済		延べ時間		使用機材	
	1	2	3	4	5	6	7	8
	1	安全衛生[学科]	2h	6h			パソコン	1台
		安全衛生[実習]	0h	0h			プロジェクター	1台
	2	型枠概論[学科]	0h	16h				
		型枠概論[実習]	0h	0h				
	3	型枠工事実習[学科]	0h	8h				
		型枠工事実習[実習]	0h	80h				
	4	労働安全衛生法[学科]	8h	49h				
		労働安全衛生法[実習]	0h	23h				

カリキュラムシート 型枠基礎

実施日	平成26年6月4日
-----	-----------

時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	学科	【玉掛け技能講習】 ・クレーン等の玉掛けの方法	4h	⑨	【玉掛け作業者必携】 ・3.玉掛け用具の選定及び取扱い(P68-119) ・4.玉掛けの方法及び合図の方法(P120-149) ・5.玉掛け実技の方法(P150-175)
午後	学科	【玉掛け技能講習】 ・関係法令 ・全般見直し、まとめ	2h	⑨	【玉掛け作業者必携】 ・6.関係法令(P176-P209)
午後	学科	【玉掛け技能講習】 ・修了試験	1h	⑨	
午後	学科	【玉掛け技能講習】 ・重量目測・玉掛け具選定試験	1h	⑨	

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済		延べ時間		使用機材	
	1	2	3	4	5	6	7	8
	1	安全衛生[学科]	2h	6h			パソコン	1台
		安全衛生[実習]	0h	0h			プロジェクター	1台
	2	型枠概論[学科]	0h	16h				
		型枠概論[実習]	0h	0h				
	3	型枠工事実習[学科]	0h	8h				
		型枠工事実習[実習]	0h	80h				
	4	労働安全衛生法[学科]	16h	49h				
		労働安全衛生法[実習]	0h	23h				

カリキュラムシート 型枠基礎

実施日	平成26年6月5日
-----	-----------

時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	実習	【玉掛け技能講習】 ・玉掛けの基本作業・合図	4h	⑧⑩⑪	
午後	実習	【玉掛け技能講習】 ・玉掛けの基本作業・合図	2.5h	⑧⑩⑪	
午後	実習	【玉掛け技能講習】 ・実技修了試験	1.5h	⑧⑩⑪	

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済		延べ時間		使用機材	
	1	2	3	4	5	6	7	8
	1	安全衛生[学科]	2h	6h			4tユニット	3台
		安全衛生[実習]	0h	0h			天井クレーン	1台
	2	型枠概論[学科]	0h	16h				
		型枠概論[実習]	0h	0h				
	3	型枠工事実習[学科]	0h	8h				
		型枠工事実習[実習]	0h	80h				
	4	労働安全衛生法[学科]	16h	49h				
		労働安全衛生法[実習]	8h	23h				

カリキュラムシート 型枠基礎

実施日 平成26年6月6日

時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	学科	【型枠概論】 ・型枠に使用する材料	3h	③	【型枠及び型枠支保工組立て・解体工事の作業指針】 ・第1章(P.1-3) ・第2章(P.5-20)
午前	学科	【型枠概論】 ・型枠支保工に使用する材料	1h	③	【型枠及び型枠支保工組立て・解体工事の作業指針】 ・第2章(P.21-36)
午後	学科	【型枠概論】 ・型枠支保工に使用する材料	1h	③	【型枠及び型枠支保工組立て・解体工事の作業指針】 ・第2章(P.21-36)
午後	学科	【型枠概論】 ・型枠工事計画 ・型枠工事加工図 ・型枠の部材に働く力	3h	③	【型枠及び型枠支保工組立て・解体工事の作業指針】 ・第2章(P.33-36) ・第3章(P.37-60) ・第5章(P.77-86)

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済		延べ時間		使用機材	
	1	2	2h	6h	0h	0h	型枠材料見本	1式
1	安全衛生[学科]	2h	6h					
	安全衛生[実習]	0h	0h					
	型枠概論[学科]	8h	16h					
	型枠概論[実習]	0h	0h					
3	型枠工事実習[学科]	0h	8h					
	型枠工事実習[実習]	0h	80h					
4	労働安全衛生法[学科]	16h	49h					
	労働安全衛生法[実習]	8h	23h					

カリキュラムシート 型枠基礎

実施日 平成26年6月7日

時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	学科	【携帯用丸のご盛安全衛生教育】 ・丸のご盛を使用する作業の知識	2h	⑬	【建設業における丸鋸等取扱い作業の安全】 ・第1章(P.1-14) ・第2章(P.15-36)
午前	学科	【携帯用丸のご盛安全衛生教育】 ・丸のご盛点検修理に関する知識	1h	⑬	【建設業における丸鋸等取扱い作業の安全】 ・第3章(P.37-44)
午前	学科	【携帯用丸のご盛安全衛生教育】 ・安全な作業方法等の知識	1h	⑬	【建設業における丸鋸等取扱い作業の安全】 ・第4章(P.45-56)
午後	学科	【携帯用丸のご盛安全衛生教育】 ・関係法令	1h	⑬	【建設業における丸鋸等取扱い作業の安全】 ・第5章(P.57-71)
午後	学科	【携帯用丸のご盛安全衛生教育】 ・正しい取扱方法	3h	⑬	【建設業における丸鋸等取扱い作業の安全】 ・テキスト全般

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済		延べ時間		使用機材	
	1	2	2h	6h	0h	0h	パソコン	1台
1	安全衛生[学科]	2h	6h					
	安全衛生[実習]	0h	0h				プロジェクター	1台
	型枠概論[学科]	8h	16h					
	型枠概論[実習]	0h	0h					
3	型枠工事実習[学科]	0h	8h					
	型枠工事実習[実習]	0h	80h					
4	労働安全衛生法[学科]	24h	49h					
	労働安全衛生法[実習]	8h	23h					

カリキュラムシート 型枠基礎

実施日 平成26年6月9日

時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前・午後	学科	【小型移動式クレーン運転技能講習】 ・小型移動式クレーンに関する知識	8h	⑤	【小型移動式クレーンの運転】 ・1.小型移動式クレーンに関する知識(P1-P135)

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済		延べ時間		使用機材	
	1	2	2h	6h	0h	0h	パソコン	1台
1	安全衛生[学科]	2h	6h					
	安全衛生[実習]	0h	0h				プロジェクター	1台
	型枠概論[学科]	8h	16h					
	型枠概論[実習]	0h	0h					
3	型枠工事実習[学科]	0h	8h					
	型枠工事実習[実習]	0h	80h					
4	労働安全衛生法[学科]	32h	49h					
	労働安全衛生法[実習]	8h	23h					

カリキュラムシート 型枠基礎

実施日 平成26年6月10日

時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	学科	【小型移動式クレーン運転技能講習】 ・原動機および電気に関する知識	4h	⑤	【小型移動式クレーンの運転】 ・2.原動機及び電気に関する知識(P136-P165)
午後	学科	【小型移動式クレーン運転技能講習】 ・関係法令 ・まとめ、復習 ・学科修了試験	3h	⑤	【小型移動式クレーンの運転】 ・5.関係法令(P211-P241)
午後	学科	【小型移動式クレーン運転技能講習】 ・学科修了試験	1h	⑤	※玉掛け技能講習資格者のため、「小型移動式クレーンの運転のために必要な力学に関する知識」免除

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済		延べ時間		使用機材	
	1	2	2h	6h	0h	0h	パソコン	1台
1	安全衛生[学科]	2h	6h					
	安全衛生[実習]	0h	0h				プロジェクター	1台
	型枠概論[学科]	8h	16h					
	型枠概論[実習]	0h	0h					
3	型枠工事実習[学科]	0h	8h					
	型枠工事実習[実習]	0h	80h					
4	労働安全衛生法[学科]	40h	49h					
	労働安全衛生法[実習]	8h	23h					

カリキュラムシート 型枠基礎

実施日 平成26年6月11日

時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	実習	【小型移動式クレーン運転技能講習】 ・小型移動式クレーンの運転	1h	⑥⑦⑧	
午前	実習	【小型移動式クレーン運転技能講習】 ・基本操作・重量の確認	1h	⑥⑦⑧	
午前	実習	【小型移動式クレーン運転技能講習】 ・荷のつり上げ	2h	⑥⑦⑧	
午後	実習	【小型移動式クレーン運転技能講習】 ・定められた経路による運搬	1h	⑥⑦⑧	
午後	実習	【小型移動式クレーン運転技能講習】 ・荷の卸し	1h	⑥⑦⑧	
午後	実習	【小型移動式クレーン運転技能講習】 ・実技修了試験	2h	⑥⑦⑧	

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済		延べ時間		使用機材	
	1	2	3	4	5	6	7	8
	1	安全衛生[学科]	2h	6h	4tカーゴクレーン	2台		
		安全衛生[実習]	0h	0h				
	2	型枠概論[学科]	8h	16h				
		型枠概論[実習]	0h	0h				
	3	型枠工事実習[学科]	0h	8h				
		型枠工事実習[実習]	0h	80h				
	4	労働安全衛生法[学科]	40h	49h				
		労働安全衛生法[実習]	16h	23h				

カリキュラムシート 型枠基礎

実施日 平成26年6月12日

時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	学科	【低圧電気取扱特別教育】 低圧の電気に関する基礎知識	1h	⑫	【建設業における低圧電気取扱い作業の安全】 ・第1章(P.1-5) ・第2章(P.6-19)
午前	学科	【低圧電気取扱特別教育】 低圧の電気設備に関する基礎知識	2h	⑫	【建設業における低圧電気取扱い作業の安全】 ・第3章(P.20-46)
午前	学科	【低圧電気取扱特別教育】 低圧の電気に関する基礎知識	1h	⑫	【建設業における低圧電気取扱い作業の安全】 ・第1章(P.1-5) ・第2章(P.6-19) ・第3章(P.20-46)
午後	学科	【低圧電気取扱特別教育】 低圧用の安全作業用具に関する基礎知識	1h	⑫	【建設業における低圧電気取扱い作業の安全】 ・第4章(P.47-60)
午後	学科	【低圧電気取扱特別教育】 低圧の活線作業及び活線近接作業の方法	2h	⑫	【建設業における低圧電気取扱い作業の安全】 ・第5章(P.61-86)
午後	学科	【低圧電気取扱特別教育】 関係法令	1h	⑫	【建設業における低圧電気取扱い作業の安全】 ・第6章(P.87-100)

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済		延べ時間		使用機材	
	1	2	3	4	5	6	7	8
	1	安全衛生[学科]	2h	6h			パソコン	1台
		安全衛生[実習]	0h	0h			プロジェクター	1台
	2	型枠概論[学科]	8h	16h				
		型枠概論[実習]	0h	0h				
	3	型枠工事実習[学科]	0h	8h				
		型枠工事実習[実習]	0h	80h				
	4	労働安全衛生法[学科]	48h	49h				
		労働安全衛生法[実習]	16h	23h				

カリキュラムシート 型枠基礎

実施日 平成26年6月13日

時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	実習	【低圧電気取扱特別教育】 ・接地抵抗測定 ・電圧電流漏れ電流測定 ・電動工具・絶縁抵抗測定 ・コードコネクタの結線	4h	⑬	
午後	実習	【低圧電気取扱特別教育】 ・ヒューズの交換作業 ・残留電荷の放電 ・モーター逆回転へ結線換え	3h	⑬	
午後	学科	【低圧電気取扱特別教育】 ・学科修了試験	1h	⑬	

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済		延べ時間		使用機材	
	1	2	3	4	5	6	7	8
	1	安全衛生[学科]	2h	6h	実習用分電盤	2台		
		安全衛生[実習]	0h	0h				
	2	型枠概論[学科]	8h	16h				
		型枠概論[実習]	0h	0h				
	3	型枠工事実習[学科]	0h	8h				
		型枠工事実習[実習]	0h	80h				
	4	労働安全衛生法[学科]	49h	49h				
		労働安全衛生法[実習]	23h	23h				

カリキュラムシート 型枠基礎

実施日 平成26年6月14日

時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	学科	【型枠概論】 ・加工図の書き方	4h	⑭	【型枠及び型枠支保工組立て・解体工事の作業指針】 ・第3章(P.44-52)
午後	学科	【型枠概論】 ・加工図の書き方	4h	⑭	【型枠及び型枠支保工組立て・解体工事の作業指針】 ・第3章(P.44-52)

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済		延べ時間		使用機材	
	1	2	3	4	5	6	7	8
	1	安全衛生[学科]	2h	6h			型枠材料見本	1式
		安全衛生[実習]	0h	0h			製図台	
	2	型枠概論[学科]	16h	16h				
		型枠概論[実習]	0h	0h				
	3	型枠工事実習[学科]	0h	8h				
		型枠工事実習[実習]	0h	80h				
	4	労働安全衛生法[学科]	48h	49h				
		労働安全衛生法[実習]	16h	23h				

カリキュラムシート 型枠基礎

実施日 平成26年6月16日

時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	学科	【型枠工事実習】 ・実習図面より加工図作成	4h	③	【型枠工事実習用図面】
午後	学科	【型枠工事実習】 ・実習図面より加工図作成	4h	③	【型枠工事実習用図面】

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済		延べ時間		使用機材	
	1	2	3	4	5	6	7	8
	1	安全衛生[学科]	2h	6h			製図台	
		安全衛生[実習]	0h	0h				
	2	型枠概論[学科]	16h	16h				
		型枠概論[実習]	0h	0h				
	3	型枠工事実習[学科]	8h	8h				
		型枠工事実習[実習]	0h	80h				
	4	労働安全衛生法[学科]	49h	49h				
		労働安全衛生法[実習]	23h	23h				

カリキュラムシート 型枠基礎

実施日 平成26年6月17日

時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	実習	【型枠工事実習】 ・実習用型枠の加工	4h	③④	【型枠工事実習用図面】
午後	実習	【型枠工事実習】 ・実習用型枠の加工	4h	③④	【型枠工事実習用図面】

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済		延べ時間		使用機材	
	1	2	3	4	5	6	7	8
	1	安全衛生[学科]	2h	6h			コンパネ	
		安全衛生[実習]	0h	0h			加工道具	1式
	2	型枠概論[学科]	16h	16h				
		型枠概論[実習]	0h	0h				
	3	型枠工事実習[学科]	8h	8h				
		型枠工事実習[実習]	8h	80h				
	4	労働安全衛生法[学科]	49h	49h				
		労働安全衛生法[実習]	23h	23h				

カリキュラムシート 型枠基礎

実施日 平成26年6月18日

時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	実習	【型枠工事実習】 ・型出し ・敷きベニヤ	4h	③④	【型枠工事実習用図面】
午後	実習	【型枠工事実習】 ・足場の組立	4h	③④	【型枠工事実習用図面】

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済		延べ時間		使用機材	
	1	2	3	4	5	6	7	8
	1	安全衛生[学科]	2h	6h			枠組足場	1式
		安全衛生[実習]	0h	0h				
	2	型枠概論[学科]	16h	16h				
		型枠概論[実習]	0h	0h				
	3	型枠工事実習[学科]	8h	8h				
		型枠工事実習[実習]	16h	80h				
	4	労働安全衛生法[学科]	49h	49h				
		労働安全衛生法[実習]	23h	23h				

カリキュラムシート 型枠基礎

実施日 平成26年6月19日

時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	実習	【型枠工事実習】 ・足場の組立 ・敷き木	4h	③④	【型枠工事実習用図面】
午後	実習	【型枠工事実習】 ・外壁の組み立て	4h	③④	【型枠工事実習用図面】

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済		延べ時間		使用機材	
	1	2	3	4	5	6	7	8
	1	安全衛生[学科]	2h	6h			枠組足場	1式
		安全衛生[実習]	0h	0h				
	2	型枠概論[学科]	16h	16h				
		型枠概論[実習]	0h	0h				
	3	型枠工事実習[学科]	8h	8h				
		型枠工事実習[実習]	24h	80h				
	4	労働安全衛生法[学科]	49h	49h				
		労働安全衛生法[実習]	23h	23h				



カリキュラムシート 型枠基礎

実施日 平成26年6月20日

時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	実習	【型枠工事実習】 ・外壁の組み立て	3h	③④	【型枠工事実習用図面】
午前・午後	実習	【型枠工事実習】 ・パイプ締め付け	2h	③④	【型枠工事実習用図面】
午後	実習	【型枠工事実習】 ・柱の組み立て	3h	③④	【型枠工事実習用図面】

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済		延べ時間		使用機材	
	実習	学科	時間	延べ時間	機材名	数量	機材名	数量
	1	安全衛生[学科]	2h	6h			枠組足場	1式
		安全衛生[実習]	0h	0h			丸パイプ	1式
	2	型枠概論[学科]	16h	16h			型枠用金物	1式
		型枠概論[実習]	0h	0h				
	3	型枠工事実習[学科]	8h	8h				
		型枠工事実習[実習]	32h	80h				
	4	労働安全衛生法[学科]	49h	49h				
		労働安全衛生法[実習]	23h	23h				

カリキュラムシート 型枠基礎

実施日 平成26年6月21日

時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	実習	【型枠工事実習】 ・柱の組み立て	2h	③④	【型枠工事実習用図面】
午前・午後	実習	【型枠工事実習】 ・梁の組み立て	6h	③④	【型枠工事実習用図面】

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済		延べ時間		使用機材	
	実習	学科	時間	延べ時間	機材名	数量	機材名	数量
	1	安全衛生[学科]	2h	6h			枠組足場	1式
		安全衛生[実習]	0h	0h			丸パイプ	1式
	2	型枠概論[学科]	16h	16h			型枠用金物	1式
		型枠概論[実習]	0h	0h				
	3	型枠工事実習[学科]	8h	8h				
		型枠工事実習[実習]	40h	80h				
	4	労働安全衛生法[学科]	49h	49h				
		労働安全衛生法[実習]	23h	23h				

カリキュラムシート 型枠基礎

実施日 平成26年6月23日

時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前・午後	実習	【型枠工事実習】 ・内壁の組み立て	5h	③④	【型枠工事実習用図面】
午後	実習	【型枠工事実習】 ・パイプ締め	3h	③④	【型枠工事実習用図面】

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済		延べ時間		使用機材	
	実習	学科	時間	延べ時間	機材名	数量	機材名	数量
	1	安全衛生[学科]	2h	6h			枠組足場	1式
		安全衛生[実習]	0h	0h			丸パイプ	1式
	2	型枠概論[学科]	16h	16h			型枠用金物	1式
		型枠概論[実習]	0h	0h				
	3	型枠工事実習[学科]	8h	8h				
		型枠工事実習[実習]	48h	80h				
	4	労働安全衛生法[学科]	49h	49h				
		労働安全衛生法[実習]	23h	23h				

カリキュラムシート 型枠基礎

実施日 平成26年6月24日

時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前・午後	実習	【型枠工事実習】 ・スラブの段取り	6h	③④	【型枠工事実習用図面】
午後	実習	【型枠工事実習】 ・スラブ張り	2h	③④	【型枠工事実習用図面】

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済		延べ時間		使用機材	
	実習	学科	時間	延べ時間	機材名	数量	機材名	数量
	1	安全衛生[学科]	2h	6h			枠組足場	1式
		安全衛生[実習]	0h	0h			丸パイプ	1式
	2	型枠概論[学科]	16h	16h			型枠用金物	1式
		型枠概論[実習]	0h	0h			パイプサポート	1式
	3	型枠工事実習[学科]	8h	8h				
		型枠工事実習[実習]	56h	80h				
	4	労働安全衛生法[学科]	49h	49h				
		労働安全衛生法[実習]	23h	23h				

カリキュラムシート 型枠基礎

実施日 平成26年6月25日

時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	実習	【型枠工事実習】 ・スラブ張り	4h	③④	【型枠工事実習用図面】
午後	実習	【型枠工事実習】 ・天井インサート打ち ・スラブ引き(通り直し)	4h	③④	【型枠工事実習用図面】

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済		延べ時間		使用機材	
	1	2	3	4	5	6	7	8
	安全衛生[学科]		2h		6h		枠組足場	1式
	安全衛生[実習]		0h		0h		丸パイプ	1式
	型枠概論[学科]		16h		16h		型枠用金物	1式
	型枠概論[実習]		0h		0h		パイプサポート	1式
	型枠工事実習[学科]		8h		8h			
	型枠工事実習[実習]		64h		80h			
	労働安全衛生法[学科]		49h		49h			
	労働安全衛生法[実習]		23h		23h			

カリキュラムシート 型枠基礎

実施日 平成26年6月26日

時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	実習	【型枠工事実習】 ・角締め補強	2h	③④	【型枠工事実習用図面】
午前	実習	【型枠工事実習】 ・根がらみ作業	2h	③④	【型枠工事実習用図面】
午後	実習	【型枠工事実習】 ・壁の押引き	1h	③④	【型枠工事実習用図面】
午後	実習	【型枠工事実習】 ・型枠解体作業	3h	③④	

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済		延べ時間		使用機材	
	1	2	3	4	5	6	7	8
	安全衛生[学科]		2h		6h		枠組足場	1式
	安全衛生[実習]		0h		0h		丸パイプ	1式
	型枠概論[学科]		16h		16h		型枠用金物	1式
	型枠概論[実習]		0h		0h		パイプサポート	1式
	型枠工事実習[学科]		8h		8h			
	型枠工事実習[実習]		72h		80h			
	労働安全衛生法[学科]		49h		49h			
	労働安全衛生法[実習]		23h		23h			

カリキュラムシート 型枠基礎

実施日 平成26年6月27日

時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	実習	【型枠工事実習】 ・型枠解体作業	4h	③④	
午前	実習	【型枠工事実習】 ・足場の解体作業	2h	③④	
午後	実習	【型枠工事実習】 ・加工図の書き方	2h	③④	【型枠工事実習用図面】

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済		延べ時間		使用機材	
	1	2	3	4	5	6	7	8
	安全衛生[学科]		2h		6h		枠組足場	1式
	安全衛生[実習]		0h		0h		丸パイプ	1式
	型枠概論[学科]		16h		16h		型枠用金物	1式
	型枠概論[実習]		0h		0h		パイプサポート	1式
	型枠工事実習[学科]		8h		8h			
	型枠工事実習[実習]		80h		80h			
	労働安全衛生法[学科]		49h		49h			
	労働安全衛生法[実習]		23h		23h			

カリキュラムシート 型枠基礎

実施日 平成26年6月28日

時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	学科	【安全衛生】 ・研修全体の復習、まとめ	4h	②	

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済		延べ時間		使用機材	
	1	2	3	4	5	6	7	8
	安全衛生[学科]		6h		6h			
	安全衛生[実習]		0h		0h			
	型枠概論[学科]		16h		16h			
	型枠概論[実習]		0h		0h			
	型枠工事実習[学科]		8h		8h			
	型枠工事実習[実習]		72h		80h			
	労働安全衛生法[学科]		49h		49h			
	労働安全衛生法[実習]		23h		23h			

左官工事		レベル1	左官基礎	概要	伝統工法である「漆喰塗」「プラスター塗」「土壁塗」「珪藻土塗」等の基本を学び、左官工法を活用した内外仕上げ工法ができる技能者を育成する				
開催頻度: 2回/年		日数: 45日間	受講者人数: 15人	対象	初心者(実務経験0~3年)				
科目	教科概要	時間	教科概要		教材				講師番号
			学科	形式	教材	名称(書籍名等、採用ページ)			
1	安全衛生	14h	①社会人の責任と義務 ②挨拶と集団行動 ③保護具 ④危険予知トレーニング ⑤教育訓練全体の復習、まとめ、等 ※左官工事に関わる安全衛生教育として、鉄筋組立実習を実施	6h	オリジナル	a	入校のしおり(生活ルール、1日の流れ、服装等)		①
				8h	原簿用紙	b	訓練感想文		①
2	左官基礎	40h	左官材料 ①セメント ②石膏 ③ドライプラスター ④石灰 ⑤日本壁材料 ⑥のりつす ⑦混和材料 ⑧骨材 ⑨建築用仕上塗材	40h					②
				h					
3	左官施工法	240h	左官施工 ①左官下地 ②こて塗りの基本作業 ③材料別左官施工法 ④技法別左官施工法 ⑤鉄筋コンクリート造における左官施工法 ⑥木造建築における左官施工法 ⑦その他の工法	2h					②
				238h					
5	労働安全衛生法	16h	①高所作業車運転[特別教育] ②巻き上げ機取扱[特別教育] ③低圧電気取扱[特別教育] ④自由研削砥石取扱[特別教育]	8h	書籍	c	高所作業車運転者必携		④
				8h					③④
				8h	書籍	d	ウインチ運転者必携		③
				8h	書籍	e	建設業における低圧電気取扱い作業の安全		⑤
	合計	350h		3h	書籍	f	グラインダ安全必携		⑥
				38h					
304h									

修了資格	技能講習 特別教育 安全教育	○低圧電気取扱 ○高所作業車運転 ○自由研削砥石 ○巻き上げ機取扱
------	----------------------	-----------------------------------

教材リスト	教材	名称(書籍名等、採用ページ)		形式	出版社	価格(税込)	備考
		a	b				
	a	入校のしおり(生活ルール、1日の流れ、服装等)		オリジナル			
	b	訓練感想文		原簿用紙			
	c	高所作業車運転者必携		書籍	建設業労働災害防止協会	1,340円	
	d	ウインチ運転者必携		書籍	建設業労働災害防止協会	1,030円	
	e	建設業における低圧電気取扱い作業の安全		書籍	建設業労働災害防止協会	1,030円	
	f	グラインダ安全必携		書籍	中央労働災害防止協会	1,188円	
	g						
	h						

左官工事		レベル1	左官基礎	概要	伝統工法である「漆喰塗」「プラスター塗」「土壁塗」「珪藻土塗」等の基本を学び、左官工法を活用した内外仕上げ工法ができる技能者を育成する			
開催頻度: 2回/年		日数: 45日間	受講者人数: 15人	対象	初心者(実務経験0~3年)			
講師リスト	講師番号	職員/講師	年齢	所属・職種・前職等		資格・免許等(技能講習、特別教育等は省略)		
				38	建設建材業・大型自動車ドライバー			
	②	講師						
	③	講師						
	④	講師	75	富士教育訓練センター	職業訓練指導員(建設機械科)			
	⑤	講師						
	⑥	講師						
	⑦	講師						

科目	教科概要	授業形式	使用材料・機材等	数量
1	安全衛生	実習	実習用鉄筋(もち網スラブ配筋)	1組
2	左官基礎	実習	実習用コンパネ下地ユニット[左官基礎・左官施工法共通、1台/2人]	5台
		実習	土[左官基礎・左官施工法共通]	適宜
		実習	砂[左官基礎・左官施工法共通]	適宜
		実習	すま[左官基礎・左官施工法共通]	適宜
3	左官施工法	実習	トロ舟[左官基礎・左官施工法共通(3人/台)]	3台
		実習	手撒[左官基礎・左官施工法共通(3人/撒)]	3撒
		実習	焼石膏	適宜
		実習	石灰	適宜
5	労働安全衛生法	学科	パソコン	1台
		学科	プロジェクター	1台
		実習	高所作業車(2班)	2台
		学科	パソコン	1台
		学科	プロジェクター	1台
		実習	ウインチ	1台
		学科	パソコン	1台
		学科	プロジェクター	1台
		実習	実習用分電盤	2台
		実習	キューピクル(施設内)	1台
		学科	講習用DVD	1本
		実習	高速切断機	1台

使用図面等	図面名等	数量	備考
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			

カリキュラムシート 左官基礎

実施日 平成26年5月26日

時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午後	学科	【安全衛生】 授業内容・注意事項等説明 ガイダンス	2h	①	【入校のしおり】

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済		延べ時間		使用機材	
	1	2	3	4	5	6	7	8
	1	安全衛生[学科]	2h	6h				
		安全衛生[実習]	0h	8h				
	2	左官基礎[学科]	0h	0h				
		左官基礎[実習]	0h	40h				
	3	左官施工法[学科]	0h	2h				
		左官施工法[実習]	0h	246h				
	4	労働安全衛生法[学科]	0h	30h				
		労働安全衛生法[実習]	0h	26h				

カリキュラムシート 左官基礎

実施日 平成26年5月27日

時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	実習	【左官基礎】 材料について	2h	②	
午前	実習	【左官基礎】 実習用コンパネ下地組み立て	2h	②	
午後	実習	【左官基礎】 セツ下塗り 平塗り・中塗り チリ墨打ち	4h	②	

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済		延べ時間		使用機材	
	1	2	3	4	5	6	7	8
	1	安全衛生[学科]	2h	6h			実習用コンパネ下地	10組
		安全衛生[実習]	0h	8h			土	適宜
		左官基礎[学科]	0h	0h			砂	適宜
	2	左官基礎[実習]	8h	40h			すさ	適宜
		左官施工法[学科]	0h	2h			トロ舟(3人共用)	3台
		左官施工法[実習]	0h	246h			手鍬(3人共用)	3挺
	3	労働安全衛生法[学科]	0h	30h				
		労働安全衛生法[実習]	0h	26h				

カリキュラムシート 左官基礎

実施日 平成26年5月28日

時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	実習	【左官基礎】 チリ墨の出し方・打ち方	1h	②	
午前	実習	【左官基礎】 チリ線の塗り方 面先塗り切り付け 木鏝なしめ仕上げ	3h	②	
午後	実習	【左官基礎】 中塗り 墨出し・チリ塗り	4h	②	

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済		延べ時間		使用機材	
	1	2	3	4	5	6	7	8
	1	安全衛生[学科]	2h	6h			実習用コンパネ下地	10組
		安全衛生[実習]	0h	8h			土	適宜
		左官基礎[学科]	0h	0h			砂	適宜
	2	左官基礎[実習]	16h	40h			すさ	適宜
		左官施工法[学科]	0h	2h			トロ舟(3人共用)	3台
		左官施工法[実習]	0h	246h			手鍬(3人共用)	3挺
	3	労働安全衛生法[学科]	0h	30h				
		労働安全衛生法[実習]	0h	26h				

カリキュラムシート 左官基礎

実施日 平成26年5月29日

時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	実習	【左官基礎】 切付墨打ち 切付塗りチリ面先付け 壁落とし	3h	②	
午前	実習	【左官基礎】 下塗りシゴキ塗り	1h	②	
午後	実習	【左官基礎】 墨出し・墨打ち チリ塗り・面先塗り・下塗り・中塗り	4h	②	

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済		延べ時間		使用機材	
	1	2	3	4	5	6	7	8
	1	安全衛生[学科]	2h	6h			実習用コンパネ下地	10組
		安全衛生[実習]	0h	8h			土	適宜
		左官基礎[学科]	0h	0h			砂	適宜
	2	左官基礎[実習]	24h	40h			すさ	適宜
		左官施工法[学科]	0h	2h			トロ舟(3人共用)	3台
		左官施工法[実習]	0h	246h			手鍬(3人共用)	3挺
	3	労働安全衛生法[学科]	0h	30h				
		労働安全衛生法[実習]	0h	26h				

カリキュラムシート 左官基礎

実施日 平成26年5月30日

時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	実習	【左官基礎】 下塗り・中塗り 木鏝なしめ仕上げ	4h	②	
午後	実習	【左官基礎】 墨出し・墨打ち チリ塗り・切付塗り・下塗り	4h	②	

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済		延べ時間		使用機材	
	安全衛生[学科]	安全衛生[実習]	2h	0h	6h	8h	実習用コンパネ下地	10組
	1	左官基礎[学科]	0h	0h			土	適宜
	2	左官基礎[実習]	32h	40h			砂	適宜
	3	左官施工法[学科]	0h	2h			すざ	適宜
	4	左官施工法[実習]	0h	246h			トロ舟(3人共用)	3台
		労働安全衛生法[学科]	0h	30h			手鏝(3人共用)	3挺
		労働安全衛生法[実習]	0h	26h				

カリキュラムシート 左官基礎

実施日 平成26年5月31日

時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	実習	【左官基礎】 下塗り・中塗り 木鏝仕上げ 壁落とし・片付け	4h	②	
午後	実習	【左官基礎】 下塗りシゴキ塗り チリ墨・墨打ち チリ塗り切付	4h	②	

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済		延べ時間		使用機材	
	安全衛生[学科]	安全衛生[実習]	2h	0h	6h	8h	実習用コンパネ下地	10組
	1	左官基礎[学科]	0h	0h			土	適宜
	2	左官基礎[実習]	40h	40h			砂	適宜
	3	左官施工法[学科]	0h	2h			すざ	適宜
	4	左官施工法[実習]	0h	246h			トロ舟(3人共用)	3台
		労働安全衛生法[学科]	0h	30h			手鏝(3人共用)	3挺
		労働安全衛生法[実習]	0h	26h				

カリキュラムシート 左官基礎

実施日 平成26年6月2日

時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	実習	【左官施工法】 チリ塗り・面先塗り 下塗り・中塗り	4h	②	
午後	実習	【左官施工法】 木鏝仕上げ 墨出し・墨打ち チリ墨・チリ塗り	4h	②	

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済		延べ時間		使用機材	
	安全衛生[学科]	安全衛生[実習]	2h	0h	6h	8h	実習用コンパネ下地	10組
	1	左官基礎[学科]	0h	0h			土	適宜
	2	左官基礎[実習]	40h	40h			砂	適宜
	3	左官施工法[学科]	0h	2h			すざ	適宜
	4	左官施工法[実習]	8h	246h			トロ舟(3人共用)	3台
		労働安全衛生法[学科]	0h	30h			手鏝(3人共用)	3挺
		労働安全衛生法[実習]	0h	26h				

カリキュラムシート 左官基礎

実施日 平成26年6月3日

時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	実習	【左官施工法】 チリ墨打ち・切付 チリ塗り・面先塗り 中塗り	4h	②	
午後	実習	【左官施工法】 中塗り 壁落とし・片付け セツト墨出し・墨打ち	4h	②	

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済		延べ時間		使用機材	
	安全衛生[学科]	安全衛生[実習]	2h	0h	6h	8h	実習用コンパネ下地	10組
	1	左官基礎[学科]	0h	0h			土	適宜
	2	左官基礎[実習]	40h	40h			砂	適宜
	3	左官施工法[学科]	0h	2h			すざ	適宜
	4	左官施工法[実習]	16g	246h			トロ舟(3人共用)	3台
		労働安全衛生法[学科]	0h	30h			手鏝(3人共用)	3挺
		労働安全衛生法[実習]	0h	26h				

カリキュラムシート 左官基礎

実施日 平成26年6月4日

時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	実習	【左官施工法】 下塗り・シコキ塗り 墨出し・墨打ち チリ塗り面先	4h	②	
午後	実習	【左官施工法】 チリ塗り面先 切付塗り 中塗り	4h	②	

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済		延べ時間		使用機材	
	1	2	3	4	5	6	7	8
	安全衛生[学科]		2h		6h		実習用コンパネ下地	10組
	安全衛生[実習]		0h		8h		土	適宜
	左官基礎[学科]		0h		0h		砂	適宜
	左官基礎[実習]		40h		40h		すざ	適宜
	左官施工法[学科]		0h		2h		トロ舟(3人共用)	3台
	左官施工法[実習]		24h		246h		手鐐(3人共用)	3挺
	労働安全衛生法[学科]		0h		30h			
	労働安全衛生法[実習]		0h		26h			

カリキュラムシート 左官基礎

実施日 平成26年6月5日

時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	実習	【左官施工法】 泥だんご下塗り	4h	②	
午後	実習	【左官施工法】 鍍砂絵塗り	4h	②	

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済		延べ時間		使用機材	
	1	2	3	4	5	6	7	8
	安全衛生[学科]		2h		6h		実習用コンパネ下地	10組
	安全衛生[実習]		0h		8h		土	適宜
	左官基礎[学科]		0h		0h		砂	適宜
	左官基礎[実習]		40h		40h		すざ	適宜
	左官施工法[学科]		0h		2h		トロ舟(3人共用)	3台
	左官施工法[実習]		32h		246h		手鐐(3人共用)	3挺
	労働安全衛生法[学科]		0h		30h			
	労働安全衛生法[実習]		0h		26h			

カリキュラムシート 左官基礎

実施日 平成26年6月6日

時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	実習	【左官施工法】 墨出し・墨打ち チリ塗り、切付面先塗り 中塗り木鍍仕上げ	4h	②	
午後	実習	【左官施工法】 チリ塗り切付・面先中塗り 壁落とし 下塗り・シコキ塗り	4h	②	

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済		延べ時間		使用機材	
	1	2	3	4	5	6	7	8
	安全衛生[学科]		2h		6h		実習用コンパネ下地	10組
	安全衛生[実習]		0h		8h		土	適宜
	左官基礎[学科]		0h		0h		砂	適宜
	左官基礎[実習]		40h		40h		すざ	適宜
	左官施工法[学科]		0h		2h		トロ舟(3人共用)	3台
	左官施工法[実習]		40h		246h		手鐐(3人共用)	3挺
	労働安全衛生法[学科]		0h		30h			
	労働安全衛生法[実習]		0h		26h			

カリキュラムシート 左官基礎

実施日 平成26年6月7日

時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	実習	【左官施工法】 シコキ塗り下地 チリ墨出し・墨打ち	4h	②	
午後	実習	【左官施工法】 切付塗り	1h	②	
午後	実習	【左官施工法】 泥だんご仕上げ	1h	②	

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済		延べ時間		使用機材	
	1	2	3	4	5	6	7	8
	安全衛生[学科]		2h		6h		実習用コンパネ下地	10組
	安全衛生[実習]		0h		8h		土	適宜
	左官基礎[学科]		0h		0h		砂	適宜
	左官基礎[実習]		40h		40h		すざ	適宜
	左官施工法[学科]		0h		2h		トロ舟(3人共用)	3台
	左官施工法[実習]		48h		246h		手鐐(3人共用)	3挺
	労働安全衛生法[学科]		0h		30h			
	労働安全衛生法[実習]		0h		26h			

カリキュラムシート 左官基礎

実施日 平成26年6月9日

時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	実習	【左官施工法】 チリ墨打ち チリ塗り、切付・面先塗り	4h	②	
午後	実習	【左官施工法】 中塗り 墨出し・墨打ち	4h	②	

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済		延べ時間		使用機材	
	1	2	3	4	5	6	7	8
	1	安全衛生[学科]	2h	6h			実習用コンパネ下地	10組
		安全衛生[実習]	0h	8h			土	適宜
	2	左官基礎[学科]	0h	0h			砂	適宜
		左官基礎[実習]	40h	40h			すざ	適宜
	3	左官施工法[学科]	0h	2h			トロ舟(3人共用)	3台
		左官施工法[実習]	56h	246h			手鐐(3人共用)	3挺
	4	労働安全衛生法[学科]	0h	30h				
		労働安全衛生法[実習]	0h	26h				

カリキュラムシート 左官基礎

実施日 平成26年6月10日

時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	実習	【左官施工法】 チリ塗り・面先塗り 切付塗り 中塗り塗りつけ	4h	②	
午後	実習	【左官施工法】 塗り方鏡押さえ 壁落とし・片付け 下地シコキ塗り	4h	②	

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済		延べ時間		使用機材	
	1	2	3	4	5	6	7	8
	1	安全衛生[学科]	2h	6h			実習用コンパネ下地	10組
		安全衛生[実習]	0h	8h			土	適宜
	2	左官基礎[学科]	0h	0h			砂	適宜
		左官基礎[実習]	40h	40h			すざ	適宜
	3	左官施工法[学科]	0h	2h			トロ舟(3人共用)	3台
		左官施工法[実習]	64h	246h			手鐐(3人共用)	3挺
	4	労働安全衛生法[学科]	0h	30h				
		労働安全衛生法[実習]	0h	26h				

カリキュラムシート 左官基礎

実施日 平成26年6月11日

時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	実習	【左官施工法】 墨出し・墨打ち チリ塗り・面先塗り 切付中塗り	4h	②	
午後	実習	【左官施工法】 中塗り塗り方 木鏡仕上げ 墨出し・墨打ち	4h	②	

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済		延べ時間		使用機材	
	1	2	3	4	5	6	7	8
	1	安全衛生[学科]	2h	6h			実習用コンパネ下地	10組
		安全衛生[実習]	0h	8h			土	適宜
	2	左官基礎[学科]	0h	0h			砂	適宜
		左官基礎[実習]	40h	40h			すざ	適宜
	3	左官施工法[学科]	0h	2h			トロ舟(3人共用)	3台
		左官施工法[実習]	72h	246h			手鐐(3人共用)	3挺
	4	労働安全衛生法[学科]	0h	30h				
		労働安全衛生法[実習]	0h	26h				

カリキュラムシート 左官基礎

実施日 平成26年6月12日

時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	実習	【左官施工法】 チリ塗り 面先切り付け塗り 中塗り塗りつけ	4h	②	
午後	実習	【左官施工法】 鏡使い方・塗り方 壁落とし・片付け 下塗り	4h	②	

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済		延べ時間		使用機材	
	1	2	3	4	5	6	7	8
	1	安全衛生[学科]	2h	6h			実習用コンパネ下地	10組
		安全衛生[実習]	0h	8h			土	適宜
	2	左官基礎[学科]	0h	0h			砂	適宜
		左官基礎[実習]	40h	40h			すざ	適宜
	3	左官施工法[学科]	0h	2h			トロ舟(3人共用)	3台
		左官施工法[実習]	80h	246h			手鐐(3人共用)	3挺
	4	労働安全衛生法[学科]	0h	30h				
		労働安全衛生法[実習]	0h	26h				

カリキュラムシート 左官基礎

実施日 平成26年6月13日

時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	実習	【左官施工法】 壁シコキ塗り 墨出し・墨打ち チリ塗り・面先塗り	4h	②	
午後	実習	【左官施工法】 中塗り 墨打ち・チリ塗り 面先切り付け	4h	②	

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済		延べ時間		使用機材	
	1	2	3	4	5	6	7	8
	安全衛生[学科]		2h		6h		実習用コンパネ下地	10組
	安全衛生[実習]		0h		8h		土	適宜
	左官基礎[学科]		0h		0h		砂	適宜
	左官基礎[実習]		40h		40h		すざ	適宜
	左官施工法[学科]		0h		2h		トロ舟(3人共用)	3台
	左官施工法[実習]		88h		246h		手鐐(3人共用)	3挺
労働安全衛生法[学科]		0h		30h				
労働安全衛生法[実習]		0h		26h				

カリキュラムシート 左官基礎

実施日 平成26年6月14日

時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	実習	【左官施工法】 壁落とし・片付け 木鏝の使い方	4h	②	
午後	実習	【左官施工法】 中塗り 下塗りシコキ塗り 墨出し・墨打ち・チリ塗り	4h	②	

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済		延べ時間		使用機材	
	1	2	3	4	5	6	7	8
	安全衛生[学科]		2h		6h		実習用コンパネ下地	10組
	安全衛生[実習]		0h		8h		土	適宜
	左官基礎[学科]		0h		0h		砂	適宜
	左官基礎[実習]		40h		40h		すざ	適宜
	左官施工法[学科]		0h		2h		トロ舟(3人共用)	3台
	左官施工法[実習]		96h		246h		手鐐(3人共用)	3挺
労働安全衛生法[学科]		0h		30h				
労働安全衛生法[実習]		0h		26h				

カリキュラムシート 左官基礎

実施日 平成26年6月16日

時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	実習	【左官施工法】 3層枠組み足場組み立て	4h	⑦	
午後	実習	【左官施工法】 3層枠組み足場組み立て	2h	⑦	
午後	実習	【左官施工法】 3層枠組み足場解体	2h	⑦	

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済		延べ時間		使用機材	
	1	2	3	4	5	6	7	8
	安全衛生[学科]		2h		6h		枠組足場(3層)	1式
	安全衛生[実習]		0h		8h			
	左官基礎[学科]		0h		0h			
	左官基礎[実習]		40h		40h			
	左官施工法[学科]		0h		2h			
	左官施工法[実習]		104h		246h			
労働安全衛生法[学科]		0h		30h				
労働安全衛生法[実習]		0h		26h				

カリキュラムシート 左官基礎

実施日 平成26年6月17日

時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	実習	【左官施工法】 切付塗り・面先塗り 中塗り・中塗り木鏝仕上げ	4h	②	
午後	実習	【左官施工法】 中塗り 木鏝仕上げ 墨出し・墨打ち・チリ塗り	4h	②	

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済		延べ時間		使用機材	
	1	2	3	4	5	6	7	8
	安全衛生[学科]		2h		6h		実習用コンパネ下地	10組
	安全衛生[実習]		0h		8h		土	適宜
	左官基礎[学科]		0h		0h		砂	適宜
	左官基礎[実習]		40h		40h		すざ	適宜
	左官施工法[学科]		0h		2h		トロ舟(3人共用)	3台
	左官施工法[実習]		112h		246h		手鐐(3人共用)	3挺
労働安全衛生法[学科]		0h		30h				
労働安全衛生法[実習]		0h		26h				



カリキュラムシート 左官基礎

実施日 平成26年6月18日

時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	実習	【左官施工法】 チリ塗り切付塗り 中塗り木鏝仕上げ 壁落とし・片付け	4h	②	
午後	実習	【左官施工法】 下地シコキ塗り 墨打ちチリ塗り 面先塗り・切付塗り	4h	②	

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済		延べ時間		使用機材	
	1	2	0h	0h	6h	8h	10組	適宜
	安全衛生[学科]		2h		6h		10組	
	安全衛生[実習]		0h		8h		適宜	
	左官基礎[学科]		0h		0h		砂	適宜
	左官基礎[実習]		40h		40h		すざ	適宜
	左官施工法[学科]		0h		2h		トロ舟(3人共用)	3台
	左官施工法[実習]		120h		246h		手鏝(3人共用)	3挺
	労働安全衛生法[学科]		0h		30h			
	労働安全衛生法[実習]		0h		26h			

カリキュラムシート 左官基礎

実施日 平成26年6月19日

時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	実習	【左官施工法】 中塗り木鏝仕上げ 墨出し・墨打ち チリ塗り面先塗り	4h	②	
午後	実習	【左官施工法】 切付塗り 中塗り木鏝仕上げ 中塗り・面先仕上げ	4h	②	

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済		延べ時間		使用機材	
	1	2	0h	0h	6h	8h	10組	適宜
	安全衛生[学科]		2h		6h		10組	
	安全衛生[実習]		0h		8h		適宜	
	左官基礎[学科]		0h		0h		砂	適宜
	左官基礎[実習]		40h		40h		すざ	適宜
	左官施工法[学科]		0h		2h		トロ舟(3人共用)	3台
	左官施工法[実習]		128h		246h		手鏝(3人共用)	3挺
	労働安全衛生法[学科]		0h		30h			
	労働安全衛生法[実習]		0h		26h			

カリキュラムシート 左官基礎

実施日 平成26年6月20日

時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	実習	【左官施工法】 壁落とし・片付け 下地シコキ塗り 墨出し・墨打ち、チリ塗り	4h	②	
午後	実習	【左官施工法】 中塗り 木鏝なしめ仕上げ 墨出し・墨打ち	4h	②	

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済		延べ時間		使用機材	
	1	2	0h	0h	6h	8h	10組	適宜
	安全衛生[学科]		2h		6h		10組	
	安全衛生[実習]		0h		8h		適宜	
	左官基礎[学科]		0h		0h		砂	適宜
	左官基礎[実習]		40h		40h		すざ	適宜
	左官施工法[学科]		0h		2h		トロ舟(3人共用)	3台
	左官施工法[実習]		136h		246h		手鏝(3人共用)	3挺
	労働安全衛生法[学科]		0h		30h			
	労働安全衛生法[実習]		0h		26h			

カリキュラムシート 左官基礎

実施日 平成26年6月21日

時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	実習	【左官施工法】 チリ塗り面先塗り 切付塗り 中塗り墨打ち、チリ塗り切付塗り	4h	②	
午後	実習	【左官施工法】 中塗り 壁落とし・片付け 下塗り	4h	②	

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済		延べ時間		使用機材	
	1	2	0h	0h	6h	8h	10組	適宜
	安全衛生[学科]		2h		6h		10組	
	安全衛生[実習]		0h		8h		適宜	
	左官基礎[学科]		0h		0h		砂	適宜
	左官基礎[実習]		40h		40h		すざ	適宜
	左官施工法[学科]		0h		2h		トロ舟(3人共用)	3台
	左官施工法[実習]		144h		246h		手鏝(3人共用)	3挺
	労働安全衛生法[学科]		0h		30h			
	労働安全衛生法[実習]		0h		26h			

カリキュラムシート 左官基礎

実施日 平成26年6月23日

時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	実習	【左官施工法】養生について 墨出し・墨打ち 中塗り	4h	②	
午後	実習	【左官施工法】面先塗り、木縁仕上げ 墨出し・墨打ち 塗りつけ面先塗り	4h	②	

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済		延べ時間		使用機材	
	1	2	3	4	5	6	7	8
	安全衛生[学科]	2h	6h			実習用コンパネ下地	10組	
	安全衛生[実習]	0h	8h			土	適宜	
	左官基礎[学科]	0h	0h			砂	適宜	
	左官基礎[実習]	40h	40h			すざ	適宜	
	左官施工法[学科]	0h	2h			トロ舟(3人共用)	3台	
	左官施工法[実習]	152h	246h			手鐐(3人共用)	3挺	
	労働安全衛生法[学科]	0h	30h					
	労働安全衛生法[実習]	0h	26h					

カリキュラムシート 左官基礎

実施日 平成26年6月24日

時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	実習	【左官施工法】中塗り 木縁なしめ仕上げ	4h	②	
午後	実習	【左官施工法】面先・切付塗り 壁下地塗り 墨出し・墨打ち	4h	②	

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済		延べ時間		使用機材	
	1	2	3	4	5	6	7	8
	安全衛生[学科]	2h	6h			実習用コンパネ下地	10組	
	安全衛生[実習]	0h	8h			土	適宜	
	左官基礎[学科]	0h	0h			砂	適宜	
	左官基礎[実習]	40h	40h			すざ	適宜	
	左官施工法[学科]	0h	2h			トロ舟(3人共用)	3台	
	左官施工法[実習]	160h	246h			手鐐(3人共用)	3挺	
	労働安全衛生法[学科]	0h	30h					
	労働安全衛生法[実習]	0h	26h					

カリキュラムシート 左官基礎

実施日 平成26年6月25日

時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	実習	【左官施工法】泥だんご中塗り 泥だんご上塗り	4h	②	
午後	実習	【左官施工法】泥だんご上塗り 片付け	4h	②	

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済		延べ時間		使用機材	
	1	2	3	4	5	6	7	8
	安全衛生[学科]	2h	6h			石灰	適宜	
	安全衛生[実習]	0h	8h					
	左官基礎[学科]	0h	0h					
	左官基礎[実習]	40h	40h					
	左官施工法[学科]	0h	2h					
	左官施工法[実習]	168h	246h					
	労働安全衛生法[学科]	0h	30h					
	労働安全衛生法[実習]	0h	26h					

カリキュラムシート 左官基礎

実施日 平成26年6月26日

時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	実習	【左官施工法】墨出し養生 中塗り 塗り付け	4h	②	
午後	実習	【左官施工法】面先塗り木縁仕上げ テリ墨・墨打ち 塗り付け	4h	②	

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済		延べ時間		使用機材	
	1	2	3	4	5	6	7	8
	安全衛生[学科]	2h	6h			実習用コンパネ下地	10組	
	安全衛生[実習]	0h	8h			土	適宜	
	左官基礎[学科]	0h	0h			砂	適宜	
	左官基礎[実習]	40h	40h			すざ	適宜	
	左官施工法[学科]	0h	2h			トロ舟(3人共用)	3台	
	左官施工法[実習]	176h	246h			手鐐(3人共用)	3挺	
	労働安全衛生法[学科]	0h	30h					
	労働安全衛生法[実習]	0h	26h					

カリキュラムシート 左官基礎

実施日 平成26年6月27日

時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	実習	【左官施工法】 養生・中塗り	4h	②	
午後	実習	【左官施工法】 壁落とし キットバラシ 片付け	4h	②	

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済 延べ時間		使用機材	
	1	2	3	4	1	2
	安全衛生[学科]	2h	6h		実習用コンパネ下地	10組
	安全衛生[実習]	0h	8h		土	適宜
	左官基礎[学科]	0h	0h		砂	適宜
	左官基礎[実習]	40h	40h		すざ	適宜
	左官施工法[学科]	0h	2h		トロ舟(3人共用)	3台
	左官施工法[実習]	184h	246h		手鍬(3人共用)	3挺
	労働安全衛生法[学科]	0h	30h			
	労働安全衛生法[実習]	0h	26h			

カリキュラムシート 左官基礎

実施日 平成26年6月28日

時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	学科	【自由研削砥石取扱特別教育】 安全作業とは	1h	⑥	【グラインダ安全必携】 ・第1章 研削盤に関する基礎知識(P11-38) ・第2章 研削といしに関する基礎知識(P39-62)
午前	学科	【自由研削砥石取扱特別教育】 取り付け具等に関する知識	2h	⑥	【グラインダ安全必携】 ・第3章 研削といしの取り付け具に関する知識(P93-102) ・第4章 研削といしの覆い、保護具に関する知識(P103-114) ・第5章 研削油剤に関する基礎知識(P115-124)
午前	学科	【自由研削砥石取扱特別教育】 取り付け方法・試運転の方法	1h	⑥	【グラインダ安全必携】 ・第6章 研削といしの取付けと試運転の方法(P125-152)
午後	学科	【自由研削砥石取扱特別教育】 関係法令	1h	⑥	【グラインダ安全必携】 ・第7章 災害事例と関係法令(P153-238)
午後	実習	【自由研削砥石取扱特別教育】 実技実習	3h	⑥	

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済 延べ時間		使用機材	
	1	2	3	4	1	2
	安全衛生[学科]	2h	6h		講習用DVD	
	安全衛生[実習]	0h	8h		高速切断機	
	左官基礎[学科]	0h	0h			
	左官基礎[実習]	40h	40h			
	左官施工法[学科]	0h	2h			
	左官施工法[実習]	184h	246h			
	労働安全衛生法[学科]	5h	30h			
	労働安全衛生法[実習]	3h	26h			

カリキュラムシート 左官基礎

実施日 平成26年6月30日

時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	学科	【巻き上げ機取扱特別教育】 巻き上げ機に関する知識	4h	③	【ウインチ運転者必携】(P11-P81) ・第1章 ウインチの種類及び用途 ・第2章 ウインチの構造 ・第3章 ワイヤロープ等 ・第4章 ウインチの取扱 ・第5章 ウインチの運転に必要な力学
午後	実習	【巻き上げ機取扱特別教育】 荷掛及び合図	1h	③	
午後	実習	【巻き上げ機取扱特別教育】 巻き上げ機の運転	3h	③	

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済 延べ時間		使用機材	
	1	2	3	4	1	2
	安全衛生[学科]	2h	6h		ウインチ	
	安全衛生[実習]	0h	8h		プロジェクター	1台
	左官基礎[学科]	0h	0h			
	左官基礎[実習]	40h	40h			
	左官施工法[学科]	0h	2h			
	左官施工法[実習]	184h	246h			
	労働安全衛生法[学科]	9h	30h			
	労働安全衛生法[実習]	7h	26h			

カリキュラムシート 左官基礎

実施日 平成26年7月1日

時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	実習	【巻き上げ機取扱特別教育】 巻き上げ機の運転	4h	③	
午後	学科	【巻き上げ機取扱特別教育】 一般の事項に関する知識	2h	③	【ウインチ運転者必携】
午後	学科	【巻き上げ機取扱特別教育】 関係法令・復習	2h	③	【ウインチ運転者必携】(P83-P99) ・第6章 関係法令 ・第7章 災害事例

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済 延べ時間		使用機材	
	1	2	3	4	1	2
	安全衛生[学科]	2h	6h		ウインチ	
	安全衛生[実習]	0h	8h		プロジェクター	1台
	左官基礎[学科]	0h	0h			
	左官基礎[実習]	40h	40h			
	左官施工法[学科]	0h	2h			
	左官施工法[実習]	184h	246h			
	労働安全衛生法[学科]	13h	30h			
	労働安全衛生法[実習]	11h	26h			

カリキュラムシート 左官基礎

実施日		平成26年7月2日			
時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	学科	【低圧電気取扱特別教育】 低圧の電気に関する基礎知識	1h	⑤	【建設業における低圧電気取扱い作業の安全】 ・第1章(P.1-5) ・第2章(P.6-19)
午前	学科	【低圧電気取扱特別教育】 低圧の電気設備に関する基礎知識	2h	⑤	【建設業における低圧電気取扱い作業の安全】 ・第3章(P.20-46)
午前	学科	【低圧電気取扱特別教育】 低圧の電気に関する基礎知識	1h	⑤	【建設業における低圧電気取扱い作業の安全】 ・第1章(P.1-5) ・第2章(P.6-19) ・第3章(P.20-46)
午後	学科	【低圧電気取扱特別教育】 低圧用の安全作業用具に関する基礎知識	1h	⑤	【建設業における低圧電気取扱い作業の安全】 ・第4章(P.47-60)
午後	学科	【低圧電気取扱特別教育】 低圧の活線作業及び活線近接作業の方法	2h	⑤	【建設業における低圧電気取扱い作業の安全】 ・第5章(P.61-88)
午後	学科	【低圧電気取扱特別教育】 関係法令	1h	⑤	【建設業における低圧電気取扱い作業の安全】 ・第6章(P.87-100)

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済		延べ時間		使用機材	
	安全衛生[学科]	安全衛生[実習]	0h	2h	6h	8h	実習用分電盤	
1	左官基礎[学科]	左官基礎[実習]	0h	40h	0h	40h		
	左官施工法[学科]	左官施工法[実習]	0h	184h	0h	246h		
4	労働安全衛生法[学科]	労働安全衛生法[実習]	21h	11h	30h	26h		

カリキュラムシート 左官基礎

実施日		平成26年7月3日			
時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	実習	【低圧電気取扱特別教育】 ・接地抵抗測定 ・電圧電流漏れ電流測定 ・電動工具・絶縁抵抗測定 ・コードコネクタの結線	4h	⑤	【建設業における低圧電気取扱い作業の安全】
午後	実習	【低圧電気取扱特別教育】 ・ヒューズの交換作業 ・残留電荷の放電 ・モーター逆回転へ結線換え	3h	⑤	【建設業における低圧電気取扱い作業の安全】
午後	学科	【低圧電気取扱特別教育】 ・学科修了試験	1h	⑤	

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済		延べ時間		使用機材	
	安全衛生[学科]	安全衛生[実習]	2h	0h	6h	8h	実習用分電盤	キュービクル(施設内)
1	左官基礎[学科]	左官基礎[実習]	0h	40h	0h	40h		
	左官施工法[学科]	左官施工法[実習]	0h	184h	0h	246h		
4	労働安全衛生法[学科]	労働安全衛生法[実習]	22h	18h	30h	26h		

カリキュラムシート 左官基礎

実施日		平成26年7月4日			
時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	学科	【高所作業車運転特別教育】 高所作業車の種類・特徴・用語 選定条件(高さ・積載荷重等)	2h	④	【高所作業車運転者教本】 ・第1章 高所作業車に関する基礎知識(P.1-22)
午前	学科	【高所作業車運転特別教育】 作業装置、構造、取扱等	2h	④	【高所作業車運転者教本】 ・第2章 高所作業車の作業に関する装置の構造及び取扱い(P.23-90)
午後	学科	【高所作業車運転特別教育】 作業装置、構造、取扱等	1h	④	【高所作業車運転者教本】 ・第2章 高所作業車の作業に関する装置の構造及び取扱い(P.23-90)
午後	学科	【高所作業車運転特別教育】 原動機、力学、電気	2h	④	【高所作業車運転者教本】 ・第3章 原動機に関する知識(P.91-138) ・第4章 力学等と伝記の知識(P.139-162)
午後	学科	【高所作業車運転特別教育】 関係法令	1h	④	【高所作業車運転者教本】 ・第5章 関係法令(P.163-210)

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済		延べ時間		使用機材	
	安全衛生[学科]	安全衛生[実習]	0h	2h	6h	8h	パソコン	1台
1	左官基礎[学科]	左官基礎[実習]	0h	40h	0h	40h	プロジェクター	1台
	左官施工法[学科]	左官施工法[実習]	0h	184h	0h	246h		
4	労働安全衛生法[学科]	労働安全衛生法[実習]	30h	18h	30h	26h		

カリキュラムシート 左官基礎

実施日		平成26年7月5日			
時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	実習	【高所作業車運転特別教育】 作業のための装置の操作 基本操作	2h	①	
午前	実習	【高所作業車運転特別教育】 定められた方法による作業床の昇降 等	2h	①	
午後	実習	【高所作業車運転特別教育】 定められた方法による作業床の昇降 等	2.5h	①	
午後	実習	【高所作業車運転特別教育】 実技試験	1.5h	①	

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済		延べ時間		使用機材	
	安全衛生[学科]	安全衛生[実習]	2h	0h	6h	8h	高所作業車	2台
1	左官基礎[学科]	左官基礎[実習]	0h	40h	0h	40h		
	左官施工法[学科]	左官施工法[実習]	0h	184h	0h	246h		
4	労働安全衛生法[学科]	労働安全衛生法[実習]	30h	26h	30h	26h		

カリキュラムシート 左官基礎

実施日 平成26年7月7日

時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	実習	【左官施工法】 チリ養生 土間養生 平塗り	4h	②	
午後	実習	【左官施工法】 平中塗り チリ養生片付け	4h	②	

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済		延べ時間		使用機材	
	1	2	3	4	5	6	7	8
	安全衛生[学科]		2h		6h		実習用コンパネ下地	10組
	安全衛生[実習]		0h		8h		土	適宜
	左官基礎[学科]		0h		0h		砂	適宜
	左官基礎[実習]		40h		40h		すざ	適宜
	左官施工法[学科]		0h		2h		トロ舟(3人共用)	3台
	左官施工法[実習]		192h		246h		手鐐(3人共用)	3挺
	労働安全衛生法[学科]		30h		30h			
	労働安全衛生法[実習]		26h		26h			

カリキュラムシート 左官基礎

実施日 平成26年7月8日

時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	実習	【左官施工法】 養生(中塗り用) 塗り替えプラスター塗り シゴキ塗り	4h	②	
午後	実習	【左官施工法】 塗り替えプラスター塗り 中塗り仕上げ チリ塗り チリ押さえ仕上げ	4h	②	

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済		延べ時間		使用機材	
	1	2	3	4	5	6	7	8
	安全衛生[学科]		2h		6h		実習用コンパネ下地	10組
	安全衛生[実習]		0h		8h		土	適宜
	左官基礎[学科]		0h		0h		砂	適宜
	左官基礎[実習]		40h		40h		すざ	適宜
	左官施工法[学科]		0h		2h		トロ舟(3人共用)	3台
	左官施工法[実習]		200h		246h		手鐐(3人共用)	3挺
	労働安全衛生法[学科]		30h		30h			
	労働安全衛生法[実習]		26h		26h			

カリキュラムシート 左官基礎

実施日 平成26年7月9日

時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	実習	【左官施工法】 養生はがし補修 中塗り補修	2h	②	
午前	実習	【左官施工法】 焼石膏蛇腹引き	2h	②	
午後	実習	【左官施工法】 焼石膏蛇腹引き	4h	②	

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済		延べ時間		使用機材	
	1	2	3	4	5	6	7	8
	安全衛生[学科]		2h		6h		実習用コンパネ下地	10組
	安全衛生[実習]		0h		8h		土	適宜
	左官基礎[学科]		0h		0h		砂	適宜
	左官基礎[実習]		40h		40h		すざ	適宜
	左官施工法[学科]		0h		2h		トロ舟(3人共用)	3台
	左官施工法[実習]		208h		246h		手鐐(3人共用)	3挺
	労働安全衛生法[学科]		30h		30h		焼石膏	適宜
	労働安全衛生法[実習]		26h		26h			

カリキュラムシート 左官基礎

実施日 平成26年7月10日

時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	実習	【左官施工法】 小椽洗い出し(モルタル) 小椽塗り付け	4h	②	
午後	実習	【左官施工法】 フセコ塗り 洗い出し 焼石膏型抜き	4h	②	

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済		延べ時間		使用機材	
	1	2	3	4	5	6	7	8
	安全衛生[学科]		2h		6h		実習用コンパネ下地	10組
	安全衛生[実習]		0h		8h		土	適宜
	左官基礎[学科]		0h		0h		砂	適宜
	左官基礎[実習]		40h		40h		すざ	適宜
	左官施工法[学科]		0h		2h		トロ舟(3人共用)	3台
	左官施工法[実習]		216h		246h		手鐐(3人共用)	3挺
	労働安全衛生法[学科]		30h		30h			
	労働安全衛生法[実習]		26h		26h			

カリキュラムシート 左官基礎

実施日 平成26年7月11日

時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	実習	【安全衛生】 ・安全作業時の注意点 ・もちあみスラブ配筋(1回目) ・解体(1回目) ・もちあみスラブ配筋(2回目)	4h	⑦	
午後	実習	【安全衛生】 ・解体(2回目) ・現場での安全について	4h	⑦	

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済		延べ時間		使用機材	
	1	2	3	4	5	6	7	8
	安全衛生[学科]		2h		6h			
	安全衛生[実習]		8h		8h			
	左官材料[学科]		0h		0h			
	左官材料[実習]		40h		40h			
	左官施工法[学科]		0h		2h			
	左官施工法[実習]		216h		246h			
	労働安全衛生法[学科]		30h		30h			
	労働安全衛生法[実習]		26h		26h			

カリキュラムシート 左官基礎

実施日 平成26年7月12日

時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	実習	【左官施工法】	4h	②	
午後	実習	【左官施工法】	4h	②	

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済		延べ時間		使用機材	
	1	2	3	4	5	6	7	8
	安全衛生[学科]		2h		6h			
	安全衛生[実習]		8h		8h			
	左官材料[学科]		0h		0h			
	左官材料[実習]		40h		40h			
	左官施工法[学科]		0h		2h			
	左官施工法[実習]		224h		246h			
	労働安全衛生法[学科]		30h		30h			
	労働安全衛生法[実習]		26h		26h			

カリキュラムシート 左官基礎

実施日 平成26年7月14日

時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	実習	【左官施工法】 研ぎ出し台	2h	②	
午前	実習	【左官施工法】 養生・上塗り用	2h	②	
午後	実習	【左官施工法】 上塗り・こすり塗り 上塗り・小面塗り	2h	②	
午後	実習	【左官施工法】 聚楽下塗り 補修チリ切付	2h	②	

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済		延べ時間		使用機材	
	1	2	3	4	5	6	7	8
	安全衛生[学科]		2h		6h			
	安全衛生[実習]		8h		8h			
	左官基礎[学科]		0h		0h			
	左官基礎[実習]		40h		40h			
	左官施工法[学科]		0h		2h			
	左官施工法[実習]		232h		246h			
	労働安全衛生法[学科]		30h		30h			
	労働安全衛生法[実習]		26h		26h			

カリキュラムシート 左官基礎

実施日 平成26年7月15日

時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	実習	【左官施工法】 聚楽上塗り	4h	②	
午後	実習	【左官施工法】 養生はがし片付け 片付け だんご中塗り	4h	②	

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済		延べ時間		使用機材	
	1	2	3	4	5	6	7	8
	安全衛生[学科]		2h		6h			
	安全衛生[実習]		8h		8h			
	左官基礎[学科]		0h		0h			
	左官基礎[実習]		40h		40h			
	左官施工法[学科]		0h		2h			
	左官施工法[実習]		240h		246h			
	労働安全衛生法[学科]		30h		30h			
	労働安全衛生法[実習]		26h		26h			

カリキュラムシート 左官基礎

実施日 平成26年7月16日

時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	実習	【左官施工法】 聚楽上塗り	2h	②	
午前	学科	【左官施工法】 左官について(講話)	2h	②	
午後	実習	【左官施工法】 養生はがし片付け 片付け だんご中塗り	4h	②	

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済		延べ時間		使用機材	
	1	2	3	4	5	6	7	8
	1	安全衛生[学科]	2h	6h			10組	
		安全衛生[実習]	8h	8h			土	適宜
		左官基礎[学科]	0h	0h			砂	適宜
	2	左官基礎[実習]	40h	40h			すざ	適宜
		左官施工法[学科]	2h	2h			トロ舟(3人共用)	3台
	3	左官施工法[実習]	246h	246h			手鍬(3人共用)	3挺
		労働安全衛生法[学科]	30h	30h			石灰	適宜
	4	労働安全衛生法[実習]	26h	26h				

カリキュラムシート 左官基礎

実施日 平成26年7月17日

時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	学科	【安全衛生】 ・研修全体の復習、まとめ	4h	①	

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済		延べ時間		使用機材	
	1	2	3	4	5	6	7	8
	1	安全衛生[学科]	6h	6h				
		安全衛生[実習]	8h	8h				
		左官基礎[学科]	0h	0h				
	2	左官基礎[実習]	40h	40h				
		左官施工法[学科]	2h	2h				
	3	左官施工法[実習]	246h	246h				
		労働安全衛生法[学科]	30h	30h				
	4	労働安全衛生法[実習]	26h	26h				

躯体基礎 1/2

資料2-2

**躯体基礎 レベル1** 躯体基礎 概要 建築工事の概要、工具類の取扱い、測量の基礎、仮設工事、躯体工事、鉄筋コンクリート工事及び安全作業法の基本的な技能を修得させる。  
開催頻度: 1回/年 日数: 4.7日間 受講者人数: 15人 対象 初心者(実務経験0~3年)

科目	教科概要	時間	学 科				教 材	講師 番号
			実習	形式	教材	名称 (書籍名等、採用ページ) ※オリジナルの場合は講義内容を記載		
1	安全衛生 ①社会人の責任と義務 ②挨拶と集団行動 ③保護具 ④危険予知トレーニング ⑤教育訓練全体の復習、まとめ、等	14h	14h	オリジナル	a	入校のルール	(1)	
				原稿用紙	b	訓練感想文	(1)	
				書籍	c	赤十字救急法講習	(12)	
2	図面の見方 ①配置図 ②意匠図(平面・立面・断面・詳細図等) ③構造図(柱・梁・配筋・鉄骨・基礎図等) ④製図(演習)	48h	42h	オリジナル	d	実例図面(足場組立図、躯体図、梁伏図)	(2)	
			6h				(2)	
3	仮設工事 ①足場計画(特足場・標準足場・ローリング足場) ②足場の組み立て ③足場の組立・解体(実習)	40h	4h	オリジナル	e	労働安全衛生法 法令集抜粋	(3)	
			36h				(3,4)	
4	仮設・鉄骨工事 ①躯体工事計画(手順書作成) ②躯体工事器具 ③鉄骨組立・解体実習(鉄骨3階建て) ④つり足場	48h	10h	オリジナル	f	足場と鉄骨、昇降用設備	(3,4)	
			38h				(3,4)	
5	鉄筋工事 ①鉄筋コンクリート ②鉄筋の加工組み立て・解体実習	96h	25h	オリジナル	g	鉄筋工事、種類、重さと金額、施工上の注意、図面・数量	(10)	
			71h	オリジナル	h	二級技能士(鉄筋組立)実技試験用図面	(10)(1)	
6	測量 ①測量機器の取扱い ②水準測量(レベル実習)	24h	8h	オリジナル	i	測量機材取扱、レベルブック書き方、測量の進め方	(1)	
			16h				(1,5)	
7	型枠工事 ①材料・器具の取扱い ②加工図 ③組立方法	40h	10h	オリジナル	j	型枠材料と使用方法、実例図面(躯体図、施工図、加工図)	(9)	
			30h				(9)	
8	労働安全衛生法 ①玉掛け技能講習 ②小型移動式クレーン取扱い技能講習 ③高所作業車運転技能講習	24h	16h	書籍	l	玉掛け作業者必携	(8)	
			8h				(4,7)	
		24h	16h	書籍	k	小型移動式クレーンの運転	(6)	
			8h				(6,7)	
		16h	8h	書籍	m	高所作業車運転者教本	(6)	
			8h				(1,7)	
合計		374h	143h					
			231h					

修了資格 技能講習 ○玉掛け技能講習 ○小型移動式クレーン運転技能講習 ○高所作業車運転技能講習  
特別教育  
安全教育

教材リスト	教材	名称 (書籍名等、採用ページ) ※オリジナルの場合は講義内容を記載	形式	出版	価格(税込)	備考
a	入校のルール		オリジナル			
b	訓練感想文		原稿用紙			
c	赤十字救急法講習教本		書籍	日本赤十字社	514円	送料650円
d	実例図面(足場組立図、躯体図、梁伏図)		オリジナル			
e	労働安全衛生法 法令集抜粋		オリジナル			
f	足場と鉄骨、昇降用設備		オリジナル			
g	鉄筋工事、種類、重さと金額、施工上の注意、図面・数量		オリジナル			
h	二級技能士(鉄筋組立)実技試験用図面		オリジナル			
i	測量機材取扱、レベルブック書き方、測量の進め方		オリジナル			
j	型枠材料と使用方法、実例図面(躯体図、施工図、加工図)		オリジナル			
k	玉掛け作業者必携		書籍	日本クレーン協会	1,645円	
l	小型移動式クレーンの運転		書籍	日本クレーン協会	1,645円	
m	高所作業車運転者教本		書籍	建設業労働災害防止協会	1,850円	

躯体基礎		レベル1		躯体基礎		概要	
開催頻度: 1回/年		日数: 4.7日間		受講者人数: 15人		対象 初心者(実務経験0~3年)	
講師リスト		講師番号		職員/講師		資格・免許等(技能講習、特別教育等は省略)	
		(1)		職員		29 富士教育訓練センター	
		(2)					
		(3)					
		(4)					
		(5)					
		(6)					
		(7)		講師		75 富士教育訓練センター	
		(8)					
		(9)					
		(10)					
		(11)					
		(12)					
科目	教科概要	授業形式	使用材料・機材等	数量			
1 安全衛生	①社会人の責任と義務 ②挨拶と集団行動 ③保護具 ④危険予知トレーニング ⑤教育訓練全体の復習、まとめ等						
2 図面の見方	①配置図 ②意匠図(平面・立面・断面・詳細図等) ③構造図(柱・梁・配筋・鉄骨・基礎図等) ④製図(演習)	座学	製図台				
3 仮設工事	①足場計画(特足場・単管足場・ローリング足場) ②足場の組み立て図 ③足場の組立・解体(実習)	実習	枠組足場(6層×5スパン)	1式			
		実習	単管足場	1式			
		実習	つり足場	1式			
4 仮設・鉄骨工事	①躯体工事計画(手順書作成) ②躯体工事器具 ③鉄骨組立・解体実習(鉄骨3階建て) ④つり足場	実習	鉄骨実習用ユニット(実習場搬入置き)	1式			
		実習	枠組足場(6層×5スパン)	1式			
		実習	レッカー	1台			
		実習	測量器具(TS・三脚等)	3セット			
		実習	水平ネット	1式			
		実習	鉄筋実習用ユニット(スラブ・柱・梁・壁)	1式			
5 鉄筋工事	①鉄筋コンクリート ②鉄筋の加工組み立て・解体実習	実習	二級鉄筋技能士(鉄筋組立)実習用ユニット	7組			
		実習	1型増設鉄筋組立実習用ユニット	1台			
		実習	切断加工機	1台			
		実習	曲げ加工機	1台			
6 測量	①測量機器の取扱 ②水準測量(レベル実習)	実習	測量器具(TS・三脚等)	3セット			
7 型枠工事	①材料・器具の取扱い ②加工図 ③組立方法	実習	型枠工事実習用型枠(加工済)	1式			
		実習	単管パイプ・クランプ	1式			
		学科	プロジェクター・PC	1式			
8 労働安全衛生法	①玉掛けワイヤー取扱 ②小型移動式クレーン取扱 ③高所作業車取扱	実習	4tユニット	3台			
		実習	5t単クレーン	1台			
		学科	プロジェクター・PC	1式			
		実習	4カーゴクレーン	1台			
		学科	プロジェクター・PC	1式			
		実習	高所作業車	1台			
使用図面等	図面名等	数量	備考				
1	実例図面(足場組立図、躯体図、梁伏図)	1					
2	実例図面(躯体図、施工図、加工図)	1					
3							
4							
5							
6							
7							

カリキュラムシート 富士教育訓練センター【躯体基礎】 1/24

カリキュラムシート 躯体基礎					
実施日 平成26年6月2日					
時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午後	学科	【安全衛生】 授業内容、注意事項等説明 ガイダンス	2h	①	入社のしおり

カリキュラムシート 躯体基礎					
実施日 平成26年6月3日					
時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	学科	【玉掛け技能講習】 ・クレーン等の概要	2h	⑧	【玉掛け作業者必須】 ・1.クレーン等に関する知識(P11-P32)
午前・午後	学科	【玉掛け技能講習】 ・クレーン等の玉掛けに必要な力学	3h	⑧	【玉掛け作業者必須】 ・2.クレーン等の玉掛けに必要な力学に関する知識(P33-P67)
午後	学科	【玉掛け技能講習】 ・クレーン等の玉掛けの方法	3h	⑧	【玉掛け作業者必須】 ・3.玉掛け用具の選定及び取扱い(P68-119) ・4.玉掛けの方法及び合図の方法(P120-149) ・5.玉掛け実技の方法(P150-175)

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済 延べ時間		使用機材	
	実施済	延べ時間	実施済	延べ時間		
1	安全衛生[学科]	2h	0h	0h		
	安全衛生[実習]	0h	0h	0h		
2	図面の見方[学科]	0h	0h	0h		
	図面の見方[実習]	0h	0h	0h		
3	仮設工事[学科]	0h	0h	0h		
	仮設工事[実習]	0h	0h	0h		
4	仮設・鉄骨工事[学科]	0h	0h	0h		
	仮設・鉄骨工事[実習]	0h	0h	0h		
5	鉄筋工事[学科]	0h	0h	0h		
	鉄筋工事[実習]	0h	0h	0h		
6	測量[学科]	0h	0h	0h		
	測量[実習]	0h	0h	0h		
7	型枠工事[学科]	0h	0h	0h		
	型枠工事[実習]	0h	0h	0h		
8	労働安全衛生法[学科]	0h	0h	0h		
	労働安全衛生法[実習]	0h	0h	0h		

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済 延べ時間		使用機材	
	実施済	延べ時間	実施済	延べ時間		
1	安全衛生[学科]	2h	0h	0h	パソコン	1台
	安全衛生[実習]	0h	0h	0h	プロジェクター	1台
2	図面の見方[学科]	0h	0h	0h		
	図面の見方[実習]	0h	0h	0h		
3	仮設工事[学科]	0h	0h	0h		
	仮設工事[実習]	0h	0h	0h		
4	仮設・鉄骨工事[学科]	0h	0h	0h		
	仮設・鉄骨工事[実習]	0h	0h	0h		
5	鉄筋工事[学科]	0h	0h	0h		
	鉄筋工事[実習]	0h	0h	0h		
6	測量[学科]	0h	0h	0h		
	測量[実習]	0h	0h	0h		
7	型枠工事[学科]	0h	0h	0h		
	型枠工事[実習]	0h	0h	0h		
8	労働安全衛生法[学科]	8h	0h	0h		
	労働安全衛生法[実習]	0h	0h	0h		



カリキュラムシート 躯体基礎					
実施日	平成26年6月4日				
時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	学科	【玉掛け技能講習】 ・クレーン等の玉掛けの方法	4h	⑧	【玉掛け作業者必修】 ・3.玉掛け用具の選定及び取扱い(P68-119) ・4.玉掛けの方法及び合図の方法(P120-149) ・5.玉掛け実技の方法(P150-175)
午後	学科	【玉掛け技能講習】 ・関係法令 ・全般見直し、まとめ	2h	⑧	【玉掛け作業者必修】 ・6.関係法令(P176-P209)
午後	学科	【玉掛け技能講習】 ・修了試験	1h	⑧	
午後	実習	【玉掛け技能講習】 ・重量目測・玉掛け具選定試験	1h	⑧	

カリキュラムシート 躯体基礎					
実施日	平成26年6月5日				
時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	実習	【玉掛け技能講習】 ・玉掛けの基本作業・合図	4h	④⑦	
午後	実習	【玉掛け技能講習】 ・玉掛けの基本作業・合図	2.5h	④⑦	
午後	実習	【玉掛け技能講習】 ・実技修了試験	1.5h	④⑦	

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済		延べ時間		使用機材	
	1	2	3	4	5	6	7	8
	安全衛生[学科]	2h	0h				パソコン	1台
	安全衛生[実習]	0h	0h				プロジェクター	1台
	図面の見方[学科]	0h	0h					
	図面の見方[実習]	0h	0h					
	仮設工事[学科]	0h	0h					
	仮設工事[実習]	0h	0h					
	仮設・鉄骨工事[学科]	0h	0h					
	仮設・鉄骨工事[実習]	0h	0h					
	鉄筋工事[学科]	0h	0h					
	鉄筋工事[実習]	0h	0h					
	測量[学科]	0h	0h					
	測量[実習]	0h	0h					
	型枠工事[学科]	0h	0h					
	型枠工事[実習]	0h	0h					
	労働安全衛生法[学科]	15h	0h					
	労働安全衛生法[実習]	1h	0h					

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済		延べ時間		使用機材	
	1	2	3	4	5	6	7	8
	安全衛生[学科]	2h	0h				4tユニット	3台
	安全衛生[実習]	0h	0h				天井クレーン	1台
	図面の見方[学科]	0h	0h					
	図面の見方[実習]	0h	0h					
	仮設工事[学科]	0h	0h					
	仮設工事[実習]	0h	0h					
	仮設・鉄骨工事[学科]	0h	0h					
	仮設・鉄骨工事[実習]	0h	0h					
	鉄筋工事[学科]	0h	0h					
	鉄筋工事[実習]	0h	0h					
	測量[学科]	0h	0h					
	測量[実習]	0h	0h					
	型枠工事[学科]	0h	0h					
	型枠工事[実習]	0h	0h					
	労働安全衛生法[学科]	15h	0h					
	労働安全衛生法[実習]	9h	0h					

カリキュラムシート 躯体基礎					
実施日	平成26年6月6日				
時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	学科	【仮設工事】 ・足場の種類	2h	③④	
午前	学科	【仮設工事】 ・枠組足場の概要	4h	③④	
午後	実習	【仮設工事】 ・仮設実習	4h	③④	

カリキュラムシート 躯体基礎					
実施日	平成26年6月7日				
時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	実習	【仮設工事】 ・枠組足場説明	1h	③④	
午前・午後	実習	【仮設工事】 ・枠組足場組立(1層～4層)	4h	③④	
午後	実習	【仮設工事】 ・足場解体 ・片付け	3h	③④	

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済		延べ時間		使用機材	
	1	2	3	4	5	6	7	8
	安全衛生[学科]	2h	0h					
	安全衛生[実習]	0h	0h					
	図面の見方[学科]	0h	0h					
	図面の見方[実習]	0h	0h					
	仮設工事[学科]	4h	0h					
	仮設工事[実習]	4h	0h					
	仮設・鉄骨工事[学科]	0h	0h					
	仮設・鉄骨工事[実習]	0h	0h					
	鉄筋工事[学科]	0h	0h					
	鉄筋工事[実習]	0h	0h					
	測量[学科]	0h	0h					
	測量[実習]	0h	0h					
	型枠工事[学科]	0h	0h					
	型枠工事[実習]	0h	0h					
	労働安全衛生法[学科]	15h	0h					
	労働安全衛生法[実習]	9h	0h					

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済		延べ時間		使用機材	
	1	2	3	4	5	6	7	8
	安全衛生[学科]	2h	0h				枠組足場	1組
	安全衛生[実習]	0h	0h					
	図面の見方[学科]	0h	0h					
	図面の見方[実習]	0h	0h					
	仮設工事[学科]	4h	0h					
	仮設工事[実習]	12h	0h					
	仮設・鉄骨工事[学科]	0h	0h					
	仮設・鉄骨工事[実習]	0h	0h					
	鉄筋工事[学科]	0h	0h					
	鉄筋工事[実習]	0h	0h					
	測量[学科]	0h	0h					
	測量[実習]	0h	0h					
	型枠工事[学科]	0h	0h					
	型枠工事[実習]	0h	0h					
	労働安全衛生法[学科]	15h	0h					
	労働安全衛生法[実習]	9h	0h					

カリキュラムシート 躯体基礎					
実施日	平成26年6月9日				
時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	実習	【仮設工事】 ・枠組足場説明	1h	③④	
午前	実習	【仮設工事】 ・資材運搬	1h	③④	
午前・午後	実習	【仮設工事】 ・枠組足場組立(1層~6層)	6h	③④	

カリキュラムシート 躯体基礎					
実施日	平成26年6月10日				
時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	実習	【仮設工事】 ・枠組足場解体	4h	③④	
午後	実習	【仮設工事】 ・単管足場説明	1h	③④	
午後	実習	【仮設工事】 ・やぐら組立	1h	③④	
午後	実習	【仮設工事】 ・単管足場組立	2h	③④	

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済		使用機材
	実施済	延べ時間	実施済	延べ時間	
科目別 訓練時間	1	安全衛生[学科]	2h	0h	枠組足場 1組
		安全衛生[実習]	0h	0h	
	2	図面の見方[学科]	0h	0h	
		図面の見方[実習]	0h	0h	
	3	仮設工事[学科]	4h	0h	
		仮設工事[実習]	20h	0h	
	4	仮設・鉄骨工事[学科]	0h	0h	
		仮設・鉄骨工事[実習]	0h	0h	
		鉄筋工事[学科]	0h	0h	
	5	鉄筋工事[実習]	0h	0h	
		測量[学科]	0h	0h	
	6	測量[実習]	0h	0h	
		型枠工事[学科]	0h	0h	
	7	型枠工事[実習]	0h	0h	
		労働安全衛生法[学科]	15h	0h	
	8	労働安全衛生法[実習]	9h	0h	

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済		使用機材
	実施済	延べ時間	実施済	延べ時間	
科目別 訓練時間	1	安全衛生[学科]	2h	0h	枠組足場 1組 単管足場 1組
		安全衛生[実習]	0h	0h	
	2	図面の見方[学科]	0h	0h	
		図面の見方[実習]	0h	0h	
	3	仮設工事[学科]	4h	0h	
		仮設工事[実習]	28h	0h	
	4	仮設・鉄骨工事[学科]	0h	0h	
		仮設・鉄骨工事[実習]	0h	0h	
		鉄筋工事[学科]	0h	0h	
	5	鉄筋工事[実習]	0h	0h	
		測量[学科]	0h	0h	
	6	測量[実習]	0h	0h	
		型枠工事[学科]	0h	0h	
	7	型枠工事[実習]	0h	0h	
		労働安全衛生法[学科]	15h	0h	
	8	労働安全衛生法[実習]	9h	0h	

カリキュラムシート 躯体基礎					
実施日	平成26年6月11日				
時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	実習	【仮設工事】 ・つり足場概要	1h	③④	
午前	実習	【仮設工事】 ・単管足場解体	1h	③④	
午前・午後	実習	【仮設工事】 ・つり足場組立	4h	③④	
午後	実習	【仮設工事】 ・つり足場解体 ・片付け	2h	③④	

カリキュラムシート 躯体基礎					
実施日	平成26年6月12日				
時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	学科	【測量】 ・測量 ・水準測量	2h	①	
午前・午後	学科	【測量】 ・レベルブックの書き方 (器高式・昇高式・核算)	3h	①	
午後	学科	【測量】 ・角測量 ・ST計算 ・歩測	3h	①	

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済		使用機材
	実施済	延べ時間	実施済	延べ時間	
科目別 訓練時間	1	安全衛生[学科]	2h	0h	つり足場 1組 単管足場 1組
		安全衛生[実習]	0h	0h	
	2	図面の見方[学科]	0h	0h	
		図面の見方[実習]	0h	0h	
	3	仮設工事[学科]	4h	0h	
		仮設工事[実習]	36h	0h	
	4	仮設・鉄骨工事[学科]	0h	0h	
		仮設・鉄骨工事[実習]	0h	0h	
		鉄筋工事[学科]	0h	0h	
	5	鉄筋工事[実習]	0h	0h	
		測量[学科]	0h	0h	
	6	測量[実習]	0h	0h	
		型枠工事[学科]	0h	0h	
	7	型枠工事[実習]	0h	0h	
		労働安全衛生法[学科]	15h	0h	
	8	労働安全衛生法[実習]	9h	0h	

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済		使用機材
	実施済	延べ時間	実施済	延べ時間	
科目別 訓練時間	1	安全衛生[学科]	2h	0h	
		安全衛生[実習]	0h	0h	
	2	図面の見方[学科]	0h	0h	
		図面の見方[実習]	0h	0h	
	3	仮設工事[学科]	4h	0h	
		仮設工事[実習]	36h	0h	
	4	仮設・鉄骨工事[学科]	0h	0h	
		仮設・鉄骨工事[実習]	0h	0h	
		鉄筋工事[学科]	0h	0h	
	5	鉄筋工事[実習]	0h	0h	
		測量[学科]	8h	0h	
	6	測量[実習]	0h	0h	
		型枠工事[学科]	0h	0h	
	7	型枠工事[実習]	0h	0h	
		労働安全衛生法[学科]	15h	0h	
	8	労働安全衛生法[実習]	9h	0h	

カリキュラムシート 躯体基礎					
実施日	平成26年6月13日				
時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	実習	【測量】 ・レベルの据付 ・スタッフの読み方	2h	①	
午前・午後	実習	【測量】 ・BMの移設	3h	①	
午後	実習	【測量】 ・レベルの水平出し	3h	①	

カリキュラムシート 躯体基礎					
実施日	平成26年6月14日				
時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	実習	【測量】 ・TS(トータルステーション)の据付	4h	①	
午後	実習	【測量】 ・測角 ・測距	1h	①	
午後	実習	【測量】 ・測線の延長	1h	①	
午後	実習	【測量】 ・カネ振り	2h	①	

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済	延べ時間	使用機材	
	1	2				
	1	安全衛生[学科]	2h	0h	測量器具	3台
		安全衛生[実習]	0h	0h		
	2	図面の見方[学科]	0h	0h		
		図面の見方[実習]	0h	0h		
	3	仮設工事[学科]	4h	0h		
		仮設工事[実習]	36h	0h		
	4	仮設・鉄骨工事[学科]	0h	0h		
		仮設・鉄骨工事[実習]	0h	0h		
	5	鉄筋工事[学科]	0h	0h		
		鉄筋工事[実習]	0h	0h		
	6	測量[学科]	8h	0h		
		測量[実習]	8h	0h		
	7	型枠工事[学科]	0h	0h		
		型枠工事[実習]	0h	0h		
	8	労働安全衛生法[学科]	15h	0h		
		労働安全衛生法[実習]	9h	0h		

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済	延べ時間	使用機材	
	1	2				
	1	安全衛生[学科]	2h	0h	測量器具	3台
		安全衛生[実習]	0h	0h		
	2	図面の見方[学科]	0h	0h		
		図面の見方[実習]	0h	0h		
	3	仮設工事[学科]	4h	0h		
		仮設工事[実習]	36h	0h		
	4	仮設・鉄骨工事[学科]	0h	0h		
		仮設・鉄骨工事[実習]	0h	0h		
	5	鉄筋工事[学科]	0h	0h		
		鉄筋工事[実習]	0h	0h		
	6	測量[学科]	8h	0h		
		測量[実習]	16h	0h		
	7	型枠工事[学科]	0h	0h		
		型枠工事[実習]	0h	0h		
	8	労働安全衛生法[学科]	15h	0h		
		労働安全衛生法[実習]	9h	0h		

カリキュラムシート 躯体基礎					
実施日	平成26年6月16日				
時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	学科	【鉄筋工事】 ・鉄筋工事とは	2h	⑩	
午前	学科	【鉄筋工事】 ・鉄筋の種類	2h	⑩	
午後	学科	【鉄筋工事】 ・重さと金額	2h	⑩	
午後	学科	【鉄筋工事】 ・施工上の注意(かぶり・継ぎ手)	2h	⑩	

カリキュラムシート 躯体基礎					
実施日	平成26年6月17日				
時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	学科	【鉄筋工事】 ・施工上の注意(定着とは)	2h	⑩	
午前	学科	【鉄筋工事】 ・図面の見方	2h	⑩	
午後	学科	【鉄筋工事】 ・鉄筋の数量計算	3h	⑩	
午後	学科	【鉄筋工事】 ・鉄筋工事の金額	1h	⑩	

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済	延べ時間	使用機材	
	1	2				
	1	安全衛生[学科]	2h	0h		
		安全衛生[実習]	0h	0h		
	2	図面の見方[学科]	0h	0h		
		図面の見方[実習]	0h	0h		
	3	仮設工事[学科]	4h	0h		
		仮設工事[実習]	36h	0h		
	4	仮設・鉄骨工事[学科]	0h	0h		
		仮設・鉄骨工事[実習]	0h	0h		
	5	鉄筋工事[学科]	8h	0h		
		鉄筋工事[実習]	0h	0h		
	6	測量[学科]	8h	0h		
		測量[実習]	16h	0h		
	7	型枠工事[学科]	0h	0h		
		型枠工事[実習]	0h	0h		
	8	労働安全衛生法[学科]	15h	0h		
		労働安全衛生法[実習]	9h	0h		

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済	延べ時間	使用機材	
	1	2				
	1	安全衛生[学科]	2h	0h		
		安全衛生[実習]	0h	0h		
	2	図面の見方[学科]	0h	0h		
		図面の見方[実習]	0h	0h		
	3	仮設工事[学科]	4h	0h		
		仮設工事[実習]	36h	0h		
	4	仮設・鉄骨工事[学科]	0h	0h		
		仮設・鉄骨工事[実習]	0h	0h		
	5	鉄筋工事[学科]	16h	0h		
		鉄筋工事[実習]	0h	0h		
	6	測量[学科]	8h	0h		
		測量[実習]	16h	0h		
	7	型枠工事[学科]	0h	0h		
		型枠工事[実習]	0h	0h		
	8	労働安全衛生法[学科]	15h	0h		
		労働安全衛生法[実習]	9h	0h		

カリキュラムシート 躯体基礎					
実施日	平成26年6月18日				
時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	実習	【鉄筋工事】 ・遣出し手順 ・遣出し	2h	⑩	
午前	実習	【鉄筋工事】 ・結束の仕方 ・鉄筋運搬	2h	⑩	
午後	実習	【鉄筋工事】 ・ベース筋の組立	1h	⑩	
午後	実習	【鉄筋工事】 ・柱筋の組立	3h	⑩	

カリキュラムシート 躯体基礎					
実施日	平成26年6月19日				
時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	実習	【鉄筋工事】 ・梁筋の組立	4h	⑩	
午後	実習	【鉄筋工事】 ・鉄筋の加工方法	3h	⑩	
午後	実習	【鉄筋工事】 ・梁上ふかし筋組立	1h	⑩	

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済		使用機材
	1	2	延べ時間	延べ時間	
	1	安全衛生[学科]	2h	0h	鉄筋組立ユニット 1組
		安全衛生[実習]	0h	0h	
	2	図面の見方[学科]	0h	0h	
		図面の見方[実習]	0h	0h	
	3	仮設工事[学科]	4h	0h	
		仮設工事[実習]	36h	0h	
	4	仮設・鉄骨工事[学科]	0h	0h	
		仮設・鉄骨工事[実習]	0h	0h	
		鉄筋工事[学科]	16h	0h	
	5	鉄筋工事[実習]	8h	0h	
		測量[学科]	8h	0h	
	6	測量[実習]	16h	0h	
		型枠工事[学科]	0h	0h	
	7	型枠工事[実習]	0h	0h	
		労働安全衛生法[学科]	15h	0h	
	8	労働安全衛生法[実習]	9h	0h	

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済		使用機材
	1	2	延べ時間	延べ時間	
	1	安全衛生[学科]	2h	0h	鉄筋組立ユニット 1組 切断加工機 1台 曲げ加工機 1台
		安全衛生[実習]	0h	0h	
	2	図面の見方[学科]	0h	0h	
		図面の見方[実習]	0h	0h	
	3	仮設工事[学科]	4h	0h	
		仮設工事[実習]	36h	0h	
	4	仮設・鉄骨工事[学科]	0h	0h	
		仮設・鉄骨工事[実習]	0h	0h	
		鉄筋工事[学科]	16h	0h	
	5	鉄筋工事[実習]	16h	0h	
		測量[学科]	8h	0h	
	6	測量[実習]	16h	0h	
		型枠工事[学科]	0h	0h	
	7	型枠工事[実習]	0h	0h	
		労働安全衛生法[学科]	15h	0h	
	8	労働安全衛生法[実習]	9h	0h	

カリキュラムシート 躯体基礎					
実施日	平成26年6月20日				
時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	実習	【鉄筋工事】 ・壁垂し筋組立	2h	⑩	
午前	実習	【鉄筋工事】 ・開口部補強筋組立	2h	⑩	
午後	実習	【鉄筋工事】2級技能士課題 ※三人一組 ・ベース組立	2h	⑩	
午後	実習	【鉄筋工事】2級技能士課題 ※三人一組 ・柱組立	2h	⑩	

カリキュラムシート 躯体基礎					
実施日	平成26年6月21日				
時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	学科	【鉄筋工事】 ・小テスト	1h	⑩	
午前	実習	【鉄筋工事】2級技能士課題 ※三人一組 ・ベース筋組立 ・柱筋組立 ・方だすき、両だすき	3h	⑩	
午後	実習	【鉄筋工事】2級技能士課題 ※三人一組 ・柱筋組立	2h	⑩	
午後	実習	【鉄筋工事】2級技能士課題 ※三人一組 ・梁筋組立	2h	⑩	

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済		使用機材
	1	2	延べ時間	延べ時間	
	1	安全衛生[学科]	2h	0h	鉄筋組立ユニット 1組 二級技能士課題ユニット 3組
		安全衛生[実習]	0h	0h	
	2	図面の見方[学科]	0h	0h	
		図面の見方[実習]	0h	0h	
	3	仮設工事[学科]	4h	0h	
		仮設工事[実習]	36h	0h	
	4	仮設・鉄骨工事[学科]	0h	0h	
		仮設・鉄骨工事[実習]	0h	0h	
		鉄筋工事[学科]	16h	0h	
	5	鉄筋工事[実習]	24h	0h	
		測量[学科]	8h	0h	
	6	測量[実習]	16h	0h	
		型枠工事[学科]	0h	0h	
	7	型枠工事[実習]	0h	0h	
		労働安全衛生法[学科]	15h	0h	
	8	労働安全衛生法[実習]	9h	0h	

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済		使用機材
	1	2	延べ時間	延べ時間	
	1	安全衛生[学科]	2h	0h	二級技能士課題ユニット 3組
		安全衛生[実習]	0h	0h	
	2	図面の見方[学科]	0h	0h	
		図面の見方[実習]	0h	0h	
	3	仮設工事[学科]	4h	0h	
		仮設工事[実習]	36h	0h	
	4	仮設・鉄骨工事[学科]	0h	0h	
		仮設・鉄骨工事[実習]	0h	0h	
		鉄筋工事[学科]	17h	0h	
	5	鉄筋工事[実習]	31h	0h	
		測量[学科]	8h	0h	
	6	測量[実習]	16h	0h	
		型枠工事[学科]	0h	0h	
	7	型枠工事[実習]	0h	0h	
		労働安全衛生法[学科]	15h	0h	
	8	労働安全衛生法[実習]	9h	0h	

カリキュラムシート 躯体基礎					
実施日	平成26年6月23日				
時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	実習	【鉄筋工事】2級技能士課題 ※三人一組 ・実習教材解体	4h	⑩	
午後	学科	【鉄筋工事】 ・配筋、型枠、打設現場見学	1h	⑩	
午後	実習	【鉄筋工事】2級技能士課題 ・ベース筋組立演習	3h	⑩	

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済		延べ時間		使用機材	
	1	2	3	4	5	6	7	8
	安全衛生[学科]	2h	0h					二級技能士課題ユニット 3組
	安全衛生[実習]	0h	0h					
	図面の見方[学科]	0h	0h					
	図面の見方[実習]	0h	0h					
	仮設工事[学科]	4h	0h					
	仮設工事[実習]	36h	0h					
	仮設・鉄骨工事[学科]	0h	0h					
	仮設・鉄骨工事[実習]	0h	0h					
	鉄筋工事[学科]	18h	0h					
	鉄筋工事[実習]	39h	0h					
	測量[学科]	8h	0h					
	測量[実習]	16h	0h					
	型枠工事[学科]	0h	0h					
	型枠工事[実習]	0h	0h					
	労働安全衛生法[学科]	15h	0h					
	労働安全衛生法[実習]	9h	0h					

カリキュラムシート 躯体基礎					
実施日	平成26年6月24日				
時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	実習	【鉄筋工事】2級技能士課題 ・柱筋組立演習	4h	⑩	
午後	実習	【鉄筋工事】2級技能士課題 ・柱筋組立演習	4h	⑩	

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済		延べ時間		使用機材	
	1	2	3	4	5	6	7	8
	安全衛生[学科]	2h	0h					二級技能士課題ユニット 3組
	安全衛生[実習]	0h	0h					
	図面の見方[学科]	0h	0h					
	図面の見方[実習]	0h	0h					
	仮設工事[学科]	4h	0h					
	仮設工事[実習]	36h	0h					
	仮設・鉄骨工事[学科]	0h	0h					
	仮設・鉄骨工事[実習]	0h	0h					
	鉄筋工事[学科]	18h	0h					
	鉄筋工事[実習]	46h	0h					
	測量[学科]	8h	0h					
	測量[実習]	16h	0h					
	型枠工事[学科]	0h	0h					
	型枠工事[実習]	0h	0h					
	労働安全衛生法[学科]	15h	0h					
	労働安全衛生法[実習]	9h	0h					

カリキュラムシート 躯体基礎					
実施日	平成26年6月25日				
時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前・午後	実習	【鉄筋工事】2級技能士課題 ・梁筋組立演習	5h	⑩	
午後	実習	【鉄筋工事】2級技能士課題 ・ベース筋、柱筋組立テスト	3h	⑩	

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済		延べ時間		使用機材	
	1	2	3	4	5	6	7	8
	安全衛生[学科]	2h	0h					二級技能士課題ユニット 3組
	安全衛生[実習]	0h	0h					
	図面の見方[学科]	0h	0h					
	図面の見方[実習]	0h	0h					
	仮設工事[学科]	4h	0h					
	仮設工事[実習]	36h	0h					
	仮設・鉄骨工事[学科]	0h	0h					
	仮設・鉄骨工事[実習]	0h	0h					
	鉄筋工事[学科]	18h	0h					
	鉄筋工事[実習]	54h	0h					
	測量[学科]	8h	0h					
	測量[実習]	16h	0h					
	型枠工事[学科]	0h	0h					
	型枠工事[実習]	0h	0h					
	労働安全衛生法[学科]	15h	0h					
	労働安全衛生法[実習]	9h	0h					

カリキュラムシート 躯体基礎					
実施日	平成26年6月26日				
時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	学科	【鉄筋工事】 ・学科100問テスト	1h	⑩	
午前	学科	【鉄筋工事】 ・土不図面の見方 ・L型構架解説	2h	⑩	
午前	実習	【鉄筋工事】 ・量出し演習	1h	⑩	
午後	実習	【鉄筋工事】 ・底板配筋	2h	⑩	
午後	実習	【鉄筋工事】 ・壁部配筋	2h	⑩	

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済		延べ時間		使用機材	
	1	2	3	4	5	6	7	8
	安全衛生[学科]	2h	0h					L型構架鉄筋ユニット 1式
	安全衛生[実習]	0h	0h					
	図面の見方[学科]	0h	0h					
	図面の見方[実習]	0h	0h					
	仮設工事[学科]	4h	0h					
	仮設工事[実習]	36h	0h					
	仮設・鉄骨工事[学科]	0h	0h					
	仮設・鉄骨工事[実習]	0h	0h					
	鉄筋工事[学科]	21h	0h					
	鉄筋工事[実習]	59h	0h					
	測量[学科]	8h	0h					
	測量[実習]	16h	0h					
	型枠工事[学科]	0h	0h					
	型枠工事[実習]	0h	0h					
	労働安全衛生法[学科]	15h	0h					
	労働安全衛生法[実習]	9h	0h					

カリキュラムシート 躯体基礎					
実施日	平成26年6月27日				
時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	学科	【鉄筋工事】 ・土木鉄筋 数量拾い出し	3h	⑩	
午前・午後	実習	【鉄筋工事】 ・意匠、壁部鉄筋解体	2h	⑩	
午後	実習	【鉄筋工事】 ・L型擁壁組立	3h	⑩	

カリキュラムシート 躯体基礎					
実施日	平成26年6月28日				
時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	実習	【鉄筋工事】 ・L型擁壁組立	3h	⑩	
午前	実習	【鉄筋工事】 ・かぶり寸法確認演習	1h	⑩	
午後	実習	【鉄筋工事】 ・L型擁壁 配筋検査	1h	⑩	
午後	実習	【鉄筋工事】 ・解体	2h	⑩	
午後	学科	【鉄筋工事】 ・鉄筋工事まとめ	1h	⑩	

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済		延べ時間		使用機材		
	1	2	3	4	5	6	7	8	
	安全衛生[学科]	2h	0h					L型擁壁鉄筋ユニット	1式
	安全衛生[実習]	0h	0h						
	図面の見方[学科]	0h	0h						
	図面の見方[実習]	0h	0h						
	仮設工事[学科]	4h	0h						
	仮設工事[実習]	36h	0h						
	仮設・鉄骨工事[学科]	0h	0h						
	仮設・鉄骨工事[実習]	0h	0h						
	鉄筋工事[学科]	24h	0h						
	鉄筋工事[実習]	64h	0h						
	測量[学科]	8h	0h						
	測量[実習]	16h	0h						
	型枠工事[学科]	0h	0h						
	型枠工事[実習]	0h	0h						
	労働安全衛生法[学科]	15h	0h						
	労働安全衛生法[実習]	9h	0h						

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済		延べ時間		使用機材		
	1	2	3	4	5	6	7	8	
	安全衛生[学科]	2h	0h					L型擁壁鉄筋ユニット	1式
	安全衛生[実習]	0h	0h						
	図面の見方[学科]	0h	0h						
	図面の見方[実習]	0h	0h						
	仮設工事[学科]	4h	0h						
	仮設工事[実習]	36h	0h						
	仮設・鉄骨工事[学科]	0h	0h						
	仮設・鉄骨工事[実習]	0h	0h						
	鉄筋工事[学科]	25h	0h						
	鉄筋工事[実習]	71h	0h						
	測量[学科]	8h	0h						
	測量[実習]	16h	0h						
	型枠工事[学科]	0h	0h						
	型枠工事[実習]	0h	0h						
	労働安全衛生法[学科]	15h	0h						
	労働安全衛生法[実習]	9h	0h						

カリキュラムシート 躯体基礎					
実施日	平成26年6月30日				
時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	学科	【仮設・鉄骨工事】 ・枠組足場打ち合わせ	1h	③④	
午前・午後	実習	【仮設・鉄骨工事】 ・枠組足場組立(5スパン×6段)	6h	③④	
午後	実習	【仮設・鉄骨工事】 ・枠組足場まとめ ・片付け	1h	③④	

カリキュラムシート 躯体基礎					
実施日	平成26年7月1日				
時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	学科	【仮設・鉄骨工事】 ・鉄骨解体の解説	1h	③④	
午前・午後	実習	【仮設・鉄骨工事】 ・梁の解体	4h	③④	
午後	実習	【仮設・鉄骨工事】 ・柱の解体	1h	③④	
午後	実習	【仮設・鉄骨工事】 ・2節目柱建て方	2h	③④	

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済		延べ時間		使用機材		
	1	2	3	4	5	6	7	8	
	安全衛生[学科]	2h	0h					枠組足場	1式
	安全衛生[実習]	0h	0h					測量器具	
	図面の見方[学科]	0h	0h						
	図面の見方[実習]	0h	0h						
	仮設工事[学科]	4h	0h						
	仮設工事[実習]	36h	0h						
	仮設・鉄骨工事[学科]	1h	0h						
	仮設・鉄骨工事[実習]	7h	0h						
	鉄筋工事[学科]	25h	0h						
	鉄筋工事[実習]	71h	0h						
	測量[学科]	8h	0h						
	測量[実習]	16h	0h						
	型枠工事[学科]	0h	0h						
	型枠工事[実習]	0h	0h						
	労働安全衛生法[学科]	15h	0h						
	労働安全衛生法[実習]	9h	0h						

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済		延べ時間		使用機材		
	1	2	3	4	5	6	7	8	
	安全衛生[学科]	2h	0h					枠組足場	1式
	安全衛生[実習]	0h	0h					測量器具	
	図面の見方[学科]	0h	0h					鉄骨工事実習棟	
	図面の見方[実習]	0h	0h					レッカー	1台
	仮設工事[学科]	4h	0h						
	仮設工事[実習]	36h	0h						
	仮設・鉄骨工事[学科]	2h	0h						
	仮設・鉄骨工事[実習]	14h	0h						
	鉄筋工事[学科]	25h	0h						
	鉄筋工事[実習]	71h	0h						
	測量[学科]	8h	0h						
	測量[実習]	16h	0h						
	型枠工事[学科]	0h	0h						
	型枠工事[実習]	0h	0h						
	労働安全衛生法[学科]	15h	0h						
	労働安全衛生法[実習]	9h	0h						

カリキュラムシート 躯体基礎

実施日	平成26年7月2日				
時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	実習	【仮設・鉄骨工事】 ・柱建て方説明	1h	③④	
午前	実習	【仮設・鉄骨工事】 ・垂出し	1h	③④	
午前	実習	【仮設・鉄骨工事】 ・柱建て方	1h	③④	
午前・午後	実習	【仮設・鉄骨工事】 ・梁建て方	3h	③④	
午後	実習	【仮設・鉄骨工事】 ・水平ネット張り替え	1h	③④	
午後	実習	【仮設・鉄骨工事】 ・2節目柱建て方	1h	③④	

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済		延べ時間		使用機材	
	1	2	3	4	5	6	7	8
	1	安全衛生[学科]	2h	0h	枠組足場	1式		
		安全衛生[実習]	0h	0h	測量器具			
		図面の見方[学科]	0h	0h	鉄骨工事実習棟			
	2	図面の見方[実習]	0h	0h	レッカー	1台		
		仮設工事[学科]	4h	0h				
	3	仮設工事[実習]	36h	0h				
		仮設・鉄骨工事[学科]	2h	0h				
	4	仮設・鉄骨工事[実習]	22h	0h				
		鉄筋工事[学科]	25h	0h				
	5	鉄筋工事[実習]	71h	0h				
		測量[学科]	8h	0h				
	6	測量[実習]	16h	0h				
		型枠工事[学科]	0h	0h				
	7	型枠工事[実習]	0h	0h				
		労働安全衛生法[学科]	15h	0h				
	8	労働安全衛生法[実習]	9h	0h				

カリキュラムシート 躯体基礎

実施日	平成26年7月3日				
時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	実習	【仮設・鉄骨工事】 ・2節目柱建て方	2h	③④	
午前	実習	【仮設・鉄骨工事】 ・2節目梁建て方	2h	③④	
午後	実習	【仮設・鉄骨工事】 ・2節目解体	3h	③④	
午後	実習	【仮設・鉄骨工事】 ・ワイヤー復旧 ※レッカーでの実習	1h	③④	

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済		延べ時間		使用機材	
	1	2	3	4	5	6	7	8
	1	安全衛生[学科]	2h	0h	枠組足場	1式		
		安全衛生[実習]	0h	0h	測量器具			
		図面の見方[学科]	0h	0h	鉄骨工事実習棟			
	2	図面の見方[実習]	0h	0h	レッカー	1台		
		仮設工事[学科]	4h	0h				
	3	仮設工事[実習]	36h	0h				
		仮設・鉄骨工事[学科]	2h	0h				
	4	仮設・鉄骨工事[実習]	30h	0h				
		鉄筋工事[学科]	25h	0h				
	5	鉄筋工事[実習]	71h	0h				
		測量[学科]	8h	0h				
	6	測量[実習]	16h	0h				
		型枠工事[学科]	0h	0h				
	7	型枠工事[実習]	0h	0h				
		労働安全衛生法[学科]	15h	0h				
	8	労働安全衛生法[実習]	9h	0h				

カリキュラムシート 躯体基礎

実施日	平成26年7月4日				
時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	実習	【仮設・鉄骨工事】 ・ゆがみ直し説明、実習	2h	③④	
午前	実習	【仮設・鉄骨工事】 ・水平ネット、ワイヤー復旧	1h	③④	
午前・午後	実習	【仮設・鉄骨工事】 ・足場解体	3h	③④	
午後	実習	【仮設・鉄骨工事】 ・資材片付け	2h	③④	

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済		延べ時間		使用機材	
	1	2	3	4	5	6	7	8
	1	安全衛生[学科]	2h	0h	枠組足場	1式		
		安全衛生[実習]	0h	0h	測量器具			
		図面の見方[学科]	0h	0h	鉄骨工事実習棟			
	2	図面の見方[実習]	0h	0h				
		仮設工事[学科]	4h	0h				
	3	仮設工事[実習]	36h	0h				
		仮設・鉄骨工事[学科]	2h	0h				
	4	仮設・鉄骨工事[実習]	38h	0h				
		鉄筋工事[学科]	25h	0h				
	5	鉄筋工事[実習]	71h	0h				
		測量[学科]	8h	0h				
	6	測量[実習]	16h	0h				
		型枠工事[学科]	0h	0h				
	7	型枠工事[実習]	0h	0h				
		労働安全衛生法[学科]	15h	0h				
	8	労働安全衛生法[実習]	9h	0h				

カリキュラムシート 躯体基礎

実施日	平成26年7月5日				
時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	学科	【仮設・鉄骨工事】 ・鉄骨工事ビデオ学習	1h	③④	
午前	学科	【仮設・鉄骨工事】 ・教室片付け	3h	③④	
午後	学科	【仮設・鉄骨工事】 ・社会見学(実例見学)	4h	③④	

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済		延べ時間		使用機材	
	1	2	3	4	5	6	7	8
	1	安全衛生[学科]	2h	0h	鉄骨工事ビデオ	1式		
		安全衛生[実習]	0h	0h				
		図面の見方[学科]	0h	0h				
	2	図面の見方[実習]	0h	0h				
		仮設工事[学科]	4h	0h				
	3	仮設工事[実習]	36h	0h				
		仮設・鉄骨工事[学科]	10h	0h				
	4	仮設・鉄骨工事[実習]	38h	0h				
		鉄筋工事[学科]	25h	0h				
	5	鉄筋工事[実習]	71h	0h				
		測量[学科]	8h	0h				
	6	測量[実習]	16h	0h				
		型枠工事[学科]	0h	0h				
	7	型枠工事[実習]	0h	0h				
		労働安全衛生法[学科]	15h	0h				
	8	労働安全衛生法[実習]	9h	0h				

カリキュラムシート 躯体基礎					
実施日	平成26年7月7日				
時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	学科	【型枠工事】 ・型枠材料と使用法	2h	㊟	
午前	実習	【型枠工事】 ・資材運搬 ・釘打ちの練習	2h	㊟	
午後	実習	【型枠工事】 ・建て入れ用墨出し	2h	㊟	
午後	実習	【型枠工事】 ・土木型枠組立見学	1h	㊟	
午後	実習	【型枠工事】 ・実習用型枠 柱の組立	1h	㊟	

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済	延べ時間	使用機材	
	1	2				
	1	安全衛生[学科]	2h	0h	加工済型枠実習材	1式
		安全衛生[実習]	0h	0h		
		図面の見方[学科]	0h	0h		
	2	図面の見方[実習]	0h	0h		
		仮設工事[学科]	4h	0h		
	3	仮設工事[実習]	36h	0h		
		仮設・鉄骨工事[学科]	10h	0h		
	4	仮設・鉄骨工事[実習]	38h	0h		
		鉄筋工事[学科]	25h	0h		
	5	鉄筋工事[実習]	71h	0h		
		測量[学科]	8h	0h		
	6	測量[実習]	16h	0h		
		型枠工事[学科]	2h	0h		
	7	型枠工事[実習]	6h	0h		
	8	労働安全衛生法[学科]	15h	0h		
		労働安全衛生法[実習]	9h	0h		

カリキュラムシート 躯体基礎					
実施日	平成26年7月8日				
時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	実習	【型枠工事】 ・実習用型枠 梁・壁の組立	4h	㊟	
午前	実習	【型枠工事】 ・生コン打設見学	1h	㊟	
午後	実習	【型枠工事】 ・パイプ締め付け	2h	㊟	
午後	実習	【型枠工事】 ・実習用型枠 スラブ段取り	1h	㊟	

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済	延べ時間	使用機材	
	1	2				
	1	安全衛生[学科]	2h	0h	加工済型枠実習材	1式
		安全衛生[実習]	0h	0h		
		図面の見方[学科]	0h	0h		
	2	図面の見方[実習]	0h	0h		
		仮設工事[学科]	4h	0h		
	3	仮設工事[実習]	36h	0h		
		仮設・鉄骨工事[学科]	10h	0h		
	4	仮設・鉄骨工事[実習]	38h	0h		
		鉄筋工事[学科]	25h	0h		
	5	鉄筋工事[実習]	71h	0h		
		測量[学科]	8h	0h		
	6	測量[実習]	16h	0h		
		型枠工事[学科]	2h	0h		
	7	型枠工事[実習]	14h	0h		
	8	労働安全衛生法[学科]	15h	0h		
		労働安全衛生法[実習]	9h	0h		

カリキュラムシート 躯体基礎					
実施日	平成26年7月9日				
時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	実習	【型枠工事】 ・実習用型枠 スラブ張り	2h	㊟	
午前	実習	【型枠工事】 ・天井インサート スラブ取り付け	2h	㊟	
午後	実習	【型枠工事】 ・実習用型枠 角締め	1h	㊟	
午後	実習	【型枠工事】 ・実習用型枠 建て入れ直しの方法	1h	㊟	
午後	実習	【型枠工事】 ・実習用型枠 解体 ・清掃	2h	㊟	

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済	延べ時間	使用機材	
	1	2				
	1	安全衛生[学科]	2h	0h	加工済型枠実習材	1式
		安全衛生[実習]	0h	0h		
		図面の見方[学科]	0h	0h		
	2	図面の見方[実習]	0h	0h		
		仮設工事[学科]	4h	0h		
	3	仮設工事[実習]	36h	0h		
		仮設・鉄骨工事[学科]	10h	0h		
	4	仮設・鉄骨工事[実習]	38h	0h		
		鉄筋工事[学科]	25h	0h		
	5	鉄筋工事[実習]	71h	0h		
		測量[学科]	8h	0h		
	6	測量[実習]	16h	0h		
		型枠工事[学科]	2h	0h		
	7	型枠工事[実習]	22h	0h		
	8	労働安全衛生法[学科]	15h	0h		
		労働安全衛生法[実習]	9h	0h		

カリキュラムシート 躯体基礎					
実施日	平成26年7月10日				
時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	学科	【型枠工事】 ・施工図の見方	1h	㊟	
午前	学科	【型枠工事】 ・加工図の書き方	1h	㊟	
午前・午後	学科	【型枠工事】 ・加工図作成	6h	㊟	

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済	延べ時間	使用機材	
	1	2				
	1	安全衛生[学科]	2h	0h	加工済型枠実習材	1式
		安全衛生[実習]	0h	0h		
		図面の見方[学科]	0h	0h		
	2	図面の見方[実習]	0h	0h		
		仮設工事[学科]	4h	0h		
	3	仮設工事[実習]	36h	0h		
		仮設・鉄骨工事[学科]	10h	0h		
	4	仮設・鉄骨工事[実習]	38h	0h		
		鉄筋工事[学科]	25h	0h		
	5	鉄筋工事[実習]	71h	0h		
		測量[学科]	8h	0h		
	6	測量[実習]	16h	0h		
		型枠工事[学科]	10h	0h		
	7	型枠工事[実習]	22h	0h		
	8	労働安全衛生法[学科]	15h	0h		
		労働安全衛生法[実習]	9h	0h		



カリキュラムシート 躯体基礎					
実施日	平成26年7月11日				
時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	学科	【型枠工事】 ・躯体図(コンクリート及び型枠数量出し)	4h	②	
午後	学科	【型枠工事】 ・躯体図作成	4h	②	

カリキュラムシート 躯体基礎					
実施日	平成26年7月12日				
時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	学科	【安全衛生(応急救護)】 1) 救急員とは 2) 急病人の応急処置 3) けが人の応急処置	4h	⑩	【救急法講習】 ・第1章 ・第2章 ・第3章
午後	学科	【安全衛生(応急救護)】 4) 傷の手当て方法と実技 5) 骨折の手当て方法と実技 6) 災害時の救護法と実技 7) 傷病者の搬送方法と実技	4h	⑩	【救急法講習】 ・第4章 ・第5章 ・第6章 ・第7章

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済		使用機材
	実施済	延べ時間	実施済	延べ時間	
	1	安全衛生[学科]	2h	0h	
		安全衛生[実習]	0h	0h	
	2	図面の見方[学科]	0h	0h	
		図面の見方[実習]	0h	0h	
	3	仮設工事[学科]	4h	0h	
		仮設工事[実習]	36h	0h	
	4	仮設・鉄骨工事[学科]	10h	0h	
		仮設・鉄骨工事[実習]	38h	0h	
	5	鉄筋工事[学科]	25h	0h	
		鉄筋工事[実習]	71h	0h	
	6	測量[学科]	8h	0h	
		測量[実習]	16h	0h	
	7	型枠工事[学科]	18h	0h	
		型枠工事[実習]	22h	0h	
	8	労働安全衛生法[学科]	15h	0h	
		労働安全衛生法[実習]	9h	0h	

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済		使用機材
	実施済	延べ時間	実施済	延べ時間	
	1	安全衛生[学科]	10h	0h	
		安全衛生[実習]	0h	0h	
	2	図面の見方[学科]	0h	0h	
		図面の見方[実習]	0h	0h	
	3	仮設工事[学科]	4h	0h	
		仮設工事[実習]	36h	0h	
	4	仮設・鉄骨工事[学科]	10h	0h	
		仮設・鉄骨工事[実習]	38h	0h	
	5	鉄筋工事[学科]	25h	0h	
		鉄筋工事[実習]	71h	0h	
	6	測量[学科]	8h	0h	
		測量[実習]	16h	0h	
	7	型枠工事[学科]	18h	0h	
		型枠工事[実習]	22h	0h	
	8	労働安全衛生法[学科]	15h	0h	
		労働安全衛生法[実習]	9h	0h	

カリキュラムシート 躯体基礎					
実施日	平成26年7月14日				
時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前・午後	学科	【小型移動式クレーン運転技能講習】 ・小型移動式クレーンに関する知識	8h	⑥	【小型移動式クレーンの運転】 ・1.小型移動式クレーンに関する知識(P1-P135)

カリキュラムシート 躯体基礎					
実施日	平成26年7月15日				
時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	学科	【小型移動式クレーン運転技能講習】 ・原動機および電気に関する知識	4h	⑥	【小型移動式クレーンの運転】 ・2.原動機及び電気に関する知識(P136-P165)
午後	学科	【小型移動式クレーン運転技能講習】 ・関係法令 ・まとめ、復習	3h	⑥	【小型移動式クレーンの運転】 ・5.関係法令(P211-P241)
午後	学科	【小型移動式クレーン運転技能講習】 ・学科修了試験	1h	⑥	※玉掛け技能講習資格者のため、「小型移動式クレーンの運転のために必要な力学に関する知識」免除

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済		使用機材
	実施済	延べ時間	実施済	延べ時間	
	1	安全衛生[学科]	10h	0h	プロジェクター 1台
		安全衛生[実習]	0h	0h	
	2	図面の見方[学科]	0h	0h	
		図面の見方[実習]	0h	0h	
	3	仮設工事[学科]	4h	0h	
		仮設工事[実習]	36h	0h	
	4	仮設・鉄骨工事[学科]	10h	0h	
		仮設・鉄骨工事[実習]	38h	0h	
	5	鉄筋工事[学科]	25h	0h	
		鉄筋工事[実習]	71h	0h	
	6	測量[学科]	8h	0h	
		測量[実習]	16h	0h	
	7	型枠工事[学科]	18h	0h	
		型枠工事[実習]	22h	0h	
	8	労働安全衛生法[学科]	23h	0h	
		労働安全衛生法[実習]	9h	0h	

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済		使用機材
	実施済	延べ時間	実施済	延べ時間	
	1	安全衛生[学科]	10h	0h	プロジェクター 1台
		安全衛生[実習]	0h	0h	
	2	図面の見方[学科]	0h	0h	
		図面の見方[実習]	0h	0h	
	3	仮設工事[学科]	4h	0h	
		仮設工事[実習]	36h	0h	
	4	仮設・鉄骨工事[学科]	10h	0h	
		仮設・鉄骨工事[実習]	38h	0h	
	5	鉄筋工事[学科]	25h	0h	
		鉄筋工事[実習]	71h	0h	
	6	測量[学科]	8h	0h	
		測量[実習]	16h	0h	
	7	型枠工事[学科]	18h	0h	
		型枠工事[実習]	22h	0h	
	8	労働安全衛生法[学科]	31h	0h	
		労働安全衛生法[実習]	9h	0h	

カリキュラムシート 躯体基礎

実施日	平成26年7月16日				
時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	実習	【小型移動式クレーン運転技能講習】 ・小型移動式クレーンの運転	1h	⑥⑦	
午前	実習	【小型移動式クレーン運転技能講習】 ・基本操作・重量の確認	1h	⑥⑦	
午前	実習	【小型移動式クレーン運転技能講習】 ・荷のつり上げ	2h	⑥⑦	
午後	実習	【小型移動式クレーン運転技能講習】 ・定められた経路による運転	1h	⑥⑦	
午後	実習	【小型移動式クレーン運転技能講習】 ・荷の卸し	1h	⑥⑦	
午後	実習	【小型移動式クレーン運転技能講習】 ・実技修了試験	2h	⑥⑦	

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済		延べ時間		使用機材	
	1	2	3	4	5	6	7	8
	1	安全衛生[学科]	10h	0h	4tカーゴクレーン	1台		
		安全衛生[実習]	0h	0h				
	2	図面の見方[学科]	0h	0h				
		図面の見方[実習]	0h	0h				
	3	仮設工事[学科]	4h	0h				
		仮設工事[実習]	36h	0h				
	4	仮設・鉄骨工事[学科]	10h	0h				
		仮設・鉄骨工事[実習]	38h	0h				
	5	鉄筋工事[学科]	25h	0h				
		鉄筋工事[実習]	71h	0h				
	6	測量[学科]	8h	0h				
		測量[実習]	16h	0h				
	7	型枠工事[学科]	18h	0h				
		型枠工事[実習]	22h	0h				
	8	労働安全衛生法[学科]	31h	0h				
		労働安全衛生法[実習]	17h	0h				

カリキュラムシート 躯体基礎

実施日	平成26年7月17日				
時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	学科	【図面の見方】 ・枠組足場組立図の説明 ・枠組足場組立図の作成	4h	②	
午後	学科	【図面の見方】 ・枠組足場組立図の説明 ・枠組足場組立図の作成	4h	②	

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済		延べ時間		使用機材	
	1	2	3	4	5	6	7	8
	1	安全衛生[学科]	10h	0h			製図台	7台
		安全衛生[実習]	0h	0h				
	2	図面の見方[学科]	8h	0h				
		図面の見方[実習]	0h	0h				
	3	仮設工事[学科]	4h	0h				
		仮設工事[実習]	36h	0h				
	4	仮設・鉄骨工事[学科]	10h	0h				
		仮設・鉄骨工事[実習]	38h	0h				
	5	鉄筋工事[学科]	25h	0h				
		鉄筋工事[実習]	71h	0h				
	6	測量[学科]	8h	0h				
		測量[実習]	16h	0h				
	7	型枠工事[学科]	18h	0h				
		型枠工事[実習]	22h	0h				
	8	労働安全衛生法[学科]	31h	0h				
		労働安全衛生法[実習]	17h	0h				

カリキュラムシート 躯体基礎

実施日	平成26年7月18日				
時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	学科	【図面の見方】 ・枠組足場組立図の作成 ・使用部材の数量出し	4h	②	
午後	学科	【図面の見方】 ・枠組足場組立図の作成 ・使用部材の数量出し	4h	②	

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済		延べ時間		使用機材	
	1	2	3	4	5	6	7	8
	1	安全衛生[学科]	10h	0h	製図台	7台		
		安全衛生[実習]	0h	0h				
	2	図面の見方[学科]	16h	0h				
		図面の見方[実習]	0h	0h				
	3	仮設工事[学科]	4h	0h				
		仮設工事[実習]	36h	0h				
	4	仮設・鉄骨工事[学科]	10h	0h				
		仮設・鉄骨工事[実習]	38h	0h				
	5	鉄筋工事[学科]	25h	0h				
		鉄筋工事[実習]	71h	0h				
	6	測量[学科]	8h	0h				
		測量[実習]	16h	0h				
	7	型枠工事[学科]	18h	0h				
		型枠工事[実習]	22h	0h				
	8	労働安全衛生法[学科]	31h	0h				
		労働安全衛生法[実習]	17h	0h				

カリキュラムシート 躯体基礎

実施日	平成26年7月19日				
時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	学科	【図面の見方】 ・躯体図面 ・コンクリート、型枠、鉄筋の数量計算	4h	②	
午後	学科	【図面の見方】 ・躯体図面 ・コンクリート、型枠、鉄筋の数量計算	4h	②	

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済		延べ時間		使用機材	
	1	2	3	4	5	6	7	8
	1	安全衛生[学科]	10h	0h	製図台	7台		
		安全衛生[実習]	0h	0h				
	2	図面の見方[学科]	24h	0h				
		図面の見方[実習]	0h	0h				
	3	仮設工事[学科]	4h	0h				
		仮設工事[実習]	36h	0h				
	4	仮設・鉄骨工事[学科]	10h	0h				
		仮設・鉄骨工事[実習]	38h	0h				
	5	鉄筋工事[学科]	25h	0h				
		鉄筋工事[実習]	71h	0h				
	6	測量[学科]	8h	0h				
		測量[実習]	16h	0h				
	7	型枠工事[学科]	18h	0h				
		型枠工事[実習]	22h	0h				
	8	労働安全衛生法[学科]	31h	0h				
		労働安全衛生法[実習]	17h	0h				

カリキュラムシート 躯体基礎					
実施日	平成26年7月21日				
時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	学科	【図面の見方】 ・コンクリート躯体図の見方	2h	②	
午前・午後	学科	【図面の見方】 ・コンクリート躯体図の作成	6h	②	

カリキュラムシート 躯体基礎					
実施日	平成26年7月22日				
時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	学科	【図面の見方】 ・コンクリート基礎 ・躯体の地盤出し	2h	②	
午後	実習	【図面の見方】 ・コンクリート基礎 ・躯体の地盤出し	6h	②	

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済	延べ時間	使用機材	
	1	2				
	1	安全衛生[学科]	10h	0h	製図台	7台
		安全衛生[実習]	0h	0h		
	2	図面の見方[学科]	32h	0h		
		図面の見方[実習]	0h	0h		
	3	仮設工事[学科]	4h	0h		
		仮設工事[実習]	36h	0h		
	4	仮設・鉄骨工事[学科]	10h	0h		
		仮設・鉄骨工事[実習]	38h	0h		
		鉄筋工事[学科]	25h	0h		
	5	鉄筋工事[実習]	71h	0h		
	6	測量[学科]	8h	0h		
		測量[実習]	16h	0h		
	7	型枠工事[学科]	18h	0h		
		型枠工事[実習]	22h	0h		
	8	労働安全衛生法[学科]	31h	0h		
		労働安全衛生法[実習]	17h	0h		

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済	延べ時間	使用機材	
	1	2				
	1	安全衛生[学科]	10h	0h	製図台	7台
		安全衛生[実習]	0h	0h		
	2	図面の見方[学科]	34h	0h		
		図面の見方[実習]	6h	0h		
	3	仮設工事[学科]	4h	0h		
		仮設工事[実習]	36h	0h		
	4	仮設・鉄骨工事[学科]	10h	0h		
		仮設・鉄骨工事[実習]	38h	0h		
		鉄筋工事[学科]	25h	0h		
	5	鉄筋工事[実習]	71h	0h		
	6	測量[学科]	8h	0h		
		測量[実習]	16h	0h		
	7	型枠工事[学科]	18h	0h		
		型枠工事[実習]	22h	0h		
	8	労働安全衛生法[学科]	31h	0h		
		労働安全衛生法[実習]	17h	0h		

カリキュラムシート 躯体基礎					
実施日	平成26年7月23日				
時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	学科	【図面の見方】 ・コンクリート梁伏図の見方 ・コンクリート梁伏図の作成	4h	②	
午後	学科	【図面の見方】 ・型枠加工寸法だし	4h	②	

カリキュラムシート 躯体基礎					
実施日	平成26年7月24日				
時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	学科	【高所作業車運転特別教育】 高所作業車の種類・特徴・用語 選定条件(高さ、積載荷重等)	2h	⑥	【高所作業車運転者教本】 ・第1章 高所作業車に関する基礎知識(P.1-22)
午前	学科	【高所作業車運転特別教育】 作業装置、構造、取扱等	2h	⑥	【高所作業車運転者教本】 ・第2章 高所作業車の作業に関する装置の構造及び取扱い(P.23-90)
午後	学科	【高所作業車運転特別教育】 作業装置、構造、取扱等	1h	⑥	【高所作業車運転者教本】 ・第2章 高所作業車の作業に関する装置の構造及び取扱い(P.23-90)
午後	学科	【高所作業車運転特別教育】 原動機、力学、電気	2h	⑥	【高所作業車運転者教本】 ・第3章 原動機に関する知識(P.91-138) ・第4章 力学等と応用の知識(P.139-162)
午後	学科	【高所作業車運転特別教育】 関係法令	1h	⑥	【高所作業車運転者教本】 ・第5章 関係法令(P.163-210)

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済	延べ時間	使用機材	
	1	2				
	1	安全衛生[学科]	10h	0h	製図台	7台
		安全衛生[実習]	0h	0h		
	2	図面の見方[学科]	42h	0h		
		図面の見方[実習]	6h	0h		
	3	仮設工事[学科]	4h	0h		
		仮設工事[実習]	36h	0h		
	4	仮設・鉄骨工事[学科]	10h	0h		
		仮設・鉄骨工事[実習]	38h	0h		
		鉄筋工事[学科]	25h	0h		
	5	鉄筋工事[実習]	71h	0h		
	6	測量[学科]	8h	0h		
		測量[実習]	16h	0h		
	7	型枠工事[学科]	18h	0h		
		型枠工事[実習]	22h	0h		
	8	労働安全衛生法[学科]	31h	0h		
		労働安全衛生法[実習]	17h	0h		

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済	延べ時間	使用機材	
	1	2				
	1	安全衛生[学科]	10h	0h	プロジェクター	1台
		安全衛生[実習]	0h	0h		
	2	図面の見方[学科]	42h	0h		
		図面の見方[実習]	6h	0h		
	3	仮設工事[学科]	4h	0h		
		仮設工事[実習]	36h	0h		
	4	仮設・鉄骨工事[学科]	10h	0h		
		仮設・鉄骨工事[実習]	38h	0h		
		鉄筋工事[学科]	25h	0h		
	5	鉄筋工事[実習]	71h	0h		
	6	測量[学科]	8h	0h		
		測量[実習]	16h	0h		
	7	型枠工事[学科]	18h	0h		
		型枠工事[実習]	22h	0h		
	8	労働安全衛生法[学科]	39h	0h		
		労働安全衛生法[実習]	17h	0h		

カリキュラムシート 躯体基礎					
実施日	平成26年7月25日				
時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	実習	【高所作業車運転特別教育】 作業のための装置の操作 基本操作	2h	①⑦	
午前	実習	【高所作業車運転特別教育】 定められた方法による作業床の昇降 等	2h	①⑦	
午後	実習	【高所作業車運転特別教育】 定められた方法による作業床の昇降 等	2.5h	①⑦	
午後	実習	【高所作業車運転特別教育】 実技試験	1.5h	①⑦	

カリキュラムシート 躯体基礎					
実施日	平成26年7月26日				
時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	学科	【安全衛生】 ・研修全体の復習、まとめ	4h	①	

科目別 訓練時間	訓練科目			実施済		使用機材
	1	2	3	延べ時間	回数	
	1	安全衛生[学科]	10h	0h	高所作業車	1台
		安全衛生[実習]	0h	0h		
	2	図面の見方[学科]	42h	0h		
		図面の見方[実習]	6h	0h		
	3	仮設工事[学科]	4h	0h		
		仮設工事[実習]	36h	0h		
	4	仮設・鉄骨工事[学科]	10h	0h		
		仮設・鉄骨工事[実習]	38h	0h		
	5	鉄筋工事[学科]	25h	0h		
		鉄筋工事[実習]	71h	0h		
	6	測量[学科]	8h	0h		
		測量[実習]	16h	0h		
	7	型枠工事[学科]	18h	0h		
		型枠工事[実習]	22h	0h		
	8	労働安全衛生法[学科]	39h	0h		
		労働安全衛生法[実習]	25h	0h		

科目別 訓練時間	訓練科目			実施済		使用機材
	1	2	3	延べ時間	回数	
	1	安全衛生[学科]	14h	0h		
		安全衛生[実習]	0h	0h		
	2	図面の見方[学科]	42h	0h		
		図面の見方[実習]	6h	0h		
	3	仮設工事[学科]	4h	0h		
		仮設工事[実習]	36h	0h		
	4	仮設・鉄骨工事[学科]	10h	0h		
		仮設・鉄骨工事[実習]	38h	0h		
	5	鉄筋工事[学科]	25h	0h		
		鉄筋工事[実習]	71h	0h		
	6	測量[学科]	8h	0h		
		測量[実習]	16h	0h		
	7	型枠工事[学科]	18h	0h		
		型枠工事[実習]	22h	0h		
	8	労働安全衛生法[学科]	39h	0h		
		労働安全衛生法[実習]	25h	0h		

鉄筋基礎 1/2

資料2-3

**鉄筋工事 レベル1 鉄筋基礎** 概要 建設工事の概要、工具類の取扱、測量の基礎、仮設工事、型枠工事、鉄筋コンクリート工事の施工法及び安全作業についての基礎的・専門的技術の修得を目指す。

開催頻度：2回/年 日数：18日間 受講者人数：50人 対象 初心者(実務経験0~3年)

科目	教科概要	時間	学科				講師番号
			実習	形式	教材	名称(書籍名等、採用ページ) ※オリジナルの場合は講義内容を記載	
1	建設概論 ①建設一般概論 ②鉄筋コンクリート工事 ③型枠工事 他	4h	4h	オリジナル	a	鉄筋の重さ、定尺材、かぶり・継ぎ手・定着	(2)
2	安全衛生環境 ①KYK ②安全施工サイクル ③安全作業法 ④環境(産業廃棄物・騒音等)	22h	22h	オリジナル	b	入校のしおり(生活ルール、1日の流れ、服装、等)	(1)
				オリジナル	c	自己紹介・建設業界・お金の流れ・給与・資格等	(2)
				書籍	d	赤十字救急法講習教本	(5)
				原稿用紙	e	訓練感想文	(1)
3	鉄筋工事 ①各種器具・工具の取扱 ②鉄筋の加工・運搬・組立 ③鉄筋の継ぎ手方式	28h	28h	オリジナル	f	二級技能士(鉄筋組立)実技試験用図面	(2)(4)
5	労働安全衛生法 ①高所作業車取扱(作業床10m未満)[特別教育] ②アーク溶接取扱[特別教育] ③クレーン運転(固定式・5t未満)[特別教育] ④玉掛け技能講習	16h	8h	書籍	g	高所作業車運転者必携	(6)
				書籍	h	アーク溶接等作業の安全-特別教育用テキスト-	(5)(8)
				書籍	i	クレーン運転士教本	(5)
				書籍	j	玉掛け作業者必携	(3)
				書籍	j	玉掛け作業者必携	(7)(9)
合計		134h	77h				

修了資格	技能講習 ○玉掛け技能講習 特別教育 ○高所作業車運転特別教育(作業床10m未満) ○アーク溶接特別教育 ○クレーン取扱特別教育 安全教育
------	---

教材リスト	教材	名称(書籍名等、採用ページ)※オリジナルの場合は講義内容を記載	形式	出版社	価格(税込)	備考
a	鉄筋の重さ、定尺材、かぶり・継ぎ手・定着		オリジナル			
b	入校のしおり(生活ルール、1日の流れ、服装、訓練場の注意点等)		オリジナル			
c	自己紹介・建設業界・お金の流れ・給与・資格・鉄筋工事について		オリジナル			
d	赤十字救急法講習教本		書籍	日本赤十字社	514 円	送料650円
e	訓練感想文		原稿用紙			
f	乳級技能士(鉄筋組立)実技試験用図面		書籍	建設業労働災害防止協会	1,340 円	
g	高所作業車運転者必携		書籍	建設業労働災害防止協会	1,340 円	
h	アーク溶接等作業の安全-特別教育用テキスト-		書籍	中央労働災害防止協会	1,080 円	
i	クレーン運転士教本		書籍	日本クレーン協会	1,749 円	
j	玉掛け作業者必携		書籍	日本クレーン協会	1,645 円	
k						
l						

鉄筋工事		レベル1		鉄筋基礎		概要	
開催頻度:2回/年		日数:18日間		受講者人数:50人		対象 初心者(実務経験0~3年)	
講師リスト		講師番号		職員/講師		年齢	
		(1)		講師		38	
		(2)		講師			
		(3)		講師			
		(4)		講師			
		(5)		講師			
		(6)		講師			
		(7)		講師			
		(8)		講師			
		(9)		講師		75	
				富士教育訓練センター			
						職業訓練指導員(建設機械科)、2級建設機械施工技士(第1種)、クレーン・移動式クレーン運転士、他	
						資格・免許等(技能講習、特別教育等は省略)	

科目	教科概要	授業形式	使用材料・機材等	数量
1	建設概論 ①建設一般概論 ②鉄筋コンクリート工事 ③型枠工事 他			
2	安全衛生環境 ①KYK ②安全施工サイクル ③安全作業法 ④環境(産業廃棄物・騒音等)	学科	プロジェクター・PC	1式
3	鉄筋工事 ①各種器具・工具の取扱 ②鉄筋の加工・運搬・組立 ③鉄筋の継ぎ手方式	実習	二級鉄筋技能士(鉄筋組立)実習用ユニット	1式
5	労働安全衛生法 ①高所作業車取扱特別教育(作業床10m未満) ②アーク溶接取扱特別教育 ③クレーン取扱特別教育(固定式・5t未満) ④玉掛け技能講習	学科	プロジェクター・PC	1式
		実習	高所作業車	4台
		学科	プロジェクター・PC	1式
		実習	アーク溶接機・溶接棒	1式
		学科	プロジェクター・PC	1式
		学科	プロジェクター・PC	1式
		実習	カーゴクレーン(7~8人:1班)	5台

使用図面等	図面名等	数量	備考
1	二級技能士(鉄筋組立)実技試験用図面	1	
2			
3			
4			
5			
6			
7			

カリキュラムシート 富士教育訓練センター【鉄筋基礎】 1/9

カリキュラムシート 鉄筋基礎						
実施日	平成26年4月3日					
時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ	
午後	学科	【安全衛生】 受講コース・授業内容・取得資格について	2h	①		
科目別 訓練時間	訓練科目		実施済	延べ時間	使用機材	
	1	建設概論【学科】	0h	4h		
		建設概論【実習】	0h	0h		
	2	安全衛生環境【学科】	2h	22h		
		安全衛生環境【実習】	0h	0h		
3	鉄筋工事【学科】	0h	0h			
	鉄筋工事【実習】	0h	28h			
4	労働安全衛生法【学科】	0h	51h			
	労働安全衛生法【実習】	0h	29h			

カリキュラムシート 鉄筋基礎						
実施日	平成26年4月4日					
時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ	
午前	学科	【安全衛生(社会人研修)】 自己紹介	1h	②		
午前	学科	【安全衛生(社会人研修)】 建設業界について	2h	②		
午前	学科	【安全衛生(社会人研修)】 建設業界のお金の流れ	1h	②		
午後	学科	【安全衛生(社会人研修)】 給料・資格について	2h	②		
午後	学科	【安全衛生(社会人研修)】 鉄筋工事とは	2h	②		
科目別 訓練時間	訓練科目		実施済	延べ時間	使用機材	
	1	建設概論【学科】	0h	4h		
		建設概論【実習】	0h	0h		
	2	安全衛生環境【学科】	10h	22h		
		安全衛生環境【実習】	0h	0h		
3	鉄筋工事【学科】	0h	0h			
	鉄筋工事【実習】	0h	28h			
4	労働安全衛生法【学科】	0h	51h			
	労働安全衛生法【実習】	0h	29h			

カリキュラムシート 鉄筋基礎

実施日	平成26年4月6日				
時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	学科	【安全衛生(応急救護)】 1)救急員とは 2)急病人の応急処置 3)けが人の応急処置	4h	⑤	【救急法講習】 ・第1章 ・第2章 ・第3章
午後	学科	【安全衛生(応急救護)】 4)傷の手当て方法と実技 5)骨折の手当て方法と実技 6)災害時の救護法と実技 7)傷病者の搬送方法と実技	4h	⑤	【救急法講習】 ・第4章 ・第5章 ・第6章 ・第7章

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済		延べ時間		使用機材	
	1	2	0h	4h	0h	4h	プロジェクター	1台
	建設概論[学科]		0h	4h				
	建設概論[実習]		0h	0h				
	安全衛生環境[学科]		18h	22h				
	安全衛生環境[実習]		0h	0h				
	鉄筋工事[学科]		0h	0h				
	鉄筋工事[実習]		0h	28h				
	労働安全衛生法[学科]		0h	51h				
	労働安全衛生法[実習]		0h	29h				

カリキュラムシート 鉄筋基礎

実施日	平成26年4月7日				
時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	学科	【労働安全衛生法(クレーン運転特別教育)】 ・クレーンに関する知識	3h	③	【クレーン運転士教本】 ・1. クレーンに関する知識(P1-P68) ・2. クレーンの取扱い(P69-P95)
午前	学科	【労働安全衛生法(クレーン運転特別教育)】 ・原動機・電気に関する知識	1h	③	【クレーン運転士教本】 ・3. 原動機及び電気に関する知識(P96-P136)
午後	学科	【労働安全衛生法(クレーン運転特別教育)】 ・原動機・電気に関する知識	2h	③	【クレーン運転士教本】 ・3. 原動機及び電気に関する知識(P96-P136)
午後	学科	【労働安全衛生法(クレーン運転特別教育)】 ・運転のための力学	2h	③	【クレーン運転士教本】 ・4. クレーンの運転のために必要な力学に関する知識(P137-P173)

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済		延べ時間		使用機材	
	1	2	0h	4h	0h	4h	プロジェクター	1台
	建設概論[学科]		0h	4h				
	建設概論[実習]		0h	0h				
	安全衛生環境[学科]		18h	22h				
	安全衛生環境[実習]		0h	0h				
	鉄筋工事[学科]		0h	0h				
	鉄筋工事[実習]		0h	28h				
	労働安全衛生法[学科]		8h	51h				
	労働安全衛生法[実習]		0h	29h				

カリキュラムシート 鉄筋基礎

実施日	平成26年4月8日				
時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	学科	【労働安全衛生法(クレーン運転特別教育)】 ・運転のための力学	1h	③	【クレーン運転士教本】 ・4. クレーンの運転のために必要な力学に関する知識(P137-P173)
午前	学科	【労働安全衛生法(クレーン運転特別教育)】 ・関係法令	1h	③	
午前	学科	【労働安全衛生法(クレーン運転特別教育)】 ・学科試験	1h	③	
午前・午後	学科	【労働安全衛生法(クレーン運転特別教育)】 ・復習、合図	2h	③	【クレーン運転士教本】 ・5. 合図の方法(P174-P180)
午後	実習	【労働安全衛生法(クレーン運転特別教育)】 ・合図	1h	⑨	
午後	実習	【労働安全衛生法(クレーン運転特別教育)】 ・合図・クレーンの運転	2h	⑦⑨	

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済		延べ時間		使用機材	
	1	2	0h	4h	0h	4h	プロジェクター	1台
	建設概論[学科]		0h	4h				
	建設概論[実習]		0h	0h				
	安全衛生環境[学科]		18h	22h				
	安全衛生環境[実習]		0h	0h				
	鉄筋工事[学科]		0h	0h				
	鉄筋工事[実習]		0h	28h				
	労働安全衛生法[学科]		13h	51h				
	労働安全衛生法[実習]		3h	29h				

カリキュラムシート 鉄筋基礎

実施日	平成27年4月9日				
時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	学科	【労働安全衛生法(玉掛け技能講習)】 ・クレーン等の知識	1h	⑦	【玉掛け作業者必携】 ・1. クレーン等に関する知識(P1-P32)
午前	学科	【労働安全衛生法(玉掛け技能講習)】 ・クレーン等の玉掛けに必要な力学の知識	3h	⑦	【玉掛け作業者必携】 ・2. クレーン等の玉掛けに必要な力学に関する知識(P33-P67)
午後	学科	【労働安全衛生法(玉掛け技能講習)】 ・クレーン等の玉掛けの方法	4h	⑦	【玉掛け作業者必携】 ・3. 玉掛け用具の選定及び取扱い(P68-119) ・4. 玉掛けの方法及び合図の方法(P120-149) ・5. 玉掛け実技の方法(P150-175)

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済		延べ時間		使用機材	
	1	2	0h	4h	0h	4h	プロジェクター	1台
	建設概論[学科]		0h	4h				
	建設概論[実習]		0h	0h				
	安全衛生環境[学科]		18h	22h				
	安全衛生環境[実習]		0h	0h				
	鉄筋工事[学科]		0h	0h				
	鉄筋工事[実習]		0h	28h				
	労働安全衛生法[学科]		21h	51h				
	労働安全衛生法[実習]		3h	29h				

カリキュラムシート 鉄筋基礎

実施日		平成26年4月10日				
時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ	
午前	学科	【労働安全衛生法(玉掛け技能講習)】 ・クレーン等の玉掛けの方法	4h	⑦	【玉掛け作業必須】 ・3.玉掛け用具の選定及び取扱い(P68-119) ・4.玉掛けの方法及び合図の方法(P120-149) ・5.玉掛け実技の方法(P150-175)	
午後	学科	【労働安全衛生法(玉掛け技能講習)】 ・関係法令	2h	⑦	【玉掛け作業必須】 ・6.関係法令	
午後	学科	【労働安全衛生法(玉掛け技能講習)】 ・学科試験	1h	⑦		
午後	学科	【労働安全衛生法(玉掛け技能講習)】 ・質量目測 ・用具の選定	1h	⑦		

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済		延べ時間		使用機材	
	1	2	0h	4h	0h	4h	プロジェクター	1台
	建設概論[学科]	建設概論[実習]	0h	4h	0h	0h		
	安全衛生環境[学科]	安全衛生環境[実習]	18h	22h	0h	0h		
	鉄筋工事[学科]	鉄筋工事[実習]	0h	0h	0h	28h		
	労働安全衛生法[学科]	労働安全衛生法[実習]	29h	51h	3h	29h		

カリキュラムシート 鉄筋基礎

実施日		平成26年4月11日				
時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ	
午前	実習	【鉄筋工事実習】 ・鉄筋工具及び安全具の使用法	1h	④		
午前	実習	【鉄筋工事実習】 ・ベース筋の配筋	1h	④		
午前	実習	【鉄筋工事実習】 ・材料の担ぎ方 ・材料の取扱方	2h	④		
午後	学科	【建築概論】 ・鉄筋の重さと定尺材 ・かぶり・継ぎ手・定着とは	4h	②		

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済		延べ時間		使用機材	
	1	2	4h	4h	0h	0h	二級技能士課題ユニット	10組
	建設概論[学科]	建設概論[実習]	4h	4h	0h	0h		
	安全衛生環境[学科]	安全衛生環境[実習]	18h	22h	0h	0h		
	鉄筋工事[学科]	鉄筋工事[実習]	0h	0h	4h	28h		
	労働安全衛生法[学科]	労働安全衛生法[実習]	29h	51h	3h	29h		

カリキュラムシート 鉄筋基礎

実施日		平成26年4月12日				
時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ	
午前	実習	【鉄筋工事実習】 ・梁筋の組立(重ね継手・両たすき)	4h	②④		
午後	実習	【鉄筋工事実習】 ・ベース筋の組み立て	1h	②④		
午後	実習	【鉄筋工事実習】 ・柱筋の組み立て	3h	②④		

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済		延べ時間		使用機材	
	1	2	4h	4h	12h	28h	二級技能士実習用ユニット	10組
	建設概論[学科]	建設概論[実習]	4h	4h	0h	0h		
	安全衛生環境[学科]	安全衛生環境[実習]	18h	22h	0h	0h		
	鉄筋工事[学科]	鉄筋工事[実習]	0h	0h	12h	28h		
	労働安全衛生法[学科]	労働安全衛生法[実習]	29h	51h	3h	29h		

カリキュラムシート 鉄筋基礎

実施日		平成26年4月13日				
時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ	
午前	実習	【労働安全衛生法(玉掛け技能講習)】 ・クレーン等の玉掛けの方法	4h	⑤⑨		
午後	実習	【労働安全衛生法(玉掛け技能講習)】 ・クレーン等の玉掛けの方法	2h	⑤⑨		
午後	実習	【労働安全衛生法(玉掛け技能講習)】 ・運転のための合図	2h	⑤⑨		

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済		延べ時間		使用機材	
	1	2	4h	4h	11h	29h	カーゴクレーン	5台
	建設概論[学科]	建設概論[実習]	4h	4h	0h	0h		
	安全衛生環境[学科]	安全衛生環境[実習]	18h	22h	0h	0h		
	鉄筋工事[学科]	鉄筋工事[実習]	0h	0h	12h	28h		
	労働安全衛生法[学科]	労働安全衛生法[実習]	29h	51h	11h	29h		

カリキュラムシート 鉄筋基礎

実施日		平成26年4月14日				
時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ	
午前	学科	【労働安全衛生法(高所作業車運転特別教育)】 ・装置の構造及び取扱の方法に関する知識	4h	⑥	【高所作業車運転者教本】 ・第1章(P.1-22) ・第2章(P.23-90)	
午後	学科	【労働安全衛生法(高所作業車運転特別教育)】 ・原動機に関する知識 ・運転に必要な一般的事項	2h	⑥	【高所作業車運転者教本】 ・第3章(P.91-130) ・第4章(P.139-162)	
午後	学科	【労働安全衛生法(高所作業車運転特別教育)】 ・関係法令	1h	⑥	【高所作業車運転者教本】 ・第5章(P.163-210)	
午後	学科	【労働安全衛生法(高所作業車運転特別教育)】 ・学科試験	1h	⑥		

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済		延べ時間		使用機材	
	1	2	4h	4h	0h	0h	1台	1台
	建設概論[学科]						PC	1台
	建設概論[実習]		0h	0h			プロジェクター	1台
	安全衛生環境[学科]		18h	22h				
	安全衛生環境[実習]		0h	0h				
	鉄筋工事[学科]		0h	0h				
	鉄筋工事[実習]		12h	28h				
	労働安全衛生法[学科]		37h	51h				
	労働安全衛生法[実習]		11h	29h				

カリキュラムシート 鉄筋基礎

実施日		平成26年4月15日				
時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ	
午前	実習	【労働安全衛生法】 ・玉掛け・クレーン総復習	4h	⑨		
午後	実習	【労働安全衛生法(高所作業車運転特別教育)】 ・高所作業車の作業のための装置の操作	1h	⑨		
午後	実習	【労働安全衛生法(高所作業車運転特別教育)】 ・定められた方法による基本操作	1h	⑨		
午後	実習	【労働安全衛生法(高所作業車運転特別教育)】 ・作業床の昇降等	2h	⑨		

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済		延べ時間		使用機材	
	1	2	4h	4h	0h	0h	高所作業車	4台
	建設概論[学科]							
	建設概論[実習]		0h	0h				
	安全衛生環境[学科]		18h	22h				
	安全衛生環境[実習]		0h	0h				
	鉄筋工事[学科]		0h	0h				
	鉄筋工事[実習]		12h	28h				
	労働安全衛生法[学科]		37h	51h				
	労働安全衛生法[実習]		19h	29h				

カリキュラムシート 鉄筋基礎

実施日		平成26年4月17日				
時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ	
午前	学科	【労働安全衛生法(アーク溶接取扱)】 ・溶接に関する知識	1h	⑤	【アーク溶接等作業の安全】 ・第1編 アーク溶接等に関する知識	
午前・午後	学科	【労働安全衛生法(アーク溶接取扱)】 ・装置に関する知識	4h	⑤	【アーク溶接等作業の安全】 ・第2編 アーク溶接装置に関する知識	
午後	学科	【労働安全衛生法(アーク溶接取扱)】 ・溶接作業方法に関する知識	3h	⑤	【アーク溶接等作業の安全】 ・第3編 アーク溶接等の作業方法に関する知識	

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済		延べ時間		使用機材	
	1	2	4h	4h	0h	0h	1台	1台
	建設概論[学科]						PC	1台
	建設概論[実習]		0h	0h			プロジェクター	1台
	安全衛生環境[学科]		18h	22h				
	安全衛生環境[実習]		0h	0h				
	鉄筋工事[学科]		0h	0h				
	鉄筋工事[実習]		12h	28h				
	労働安全衛生法[学科]		45h	51h				
	労働安全衛生法[実習]		19h	29h				

カリキュラムシート 鉄筋基礎

実施日		平成26年4月18日				
時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ	
午前	学科	【労働安全衛生法(アーク溶接取扱)】 ・溶接作業方法に関する知識	4h	⑤	【アーク溶接等作業の安全】 ・第3編 アーク溶接等の作業方法に関する知識	
午後	実習	【労働安全衛生法(アーク溶接取扱)】 ・溶接作業方法に関する知識	2h	⑤	【アーク溶接等作業の安全】 ・第4編 関係法令	
午後	学科	【労働安全衛生法(アーク溶接取扱)】 ・関係法令	1h	⑧		
午後	学科	【労働安全衛生法(アーク溶接取扱)】 ・学科試験	1h	⑧		

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済		延べ時間		使用機材	
	1	2	4h	4h	0h	0h	1台	1台
	建設概論[学科]						PC	1台
	建設概論[実習]		0h	0h			プロジェクター	1台
	安全衛生環境[学科]		18h	22h			アーク溶接機	
	安全衛生環境[実習]		0h	0h			溶接棒	
	鉄筋工事[学科]		0h	0h				
	鉄筋工事[実習]		12h	28h				
	労働安全衛生法[学科]		51h	51h				
	労働安全衛生法[実習]		21h	29h				



カリキュラムシート 鉄筋基礎

実施日	平成26年4月20日				
時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前・午後	実習	【労働安全衛生法(アーク溶接取扱)】 ・アーク溶接作業の方法	7h	㊟	
午後	実習	【労働安全衛生法(アーク溶接取扱)】 ・作品製作	1h	㊟	

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済		延べ時間		使用機材	
	1	2	4h	4h	0h	0h	アーケ溶接機	
	建設概論[学科]		4h	4h			溶接棒	
	建設概論[実習]		0h	0h				
	安全衛生環境[学科]		18h	22h				
	安全衛生環境[実習]		0h	0h				
	鉄筋工事[学科]		0h	0h				
	鉄筋工事[実習]		12h	28h				
	労働安全衛生法[学科]		51h	51h				
	労働安全衛生法[実習]		29h	29h				

カリキュラムシート 鉄筋基礎

実施日	平成26年4月21日				
時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	実習	【鉄筋工事実習】 ・2級技能実技組立演習	4h	㊟④	
午後	実習	【鉄筋工事実習】 ・2級技能実技組立演習	4h	㊟④	

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済		延べ時間		使用機材	
	1	2	4h	4h	0h	0h	二級技能士課題ユニット	10組
	建設概論[学科]		4h	4h				
	建設概論[実習]		0h	0h				
	安全衛生環境[学科]		18h	22h				
	安全衛生環境[実習]		0h	0h				
	鉄筋工事[学科]		0h	0h				
	鉄筋工事[実習]		20h	28h				
	労働安全衛生法[学科]		51h	51h				
	労働安全衛生法[実習]		29h	29h				

カリキュラムシート 鉄筋基礎

実施日	平成26年4月22日				
時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	実習	【鉄筋工事実習】 ・ベース、柱組立演習	4h	㊟④	
午後	実習	【鉄筋工事実習】 ・ベース、柱配筋テスト	4h	㊟④	

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済		延べ時間		使用機材	
	1	2	4h	4h	0h	0h	鉄筋組立演習ユニット	10組
	建設概論[学科]		4h	4h				
	建設概論[実習]		0h	0h				
	安全衛生環境[学科]		18h	22h				
	安全衛生環境[実習]		0h	0h				
	鉄筋工事[学科]		0h	0h				
	鉄筋工事[実習]		28h	28h				
	労働安全衛生法[学科]		51h	51h				
	労働安全衛生法[実習]		29h	29h				

カリキュラムシート 鉄筋基礎

実施日	平成26年4月23日				
時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	座学	【安全衛生環境】 ・研修全体復習・まとめ	4h	㊟①	

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済		延べ時間		使用機材	
	1	2	4h	4h	0h	0h		
	建設概論[学科]		4h	4h				
	建設概論[実習]		0h	0h				
	安全衛生環境[学科]		22h	22h				
	安全衛生環境[実習]		0h	0h				
	鉄筋工事[学科]		0h	0h				
	鉄筋工事[実習]		28h	28h				
	労働安全衛生法[学科]		51h	51h				
	労働安全衛生法[実習]		29h	29h				

建設基礎多能工(1) 1/4

建設基礎多能工(1)		レベル1	建設基礎多能工(1)	概要	建設工事に携わる技能者を対象に、とび施工、仮設施工、鉄筋施工、鉄骨施工、鋼製下地施工、ボード張り施工を学び、且つ関連作業の資格を取得させ、安全作業、作業間調整を行い、他業種との連携が出来る多能工として現場実務に携わる人材を育成する。			
開催頻度:1回/年		日数:46日間	受講者数:4人	定員	15名	対象	初心者(実務経験0~1年)	
科目	教科概要	時間	学科 実習	教材			講師 番号	
				形式	教材	名称(書籍名等、採用ページ)		
1	安全衛生 ①社会人の責任と義務 ②挨拶と集団行動 ③教育訓練全体の復習、まとめ、等	46h	46h	オリジナル	a	入校のしおり(生活ルール、1日の流れ、服装等)	①	
				原稿用紙	b	訓練感想文	①	
				オリジナル	c	社会人研修用テキスト	②③④⑤	
2	建築概論 ①工事の種類と工法 ②施工計画	8h	8h	書籍	d	建物できるまで図鑑 RC造・鉄骨造	③	
				書籍	e	建物できるまで図鑑 木造住宅	③	
3	建築構造設計 ①設計図書 ②建築用語 ③建築構造	8h	8h	書籍	e	建物できるまで図鑑 木造住宅	③	
4	建築施工法 ①建築工事工程 ②施工計画 ③資材の名称と用途	32h	32h	書籍	e	建物できるまで図鑑 木造住宅	③	
5	測量 ①概要 ②水準測量 ③多角測量	24h	5h				⑭⑮	
6	仮設・鉄骨工事 ①足場の種類 ②労働安全衛生規則 ③足場実習 ④鉄骨建て方	40h	40h	8h	参考)	足場の組立等工事の作業指針に準ずる	⑭⑮⑯	
				32h			⑭⑮⑯	
7	鋼製下地・ボード ①鋼製下地の材料 ②ボードの種類と用途 ③内装実習	48h	48h		参考)	内装仕上工事ガイドブックの内容に準ずる	⑯	
8	クロス・長尺シート ①クロスの種類と用途 ②クロス張り実習 ③長尺シート張り等実習	24h	24h		参考)	内装仕上工事ガイドブックの内容に準ずる	⑧⑨	
9	鉄筋工事実習 ①加工機の取扱 ②運搬方法 ③配筋実習	48h	48h	ビデオ	f	地図に残る仕事・世界に誇る技術・誰にでも分かる鉄筋	⑰	
				カタログ	g	鉄筋資材メーカーカタログ		
				資料	h	鉄筋鋼棒の表示マーク		
				39h				
10	労働安全衛生法 ①小型移動式クレーン運転技能講習 ②玉掛け技能講習 ③低圧電気取扱[特別教育] ④自由研削砥石取扱[特別教育] ⑤携帯用丸のこ盤作業[安全教育]	24h	24h	16h	書籍	i	小型移動式クレーンの運転	⑱
				8h				⑲
				16h	書籍	j	玉掛け作業者必携	⑲
				8h				⑲⑳
				9h	書籍	k	建設業における低圧電気取扱作業の安全	㉑
				7h				㉑
				5h	書籍	l	グラインダ安全必携	㉒
				3h				㉒
5h	書籍	m	建設業における丸鋸等取扱作業の安全	㉓				
3h				㉓				
合計		358h	167h 191h					

修了資格	技能講習	○小型移動式クレーン ○玉掛け
	特別教育	○低圧電気取扱 ○自由研削砥石
	安全教育	○携帯用丸のこ盤作業

建設基礎多能工(1) 2/4

建設基礎多能工(1)		レベル1	建設基礎多能工(1)	概要	建設工事に携わる技能者を対象に、とび施工、仮設施工、鉄筋施工、鉄骨施工、鋼製下地施工、ボード張り施工を学び、且つ関連作業の資格を取得させ、安全作業、作業間調整を行い、他業種との連携が出来る多能工として現場実務に携わる人材を育成する。			
開催頻度:1回/年		日数:46日間	受講者数:4人	定員	15名	対象	初心者(実務経験0~1年)	
教材リスト	教材	名称(書籍名等、採用ページ)			形式	出版社	価格(税込)	備考
	a	入校のしおり(生活ルール、1日の流れ、服装等)			オリジナル			
	b	訓練感想文			原稿用紙			
	c	社会人研修用テキスト			オリジナル			
	d	建物出来るまで図鑑 RC造・鉄骨造			書籍	株式会社エクナレッジ	1,944円	
	e	建物出来るまで図鑑 木造住宅			書籍	株式会社エクナレッジ	1,944円	
	f	地図に残る仕事・世界に誇る技術・誰にでも分かる鉄筋工事			ビデオ	東京都鉄筋業協同組合		
	g	鉄筋資材メーカーカタログ			カタログ			
	h	鉄筋鋼棒の表示マーク			資料	普通鋼電炉工業会		
	i	小型移動式クレーンの運転			書籍	日本クレーン協会	1,645円	
	j	玉掛け作業者必携			書籍	日本クレーン協会	1,645円	
	k	建設業における低圧電気取扱作業の安全			書籍	建設業労働災害防止協会	1,030円	
	l	グラインダ安全必携			書籍	中央労働災害防止協会	1,188円	
	m	建設業における丸鋸等取扱作業の安全			書籍	建設業労働災害防止協会	1,030円	
	参考	足場の組立等工事の作業指針 作業主任者技能講習テキスト			書籍	建設業労働災害防止協会	1,650円	
	参考	内装仕上工事ガイドブック			書籍	一般社団法人 全国建設室内工業業協会	5,000円	非会員価格(会員価格¥3,000-)
	講師リスト	講師番号	職員/講師	年齢	所属・職種・前職等	資格・免許等(技能講習、特別教育等は省略)		
①		講師						
②		講師						
③		講師						
④		講師						
⑤		講師						
⑥		講師						
⑦		講師						
⑧		講師						
⑨		講師						
⑩		講師						
⑪		講師						
⑫		講師						
⑬		講師						
⑭		講師						
⑮		講師						
⑯		講師						
⑰		講師						
⑱		講師						
⑲		講師						
⑳		講師						
㉑	講師							

建設基礎多能工(1)		レベル1	建設基礎多能工(1)	概要	建設工事に携わる技能者を対象に、とび施工、仮設施工、鉄筋施工、鉄骨施工、鋼製下地施工、ボード張り施工を学び、且つ関連作業の資格を取得させ、安全作業、作業間調整を行い、他業種との連携が出来る多能工として現場実務に携わる人材を育成する。	
開催頻度:1回/年		日数:46日間	受講者数:4人	定員	15名	対象 初心者(実務経験0~1年)
科目	教科概要		授業形式	使用材料・機材等		
1	安全衛生	①社会人の責任と義務 ②挨拶と集団行動 ③教育訓練全体の復習、まとめ、等				
2	建築概論	①工事の種類と工法 ②施工計画				
3	建築構造設計	①設計図書 ②建築用語 ③建築構造				
4	建築施工法	①建築工事工程 ②施工計画 ③資材の名称と用途	鉄筋・型枠用教材(実習場内にて組立済みの鉄筋・型枠の実物)	1式		
5	測量	①概要 ②水準測量 ③多角測量	学科・実習	コンクリート材料	1式	
			実習	トランシット、レベル、三脚、バカボーン、プリズムポール	1式	
6	仮設・鉄骨工事	①足場の種類 ②労働安全衛生規則 ③足場実習 ④鉄骨建て方	実習	スチールテープ巻き尺、水糸、水杭・水貫	1式	
			学科・実習	実習用枠組足場(6スパン5段+控え足場)	1式	
7	鋼製下地・ボード	①鋼製下地の材料 ②ボードの種類と用途 ③内装実習	実習	鉄骨工事実習用ユニット	1基	
			実習	レッカー	1台	
8	クロス・長尺シート	①クロスの種類と用途 ②クロス張り実習 ③長尺シート張り等実習	実習	高所ネット、安全ネット	1式	
			実習	内装工事実習用ユニット	1式	
9	鉄筋工事実習	①加工機の取扱い ②運搬方法 ③配筋実習	実習	LGS(壁下地・天井下地)、石膏ボード、内装実習用工具類	1式	
			実習	内装工事実習用ユニット	1式	
10	労働安全衛生法	①小型移動式クレーン運転技能講習 ②玉掛け技能講習 ③低圧電気取扱[特別教育] ④自由研削砥石取扱[特別教育] ⑤携帯用丸のご盛作業[安全教育]	実習	壁クロス、クロス用パテ、接着剤、内装実習用工具類	1式	
			実習	Pタイル、CF、長尺塩ビシート、接着剤、内装実習用工具類	1式	
9	鉄筋工事実習	①加工機の取扱い ②運搬方法 ③配筋実習	学科	プロジェクター、パソコン	1式	
			実習	鉄筋工事実習用ユニット	1式	
10	労働安全衛生法	①小型移動式クレーン運転技能講習 ②玉掛け技能講習 ③低圧電気取扱[特別教育] ④自由研削砥石取扱[特別教育] ⑤携帯用丸のご盛作業[安全教育]	実習	二級鉄筋技能士課題ユニット	1式	
			実習	L型擁壁鉄筋ユニット	1式	
9	鉄筋工事実習	①加工機の取扱い ②運搬方法 ③配筋実習	実習	鉄筋加工のビデオ教材、プロジェクター、スクリーン	1式	
			実習	鉄筋切断機	1台	
10	労働安全衛生法	①小型移動式クレーン運転技能講習 ②玉掛け技能講習 ③低圧電気取扱[特別教育] ④自由研削砥石取扱[特別教育] ⑤携帯用丸のご盛作業[安全教育]	実習	鉄筋曲げ機	1台	
			学科	パソコン、プロジェクター	1式	
10	労働安全衛生法	①小型移動式クレーン運転技能講習 ②玉掛け技能講習 ③低圧電気取扱[特別教育] ④自由研削砥石取扱[特別教育] ⑤携帯用丸のご盛作業[安全教育]	実習	4カーゴクレーン	2台	
			学科	パソコン、プロジェクター	1式	
10	労働安全衛生法	①小型移動式クレーン運転技能講習 ②玉掛け技能講習 ③低圧電気取扱[特別教育] ④自由研削砥石取扱[特別教育] ⑤携帯用丸のご盛作業[安全教育]	実習	天井クレーン(2.85t)、積載型クレーン(2.9t)	1式	
			学科・実習	実習用分電盤	1式	
10	労働安全衛生法	①小型移動式クレーン運転技能講習 ②玉掛け技能講習 ③低圧電気取扱[特別教育] ④自由研削砥石取扱[特別教育] ⑤携帯用丸のご盛作業[安全教育]	実習	施設内キュービクル	1式	
			学科	講習用DVD、プロジェクター、パソコン	1式	
10	労働安全衛生法	①小型移動式クレーン運転技能講習 ②玉掛け技能講習 ③低圧電気取扱[特別教育] ④自由研削砥石取扱[特別教育] ⑤携帯用丸のご盛作業[安全教育]	実習	高速切断機	1式	
			実習	携帯用丸のご盛	1式	

使用図面等	図面名等	数量	備考
1	壁量計算シート	1式	建築構造設計・建築施工法にて使用
2	換気量計算演習用図面(例題)	1式	建築施工法にて使用
3	実例図面(平面図・矩計図・基礎伏図・詳細図、住宅用火災警報器の設置例)	1式	建築施工法にて使用
4	鉄筋実習用ユニット配筋・組立図	1式	
5	二級鉄筋技能士課題ユニット配筋・組立図	1式	
6	L型擁壁鉄筋ユニット配筋・組立図	1式	
7	枠組足場組立図	1式	

建設基礎多能工(1)		レベル1	建設基礎多能工(1)	概要	建設工事に携わる技能者を対象に、とび施工、仮設施工、鉄筋施工、鉄骨施工、鋼製下地施工、ボード張り施工を学び、且つ関連作業の資格を取得させ、安全作業、作業間調整を行い、他業種との連携が出来る多能工として現場実務に携わる人材を育成する。	
開催頻度:1回/年		日数:46日間	受講者数:4人	定員	15名	対象 初心者(実務経験0~1年)

実習用ユニット・教材等

内装工事実習用ユニット



鉄筋・型枠用教材



鉄骨工事実習用ユニット



鉄筋工事実習用ユニット



二級鉄筋技能士課題ユニット



カリキュラムシート 建築基礎多能工(1)

実施日	平成26年4月6日				
時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午後	学科	【安全衛生】 授業内容、注意事項等説明	2h	①	【入校のしおり】

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済		延べ時間		使用機材		
	学科	実習	0h	46h	0h	8h			
科目別 訓練時間	1	安全衛生	学科	2h	46h				
			実習						
	2	建築概論	学科	0h	8h				
			実習						
	3	建築構造設計	学科	0h	8h				
			実習						
	4	建築施工法	学科	0h	32h				
			実習						
	5	測量	学科	0h	5h				
			実習	0h	19h				
6	仮設・鉄骨工事	学科	0h	8h					
		実習	0h	32h					
7	鋼製下地・ボード	学科							
		実習	0h	48h					
8	クロス・長尺シート	学科							
		実習	0h	24h					
9	鉄筋工事実習	学科	0h	9h					
		実習	0h	39h					
10	安全衛生作業法	学科	0h	51h					
		実習	0h	29h					

カリキュラムシート 建築基礎多能工(1)

実施日	平成26年4月7日				
時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	学科	【安全衛生】 ・オリエンテーション ・研修心得の説明 ・挨拶・集団行動訓練	1h	②③④	【社人研修用テキスト】
午前	学科	【安全衛生】 ・社会人としての責任と義務	3h	②③④⑤	【社人研修用テキスト】
午後	学科	【安全衛生】 ・挨拶行動 ・ビジネスマナー ・グループ研究	4h	②③④⑤	【社人研修用テキスト】

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済		延べ時間		使用機材		
	学科	実習	0h	46h	0h	8h			
科目別 訓練時間	1	安全衛生	学科	10h	46h				
			実習						
	2	建築概論	学科	0h	8h				
			実習						
	3	建築構造設計	学科	0h	8h				
			実習						
	4	建築施工法	学科	0h	32h				
			実習						
	5	測量	学科	0h	5h				
			実習	0h	19h				
6	仮設・鉄骨工事	学科	0h	8h					
		実習	0h	32h					
7	鋼製下地・ボード	学科							
		実習	0h	48h					
8	クロス・長尺シート	学科							
		実習	0h	24h					
9	鉄筋工事実習	学科	0h	9h					
		実習	0h	39h					
10	安全衛生作業法	学科	0h	51h					
		実習	0h	29h					

カリキュラムシート 建築基礎多能工(1)

実施日	平成26年4月8日				
時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	学科	【安全衛生】 ・挨拶・集団行動訓練	1h	②③④	【社人研修用テキスト】
午前	学科	【安全衛生】 ・仕事に取り組み決意 ・実践話法演習	3h	②③④⑤	【社人研修用テキスト】
午後	学科	【安全衛生】 ・スピーチ演習 ・チーム思考訓練 ・他己改善と自己活用法	4h	②③④⑤	【社人研修用テキスト】

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済		延べ時間		使用機材		
	学科	実習	0h	46h	0h	8h			
科目別 訓練時間	1	安全衛生	学科	18h	46h				
			実習						
	2	建築概論	学科	0h	8h				
			実習						
	3	建築構造設計	学科	0h	8h				
			実習						
	4	建築施工法	学科	0h	32h				
			実習						
	5	測量	学科	0h	5h				
			実習	0h	19h				
6	仮設・鉄骨工事	学科	0h	8h					
		実習	0h	32h					
7	鋼製下地・ボード	学科							
		実習	0h	48h					
8	クロス・長尺シート	学科							
		実習	0h	24h					
9	鉄筋工事実習	学科	0h	9h					
		実習	0h	39h					
10	安全衛生作業法	学科	0h	51h					
		実習	0h	29h					

カリキュラムシート 建築基礎多能工(1)

実施日	平成26年4月9日				
時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	実習	【鋼製下地・ボード】 ・内装仕上げ工事概要 1. 躯体～基礎 2. 内装工事の基本 3. 内装資材と法規制	4h	⑥	【参考資料：内装仕上工事ガイドブック】
午後	実習	【鋼製下地・ボード】 ・内装仕上げ工事概要 4. 鋼製下地の資材と手順 5. 設計図書と施工図 6. 空間(スペース)通りと工程	4h	⑥	【参考資料：内装仕上工事ガイドブック】

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済		延べ時間		使用機材		
	学科	実習	0h	46h	0h	8h			
科目別 訓練時間	1	安全衛生	学科	18h	46h			内装工事実習用ユニット	1式
			実習					LGS(壁下地・天井下地)	1式
	2	建築概論	学科	0h	8h			石こうボード	1式
			実習					内装実習用工具類	1式
	3	建築構造設計	学科	0h	8h				
			実習						
	4	建築施工法	学科	0h	32h				
			実習						
	5	測量	学科	0h	5h				
			実習	0h	19h				
6	仮設・鉄骨工事	学科	0h	8h					
		実習	0h	32h					
7	鋼製下地・ボード	学科							
		実習	8h	48h					
8	クロス・長尺シート	学科							
		実習	0h	24h					
9	鉄筋工事実習	学科	0h	9h					
		実習	0h	39h					
10	安全衛生作業法	学科	0h	51h					
		実習	0h	29h					

カリキュラムシート 建築基礎多能工(1)

実施日	平成26年4月10日				
時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	実習	【鋼製下地・ボード】 ・鋼製下地資材、ボード資材 1. 壁下地資材と作業手順 2. 天井下地資材と作業手順	4h	⑥	[参考資料:内装仕上工事ガイドブック]
午後	実習	【鋼製下地・ボード】 ・鋼製下地資材、ボード資材 3. 石こうボード等の種類と規格 4. 割り付けと施工方法	4h	⑥	[参考資料:内装仕上工事ガイドブック]

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済		延べ時間		使用機材	
	学科	実習	学科	実習	学科	実習	学科	実習
科目別 訓練時間	1	安全衛生	18h	46h			内装工事実習用ユニット	1式
	2	建築概論	0h	8h			LGS(壁下地・天井下地)	1式
	3	建築構造設計	0h	8h			石こうボード	1式
	4	建築施工法	0h	32h			内装実習用工具類	1式
	5	測量	0h	5h				
	6	仮設・鉄骨工事	0h	19h				
	7	鋼製下地・ボード	16h	48h				
	8	クロス・長尺シート	0h	24h				
	9	鉄筋工事実習	0h	9h				
	10	安全衛生作業法	0h	29h				

カリキュラムシート 建築基礎多能工(1)

実施日	平成26年4月11日				
時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	実習	【鋼製下地・ボード】 ・壁下地の実習と工具の安全使用 1. 工具の安全使用	4h	⑥	[参考資料:内装仕上工事ガイドブック]
午後	実習	【鋼製下地・ボード】 ・壁下地の実習と工具の安全使用 2. 壁下地実習	4h	⑥	[参考資料:内装仕上工事ガイドブック]

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済		延べ時間		使用機材	
	学科	実習	学科	実習	学科	実習	学科	実習
科目別 訓練時間	1	安全衛生	18h	46h			内装工事実習用ユニット	1式
	2	建築概論	0h	8h			LGS(壁下地・天井下地)	1式
	3	建築構造設計	0h	8h			石こうボード	1式
	4	建築施工法	0h	32h			内装実習用工具類	1式
	5	測量	0h	5h				
	6	仮設・鉄骨工事	0h	19h				
	7	鋼製下地・ボード	24h	48h				
	8	クロス・長尺シート	0h	24h				
	9	鉄筋工事実習	0h	9h				
	10	安全衛生作業法	0h	29h				

カリキュラムシート 建築基礎多能工(1)

実施日	平成26年4月12日				
時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	実習	【鋼製下地・ボード】 ・壁・天井下地実習	4h	⑥	[参考資料:内装仕上工事ガイドブック]
午後	実習	【鋼製下地・ボード】 ・ボード施工方法と工具安全使用	4h	⑥	[参考資料:内装仕上工事ガイドブック]

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済		延べ時間		使用機材	
	学科	実習	学科	実習	学科	実習	学科	実習
科目別 訓練時間	1	安全衛生	18h	46h			内装工事実習用ユニット	1式
	2	建築概論	0h	8h			LGS(壁下地・天井下地)	1式
	3	建築構造設計	0h	8h			石こうボード	1式
	4	建築施工法	0h	32h			内装実習用工具類	1式
	5	測量	0h	5h				
	6	仮設・鉄骨工事	0h	19h				
	7	鋼製下地・ボード	32h	48h				
	8	クロス・長尺シート	0h	24h				
	9	鉄筋工事実習	0h	9h				
	10	安全衛生作業法	0h	29h				

カリキュラムシート 建築基礎多能工(1)

実施日	平成26年4月14日				
時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	学科	【自由研削砥石取扱特別教育】 安全作業とは	1h	⑥	[グラインダ安全必修] 第1章 研削盤に関する基礎知識(P1-38) 第2章 研削盤の取り扱いに関する基礎知識(P39-62)
午前	学科	【自由研削砥石取扱特別教育】 取り付け具等に関する知識 取り付け方法・試運転の方法	3h	⑥	[グラインダ安全必修] 第3章 研削盤の取り付け具に関する知識(P63-102) 第4章 研削盤の取付け、保護具に関する知識(P103-114) 第5章 研削油剤に関する基礎知識(P115-124) 第6章 研削盤の取付けと試運転の方法(P125-152)
午後	学科	【自由研削砥石取扱特別教育】 関係法令	1h	⑥	[グラインダ安全必修] 第7章 災害事例と関係法令(P153-238)
午後	実習	【自由研削砥石取扱特別教育】 実技実習	3h	⑥	

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済		延べ時間		使用機材	
	学科	実習	学科	実習	学科	実習	学科	実習
科目別 訓練時間	1	安全衛生	18h	46h			高速切断機	1台
	2	建築概論	0h	8h			講習用DVD	1式
	3	建築構造設計	0h	8h				
	4	建築施工法	0h	32h				
	5	測量	0h	5h				
	6	仮設・鉄骨工事	0h	19h				
	7	鋼製下地・ボード	32h	48h				
	8	クロス・長尺シート	0h	24h				
	9	鉄筋工事実習	0h	9h				
	10	安全衛生作業法	5h	29h				

カリキュラムシート 建築基礎多能工(1)

実施日	平成26年4月15日				
時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	学科	【低圧電気取扱特別教育】 低圧の電気に関する基礎知識 低圧の電気設備に関する基礎知識	3h	⑦	【建設業における低圧電気取扱い作業の安全】 ・第1章(P.1-5) ・第2章(P.6-19) ・第3章(P.20-46)
午前・午後	学科	【低圧電気取扱特別教育】 低圧用の安全作業用具に関する基礎知識	2h	⑦	【建設業における低圧電気取扱い作業の安全】 ・第4章(P.47-60)
午後	学科	【低圧電気取扱特別教育】 低圧の活線作業及び活線近接作業の方法	2h	⑦	【建設業における低圧電気取扱い作業の安全】 ・第5章(P.61-86)
午後	学科	【低圧電気取扱特別教育】 関係法令	1h	⑦	【建設業における低圧電気取扱い作業の安全】 ・第6章(P.87-100)

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済		延べ時間		使用機材	
	学科	実習	18h	46h	0h	8h	実習用分電盤	1式
科目別 訓練時間	1	安全衛生	18h	46h				
	2	建築概論	0h	8h				
	3	建築構造設計	0h	8h				
	4	建築施工法	0h	32h				
	5	測量	0h	5h				
	6	仮設・鉄骨工事	0h	8h				
	7	鋼製下地・ボード	32h	48h				
	8	クロス・長尺シート	0h	24h				
	9	鉄筋工事実習	0h	9h				
	10	安全衛生作業法	13h	51h				

カリキュラムシート 建築基礎多能工(1)

実施日	平成26年4月16日				
時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	実習	【低圧電気取扱特別教育】 ・接地抵抗測定 ・電圧電流漏れ電流測定 ・電動工具・絶縁抵抗測定 ・コードコネクタの結線	4h	⑦	
午前	実習	【低圧電気取扱特別教育】 ・ヒューズの交換作業 ・残留電荷の放電 ・モーター逆回転へ結線換え	3h	⑦	
午後	学科	【低圧電気取扱特別教育】 ・学科修了試験	1h	⑦	

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済		延べ時間		使用機材	
	学科	実習	18h	46h	0h	8h	実習用分電盤	1式
科目別 訓練時間	1	安全衛生	18h	46h				
	2	建築概論	0h	8h				
	3	建築構造設計	0h	8h				
	4	建築施工法	0h	32h				
	5	測量	0h	5h				
	6	仮設・鉄骨工事	0h	8h				
	7	鋼製下地・ボード	32h	48h				
	8	クロス・長尺シート	0h	24h				
	9	鉄筋工事実習	0h	9h				
	10	安全衛生作業法	14h	51h				

カリキュラムシート 建築基礎多能工(1)

実施日	平成26年4月17日				
時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	実習	【鋼製下地・ボード】 ・壁ボード張り ・工具の安全使用 ・壁下地取付開口補強 ・ボード加工方法と計測	3h	⑥	【参考資料：内装仕上工事ガイドブック】
午前・午後	実習	【鋼製下地・ボード】 ・ボード張りおよびビス留め	5h	⑥	【参考資料：内装仕上工事ガイドブック】

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済		延べ時間		使用機材	
	学科	実習	18h	46h	0h	8h	内装工事実習用ユニット	1式
科目別 訓練時間	1	安全衛生	18h	46h			LGS(壁下地・天井下地)	1式
	2	建築概論	0h	8h			石こうボード	1式
	3	建築構造設計	0h	8h			内装実習用工具類	1式
	4	建築施工法	0h	32h				
	5	測量	0h	5h				
	6	仮設・鉄骨工事	0h	8h				
	7	鋼製下地・ボード	40h	48h				
	8	クロス・長尺シート	0h	24h				
	9	鉄筋工事実習	0h	9h				
	10	安全衛生作業法	14h	51h				

カリキュラムシート 建築基礎多能工(1)

実施日	平成26年4月18日				
時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	実習	【鋼製下地・ボード】 ・KY活動	1h	⑥	【参考資料：内装仕上工事ガイドブック】
午前	実習	【鋼製下地・ボード】 ・壁ボード施工方法 ・天井見切り縁取付方法	3h	⑥	【参考資料：内装仕上工事ガイドブック】
午後	実習	【鋼製下地・ボード】 ・天井ボード施工方法	4h	⑥	【参考資料：内装仕上工事ガイドブック】

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済		延べ時間		使用機材	
	学科	実習	18h	46h	0h	8h	内装工事実習用ユニット	1式
科目別 訓練時間	1	安全衛生	18h	46h			LGS(壁下地・天井下地)	1式
	2	建築概論	0h	8h			石こうボード	1式
	3	建築構造設計	0h	8h			内装実習用工具類	1式
	4	建築施工法	0h	32h				
	5	測量	0h	5h				
	6	仮設・鉄骨工事	0h	8h				
	7	鋼製下地・ボード	48h	48h				
	8	クロス・長尺シート	0h	24h				
	9	鉄筋工事実習	0h	9h				
	10	安全衛生作業法	14h	51h				

カリキュラムシート 建築基礎多能工(1)

実施日	平成26年4月19日				
時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	学科	【安全衛生】 ・建設業について	4h		
午後	学科	【安全衛生】 ・建設業について	4h		

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済		延べ時間		使用機材		
	学科	実習	26h	46h					
科目別 訓練時間	1	安全衛生	学科	26h	46h				
			実習						
	2	建築概論	学科	0h	8h				
			実習						
	3	建築構造設計	学科	0h	8h				
			実習						
	4	建築施工法	学科	0h	32h				
			実習						
	5	測量	学科	0h	5h				
			実習	0h	19h				
6	仮設・鉄骨工事	学科	0h	8h					
		実習	0h	32h					
7	鋼製下地・ボード	学科							
		実習	48h	48h					
8	クロス・長尺シート	学科							
		実習	0h	24h					
9	鉄筋工事実習	学科	0h	9h					
		実習	0h	39h					
10	安全衛生作業法	学科	14h	51h					
		実習	10h	29h					

カリキュラムシート 建築基礎多能工(1)

実施日	平成26年4月21日				
時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前・午後	学科	【建築概論】 ・建物が出来るまでの流れ ・建築用語 ・建築物の敷地と道路について	5h	③	【参考資料】 建物できるまで図鑑(RC造・鉄骨造・木造住宅)
午後	学科	【建築概論】 ・建築法規概論	3h	③	

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済		延べ時間		使用機材		
	学科	実習	26h	46h					
科目別 訓練時間	1	安全衛生	学科	26h	46h				
			実習						
	2	建築概論	学科	8h	8h				
			実習						
	3	建築構造設計	学科	0h	8h				
			実習						
	4	建築施工法	学科	0h	32h				
			実習						
	5	測量	学科	0h	5h				
			実習	0h	19h				
6	仮設・鉄骨工事	学科	0h	8h					
		実習	0h	32h					
7	鋼製下地・ボード	学科							
		実習	48h	48h					
8	クロス・長尺シート	学科							
		実習	0h	24h					
9	鉄筋工事実習	学科	0h	9h					
		実習	0h	39h					
10	安全衛生作業法	学科	14h	51h					
		実習	10h	29h					

カリキュラムシート 建築基礎多能工(1)

実施日	平成26年4月22日				
時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	学科	【建築構造設計】 ・面材及び筋かいによる木造壁量の算定 ・柱小径の算定	3h	③	【壁量計算シート】
午前・午後	学科	【建築構造設計】 ・演習	5h	③	【壁量計算シート】

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済		延べ時間		使用機材		
	学科	実習	26h	46h					
科目別 訓練時間	1	安全衛生	学科	26h	46h				
			実習						
	2	建築概論	学科	8h	8h				
			実習						
	3	建築構造設計	学科	8h	8h				
			実習						
	4	建築施工法	学科	0h	32h				
			実習						
	5	測量	学科	0h	5h				
			実習	0h	19h				
6	仮設・鉄骨工事	学科	0h	8h					
		実習	0h	32h					
7	鋼製下地・ボード	学科							
		実習	48h	48h					
8	クロス・長尺シート	学科							
		実習	0h	24h					
9	鉄筋工事実習	学科	0h	9h					
		実習	0h	39h					
10	安全衛生作業法	学科	14h	51h					
		実習	10h	29h					

カリキュラムシート 建築基礎多能工(1)

実施日	平成26年4月23日				
時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前・午後	学科	【建築施工法】 ・面材及び筋かいによる木造壁量の配置 ・接合金物	8h	③	【壁量計算シート】 【参考資料】建物できるまで図鑑 木造住宅

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済		延べ時間		使用機材		
	学科	実習	26h	46h					
科目別 訓練時間	1	安全衛生	学科	26h	46h				
			実習						
	2	建築概論	学科	8h	8h				
			実習						
	3	建築構造設計	学科	8h	8h				
			実習						
	4	建築施工法	学科	8h	32h				
			実習						
	5	測量	学科	0h	5h				
			実習	0h	19h				
6	仮設・鉄骨工事	学科	0h	8h					
		実習	0h	32h					
7	鋼製下地・ボード	学科							
		実習	48h	48h					
8	クロス・長尺シート	学科							
		実習	0h	24h					
9	鉄筋工事実習	学科	0h	9h					
		実習	0h	39h					
10	安全衛生作業法	学科	14h	51h					
		実習	10h	29h					

カリキュラムシート 建築基礎多能工(1)

実施日	平成26年4月24日				
時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	学科	【建築施工法】 ・シックハウス対策における24時間換気の換気量計算及び設置について	3h	③	【例題等による演習】
午前・午後	学科	【建築施工法】 ・住宅用火災警報器の設置について	2h	③	【実例図面等による解説】
午後	学科	【建築施工法】 ・地耐力による基礎形状について	3h	③	【参考資料:建物できるまで図鑑 木造住宅】

カリキュラムシート 建築基礎多能工(1)

実施日	平成26年4月25日				
時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	学科	【建築施工法】 ・コンクリート工事(材料・調合・受入検査) ※実習場内にてコンクリート材料等の確認	4h	③	
午後	学科	【建築施工法】 ・鉄筋工事 (加工・組立・間隔・かぶり厚さ・定着・継ぎ手) ※実習場内の組立済み型枠・鉄筋教材	4h	③	

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済		延べ時間		使用機材	
	学科	実習	学科	実習	学科	実習	学科	実習
科目別 訓練時間	1	安全衛生	26h	46h				
	2	建築概論	8h	8h				
	3	建築構造設計	8h	8h				
	4	建築施工法	16h	32h				
	5	測量	0h	5h				
	6	仮設・鉄骨工事	0h	8h				
	7	鋼製下地・ボード	0h	32h				
	8	クロス・長尺シート	0h	48h				
	9	鉄筋工事実習	0h	9h				
	10	安全衛生作業法	0h	39h				

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済		延べ時間		使用機材	
	学科	実習	学科	実習	学科	実習	学科	実習
科目別 訓練時間	1	安全衛生	26h	46h			コンクリート材料 (セメント、骨材)	1式
	2	建築概論	8h	8h			鉄筋・型枠用教材	1式
	3	建築構造設計	8h	8h				
	4	建築施工法	24h	32h				
	5	測量	0h	5h				
	6	仮設・鉄骨工事	0h	8h				
	7	鋼製下地・ボード	0h	32h				
	8	クロス・長尺シート	0h	48h				
	9	鉄筋工事実習	0h	9h				
	10	安全衛生作業法	0h	39h				

カリキュラムシート 建築基礎多能工(1)

実施日	平成26年4月26日				
時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前・午後	学科	【建築施工法】 ・木構造住宅の図面の見方 (平面図・矩計図・基礎伏図・詳細図)	8h	③	【実例図面等による解説】

カリキュラムシート 建築基礎多能工(1)

実施日	平成26年4月28日				
時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	実習	【クロス・長尺シート】 ・クロス下地・パテ	4h	⑧⑨	【参考資料:内装仕上工事ガイドブック】
午後	実習	【クロス・長尺シート】 ・クロス張り	4h	⑧⑨	【参考資料:内装仕上工事ガイドブック】

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済		延べ時間		使用機材	
	学科	実習	学科	実習	学科	実習	学科	実習
科目別 訓練時間	1	安全衛生	26h	46h				
	2	建築概論	8h	8h				
	3	建築構造設計	8h	8h				
	4	建築施工法	32h	32h				
	5	測量	0h	5h				
	6	仮設・鉄骨工事	0h	8h				
	7	鋼製下地・ボード	0h	32h				
	8	クロス・長尺シート	0h	48h				
	9	鉄筋工事実習	0h	9h				
	10	安全衛生作業法	0h	39h				

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済		延べ時間		使用機材	
	学科	実習	学科	実習	学科	実習	学科	実習
科目別 訓練時間	1	安全衛生	26h	46h			内装工事実習用ユニット	1式
	2	建築概論	8h	8h			壁クロス	1式
	3	建築構造設計	8h	8h			クロス用パテ	1式
	4	建築施工法	32h	32h			内装実習用工具類	1式
	5	測量	0h	5h				
	6	仮設・鉄骨工事	0h	8h				
	7	鋼製下地・ボード	0h	32h				
	8	クロス・長尺シート	8h	24h				
	9	鉄筋工事実習	0h	9h				
	10	安全衛生作業法	0h	39h				



カリキュラムシート 建築基礎多能工(1)

実施日	平成26年4月29日				
時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	実習	【クロス・長尺シート】 ・壁クロス張り	4h	⑧⑨	[参考資料:内装仕上工事ガイドブック]
午後	実習	【クロス・長尺シート】 ・床施工(Pタイル張り) ※床下地合板は講師取り付け済み	4h	⑧⑨	[参考資料:内装仕上工事ガイドブック]

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済		延べ時間		使用機材		
	学科	実習	学科	実習	学科	実習	学科	実習	
	1	安全衛生	26h	46h			内装工事実習用ユニット	1式	
	2	建築概論	学科	8h	8h			壁クロス	1式
			実習					クロス用パテ	1式
	3	建築構造設計	学科	8h	8h			内装実習用工具類	1式
			実習					Pタイル	1式
	4	建築施工法	学科	32h	32h			接着剤	1式
			実習						
	5	測量	学科	0h	5h				
			実習	0h	19h				
	6	仮設・鉄骨工事	学科	0h	8h				
実習			0h	32h					
7	鋼製下地・ボード	学科							
		実習	48h	48h					
8	クロス・長尺シート	学科							
		実習	16h	24h					
9	鉄筋工事実習	学科	0h	9h					
		実習	0h	39h					
10	安全衛生作業法	学科	14h	51h					
		実習	10h	29h					

カリキュラムシート 建築基礎多能工(1)

実施日	平成26年4月30日				
時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	実習	【クロス・長尺シート】 ・床施工 (CF張り・Pタイル張り・長尺塩ビシート張り) ※床下地合板は講師取り付け済み	4h	⑧⑨	[参考資料:内装仕上工事ガイドブック]
午後	実習	【クロス・長尺シート】 ・床施工 (CF張り・Pタイル張り・長尺塩ビシート張り) ※床下地合板は講師取り付け済み	4h	⑧⑨	[参考資料:内装仕上工事ガイドブック]

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済		延べ時間		使用機材		
	学科	実習	学科	実習	学科	実習	学科	実習	
	1	安全衛生	26h	46h			内装工事実習用ユニット	1式	
	2	建築概論	学科	8h	8h			内装実習用工具類	1式
			実習					Pタイル	1式
	3	建築構造設計	学科	8h	8h			CF	1式
			実習					長尺塩ビシート	1式
	4	建築施工法	学科	32h	32h			接着剤	1式
			実習						
	5	測量	学科	0h	5h				
			実習	0h	19h				
	6	仮設・鉄骨工事	学科	0h	8h				
実習			0h	32h					
7	鋼製下地・ボード	学科							
		実習	48h	48h					
8	クロス・長尺シート	学科							
		実習	24h	24h					
9	鉄筋工事実習	学科	0h	9h					
		実習	0h	39h					
10	安全衛生作業法	学科	14h	51h					
		実習	10h	29h					

カリキュラムシート 建築基礎多能工(1)

実施日	平成26年5月1日				
時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	学科	【携帯用丸のご盛安全衛生教育】 ・丸のご盛を使用する作業の知識 ・丸のご盛点検修理に関する知識 ・安全な作業方法等の知識 ・関係法令	4h	⑩	[建設業における丸ごもり等取扱い作業の安全] ・第1章(P.1-14) ・第2章(P.15-36) ・第3章(P.37-44) ・第4章(P.45-56) ・第5章(P.57-71)
午後	学科	【携帯用丸のご盛安全衛生教育】 ・学科試験	1h	⑩	
午後	実習	【携帯用丸のご盛安全衛生教育】 ・実技	3h	⑩	

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済		延べ時間		使用機材		
	学科	実習	学科	実習	学科	実習	学科	実習	
	1	安全衛生	26h	46h			パソコン	1台	
	2	建築概論	学科	8h	8h			プロジェクター	1台
			実習					携帯用丸のご盛	1式
	3	建築構造設計	学科	8h	8h				
			実習						
	4	建築施工法	学科	32h	32h				
			実習						
	5	測量	学科	0h	5h				
			実習	0h	19h				
	6	仮設・鉄骨工事	学科	0h	8h				
実習			0h	32h					
7	鋼製下地・ボード	学科							
		実習	48h	48h					
8	クロス・長尺シート	学科							
		実習	24h	24h					
9	鉄筋工事実習	学科	0h	9h					
		実習	0h	39h					
10	安全衛生作業法	学科	19h	51h					
		実習	13h	29h					

カリキュラムシート 建築基礎多能工(1)

実施日	平成26年4月30日				
時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	学科	【安全衛生】 ・報告書作成	4h	①	
午後	学科	【安全衛生】 ・報告書作成	4h	①	

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済		延べ時間		使用機材		
	学科	実習	学科	実習	学科	実習	学科	実習	
	1	安全衛生	34h	46h					
	2	建築概論	学科	8h	8h				
			実習						
	3	建築構造設計	学科	8h	8h				
			実習						
	4	建築施工法	学科	32h	32h				
			実習						
	5	測量	学科	0h	5h				
			実習	0h	19h				
	6	仮設・鉄骨工事	学科	0h	8h				
実習			0h	32h					
7	鋼製下地・ボード	学科							
		実習	48h	48h					
8	クロス・長尺シート	学科							
		実習	24h	24h					
9	鉄筋工事実習	学科	0h	9h					
		実習	0h	39h					
10	安全衛生作業法	学科	19h	51h					
		実習	13h	29h					

カリキュラムシート 建築基礎多能工(1)

実施日	平成26年5月8日				
時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	学科	【玉掛け技能講習】 ・クレーン等の概要	1h	⑪	【玉掛け作業者必携】 ・1.クレーン等に関する知識(P1-P32)
午後	学科	【玉掛け技能講習】 ・クレーン等の玉掛けに必要な力学	3h	⑪	【玉掛け作業者必携】 ・2.クレーン等の玉掛けに必要な力学に関する知識(P33-P67)
午後	学科	【玉掛け技能講習】 ・クレーン等の玉掛けの方法	4h	⑪	【玉掛け作業者必携】 ・3.玉掛け用具の選定及び取扱い(P68-119) ・4.玉掛けの方法及び合図の方法(P120-149) ・5.玉掛け実技の方法(P150-175)

カリキュラムシート 建築基礎多能工(1)

実施日	平成26年5月9日				
時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	実習	【玉掛け技能講習】 ・玉掛けの基本作業・合図	4h	⑫⑬	
午後	実習	【玉掛け技能講習】 ・玉掛けの基本作業・合図	2.5h	⑫⑬	
午後	実習	【玉掛け技能講習】 ・実技修了試験	1.5h	⑫⑬	

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済	延べ時間	使用機材	
	1	安全衛生	学科 実習	34h 46h	46h	パソコン プロジェクター
2	建築概論	学科 実習	8h 8h	8h		
3	建築構造設計	学科 実習	8h 8h	8h		
4	建築施工法	学科 実習	32h 32h	32h		
5	測量	学科 実習	0h 19h	19h		
6	仮設・鉄骨工事	学科 実習	0h 32h	32h		
7	鋼製下地・ボード	学科 実習	48h 48h	48h		
8	クロス・長尺シート	学科 実習	24h 24h	24h		
9	鉄筋工事実習	学科 実習	0h 39h	39h		
10	安全衛生作業法	学科 実習	27h 13h	51h 29h		

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済	延べ時間	使用機材	
	1	安全衛生	学科 実習	34h 46h	46h	天井クレーン2.85t 積載型クレーン2.9t
2	建築概論	学科 実習	8h 8h	8h		
3	建築構造設計	学科 実習	8h 8h	8h		
4	建築施工法	学科 実習	32h 32h	32h		
5	測量	学科 実習	0h 19h	19h		
6	仮設・鉄骨工事	学科 実習	0h 32h	32h		
7	鋼製下地・ボード	学科 実習	48h 48h	48h		
8	クロス・長尺シート	学科 実習	24h 24h	24h		
9	鉄筋工事実習	学科 実習	0h 39h	39h		
10	安全衛生作業法	学科 実習	27h 21h	51h 29h		

カリキュラムシート 建築基礎多能工(1)

実施日	平成26年5月10日				
時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	学科	【玉掛け技能講習】 ・クレーン等の玉掛けの方法	4h	⑪	【玉掛け作業者必携】 ・3.玉掛け用具の選定及び取扱い(P68-119) ・4.玉掛けの方法及び合図の方法(P120-149) ・5.玉掛け実技の方法(P150-175)
午後	学科	【玉掛け技能講習】 ・関係法令 ・全般見直し、まとめ	2h	⑪	【玉掛け作業者必携】 ・6.関係法令(P176-P209)
午後	学科	【玉掛け技能講習】 ・重量目測・玉掛け具選定試験	1h	⑪	
午後	学科	【玉掛け技能講習】 ・修了試験	1h		

カリキュラムシート 建築基礎多能工(1)

実施日	平成26年5月12日				
時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	学科	【仮設・鉄骨工事】 ・仮設の役割	2h	⑭⑮⑯	参考)足場の組立て等工事の作業指針
午前	学科	【仮設・鉄骨工事】 ・足場の種類	2h	⑭⑮⑯	参考)足場の組立て等工事の作業指針
午後	学科	【仮設・鉄骨工事】 ・枠組足場の使用部材	2h	⑭⑮⑯	参考)足場の組立て等工事の作業指針
午後	学科	【仮設・鉄骨工事】 ・枠組足場の組立手順	2h	⑭⑮⑯	参考)足場の組立て等工事の作業指針

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済	延べ時間	使用機材	
	1	安全衛生	学科 実習	34h 46h	46h	パソコン プロジェクター
2	建築概論	学科 実習	8h 8h	8h		
3	建築構造設計	学科 実習	8h 8h	8h		
4	建築施工法	学科 実習	32h 32h	32h		
5	測量	学科 実習	0h 19h	19h		
6	仮設・鉄骨工事	学科 実習	0h 32h	32h		
7	鋼製下地・ボード	学科 実習	48h 48h	48h		
8	クロス・長尺シート	学科 実習	24h 24h	24h		
9	鉄筋工事実習	学科 実習	0h 39h	39h		
10	安全衛生作業法	学科 実習	35h 13h	51h 29h		

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済	延べ時間	使用機材	
	1	安全衛生	学科 実習	34h 46h	46h	実習用枠組足場
2	建築概論	学科 実習	8h 8h	8h		
3	建築構造設計	学科 実習	8h 8h	8h		
4	建築施工法	学科 実習	32h 32h	32h		
5	測量	学科 実習	0h 19h	19h		
6	仮設・鉄骨工事	学科 実習	8h 0h	8h 32h		
7	鋼製下地・ボード	学科 実習	48h 48h	48h		
8	クロス・長尺シート	学科 実習	24h 24h	24h		
9	鉄筋工事実習	学科 実習	0h 39h	39h		
10	安全衛生作業法	学科 実習	35h 21h	51h 29h		

カリキュラムシート 建築基礎多能工(1)

実施日	平成26年5月13日				
時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	実習	【仮設・鉄骨工事】 ・枠組足場組立(一段目)	2h	⑭⑮⑯	
午後	実習	【仮設・鉄骨工事】 ・枠組足場組立(二段目)	2h	⑭⑮⑯	
午後	実習	【仮設・鉄骨工事】 ・枠組足場組立(三段目)	2h	⑭⑮⑯	
午後	実習	【仮設・鉄骨工事】 ・枠組足場組立(四段目・五段目)	2h	⑭⑮⑯	

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済		延べ時間		使用機材		
	学科	実習	34h	46h	8h	8h	1式	1式	
科目別 訓練時間	1	安全衛生	実習	34h	46h			実習用枠組足場	1式
	2	建築概論	学科	8h	8h			※6スパン5+控え足場	
	3	建築構造設計	学科	8h	8h			※仮設・鉄骨工事完了まで存置	
	4	建築施工法	学科	32h	32h				
	5	測量	学科	0h	5h				
	6	仮設・鉄骨工事	実習	8h	32h				
	7	鋼製下地・ボード	学科	48h	48h				
	8	クロス・長尺シート	学科	24h	24h				
	9	鉄筋工事実習	学科	0h	9h				
	10	安全衛生作業法	学科	35h	51h				

カリキュラムシート 建築基礎多能工(1)

実施日	平成26年5月14日				
時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	実習	【仮設・鉄骨工事】 ・鉄骨構造の基礎知識 ・高所作業の心構え	3h	⑭⑮⑯	
午前・午後	実習	【仮設・鉄骨工事】 ・作業段取りと要点 ・合図	2h	⑭⑮⑯	
午後	実習	【仮設・鉄骨工事】 ・鉄骨解体(梁)	2h	⑭⑮⑯	
午後	実習	【仮設・鉄骨工事】 ・鉄骨解体(柱2本)	1h	⑭⑮⑯	

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済		延べ時間		使用機材		
	学科	実習	34h	46h	8h	8h	1台	1式	
科目別 訓練時間	1	安全衛生	実習	34h	46h			レックカー	1台
	2	建築概論	学科	8h	8h			鉄骨工事実習用ユニット	1式
	3	建築構造設計	学科	8h	8h			実習用枠組足場	1式
	4	建築施工法	学科	32h	32h				
	5	測量	学科	0h	5h				
	6	仮設・鉄骨工事	実習	16h	32h				
	7	鋼製下地・ボード	学科	48h	48h				
	8	クロス・長尺シート	学科	24h	24h				
	9	鉄筋工事実習	学科	0h	9h				
	10	安全衛生作業法	学科	35h	51h				

カリキュラムシート 建築基礎多能工(1)

実施日	平成26年5月15日				
時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	実習	【仮設・鉄骨工事】 ・鉄骨建て方の作業手順	1h	⑭⑮⑯	
午前・午後	実習	【仮設・鉄骨工事】 ・柱・アンカー取付(2本) ・1F梁取付(3本) ・2F梁取付(3本)	6h	⑭⑮⑯	
午後	実習	【仮設・鉄骨工事】 ・高所ネット建て込み	1h	⑭⑮⑯	

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済		延べ時間		使用機材		
	学科	実習	34h	46h	8h	8h	1式	1式	
科目別 訓練時間	1	安全衛生	実習	34h	46h			鉄骨工事実習用ユニット	1式
	2	建築概論	学科	8h	8h			高所ネット	1式
	3	建築構造設計	学科	8h	8h			実習用枠組足場	1式
	4	建築施工法	学科	32h	32h				
	5	測量	学科	0h	5h				
	6	仮設・鉄骨工事	実習	24h	32h				
	7	鋼製下地・ボード	学科	48h	48h				
	8	クロス・長尺シート	学科	24h	24h				
	9	鉄筋工事実習	学科	0h	9h				
	10	安全衛生作業法	学科	35h	51h				

カリキュラムシート 建築基礎多能工(1)

実施日	平成26年5月16日				
時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	学科	【仮設・鉄骨工事】 ・安全ネット取付	1h	⑭⑮⑯	
午前	実習	【仮設・鉄骨工事】 ・枠組足場解体(5段目) ・枠組足場解体(4段目) ・枠組足場解体(3段目)	3h	⑭⑮⑯	
午後	実習	【仮設・鉄骨工事】 ・枠組足場解体(2段目) ・枠組足場解体(1段目)	2h	⑭⑮⑯	
午後	実習	【仮設・鉄骨工事】 ・枠組足場組立(1段目) ・枠組足場組立(2段目)	2h	⑭⑮⑯	

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済		延べ時間		使用機材		
	学科	実習	34h	46h	8h	8h	1式	1式	
科目別 訓練時間	1	安全衛生	実習	34h	46h			鉄骨工事実習用ユニット	1式
	2	建築概論	学科	8h	8h			実習用枠組足場	1式
	3	建築構造設計	学科	8h	8h			安全ネット	1式
	4	建築施工法	学科	32h	32h				
	5	測量	学科	0h	5h				
	6	仮設・鉄骨工事	実習	32h	32h				
	7	鋼製下地・ボード	学科	48h	48h				
	8	クロス・長尺シート	学科	24h	24h				
	9	鉄筋工事実習	学科	0h	9h				
	10	安全衛生作業法	学科	35h	51h				

カリキュラムシート 建築基礎多能工(1)

実施日	平成26年5月17日				
時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	実習	【安全衛生】 ・建設業について	4h	①	
午後	実習	【安全衛生】 ・建設業について	4h	①	

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済		延べ時間		使用機材		
	学科	実習	42h	46h					
科目別 訓練時間	1	安全衛生	学科	42h	46h				
			実習						
	2	建築概論	学科	8h	8h				
			実習						
	3	建築構造設計	学科	8h	8h				
			実習						
	4	建築施工法	学科	32h	32h				
			実習						
	5	測量	学科	0h	5h				
			実習	0h	19h				
6	仮設・鉄骨工事	学科	8h	8h					
		実習	32h	32h					
7	鋼製下地・ボード	学科							
		実習	48h	48h					
8	クロス・長尺シート	学科							
		実習	24h	24h					
9	鉄筋工事実習	学科	0h	9h					
		実習	0h	39h					
10	安全衛生作業法	学科	35h	51h					
		実習	21h	29h					

カリキュラムシート 建築基礎多能工(1)

実施日	平成26年5月18日				
時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	学科	【測量】 ・測量の種類、土木と建築 ・工事測量 ・水準測量	2h	①⑧	【トランシット取扱説明書】
午前・午後	実習	【測量】 ・トランシットの取扱 【取り付け・タイムトライアル等】	3h	①⑧	【トランシット取扱説明書】
午後	実習	【測量】 ・通りの見方と取り方	1h	①⑧	【トランシット取扱説明書】
午後	実習	【測量】 ・角度と距離	2h	①⑧	【トランシット取扱説明書】

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済		延べ時間		使用機材		
	学科	実習	42h	46h					
科目別 訓練時間	1	安全衛生	学科	42h	46h			トランシット	1式
			実習					三脚	1式
	2	建築概論	学科	8h	8h			プリズムボール	1式
			実習						
	3	建築構造設計	学科	8h	8h				
			実習						
	4	建築施工法	学科	32h	32h				
			実習						
	5	測量	学科	2h	5h				
			実習	6h	19h				
6	仮設・鉄骨工事	学科	8h	8h					
		実習	32h	32h					
7	鋼製下地・ボード	学科							
		実習	48h	48h					
8	クロス・長尺シート	学科							
		実習	24h	24h					
9	鉄筋工事実習	学科	0h	9h					
		実習	0h	39h					
10	安全衛生作業法	学科	35h	51h					
		実習	21h	29h					

カリキュラムシート 建築基礎多能工(1)

実施日	平成26年5月20日				
時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	学科	【小型移動式クレーン運転技能講習】 ・小型移動式クレーンに関する知識	4h	⑨	【小型移動式クレーンの運転】 ・1.小型移動式クレーンに関する知識(P1-P135)
午後	学科	【小型移動式クレーン運転技能講習】 ・小型移動式クレーンに関する知識	4h	⑨	【小型移動式クレーンの運転】 ・1.小型移動式クレーンに関する知識(P1-P135)

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済		延べ時間		使用機材		
	学科	実習	42h	46h					
科目別 訓練時間	1	安全衛生	学科	42h	46h			パソコン	1台
			実習					プロジェクター	1台
	2	建築概論	学科	8h	8h				
			実習						
	3	建築構造設計	学科	8h	8h				
			実習						
	4	建築施工法	学科	32h	32h				
			実習						
	5	測量	学科	2h	5h				
			実習	6h	19h				
6	仮設・鉄骨工事	学科	8h	8h					
		実習	32h	32h					
7	鋼製下地・ボード	学科							
		実習	48h	48h					
8	クロス・長尺シート	学科							
		実習	24h	24h					
9	鉄筋工事実習	学科	0h	9h					
		実習	0h	39h					
10	安全衛生作業法	学科	43h	51h					
		実習	21h	29h					

カリキュラムシート 建築基礎多能工(1)

実施日	平成26年5月21日				
時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	学科	【小型移動式クレーン運転技能講習】 ・原動機および電気に関する知識	4h	⑨	【小型移動式クレーンの運転】 ・2.原動機及び電気に関する知識(P136-P165)
午前・午後	学科	【小型移動式クレーン運転技能講習】 ・関係法令 ・まとめ、復習 ・学科修了試験	3h	⑨	【小型移動式クレーンの運転】 ・5.関係法令(P211-P241)
午後	学科	【小型移動式クレーン運転技能講習】 ・学科修了試験	1h	⑨	※玉掛け技能講習資格者のため、「小型移動式クレーンの運転のために必要な力学に関する知識」免除

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済		延べ時間		使用機材		
	学科	実習	42h	46h					
科目別 訓練時間	1	安全衛生	学科	42h	46h			パソコン	1台
			実習					プロジェクター	1台
	2	建築概論	学科	8h	8h				
			実習						
	3	建築構造設計	学科	8h	8h				
			実習						
	4	建築施工法	学科	32h	32h				
			実習						
	5	測量	学科	5h	5h				
			実習	19h	19h				
6	仮設・鉄骨工事	学科	8h	8h					
		実習	32h	32h					
7	鋼製下地・ボード	学科							
		実習	48h	48h					
8	クロス・長尺シート	学科							
		実習	24h	24h					
9	鉄筋工事実習	学科	0h	9h					
		実習	0h	39h					
10	安全衛生作業法	学科	51h	51h					
		実習	21h	29h					

カリキュラムシート 建築基礎多能工(1)

実施日	平成26年5月22日				
時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	実習	【小型移動式クレーン運転技能講習】 ・小型移動式クレーンの運転 ・基本操作・重量の確認	2h	㊴	
午前	実習	【小型移動式クレーン運転技能講習】 ・荷のつり上げ	2h	㊴	
午後	実習	【小型移動式クレーン運転技能講習】 ・定められた経路による運搬 ・荷の卸し	2h	㊴	
午後	実習	【小型移動式クレーン運転技能講習】 ・実技終了試験	2h	㊴	

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済		延べ時間		使用機材	
	学科	実習	42h	46h	8h	8h	4tカーゴクレーン	2台
科目別 訓練時間	1	安全衛生	42h	46h				
	2	建築概論	8h	8h				
	3	建築構造設計	8h	8h				
	4	建築施工法	32h	32h				
	5	測量	2h	5h				
	6	仮設・鉄骨工事	8h	8h				
	7	鋼製下地・ボード	48h	48h				
	8	クロス・長尺シート	24h	24h				
	9	鉄筋工事実習	0h	9h				
	10	安全衛生作業法	51h	51h	29h	29h		

カリキュラムシート 建築基礎多能工(1)

実施日	平成26年5月23日				
時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	学科	【測量】 ・レベルの取扱	2h	㊴	【レベル取扱説明書】
午前・午後	実習	【測量】 ・水準測量	4h	㊴	【レベル取扱説明書】
午後	実習	【測量】 ・水貫の出し方(2点間の高さ測量)	2h	㊴	【レベル取扱説明書】

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済		延べ時間		使用機材	
	学科	実習	42h	46h	8h	8h	レベル	1式
科目別 訓練時間	1	安全衛生	42h	46h			三脚	1式
	2	建築概論	8h	8h				
	3	建築構造設計	8h	8h				
	4	建築施工法	32h	32h				
	5	測量	4h	5h				
	6	仮設・鉄骨工事	8h	8h				
	7	鋼製下地・ボード	48h	48h				
	8	クロス・長尺シート	24h	24h				
	9	鉄筋工事実習	0h	9h				
	10	安全衛生作業法	51h	51h	29h	29h		

カリキュラムシート 建築基礎多能工(1)

実施日	平成26年5月24日				
時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	学科	【測量】 ・水盛り・遣り方の作業手順	1h	㊴	
午前・午後	実習	【測量】 ・地縄張り実習 ・水杭打ち ・水貫施工、通り出し方	6h	㊴	
午後	実習	【測量】 ・盛り巾の出し方	1h	㊴	
		※実習終了後、解体			

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済		延べ時間		使用機材	
	学科	実習	42h	46h	8h	8h	レベル	1式
科目別 訓練時間	1	安全衛生	42h	46h			三脚	1式
	2	建築概論	8h	8h			トランシット	1式
	3	建築構造設計	8h	8h			スチールテープ	1式
	4	建築施工法	32h	32h			水系	1式
	5	測量	5h	5h			水杭・水貫	1式
	6	仮設・鉄骨工事	8h	8h				
	7	鋼製下地・ボード	48h	48h				
	8	クロス・長尺シート	24h	24h				
	9	鉄筋工事実習	0h	9h				
	10	安全衛生作業法	51h	51h	29h	29h		

カリキュラムシート 建築基礎多能工(1)

実施日	平成26年5月26日				
時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	学科	【鉄筋工事実習】 ・鉄筋工事とは ・鉄筋の性質、コンクリートの性質	2h	㊴	【オリジナル資料】 ※併用としては、以下を併用した上で ・鉄筋工事実習要領(全務局) ・鉄筋工事取組要領(全務局) ・鉄筋工事取組要領(現場版)(日本建築学会) ・日建連 鉄筋コンクリート配筋標準図(現場版) (現場に携る図書・現場に携る図集) 種々でも分かる鉄筋工事)
午前	学科	【鉄筋工事実習】 ・鉄筋の規格と径 ・鉄筋の単位重量と品質	2h	㊴	【オリジナル資料】 【鉄筋鋼種の表示マーク】
午後	学科	【鉄筋工事実習】 ・鉄筋の定尺材 ・加工形状と金額	1h	㊴	【オリジナル資料】
午後	学科	【鉄筋工事実習】 ・施工上の注意 (かぶり・継ぎ手・定着)	3h	㊴	【オリジナル資料】 【鉄筋工事資料メーカーカタログ】

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済		延べ時間		使用機材	
	学科	実習	42h	46h	8h	8h	PC	1台
科目別 訓練時間	1	安全衛生	42h	46h			プロジェクター	1台
	2	建築概論	8h	8h				
	3	建築構造設計	8h	8h				
	4	建築施工法	32h	32h				
	5	測量	5h	5h				
	6	仮設・鉄骨工事	8h	8h				
	7	鋼製下地・ボード	48h	48h				
	8	クロス・長尺シート	24h	24h				
	9	鉄筋工事実習	8h	9h				
	10	安全衛生作業法	51h	51h	29h	29h		

カリキュラムシート 建築基礎多能工(1)

実施日	平成26年5月27日				
時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	実習	【鉄筋工事実習】 ・墨出し手順 ・墨出し	2h	㊴	
午前	実習	【鉄筋工事実習】 ・鉄筋の運搬 ・ベース筋の組立(在来RC造鉄筋)	2h	㊴	
午後	実習	【鉄筋工事実習】 ・柱筋の組立方法 ・柱筋の組立(在来RC造鉄筋)	3h	㊴	
午後	実習	【鉄筋工事実習】 ・梁筋の組立方法	1h	㊴	

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済		延べ時間		使用機材	
	学科	実習	学科	実習	学科	実習	鉄筋工事実習用ユニット	1式
	1	安全衛生	42h	46h			※加工済み鉄筋	1式
	2	建築概論	8h	8h			チョークライン	1式
	3	建築構造設計	8h	8h				
	4	建築施工法	32h	32h				
	5	測量	5h	5h				
	6	仮設・鉄骨工事	8h	8h				
	7	鋼製下地・ボード	48h	48h				
	8	クロス・長尺シート	24h	24h				
	9	鉄筋工事実習	8h	39h				
	10	安全衛生作業法	51h	51h				

カリキュラムシート 建築基礎多能工(1)

実施日	平成26年5月28日				
時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前・午後	実習	【鉄筋工事実習】 ・梁筋の組立(在来RC造鉄筋)	5h	㊴	
午後	実習	【鉄筋工事実習】 ・鉄筋の加工方法 ・鉄筋の加工	2h	㊴	
午後	実習	【鉄筋工事実習】 ・加工機の種類	1h	㊴	

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済		延べ時間		使用機材	
	学科	実習	学科	実習	学科	実習	鉄筋工事実習用ユニット	1式
	1	安全衛生	42h	46h			※加工済み鉄筋	1式
	2	建築概論	8h	8h			鉄筋加工のビデオ教材	1式
	3	建築構造設計	8h	8h			プロジェクター	1式
	4	建築施工法	32h	32h			スクリーン	1式
	5	測量	5h	5h			鉄筋切断機	1式
	6	仮設・鉄骨工事	8h	8h			鉄筋曲げ機	1式
	7	鋼製下地・ボード	48h	48h				
	8	クロス・長尺シート	24h	24h				
	9	鉄筋工事実習	8h	39h				
	10	安全衛生作業法	51h	51h				

カリキュラムシート 建築基礎多能工(1)

実施日	平成26年5月29日				
時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	学科	【鉄筋工事実習】 ・学科テスト	1h	㊴	【オリジナルテスト】
午前	実習	【鉄筋工事実習】 ・実習用課題ユニット解体	2h	㊴	
午前・午後	実習	【鉄筋工事実習】 ・2級技能士課題ユニットベース組立 ※二人一組	2h	㊴	【二級鉄筋技能士課題図面】
午後	実習	【鉄筋工事実習】 ・2級技能士課題ユニット柱筋組立 ※二人一組	3h	㊴	【二級鉄筋技能士課題図面】

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済		延べ時間		使用機材	
	学科	実習	学科	実習	学科	実習	鉄筋工事実習用ユニット	1式
	1	安全衛生	42h	46h			二級技能士課題ユニット	1式
	2	建築概論	8h	8h				
	3	建築構造設計	8h	8h				
	4	建築施工法	32h	32h				
	5	測量	5h	5h				
	6	仮設・鉄骨工事	8h	8h				
	7	鋼製下地・ボード	48h	48h				
	8	クロス・長尺シート	24h	24h				
	9	鉄筋工事実習	9h	39h				
	10	安全衛生作業法	51h	51h				

カリキュラムシート 建築基礎多能工(1)

実施日	平成26年5月30日				
時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	実習	【鉄筋工事実習】 ・KYと安全注意 ・2級技能士課題ユニット梁組立 ※二人一組 ・反省点、注意点の整理	4h	㊴	【二級鉄筋技能士課題図面】
午後	実習	【鉄筋工事実習】 ・解体	1h	㊴	
午後	実習	【鉄筋工事実習】 ・2級技能士課題ユニット ベース、柱、梁組立 ※一人一ユニット	3h	㊴	【二級鉄筋技能士課題図面】

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済		延べ時間		使用機材	
	学科	実習	学科	実習	学科	実習	鉄筋工事実習用ユニット	1式
	1	安全衛生	42h	46h				
	2	建築概論	8h	8h				
	3	建築構造設計	8h	8h				
	4	建築施工法	32h	32h				
	5	測量	5h	5h				
	6	仮設・鉄骨工事	8h	8h				
	7	鋼製下地・ボード	48h	48h				
	8	クロス・長尺シート	24h	24h				
	9	鉄筋工事実習	9h	39h				
	10	安全衛生作業法	51h	51h				

カリキュラムシート 建築基礎多能工(1)

実施日	平成26年5月31日				
時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	実習	【鉄筋工事実習】 ・2級技能士課題ユニット梁組立 ※一人一ユニット ・解体	2h	㊴	【二級鉄筋技能士課題図面】
午前	実習	【鉄筋工事実習】 ・L型壁の説明 ・材料手配	2h	㊴	
午後	実習	【鉄筋工事実習】 ・L型壁鉄筋組立	4h	㊴	

カリキュラムシート 建築基礎多能工(1)

実施日	平成26年6月1日				
時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	学科	【安全衛生】 ・訓練まとめ ・レポート ・修了式	4h	㊴	

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済	延べ時間	使用機材	
	学科	実習				
科目別 訓練時間	1	安全衛生	42h	46h	二級技能士課題ユニット	1式
	2	建築概論	8h	8h	L型壁鉄筋ユニット	1式
	3	建築構造設計	8h	8h		
	4	建築施工法	32h	32h		
	5	測量	5h	5h		
	6	仮設・鉄骨工事	8h	8h		
	7	鋼製下地・ボード	48h	48h		
	8	クロス・長尺シート	24h	24h		
	9	鉄筋工事実習	9h	9h		
	10	安全衛生作業法	51h	51h		

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済	延べ時間	使用機材	
	学科	実習				
科目別 訓練時間	1	安全衛生	46h	46h		
	2	建築概論	8h	8h		
	3	建築構造設計	8h	8h		
	4	建築施工法	32h	32h		
	5	測量	5h	5h		
	6	仮設・鉄骨工事	8h	8h		
	7	鋼製下地・ボード	48h	48h		
	8	クロス・長尺シート	24h	24h		
	9	鉄筋工事実習	9h	9h		
	10	安全衛生作業法	51h	51h		

建築基礎多能工(2) 1/3

建築基礎多能工(2) レベル1

建築基礎多能工(2) 概要 建築基礎多能工(1)コース修了者を対象に、型枠施工、フローリング施工を学び、かつ関連作業の資格を取得させる。施工実習として一連の作業を体験させ、安全作業、工程管理、作業間調整を行い、他業種との連携が出来る多能工として現場実務に携わる人材を育成する。

開催頻度: 1回/年 日数: 47日間 受講者数: 4人 定員 15名 対象 初心者(実務経験0~1年)

科目	教科概要	時間	教材				講師番号
			学科 実習	形式	教材	名称(書籍名等、採用ページ)	
1	①社会人の責任と義務 ②挨拶と集団行動 ③教育訓練全体の復習、まとめ、等	6h	6h	オリジナル 原稿用紙	a b	入校のしおり(生活ルール、1日の流れ、服装等) 訓練感想文	① ①
2	①手工具の取扱い ②電動工具の取扱い ③躯体図の見方 ④加工図と加工機 ⑤資材の加工手順 ⑥型枠実習	112h	38h 74h	オリジナル	c		(4)(7) (4)(7)
3	①資材数量 ②材料加工 ③コンクリート工事 ④管理写真 ⑤工程管理 ⑥環境管理	152h	10h 142h	書籍	d	建物できるまで図鑑 木造住宅	③ (2)(3)(8)
4	①床仕上げの種類 ②フロア材の種類 ③採寸方法 ④施工法 ⑤手工具の取扱い ⑥電動工具の取扱い	48h	5h 43h				② ②
5	①高所作業車取扱[技能講習]	16h	8h	書籍	e	高所作業車運転者教本	⑥
	②フォークリフト運転[技能講習]	40h	13h 27h	書籍	f	フォークリフト運転士テキスト	⑤ ⑤
合計		374h	80h 294h				

修了資格	技能講習 ○高所作業車運転 ○フォークリフト運転
特別教育	
安全教育	

教材リスト	教材		出版社	価格(税込)	備考
	名称(書籍名等、採用ページ)	形式			
a	入校のしおり(生活ルール、1日の流れ、服装等)	オリジナル			
b	訓練感想文	原稿用紙			
c		オリジナル			
d	建物できるまで図鑑 木造住宅	書籍	建設業労働災害防止協会		
e	高所作業車運転者教本	書籍	株式会社エクスマレッジ	1,944円	
f	フォークリフト運転士テキスト	書籍	建設業労働災害防止協会	1,340円	
g			中央労働災害防止協会	1,620円	
h					

<b>建築基礎多能工(2)</b>		<b>レベル1</b>	建築基礎多能工(2)	概要	建築基礎多能工(1)コース修了者を対象に、型枠施工、フローリング施工を学び、かつ関連作業の資格を取得させる。施工実習として一連の作業を体験させ、安全作業、工程管理、作業間調整を行い、他業種との連携が出来る多能工として現場実務に携わる人材を育成する。
開催頻度: 1回/年	日数: 47日間	受講者数: 4人	定員 15名	対象	初心者(実務経験0~1年)
講師リスト	講師番号	職員/講師	年齢	所属・職種・前職等	資格・免許等(技能講習、特別教育等は省略)
	①	講師			
	②	講師			
	③	講師			
	④	講師			
	⑤	講師			
	⑥	講師			
	⑦	講師			
	⑧	講師			

科目	教科概要	授業形式	使用材料・機材等	数量
1 安全衛生	①社会人の責任と義務 ②挨拶と集団行動 ③教育訓練全体の復習、まとめ、等			
2 型枠工事実習	①手工具の取扱い ②電動工具の取扱い ③躯体図の見方 ④加工図と加工帳 ⑤資材の加工手順 ⑥型枠実習	学科・実習	コンパネ	1式
		実習	トランシット、レベル、三脚、パカポー	2組
		実習	実習用型枠	1式
		実習	型枠工事実習用ユニット	1式
		実習	ベニヤ、桧木	1式
		実習	型枠工事用資材(単管パイプ、パイプサポート、フォームタイ、セパレーター、Pコン、チェーン、番線)	1式
3 施工実習	①資材数量 ②材料加工 ③コンクリート工事 ④管理写真 ⑤工程管理 ⑥環境管理	実習	鉄筋曲げ加工機	1台
		実習	鉄筋切断機	1台
		実習	鉄筋	1式
		実習	トランシット、レベル、三脚、パカポー	2組
		実習	パカポー(運転は講師)	1式
		実習	ランマー	1台
		実習	鉄筋工事用資材(スベサー、結束線等)	1式
		実習	型枠(ベニヤ・桧木)	1式
		実習	型枠工事用資材(単管パイプ、パイプサポート、セパレーター、Pコン、チェーン、番線等)	1式
		実習	コンクリート打設実習用資材	1式
		実習	金縁	4本
		実習	コンクリート打設養生用資材	1式
		実習	木造実習用ユニット(6粘平屋・プレカット)	1台
4 フローリング	①床仕上げの種類 ②フロア材の種類 ③採寸方法 ④施工法 ⑤手工具の取扱い ⑥電動工具の取扱い	実習	床張り実習用下地(3'x6'板3枚にて製作)	4枚
		実習	複合フローリング	1式
		実習	ビニル市木	1式
		実習	内装実習用工具箱	1式
		実習	ノミ、手鋸、押し切り機等	1式
		学科	パソコン、プロジェクター、スクリーン	1式
5 労働安全衛生法	①高所作業車取扱[技能講習] ②フォークリフト運転[技能講習]	実習	高所作業車	1台
		学科	パソコン、プロジェクター、スクリーン	1式
		実習	フォークリフト、パレット	1式

使用図面等	図面名等	数量	備考
1	鉄骨用基礎 図面	1式	
2	課題図面(基礎工事用図面)	1式	基礎伏図、配筋図、鉄筋加工図、加工帳等
3	実習用型枠工事ユニット図面	1式	
4	実習用擁壁型枠ユニット図面	1式	
5	木造実習用ユニット図面	1式	
6			
7			

<b>建築基礎多能工(2)</b>		<b>レベル1</b>	建築基礎多能工(2)	概要	建築基礎多能工(1)コース修了者を対象に、型枠施工、フローリング施工を学び、かつ関連作業の資格を取得させる。施工実習として一連の作業を体験させ、安全作業、工程管理、作業間調整を行い、他業種との連携が出来る多能工として現場実務に携わる人材を育成する。
開催頻度: 1回/年	日数: 47日間	受講者数: 4人	定員 15名	対象	初心者(実務経験0~1年)
実習用ユニット・教材等					

型枠工事実習用ユニット



木造実習用ユニット



床張り実習用下地(3'x6'板3枚)





カリキュラムシート 建築基礎多能工(2)

実施日	平成26年9月1日				
時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午後	学科	【安全衛生】 授業内容、注意事項等説明	2h	①	【入校のしおり】

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済		延べ時間	使用機材	
			学科	実習			
	1	安全衛生	学科	2h	6h		
			実習				
	2	型枠工事実習	学科	0h	38h		
			実習	0h	74h		
	3	施工実習	学科	0h	10h		
			実習	0h	142h		
	4	フローリング	学科	0h	5h		
			実習	0h	43h		
	5	安全衛生作業法	学科	0h	21h		
			実習	0h	35h		

カリキュラムシート 建築基礎多能工(2)

実施日	平成26年9月2日				
時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	学科	【フローリング(木造住宅の床張り)】 ・モジュール(尺、インチ、メートル)、 ・床の張り方(突き付け、通常の張り方) ・その他説明	4h	②	
午後	実習	【フローリング(木造住宅の床張り)】 ・釘打ち、釘締め練習 ・差し矩の使い方、勾配の出し方 ・階段の施工方法 ・手引き練習	4h	②	

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済		延べ時間	使用機材	
			学科	実習			
	1	安全衛生	学科	2h	6h		
			実習				
	2	型枠工事実習	学科	0h	38h		
			実習	0h	74h		
	3	施工実習	学科	0h	10h		
			実習	0h	142h		
	4	フローリング	学科	4h	5h		
			実習	4h	43h		
	5	安全衛生作業法	学科	0h	21h		
			実習	0h	35h		

カリキュラムシート 建築基礎多能工(2)

実施日	平成26年9月3日				
時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	学科	【フローリング(木造住宅の床張り)】 ・社会人としての意識	1h	②	
午前	実習	【フローリング(木造住宅の床張り)】 ・90度にほぞ穴・地獄ホゾ(ノミ)	3h	②	
午後	学科	【フローリング(木造住宅の床張り)】 ・押し切り機の使い方、額縁制作 (4角形・5角形・6角形、手鉋で調整)	4h	②	

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済		延べ時間	使用機材	
			学科	実習			
	1	安全衛生	学科	2h	6h		
			実習				
	2	型枠工事実習	学科	0h	38h		
			実習	0h	74h		
	3	施工実習	学科	0h	10h		
			実習	0h	142h		
	4	フローリング	学科	5h	5h		
			実習	11h	43h		
	5	安全衛生作業法	学科	0h	21h		
			実習	0h	35h		

カリキュラムシート 建築基礎多能工(2)

実施日	平成26年9月4日				
時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	学科	【施工計画】 ・基礎 図面考察	4h	②	【参考鉄骨用基礎図面一式】
午後	学科	【施工計画】 ・基礎 図面考察	4h	②	【参考鉄骨用基礎図面一式】

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済		延べ時間	使用機材	
			学科	実習			
	1	安全衛生	学科	2h	6h		
			実習				
	2	型枠工事実習	学科	0h	38h		
			実習	0h	74h		
	3	施工実習	学科	8h	10h		
			実習	0h	142h		
	4	フローリング	学科	5h	5h		
			実習	11h	43h		
	5	安全衛生作業法	学科	0h	21h		
			実習	0h	35h		

カリキュラムシート 建築基礎多能工(2)

実施日	平成26年9月5日				
時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	実習	【施工計画】 ・実習用鉄骨基礎図面計画 (工程・段取り・数量拾い等)	4h	③	
午後	実習	【施工計画】 ・実習用鉄骨基礎図面計画 (工程・段取り・数量拾い等)	4h	③	
		→作図は実習とする			

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済		延べ時間		使用機材		
	学科	実習	2h	6h					
	1	安全衛生	学科	2h	6h				
			実習						
	2	型枠工事実習	学科	0h	38h				
			実習	0h	74h				
	3	施工実習	学科	8h	10h				
			実習	8h	142h				
	4	フローリング	学科	5h	5h				
			実習	11h	43h				
	5	安全衛生作業法	学科	0h	21h				
			実習	0h	35h				

カリキュラムシート 建築基礎多能工(2)

実施日	平成26年9月6日				
時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	学科	【型枠工事実習】 ・型枠材料の説明	4h	④	
午後	学科	【型枠工事実習】 ・図面の見方	2h	④	[課題図面(型枠工事用図面)一式]
午後	学科	【型枠工事実習】 ・加工図の拾い方	2h	④	[課題図面(型枠工事用図面)一式]

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済		延べ時間		使用機材		
	学科	実習	2h	6h					
	1	安全衛生	学科	2h	6h			コンパネ	1式
			実習					型枠工事用資材	1式
	2	型枠工事実習	学科	8h	38h				
			実習	0h	74h				
	3	施工実習	学科	8h	10h				
			実習	8h	142h				
	4	フローリング	学科	5h	5h				
			実習	11h	43h				
	5	安全衛生作業法	学科	0h	21h				
			実習	0h	35h				

カリキュラムシート 建築基礎多能工(2)

実施日	平成26年9月8日				
時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前・午後	学科	【型枠工事実習】 ・加工図の拾い方	5h	④	[課題図面(基礎工事用図面)一式]
午後	学科	【型枠工事実習】 ・墨出し・加工作業について	1h	④	
午後	学科	【型枠工事実習】 ・型枠支保工に作用する力	2h	④	

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済		延べ時間		使用機材		
	学科	実習	2h	6h					
	1	安全衛生	学科	2h	6h				
			実習						
	2	型枠工事実習	学科	16h	38h				
			実習	0h	74h				
	3	施工実習	学科	8h	10h				
			実習	8h	142h				
	4	フローリング	学科	5h	5h				
			実習	11h	43h				
	5	安全衛生作業法	学科	0h	21h				
			実習	0h	35h				

カリキュラムシート 建築基礎多能工(2)

実施日	平成26年9月9日				
時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	学科	【フォークリフト運転技能講習】 ・走行装置の構造、取扱方法の知識	4h	⑤	[フォークリフト運転士テキスト] ・第1編 P1~P22 ・第2編 P23~P79
午後	学科	【フォークリフト運転技能講習】 ・荷役装置の構造、取扱方法の知識	4h	⑤	[フォークリフト運転士テキスト] ・第3編 P80~P115

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済		延べ時間		使用機材		
	学科	実習	2h	6h					
	1	安全衛生	学科	2h	6h			プロジェクター	1台
			実習					スクリーン	1台
	2	型枠工事実習	学科	16h	38h				
			実習	0h	74h				
	3	施工実習	学科	8h	10h				
			実習	8h	142h				
	4	フローリング	学科	5h	5h				
			実習	11h	43h				
	5	安全衛生作業法	学科	8h	21h				
			実習	0h	35h				

カリキュラムシート 建築基礎多能工(2)

実施日	平成26年9月10日				
時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	学科	【フォークリフト運転技能講習】 ・荷役装置の構造、取扱方法の知識 ・運転のための力学の知識 ・災害事例	4h	⑤	【フォークリフト運転士テキスト】 ・第3編 P80～P115 ・第4編 P117～P152 ・第5編 P153～P180 ・第6編 P171～P260
午後	学科	【フォークリフト運転技能講習】 ・学科修了試験	1h	⑤	
午後	実習	【フォークリフト運転技能講習】 ・走行の操作	3h	⑤	

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済		延べ時間		使用機材	
	学科	実習	2h	6h				
1	安全衛生	学科	2h	6h			プロジェクター	1台
		実習					スクリーン	1台
							フォークリフト	1式
2	型枠工事実習	学科	16h	38h				
		実習	0h	74h				
3	施工実習	学科	8h	10h				
		実習	8h	142h				
4	フローリング	学科	5h	5h				
		実習	11h	43h				
5	安全衛生作業法	学科	13h	21h				
		実習	3h	35h				

カリキュラムシート 建築基礎多能工(2)

実施日	平成26年9月11日				
時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	実習	【フォークリフト運転技能講習】 ・走行の操作	4h	⑤	
午前	実習	【フォークリフト運転技能講習】 ・走行の操作	4h	⑤	

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済		延べ時間		使用機材	
	学科	実習	2h	6h				
1	安全衛生	学科	2h	6h			フォークリフト	1式
		実習					パレット	1式
2	型枠工事実習	学科	16h	38h				
		実習	0h	74h				
3	施工実習	学科	8h	10h				
		実習	8h	142h				
4	フローリング	学科	5h	5h				
		実習	11h	43h				
5	安全衛生作業法	学科	13h	21h				
		実習	11h	35h				

カリキュラムシート 建築基礎多能工(2)

実施日	平成26年9月12日				
時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	実習	【フォークリフト運転技能講習】 ・走行の操作	4h	⑤	
午前	実習	【フォークリフト運転技能講習】 ・走行の操作	3h	⑤	
			1h		

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済		延べ時間		使用機材	
	学科	実習	2h	6h				
1	安全衛生	学科	2h	6h			フォークリフト	1式
		実習					パレット	1式
2	型枠工事実習	学科	16h	38h				
		実習	0h	74h				
3	施工実習	学科	8h	10h				
		実習	8h	142h				
4	フローリング	学科	5h	5h				
		実習	11h	43h				
5	安全衛生作業法	学科	13h	21h				
		実習	19h	35h				

カリキュラムシート 建築基礎多能工(2)

実施日	平成26年9月13日				
時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	実習	【フォークリフト運転技能講習】 ・走行の操作	2h	⑤	
午前・午後	実習	【フォークリフト運転技能講習】 ・走行の操作 ・荷役の操作	5h	⑤	
午後	実習	【フォークリフト運転技能講習】 ・実技修了試験	1h		

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済		延べ時間		使用機材	
	学科	実習	2h	6h				
1	安全衛生	学科	2h	6h			フォークリフト	1式
		実習					パレット	1式
2	型枠工事実習	学科	16h	38h				
		実習	0h	74h				
3	施工実習	学科	8h	10h				
		実習	8h	142h				
4	フローリング	学科	5h	5h				
		実習	11h	43h				
5	安全衛生作業法	学科	13h	21h				
		実習	27h	35h				

カリキュラムシート 建築基礎多能工(2)

実施日	平成26年9月15日				
時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	学科	【高所作業車運転技能講習】 ・作業に関する装置の構造及び取扱の方法に関する知識	4h	⑥	【高所作業車運転者教本】 ・第1章(P.1-22) ・第2章(P.23-90)
午後	学科	【高所作業車運転技能講習】 ・原動機に関する知識 ・運転に必要な一般の事項	2h	⑥	【高所作業車運転者教本】 ・第3章(P.91-138) ・第4章(P.139-162)
午後	学科	【高所作業車運転技能講習】 ・関係法令	1h	⑥	【高所作業車運転者教本】 ・第5章(P.163-210)
午後	学科	【高所作業車運転技能講習】 ・学科修了試験	1h	⑥	

科目別 訓練時間	訓練科目	実施済		延べ時間	使用機材	
		学科	実習			
	1 安全衛生	学科	2h	6h	プロジェクター	1台
		実習			スクリーン	1台
	2 型枠工事実習	学科	16h	38h		
		実習	0h	74h		
	3 施工実習	学科	8h	10h		
実習		8h	142h			
4 フローリング	学科	5h	5h			
	実習	11h	43h			
5 安全衛生作業法	学科	21h	21h			
	実習	27h	35h			

カリキュラムシート 建築基礎多能工(2)

実施日	平成26年9月16日				
時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前・午後	実習	【高所作業車運転技能講習】 ・作業に関する装置の操作 ・定められた方法による作業床の昇降	6h	⑥	
午後	実習	【高所作業車運転技能講習】 ・実技修了試験	2h	⑥	

科目別 訓練時間	訓練科目	実施済		延べ時間	使用機材	
		学科	実習			
	1 安全衛生	学科	2h	6h	高所作業車	1台
		実習				
	2 型枠工事実習	学科	16h	38h		
		実習	0h	74h		
	3 施工実習	学科	8h	10h		
実習		8h	142h			
4 フローリング	学科	5h	5h			
	実習	11h	43h			
5 安全衛生作業法	学科	21h	21h			
	実習	35h	35h			

カリキュラムシート 建築基礎多能工(2)

実施日	平成26年9月17日				
時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	実習	【フローリング】 ・ロープワーク(荷台の荷物固定) ・釘打ち、釘締め	2h	②	
午前	実習	【フローリング】 ・実習用の枠製作(900x1800)	1h	②	
午前・午後	実習	【フローリング】 ・全面突きつけ施工 (手鋸・ノミ・カンナにて材料加工)	5h	②	

科目別 訓練時間	訓練科目	実施済		延べ時間	使用機材	
		学科	実習			
	1 安全衛生	学科	2h	6h	複合フローリング	1式
		実習			内装実習用工具類	1式
	2 型枠工事実習	学科	16h	38h		
		実習	0h	74h		
	3 施工実習	学科	8h	10h		
実習		8h	142h			
4 フローリング	学科	5h	5h			
	実習	19h	43h			
5 安全衛生作業法	学科	21h	21h			
	実習	35h	35h			

カリキュラムシート 建築基礎多能工(2)

実施日	平成26年9月18日				
時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	実習	【フローリング】 ・ロープワーク(荷台の荷物固定) ・釘打ち、釘締め	1h	②	
午前	実習	【フローリング】 ・全面突きつけ施工 (手鋸・ノミ・カンナにて材料加工) ・解体	3h	②	
午後	実習	【フローリング】 ・3x6板3枚の床張り下地製作 ※巾木付、框付、排水パイプ有り	4h	②	

科目別 訓練時間	訓練科目	実施済		延べ時間	使用機材	
		学科	実習			
	1 安全衛生	学科	2h	6h	複合フローリング	1式
		実習			内装実習用工具類	1式
	2 型枠工事実習	学科	16h	38h	床張り実習用下地	4台
		実習	0h	74h		
	3 施工実習	学科	8h	10h		
実習		8h	142h			
4 フローリング	学科	5h	5h			
	実習	27h	43h			
5 安全衛生作業法	学科	21h	21h			
	実習	35h	35h			

カリキュラムシート 建築基礎多能工(2)

実施日	平成26年9月19日				
時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	実習	【フローリング】 ・3x6'板3枚の床張り下地製作	2h	②	
午前・午後	実習	【フローリング】 ・巾木取付式の床張り(突きつけ) (床張りのみ完了まで)	6h	②	

科目別 訓練時間	訓練科目	実施済		延べ時間	使用機材
		学科	実習		
	1 安全衛生	2h	6h		床張り実習用下地 4台
	2 型枠工事実習	16h	38h		複合フローリング 1式
		0h	74h		ビニル巾木 1式
	3 施工実習	8h	10h		内装実習用工具類 1式
		8h	142h		
4 フローリング	5h	5h			
5 安全衛生作業法	21h	21h			
	35h	35h			

カリキュラムシート 建築基礎多能工(2)

実施日	平成26年9月20日				
時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	実習	【フローリング】 ・巾木取付	4h	②	
午後	実習	【フローリング】 ・解体	1h	②	
午後	実習	【フローリング】 ・茅葺き古民家、浅間神社等見学	3h	②	

科目別 訓練時間	訓練科目	実施済		延べ時間	使用機材
		学科	実習		
	1 安全衛生	2h	6h		床張り実習用下地 4台
	2 型枠工事実習	16h	38h		複合フローリング 1式
		0h	74h		ビニル巾木 1式
	3 施工実習	8h	10h		内装実習用工具類 1式
		8h	142h		
4 フローリング	5h	5h			
5 安全衛生作業法	21h	21h			
	35h	35h			

カリキュラムシート 建築基礎多能工(2)

実施日	平成26年9月22日				
時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	実習	【型枠工事実習】 ・型枠の墨出し法	2h	④	※実習場にて組立済み型枠等を用いて解説
午前	実習	【型枠工事実習】 ・側圧のかりり方	2h	④	※実習場にて組立済み型枠等を用いて解説
午後	実習	【型枠工事実習】 ・解体手順	2h	④	※実習場にて組立済み型枠等を用いて解説
午後	学科	【型枠工事実習】 ・加工図の見方	2h	④	[課題図面(基礎工事用図面)一式]

科目別 訓練時間	訓練科目	実施済		延べ時間	使用機材
		学科	実習		
	1 安全衛生	2h	6h		
	2 型枠工事実習	18h	38h		
		6h	74h		
	3 施工実習	8h	10h		
		8h	142h		
4 フローリング	5h	5h			
5 安全衛生作業法	43h	43h			
	21h	21h			
		35h	35h		

カリキュラムシート 建築基礎多能工(2)

実施日	平成26年9月23日				
時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	実習	【型枠工事実習】(基礎型枠) ・加工図の説明	1h	④	[課題図面(基礎工事用図面)一式]
午前	実習	【型枠工事実習】(基礎型枠) ・ベニヤ敷き ・墨出し説明・実習	3h	④	[課題図面(基礎工事用図面)一式]
午後	実習	【型枠工事実習】 ・レベル出し ・組立実習	4h	④	[課題図面(基礎工事用図面)一式]

科目別 訓練時間	訓練科目	実施済		延べ時間	使用機材
		学科	実習		
	1 安全衛生	2h	6h		レベル 1式
	2 型枠工事実習	18h	38h		三脚 1式
		14h	74h		バカボーン 1式
	3 施工実習	8h	10h		実習用型枠 1式
		8h	142h		
4 フローリング	5h	5h			
5 安全衛生作業法	43h	43h			
	21h	21h			
		35h	35h		

カリキュラムシート 建築基礎多能工(2)

実施日	平成26年9月24日				
時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	実習	【型枠工事実習】(基礎型枠) ・組立実習	4h	④	[課題図面(基礎工事用図面)一式]
午後	実習	【型枠工事実習】(基礎型枠) ・組立実習	4h	④	[課題図面(基礎工事用図面)一式]

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済		延べ時間		使用機材	
	1	安全衛生	学科	2h	実習	6h	実習用型枠	1式
2	型枠工事実習	学科	18h	38h			型枠工事用資材	1式
		実習	22h	74h				
3	施工実習	学科	8h	10h				
		実習	8h	142h				
4	フローリング	学科	5h	5h				
		実習	43h	43h				
5	安全衛生作業法	学科	21h	21h				
		実習	35h	35h				

カリキュラムシート 建築基礎多能工(2)

実施日	平成26年9月25日				
時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	実習	【型枠工事実習】(基礎型枠) ・組立実習	4h	④	[課題図面(基礎工事用図面)一式]
午後	実習	【型枠工事実習】(基礎型枠) ・組立実習	1h	④	[課題図面(基礎工事用図面)一式]
午後	実習	【型枠工事実習】(基礎型枠) ・締固め補強	3h	④	[課題図面(基礎工事用図面)一式]

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済		延べ時間		使用機材	
	1	安全衛生	学科	2h	実習	6h	実習用型枠	1式
2	型枠工事実習	学科	18h	38h			型枠工事用資材	1式
		実習	30h	74h				
3	施工実習	学科	8h	10h				
		実習	8h	142h				
4	フローリング	学科	5h	5h				
		実習	43h	43h				
5	安全衛生作業法	学科	21h	21h				
		実習	35h	35h				

カリキュラムシート 建築基礎多能工(2)

実施日	平成26年9月26日				
時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	学科	【型枠工事実習】 ・工事を受託するまで ・工事管理とは ・工事管理者の職務と日常業務	4h	⑦	[オリジナル資料]
午後	学科	【型枠工事実習】 ・コンクリート型枠の数量拾い	2h	⑦	[課題図面(基礎工事用図面)一式]
午後	学科	【型枠工事実習】 ・工事費の構成 ・原価の成り立ち	2h	⑦	[オリジナル資料]

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済		延べ時間		使用機材	
	1	安全衛生	学科	2h	実習	6h	実習用型枠	1式
2	型枠工事実習	学科	32h	38h			型枠工事用資材	1式
		実習	24h	74h				
3	施工実習	学科	8h	10h				
		実習	8h	142h				
4	フローリング	学科	5h	5h				
		実習	43h	43h				
5	安全衛生作業法	学科	21h	21h				
		実習	35h	35h				

カリキュラムシート 建築基礎多能工(2)

実施日	平成26年9月27日				
時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前・午後	実習	【型枠工事実習】 ・実習用型枠解体	5h	⑦	
午後	学科	【型枠工事実習】 ・水盛り～基礎完了までの施工法 (工程の説明・存置期間・数量拾い等)	3h	⑦	[課題図面(基礎工事用図面)一式]

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済		延べ時間		使用機材	
	1	安全衛生	学科	2h	実習	6h	実習用型枠	1式
2	型枠工事実習	学科	35h	38h			型枠工事用資材	1式
		実習	29h	74h				
3	施工実習	学科	8h	10h				
		実習	8h	142h				
4	フローリング	学科	5h	5h				
		実習	43h	43h				
5	安全衛生作業法	学科	21h	21h				
		実習	35h	35h				

カリキュラムシート 建築基礎多能工(2)

実施日	平成26年9月29日				
時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	学科	【型枠工事実習】 ・実習用型枠の図面の見方 ・加工図の書き方	3h	④	[実習用型枠工事ユニット 図面一式]
午前	実習	【型枠工事実習】 ・敷きベニヤ	1h	④	[実習用型枠工事ユニット 図面一式]
午後	実習	【型枠工事実習】 ・敷き桧木	2h	④	[実習用型枠工事ユニット 図面一式]
午後	実習	【型枠工事実習】 ・柱型枠の組立	2h	④	[実習用型枠工事ユニット 図面一式]

科目別 訓練時間	訓練科目	実施済		延べ時間	使用機材	
		学科	実習			
1	安全衛生	学科	2h	6h	実習用型枠工事ユニット	1式
		実習			ベニヤ	1式
	2 型枠工事実習	学科	38h	38h	桧木	1式
		実習	34h	74h	型枠工事用資材	1式
		実習	8h	10h		
3 施工実習	学科	8h	10h			
	実習	8h	142h			
4 フローリング	学科	5h	5h			
	実習	43h	43h			
5 安全衛生作業法	学科	21h	21h			
	実習	35h	35h			

カリキュラムシート 建築基礎多能工(2)

実施日	平成26年9月30日				
時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	実習	【型枠工事実習】 ・柱型枠の組立 ・梁型枠の組立	4h	④	[実習用型枠工事ユニット 図面一式]
午後	実習	【型枠工事実習】 ・パイプ締め	1h	④	[実習用型枠工事ユニット 図面一式]
午後	実習	【型枠工事実習】 ・スラブ段取り ・スラブ張り ・スラブ天井インサート打ち	3h	④	[実習用型枠工事ユニット 図面一式]

科目別 訓練時間	訓練科目	実施済		延べ時間	使用機材	
		学科	実習			
1	安全衛生	学科	2h	6h	実習用型枠	1式
		実習			ベニヤ	1式
	2 型枠工事実習	学科	38h	38h	桧木	1式
		実習	42h	74h	型枠工事用資材	1式
		実習	8h	10h		
3 施工実習	学科	8h	10h			
	実習	8h	142h			
4 フローリング	学科	5h	5h			
	実習	43h	43h			
5 安全衛生作業法	学科	21h	21h			
	実習	35h	35h			

カリキュラムシート 建築基礎多能工(2)

実施日	平成26年10月1日				
時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	実習	【型枠工事実習】 ・パイプ締め ・角締め	3h	④	[実習用型枠工事ユニット 図面一式]
午前・午後	実習	【型枠工事実習】 ・根がらみ ・番線括り	2h	④	[実習用型枠工事ユニット 図面一式]
午後	実習	【型枠工事実習】 ・解体 ・片付け・清掃	3h	④	[実習用型枠工事ユニット 図面一式]

科目別 訓練時間	訓練科目	実施済		延べ時間	使用機材	
		学科	実習			
1	安全衛生	学科	2h	6h	実習用型枠工事ユニット	1式
		実習			ベニヤ	1式
	2 型枠工事実習	学科	38h	38h	桧木	1式
		実習	50h	74h	型枠工事用資材	1式
		実習	8h	10h		
3 施工実習	学科	8h	10h			
	実習	8h	142h			
4 フローリング	学科	5h	5h			
	実習	43h	43h			
5 安全衛生作業法	学科	21h	21h			
	実習	35h	35h			

カリキュラムシート 建築基礎多能工(2)

実施日	平成26年10月2日				
時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	実習	【型枠工事実習】 ・耐圧止め枠の製作	3h	④	[実習用擁壁型枠ユニット 図面一式]
午前・午後	実習	【型枠工事実習】 ・耐圧止め枠の加工	3h	④	[実習用擁壁型枠ユニット 図面一式]
午後	実習	【型枠工事実習】 ・基礎枠の加工	2h	④	[実習用擁壁型枠ユニット 図面一式]

科目別 訓練時間	訓練科目	実施済		延べ時間	使用機材	
		学科	実習			
1	安全衛生	学科	2h	6h	実習用擁壁型枠ユニット	1式
		実習			型枠工事用資材	1式
	2 型枠工事実習	学科	38h	38h		
		実習	58h	74h		
		実習	8h	10h		
3 施工実習	学科	8h	10h			
	実習	8h	142h			
4 フローリング	学科	5h	5h			
	実習	43h	43h			
5 安全衛生作業法	学科	21h	21h			
	実習	35h	35h			

カリキュラムシート 建築基礎多能工(2)

実施日	平成26年10月3日				
時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前・午後	実習	【型枠工事実習】 ・擁壁の型枠組立	5h	④	[実習用擁壁型枠ユニット 図面一式]
午後	実習	【型枠工事実習】 ・コンクリート打ち込み	3h	④	[実習用擁壁型枠ユニット 図面一式]

科目別 訓練時間	訓練科目	実施済		延べ時間	使用機材	
		学科	実習			
	1 安全衛生	学科	2h	6h	レベル	1式
		実習			三脚	1式
	2 型枠工事実習	学科	38h	38h	バカボーン	1式
		実習	66h	74h	実習用型枠	1式
	3 施工実習	学科	8h	10h		
実習		8h	142h			
4 フローリング	学科	5h	5h			
	実習	43h	43h			
5 安全衛生作業法	学科	21h	21h			
	実習	35h	35h			

カリキュラムシート 建築基礎多能工(2)

実施日	平成26年10月4日				
時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	実習	【型枠工事実習】 ・擁壁基礎墨出し	4h	④	[実習用擁壁型枠ユニット 図面一式]
午後	実習	【型枠工事実習】 ・擁壁基礎型枠組立	3h	④	[実習用擁壁型枠ユニット 図面一式]
午後	実習	【型枠工事実習】 ・片付け、清掃	1h	④	[実習用擁壁型枠ユニット 図面一式]

科目別 訓練時間	訓練科目	実施済		延べ時間	使用機材	
		学科	実習			
	1 安全衛生	学科	2h	6h	トランシット	1式
		実習			三脚	1式
	2 型枠工事実習	学科	38h	38h	バカボーン	1式
		実習	74h	74h	実習用型枠	1式
	3 施工実習	学科	8h	10h		
実習		8h	142h			
4 フローリング	学科	5h	5h			
	実習	43h	43h			
5 安全衛生作業法	学科	21h	21h			
	実習	35h	35h			

カリキュラムシート 建築基礎多能工(2)

実施日	平成26年10月6日				
時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前・午後	実習	【施工実習】 ・鉄筋加工(柱・柱筋) ・鉄筋加工(梁)	8h	③	[課題図面(基礎工事用図面)一式]

科目別 訓練時間	訓練科目	実施済		延べ時間	使用機材	
		学科	実習			
	1 安全衛生	学科	2h	6h	鉄筋曲げ加工機	1式
		実習			鉄筋切断機	1式
	2 型枠工事実習	学科	38h	38h	鉄筋	1式
		実習	74h	74h		
	3 施工実習	学科	8h	10h		
実習		16h	142h			
4 フローリング	学科	5h	5h			
	実習	43h	43h			
5 安全衛生作業法	学科	21h	21h			
	実習	35h	35h			

カリキュラムシート 建築基礎多能工(2)

実施日	平成26年10月7日				
時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	実習	【施工実習】 ・水盛り・遣り方・墨出し	3h	②③	[課題図面(基礎工事用図面)一式]
午前・午後	実習	【施工実習】 ・根切り(サポート、レベル) ※バックホーの操作は講師	5h	②③	[課題図面(基礎工事用図面)一式]

科目別 訓練時間	訓練科目	実施済		延べ時間	使用機材	
		学科	実習			
	1 安全衛生	学科	2h	6h	測量器具	1式
		実習			バックホー	1台
	2 型枠工事実習	学科	38h	38h		
		実習	74h	74h		
	3 施工実習	学科	8h	10h		
実習		24h	142h			
4 フローリング	学科	5h	5h			
	実習	43h	43h			
5 安全衛生作業法	学科	21h	21h			
	実習	35h	35h			



カリキュラムシート 建築基礎多能工(2)

実施日	平成26年10月8日				
時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	実習	【施工実習】 ・根切り(サポート、レベル) ※バックホーの操縦は講師	1h	②③	[課題図面(基礎工事用図面)一式]
午前・午後	実習	【施工実習】 ・砕石敷き ・捨てコン打	5h	②③	[課題図面(基礎工事用図面)一式]
午後	実習	【施工実習】 ・捨てコン打ち	2h	②③	[課題図面(基礎工事用図面)一式]

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済		延べ時間		使用機材		
	学科	実習	2h	6h					
	1	安全衛生	学科	2h	6h			測量器具	1式
			実習					バックホー	1式
	2	型枠工事実習	学科	38h	38h			ランマー	1式
			実習	74h	74h				
	3	施工実習	学科	8h	10h				
		実習	32h	142h					
	4	フローリング	学科	5h	5h				
		実習	43h	43h					
	5	安全衛生作業法	学科	21h	21h				
		実習	35h	35h					

カリキュラムシート 建築基礎多能工(2)

実施日	平成26年10月9日				
時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	実習	【施工実習】 ・捨てコンへの墨出し	1h	②③	[課題図面(基礎工事用図面)一式]
午前・午後	実習	【施工実習】 ・鉄筋組立	7h	②③	[課題図面(基礎工事用図面)一式]

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済		延べ時間		使用機材		
	学科	実習	2h	6h					
	1	安全衛生	学科	2h	6h			測量器具	1式
			実習					チョークライン	1式
	2	型枠工事実習	学科	38h	38h			バックホー	1式
			実習	74h	74h			加工済み鉄筋	1式
	3	施工実習	学科	8h	10h				
		実習	40h	142h					
	4	フローリング	学科	5h	5h				
		実習	43h	43h					
	5	安全衛生作業法	学科	21h	21h				
		実習	35h	35h					

カリキュラムシート 建築基礎多能工(2)

実施日	平成26年10月10日				
時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前・午後	実習	【施工実習】 ・鉄筋組立(地中梁)	8h	②	[課題図面(基礎工事用図面)一式]

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済		延べ時間		使用機材		
	学科	実習	2h	6h					
	1	安全衛生	学科	2h	6h			加工済み鉄筋	1式
			実習					鉄筋工事用資材	1式
	2	型枠工事実習	学科	38h	38h				
			実習	74h	74h				
	3	施工実習	学科	8h	10h				
		実習	48h	142h					
	4	フローリング	学科	5h	5h				
		実習	43h	43h					
	5	安全衛生作業法	学科	21h	21h				
		実習	35h	35h					

カリキュラムシート 建築基礎多能工(2)

実施日	平成26年10月11日				
時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	実習	【施工実習】 ・鉄筋組立(地中梁)	3h	②	[課題図面(基礎工事用図面)一式]
午前・午後	実習	【施工実習】 ・基礎型枠加工(ベニヤ・桧木)	3h	②	[課題図面(基礎工事用図面)一式]
午後	実習	【施工実習】 ・基礎型枠組立	2h	②	[課題図面(基礎工事用図面)一式]

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済		延べ時間		使用機材		
	学科	実習	2h	6h					
	1	安全衛生	学科	2h	6h			加工済み鉄筋	1式
			実習					鉄筋工事用資材	1式
	2	型枠工事実習	学科	38h	38h			型枠	1式
			実習	74h	74h			型枠工事用資材	1式
	3	施工実習	学科	8h	10h				
		実習	56h	142h					
	4	フローリング	学科	5h	5h				
		実習	43h	43h					
	5	安全衛生作業法	学科	21h	21h				
		実習	35h	35h					

カリキュラムシート 建築基礎多能工(2)

実施日	平成26年10月13日				
時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	実習	【施工実習】 ・型枠現場組立(内側)	4h	②	[課題図面(基礎工事用図面)一式]
午後	実習	【施工実習】 ・型枠現場組立(外側)	2h	②	[課題図面(基礎工事用図面)一式]
午後	実習	【施工実習】 ・フォームタイ取付 ・釘打ち	2h	②	[課題図面(基礎工事用図面)一式]

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済		延べ時間		使用機材	
	学科	実習	2h	6h				
1	安全衛生						型枠	1式
							型枠工事用資材	1式
2	型枠工事実習		38h	38h				
3	施工実習		8h	10h				
			64h	142h				
4	フローリング		5h	5h				
			43h	43h				
5	安全衛生作業法		21h	21h				
			35h	35h				

カリキュラムシート 建築基礎多能工(2)

実施日	平成26年10月14日				
時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	実習	【施工実習】 ・型枠(柱下H=200)製作 ・水中ポンプにて水出しの見学 ※天候不良のため水出し	4h	②⑧	[課題図面(基礎工事用図面)一式]
午後	実習	【施工実習】 ・柱下アンカー型どり ・型枠製作	2h	②⑧	[課題図面(基礎工事用図面)一式]
午後	実習	【施工実習】 ・高圧洗浄機で捨てコン洗い ・単管パイプ取付	2h	②⑧	[課題図面(基礎工事用図面)一式]

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済		延べ時間		使用機材	
	学科	実習	2h	6h				
1	安全衛生						合板	1式
							型枠工事用資材	1式
							水中ポンプ(※)	1式
							高圧洗浄機(※)	1式
							※天候不良後の原状回復に使用	
2	型枠工事実習		38h	38h				
3	施工実習		8h	10h				
			72h	142h				
4	フローリング		5h	5h				
			43h	43h				
5	安全衛生作業法		21h	21h				
			35h	35h				

カリキュラムシート 建築基礎多能工(2)

実施日	平成26年10月15日				
時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	実習	【施工実習】 ・アンカー位置出し用合板の取付 ・柱下H=200型枠本体に取り付け ・芯墨をうつす	4h	②⑧	[課題図面(基礎工事用図面)一式]
午後	実習	【施工実習】 ・ポンプ取付 ・D13、L=1000(スラブつなぎ)	4h	②⑧	[課題図面(基礎工事用図面)一式]

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済		延べ時間		使用機材	
	学科	実習	2h	6h				
1	安全衛生						測量器具	1式
							型枠	1式
							型枠工事用資材	1式
2	型枠工事実習		38h	38h				
3	施工実習		8h	10h				
			80h	142h				
4	フローリング		5h	5h				
			43h	43h				
5	安全衛生作業法		21h	21h				
			35h	35h				

カリキュラムシート 建築基礎多能工(2)

実施日	平成26年10月16日				
時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	実習	【施工実習】 ・芯墨(確認) ・型枠下捨てコンとの隙間埋め	4h	②⑧	[課題図面(基礎工事用図面)一式]
午後	実習	【施工実習】 ・コンクリート打設(シューター) ・D13、L=1000差し込み ・道具水洗い、整理	4h	②⑧	[課題図面(基礎工事用図面)一式]

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済		延べ時間		使用機材	
	学科	実習	2h	6h				
1	安全衛生						コンクリート打設実習用資材	1式
							※ミキサー車	
2	型枠工事実習		38h	38h				
3	施工実習		8h	10h				
			88h	142h				
4	フローリング		5h	5h				
			43h	43h				
5	安全衛生作業法		21h	21h				
			35h	35h				

カリキュラムシート 建築基礎多能工(2)

実施日	平成26年10月17日				
時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	実習	【施工実習】 ・スラブ型枠孔開け ・単管を型枠より外し、水洗い、片付け	4h	②⑧	【課題図面(基礎工事用図面)一式]
午後	実習	【施工実習】 ・外周部型枠外し、解体 ・現場廻り清掃 ・コンクリートについての講話	4h	②⑧	【課題図面(基礎工事用図面)一式]

科目別 訓練時間	訓練科目	実施済		延べ時間	使用機材	
		学科	実習			
	1 安全衛生	2h	6h		型枠	1式
	2 型枠工事実習	38h	38h		型枠工事用資材	1式
		74h	74h			
	3 施工実習	8h	10h			
		96h	142h			
4 フローリング	5h	5h				
	43h	43h				
5 安全衛生作業法	21h	21h				
	35h	35h				

カリキュラムシート 建築基礎多能工(2)

実施日	平成26年10月18日				
時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	実習	【施工実習】 ・型枠解体	2h	②⑧	【課題図面(基礎工事用図面)一式]
午前・午後	実習	【施工実習】 ・埋め戻し、転圧	3h	②⑧	【課題図面(基礎工事用図面)一式]
午後	実習	【施工実習】 ・土間コンクリート型枠組立、取付	3h	②⑧	【課題図面(基礎工事用図面)一式]

科目別 訓練時間	訓練科目	実施済		延べ時間	使用機材	
		学科	実習			
	1 安全衛生	2h	6h		型枠	1式
	2 型枠工事実習	38h	38h		型枠工事用資材	1式
		74h	74h		ランマー	1式
	3 施工実習	8h	10h			
		104h	142h			
4 フローリング	5h	5h				
	43h	43h				
5 安全衛生作業法	21h	21h				
	35h	35h				

カリキュラムシート 建築基礎多能工(2)

実施日	平成26年10月20日				
時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	実習	【施工実習】 ・土間スラブ 鉄筋加工	2h	②	【課題図面(基礎工事用図面)一式]
午前・午後	実習	【施工実習】 ・土間スラブ 鉄筋組立	6h	②	【課題図面(基礎工事用図面)一式]

科目別 訓練時間	訓練科目	実施済		延べ時間	使用機材	
		学科	実習			
	1 安全衛生	2h	6h		鉄筋曲げ加工機	1式
	2 型枠工事実習	38h	38h		鉄筋切断機	1式
		74h	74h		鉄筋	1式
	3 施工実習	8h	10h			
		112h	142h			
4 フローリング	5h	5h				
	43h	43h				
5 安全衛生作業法	21h	21h				
	35h	35h				

カリキュラムシート 建築基礎多能工(2)

実施日	平成26年10月21日				
時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	実習	【施工実習】 ・土間スラブ 鉄筋組立	3h	②	【課題図面(基礎工事用図面)一式]
午前・午後	実習	【鉄筋工事実習】 ・コンクリート天端仕上げ墨出し	2h	②	【課題図面(基礎工事用図面)一式]
午後	実習	【鉄筋工事実習】 ・コンクリートスラブ打設 ・コンクリート押さえ	3h	②	【課題図面(基礎工事用図面)一式]

科目別 訓練時間	訓練科目	実施済		延べ時間	使用機材	
		学科	実習			
	1 安全衛生	2h	6h		加工済み鉄筋	1式
	2 型枠工事実習	38h	38h		チョークライン	1式
		74h	74h		コンクリート打設実習用資	1式
	3 施工実習	8h	10h		金銭	1式
		120h	142h			
4 フローリング	5h	5h				
	43h	43h				
5 安全衛生作業法	21h	21h				
	35h	35h				

カリキュラムシート 建築基礎多能工(2)

実施日	平成26年10月22日				
時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前・午後	実習	【施工実習】 ・コンクリート打設養生	5h	②	【課題図面(基礎工事用図面)一式]
午後	実習	【施工実習】 ・木造プレカット6帖組立説明 ・プレカット組立(4人1組)	3h	②	【木造実習用ユニット図面一式】 【建物できるまで図鑑 木造住宅】

科目別 訓練時間	訓練科目	実施済	延べ時間		使用機材	
			学科	実習	養生用資材	1式
科目別 訓練時間	1 安全衛生	学科	2h	6h	養生用資材	1式
		実習			木造実習用ユニット	1台
	2 型枠工事実習	学科	38h	38h		
		実習	74h	74h		
	3 施工実習	学科	8h	10h		
		実習	128h	142h		
	4 フローリング	学科	5h	5h		
		実習	43h	43h		
	5 安全衛生作業法	学科	21h	21h		
		実習	35h	35h		

カリキュラムシート 建築基礎多能工(2)

実施日	平成26年10月23日				
時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	実習	【施工実習】 ・木造プレカット6帖組立 (屋根垂木・間柱)	4h	②	【木造実習用ユニット図面一式】 【建物できるまで図鑑 木造住宅】
午後	実習	【施工実習】 ・鉄骨基礎スラブ型枠解体 ・片付け、清掃	4h	②	

科目別 訓練時間	訓練科目	実施済	延べ時間		使用機材	
			学科	実習	木造実習用ユニット	1台
科目別 訓練時間	1 安全衛生	学科	2h	6h		
		実習				
	2 型枠工事実習	学科	38h	38h		
		実習	74h	74h		
	3 施工実習	学科	8h	10h		
		実習	136h	142h		
	4 フローリング	学科	5h	5h		
		実習	43h	43h		
	5 安全衛生作業法	学科	21h	21h		
		実習	35h	35h		

カリキュラムシート 建築基礎多能工(2)

実施日	平成26年10月24日				
時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前・午後	実習	【施工実習】 ・木造プレカット6帖解体 ・片付け	6h	②	
午後	学科	【施工実習】 ・基礎工事施工管理報告書の作成 (書類作成、引き渡し)	2h	②	

科目別 訓練時間	訓練科目	実施済	延べ時間		使用機材	
			学科	実習	木造実習用ユニット	1台
科目別 訓練時間	1 安全衛生	学科	2h	6h		
		実習				
	2 型枠工事実習	学科	38h	38h		
		実習	74h	74h		
	3 施工実習	学科	10h	10h		
		実習	142h	142h		
	4 フローリング	学科	5h	5h		
		実習	43h	43h		
	5 安全衛生作業法	学科	21h	21h		
		実習	35h	35h		

カリキュラムシート 建築基礎多能工(2)

実施日	平成26年10月23日				
時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	学科	【安全衛生】 ・訓練まとめ ・レポート ・修了式	4h	①	

科目別 訓練時間	訓練科目	実施済	延べ時間		使用機材	
			学科	実習		
科目別 訓練時間	1 安全衛生	学科	6h	6h		
		実習				
	2 型枠工事実習	学科	38h	38h		
		実習	74h	74h		
	3 施工実習	学科	10h	10h		
		実習	142h	142h		
	4 フローリング	学科	5h	5h		
		実習	43h	43h		
	5 安全衛生作業法	学科	21h	21h		
		実習	35h	35h		

2015

土日開催講習  
多数あり

仕事・就職に役立つ資格

# 受講生募集案内

- 建設関係の教育・訓練についてはお気軽にご相談ください。
- 貴事業所のご要望にフィットした講習をご提案します。
- 受講申込状況など最新の情報は、当センターホームページをご覧ください。



[写真]  
第20回 滋賀県建設業協会  
夢けんせつフォトコンテスト グランプリ  
『高い所はおまかせ』  
熊本県 木原 雄三 さん

求職中の方の受講も歓迎です!

無料駐車場60台完備!

遠方の方には宿泊施設を完備!36名宿泊可能

CPDS登録講習多数をご用意しております!

## 1級技能士コース 通学制 / 通信制

- 鉄筋施工・とび・型枠施工・配管
- 修了者は技能検定学科試験が免除になります!

## 技能講習

- 車両系建設機械(整地等)・車両系建設機械(解体用)
- 小型移動式クレーン・玉掛け・高所作業車
- フォークリフト・石綿作業主任者・足場の組立等作業主任者・型枠支保工作業主任者

## 専門研修

- 新入社員研修(建築コース・土木コース)・土木積算研修
- 測量技能研修・職長安全衛生責任者研修
- 施工計画研修

新規開設講習!

- (1)「伐木等の業務特別教育(チェーンソー)」
- (2)「小型車両系建設機械特別教育」
- (3)「高所作業車特別教育」

さん だ  
**三田建設技能研修センター**

職業訓練法人 近畿建設技能研修協会

ホームページ / <http://www.kensetsu-sanda.ac.jp>

資料編4-76

平成27年度開講コース一覧

消費税増税が実施された場合はそれに伴い受講料が改定されます。

⊕ キャリア形成促進助成金又はキャリアアップ助成金 ⊕ 建設労働者確保育成助成金

講習名		CPDS	日数	回	日程	曜日	受講料(消費税・テキスト代含む) (雇用保険適用外)	助成金	詳細案内ページ		
技能士コース	鉄筋施工	1級 技能士コース [通学制]	-	15日間	①	5月20日～ 9月 2日	水	36,000円(46,200円)	⊕	3	
		1級 技能士コース [通信制]	-	9回	①	5月 1日～ 2月21日		39,000円(49,300円)	なし		
		『技能検定実技試験』 受検前講習	施工図作成・組立てコース	-	3日間	①	平成28年1月～2月予定		26,700円(30,800円)		⊕
			施工図作成コース	-	2日間	①		14,400円(16,400円)	なし		
			組立てコース	-	1日間	①		12,300円(14,400円)	なし		
	施型工枠	1級 技能士コース [通学制]	-	15日間	①	5月17日～ 9月 6日	日	36,000円(46,200円)	⊕	4	
		1級 技能士コース [通信制]	-	9回	①	5月 1日～ 2月 7日		39,000円(49,300円)	なし		
		1級 技能士コース [通学制]	-	15日間	①	10月18日～ 2月14日	日	36,000円(46,200円)	⊕		
		1級 技能士コース [通信制]	-	9回	①	5月 1日～ 2月21日		39,000円(49,300円)	なし		
		『技能検定実技試験』受検前講習	-	2日間	①	7月予定		20,500円(24,600円)	⊕		
とび	1級 技能士コース [通学制]	-	18日間	①	4月18日～ 9月 5日	土	40,100円(50,400円)	⊕	4		
	1級 技能士コース [通信制]	-	10回	①	4月 1日～ 2月 7日		44,200円(54,500円)	なし			
	配管	『技能検定実技試験』受検前講習 [1・2・3級受検者向け]	-	3日間	①	11月～12月予定		未定		⊕	
		『学科試験』受検前講習[1・2・3級受検者向け]	-	1日間	①		なし				
専門研修	新入社員実務研修[建築技術コース]	26ユニット	4日間	①	6月 9日～12日	火・全	会 員28,800円(30,800円) 会 員外32,900円(34,900円)	⊕	5		
	新入社員実務研修[土木技術コース]	25ユニット		②	6月23日～26日	火・全					
	測量技能研修	28ユニット	4日間	①	4月21日～24日	火・全	会 員32,900円(34,900円) 会 員外37,000円(39,000円)	なし	6		
	土木積算研修	14ユニット		②	10月20日～23日	火・全					
	職長・安全衛生責任者研修	14ユニット	2日間	①	5月 9日～10日	土	15,400円	なし	6		
				②	7月11日～12日	土					
				③	9月12日～13日	土					
				④	11月14日～15日	土					
				⑤	平成28年3月 5日～ 6日	土					
	施工計画研修	姫路	12ユニット	2日間	①	6月15日～16日	月火	会 員30,800円(32,900円) 会 員外33,900円(36,000円)	なし	6	
	資格対策	『土木施工管理技術検定試験』 受験準備講習 [1・2級]	神戸	20ユニット	3日間	①	1級 5月27日～29日	水・全	兵庫建設業協会との共催 コースです。	7	
			鹿児島	-	4日間	①	2級 9月 2日～ 4日	水・全			
		『2級建設業経理士試験』受験準備講習	-	2日間	①	平成28年1月予定		技研研修センターとの共催 コースです。	⊕	7	
		『給水装置工事主任技術者試験』 受験準備講習	三田 大津	18ユニット	3日間	①	8月26日～28日	水・全			会 員38,500円 会 員外46,200円
		『2級建設機械施工技術検定試験』受験準備講習	-	24ユニット	4日間	①	5月26日～29日	火・全	会 員36,000円(38,000円) 会 員外40,100円(42,100円)	なし	8
		『2級建設機械施工技術検定実地試験』受験準備講習	-	1日間	①	8月19日	水	1種又は2種のいずれか15,400円 1種及び2種の両方20,500円			
		『1・2級舗装施工管理技術者 試験』受験準備講習	山口	-	3日間	①	4月～5月予定		技研研修センターとの共催 コースです。	⊕	8
			三田	登録予定		②	5月予定		会 員45,000円 会 員外48,000円		
		仮設安全監理者資格取得講習会	-	-	1日間	①	5月 8日	金	全国仮設安全事業協同組合との 共催コースです。	なし	8
			-	-	②	11月20日	金				
エコアクション21講習	概要	-	1日間	①	平成27年3月予定		兵庫建設業協会会員様向け コースです。	なし	9		
	演習	-	4日間	①	4月～9月予定						
土木施工管理技術研修会	登録予定	-	1日間	①	未定		内容は未定です。決定したい ホームページに掲載いたします。	なし	9		
建設の情報化セミナー	登録予定	-	1日間	①	4月～11月予定						
特別教育等	伐木等の業務特別教育(チェーンソー) <b>NEW</b>	7ユニット	2日間	①	4月 4日～ 5日	土	12,600円	なし	9		
	小型車両系建設機械特別教育 <b>NEW</b>	7ユニット	2日間	①	4月24日～25日	金	15,500円				
			②	6月19日～20日	金						
	高所作業車特別教育 <b>NEW</b>	5ユニット	2日間	①	4月24日～25日	金	13,500円		10		
	酸素欠乏・硫化水素危険作業特別教育	3ユニット	1日間	①	5月23日	土	8,000円				
				②	8月22日	土					
				③	10月18日	日					
④				平成28年3月13日	日						
刈払機取扱作業安全衛生教育	4ユニット	1日間	①	5月16日	土	9,200円	なし	10			
		②	9月26日	土	9,200円						
自由研削砥石特別教育	4ユニット	1日間	①	6月 6日	土	9,200円	なし	10			

講習名		CPDS	日数	回	日程	曜日	受講料(消費税・テキスト代含む)	助成金	詳細案内ページ	
作業主任者技能講習	石綿作業主任者技能講習 兵労基安登録第15号(期間H31年3月)	6ユニット	2日間	①	6月6日～7日	土日	12,000円	なし	11	
			②	11月28日～29日	土日					
	足場の組立て等作業主任者技能講習 兵労基安登録第215号(期間H31年3月)	7ユニット	2日間	①	4月25日～26日	土日	9,700円	●		
		②	6月20日～21日	土日						
		③	11月7日～8日	土日						
	型枠支保工の組立て等作業主任者技能講習 兵労基安登録第216号(期間H31年3月)	7ユニット	2日間	①	平成28年2月13日～14日	土日	9,700円	●		
			②	5月23日～24日	土日					
車両系建設機械 運転技能講習	車両系建設機械運転技能講習(解体用) 技能特例講習 兵庫労働局長指定第2号	-	1日間	①	4月21日	火	第1種 6,100円 第3種 9,200円	●	12	
				②	5月23日	土				
				③	6月25日	木				
		解体用 兵労基安登録第153号 (期間H31年3月)	4ユニット	1日間	①	4月21日	火	19,100円		●
				②	5月23日	土				
				③	6月25日	木				
				④	8月22日	土				
				⑤	10月10日	土				
				⑥	平成28年1月29日	金				
		整地・運搬・ 積み込み用、 及び掘削用 兵労基安登録第118号 (期間H31年3月)	8ユニット	2日間	①	4月9日～10日	木金	39,900円		●
				②	5月14日～15日	木金				
				③	6月23日～24日	火水				
			④	8月20日～21日	木金					
			⑤	9月15日～16日	火水					
			⑥	10月8日～9日	木金					
			⑦	11月26日～27日	木金					
			⑧	平成28年1月27日～28日	水木					
小型移動式クレーン運転技能講習 兵労基安登録第150号(期間H31年3月)		11ユニット	3日間	①	4月15日～17日	水～金	26,700円	●	13	
				②	5月20日～22日	水～金				
				③	6月12日～14日	金～日				
				④	7月8日～10日	水～金				
				⑤	8月6日～8日	木～土				
				⑥	9月2日～4日	水～金				
				⑦	9月29日～10月1日	火～木				
				⑧	10月16日～18日	金～日				
				⑨	11月17日～19日	火～木				
				⑩	12月3日～5日	木～土				
				⑪	平成28年1月13日～15日	水～金				
				⑫	平成28年2月4日～6日	木～土				
				⑬	平成28年3月9日～11日	水～金				
玉掛け技能講習 兵労基安登録第193号(期間H31年3月)		11ユニット	3日間	①	4月10日～12日	金～日	17,400円	●	13	
				②	5月13日～15日	水～金				
				③	6月2日～4日	火～木				
				④	6月26日～28日	金～日				
				⑤	8月27日～29日	木～土				
				⑥	9月11日～13日	金～日				
				⑦	10月7日～9日	水～金				
				⑧	11月13日～15日	金～日				
				⑨	11月25日～27日	水～金				
				⑩	平成28年1月6日～8日	水～金				
				⑪	平成28年1月26日～28日	火～木				
				⑫	平成28年3月3日～5日	木～土				
高所作業車運転技能講習 兵労基安登録第226号(期間H31年3月)		8ユニット	2日間	①	4月18日～19日	土日	36,000円	●	13	
				②	5月8日～9日	金土				
				③	6月19日～20日	金土				
				④	7月4日～5日	土日				
				⑤	8月6日～7日	木金				
				⑥	9月9日～10日	水木				
				⑦	10月2日～3日	金土				
				⑧	11月7日～8日	土日				
				⑨	12月11日～12日	金土				
				⑩	平成28年1月15日～16日	金土				
				⑪	平成28年2月16日～17日	火水				
				⑫	平成28年3月11日～12日	金土				
フォークリフト運転技能講習 兵労基安登録第241号(期間H31年3月)		-	4日コース	①	4月4日～5日,11日～12日	土日	29,600円	●	14	
				②	4月18日～21日	土～火				
				③	5月8日～11日	金～月				
				④	5月16日～17日,23日～24日	土日				
				⑤	6月6日～7日,13日～14日	土日				
				⑥	8月18日～21日	火～金				
				⑦	8月29日～30日,9月5日～6日	土日				
				⑧	9月26日～27日,10月3日～4日	土日				
				⑨	10月22日～25日	木～日				
				⑩	11月7日～8日,14日～15日	土日				
				⑪	11月28日～29日,12月5日～6日	土日				
				⑫	平成28年1月9日～10日,16日～17日	土日				
				⑬	平成28年1月30日～31日,2月6日～7日	土日				
				⑭	平成28年2月20日～23日	土～火				
				⑮	平成28年3月5日～6日,12日～13日	土日				
		-	2日コース	①	5月16日～17日	土日	21,300円	なし		
			②	11月28日～29日	土日					
			③	平成28年3月5日～6日	土日					

三田建設技能研修センター 訓練・講習コース及びテキスト(建築)

訓練課程の凡例			
建築系技術者	土木系技術者	労安衛法資格	技能系講習

建築	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4
建築 施工 管理	コース名 新入社員業務研修 建築技術コース 4日間			
	テキスト 施工計画ガイドブック(工事編1) 品質管理建築施工管理チェックリスト(新訂3版) 建築数量積算基準・同解説 建築工事内訳書標準書式 工事請負契約約款 新入社員マニュアル 等			
鉄筋 施工	コース名		1級技能士 鉄筋施工科 (通学制15日間・通信制)	
	テキスト		鉄筋技能士教育テキスト(社団法人全国鉄筋工事業協会)	
	コース名		技能検定実技試験受験前講習(鉄筋施工図作成コース)2日間	
	テキスト		実技試験例題 等	
型枠 施工	コース名		1級技能士 型枠施工科 (通学制15日間・通信制)	
	テキスト		型枠(施工)必修 (社団法人日本大工工事業協会)	
	コース名		技能検定実技試験受験前講習(27年度は要綱なし)	
	テキスト			
とび	コース名		1級技能士 とび科 (通学制15日間・通信制)	
	テキスト		技能士とび科教科書(当協会編)	
	コース名		技能検定実技試験受験前講習(とび作業コース)2日間	
	テキスト		1・2級とび技能検定実技試験例題 審査および筆記	
配管	コース名		1級技能士 配管科 (通学制18日間・通信制)	
	テキスト		1級技能士コース配管科教科書(職業能力開発大学校) 1級技能士コース配管科選択・建築配管施工法(職業能力開発大学校)	
	コース名	3級技能検定実技試験受験前講習(建築配管)2日間	2級技能検定実技試験受験前講習(建築配管)3日間	1級技能検定実技試験受験前講習(建築配管)3日間
	テキスト	実技試験作業手順 作業試験例題 ペーパーテスト例題 等	実技試験作業手順 作業試験例題 ペーパーテスト例題 等	実技試験作業手順 作業試験例題 ペーパーテスト例題 等
	コース名	3級技能検定実技試験受験前講習(建築配管)1日間	2級技能検定実技試験受験前講習(建築配管)1日間	1級技能検定実技試験受験前講習(建築配管)1日間
	テキスト	独自テキスト	独自テキスト	独自テキスト
職生 責任者 安全衛	コース名		職長・安全衛生責任者研修 2日間	
	テキスト		職長・安全衛生教育テキスト (建築防刊2,000円)	
測量	コース名	測量技能研修 4日間		
	テキスト	測量士補受験用図解テキスト-測量の基礎知識		
作業 主任者 技能 講習	コース名		足場の組立て等作業主任者技能講習 2日間	
	テキスト		『足場の組立て等工事の作業指針』 厚生労働省労働基準局安全監修 建設業災害防止協会編集・発行	
	コース名		型枠支保工の組立て等作業主任者技能講習 2日間	
	テキスト		『型枠支保工の組立て・解体工事の作業指針』 厚生労働省労働基準局安全監修 建設業災害防止協会編集・発行	
	コース名	石鐘作業主任者技能講習 2日間		
特別 教育 等	コース名	伐木等の業務特別教育(胸高直径70cm未満) 2日間		
	テキスト			
	コース名	小型車両系建設機械業務特別教育 2日間		
	テキスト			
	コース名	高所作業車特別教育 2日間		
	テキスト			
	コース名	酸素欠乏・硫化水素危険作業特別教育 1日間		
	テキスト			
	コース名	刈払機取扱作業安全衛生教育 1日間		
	テキスト			
技能 講習	コース名	車両系建設機械運転技能講習(解体用) 1日間		
	テキスト	『車両系建設機械運転者教本(解体用)』 建築防刊		
	コース名	車両系建設機械運転技能講習(整地・運搬・積込み用及び掘削用) 2日間		
	テキスト	『車両系建設機械運転者教本』 建築防刊		
	コース名	車両系建設機械運転技能講習(解体用)技能特別講習		
	テキスト			
	コース名	小型移動式クレーン運転技能講習 3日間		
	テキスト	『小型移動式クレーンの運転』 社団法人日本クレーン協会		
	コース名	玉掛け技能講習 3日間		
	テキスト	『玉掛け作業必修』 社団法人日本クレーン協会発行		
	コース名	高所作業車運転技能講習 2日間		
	テキスト	『高所作業車運転者教本』 厚生労働省労働局安全監修建設業労働災害防止協会発行		
コース名	フォークリフト運転技能講習 4日間			
テキスト	『フォークリフト運転士テキスト』 厚生労働省安全衛生課編			



三田建設技能研修センター 訓練・講習コース及びテキスト(土木)

訓練課程の凡例			
建築系技術者	土木系技術者	労安衛生資格	技能系講習

土木	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4
土木 施工 管理	コース名	新入社員実務研修 土木技術コース 4日間	土木積算研修 2日間	土木施工管理技術検定試験受験準備講習(1級) 3日間
	科目 テキスト	土木施工管理技術テキスト(土木一般、施工管理、法規3冊セット) 新入社員マニュアル 等	国土交通省土木積算基準(最新版) 建設機械積料算定表(最新版) 当協会オリジナルテキスト	講習会用テキスト 試験問題解説集録版 土木施工管理技術テキスト
	コース名		施工計画研修 2日間	
	科目 テキスト		「施工学」 (株)建設施工アカデミー発行	
建設 機械 施工	コース名		土木施工管理技術検定試験受験準備講習(2級) 3日間	
	科目 テキスト		講習会用テキスト 試験問題解説集録版 土木施工管理技術テキスト	
	コース名		2級建設機械施工技術検定試験受験準備講習 4日間	
	科目 テキスト		建設機械施工技術の基礎知識(建設機械施工技術検定テキスト) 建設機械施工技術検定問題集 追加問題集	
舗装 施工 管理 技術	コース名		2級建設機械施工技術検定実地試験受験準備講習 1日間	
	科目 テキスト		実地試験の受験対策模擬コースで、バックホー、トラクターショベルを使っての実機操作演習	
	コース名	1級・2級舗装施工管理技術者試験受験準備講習 3日間		
	科目 テキスト	技研研修センターオリジナルテキスト ①土工工学(土工、コンクリート構造物、安全施工、建設機械、造園、共通) ②施工管理(施工管理、施工計画) ③舗装工学(設計、材料、施工、補修) ④舗装工事関連法規(労働、建設業、道路交通、建設副産物、環境保全) ⑤応用試験対策(経験記述指導) ⑥模擬試験(解答、解説)		
給 水 装置	コース名	給水装置工事主任技術者試験受験準備講習 3日間		
	科目 テキスト	技研研修センターオリジナルテキスト、模擬テスト		
建設 安全	コース名	建設安全監理者資格取得講習会(足場編) 1日間		
	科目 テキスト	専用テキスト		
建設業 経理士	レベル1	レベル2		
	コース名	2級建設業経理士試験受験準備講習 2日間		
	科目 テキスト	建設業経理士「ガイドブック」2級 建設業経理士「傾向と対策」2級		

日時：平成 27 年 5 月 15 日 PM2:10～		於：金子架設工業株式会社 職業訓練校 (千葉県市原市八幡北町 2-1-7)
ヒアリング参加者 (敬称略)	金子架設工業株式会社 総務部部長・職業訓練校校長	赤羽基宣
	建設業振興基金	長谷川周夫、今泉登美男
	現代計画研究所	樋口祥一
ヒアリング内容 (順不同)		

#### □訓練校概要・訓練課程概要・待遇等

- ・今年度の訓練生は 8 名。  
(とび職：5 名 [高卒・中卒]、管理社員 (事務)：1 名 [大卒]、工事管理：1 名 [高卒]、鍛冶・溶接：1 名 [高卒])
- ・設立：平成 5 年 (今期 24 期目)
- ・訓練生は原則自宅からの通勤。(一部寮から)
- ・訓練期間：4/2～5/30・・・訓練校  
6/1～7/31・・・OJT (現場配属)
- ・訓練時間：8:00～17:00、6/1 以降は現場の状況に合わせた勤務時間。
- ・新規雇用より 3 年間は月給制。3 年 4 ヶ月後に賃金カーブ等を示し、本人が日給月給/月給 (社会保険は会社で加入する。直用) を選択する。ほぼ日給月給を選択する。
- ・4/2～4/4AM：本社にて座学、4/6～訓練校にて実技訓練開始
- ・実技指導は金子架設社員で管理職長が担当する。
- ・資材受入からスタートし、①仮囲い組立、②枠組足場 (4 段)、③単管本足場、④養生、⑤玉掛け・ラフター・ユニック (合図・ブロック組出し)、⑥番線結束等を実践する。②～⑥で 2 週間程度の訓練であり、繰り返し行う。Ex) ②枠組足場であれば、2 日で組立・1 日で出し。
- ・訓練課程において資格取得は行わない。経験年数を必要とする技能講習でなければ重量制限等があり、現場で役に立たない。
- ・鉄骨組立については敷地の規模、訓練生だけでは技術的に無理であることから訓練課程には含まれていない。
- ・現在の敷地は大成建設の協力会を通じて交流のある三裕 (ミヒロ) 建設工業の敷地を借りて行っている。現在の場所は 5 年目で、場所は敷地の確保状況に応じて千葉県下で移動している。(千葉県の認定職業訓練校)
- ・認定職業訓練校であり、訓練生 1 人当たり 40～45 万程度の助成がある。
- ・定着率は 30%程度。2～3 年で辞める。辞める理由としては思い描いていた世界と違う、仕事が厳しい、などの他、親の仕事を継ぐ (建設業やその他業種) などもある。
- ・現場に配属されても足場等は触らせてもらえない。資材運搬からスタートする。
- ・鉄骨の組立に関われるのは 5 年目程度。柱の上や梁の上に乗るなど、経験を積ませる。

## □訓練課程修了後のキャリアアップ

- ・ 3年：技能資格等の取得
- ・ 4年：作業主任者
- ・ 10年：一級技能士
- ・ かつては一級技能士の資格取得は15年程度であったが、現在は10年前後で取得している。二・三級技能士は高校生で取得できる。
- ・ 金子架設では6～7割のとびが一級技能士を取得している。取得していないのは若いとびである。
- ・ 管理部門の人員が不足した場合、技能職から配置転換することはある。

## □施工体制

- ・ とび職として、鉄骨・支保工・足場の全てが出来なければ元請けから仕事を請け負えない。コンクリート打設等は専門工がおり、とび職では単価が合わない。
- ・ 現在、金子架設の直方で230名、二次下請を含めれば450～460名/日が動いている。
- ・ 直用の職人は管理職長（15～17名）の下、職長ごとに15～25名の班に分かれて仕事を請け負う。
- ・ 鉄骨・支保工・足場の全てが出来なければ工事が進む度に人員を入れ替えなければならなくなってしまふ。足りない部分については他の班から応援に回すことで対応する。
- ・ 現在の主力は40～50代が中心である。

## □新卒等の募集について

- ・ 千葉・埼玉・東京の工業高校を対象として新卒募集を行う。
- ・ インターンシップ等の要請は多いが、現場の受け入れ体制として人員的余裕がないことや元請けの理解が得られないことなどから全て断っている。
- ・ 訓練風景をビデオに撮影・編集し、DVD化・高校への配布を検討している。
- ・ 高校生は町場のとびしか見たことがない。野丁場のとび職と町場のとび職は全く異なる。野丁場は厳しい。（時間・安全衛生等）
- ・ 工業高校の実技講習は大工の課程が多い。工業高校には足場等の資材がないため、実技講習がない。（田無工業は足場資材・クレーン、葛西工業は足場資材を持っている。）

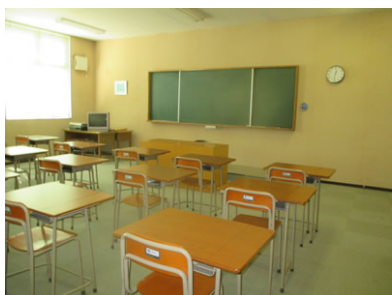
## □訓練校実習風景



# 若手技能者を企業内訓練校で育成、 処遇改善や社内活動等により定着促進



岩野職業訓練学園内の実技室でタイル張りの訓練を行う若手技能者



座学を勉強する学園内の教室



ソフトボール部「ロックフィールダーズ」結成のポスター。23名の部員のイラストも掲載されている

## POINT

- ▶(株)岩野商会は、内装業に特化した企業内訓練校を運営
- ▶「専門工事業者にとって技能は宝」「(社員として)定年まで勤めてもらえる企業に」との先代社長の願いを実現するために訓練校を設立
- ▶人材育成に留まらず、自社の広報のみならず、建設業全体のPRに向けたCM放送、ソフトボール部の活動支援、退職金制度の充実など、企業のイメージアップと入職・定着促進のための多彩な活動を展開

## 背景と動機

バブル期の職人の養成は、当時、社会的ニーズが低く、3K、5Kと言われた業界において定着率も低く、技能レベルにバラツキがあった。バブル後の低成長期において、OJT教育とOFF-JT教育を組み合わせることにより、技能習得の平準化を目指すとともに、将来を見据えた人材育成を行うこととした。職人を使い捨てにしたくないという先代社長の思いが強く影響している。

## 概要と成果

昭和55年に労働省より「岩野高等職業訓練学園」として認定。平成元年、長野県知事認可職業訓練法人「岩野高等職業訓練協会」設立。中央職業能力開発協会等と連携し、現在は「岩野建設専門技能訓練学園」として、長野、松本、金沢の3校で人材育成する。

### 職業訓練学園

#### 人材育成 定着促進

岩野建設専門技能訓練学園には、「インテリアサービス科」および「防水施工科」を設けている(入社後4月からの1年間)。その成果は、2月の技能照査で評価。合格すると技能士補の資格が与えられる。

#### 成果

- ・訓練学園の卒業生は、退職者も含めて延べ580人、在職者のうち卒業生は100人強。直近3年間では卒業生20数名のうち、退職者は1名のみ(入社直後の退職)。
- ・OJTだけでなく、OFF-JTも組み入れて1年間学習することにより、技能習得の平準化を実現。

### 若年者へのリクルート

#### イメージUP 入職促進

職人が出演するテレビとラジオCMを放送。高校等へリクルート用DVDの配布、現場見学会を通じて、職長から内装業の仕事を紹介する等、入職促進活動に力を入れている。

#### 成果

- ・27年度(26年3月卒)の採用は高卒(職人)10名、大卒(営業)2名と順調である。28年度(27年3月卒)は高卒(技能職)5名、大卒(営業)を3~4名、計10名前後を採用予定。
- ・「会社のCMをテレビでみたよ」等の声もあり、会社のイメージアップ、学生や両親に会社を知ってもらえるきっかけとなっている。
- ・後輩から「是非、岩野商会に入社したい」と既に入社した先輩を通じての打診件数も増えてきている。

### 処遇改善と社内活動の充実

#### 定着促進

固定月給、賞与、週休二日制、退職金制度等を導入。更に職員の昇進モデルを提示。労働組合も以前からあり、労使懇談会を2ヶ月に一度開催。また、ソフトボール部を設立、社内報の配布、新人研修会の開催等、社内活動を支援。

#### 成果

- ・固定月給制等の処遇改善により、独立よりも定年まで勤めたいとする者が多数。労働組合との懇談会等を通じて、経営状況等を共有、過去に退職金制度の見直しを行おうとした際にも、労使間の信頼関係により改定することができた。今後は業績改善を受け、給与等、職員の努力に報いていく。また、社内報の配布、新人研修会(年5回開催)等により、職員間のコミュニケーションを活性化。
- ・昨年、ソフトボール部は準優勝、部員間の団結が生まれた。社内活動により、若年者が安心して働ける環境作り成功。仕事に対しても、やる気や責任感を持って臨むようになり、処遇改善等と併せて定着促進に貢献。

【苦労・工夫した点】かつては離職者も多く、新卒者の採用にも苦戦したため、会社や業界のイメージアップが必要と考え、職人が出演するテレビ・ラジオCMやリクルート用DVDの配布を行い広報を行った。また、一度採用活動を中断すると学校側が自社への入職支援に積極的でなくなることから、継続的な働きかけが重要であると認識している。その際に、自社の処遇改善への取組や入職後の人材育成等にも関心が高く、安定採用へ貢献。

## PROFILE

### 株式会社岩野商会

所在地 長野県長野市大字北長池2051番地

TEL:026-263-7000

FAX:026-263-7004

資本金 9,600万円

従業員数 380人

URL http://www.iwano.co.jp/



## 認定職業訓練の実施体制

訓練生は社員として給料をもらいながら 1 年間の訓練に取り組む。訓練は体系的に学ぶことと、知識が大事であることを学ぶことを目的としている。

【訓練内容】基本は床材、壁装(クロス)、インテリアサービス。

【スケジュール】講義は毎週、木曜日と金曜日、午前中は座学、午後は実技。座学は 2 日間だが、残りは 800 時間の現場実習。忙しいと座学がおろそかになるため、それは崩さないようにしている。

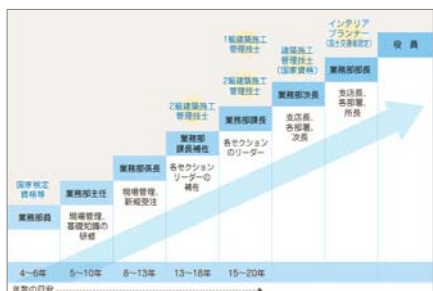
【指導員】座学は外部の 1 級建築士に依頼。現場実習は一人ずつ職長について行う。

【成果の測定】4 月からの 1 年間、学科と実技を学び、その成果は 2 月の技能照査で評価する。合格すると技能士補の資格が与えられる。

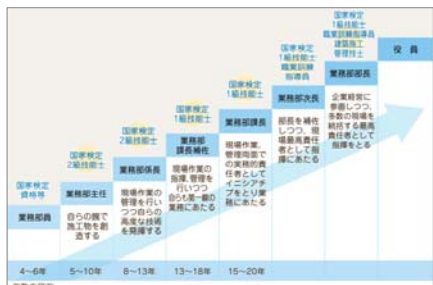
【育成方針】訓練生は即、現場の戦力とはしない。現場実習において訓練生は施工体制人員から外している。このことにより、作業効率よりも育成に力点を置いた指導ができるし、現場の生産性への影響もない。事故を起こさせないために車の運転もさせない。

【教材】使用教材は、「壁装」、「床仕上げ施工科テキスト プラスチック床材編」、「建築概論」、「建築生産概論」、「建築(1)」～「建築(5)」、「建築製図」等

【助成金】活用している助成金は、認定職業訓練助成事業費補助金、キャリア形成促進助成金等



●業務職昇進コース



●技能職昇進コース

## 《参考1》岩野職業訓練学園のカリキュラム

### 【座学】

科目	担当	時間	
基礎学科	建築概論	講師・指導員	30
	建築生産概論	講師・指導員	20
	室内装飾概論	講師・指導員	40
	建築構造	講師・指導員	40
	建築製図	講師・指導員	30
	安全衛生	講師・指導員	20
	関係法規	講師・指導員	20
	ISO 品質システム	講師・指導員	10
合計		210	
専攻学科	インテリア計画	講師・指導員	20
	材料	講師・指導員	30
	施工法	講師・指導員	50
	仕様及び積算	講師・指導員	20
	合計		120

### 【実技】

科目	担当	時間	
基礎実技	測定基本実習	講師・指導員	30
	機械操作基本実習	指導員	35
	製図基本実習	講師・指導員	35
	安全衛生作業法	指導員	20
	合計		120
専攻実技	インテリア製図実習	講師・指導員	80
	インテリア施工実習	指導員	260
	器具使用法	指導員	40
合計		380	
選択実技	作業の段取り実習	指導員	80
	施工作業の実習	指導員	500
合計		580	
総訓練時間		1410	

## 現状の課題(現在、取組を実施する上で苦労している課題)

現在、業界全体で若手技能者の育成を行う意識が薄い状況。内装業界は、一人親方等の小規模なところが多く、個者での人材育成は困難。また、育成しても早期に離職してしまう等の理由により、入社後の人材育成に消極的な企業も少なくはない中で、岩野商会は、協力会社の親族を岩野商会に入社させ、職業訓練を実施、2～3年の経験を踏まえ、技能を習得した後、二次以下の親族会社に戻ることも有効な人材育成と考えている。岩野社長は、「この業界に残ってさえくれば、業界全体のポトムアップに繋がる。」と考えている。

所属する団体の参加企業とともに、今後、岩野商会の職業訓練校の活用等、人材の確保・育成について検討している。個者では難しい人材育成を、業界全体で考えることが必要。

日時：平成 27 年 10 月 23 日 9：00～11：30	於：株式会社 岩野商会	
ヒアリング参加者 (敬称略)	岩野商会	岩野彰、岩野貴弘、小山田俊三
	野原産業	清田広秋、村田孝幸
	芝浦工業大学	蟹澤宏剛、渡部恒也、布施 朋美
	建設業振興基金	長谷川周夫、今泉登美男
	現代計画研究所	樋口祥一、松井溪
ヒアリング内容 (順不同)		

### ①. 企業概要

- ・ 設立:昭和 30 年 2 月 1 日
- ・ 資本金：9,600 万円
- ・ 売上高：6,904 百万円 (平成 25 年度実績)
- ・ 代表者名：代表取締役社長 岩野彰
- ・ 従業員数：380 名 (工事部の技能者は約 100 人)
- ・ 平均年齢：40 歳
- ・ 事業内容：内装・インテリア事業、防水加工事業、ビルメンテナンス事業、サイン/イベントプロデュース事業、テントシート事業、3M販売特約店 フィルム販売事業
- ・ 事業所：・本社：長野市 ・支店：東京、松本、佐久、新潟、北陸 (金沢)  
・営業所：長野北、名古屋 ・出張所：上田 ・製作センター：長野市
- ・ 工事部の社員技能者は長野県内、新潟、北陸地域を担当。その他の東京支店等では基本的に外注。

### ②. 育成する人材像、入職者について

#### 認定訓練校の概要

- ・ 認定職業訓練校「岩野建設専門技能訓練学園」、昭和 55 年開校、35 年目。
- ・ 訓練期間：1 年間 (4 月～3 月)。
- ・ インテリアサービス科、防水施工科。
- ・ 生徒：10 名 (2015 年度)
- ・ 長野県の内装技能者の確保、育成を目的。
- ・ 週 3～4 日間は訓練校での訓練。残りの日数で現場作業を行う。
- ・ 訓練校では、午前中は学科、午後に実習の時間割で訓練を実施。

#### 入職者について

- ・ 長野県内の出身者が中心。
- ・ 高卒、専門学校卒で入社。工業高校よりも普通高校の出身者が多い。
- ・ 募集方法としては学校への求人、採用の説明の他に、就職サイトを使用。
- ・ 長野県内、北陸地域でリクルート用にテレビ CM を放映。就職希望者へのアピールの他に、地域の認知度を高めて、両親の心配を払拭したいという狙いがある。
- ・ 自社と仕事内容を紹介するリクルート用の DVD も作成し、学校へ配布している。
- ・ 今年度の就職希望者の殆どはウェブサイトの採用ページを見て応募している。
- ・ 内装はインテリアという言葉でイメージして来る人も多い。10 年程前から、志望者には現場見学会を実施して、職人を見せて話を聞かせてミスマッチを防いでいる。
- ・ 近年の工業高校生は、ゼネコンに入りたがらない人も少なくない。ゼネコンは責任が重くて休めない、職人になりたいという人もいる。

### ③. 人材育成の内容について

#### 育成計画・技能者の評価

- ・ 4 月に入校してから、まず床仕上げの 2 級技能検定課題を基本から習得する。次に壁装の技能検定課題の訓練を行い、再度おさらいとして床仕上げを行う。修了して 2 級技能検定を受ける。

#### 育成・指導方法

- ・ 職業訓練指導員免許を持つ熟練の社員技能者が指導。

- ・ 訓練校での指導が主の現場作業を引退した 70 歳代以上の嘱託社員の他、現場作業と並行して指導をする 30 歳代からの現役の技能者が指導に関わる。
- ・ 指導者自身も全員が職業訓練校の OB であり、道具の持ち方から施工方法、指導方法は自社のやり方として共有されている。
- ・ テキストも有るが、指導方法が共有化されているため、実技で使用することは少ない。
- ・ 訓練生 2～3 人につき 1 人の指導員がつく体制で、一つ一つ作業方法を見て指導を行う。
- ・ 現場での作業も指導員となる技能者が OJT を行う。作業グループは固定せず、現場の規模に合わせて変えている。

#### ④. その他

##### 技能者の就労条件について

- ・ 職人をサラリーマン化したいという先代の方針で、技能者の社員化が社風として定着している。
- ・ 技能者の給与体系は年齢給で同水準。賞与、残業代、役職手当、退職金。
- ・ 作業スピードは社員として一定水準に平準化できるので歩合給は無し。
- ・ 資格も技能検定等は皆が取得できるので資格給も無し。

##### キャリアパスについて

- ・ 自社のウェブサイト昇進コースのキャリアパス像を提示している。
- ・ 実的には計画的に昇進をさせていない。昇進させたい人がいても、技能職は残業が多いため、残業代の手取りを求めて管理職になりたがらない事が多い。

##### 継続教育

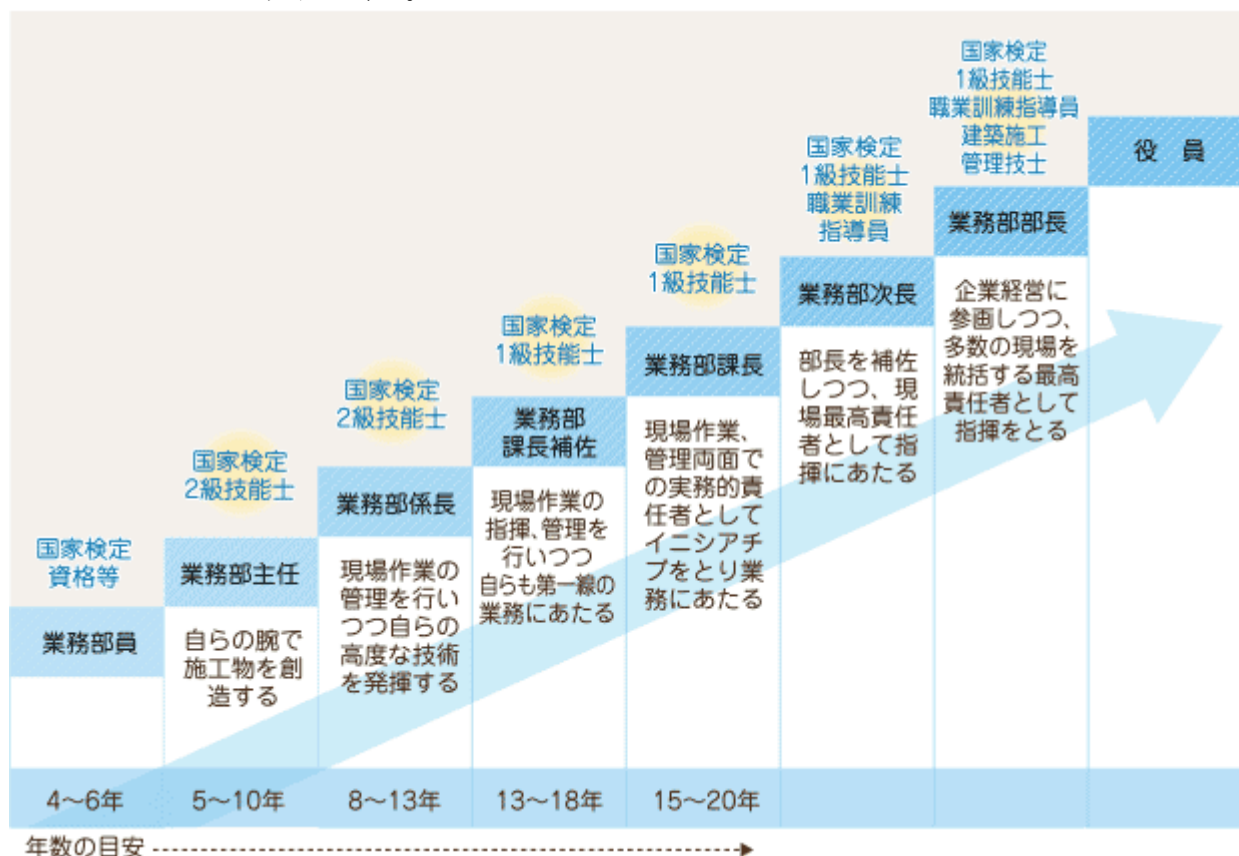
- ・ 技能検定や競技会に出場する社員は、仕事の後や空いている時間に訓練校の実習室を使用して練習している。

##### 外国人技能実習生

- ・ ベトナム人技能実習生を 3 名受入れている。

##### 作業支援ロボットの導入

- ・ 資材搬入搬出作業において、ベテラン社員の腰痛による休業を防ぐため、作業支援用ロボットスーツをレンタル契約で導入。



#### ●技能職昇進コース

⑤. 実習風景





# 工業高校等への出前講座と入職後の職業訓練を実施

イメージUP 定着促進 入職促進 人材育成

## POINT

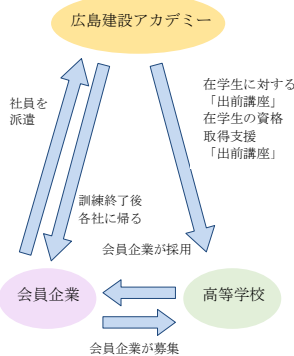
- ▶ 出前講座の実施により、入職後の仕事の内容に関するミスマッチを解消
- ▶ 職業訓練は、実習施設等が無くても地域の建設業者が汗をかく覚悟さえあれば全国どこでも実施可能
- ▶ 定期採用が難しい中小建設業者でも、集合型の職業訓練を実施することにより、入職者が企業の壁を越えた同世代との連帯感を共有、定着率が向上



同じ目的をもった同世代との集中訓練は、強い連帯感を生み、定着率の向上にも寄与する



研修を修了した訓練生は、事務局である福井建設(株)にて修了式が行われる



地域の建設企業、工業高校が連携して取り組む広島建設アカデミーの教育訓練体系

## PROFILE

### 職業訓練法人 広島建設アカデミー

所在地 / 広島県広島市中区舟入南 4-14-15  
福井建設(株)内  
TEL: 082-235-1877

会員数 / 25 社

URL / <http://fukuikensetu.co.jp/academy/>



### 福井建設株式会社

所在地 / 広島県広島市中区舟入南 4-14-15  
TEL: 082-235-1877

資本金 / 7,300 万円

従業員数 / 80 人

URL / <http://fukuikensetu.co.jp/>

## 背景と動機

職業訓練法人広島建設アカデミーは、リーダー企業の福井建設(株)が中心となり、地域建設業の発展のため「地元で人材を採用し、地元で育てていくべき」との考えのもと、これに賛同した主に躯体系職種 of 専門工事業業者等と設立。

## 概要と成果

昭和45年から福井建設単独で企業内職業訓練を開始。昭和55年に約8社の参加を得て、複数社が一緒になった職業訓練を実施。昭和58年に職業訓練法人の認可を得て、現在の「職業訓練法人広島建設アカデミー」に至る。個社で行うことが難しい新人社員教育を共同で実施している。また、広島県内の工業高校生を対象に出前講座を実施し、仕事の内容を伝えることにより入職促進やミスマッチの解消を図っている。

### 出前講座

工業業高校生等を対象に「とび」、「型枠」、「鉄筋」、「左官」の4職種のうち、学校の希望に応じた出前講座等(技能体験)を実施  
・H26 年度実績: 8回開催

#### 成果

- ・専門工事業に対する理解が深まり、建設業への入職意欲が向上
- ・工業高校等との連携事業の実施による会員企業への入職強化
- ※H26 年度実績: 会員企業への入職者 17 名  
中3名が出前講座実施校の卒業生
- ・入社前のイメージと違うことから生じるミスマッチ(離職)の解消

### 職業訓練

会員企業への新人入職者を対象に集合研修型の社会人としての意識改革や躯体系職種の職業訓練を実施  
・H26 年度実績: 4社から 17 名が参加

#### 成果

- ・昭和 55 年の開校から平成 26 年度までに 793 名の修了生を送り出し、その多くが中国地方の建設現場で活躍
- ・職業訓練は、建設基礎知識を習得させることにより、現場に配属された際の戸惑いを軽減するとともに、企業の壁を越えた訓練生間の連帯感(同期生)を共有することにより定着率が向上

【苦勞・工夫した点】費用面で苦勞した。出前講座については、当初、本アカデミーが負担していたが、途中から、広島建設工業協会等の支援を受けるようになり、継続的に実施が可能となった。また、職業訓練の実施は、当初会員企業の持ち寄りだったが、認定職業訓練の認定を受けることで費用の負担が軽減された。カリキュラム等は、労働局の指導や会員企業等の協力により、整備することができた。

## 認定職業訓練の実施体制

職業訓練の最大の特徴は、専用の訓練施設を保有せず、広島県認定の短期課程の職業訓練を実施(4月~6月上旬)。会員企業の新規卒業者を対象に4月~6月に職業訓練を実施し、限られた予算でも安定的な運営を実現することや訓練生の安全確保を重視した結果、現在のスタイルを確立。

【事務局】申し込みの受付や、助成金申請などの手続きは福井建設が行なう。

【場所】座学は東広島市にある公共の職業訓練センターを借用、実技は福井建設(株)の加工場等を利用。

【指導員】福井建設等に所属する一級技能士などの有資格者。常勤2名が学科・実技を担当、必要に応じ非常勤3名を派遣。訓練用工具類は福井建設が提供。

【教材】使用教材は、「職長教育テキスト」、「建築現場実用語辞典改訂版」、「酸素欠乏症の防止」等

【スケジュール】50日間で392時間に及ぶ短期集中訓練によって、とび、型枠、鉄筋の躯体工事の基礎を教育。4訓練コースが設けられる。

《参考1》広島建設アカデミーのカリキュラム(平成27年度)

コース	科目	内容	時間	合計	
1.建築躯体基礎コース	1	社会	①社会人の責任と義務 ②挨拶と集団行動	21	210
	2	建築構造	①建築概論 ②生産概論 ③構造概論 ④力学概論 ⑤計画概論 ⑥設備概論	14	
	3	測量	①概論 ②水準測量 ③多角測量 ④墨出作業方法	35	
	4	鉄筋組立作業法	①仕様及び積算 ②施工図 ③鉄筋工作機 ④器具の取扱い方 ⑤加工・組立作業法	49	
	5	足場組立作業法	①種類 ②材料 ③施工図 ④仕様及び積算 ⑤器具の取扱い方 ⑥安全衛生 ⑦関係法規	35	
	6	型枠組立作業法	①種類 ②材料 ③施工図 ④仕様及び積算 ⑤機械操作使用法 ⑥器具の取扱い方 ⑦安全衛生 ⑧関係法規	56	
2.建築躯体工作コース	1	RC 施工安全衛生作業法	①機械操作使用法 ②器具使用法 ③保護具の正しい取扱い ④整理整頓 ⑤仮設(単管足場)工事施工実習 ⑥型枠工事工作・施工実習 ⑦鉄筋工事工作・施工実習 ⑧クレーン等の知識 ⑨玉掛けの方法及び合図の作法	98	98
3.土工基礎コース	1	土工工事作業法	①掘削の方法 ②湧水の処理・排水の方法 ③砂及び岩石の性質 ④酸素欠乏危険作業 ⑤安全衛生 ⑥関係法規	14	28
	2	コンクリート作業法	①種類 ②材料 ③構造 ④コンクリート打設法	14	
4.建築仮設工事施工コース	1	仮設工事一般	①仮設の種類 ②仮設工事の目的 ③仮設材料	3.5	56
	2	仮設工事計画	①計画概論 ②構造力学 ③仮設計画作成	7	
	3	安全関係法規	①安全衛生 ②用具の選定及び取扱い	3.5	
	4	仮設施工実習	①仮設材の種類、選定及び取扱い ②用具の種類及び取扱い ③重量物の運搬作業法 ④枠組足場組立、解体安全作業法	35	
	5	修了試験	①学科試験 ②実技試験	7	
建築基礎躯体工科時間数				392	

《参考2》広域団体認定訓練助成金以外で活用できる助成金(平成27年度予定)

助成金の活用により企業負担を大幅に軽減

広島県認定の職業訓練を実施する広島建設アカデミーは、認定職業訓練助成事業費補助金(運営費)と建設労働者確保育成助成金の経費助成を受給。会員企業はキャリア形成促進助成金と建設労働者確保育成助成金(賃金助成)が受給できる。

これらの助成金の活用により会員企業が負担する訓練費用を23万円/人に軽減しているとともに、この他、賃金助成を受けることにより企業が訓練期間中に支払う賃金負担も、大幅に軽減できる。

▶ 広島建設アカデミーが受給する助成金

○認定職業訓練助成事業費補助金(運営費) / 厚生労働省、広島県

受給額 一人当たり 9,200円/単位×10単位×県予算執行状況による減額率

○建設労働者確保育成助成金(経費助成) / 厚生労働省

受給額 一人当たり 1,800円/単位×10単位

▶ 訓練生を派遣した会員企業が申請することにより受給することができる助成金

○キャリア形成促進助成金<sup>※1</sup> / 厚生労働省

受給額 政策課題対応型訓練(OFF-JT)賃金助成

一人当たり 800円×392時間

○建設労働者確保育成助成金<sup>※2</sup>(賃金助成) / 厚生労働省

受給額 一人当たり 5,000円×職業訓練実施日数

※1 あらかじめ職業能力開発協会へ職業能力開発推進者の届出を行い、アカデミーでの認定訓練を従業員的能力開発計画に組み入れる必要がある。

※2 キャリア形成促進助成金の受給が条件となる。

現状の課題(現在、取組を実施する上で苦労している課題)

認定職業訓練助成事業費補助金の受給要件は、平成27年度から1訓練コースにつき、短期は1名以上の参加となった。受給しやすいよう受給要件が緩和されたが、訓練に係る費用であっても助成金対象経費でないものがあるので、それらは手当しなければならない。

## 5. プレ入職等に対する建設業団体・建設関連企業等の取組み

### ○建設業団体等による一般向けプログラム

- ・平成 23 年度
- ・平成 24 年度
- ・平成 26 年度

### ○総合工事業団体による取組み（カリキュラム概要・カリキュラムシート）

- 1) 一般社団法人千葉県建設業協会
- 2) 一般社団法人石川県建設業協会
- 3) 一般社団法人大阪建設業協会

### ○専門工事業団体による取組み（カリキュラム概要・カリキュラムシート）

- 1) 千葉県鉄筋業協同組合
- 2) 全国クレーン建設業協会神奈川支部・神奈川建設重機共同組合
- 3) 関西鉄筋工業協同組合・近畿建設躯体工業共同組合・関西圧接業協同組合

### ○富士教育訓練センターでの実習プログラム

（カリキュラム概要・カリキュラムシート）

- 1) 工業高校 1 年生を対象とした体験実習
- 2) 建築系大学生を対象とした施工管理実習

### ○教員向けの施工体験実習（カリキュラム概要・カリキュラムシート）

平成24年度 建設業団体等における人材確保・育成に関する取組

実施団体	対象	概要	事業実施経費	訓練費用/人 [参考]
北海道 (一社)北海道建設業協会	高校生(建設・農業)、専門学校生徒	・現場見学会 ・建設現場実習	3,920 千円	
青森県 (社)青森県建設業協会	若年技術者 行政・企業・学校	・2級土木・建築施工管理技術検定準備講習会 ・協議会の設置	1,928 千円 100 千円	
岩手県 (一社)岩手県建設業協会	新規入職者	・新規入職者教育(2日間)		
宮城県 (社)宮城県建設業協会	建設労働者	・建設雇用改善優良事業所の表彰 ・建設技能グランプリ大賞・功労賞 ・「私たちの主張」(建設労働者)	786 千円	
秋田県 (一社)秋田県建設業協会	40歳未満の土木若手技術者	・土木奨励賞	1,316 千円	
秋田県 (一社)秋田県建設業協会	高校生(建設系3年生)	●小形車両系建設機械(バックホー・ローダー)の運転操作[実日数9日間/108名]	1,950 千円	18,396 円
秋田県 (一社)秋田県建設業協会	高校生(県内建設業への内定者)	●ローラーの運転操作講習	600 千円	
山形県 (一社)山形県建設業協会	高校生(県内建設業への内定者)	・懇談会	180 千円	
福島県 (一社)福島県建設業協会	高校生	・現場見学会	4,000 千円	
茨城県 (社)茨城県建設業協会	高校生等	・現場見学会 ・建設現場実習	3,006 千円	
栃木県 (社)栃木県建設業協会	高校生(工業高校)	・現場見学会(建設系学科) ・インターンシップ(2年生)[5日間] ・建築技術検定試験(建築科2年生)、建築製図検定試験(建築科3年生) ・建築大工専門の技術者からの指導(ものコン) ・アスファルト舗装施工実習(企業技術者による授業) ・ポケットパーク建設実習(企業技術者による授業) ・木造住宅講習会及び審査ベンチ(企業技術者による授業) ・仕事説明会(技術者の講話) ・入職促進用パンフレットの作成・配布 ・鉄筋作業に関する基礎知識・鉄筋組立で作業の実習(教員研修)	4,000 千円	
群馬県 (社)群馬県建設業協会	新採用社員 入社3~5年の建設技術者 現場代理人及び指導者	・新採用社員研修会 ・レベラアップ研修会 ・能力向上研修会		
群馬県 (社)群馬県建設業協会	高校生(建設系高校) 大学生	・県内実習(起工測量・丁張り、建設機械の扱い方、CADによる図面作成、安全教育 工事写真の撮り方、コンクリート試験実験)	928 千円	
埼玉県 (社)埼玉県建設業協会	一般	●小型移動式クレーン運転技能講習(富士教育訓練センター)4泊5日/32名]		
千葉県 (一社)千葉県建設業協会	高校生(建設系高校)	・提言冊子・地元メディアへの掲載・出演、地域貢献活動		
東京都 (社)東京建設業協会	高校生(建設系高校)	●小形車両系建設機械運転特別教育支援[学科7h+実技6hの計2日間/人数不明]	1,920 千円	
東京都 (社)東京建設業協会	高校生(建設系高校)	・職業体験学習[富士教育訓練センター/日数・人数不明] ・東京都建設系高校生作品コンペティション2011(作品展示・表彰)	1,890 千円	
神奈川県 (社)神奈川県建設業協会	高校生(工業高校)	・鉄筋基礎技術コース(足場、鉄筋、型枠、測量実習)(富士教育訓練センター)[3泊4日/8名]	5,500 千円	
神奈川県 (社)神奈川県建設業協会	高校生(建設系高校)	●安全衛生教育(小型移動式クレーン運転技能講習)(富士教育訓練センター)[4泊5日/37名]	1,657 千円	39,452 円
山梨県 (社)山梨県建設業協会	高校生(建設系高校)	・現場見学会	2,719 千円	
新潟県 (社)新潟県建設業協会	小学生	・現場見学会[1日]	350 千円	
長野県 (社)長野県建設業協会	高校生	・現場見学会[1日or2日間] ・現場実習[1日]	1,121 千円	
岐阜県 (一社)岐阜県建設業協会	新入社員 若手技術者・技能者	・新規入職者教育(富士教育訓練センター)[3日間]	1,183 千円	
岐阜県 (一社)岐阜県建設業協会	高校生(工業系高校)	・懇談会及び現場研修会[1日]	1,253 千円	
静岡県 (一社)静岡県建設業協会	高校生 専攻校生 行政・委員 高校生	・建設論文の募集・表彰 ・静岡県建設業の主張2012(若手建設技術者・技能者による意見発表)	700 千円 2,700 千円	
愛知県 (一社)愛知県建設業協会	高校生(建設系学校)	・高校生現場実習の実施(インターンシップ) ●教育訓練合宿研修会(富士教育訓練センター)[約44名] ・出前授業 ・意見交換会 ・建設現場見学会 ・スキルアップ研修[1日] ・現場見学会(富士教育訓練センターにて研修中の生徒の見学)	10,000 千円	
富山県 (社)富山県建設業協会	保護者(合宿研修会参加者) 高校生(建設系学校)	・建設業のイメージ調査(アンケート) ・雇出実態の調査(アンケート)	1,600 千円	
石川県 (社)石川県建設業協会	若手技術者・技能者	●玉掛け技能・小型移動式クレーン運転技能講習(富士教育訓練センター)[5泊6日/21名]	1,527 千円	69,409 円
福井県 (社)福井県建設業連合会	高校生	・現場見学会[1日] ・現場実習[2~4日間]	1,500 千円	
三重県 (社)三重県建設業協会	高校生	・建設現場見学会[1日]	1,622 千円	
滋賀県 (社)滋賀県建設業協会	一般	・夢けんせつフォトコンセプト	1,030 千円	
京都府 (社)京都府建設業協会	一般	・現場見学会	2,500 千円	
大阪府 (一社)大阪建設業協会	高校生 小学生・保護者	・三田建設技能研修センター[1日] (建設機械試乗体験、型枠施工グループ、鉄筋施工グループ) ・親子現場見学会 ・動画制作・配信	444 千円 306 千円 6,000 千円	
兵庫県 (社)兵庫県建設業協会	高校生	・現場実習[5~7日間]	1,721 千円	
奈良県 (社)奈良県建設業協会	高校・大学・専門学校生徒で卒業後大学、専門学校等で建設等を学ぼうとする者	・連絡協議会	19 千円	
和歌山県 (社)和歌山県建設業協会	会員企業、高校の校長 小学生(4~6年生)	・絵画コンクール	1,200 千円	
鳥取県 (社)鳥取県建設業協会	高校生	・現場見学会[1日]	162 千円	
鳥取県 (社)鳥取県建設業協会	高等技術専門校生	・現場体験実習[3日間]	101 千円	
鳥根県 (社)鳥根県建設業協会	高校生	・現場見学会[1日]	1,200 千円	
岡山県 (社)岡山県建設業協会	行政・教育機関・学識経験者・関係団体	・協議会	60 千円	
広島県 (社)広島県建設工業協会	大学生	・現場見学会 ・測量体験 ・意見交換会	355 千円	
山口県 (社)山口県建設業協会	高校生	・現場実習[3日間] ・現場見学会		
山口県 (社)山口県建設業協会	高校生	・現場見学会	2,000 千円	
香川県 (社)香川県建設業協会	一般	・PR誌の配布		
香川県 (社)香川県建設業協会	高校生(工業高校)	・1日自席学[積算、設計図、CAD、写真管理等] ・2日自席実習[レベル測量、丁張り、工事概要、工法]	800 千円	
徳島県 (社)徳島県建設業協会	高校生	・現場見学会[1日]	600 千円	
徳島県 (社)徳島県建設業協会	一般	・地元新聞への広告掲載	1,900 千円	
愛媛県 (社)愛媛県建設業協会	高校生	・現場見学会(半日又は1日) ・インターンシップ[4~5日間]	900 千円 1,300 千円	
高知県 (社)高知県建設業協会	高校生	・現場実習 ・現場見学会		
福岡県 (社)福岡県建設業協会	一般	・感想文集の制作	1,300 千円	
佐賀県 (社)佐賀県建設業協会	一般	・広報紙 ・PR活動	4,500 千円 9,500 千円	
長崎県 (社)長崎県建設業協会	高校生	・現場実習[3日間][2~7日間] ・企業の技術者等による専門科目授業	1,115 千円	
熊本県 (社)熊本県建設業協会	教師	・現場実習[3日間]	2,100 千円	
熊本県 (社)熊本県建設業協会	高校生	・現場見学会 ・現場実習(含インターンシップ)	2,173 千円	
大分県 (社)大分県建設業協会	教師	・企業との現場見学会・懇談会		
大分県 (社)大分県建設業協会	高校生	・現場実習(インターンシップ)[3日間]	1,000 千円	
大分県 (社)大分県建設業協会	新卒内定者	・成績優秀者の表彰 ・現場実習	120 千円	
宮崎県 (社)宮崎県建設業協会	高校生	・現場見学会 ・優秀卒業生表彰	1,200 千円	
鹿児島県 (社)鹿児島県建設業協会	一般	・イベント(重機械試乗体験、高校生による製作物展示)	3,000 千円	
沖縄県 (社)沖縄県建設業協会	高校生	・現場見学会 ・インターンシップ	8,306 千円	

資格取得を行う実習費用内訳について  
秋田県 小型車両系建設機械特別教育のみ実施経費項目が記載 ※学校・生徒の負担なし  
県防災要員 (講師謝金、車検リース料、テキスト代、重機燃料、搬送代、  
資料会費増り上げ料等)  
\*バス増り上げ費(学校・講習会場増設)

対象	概要
青・生徒等	緑:資格取得を行う実習
赤・教師	白:広報イベント、その他
灰・一般	オレンジ:現場見学会等
計画、委員、業界団体等	社員向けセミナー、連絡協議会等

平成23年度 建設業団体等における人材確保・育成に関する取組

実施団体	対象	概要	事業実施経費	訓練費用/人 【参考】
北海道 (社)北海道建設業協会	高校生(工業・農業)	・建設現場見学会	3,600 千円	
	専門学校	・建設現場実習		
	主に高校生等	・パンフレット作成(建設業入門2011)		
	小中学生	・パンフレット作成(建設のごとてなに?)		
青森県 (社)青森県建設業協会	行政、建設業協会、専門工事団体	・広報活動(ホームページ等)	1,500 千円	
	若年技術者	・懇談会の設置	600 千円	
岩手県 (社)岩手県建設業協会	高校生(工業高校)	・建設現場見学会	1,500 千円	
	生徒保護者	・受験準備講習会(2級土木施工管理技術者・2級建築施工管理技術者)		
	小中学生	・CAD検定試験準備講習会(指導講習)		
	職業所	・保護者に対する建設現場見学		
宮城県 (社)宮城県建設業協会	建設労働者	・現場代理人等との交流	150 千円	
秋田県 (社)秋田県建設業協会	高校生(建設系3年生)(113名)	・建設業ふれあい事業に対する助成	1,640 千円	
山形県 (社)山形県建設業協会	高校生(県内建設業への内定者)	・表彰	518 千円	13,938 円
	行政・関係機関・業界	・建設技能グランプリ大賞・功労賞		
福島県 (社)福島県建設業協会	高校生(建設系)	●小型車両系建設機械(バックホー・ローダー)の運転操作[実日数8日間/113名]	2,140 千円	
	専攻科	●ローラーの運転操作講習	700 千円	
茨城県 (社)茨城県建設業協会	高校生(工業・農業)	・推進協議会の設置	69 千円	
	専門学校生・大学生	・懇談会の実施	264 千円	
栃木県 (社)栃木県建設業協会	高校生	・建設現場見学会	4,000 千円	
	教師(工業科)	・建設現場実習(3~5日間)		
群馬県 (社)群馬県建設業協会	高校生	・建設現場見学会(1日)	3,200 千円	
	高校生等	・建設現場実習(3~5日間)		
埼玉県 (社)埼玉県建設業協会	高校生	・鉄筋コンクリート製ベンチの施工技術の習得	4,000 千円	
	新入社員	・木造在来軸組工法による小屋組、鉄骨造接合部の教材模型の製作		
千葉県 (社)千葉県建設業協会	高校生	・企業技術者による授業「アスファルト舗装工事実習」	2,500 千円	
	新入社員	・伝統技法習得		
東京都 (社)東京都建設業協会	高校生	・工業科教員の安全教育に関する指導力の向上	2,320 千円	
	若手技術者	・県内実習(起工測量・丁張り、建設機械の扱い方、CADによる図面作成、安全教育)		
神奈川県 (社)神奈川県建設業協会	高校生(工業高校)	●安全衛生教育(小型移動式クレーン運転技能講習)[5日間/4校27名]	1,19 千円	40,238 円
	新入社員	●鉄筋基礎技術コース(足場、鉄筋、型枠、測量実習)[4日間/4校15名]	1,468 千円	
山梨県 (社)山梨県建設業協会	高校生(建設系)	・現場見学会(1日)	190 千円	
	高校生(建設系)	・現場実習(3~5日間)	150 千円	
新潟県 (社)新潟県建設業協会	小学生	・職場体験学習(富士教育訓練センター)[4日5日/24名]	560 千円	
	高校生	・測量、配筋の実習等(インターンシップ[2~3日間]、デュアルシステム[10日間])	150 千円	
長野県 (社)長野県建設業協会	高校生	・現場見学会(1日)	1,716 千円	
	新入社員	・現場実習(1~2日間)	1,453 千円	
岐阜県 (社)岐阜県建設業協会	教師(工業高校)	・新人社員研修(富士教育訓練センター)[3日間]	770 千円	41,481 円
	高校生(工業・農業)	・新人社員研修(富士教育訓練センター)	3,750 千円	
静岡県 (社)静岡県建設業協会	親子(小学生・保護者)	●安全衛生教育(富士教育訓練センター)	1,120 千円	
	一般	●小型移動式クレーン運転技能講習(4日5日/27名)	1,220 千円	
愛知県 (社)愛知県建設業協会	教師(建設系)	・親子現場見学会(1日)	180 千円	10,000 千円
	高校生(建設系)	・PRイベントの実施(屋外・屋内)	70 千円	
富山県 (社)富山県建設業協会	新入社員	・意見交換会	800 千円	
	若手技術者	・建設現場見学会		
石川県 (社)石川県建設業協会	高校生	・建設現場見学会	3,500 千円	69,930 円
	工業系高校生(会員企業内定者)21名	・スキルアップ講座	1,538 千円	
福井県 (社)福井県建設業協会	高校生	・建設現場見学会	290 千円	
	教師(進路指導担当)	・現場実習(2~4日間)	1,780 千円	
滋賀県 (社)滋賀県建設業協会	高校生(工業高校)	・意見交換会	65 千円	
	一般	・現場見学会(1日)		
京都府 (社)京都府建設業協会	高校生	・現場見学会(1日)	1,594 千円	
	親子(小学生・保護者)	・インターンシップ(2日間)	132 千円	
大阪府 (社)大阪府建設業協会	高校生	・夢けんせつフォトコンセプト	277 千円	1,548 千円
	高校生・大学・専門学校	・屋外用PR広告シートの作成	1,548 千円	
兵庫県 (社)兵庫県建設業協会	学校・会員企業	・現場実習(5~7日間)	20 千円	
	教師(進路指導主事)	・連絡協議会の設置	20 千円	
奈良県 (社)奈良県建設業協会	一般	・現場見学会	3,340 千円	
	和歌山県	・ドリーム21けんせつ絵画コンクール		
鳥取県 (社)鳥取県建設業協会	高校生	・現場見学会(1日)	200 千円	
	高等技術専門学校生	・現場実習(3日間)	140 千円	
島根県 (社)島根県建設業協会	高校生	・現場見学会(1日)	2,800 千円	
	行政・学識経験者・関係団体	・協議会の設置	200 千円	
岡山県 (社)岡山県建設業協会	大学生	・現場見学会(1日)	323 千円	
	高校生	・現場見学会		
山口県 (社)山口県建設業協会	一般	・現場実習	2,258 千円	
	高校生(工業高校)	・イメージアップポスターの募集		
香川県 (社)香川県建設業協会	高校生(工業高校)	・イメージアップ広報誌の作成・配布	1,200 千円	
	一般	・1日目座学(積算、設計図、CAD、写真管理等)		
徳島県 (社)徳島県建設業協会	一般	・2日目現場実習(レベル測量、丁張り、工事概要、工法)	2,100 千円	
	高校生	・地元新聞社への広告掲載	1,200 千円	
愛媛県 (社)愛媛県建設業協会	高校生	・特別講演会	2,460 千円	
	一般	・四国道沿み清掃活動	1,100 千円	
高知県 (社)高知県建設業協会	高校生	・現場見学会(半日or1日)	1,500 千円	
	一般	・インターンシップ(4日間程度)		
福岡県 (社)福岡県建設業協会	高校生	・現場実習	1,300 千円	
	一般	・現場見学会	4,500 千円	
佐賀県 (社)佐賀県建設業協会	一般	・感想文集の制作	5,600 千円	
	高校生	・広報誌の作成・配布		
長崎県 (社)長崎県建設業協会	高校生	・テレビ局とのタイアップによるエコキャンペーン活動の紹介	2,500 千円	
	教師	・FMラジオ等とのタイアップによる公共施設に関わる役割の紹介		
熊本県 (社)熊本県建設業協会	高校生(建設系)	・防災ハンドブックの配布		
	一般	・現場実習		
大分県 (社)大分県建設業協会	高校生	・現場見学会	1,000 千円	
	高校生(内定者)	・企業との現場見学会・懇談会	120 千円	
宮崎県 (社)宮崎県建設業協会	高校生	・現場見学	1,200 千円	
	一般	・高学年の現場実習	2,800 千円	
鹿児島県 (社)鹿児島県建設業協会	一般	・ラジオCM	3,200 千円	
	行政・高校・業界団体・事業主	・工事現場実習(インターンシップ)[3日間]		
沖縄県 (社)沖縄県建設業協会	高校生	・成績優秀者の表彰(各校1名)	6,086 千円	
	高校生	・現場見学会		

資格取得を行う実習費用内訳について  
 石川県建設業協会のみ実施経費内訳が記載。  
 ・教育訓練負担金 41,000×22人=902,000  
 ・交通費 291,850(22人分)  
 ・宿泊食事代 13,500×22人=297,000(参加者負担)  
 ・弁当、飲み物代 47,616

対象	概要
青：生徒等	緑：資格取得を行う実習
赤：教師	黄：講座・座学等
灰：一般	白：広報イベント、その他
社員、役員、業界団体等	オレンジ：現場見学会等
	社員向けセミナー、連絡協議会等



カリキュラム概要

<p><b>高校生体験実習</b> (建築基礎技術コース)</p>		<p><b>プレ入職</b></p>																																																																																																					
<p>職業体験学習</p>		<p>3泊4日</p>																																																																																																					
<p>■目的 鉄筋工事、型枠工事、仮設足場工事の作業体験を通じ、工事の流れや職種に対する理解を深める。</p>																																																																																																							
<p>■訓練・体験内容の概要 鉄筋組立、型枠組立を通じ、実際の鉄筋コンクリート工事の施工の流れや仕組み、職方の役割を理解する。また、仮設足場組立を通じ、安全の確保や足場の役割について理解を深める。 ※1. 文部科学省「学校外における学修の単位認定」に基づき、就業体験として各校長の判断により単位認定(1750分=1単位)としている。 ※2. (一社)千葉県建設業協会より、訓練費用助成を受けている。(往復交通費のみ実費負担)</p>																																																																																																							
<p>■対象 工業高校2・3年生</p>		<p>■募集方法 千葉県内工業高校3校の2・3年生(希望者)</p>																																																																																																					
<p>■人数 31名</p>		<p>■参画団体等</p>																																																																																																					
<p>■協力団体・企業</p>		<p>■参画団体等</p>																																																																																																					
<p>■資格取得</p>		<p>■参画団体等</p>																																																																																																					
<p>■実施内容</p>		<p>■参画団体等</p>																																																																																																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th>カリキュラム(各項目の詳細は別紙)</th> <th>時間割</th> <th>授業形式</th> <th>所要時間</th> <th colspan="2">教材・資料等</th> <th>場所</th> <th>講師番号</th> <th>運営</th> <th>運営支援</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>形式</th> <th>番号</th> <th>形式</th> <th>教材・資料名</th> <th colspan="4"></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>1日目PM</td> <td>入校式</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>富士教育訓練センター</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td>鉄筋組立体験実習</td> <td>13:00-17:00</td> <td>座学+実習</td> <td>4h</td> <td>図面</td> <td>実習用鉄筋・型枠組立図</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>2日目AM</td> <td>型枠組立体験実習(柱)</td> <td>8:00-12:00</td> <td>座学+実習</td> <td>4h</td> <td>図面</td> <td>実習用鉄筋・型枠組立図</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>2日目PM</td> <td>型枠組立体験実習(梁・支保工)</td> <td>13:00-17:00</td> <td>座学+実習</td> <td>4h</td> <td>図面</td> <td>実習用鉄筋・型枠組立図</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>3日目AM</td> <td>仮設足場体験実習</td> <td>8:00-12:00</td> <td>座学+実習</td> <td>4h</td> <td>図面</td> <td>実習用足場組立図</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>3日目PM</td> <td>仮設足場体験実習</td> <td>13:00-17:00</td> <td>座学+実習</td> <td>4h</td> <td>図面</td> <td>実習用足場組立図</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>4日目AM</td> <td>測量体験実習</td> <td>8:00-12:00</td> <td>座学+実習</td> <td>4h</td> <td>プリント</td> <td>測量実習用プリント</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>4日目PM</td> <td>修了式</td> <td>13:00-14:00</td> <td></td> <td>1h</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				カリキュラム(各項目の詳細は別紙)	時間割	授業形式	所要時間	教材・資料等		場所	講師番号	運営	運営支援			形式	番号	形式	教材・資料名					1	1日目PM	入校式				富士教育訓練センター				2		鉄筋組立体験実習	13:00-17:00	座学+実習	4h	図面	実習用鉄筋・型枠組立図			3	2日目AM	型枠組立体験実習(柱)	8:00-12:00	座学+実習	4h	図面	実習用鉄筋・型枠組立図			4	2日目PM	型枠組立体験実習(梁・支保工)	13:00-17:00	座学+実習	4h	図面	実習用鉄筋・型枠組立図			5	3日目AM	仮設足場体験実習	8:00-12:00	座学+実習	4h	図面	実習用足場組立図			6	3日目PM	仮設足場体験実習	13:00-17:00	座学+実習	4h	図面	実習用足場組立図			7	4日目AM	測量体験実習	8:00-12:00	座学+実習	4h	プリント	測量実習用プリント			8	4日目PM	修了式	13:00-14:00		1h				
カリキュラム(各項目の詳細は別紙)	時間割	授業形式	所要時間	教材・資料等		場所	講師番号	運営	運営支援																																																																																														
		形式	番号	形式	教材・資料名																																																																																																		
1	1日目PM	入校式				富士教育訓練センター																																																																																																	
2		鉄筋組立体験実習	13:00-17:00	座学+実習	4h	図面	実習用鉄筋・型枠組立図																																																																																																
3	2日目AM	型枠組立体験実習(柱)	8:00-12:00	座学+実習	4h	図面	実習用鉄筋・型枠組立図																																																																																																
4	2日目PM	型枠組立体験実習(梁・支保工)	13:00-17:00	座学+実習	4h	図面	実習用鉄筋・型枠組立図																																																																																																
5	3日目AM	仮設足場体験実習	8:00-12:00	座学+実習	4h	図面	実習用足場組立図																																																																																																
6	3日目PM	仮設足場体験実習	13:00-17:00	座学+実習	4h	図面	実習用足場組立図																																																																																																
7	4日目AM	測量体験実習	8:00-12:00	座学+実習	4h	プリント	測量実習用プリント																																																																																																
8	4日目PM	修了式	13:00-14:00		1h																																																																																																		
<p>■指導員・講師等</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>講師番号</th> <th>経歴・経緯等</th> <th>年齢</th> <th>資格</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>①</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>②</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>③</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>④</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>⑤</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>⑥</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>その他補助者</td> <td>引率教員2名</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				講師番号	経歴・経緯等	年齢	資格	①				②				③				④				⑤				⑥				その他補助者	引率教員2名																																																																						
講師番号	経歴・経緯等	年齢	資格																																																																																																				
①																																																																																																							
②																																																																																																							
③																																																																																																							
④																																																																																																							
⑤																																																																																																							
⑥																																																																																																							
その他補助者	引率教員2名																																																																																																						
<p>■教材・資料等</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>教材・資料名</th> <th>形式</th> <th>出版社</th> <th>価格</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>a</td> <td>実習用鉄筋・型枠組立図</td> <td>図面</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>b</td> <td>実習用足場組立図</td> <td>図面</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>c</td> <td>測量実習用プリント</td> <td>プリント</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				番号	教材・資料名	形式	出版社	価格	a	実習用鉄筋・型枠組立図	図面			b	実習用足場組立図	図面			c	測量実習用プリント	プリント																																																																																		
番号	教材・資料名	形式	出版社	価格																																																																																																			
a	実習用鉄筋・型枠組立図	図面																																																																																																					
b	実習用足場組立図	図面																																																																																																					
c	測量実習用プリント	プリント																																																																																																					
<p>■訓練・体験等の様子</p> 																																																																																																							

カリキュラムシート 高校生体験実習(2・3年生)

実施日	1日目				
時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	実習用具・使用機材等
		移動			
	13:00	入校式	30m		
	13:30-14:00	【鉄筋組立体験実習・型枠組立体験実習】 ・実習内容の説明 ・鉄筋組立実習の流れと注意点 ・KY活動	30m		実習用鉄筋・型枠組立図、KY活動(黒板)
	14:00-17:00	【鉄筋組立体験実習】(8~9人/組) ・墨出し ・鉄筋組立体験実習(柱)	210m		実習用鉄筋ユニット、鉄筋、結束線、ハッカー、番線カッター

カリキュラムシート 高校生体験実習(2・3年生)

実施日	2日目				
時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	実習用具・使用機材等
	7:45	朝礼	15m		
	8:00-9:00	【型枠組立体験実習】(8~9人/組) ・型枠組立の流れと注意点 ・KY活動	60m		実習用鉄筋・型枠組立図、KY活動(黒板)
	9:00-12:00	【型枠組立体験実習】(8~9人/組) ・柱型枠の組立て ・梁型枠の組立て ・支保工	180m		実習用鉄筋ユニット、ラチェット、単管、パイプサポート、クランプ、セパレーター、フォームタイ、Pコン、セパレーターフック、金槌、足場台
	13:00-15:00	【型枠組立体験実習】(8~9人/組) ・締め付け ・ターンバックルとチェーン	120m		実習用鉄筋ユニット、ラチェット、単管、パイプサポート、クランプ、セパレーター、フォームタイ、Pコン、金槌、番線カッター、番線、足場台
	15:00-17:00	【型枠組立体験実習】(8~9人/組) ・ユニット解体 ・清掃、片付け	120m		ターンバックル、チェーン

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済		近々時間	
	1	2	4h	12h	4h	12h
	1	鉄筋・型枠組立体験実習				
	2	仮設足場体験実習				
	3	測量体験実習				
	4					
	5					

実習用具・使用機材等	
実習用鉄筋ユニット	3組
鉄筋(柱筋・フープ筋)	12組
ハッカー	適宜
結束線	適宜
番線カッター	適宜

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済		近々時間	
	1	2	12h	12h	4h	12h
	1	鉄筋・型枠組立体験実習				
	2	仮設足場体験実習				
	3	測量体験実習				
	4					
	5					

実習用具・使用機材等	
実習用鉄筋ユニット	3組
実習用型枠ユニット(柱・梁)	3組
セパレーター	
フォームタイ	
Pコン	
セパレーターフック	
パイプサポート	
単管	
クランプ	
金槌・釘	
足場台	
ラチェット	
番線カッター	
番線	
ターンバックル・チェーン	

カリキュラムシート 高校生体験実習(2・3年生)

実施日	3日目				
時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用機材等
7:45		朝礼	15m		
8:00-10:00	学科	【仮設足場体験実習】 ・足場組立ての流れと注意点 ・KY活動	120m		仮設足場組立図、 KY活動(黒板)
10:00-12:00	実習	【仮設足場体験実習】 ・仮設足場の組立	120m		レベル、三脚、枠組足場 ラチェット、安全帯、親綱 ※枠組足場は5スパン2層 (鋼製布板・幅木あり)
13:00-17:00	実習	【仮設足場体験実習】 ・仮設足場の組立	180m		レベル、三脚、枠組足場 ラチェット、安全帯、親綱 ※枠組足場は5スパン2層 (鋼製布板・幅木あり)
16:00-17:00	実習	【仮設足場体験実習】 ・解体、清掃	60m		レベル、三脚、枠組足場 ラチェット、安全帯 ※枠組足場は5スパン2層 (鋼製布板・幅木あり)

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済		延べ時間		実習用具・使用機材等	
	1	2	12h	12h				
	1	鉄筋・型枠組立体験実習	12h	12h	レベル	1式		
	2	仮設足場体験実習	8h	8h	三脚	1式		
	3	測量体験実習		4h	枠組足場	1式		
	4				ラチェット	1式		
					安全帯	1式		
					親綱	1式		

カリキュラムシート 高校生体験実習(2・3年生)

実施日	4日目				
時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用機材等
7:45		朝礼	15m		
8:00-8:30	学科	【測量体験実習】 ・測量実習の流れと使用する器具	30m		トランシット、三脚
8:30-12:00	実習	【測量体験実習】 ・多角測量	210m		トランシット、三脚
		修了式			

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済		延べ時間		実習用具・使用機材等	
	1	2	12h	12h				
	1	鉄筋・型枠組立体験実習	12h	12h	トランシット	1式		
	2	仮設足場体験実習	8h	8h	三脚	1式		
	3	測量体験実習	4h	4h				
	4							



カリキュラム概要

<b>総合建設業</b>  職業訓練学習	<b>レベル0</b>	<b>■目的</b> 会員企業に就職予定した県内工業高校生を対象に、富士教育訓練センターで安全衛生教育訓練を実施し、入社前の資格取得及び安全管理を修得する。
		<b>■訓練・体験内容の概要</b> クレーン等の玉掛け、小型移動式クレーン等の作業、及び力学に関する知識等の座学を実施する。

<b>■対象</b> 会員企業内定者(高校生)	<b>■募集方法</b> 会員・工業高校を通じて募集
	<b>■人数</b> 21名

<b>■資格取得</b> 資格名称 1 玉掛け技能講習 2 小型移動式クレーン運転技能講習 3	<b>■参画団体等</b> 団体名称 社団法人石川県建設業協会 職業訓練法人富士教育訓練センター 県内工業高校4校	<b>■協力企業</b> 企業名 業種 住所
---	---	---------------------------------

カリキュラム(各項目の詳細は別紙)	時間割	授業形式	所要時間	教材・資料等		場所	講師番号	運営	運営支援
				形式	書籍名				
1 1日目AM 移動									
クレーンに関する知識	0:00-0:00	座学	1 h	書籍	①玉掛け技能講習	富士教育訓練センター	①	富士教育訓練センター	
力学に関する知識	0:00-0:00	座学	3 h	書籍	①玉掛け技能講習	"	①	"	
2 2日目AM クレーン等玉掛け方法	0:00-0:00	座学	4 h	書籍	①玉掛け技能講習	"	①	"	
クレーン等玉掛け方法	0:00-0:00	座学	3 h	書籍	①玉掛け技能講習	"	①	"	
4 2日目PM 関連法令	0:00-0:00	座学	1 h	書籍	①玉掛け技能講習	"	①	"	
学科試験	0:00-0:00	座学	1 h			"		"	
5 3日目AM 質量目測器具、玉掛け基本作業	0:00-0:00	実習	8 h	書籍	①玉掛け技能講習	"	①②	"	
3日目PM 玉掛け基本作業、応用作業、実技修了試験	0:00-0:00	実習	8 h	書籍	①玉掛け技能講習	"	①②	"	
7 4日目AM 小型移動式クレーンに関する知識	0:00-0:00	座学	4 h	書籍	②小型移動式クレーン運転技能講習	"	③	"	
8 4日目PM 小型移動式クレーンに関する知識	0:00-0:00	座学	2 h	書籍	②小型移動式クレーン運転技能講習	"	③	"	
原動機に関する知識	0:00-0:00	座学	2 h	書籍	②小型移動式クレーン運転技能講習	"	③	"	
原動機に関する知識	0:00-0:00	座学	1 h	書籍	②小型移動式クレーン運転技能講習	"	③	"	
9 5日目AM 関係法令	0:00-0:00	座学	1 h	書籍	②小型移動式クレーン運転技能講習	"	③	"	
学科修了試験	0:00-0:00	座学	1 h			"		"	
10 5日目PM 小型移動式クレーン運転講習	0:00-0:00	実習	4 h	書籍	②小型移動式クレーン運転技能講習	"	③④	"	
11 6日目AM 小型移動式クレーン運転講習、修了試験	0:00-0:00	実習	4 h	書籍	②小型移動式クレーン運転技能講習	"	③④	"	
12 6日目PM 修了式、移動									

<b>■指導員・講師等</b> 講師番号 ① ○○建設グループ長、部長を経て常勤指導員へ ② □□建設工業を経営、前OB指導員より推薦 ③ △△建設工業職長、前OB指導員より推薦 ④ ○×重機職長	経歴・経緯等 年齢 50 68 70 70	勤務 常勤 非常勤 非常勤 非常勤	資格 玉掛け等作業主任者 玉掛け等作業主任者、1級建築施工管理技士 小型移動式クレーン運転技能 小型移動式クレーン運転技能
---	--------------------------------------	-------------------------------	---

<b>■教材・資料等</b> 番号 ① 玉掛け技能講習 ② 小型移動式クレーン運転技能講習	書籍名 使用ページ 全て使用 全て使用	出版社 ○×出版 ○×出版	価格 ¥1,800 ¥2,500	備考
--	------------------------------	---------------------	------------------------	----

カリキュラムシート 石川県建設業協会プレ入職向け職業体験実習

実施日	平成23年2月14日				
時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
9:00-13:00		金沢発 バス移動 JR新富士駅着			
		ガイダンス	2 h		
午後	座学	クレーンに関する知識	1 h	①	・○○○○○○○○○○ P00~P00
	座学	力学に関する知識	1 h	①	・○○○○○○○○○○ P00~P00
夜間授業 18:40-	座学	力学に関する知識	2 h	①	・○○○○○○○○○○ P00~P00
訓練時間合計			6 h		

カリキュラムシート 石川県建設業協会プレ入職向け職業体験実習

実施日	平成23年2月15日				
時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	座学	クレーン等玉掛け方法	4 h	①	・○○○○○○○○○○ P00~P00
午後	座学	クレーン等玉掛け方法	3 h	①	・○○○○○○○○○○ P00~P00
	座学	関連法令	1 h	①	・○○○○○○○○○○ P00~P00
夜間授業 18:40-	座学	学科試験	1 h		
訓練時間合計			9 h		

カリキュラムシート 石川県建設業協会プレ入職向け職業体験実習

実施日 平成23年2月16日

時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	実習	質量目測用具の選定	1 h	①②	・○○○○○○○○○○ P00～P00
	実習	玉掛け基本作業及び応用作業	3 h	①②	・○○○○○○○○○○ P00～P00
午後	実習	玉掛け基本作業及び応用作業	4 h	①②	・○○○○○○○○○○ P00～P00
	実習	実技修了試験	1 h	①②	
訓練時間合計			9 h		

カリキュラムシート 石川県建設業協会プレ入職向け職業体験実習

実施日 平成23年2月17日

時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	座学	小型移動式クレーンに関する知識	4 h	③	・○○○○○○○○○○ P00～P00
午後	座学	小型移動式クレーンに関する知識	2 h	③	・○○○○○○○○○○ P00～P00
	座学	原動機に関する知識	2 h	③	・○○○○○○○○○○ P00～P00
訓練時間合計			8 h		

カリキュラムシート 石川県建設業協会プレ入職向け職業体験実習

実施日 平成23年2月18日

時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	座学	原動機に関する知識	2 h	③	・○○○○○○○○○○ P00～P00
	座学	関係法令	1 h	③	・○○○○○○○○○○ P00～P00
	実習	学科修了試験	1 h		
午後	実習	小型移動式クレーン運転講習	4 h	③④	・○○○○○○○○○○ P00～P00
訓練時間合計			8 h		

カリキュラムシート 石川県建設業協会プレ入職向け職業体験実習

実施日 平成23年2月19日

時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	実習	小型移動式クレーン運転講習	3 h	③④	・○○○○○○○○○○ P00～P00
	実習	修了試験	1 h	③④	
午後		修了式、移動			
訓練時間合計			4 h		

カリキュラム概要

<b>総合建設業</b> レベル0		<b>■目的</b> 建設業のイメージアップと入職後のミスマッチ回避のため、高校生を対象として建設業の職業体験の場を提供する。	
		<b>■訓練・体験内容の概要</b> 建設機械(バックホー、高所作業車)の試乗体験、及び型枠施工又は鉄筋施工の体験を行う。	
<b>■対象</b> 高校生		<b>■募集方法</b> 高校生19名+引率教諭5名	
<b>■資格取得</b> 資格名称 1 2 3		<b>■参画団体等</b> 団体名称 一般社団法人大阪建設業協会 三田建設技能研修センター	
		<b>■協力企業</b> 企業名 業種 住所	
<b>■実施内容</b>			
カリキュラム(各項目の詳細は別紙)		時間割 8:00-19:00	授業形式 体験
1 AM 建設機械試乗体験 ①型枠施工体験 2 PM ②鉄筋施工体験 修了式		所要時間 h	教材・資料等 形式 オリジナル
			書籍名 ①実習用壁型枠施工計画図 ②実習用鉄筋組立施工計画図
			場所 三田建設技能研修センター "                 "
			講師番号 ① ② ③
			運営 三田建設技能研修センター 三田建設技能研修センター 三田建設技能研修センター
			運営支援
<b>■指導員・講師等</b>		<b>■訓練・体験等の様子</b>	
氏名 ① 三田 太郎 ② 三田 二郎 ③ 三田 三郎		経歴・経緯等 ○建設グループ現場監督を経て、指導員 □建設工業を経営、前OB指導員より推薦 △建設工業職長、前OB指導員より推薦	
		年齢 50 68 70	
		勤務 常勤 非常勤 非常勤	
		資格 高所作業運転技能講習、重機系建設機械技能講習修了者 1級型枠施工技能士、職業訓練指導員 1級鉄筋施工技能士、職業訓練指導員	
<b>■教材・資料等</b>			
番号	書籍名	使用ページ	出版社
①	実習用壁型枠施工計画図	全て	オリジナル資料
②	実習用鉄筋組立施工計画図	全て	オリジナル資料
			価格
			備考

カリキュラムシート

実施日 平成24年8月3日					
時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前		開講式			
	体験	建設機械試乗体験 ・バックホー ・高所作業車		三田 太郎	
午後	体験	①型枠施工グループ ・施工計画図に沿った壁型枠の製作		三田 二郎	・実習用壁型枠施工計画図
	体験	②鉄筋施工グループ ・施工計画図に沿って鉄筋の配置、 結束を中心とした鉄筋組み立て作業		三田 三郎	・実習用鉄筋組立施工計画図
		修了式			
訓練時間合計					

カリキュラムシート

実施日					
時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
訓練時間合計					

カリキュラム概要

<b>鉄筋工事業</b>	<b>レベル0</b>	<p>■目的 企業技術者の指導により施工現場における専門的、実践的技能・技術の習得の必要性を知ると共に、建設業への理解を深め、生徒の職業観・勤労観、主体的な職業選択能力の育成を図る。</p> <p>■訓練・体験内容の概要 実際の鉄筋工事において用いる本物の鉄筋等の材料を用い、2級鉄筋組立技能士試験の課題実習を通して、鉄筋組立技能と鉄筋工事業について学ぶ。</p>
職業体験学習	計5回の実習 (135分×5回)	

■対象	定時制建築科2年生	■募集方法	市川工業高校 定時制建築科2年生
		■人数	16名

■資格取得		■参画団体等		■協力企業		
資格名称		団体名称	団体名称	企業名	業種	住所
1		市川工業高校 定時制建築科		株式会社君塚鉄筋	鉄筋工事業	千葉県若葉区多部田町777-4
2		千葉県鉄筋業協会				
3						

■実施内容		時間割	授業形式	所要時間	教材・資料等		場所	講師番号	運営	運営支援
カリキュラム(各項目の詳細は別紙)					形式	書籍名				
1	1回目	17:30-19:30	体験	2h			市川工業高校		市川工業高校定時制建築科	
2	2回目	17:30-19:30	体験	2h			市川工業高校		市川工業高校定時制建築科	
3	3回目	17:30-19:30	体験	2h			市川工業高校		市川工業高校定時制建築科	
4	4回目	17:30-19:30	体験	2h			市川工業高校		株式会社君塚鉄筋	株式会社君塚鉄筋
5	5回目	17:30-19:30	体験	2h			市川工業高校		市川工業高校定時制建築科	株式会社君塚鉄筋

■指導員・講師等				
講師	経歴・経緯等	年齢	勤務	資格
①				
②	株式会社君塚鉄筋			
③	株式会社君塚鉄筋			



■教材・資料等					
番号	書籍名	使用ページ	出版社	価格	備考

カリキュラムシート

カリキュラムシート		実施日			
		平成27年3月3日			
時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
17:30-17:45	開講あいさつ ①校長挨拶 ②来賓代表挨拶 ③講師紹介		15m		
17:45-18:15	座学	鉄筋工事業について	30m	②	パワーポイント及び配付資料
18:15-18:45		休憩	30m		
18:45-19:20	体験	2級鉄筋組立技能士試験実技課題 (実演) 質疑応答	35m	②③	実際に建築工事に用いる鉄筋等の材料を用いて実演を行う。
19:20-19:30	閉講あいさつ ・生徒の感想 ・参観者講評 ・お礼の言葉(科長)		10m		
		訓練時間合計	65m		

カリキュラムシート

カリキュラムシート		実施日			
時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
		訓練時間合計			

カリキュラム概要

<b>クレーン</b>		<b>プレ入職</b>	
職業体験学習		180分	
<b>■目的</b> 建設業におけるクレーンの果たす役割やクレーンオペレーターの仕事について、講座や重機の操縦体験を通じて理解を深める。			
<b>■訓練・体験内容の概要</b> 前半は座学にて、クレーンの仕組みや性能、建設工事現場での役割について、DVDとメーカーカタログ等を通じて解説する。 後半は重機の操縦体験を通じて、クレーンオペレーターの仕事について理解を深める。			
<b>■対象</b> 工業高校建設コース2年生		<b>■募集方法</b> 磯子工業高校 建設課建設コース2年生	
		<b>■人数</b> 35名(男子31名、女子4名)	
<b>■資格取得</b> 資格名称		<b>■参加団体等</b> 団体名称	
1 2 3 4 5 6 7		磯子工業高徳建設課建設コース 神奈川県建設重機共同組合 全国クレーン建設業協会 神奈川県支部	
		<b>■協力企業</b> 企業名 業種 住所	
		佐藤機工(株) クレーン 横浜市港南区扇戸1丁目16-28 神奈川重機(株) クレーン 神奈川県横浜市金沢区幸浦2-11-4 (有)大塚重機 クレーン 神奈川県横浜市戸塚区原宿3-40-5 (株)多摩川機工 クレーン 川崎市高津区野川3695 市原クレーンサービス(株) クレーン 川崎市川崎区鶴町1-15-2(事務所) (株)タダノ メーカー 横浜市都筑区池辺町4843番地1(横浜営業所) (株)加藤製作所 メーカー 横浜市神奈川区沢渡1-2(横浜支店)	
<b>■実施内容</b> カリキュラム(各項目の詳細は別紙)			
時間割	授業形式	所要時間	教材・資料等
1	クレーン車駐車入り	8:00	
2	座学参加者集合	8:30	
3	クレーン車校庭入り・設置作業	8:45	
4	座学授業	8:55-9:45	座学 50 m
5	移動・校庭集合	9:45-9:50	
6	課外授業	10:00-11:55	体験 125 m
7	閉講式	11:55-12:00	5 m
<b>■指導員・講師等</b> 講師番号 経歴・経緯等 年齢 資格			
① 一般財団法人神奈川県クレーン建設業協会 事務局長 ② 株式会社タダノ ③ 大塚重機株式会社 ④ 佐藤機工株式会社 ⑤ 株式会社多摩川機工 ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ その他補助者 13名			
<b>■教材・資料等</b> 番号 教材・資料名 形式 出版社 価格			
a 移動式クレーン安全手帳 手帳 社団法人全国クレーン建設業協会 b DVD c クレーンカタログ カタログ タダノ			
<b>■訓練・体験等の様子</b> 			

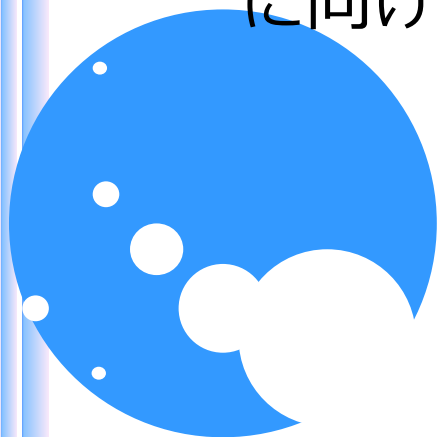
カリキュラムシート

実施日 平成26年8月25日					
時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
8:55	座学	実習室集合	5 m	①	
9:00	座学	開講あいさつ 資料配付	5 m	①	移動式クレーン安全手帳
9:05	座学	クレーンの性能と役割	25 m	②	DVD カタログ資料
9:30	座学	クレーンオペレーターの日	10 m	③	
9:40	座学	質疑応答	5 m	①	
合計時間(前半:座学)			50 m		

カリキュラムシート

実施日 平成26年8月25日					
時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
9:50	実習	校庭集合	10 m		
10:00	実習	全体会議(朝礼形式) 模型使用によるレバー操作 玉掛け合図実習 オペレーターデモンストレーション	10 m	司会:④ 講師:⑤ S班:⑥⑦ K班:⑧⑨ O班:⑩⑪	
10:10	実習	実技実習 ・1人5~6分程度 ・生徒の安全に十分留意する	105 m	司会:④ 講師:⑤ S班:⑥⑦ K班:⑧⑨ O班:⑩⑪	
11:55		閉講式	5 m		
		後日、感想文を提出			
合計時間(後半:クレーン運転体験)			130 m		

# 「専門工事業の担い手確保・育成」 に向けた訓練体系の構築



～関西鉄筋工業協同組合の取組について～

関西鉄筋工業協同組合

## 地域連携ネットワークの構築及び事業の実施について

3団体で連携・各種学校等と協力

関西鉄筋工業協同組合

近畿建設躯体工業協同組合

関西圧接業協同組合

関西地区の工業高校

関西地区の専門高校

出前講座・建設技術展など

地域における若年者の人材確保・育成に向けた職業訓練体系の構築

業界の広報活動やイメージアップを図っていく

関西鉄筋工業協同組合

# 出前講座の開催

## ○実施概要

大阪府立東大阪高等職業技術専門校（ものづくりカレッジ）を訓練施設として、高校生等を対象にした合同出前講座を開催。鉄筋、型枠、とび（足場）、圧接の4職種を体験してもらった。二日間の合同出前講座では3校の約360名が受講した。

平成27年10月7日（水）

- ① 9:00～11:30大阪府立布施工科高校の2年生40名
- ② 12:00～14:00神戸市立科学技術高校の2年生77名

平成27年10月9日（金）

- ① 9:00～12:00 修成建設専門学校の1年生など239名
- ② 13:00～16:00 "（2回に分けて実施）



関西鉄筋工業協同組合

# 出前講座の開催

## ○生徒たちの感想

これまでの建設業に対するイメージはとにかく力仕事でしんどいものと思っていたが、今日の講座で各仕事の楽しさややりがいなどを教えてもらいとても良い勉強になった。



ほとんど機械で仕事するものだと思っていたので手作業の部分もあることが分かった。

4つの職種についてどのような仕事をし、何のためにしているのかなどが良くわかった。

完成した時の喜びや達成感を味わうためにみんな必死になるんだと思った。

私は設計志望なので現場をよく理解し、お互いの関係が良くなるようにしていきたい。

※受講後に生徒たちに興味を持った職種(複数可)を挙げてもらった結果、あまり差はなかったが、圧接、鉄筋、型枠、とび(足場)の順であった。



女子でも圧接ができるのであれば将来私は圧接をやりたい。



関西鉄筋工業協同組合

## 出前講座の開催

### ○先生方の感想



躯体工事を一連の流れの中で体験することができ、生徒たちも理解が深まったと思う。

4つの職種を20分サイクルで体験したが、もう少し時間が取ればもっと良かった。

職人さんの手ほどきを受けながら各作業に真剣に取り組む生徒たちの表情は輝いていた。実物に触れる楽しさや建設物が残る喜びを知る機会となったことで生徒たちには貴重な経験となった。

出前講座は生徒や先生の反応もよく、手ごたえがある

関西鉄筋工業協同組合

## 出前講座の開催

### ○今後の取組

- ・開催時期について学校側との調整を図る  
学校行事等の関係で6月と10月の開催希望が多いので、昨年はアンケートを取って開催日を決定した。今年も新年度早々にアンケートを実施する予定にしている。今後6月と10月に開催時期を固定していくことも検討する。
- ・マニュアル化を図る  
これまでの2回の開催経験を踏まえ4職種の作業内容やタイムスケジュール等についてマニュアル化し、限られた時間の中で効率よく講座を進めていく。
- ・対象の拡大  
高校生だけでなく中学生や小学生まで実施対象を広げていくことを検討する。

関西鉄筋工業協同組合



## 第2回専門工事業担い手確保・育成委員会

平成27年12月21日（月）16:30～18:00 建団連会館・8階会議室

（出席者）

古阪秀三京都大学教授をはじめ学校の教諭など15名の委員のうち13名が出席。今回から大阪労働局の担当者も新たに委員として出席した。

（岩田理事長の挨拶）

従来の出前講座だけで終わるのではなく、大阪や兵庫、京都といった地域単位での訓練施設を活用するなど、実施事業に移行した今後の2年間で将来の担い手確保・育成につながる新たな仕組みづくりに取り組みたい。



（意見交換の内容）

- ・圧接などほとんど見る機会がなく、今回間近で実際に見る事ができて良かった。
- ・学生たちも躯体工事を一連の流れの中で体験することができ理解が深まったと思う。
- ・見学していた先生たちも出前講座の効果に驚いていた。
- ・従来のように1つの職種だけでなく、複数の職種を一連の流れとして体験することは理解も深まるし良いことだと思う。
- ・出前講座の目的は生徒たちにモノづくりの楽しさを伝えることで業界に興味を持ってもらうことだ。
- ・合同出前講座とは別に、同じ施設を活用してインターンシップのような体験講習ができないだろうか。たとえば鉄筋について座学と組立作業を1日かけて学ぶとか。
- ・教師が生徒に教えられないのが現状であり、先生方に技術指導のための講座を開くことも必要だと思う。

関西鉄筋工業協同組合

## 第2回専門工事業担い手確保・育成委員会

（今後の取り組み）

- ・訓練施設として従来の大阪府立東大阪高等職業技術専門校をベースに出前講座の依頼があれば速やかに対応できる体制にしたい。将来的には各府県の組合が主体となり京都で依頼があれば京都の施設で、和歌山であれば和歌山の施設を活用し、地域が連携したネットワークの構築を目指したい。
- ・会員企業の新卒者を訓練施設で教育する場合、彼らの人件費は各企業が負担しているが、これがネックになって新入社員教育ができていないので、辞める原因の大きな要素となっている。ぜひとも国で助成金の検討をしていただきたい。このコンソーシアムでは様々なケースを想定し、試行錯誤を重ねて職人育成学校を目指して頑張ります。
- ・3団体の会員企業の新入社員など若手技能者を対象にした技能講習会等を開催し、各職種における人材育成を図っていくことも検討していく。そのための委員会を立ち上げる予定。

（古阪教授の総評）

若者にチャンスをもどのように与えてあげるか。彼らの選択肢を増やしているんな可能性を与えてあげることが大事であり、先生方にはそのための知恵を出して協力してほしい。

関西鉄筋工業協同組合

## 建設技術展への出展

平成27年10月28日・29日 マイドームおおさか（大阪市）で開催

○国や高速道路会社、ゼネコン、建設コンサルタント、メーカー、建設関係団体など153者が出展。2日間で延べ1万5000人が来場。

○広く一般の人たちにも業界のことを知ってもらうために鉄筋、躯体、圧接の3団体が連携し、鉄筋のモニュメントをはじめ体験コーナー等も設けたブースを出展した。



出展者を対象にした表彰では初めて注目技術賞を受賞するとともに、7年連続での受賞となったベストブース賞では殿堂入りした。



関西鉄筋工業協同組合

## 建設業務労働者就業機会確保事業

- 企業間並びに地域間における繁忙期と閑散期のギャップ（繁閑問題）を解消する上で建設技能者の処遇改善に大きな効果が期待される。
- 建設業の実態に即した現実的な制度運用が可能かどうかについてさらに検討を重ねる。
- 国交省が昨年12月に「建設労働需給調整システム及び多能工の活用による専門工事業者の繁閑調整手法の検討」の一環として、専門工事業者を対象にした工事実績などのアンケート調査を実施した。今後の展開に注目したい。

ご清聴ありがとうございました。

もっと知って！鉄筋工事のこと！

関西鉄筋工業協同組合

## 工業高校生徒を対象とした高校生体験実習について

### 1. 概要

- ・千葉県内の県立工業高校（1年生：3校、2・3年生：4校）の生徒を対象とする。
- ・富士教育訓練センターにおいて、3泊4日の体験実習となっており、実際に建設現場で使用されている材料、機材、道具等を用いて実習を行う。（平成27年8月18日～21日）
- ・1年生と2・3年生でコースが分かれている。1年生は職業体験を重視しており、2・3年生はより実践的なカリキュラムとなっている。
- ・建設産業共同訓練協議会（1年生）、千葉県建設業協会（2・3年生）が訓練費用を助成しており、生徒は交通費実費負担（¥6,000）である。
- ・朝礼等は他の訓練生と合同で行い、挨拶、体験報告、KY活動等は訓練コースと同様の内容で実施される。
- ・就業体験として各学校長の判断により単位認定（体験実習、日報作成等を含む）している学校もある。

### 2. 1年生対象のカリキュラム

- ・9人を1グループとして、各工種につき4時間の体験を行う。※測量のみ8時間
- ・希望者のみの参加である（東総工業は1年生の半数以上（23名）が参加）
- ・各体験共に学科+実習で構成されている。
- ・鉄筋組立は2級技能士試験実技のベース+柱（+フープ筋）、材料は加工済みの鉄筋を用いる。
- ・資材、機材、道具等は貸し出し。（ヘルメット・作業服以外）

<p>ガス圧接</p>	<p>鉄筋組立（3人1組）</p>
	
<p>建設機械</p>	<p>測量（3人1組）</p>
	

### 3. 2・3年生対象のカリキュラム

- ・希望者のみの参加で、8～10人で1グループ、計3グループで実習を行う。
- ・鉄筋・型枠施工実習となっており、図面に従って簡略化された実習用ユニットの鉄筋の組立・型枠の組立・締め付けまでを行う。鉄筋、型枠共にユニット化されており、加工済みの資材を用いる。鉄筋は脚部ユニットに、柱筋とフープ筋を結束して組み立て、型枠はセバ穴加工済みの型枠を用いて組み立てる。(鉄筋組立：半日、型枠組立・解体(鉄筋含む)・清掃：1日)
- ・資材、機材、道具等は貸し出し。(ヘルメット・作業服以外)一部の生徒は専門工事業への就職を希望しており、自前の道具等を持っている生徒もいる。

<p>KY 活動+座学</p> 	<p>鉄筋組立</p> 
<p>柱型枠</p> 	<p>梁型枠 (鉄筋なし)</p> 
<p>締め付け</p> 	<p>完成 (上部より)</p> 

※見学日：平成27年8月19日

#### 4. その他

- ・学校側の実習内容への要望等を富士教育訓練センターがカリキュラムとしてまとめる。
- ・支援を行う協会側からの要望として、入職につながりにくい部分が指摘されているが、一方で会員企業から求人票が出てこない状況もある。
- ・学校側からは希望者が参加しており、進学希望の生徒もいることから直接的な成果につながりにくい側面もある。
- ・総合建設業だけではなく、専門工事業への就職につながっている部分もある。
- ・現在は富士教育訓練センターでの3泊4日（1440分）と事前レクチャー、体験報告書作成を合わせて1単位（1750分）が、富士教育訓練センターでの日報作成等の時間を確保し、富士教育訓練センターで完結できる仕組みとしたい意向がある。

カリキュラム概要

高校生体験実習	プレ入職	<p>■目的 鉄筋、ガス圧接、重機等の体験を通じ、建設に関わる仕事についての理解を深める。</p> <p>■訓練・体験内容の概要 鉄筋組立、ガス圧接、重機操縦、測量、仮設足場組立等の体験実習を通じ、建設に関わる職種や現場の環境を体験する。 ※1. 文部科学省「学校外における学修の単位認定」に基づき、就業体験として各中学校長の判断により単位認定(1750分=1単位)としている。 ※2. 建設産業共同訓練協議会より、「若年者及び女性に魅力ある職場づくり事業」による訓練費用助成を受けている。(往復交通費のみ実費負担)</p>																																																																																																																																			
職業体験学習	3泊4日	<p>■対象 工業高校1年生</p> <p>■募集方法 千葉県内工業高校3校の1年生(希望者)</p> <p>■人数 56名</p>																																																																																																																																			
<p>■資格取得</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>資格名称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1 なし</td></tr> <tr><td>2</td></tr> <tr><td>3</td></tr> <tr><td>4</td></tr> <tr><td>5</td></tr> <tr><td>6</td></tr> <tr><td>7</td></tr> </tbody> </table>		資格名称	1 なし	2	3	4	5	6	7	<p>■参画団体等</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>団体名称</th> <th>団体名称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>千葉県立市川工業高校建築科</td><td></td></tr> <tr><td>千葉県立京葉工業高校建設科</td><td></td></tr> <tr><td>千葉県立東総工業高校建設科</td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>	団体名称	団体名称	千葉県立市川工業高校建築科		千葉県立京葉工業高校建設科		千葉県立東総工業高校建設科																																																																																																																				
資格名称																																																																																																																																					
1 なし																																																																																																																																					
2																																																																																																																																					
3																																																																																																																																					
4																																																																																																																																					
5																																																																																																																																					
6																																																																																																																																					
7																																																																																																																																					
団体名称	団体名称																																																																																																																																				
千葉県立市川工業高校建築科																																																																																																																																					
千葉県立京葉工業高校建設科																																																																																																																																					
千葉県立東総工業高校建設科																																																																																																																																					
<p>■実施内容</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>カリキュラム(各項目の詳細は別紙)</th> <th>時間割</th> <th>授業形式</th> <th>所要時間</th> <th colspan="2">教材・資料等</th> <th>場所</th> <th>講師番号</th> <th>運営</th> <th>運営支援</th> </tr> <tr> <th colspan="4"></th> <th>番号</th> <th>形式</th> <th colspan="4"></th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1 1日目AM</td><td>移動</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2 1日目PM</td><td>入校式</td><td></td><td>1h</td><td></td><td></td><td>富士教育訓練センター</td><td></td><td>富士教育訓練センター</td><td></td></tr> <tr><td>3 1日目PM</td><td>ガス圧接体験実習</td><td>13:00-17:00</td><td>4h</td><td>DVD</td><td>ガス圧接技能講習用DVD</td><td>"</td><td>①</td><td>"</td><td>"</td></tr> <tr><td>4 2日目AM</td><td>鉄筋組立体験実習</td><td>8:00-12:00</td><td>4h</td><td>プリント</td><td>KY活動用紙</td><td>"</td><td>②</td><td>"</td><td>"</td></tr> <tr><td>5 2日目PM</td><td>建設機械体験実習</td><td>13:00-17:00</td><td>4h</td><td>プリント</td><td>配筋図</td><td>"</td><td>③</td><td>"</td><td>"</td></tr> <tr><td>6 3日目AM</td><td>測量体験実習</td><td>8:00-12:00</td><td>4h</td><td>プリント</td><td>測量実習用プリント</td><td>"</td><td>④</td><td>"</td><td>"</td></tr> <tr><td>7 3日目PM</td><td>測量体験実習</td><td>13:00-17:00</td><td>4h</td><td>プリント</td><td>測量実習用プリント</td><td>"</td><td>④</td><td>"</td><td>"</td></tr> <tr><td>8 4日目AM</td><td>仮設足場体験実習</td><td>8:00-12:00</td><td>4h</td><td></td><td></td><td>"</td><td>⑤</td><td>"</td><td>"</td></tr> <tr><td>9 4日目AM</td><td>修了式</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>"</td><td></td><td>"</td><td>"</td></tr> </tbody> </table>		カリキュラム(各項目の詳細は別紙)	時間割	授業形式	所要時間	教材・資料等		場所	講師番号	運営	運営支援					番号	形式					1 1日目AM	移動									2 1日目PM	入校式		1h			富士教育訓練センター		富士教育訓練センター		3 1日目PM	ガス圧接体験実習	13:00-17:00	4h	DVD	ガス圧接技能講習用DVD	"	①	"	"	4 2日目AM	鉄筋組立体験実習	8:00-12:00	4h	プリント	KY活動用紙	"	②	"	"	5 2日目PM	建設機械体験実習	13:00-17:00	4h	プリント	配筋図	"	③	"	"	6 3日目AM	測量体験実習	8:00-12:00	4h	プリント	測量実習用プリント	"	④	"	"	7 3日目PM	測量体験実習	13:00-17:00	4h	プリント	測量実習用プリント	"	④	"	"	8 4日目AM	仮設足場体験実習	8:00-12:00	4h			"	⑤	"	"	9 4日目AM	修了式					"		"	"	<p>■協力団体・企業</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>団体・企業名</th> <th>業種</th> <th>住所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>建設産業共同訓練協議会</td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>	団体・企業名	業種	住所	建設産業共同訓練協議会																	
カリキュラム(各項目の詳細は別紙)	時間割	授業形式	所要時間	教材・資料等		場所	講師番号	運営	運営支援																																																																																																																												
				番号	形式																																																																																																																																
1 1日目AM	移動																																																																																																																																				
2 1日目PM	入校式		1h			富士教育訓練センター		富士教育訓練センター																																																																																																																													
3 1日目PM	ガス圧接体験実習	13:00-17:00	4h	DVD	ガス圧接技能講習用DVD	"	①	"	"																																																																																																																												
4 2日目AM	鉄筋組立体験実習	8:00-12:00	4h	プリント	KY活動用紙	"	②	"	"																																																																																																																												
5 2日目PM	建設機械体験実習	13:00-17:00	4h	プリント	配筋図	"	③	"	"																																																																																																																												
6 3日目AM	測量体験実習	8:00-12:00	4h	プリント	測量実習用プリント	"	④	"	"																																																																																																																												
7 3日目PM	測量体験実習	13:00-17:00	4h	プリント	測量実習用プリント	"	④	"	"																																																																																																																												
8 4日目AM	仮設足場体験実習	8:00-12:00	4h			"	⑤	"	"																																																																																																																												
9 4日目AM	修了式					"		"	"																																																																																																																												
団体・企業名	業種	住所																																																																																																																																			
建設産業共同訓練協議会																																																																																																																																					
<p>■指導員・講師等</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>講師番号</th> <th>経歴・経緯等</th> <th>年齢</th> <th>資格</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>①</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>②</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>③</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>④</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>⑤</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>⑥</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>その他補助者</td><td>引率教員2名</td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>		講師番号	経歴・経緯等	年齢	資格	①				②				③				④				⑤				⑥				その他補助者	引率教員2名			<p>■訓練・体験等の様子</p> 																																																																																																			
講師番号	経歴・経緯等	年齢	資格																																																																																																																																		
①																																																																																																																																					
②																																																																																																																																					
③																																																																																																																																					
④																																																																																																																																					
⑤																																																																																																																																					
⑥																																																																																																																																					
その他補助者	引率教員2名																																																																																																																																				
<p>■教材・資料等</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>教材・資料名</th> <th>形式</th> <th>出版社</th> <th>価格</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>a</td><td>ガス圧接技能講習用DVD</td><td>DVD</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>b</td><td>KY活動用紙</td><td>プリント</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>c</td><td>配筋図</td><td>プリント</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>d</td><td>測量実習用プリント</td><td>プリント</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>e</td><td>仮設足場実習用プリント</td><td>プリント</td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>		番号	教材・資料名	形式	出版社	価格	a	ガス圧接技能講習用DVD	DVD			b	KY活動用紙	プリント			c	配筋図	プリント			d	測量実習用プリント	プリント			e	仮設足場実習用プリント	プリント																																																																																																								
番号	教材・資料名	形式	出版社	価格																																																																																																																																	
a	ガス圧接技能講習用DVD	DVD																																																																																																																																			
b	KY活動用紙	プリント																																																																																																																																			
c	配筋図	プリント																																																																																																																																			
d	測量実習用プリント	プリント																																																																																																																																			
e	仮設足場実習用プリント	プリント																																																																																																																																			

1

カリキュラムシート 高校生体験実習(1年生)

実施日	1日目				
時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	実習用具・使用機材等
	移動				
13:00	入校式		30m		
13:30	学科	【ガス圧接体験実習】 ・ガス圧接の仕組み ・ガス圧接の方法	30m		プロジェクター、スクリーン、DVD
14:00	実習	【ガス圧接体験実習】 ・ガス圧接機器の取扱方 ・手動ガス圧接体験	200m		手動ガス圧接機器(加圧装置・バーナー)、耐熱グローブ、サングラス、D22(カット済み鉄筋)
16:50	学科	【ガス圧接体験実習】 ・ガス圧接機器の取扱方	10m		

科目別 訓練時間	別練科目		実施済	延べ時間	実習用具・使用機材等	
	1	測量体験実習		8h	プロジェクター	1台
	2	仮設工事体験実習		4h	スクリーン	1台
	3	手動ガス圧接体験実習		4h	教材DVD	1枚
	4	鉄筋組立体験実習		4h	手動ガス圧接機器	1式
	5	重機操縦体験実習		4h	耐熱グローブ	適宜
					サングラス	適宜
					D22カット済み鉄筋	適宜

カリキュラムシート 高校生体験実習(1年生)

実施日	2日目				
7:45	朝礼		15m		
8:00-8:20	学科	【鉄筋組立体験実習】 ・鉄筋組立工事とは ・KY活動 ・実習に用いる道具	20m		ハッカー、番線カッター、KY活動書き込み用紙
8:30-12:00	実習	【鉄筋組立体験実習】 ・鉄筋の役割と結束の方法 ・配筋図と鉄筋組立 ・スラブ筋・柱筋の組立、解体(3人1組)	40m		2級鉄筋技能検定用ユニット 結束線、ハッカー、番線カッター
13:00-13:20	学科	【重機操縦体験実習】 ・重機の役割	20m		油圧ショベル
13:20-17:00	実習	【重機操縦体験実習】 ・油圧ショベルの操作 ・アーム、ブーム、バケットの操作	220m		油圧ショベル

科目別 訓練時間	別練科目		実施済	延べ時間	実習用具・使用機材等	
	1	測量体験実習		8h	【鉄筋組立体験実習】	
	2	仮設工事体験実習		4h	ハッカー	適宜
	3	手動ガス圧接体験実習		4h	番線カッター	適宜
	4	鉄筋組立体験実習		4h	結束線	適宜
	5	重機操縦体験実習		4h	2級鉄筋技能検定用ユニット	4組
					KY活動書き込み用紙	3枚
					【重機操縦体験実習】	
					油圧ショベル	1台

2



## 建築系大学生を対象とした建築施工管理実習について



### 1. 概要

- ・ 建築系の学科で学ぶ大学生（1～4年生）を対象とする。学生は東洋大学、芝浦工業大学、ものづくり大学等より参加しているとのことであった。
- ・ 富士教育訓練センターにおいて、第一回は平成 27 年 8 月 31 日～9 月 4 日、第二回は平成 27 年 9 月 14 日～18 日の 4 泊 5 日の体験実習となっており、同じプログラム（順序は異なる）で実施される。体験実習は毎年カリキュラムを一部変更して実施されており、実際に建設現場で使用されている材料、機材、道具等を用いて行う。
- ・ 第一回プログラムは 1～2 年生中心、第二回プログラムは 3～4 年生中心となっている。
- ・ 参加費用は¥26,000/人となっている。
- ・ 朝礼等は他の訓練生と合同で行い、挨拶、体験報告、KY 活動等は訓練コースと同様の内容で実施される。
- ・ 単位認定している大学もある。（東洋大学：2 単位）


### 2. カリキュラムの概要

- ・ 各体験は座学+実習で構成されている。座学は教室で実施する場合と実習場で集合して説明する場合がある。
- ・ 参加学生全員（第二回は 20 名）で同じカリキュラムで実習を行う。
- ・ 資材、機材、道具等は富士教育訓練センターより貸し出し。

#### ●リニューアル工事

コア抜き	打診棒・クラックスケールによる劣化診断
	

#### ●内装工事（3人～4人組）

実習の進め方・道具の使い方の説明	下地組・内装材（石膏ボード）の作業実習
	



●木造実習（6帖平屋建て木造軸組ユニット）

木造実習座学	材料の説明
	
梓組足場の組立	土台敷き
	
桁掛け	棟上げ
	

※見学日：平成 27 年 9 月 15 日

カリキュラム概要

<b>施工管理実習</b> (建築系大学生)	<b>プレ入職</b>	<b>■目的</b> 建設業の職種体験を通じ、建設業への理解や作業の流れを理解する。																																																																																																																																															
		<b>■訓練・体験内容の概要</b> 測量実習、内装工事、リノベーション工事、木造実習、施工管理実習での実際の作業を通じ、工事のポイントや安全への意識等を高める。 ※1. 他の実習等との組み合わせ等により、単位となる大学もある。 ※2. 平成27年度は2回実施され、同内容のカリキュラムを行う。 ※3. 建設業若年者入職促進・人材育成事業の経費助成を利用し、学生負担の軽減を図っている。																																																																																																																																															
<b>■対象</b> 大学生	<b>■募集方法</b> 大学生の希望者 20名(2回目)																																																																																																																																																
<b>■資格取得</b>	<b>■参加団体等</b>	<b>■協力団体・企業</b>																																																																																																																																															
<table border="1"> <thead> <tr> <th>資格名称</th> <th>団体名称</th> <th>団体名称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1) G1</td> <td>東洋大学</td> <td>(名城大学※1回目に参加)</td> </tr> <tr> <td>2)</td> <td>芝浦工業大学</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3)</td> <td>ものつくり大学</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4)</td> <td>近畿圏大学</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	資格名称	団体名称	団体名称	1) G1	東洋大学	(名城大学※1回目に参加)	2)	芝浦工業大学		3)	ものつくり大学		4)	近畿圏大学		<table border="1"> <thead> <tr> <th>団体・企業名</th> <th>業種</th> <th>住所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>富士教育訓練センター</td> <td></td> <td>静岡県富士市保原字東山469-8</td> </tr> <tr> <td>NPOリノベーション技術開発協会</td> <td></td> <td>東京都中央区新富1-2-2 新富町1丁目ビル2F</td> </tr> <tr> <td>株式会社ダイフレックス</td> <td>防水工・技術開発</td> <td>東京都新宿区新宿2-4-1 新宿NSビル2F</td> </tr> <tr> <td>日本建設業振興労働組合協議会</td> <td></td> <td>東京都板橋区東目黒1-31-16 守山ビル3階</td> </tr> </tbody> </table>	団体・企業名	業種	住所	富士教育訓練センター		静岡県富士市保原字東山469-8	NPOリノベーション技術開発協会		東京都中央区新富1-2-2 新富町1丁目ビル2F	株式会社ダイフレックス	防水工・技術開発	東京都新宿区新宿2-4-1 新宿NSビル2F	日本建設業振興労働組合協議会		東京都板橋区東目黒1-31-16 守山ビル3階																																																																																																																		
資格名称	団体名称	団体名称																																																																																																																																															
1) G1	東洋大学	(名城大学※1回目に参加)																																																																																																																																															
2)	芝浦工業大学																																																																																																																																																
3)	ものつくり大学																																																																																																																																																
4)	近畿圏大学																																																																																																																																																
団体・企業名	業種	住所																																																																																																																																															
富士教育訓練センター		静岡県富士市保原字東山469-8																																																																																																																																															
NPOリノベーション技術開発協会		東京都中央区新富1-2-2 新富町1丁目ビル2F																																																																																																																																															
株式会社ダイフレックス	防水工・技術開発	東京都新宿区新宿2-4-1 新宿NSビル2F																																																																																																																																															
日本建設業振興労働組合協議会		東京都板橋区東目黒1-31-16 守山ビル3階																																																																																																																																															
<b>■実施内容</b>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>カリキュラム(各項目の詳細は別紙)</th> <th>時間</th> <th>授業形式</th> <th>所要時間</th> <th>番号</th> <th>形式</th> <th>教材・資料等</th> <th>場所</th> <th>講師番号</th> <th>運営</th> <th>運営支援</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1) 1日AM</td> <td></td> <td>入校式</td> <td>0.5h</td> <td>a</td> <td>入校のしおり</td> <td></td> <td>富士教育訓練センター</td> <td>①</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2) 1日PM</td> <td>13:00-17:00</td> <td>測量実習</td> <td>4h</td> <td>b</td> <td>測量実習用プリント</td> <td></td> <td>"</td> <td>②</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3) 2日AM</td> <td>8:00-10:00</td> <td>リノベーション実習</td> <td>2h</td> <td>c</td> <td>リノベーション実習用プリント</td> <td></td> <td>"</td> <td>③</td> <td></td> <td>株式会社ダイフレックス</td> </tr> <tr> <td>4) 2日PM</td> <td>10:10-12:25</td> <td>内装工事実習</td> <td>2h</td> <td>d</td> <td>内装工事実習用プリント</td> <td></td> <td>"</td> <td>④</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5) 3日PM</td> <td>13:30-18:00</td> <td>木造実習</td> <td>4.5h</td> <td>e</td> <td>図面</td> <td>木造実習棟図面</td> <td>"</td> <td>⑤⑥</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>6) 3日AM</td> <td>8:00-12:00</td> <td>木造実習</td> <td>4h</td> <td>f</td> <td>テキスト</td> <td>建物できるまで図解-木造住宅</td> <td>"</td> <td>⑤⑥</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>7) 3日PM</td> <td>13:00-15:00</td> <td>木造実習</td> <td>2h</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>"</td> <td>⑤⑥</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>8) 3日PM</td> <td>15:00-17:00</td> <td>施工管理実習</td> <td>2h</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>"</td> <td>⑧</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>9) 4日AM</td> <td>8:00-12:00</td> <td>施工管理実習</td> <td>4h</td> <td>m</td> <td>図面</td> <td>2級鉄筋技能検定配筋図</td> <td>"</td> <td>⑨⑩</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>10) 4日PM</td> <td>13:00-16:00</td> <td>施工管理実習</td> <td>3h</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>"</td> <td>⑨⑩</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>11) 5日AM</td> <td>8:00-11:30</td> <td>施工管理実習</td> <td>3h</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>"</td> <td>⑨⑩</td> <td></td> <td>日産船</td> </tr> <tr> <td>12) 5日PM</td> <td>10:00-12:00</td> <td>レポート作成・終了式</td> <td>2h</td> <td>n</td> <td></td> <td>原簿用紙</td> <td>"</td> <td>⑪</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		カリキュラム(各項目の詳細は別紙)	時間	授業形式	所要時間	番号	形式	教材・資料等	場所	講師番号	運営	運営支援	1) 1日AM		入校式	0.5h	a	入校のしおり		富士教育訓練センター	①			2) 1日PM	13:00-17:00	測量実習	4h	b	測量実習用プリント		"	②			3) 2日AM	8:00-10:00	リノベーション実習	2h	c	リノベーション実習用プリント		"	③		株式会社ダイフレックス	4) 2日PM	10:10-12:25	内装工事実習	2h	d	内装工事実習用プリント		"	④			5) 3日PM	13:30-18:00	木造実習	4.5h	e	図面	木造実習棟図面	"	⑤⑥			6) 3日AM	8:00-12:00	木造実習	4h	f	テキスト	建物できるまで図解-木造住宅	"	⑤⑥			7) 3日PM	13:00-15:00	木造実習	2h				"	⑤⑥			8) 3日PM	15:00-17:00	施工管理実習	2h				"	⑧			9) 4日AM	8:00-12:00	施工管理実習	4h	m	図面	2級鉄筋技能検定配筋図	"	⑨⑩			10) 4日PM	13:00-16:00	施工管理実習	3h				"	⑨⑩			11) 5日AM	8:00-11:30	施工管理実習	3h				"	⑨⑩		日産船	12) 5日PM	10:00-12:00	レポート作成・終了式	2h	n		原簿用紙	"	⑪		
カリキュラム(各項目の詳細は別紙)	時間	授業形式	所要時間	番号	形式	教材・資料等	場所	講師番号	運営	運営支援																																																																																																																																							
1) 1日AM		入校式	0.5h	a	入校のしおり		富士教育訓練センター	①																																																																																																																																									
2) 1日PM	13:00-17:00	測量実習	4h	b	測量実習用プリント		"	②																																																																																																																																									
3) 2日AM	8:00-10:00	リノベーション実習	2h	c	リノベーション実習用プリント		"	③		株式会社ダイフレックス																																																																																																																																							
4) 2日PM	10:10-12:25	内装工事実習	2h	d	内装工事実習用プリント		"	④																																																																																																																																									
5) 3日PM	13:30-18:00	木造実習	4.5h	e	図面	木造実習棟図面	"	⑤⑥																																																																																																																																									
6) 3日AM	8:00-12:00	木造実習	4h	f	テキスト	建物できるまで図解-木造住宅	"	⑤⑥																																																																																																																																									
7) 3日PM	13:00-15:00	木造実習	2h				"	⑤⑥																																																																																																																																									
8) 3日PM	15:00-17:00	施工管理実習	2h				"	⑧																																																																																																																																									
9) 4日AM	8:00-12:00	施工管理実習	4h	m	図面	2級鉄筋技能検定配筋図	"	⑨⑩																																																																																																																																									
10) 4日PM	13:00-16:00	施工管理実習	3h				"	⑨⑩																																																																																																																																									
11) 5日AM	8:00-11:30	施工管理実習	3h				"	⑨⑩		日産船																																																																																																																																							
12) 5日PM	10:00-12:00	レポート作成・終了式	2h	n		原簿用紙	"	⑪																																																																																																																																									

講師番号	経歴・経緯等	年齢	資格
①			
②			
③			
④			
⑤			
⑥			
⑦			
⑧			
⑨			
⑩			
⑪			
その他補助者	株式会社ダイフレックス:2名		



番号	教材・資料名	形式	出版社	価格	備考
b	測量実習用プリント	プリント			
c	リノベーション実習用プリント	図面			
d	内装工事実習用プリント	プリント			
e	測量実習用プリント	図面			
f	リノベーション実習用プリント	テキスト	エクステレジウム	¥1,800+税	
h	建物で必要なコミュニケーション能力	図面			
h	建設業界ガイドブック2014	電子	建設業人材開発・育成推進協議会		
i	地図に隠る仕事・世界に誇る技術-誰にでもわかる鉄筋工事	DVD	東京都鉄筋協会		
k	鉄筋工事資料メーカーカタログ	カタログ			
l	鉄筋図解の表示マーク	資料	普通鉄筋工事協会		
j	日建建設技能検定	図面	一般社団法人 日本建設業連合会		
m	2級鉄筋技能検定配筋図	図面			

カリキュラム概要

<b>施工管理実習</b> (建築系大学生)	<b>プレ入職</b>	<b>■目的</b> 建設業の職種体験を通じ、建設業への理解や作業の流れを理解する。
		<b>■訓練・体験内容の概要</b> 測量実習、内装工事、リノベーション工事、木造実習、施工管理実習での実際の作業を通じ、工事のポイントや安全への意識等を高める。 ※1. 他の実習等との組み合わせ等により、単位となる大学もある。 ※2. 平成27年度は2回実施され、同内容のカリキュラムを行う。 ※3. 建設業若年者入職促進・人材育成事業の経費助成を利用し、学生負担の軽減を図っている。
<b>■対象</b> 大学生	<b>■募集方法</b> 大学生の希望者 20名(2回目)	

実習用ユニット・教材等

<p>測量実習</p>	<p>リノベーション工事実習</p>	<p>内装実習用ユニット</p>
<p>木造実習用ユニット</p>	<p>2級鉄筋技能士検定用ユニット</p>	<p>実習用型枠</p>

カリキュラムシート 建築系大学 建築施工管理実習					
実施日	1日目				
時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	実習用具・使用機材等
		移動・集合			
11:30		入校式	30m	①	
13:00-14:00	学科	【測量実習】 ・測量の方法 ・レベルの使い方 ・TSの使い方	1h	②	レベル・TS
14:00-17:00	実習	【測量実習】※2人1組 ・レベル、TSの据付 ・数値の読み方 ・水平出し、水準測量、基準点測量	3h	②	レベル、TS、三脚、スタッフ、コンベックス

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済		延べ時間		実習用具・使用機材等	
	1	測量実習	4h	4h	レベル	1式		
	2	内装・リネーアル	4h	4h	TS(トータルステーション)	1式		
	3	木造実習	10h	10h	三脚	1式		
	4	施工管理実習	12h	12h	スタッフ	1式		
	5	レポート作成	2h	2h	コンベックス	1式		

カリキュラムシート 建築系大学 建築施工管理実習					
実施日	2日目				
時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	実習用具・使用機材等
7:45		朝礼・ミーティング	20m		
8:30-9:15	学科	【リネーアル工事】 ・リネーアル概論	45m	③	PC、プロジェクター
9:15-10:00	実習	【リネーアル工事】 ・打診棒、クラックスケールの使い方 ・コア抜き、中性化深さ試験実演 ・建物診断実習	45m	③	打診棒、クラックスケール、不具合箇所記載用立面図
10:10-10:40	学科	【内装工事】 ・内装工事とは ・内装工事に用いる資材 ・天井下地と地震	30m	④	下地組+仕上材の事例 鋼製下地、材料(生版)
10:50-12:20	実習	【内装工事】(3~4人1組、5班) ・壁下地組 ・ボード張り ・内装工事のポイント、講話	120m	④	内装工事実習用ユニット、鋼製壁下地一式、レーザー墨出器、石こうボード(=9.5、インパクト、鉛筆、差し鉋、コンベックス、げんこう、ボードヤスリ、ドライバー、カッター、定規、ワンタッチ
13:30-14:40	座学	【木造実習】(7~8人/組、3班) ・施工管理概論 ・プレカット図の見方と実習の進め方 ・道具の説明、KY活動	70m	⑤⑥	実習用ユニットプレカット図 KY活動書き込み用紙
14:40-18:00	実習	【木造実習】(7~8人/組、3班) ・木造実習用ユニット組立(6帖平屋) ・枠組足場組立 ※棟上げまで完了。実習時間延長。	200m	⑤⑥	木造実習用ユニット(3組)、金物一式、枠組足場、安全带、コンベックス、水平器、ハンマー、ラチェット、下げ振り、バール、掛矢、立馬

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済		延べ時間		実習用具・使用機材等	
	1	測量実習	4h	4h			PC	1台
	2	内装・リネーアル	4h	4h			プロジェクター	1台
	3	木造実習	4h	10h			打診棒	8本
	4	施工管理実習	12h	12h			クラックスケール	6本
	5	レポート作成	2h	2h				
						内装下地工事実習ユニット	1式	
						鋼製下地	1式	
						石こうボード	1式	
						実習用工具類	6組	
						KY活動書き込み用紙	3枚	
						木造実習用ユニット	3組	
						金物一式	1式	
						枠組足場	1式	
						実習用工具類	1式	
						安全带	1式	

3

カリキュラムシート 建築系大学 建築施工管理実習					
実施日	3日目				
時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用機材等
7:45		朝礼	15m		
8:00-12:00	実習	【木造実習】(7~8人/組、3班) ・木造実習用ユニット組立(6帖平屋) ・垂木掛け、屋根合板張り、筋かみ設置	240m	⑤⑥	木造実習用ユニット(3組)、金物一式、枠組足場、KY活動書き込み用紙 安全带、コンベックス、水平器、ハンマー、ラチェット、下げ振り、バール、掛矢、立馬
12:00-12:40	学科	【施工管理実習】 ・施工管理に必要なとなる コミュニケーション能力	40m	⑦	
13:30-15:30	実習	【木造実習】(7~8人/組、3班) ・解体、清掃 ・実習まとめ	120m	⑤⑥	木造実習用ユニット(3組)、金物一式、枠組足場、安全带、コンベックス、水平器、ハンマー、ラチェット、下げ振り、バール、掛矢、立馬
15:40-17:00	学科	【施工管理実習】 ・施工管理概論 ・建設業と専門工事業 ・施工管理実習のポイント	80m	⑧	教材ビデオ、プロジェクター

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済		延べ時間		実習用具・使用機材等	
	1	測量実習	4h	4h	木造実習用ユニット	3組		
	2	内装・リネーアル	4h	4h	金物一式	1式		
	3	木造実習	10h	10h	枠組足場	1式		
	4	施工管理実習	2h	12h	実習用工具類	1式		
	5	レポート作成	2h	2h	安全带	1式		
						教材ビデオ	1式	
						プロジェクター	1式	
						KY活動書き込み用紙	適宜	

カリキュラムシート 建築系大学 建築施工管理実習					
実施日	4日目				
時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用機材等
7:45		朝礼	15m		
8:00-8:20	学科	【施工管理実習】 ・鉄筋組立工事とは ・KY活動 ・実習に用いる道具	20m	⑧⑨	ハッカー、番線カッター、KY活動書き込み用紙
8:20-12:00 13:00-14:00	実習	【施工管理実習】(4~5人/組) ・鉄筋の役割と結束の方法 ・鉄筋の切断 ・配筋図と鉄筋組立 ・ベース筋・柱筋の組立	220m	⑧⑨	2級鉄筋技能検定用ユニット(含シート) 結束線、ハッカー、番線カッター 鉄筋カッター
14:00-14:20	学科	【施工管理実習】 ・型枠工事とは ・KY活動 ・実習に用いる道具	20m	⑧⑨	KY活動書き込み用紙
14:20-16:00	実習	【施工管理実習】 ・ベース部型枠施工実習	100m	⑧⑨	2級鉄筋技能検定用ユニット 実習用型枠 締め付け用パイプ
16:10-17:30	学科	【施工管理実習】 ・現場施工管理について ・建設業界の現状	80m	⑩⑪	パソコン、プロジェクター

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済		延べ時間		実習用具・使用機材等	
	1	測量実習	4h	4h			ハッカー	適宜
	2	内装・リネーアル	4h	4h			番線カッター	適宜
	3	木造実習	10h	10h			結束線	適宜
	4	施工管理実習	10h	12h			2級鉄筋技能検定用ユニット	1式
	5	レポート作成	2h	2h			KY活動書き込み用紙	適宜
						鉄筋カッター	1台	
						実習用型枠	1式	
						KY活動書き込み用紙	適宜	
						締め付け用パイプ	1式	
						パソコン	1台	
						プロジェクター	1台	

実施日		5日目			
時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用機材等
7:45		朝礼	15m		
8:00-10:00	実習	【施工管理実習】 ・KY活動 ・解体、清掃 ・実習まとめ	220m		2級鉄筋技能検定用ユニット 実習用型枠 KY活動書き込み用紙
10:00-11:30	学科	【レポート作成】 ・レポート作成 ・アンケート	90m		
11:30-12:00		修了式	30m		

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済		延べ時間	
	1	2	4h	4h	4h	4h
	1	測量実習			4h	4h
	2	内装・リニューアル			4h	4h
	3	木造実習			10h	10h
	4	施工管理実習			12h	12h
	5	レポート作成			2h	2h

実習用具・使用機材等	
2級鉄筋技能検定用ユニット	1式
実習用型枠	1式
KY活動書き込み用紙	適宜

実施日					
時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用機材等

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済		延べ時間	
	1	2				
	1					
	2					
	3					
	4					
	5					

実習用具・使用機材等	

カリキュラム概要

<b>鉄筋工事業 型枠工事業</b>	<b>レベル0</b>	<b>■目的</b> 建設系工業科職員の指導力向上を目指し、研修機会の充実を図ることを目的とする。また、専門工事業への理解を深め、生徒の進路指導に役立たせることを目的とする。
		<b>■訓練・体験内容の概要</b> 実社会で実践されている即戦力となる型枠施工及び鉄筋施工の技術や技能について研修を行う。
施工体験研修	2日間	

<b>■対象</b>	建設系工業科職員	<b>■募集方法</b>	
		<b>■人数</b>	10名

<b>■資格取得</b>	資格名称	<b>■参画団体等</b>	<b>■協力企業・団体</b>
	1 2 3	団体名称 千葉県高等学校工業教育研究会 建設教育研究会 職業訓練法人全国建設産業教育訓練協会 富士教育訓練センター	企業名 ① 千葉県高等学校工業教育研究会 ② 株式会社ダイニッセイ ③ 千葉県鉄筋業協同組合

カリキュラム(各項目の詳細は別紙)		時間割	授業形式	所要時間	教材・資料等		場所	講師番号	運営	運営支援
					形式	書籍名				
1日目	1	開講式		9:00-9:20	20		市川工業高校			千葉県高等学校工業教育研究会
	2	講義「鉄筋工事業について」	座学	9:20-9:40	20 m		〃	①	〃	〃
	3	実習「柱配筋工事」	実習	9:40-12:00	140 m		〃	①②	〃	〃
	4	昼食		12:00-13:00	60 m		〃		〃	〃
	5	講義「型枠工事の基礎」	座学	13:00-13:20	20 m		〃	③	〃	〃
2日目	6	実習「型枠工事」	実習	13:30-16:00	150 m		〃	③④⑤⑥⑦	〃	〃
	7	実習「型枠工事」	実習	9:00-12:00	180 m		〃	③④⑤⑥⑦	〃	〃
	8	昼食		12:00-13:00	60 m		〃		〃	〃
	9	実習「型枠工事」	実習	13:00-15:00	120 m		〃	③④⑤⑥⑦	〃	〃
	10	解体作業		15:00-15:30	30 m		〃	③④⑤⑥⑦	〃	〃
	11	閉講式		15:30-16:00	30 m		〃		〃	〃
	12	情報交換会		16:00-16:30	30 m		〃		〃	〃

講師番号	経歴・経緯等	年齢	勤務	資格
①	千葉県鉄筋業協同組合青年部(株式会社ダイニッセイ 取締役副社長)			
②	千葉県鉄筋業協同組合事務局長(株式会社ダイニッセイ)			
③	(一社)日本型枠工事業協会 千葉支部局長、大州建設工業 専務取締役			
④	大州建設工業株式会社			
⑤	株式会社共栄工業			
⑥	株式会社紺野工務店			
⑦	星建設株式会社			



番号	書籍名	使用ページ	出版社	価格	備考

カリキュラムシート					
実施日		平成26年8月25日			
時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
9:00-9:20		開講式	15 m		
9:20-9:40	座学	講義「鉄筋工事業について」	20 m		
9:40-12:00	実習	実習「柱配筋工事」	140 m	①②	
12:00-13:00		昼食	60 m		
13:00-13:20	実習	講義「型枠工事の基礎」	20 m	③	
13:30-16:00	実習	実習「型枠工事」 1. 墨出し 2. 敷棧	150 m	③④⑤⑥⑦	
訓練時間合計			330 m		

カリキュラムシート					
実施日		平成26年8月26日			
時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
9:00-12:00	実習	実習「型枠工事」 3. 柱型枠建込み 4. 梁型枠建込み	180 m	③④⑤⑥⑦	
12:00-13:00		昼食	60 m		
13:00-15:00	実習	実習「型枠工事」 5. 支保工取付け 6. スラブ型枠建込み	120 m	③④⑤⑥⑦	
15:00-15:30	実習	解体作業	30 m	③④⑤⑥⑦	
15:30-16:00		閉講式	30 m		
16:00-16:30		情報交換会	30 m		
訓練時間合計			330 m		



## 6. 平成 27 年度 厚生労働省 建設労働者緊急育成支援事業の実施状況

### ○建設労働者緊急育成支援事業の概要

- ・募集要項等（ホームページより）

### ○建設労働者緊急育成支援事業

- 1) (一財) 建設業振興基金（中央拠点）
  - ・ 仕上系技能者内装コース
  - ・ 重機オペレーターコース
- 2) (一社) 兵庫県建設業協会／建設産業専門団体近畿地区連合会
  - ・ 躯体系技能者（型枠・鉄筋・とび土工）コース
- 3) (一社) 沖縄産業開発青年協会
  - ・ 躯体系技能者（型枠・鉄筋・足場）コース
- 4) 建設産業専門団体関東地区連合会内、  
及び (一社) 日本基礎建設協会／(一社) 日本機械土工協会内
  - ・ 建設機械オペレーターコース
  - ・ 躯体系技能者（とび土工）コース
- 5) 長崎県建設産業団体連合会
  - ・ 躯体系技能者（鉄筋）コース

建設業で働きたい人を募集します!  
国の事業だから安心

就職までをバックアップ  
この事業について

資格も取得できる  
主な講習の内容

全国各地で実施  
各訓練コース

建設業で働きたい!  
応募要項/申し込み

人材を紹介します  
求職者情報

訓練生を採用したい!  
企業登録/採用申し込み

HOME > この事業について

▼ 応募要項

▼ プログラム(受講項目)

▼ 資格取得講習等

▼ 就職支援

## この事業について

建設業で働くために必要な基礎知識・技能や資格の取得、就職するまでを、業界が一体となってしっかりバックアップ!

必要な  
基礎技能

職業訓練で  
修得!

すぐに  
役立つ

各種資格を  
取得!

就職の  
前に

現場見学に  
参加!

就職先  
紹介

地元の就職先  
を紹介!

### はじめに

建設業で働いてみたいという離転職者、新卒者、未就職卒業者等を対象に、全国各地で職業訓練を実施し建設業に従事するために必要な各種資格の取得、技能修得に取り組んでいただき、地元の建設業への就職に結びつけます。



### 応募要項

全国17カ所でそれぞれ募集を行います。

各地の訓練内容、場所等は順次ホームページ・パンフレット等で公表していきます。

対象者	離転職者、新卒者、未就職卒業者、定時制高校の生徒等 ※全日制(高校、大学、専門学校等)の在校生は対象外 ただし平成28年3月に卒業された方、または、平成29年3月に卒業される方が卒業後に参加することは可能 ※原則、年齢制限なし
受講場所	全国各地の職業訓練施設等 ※受講方法は通学方式と合宿方式があります。合宿方式の場合、宿泊場所は用意します(無料)。
募集人員	1,000名(平成28年度)
募集期間	平成28年4月頃より順次募集
訓練期間	0.5ヵ月程度~3ヵ月間(各コースにより期間は異なります)
訓練費用	<b>無料</b> (職業訓練費用、資格取得費、合宿方式の場合の宿泊費・往復旅費等) ※ただし食事は自己負担
資格取得講習(例)	車両系建設機械運転技能講習(整地・運搬・積込・掘削)、 小型移動式クレーン技能講習、玉掛け技能講習、足場の組立て等特別教育
選考方法	建設業への就職意欲等を確認の上、選考
応募方法	インターネット申込、申込書をFAXまたは郵送





- 注意事項
1. 資格取得講習のみの受講はできません。
  2. 講習期間中の遅刻・早退は原則認めません。
  3. 受講中に迷惑・危険行為を行う者、また講師の指示に従わない者は参加することができません。
  4. 求職者・求人者のそれぞれの条件により、就職に至らないこともあります。



## 全国各地で実施 各訓練コース

### プログラム(受講項目)

### どんな講習を受けられますか？

建設業に従事するうえで必要となる基礎技能（座学・実習）と資格取得のための技能講習等を受講してまいります。※全国各地でいろいろな職業訓練コースをご用意します。

### 基礎技能が学べる講習(例)

職種の紹介 仕事の流れ 安全衛生 型枠実習 鉄筋実習 足場組立て 土木施工  
測量基礎 その他

### 資格が取得できる講習(例)

車両系建設機械運転技能講習（整地・運搬・積込・掘削） 小型移動式クレーン技能講習  
玉掛け技能講習 足場の組立て等特別教育 その他



### 資格取得講習等

### どんな資格が取得できますか？

例えば、建設業で必要となる下記のような講習等を受講していただきます。職業訓練プログラムの内容によって、取得できる資格は異なります。

### 車両系建設機械運転技能講習(整地・運搬・積込・掘削)

ブルドーザ、油圧ショベル（パワーショベル）、ホイールローダ等を実際に操作するための講習です。建設現場で機体重量が3トン以上の車両系建設機械を扱うには、この技能講習の資格が必要です。

### 小型移動式クレーン技能講習

小型移動式クレーンとは、つり上げ荷重1トン以上5トン未満の移動式クレーンをいいます。小型移動式クレーン運転の業務は、移動式クレーン運転士免許を取得している者か、小型移動式クレーン技能講習修了者でなければ従事できません。建設現場で重量物を運搬、移動させる為に重要な資格です。

### 玉掛け技能講習

現場で資材の運搬や移動、積み込みをする際に、ワイヤーロープ等で荷物をクレーンなどのフックに掛ける作業を玉掛けと呼びます。クレーン等のつり上げ荷重1トン以上の装置で、建設資材などの玉掛け作業をする場合に「玉掛け技能講習」を修了することが必要です。

### 足場の組立て等特別教育

建設現場の高所作業に必要な足場の組立て、解体又は足場の変更に係る作業に従事する方は、講習の受講が義務付けられています。高所作業でも、しっかりとした講習と訓練を受けることで、安全な作業ができるようになります。



### 就職支援

### 訓練修了後はどうすればいいですか？

受講者の方には、就職相談、面接指導、求人情報の提供、企業への求職者情報の提供等により、職業紹介の専門家が訓練開始から修了時まで段階的にきめ細やかな就職支援を行ってまいります。



緊急育成支援		レベル1	内装仕上げ	概要	対象				
開催頻度:1回/年		日数:12日間	受講者数:4人	定員 6名	離転職者・新卒者・未就職卒業者・定時制高校生等				
科目		教科概要		時間	学科	形式	教材	名称(書籍名等、採用ページ)	講師番号
1	入校式・ガイダンス	①社会人の責任と義務 ②挨拶と集団行動		2h	2h	オリジナル	a	入校のしおり(生活ルール、1日の流れ、服装等)	①
2	自由研削砥石取扱特別教育	①取り扱方法・試運転について・関係法令 ②テスト		8h	8h	オリジナル	b	訓練感想文	①
3	鋼製下地施工法	①内装工事概要 ②設計図面・施工図		8h	8h	オリジナル	c	グラインダ安全必携	③
4	鋼製下地実習	①鋼製下地取付 ②ボード貼りつけ ③資材の名称と用途		16h	8h	オリジナル	d	内装のボード割付図面	③
5	ボード貼り施工法	①工具の安全使用 ②ボード加工法 ③ボード貼りつけ法		8h	2h	オリジナル	e	内装仕上げ工事 概要	③
6	ボード貼り実習	①工具の使用法 ②ボード加工 ③ボード貼りつけ		16h	14h	コピー	f	内装仕上げ工事ガイドブック 第13版	③
7	クロス・床シート貼り施工法	①鋼製下地の材料 ②ボードの種類と用途 ③クロスの種類と用途		8h	8h	オリジナル		内装のボード割付図面	③
8	クロス・床シート貼り実習	①内装実習 ②クロス張り実習 ③長尺シート張り等実習		24h	8h	オリジナル		内装のボード割付図面	③
合計				90h	24h				④⑤
修了資格		技能講習							
		特別教育		自由研削砥石取扱等特別教育					
		安全教育							
教材リスト		名称(書籍名等、採用ページ)		形式	出版社	価格(税込)	備考		
a	入校のしおり(生活ルール、1日の流れ、服装等)			オリジナル					
b	訓練感想文			原稿用紙					
c	グラインダ安全必携			教材	中央労働災害防止協会				
d	内装のボード割付図面			オリジナル					
e	内装仕上げ工事 概要			オリジナル					
f	内装仕上げ工事ガイドブック 第13版			コピー	全国建設室内工事業協会				
講師リスト		講師番号	職員/講師	年齢	所属・職種・前職等	資格・免許等(技能講習、特別教育等は省略)			
①	教育訓練課・教官								
②	教育訓練課・教官								
③	非常勤講師					一級鋼製下地工事作業技能士・一級ボード仕上げ工事作業技能士・二級建築施工管理技士(内装) 等			
④	非常勤講師					一級内装仕上げ工技能士・登録内装仕上げ工事基幹技能者・職業訓練指導員(インテリア科・床仕上げ科)			
⑤	非常勤講師					一級表装技能士(壁装作業)・登録内装仕上げ工事基幹技能者・職業訓練指導員(インテリア科) 等			

緊急育成支援		レベル1	内装仕上げ	概要	対象		
開催頻度:1回/年		日数:12日間	受講者数:4人	定員 6名	離転職者・新卒者・未就職卒業者・定時制高校生等		
科目		教科概要		授業形式	使用材料・機材等		数量
1	入校式・ガイダンス	①社会人の責任と義務 ②挨拶と集団行動		学科	入校のしおり		
2	自由研削砥石取扱特別教育	①取り扱方法・試運転について・関係法令 ②テスト		学科	内装仕上げ工事ガイドブック 第13版・内装のボード割付図面・内装仕上げ工事 概要		
3	鋼製下地施工法	①内装工事概要 ②設計図面・施工図		学科	自由研削砥石(グラインダー)・高速切断器		
4	鋼製下地実習	①鋼製下地取付 ②ボード貼りつけ ③資材の名称と用途		実習	内装仕上げ工事ガイドブック 第13版・内装のボード割付図面・内装仕上げ工事 概要		
5	ボード貼り施工法	①工具の安全使用 ②ボード加工法 ③ボード貼りつけ法		実習	ランナー・スタッド・スベサー・振れ止めインパクト・フレキビス・レーザー・直角目視用アイテム・墨つぼ・高速切断器・六角玄翁・木杵・プラスチックドライバー・スパナ・切刃先		
6	ボード貼り実習	①工具の使用法 ②ボード加工 ③ボード貼りつけ		実習	つりボルト・野縁うけ(Cチャンネル)・野縁Sバー・野縁Wバー・Sクリップ・Wクリップ		
7	クロス・床シート貼り施工法	①鋼製下地の材料 ②ボードの種類と用途 ③クロスの種類と用途		実習	スケール・定規・カッター・クリップ・手のこ・鋸・面取り・見切り線・ワンタッチドライバ・軽天タップングビス		
8	クロス・床シート貼り実習	①クロス張り実習 ②長尺シート・Pタイル貼り等実習		実習	回しびき(えんきり)・開口枠・カッター・定規・スケール・やすり		
使用図面等		図面名等		数量		備考	
1	内装のボード割付図面		2枚				
2							

<b>緊急育成支援</b>	<b>レベル1</b>	内装仕上げ	概要	下地材の鋼製壁に石膏ボードを張るため、石膏ボードのサイズを測り、採寸、切断や加工、ビスでの打ち込みを行う。最後に壁のクロス張り等、内装工事の一連の工事の流れを体験する。
開催頻度:1回/年	日数:12日間	受講者数:4人	定員 6名	対象 離転職者・新卒者・未就職卒業生・定時制高校生等

内装仕上げ



カリキュラムシート 富士教育訓練センター【内装仕上げ】 1/6

カリキュラムシート	仕上げ系技能者(内装)コース
実施日	平成27年12月7日

時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前・午後	学科	自由研削砥石取扱特別教育	6h	③	グラインダ安全必修
午後	実習	自由研削砥石取扱特別教育	2h	③	

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済		延べ時間	使用機材		
	学科	実習	学科	実習				
1	自由研削砥石取扱特別教育	学科	6h		8h	グラインダー(取替え業務)		
		実習	2h			高速切断器		
	2	鋼製下地施工法	学科				パイプ	
		実習					鋼製下地	
	3	鋼製下地実習	学科					
		実習						
	4	ボード貼り施工法	学科					
	実習							
5	ボード貼り実習	学科						
	実習							
6	クロス・床シート貼り施工法	学科						
	実習							
7	クロス・床シート貼り施工実習	学科						
	実習							

カリキュラムシート	仕上げ系技能者(内装)コース
実施日	平成27年12月8日

時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	学科	鋼製下地施工法	4h	③	内装仕上工事ガイドブック 第13版・内装の図面・内装仕上げ工事 概要
午後	実習	鋼製下地施工法	4h	③	内装仕上工事ガイドブック 第14版・内装の図面・内装仕上げ工事 概要

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済		延べ時間	使用機材	
	学科	実習	学科	実習			
1	自由研削砥石取扱特別教育	学科	6h		8h		
		実習	2h				
2	鋼製下地施工法	学科	8h		8h		
		実習					
3	鋼製下地実習	学科					
	実習						
4	ボード貼り施工法	学科					
	実習						
5	ボード貼り実習	学科					
	実習						
6	クロス・床シート貼り施工法	学科					
	実習						
7	クロス・床シート貼り施工実習	学科					
	実習						

カリキュラムシート 仕上げ系技能者(内装)コース

実施日		平成27年12月9日			
時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	学科	鋼製下地実習	1.5h	③	
午前	実習	鋼製下地実習	5h	③	
午後	学科	鋼製下地実習	1.5h	③	

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済		延べ時間	使用機材	
	1	2	学科	実習			
	1	自由研削砥石取扱特別教育	6h	2h	8h	ランナー	
						スタッド	
	2	鋼製下地施工法	8h		8h	スペーサー	
						振れ止め	
	3	鋼製下地実習	3h	5h	16h	インパクト	
						フレキビス	
	4	ボード貼り施工法				レーザー	
				フリボルト			
5	ボード貼り実習				野縁うけ(Cチャンネル)		
					野縁Sバー		
6	クロス・床シート貼り施工法				野縁Wバー		
					Sクリップ		
7	クロス・床シート貼り施工実習				Wクリップ		
					石膏ボード		

カリキュラムシート 仕上げ系技能者(内装)コース

実施日		平成27年12月10日			
時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	学科	鋼製下地実習	4h	③	ガイドブック
午後	学科	鋼製下地実習	2h	③	ガイドブック
午後	学科	鋼製下地実習(手順と急所)	2h	③	

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済		延べ時間	使用機材	
	1	2	学科	実習			
	1	自由研削砥石取扱特別教育	6h	2h	8h		
	2	鋼製下地施工法	8h		8h		
	3	鋼製下地実習	11h	5h	16h		
	4	ボード貼り施工法					
5	ボード貼り実習						
6	クロス・床シート貼り施工法						
7	クロス・床シート貼り施工実習						

カリキュラムシート 仕上げ系技能者(内装)コース

実施日		平成27年12月11日			
時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	実習	ボード貼り施工法	4h	③	
午後	実習	ボード貼り施工法	4h	③	

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済		延べ時間	使用機材	
	1	2	学科	実習			
	1	自由研削砥石取扱特別教育	6h	2h	8h	墨つぼ	
						鉛筆	
	2	鋼製下地施工法	8h		8h	コンベックス	
						ランナー	
	3	鋼製下地実習	11h	5h	16h	スタッド	
						スペーサー	
	4	ボード貼り施工法		8h	8h	振れ止め	
				インパクト			
5	ボード貼り実習				ビス		
					レーザー		
6	クロス・床シート貼り施工法				直角目視用アイテム		
					墨つぼ		
7	クロス・床シート貼り施工実習				高速切断器		
					六角玄翁		

カリキュラムシート 仕上げ系技能者(内装)コース

実施日		平成27年12月12日			
時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	学科	ボード貼り実習(説明・手順を考える)	3h	③	
午前	実習	ボード貼り実習	1h	③	
午後	実習	ボード貼り実習	4h	③	

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済		延べ時間	使用機材	
	1	2	学科	実習			
	1	自由研削砥石取扱特別教育	6h	2h	8h	石膏ボード	
						スケール	
	2	鋼製下地施工法	8h		8h	定規	
						カッター	
	3	鋼製下地実習	11h	5h	16h	クリップ	
						手のこ	
	4	ボード貼り施工法		8h	8h	やすり	
				面取り			
5	ボード貼り実習	3h	5h	8h	見切り線		
					ワンタッチドライバー		
6	クロス・床シート貼り施工法				軽天タッピングビス		
7	クロス・床シート貼り施工実習						

カリキュラムシート 仕上げ系技能者(内装)コース

実施日	平成27年12月14日				
時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	実習	ボード貼り実習	4h	③	
午後	実習	ボード貼り実習	4h	③	

科目別 訓練時間	訓練科目	実施済		延べ時間	使用機材
		学科	実習		
科目別 訓練時間	1 自由研削砥石取扱特別教育	学科	6h	8h	石膏ボード スケール 定規 カッター クリップ 手のこ やすり 面取り 見切り線 ワンタッチドライバー 軽天タッピングビス(リブビス) 回しびき(えんきり) 開口枠
		実習	2h		
	2 鋼製下地施工法	学科	8h	8h	
		実習	8h		
	3 鋼製下地実習	学科	11h	16h	
		実習	5h		
	4 ボード貼り施工法	学科	8h	8h	
実習		8h			
5 ボード貼り実習	学科	3h	16h		
	実習	13h			
6 クロス・床シート貼り施工法	学科				
	実習				
7 クロス・床シート貼り施工実習	学科				
	実習				

カリキュラムシート 仕上げ系技能者(内装)コース

実施日	平成27年12月15日				
時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	学科	クロス・床シート貼り施工法(床材・接着剤の種類・工具)	2h	④	
午前	実習	クロス・床シート貼り施工法(クロスシート加工練習)	2h	④	
午後	実習	クロス・床シート貼り施工法(クロスシート貼り・クッションフロア貼り・パテ処理)	4h	④	

科目別 訓練時間	訓練科目	実施済		延べ時間	使用機材
		学科	実習		
科目別 訓練時間	1 自由研削砥石取扱特別教育	学科	6h	8h	コーナーカッター 空気逃がし 刷毛 スクレッパー めうち けれん棒 かんな リバイダー(コンパス) ローラー 幅定規 メジャー 差し金 クッションフロア無地 クッションフロア柄あり
		実習	2h		
	2 鋼製下地施工法	学科	8h	8h	
		実習	8h		
	3 鋼製下地実習	学科	11h	16h	
		実習	5h		
	4 ボード貼り施工法	学科	8h	8h	
実習		8h			
5 ボード貼り実習	学科	3h	16h		
	実習	13h			
6 クロス・床シート貼り施工法	学科	2h	8h		
	実習	6h			
7 クロス・床シート貼り施工実習	学科				
	実習				

カリキュラムシート 仕上げ系技能者(内装)コース

実施日	平成27年12月16日				
時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	実習	クロス・床シート貼り実習	4h	④	
午後	実習	クロス・床シート貼り実習	4h	④	

科目別 訓練時間	訓練科目	実施済		延べ時間	使用機材
		学科	実習		
科目別 訓練時間	1 自由研削砥石取扱特別教育	学科	6h	8h	リカッター 溶接棒 溶接器 (フックカッター) カッター(定規) ほうちよう コーナーカッター 空気逃がし 刷毛 スクレッパー めうち けれん棒 かんな リバイダー(コンパス)
		実習	2h		
	2 鋼製下地施工法	学科	8h	8h	
		実習	8h		
	3 鋼製下地実習	学科	11h	16h	
		実習	5h		
	4 ボード貼り施工法	学科	8h	8h	
実習		8h			
5 ボード貼り実習	学科	3h	16h		
	実習	13h			
6 クロス・床シート貼り施工法	学科	2h	8h		
	実習	6h			
7 クロス・床シート貼り施工実習	学科		8h		
	実習	8h			

カリキュラムシート 仕上げ系技能者(内装)コース

実施日	平成27年12月17日				
時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	学・実	クロス・床シート貼り実習	4h	⑤	
午後	実習	クロス・床シート貼り実習	4h	⑤	

科目別 訓練時間	訓練科目	実施済		延べ時間	使用機材
		学科	実習		
科目別 訓練時間	1 自由研削砥石取扱特別教育	学科	6h	8h	パテ板 パテべら パテ30 コーナーテープ1660mm 地べら なでばけ ローラー つのべら メジャー カッター 腰袋 カットテープ 下敷きテープ クロスシート
		実習	2h		
	2 鋼製下地施工法	学科	8h	8h	
		実習	8h		
	3 鋼製下地実習	学科	11h	16h	
		実習	5h		
	4 ボード貼り施工法	学科	8h	8h	
実習		8h			
5 ボード貼り実習	学科	3h	16h		
	実習	13h			
6 クロス・床シート貼り施工法	学科	2h	8h		
	実習	6h			
7 クロス・床シート貼り施工実習	学科		16h		
	実習	16h			

カリキュラムシート 仕上げ系技能者(内装)コース

実施日 平成27年12月18日

時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前	実習	クロス・床シート貼り実習	4h	⑤	
午前	実習	クロス・床シート貼り実習	4h	⑤	

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済	延べ時間	使用機材
	学科	実習			
1	自由研削紙石取扱特別教育	学科	6h	8h	ペーパー
		実習	2h		
2	鋼製下地施工法	学科	8h	8h	スポンジ
		実習			
3	鋼製下地実習	学科	11h	16h	地べら
		実習	5h		
4	ボード貼り施工法	学科		8h	なでばけ
		実習	8h		
5	ボード貼り実習	学科	3h	16h	ローラー
		実習	13h		
6	クロス・床シート貼り施工法	学科	2h	8h	つのべら
		実習	6h		
7	クロス・床シート貼り施工実習	学科		24h	マジヤー
		実習	24h		

カリキュラムシート 仕上げ系技能者(内装)コース

実施日 平成27年12月19日

時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用テキスト及びページ
午前		修了式	2h	②	

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済	延べ時間	使用機材
	学科	実習			
1	自由研削紙石取扱特別教育	学科	6h	8h	
		実習	2h		
2	鋼製下地施工法	学科	8h	8h	
		実習			
3	鋼製下地実習	学科	11h	16h	
		実習	5h		
4	ボード貼り施工法	学科		8h	
		実習	8h		
5	ボード貼り実習	学科	3h	16h	
		実習	13h		
6	クロス・床シート貼り施工法	学科	2h	8h	
		実習	6h		
7	クロス・床シート貼り施工実習	学科		24h	
		実習	24h		

緊急育成支援	レベル1	重機オペレーター	概要	学科では、運転に必要な知識や操作方法、エンジンや油圧装置の仕組み、機械の取り扱いや点検、整備などの基礎知識の他、安全な運転と作業ができるよう、車体の重心を安定させるための力学や土の種類に至るまで幅広い専門知識を学ぶ。実習では、重機の方向転換やクランクなどの基本操作の他、重機で土を掘ったり、均すなどの動き、ダンプカーへの土の積み込みなどの応用操作を学ぶ。			
				開催頻度:1回/年 日数:12日間 受講者数:12人 定員 12名	対象 離転職者・新卒者・未就職卒業生・定時制高校生等		
科目	教科概要	時間	学科 実習	形式	教材	教材 名称(書籍名等、採用ページ)	講師 番号
1 入校式・ガイダンス	①社会人の責任と義務 ②挨拶と集団行動 ③教育訓練全体の復習、まとめ、等	2h	2h	オリジナル	a	入校のしおり(生活ルール、1日の流れ、服装等)	①
2 車両系(整地等)運転技能講習	①走行装置の構造及び取扱いの方法に関する知識 ②作業装置の構造及び取扱いに関する知識③運転に必要な一般的事項に関する知識④関係法令⑤試験定められたコースによる基本走行及び応用走行 等	48h	16h 32h	オリジナル	b c	訓練感想文 車両系建設機械運転者教本(整地・運搬・積込み用)	① ②
3 ローラー運転特別教育	①ローラーに関する知識②運転に必要な一般的事項③関係法令④試験⑤ローラーの運転方法⑥実技試験	16h	8h 8h	教材	g・f	ローラー運転者必携・工事現場でかつやくする車	② ③④
4 不整地運搬車運転技能講習	①荷の運搬に関する知識②運転に必要な力学に関する知識③関係法令④試験⑤荷の運搬、基本操作、定められた方法による荷の運搬⑥試験	16h	8h 8h	教材	d	不整地運搬車運転者教本	② ③④
5 車両系(解体等)運転技能講習	①作業装置及び作業方法に関する知識 ②一般的事項 ③関係法令 ④試験	8h	4h 4h	教材	e	車両系建設機械運転者教本(解体用)	③④ ③④
合計		90h					

修了資格	技能講習	車両系建設機械運転技能講習(整地・運搬・積込・掘削、解体)・不整地運搬車運転技能講習・ローラー運転特別教育
	特別教育	
	安全教育	

教材リスト	教材	名称(書籍名等、採用ページ)	形式	出版社	価格(税込)	備考
	a		入校のしおり(生活ルール、1日の流れ、服装等)	オリジナル		
b		訓練感想文	原稿用紙			
c		車両系建設機械運転者教本(整地・運搬・積込み用及び掘削用)	教材	全国登録教育機関協会		
d		不整地運搬車運転者教本	教材	建設業労働災害防止協会		コードNO. 111410
e		車両系建設機械運転者教本(解体用)	教材	建設業労働災害防止協会		
f		工事現場でかつやくする車	ビデオ			
g		ローラー運転者必携	教材	建設業労働災害防止協会		

講師リスト	講師番号	職員/講師	年齢	所属・職種・前職等	資格・免許等(技能講習、特別教育等は省略)
	①	教育訓練課・教官			
②	非常勤講師				
③	非常勤講師				
④	非常勤講師				

科目	教科概要	授業形式	使用材料・機材等	数量
1 入校式・ガイダンス	①社会人の責任と義務 ②挨拶と集団行動 ③教育訓練全体の復習、まとめ、等	学科	入校のしおり	
2 車両系(整地等)運転技能講習	①走行装置の構造及び取扱いの方法に関する知識 ②作業装置の構造及び取扱いに関する知識③運転に必要な一般的事項に関する知識④関係法令⑤試験定められたコースによる基本走行及び応用走行 等	学科 実習	車両系建設機械運転者教本(整地・運搬・積込み用及び掘削用)・パソコン・プロジェクター・DVD(工事現場で働く建設機械) バックホウ・ブルドーザー	
3 ローラー運転特別教育	①ローラーに関する知識②運転に必要な一般的事項③関係法令④試験⑤ローラーの運転方法⑥実技試験	学科 実習	ローラー運転者必携・パソコン・プロジェクター・DVD(命が狙われる瞬間 -ローラー) コンバインドローラー・ハンドローラー	
4 不整地運搬車運転技能講習	①荷の運搬に関する知識②運転に必要な力学に関する知識③関係法令④試験⑤荷の運搬、基本操作、定められた方法による荷の運搬⑥試験	学科 実習	不整地運搬車運転者教本・パソコン・プロジェクター クローラードンプ	
5 車両系(解体等)運転技能講習	①作業装置及び作業方法に関する知識 ②一般的事項 ③関係法令 ④試験	学科 実習	車両系建設機械運転者教本(解体用) ブレーカー・フォーク	

使用図面等	図面名等	数量	備考
1			

重機オペレーター  
実習風景



実習スペース



実習風景



躯体技能者		レベル1	概要	平成27年度 厚生労働省 建設労働者緊急育成支援事業により、土木・建築の基礎、鉄筋・型枠・とび工の基礎を中心に、現場で必要となる玉掛け技能講習、足場の組立て等作業従事者安全教育などの資格を取得する。			
開催頻度:1回/年		日数:46日間	受講者数:6人	定員	15名		
科目		教科概要		時間	対象		
				学実習	教材		
				形式	名称(書籍名等、採用ページ)		
				教材	講師番号		
1	安全衛生	①労働安全衛生法の概要 ②事業者と労働者の責務 ③労働安全衛生管理体制 ④労働安全衛生と資格 ⑤機械設備の安全化と災害発生時の仕組み ⑥建設現場の一日の作業の流れ ⑦各保護具の正しい使い方 ⑧枠組足場組立演習 ⑨KY活動 ⑩ヒューマンエラーの防止	12h	11h	書籍 a	新規参入者教育用テキスト (1)(2)	
					書籍 b	安全衛生保護具の正しい使い方 (1)	
					DVD c	建設現場の一日の作業の流れ (1) 配付資料 (2)	
1h	書籍 d	土木施工 (3) 配付資料					
2	土木施工	①土木概論 ②土木材料	6h	6h	書籍	土木施工 (3) 配付資料	
3	土木施工管理	①建設業法 ②施工計画・関連法規 ③見積もり ④工程・原価・品質と安全 ⑤道路関係法 ⑥コンクリート材料・性質、製造と施工、配合設計、生コン試験・供試体製作、配合表、スランプ・空気量・塩分濃度試験 ⑦建設マネジメント	30h	26h	書籍 a	新規参入者教育用テキスト (4)(5)(6)	
					書籍 d	土木施工 (4)(5)(6) 配付資料(各訓練日・講師毎に配布)	
4	土木構造・工事概論	①土木工事現場の施工管理・施工事例 ②建設材料 ③土木工学の役割 ④現場見学(実習6hとて算入)	13h	7h	書籍 e	図解 橋の科学 (9)	
					書籍 f	土はおしゃべり (9) 配付資料(講師毎に配布) ※現場見学 (7)(8)(9)	
5	建築施工	①建築施工 ②建設業法 ③工事の仕組みと管理 ④労働衛生管理 ⑤建設材料	6h	6h	書籍 a	新規参入者教育用テキスト (10)	
					書籍 g	建築施工 (10)	
					書籍 h	新・建築材料 I (10)	
6	測量	①測量概論 ②略測量 ③水準測量	18h	1h	オリジナル i	測量技能研修 副読本 (11) 配付資料 (11)	
					17h		
7	型枠・鉄筋工事	①型枠・鉄筋 ②図面の見方 ③しらしえもの ④加工 ⑤金物類 ⑥型枠加工 ⑦型枠建て方・おし ⑧鉄筋組立	30h	6h		(12)(13)	
					24h	(12)(13)(14)	
8	とび工事	①足場組立て ②資格 ③足場に作用する力 ④足場の種類 ⑤基本形と名称 ⑥墨場防止と落下防止 ⑦玉掛け・合図 ⑧KY活動 ⑨枠組足場組立て	18h	6h		(15)	
					12h	(16)	
9	製図	①製図用具と使い方 ②演習	18h	1h		(2)	
					17h	(2)	
10	応急救護	①普通救命講習Ⅰ(消防署にて実施) ②異常時における措置 ③災害発生時の対応 ④災害・事故事例の分析手法	6h	6h		(18)	
11	衛生	①労働衛生管理 ②ストレスとメンタルヘルス ③健康障害(作業要因・温熱環境・騒音と振動・酸欠・じん肺、有害物)	6h	6h	書籍 j	労働衛生のしおり (19) 配付資料	
						配付資料	
12	リスクアセスメント	①リスクアセスメント ②事例演習	5h	5h		(19)	
13	労働安全衛生法	①車両系建設機械運転技能講習(整地・運搬・積込み用及び掘削用) ②車両系建設機械運転技能講習(解体) ③小型移動式クレーン運転技能講習 ④高所作業車運転技能講習 ⑤玉掛け技能講習 ⑥酸素欠乏危険作業特別教育 ⑦石綿使用建築物等解体等業務特別教育 ⑧足場の組立て等作業従事者特別教育	41h	14h	書籍 k	車両系建設機械運転者教本(整地・運搬・積込み用及び掘削用) (20)	
					27h		
					4h	書籍 l	車両系建設機械運転者教本(解体用) (20)
					3h		
					14h	書籍 m	小型移動式クレーンの運転 (21)
					8h		
					9h	書籍 n	高所作業車運転者教本 (21)
					7h		
					13h	書籍 o	玉掛け作業必修 (22)
					9h		
6h	書籍 p	建設業における酸素欠乏症等の予防 (23)					
6h	書籍 q	建築物等の解体・改修工事における石綿障害の予防 (1)					
7h	書籍 r	足場特別教育テキスト (2)(4)					
合計			283h	149h			

1日の訓練時間:原則6h/日、ただし労働安全法の資格講習等で7~8h/日の場合も有り。


躯体技能者		レベル1	概要	平成27年度 厚生労働省 建設労働者緊急育成支援事業により、土木・建築の基礎、鉄筋・型枠・とび工の基礎を中心に、現場で必要となる玉掛け技能講習、足場の組立て等作業従事者安全教育などの資格を取得する。		
開催頻度:1回/年		日数:46日間	受講者数:6人	定員	15名	
終了資格		技能講習		対象		
特別教育		安全衛生保護具の正しい使い方		レベル1(建設関連会社への就職希望者)		
安全教育		労働衛生のしおり		レベル1(建設関連会社への就職希望者)		
教材リスト	教材	名称(書籍名等、採用ページ)	形式	出版社	価格(税込)	備考
	a	新規参入者教育用テキスト	書籍	建設業労働災害防止協会	510円	
	b	安全衛生保護具の正しい使い方	書籍	労働調査会	108円	100冊単位での購入のみ
	c	建設現場の一日の作業の流れ	DVD			
	d	土木施工	書籍	実教出版	2,005円	
	e	図解 橋の科学	書籍	講談社	1,058円	
	f	土はおしゃべり	書籍	地盤工学会関西支部	500円	
	g	建築施工	書籍	実教出版	1,270円	
	h	新・建築材料 I	書籍	数理工学社	2,052円	
	i	測量技能研修 副読本	オリジナル			
	j	労働衛生のしおり	書籍	中央労働災害防止協会	648円	
	k	車両系建設機械運転者教本(整地・運搬・積込み用及び掘削用)	書籍	建設業労働災害防止協会	1,650円	
	l	車両系建設機械運転者教本(解体用)	書籍	建設業労働災害防止協会	1,540円	
	m	小型移動式クレーンの運転	書籍	日本クレーン協会	1,645円	
	n	高所作業車運転者教本	書籍	建設業労働災害防止協会	1,850円	
	o	玉掛け作業必修	書籍	日本クレーン協会	1,645円	
	p	建設業における酸素欠乏症等の予防	書籍	建設業労働災害防止協会	1,030円	
	q	建築物等の解体・改修工事における石綿障害の予防	書籍	建設業労働災害防止協会	820円	
	r	足場の組立て等作業従事者必修	書籍	建設業労働災害防止協会	800円	
講師リスト	講師番号	職員/講師	年齢	所属・職種・前職等	資格・免許等(技能講習、特別教育等は省略)	
	(1)	講師			労働安全コンサルタント(電気)	
	(2)	講師			労働安全コンサルタント(建築)、一級建築士、1級建築施工管理技士	
	(3)	講師			労働安全コンサルタント(土木)	
	(4)	講師			技術士(建設部門)、1級土木施工管理技士、RST/トレーナー(建設)	
	(5)	講師			労働安全コンサルタント(土木)、1級土木施工管理技士	
	(6)	講師			労働安全コンサルタント(土木)、技術士(建設部門)、1級土木施工管理技士	
	(7)	講師				
	(8)	講師				
	(9)	講師				
	(10)	講師			労働安全コンサルタント(建築)、二級建築士	
	(11)	講師			測量士、1級(土木・建築・造園)施工管理技士、労働安全コンサルタント(土木)	
	(12)	講師				
	(13)	講師				
	(14)	講師				
	(15)	講師				
	(16)	講師				
	(17)	講師				
	(18)	講師			労働安全コンサルタント(機械)	
	(19)	講師			労働安全コンサルタント(労働衛生工学)	
	(20)	講師				
	(21)	講師				
	(22)	講師				
	(23)	講師			労働安全コンサルタント(労働衛生工学)	
	(24)	講師		中災防大阪安全衛生センター-防災防大版支部		



躯体技能者		レベル1	概要	平成27年度 厚生労働省 建設労働者緊急育成支援事業により、土木・建築の基礎、鉄筋・型枠・とび工の基礎を中心に、現場で必要となる玉掛け技能講習、足場の組立て等作業従事者安全教育などの資格を取得する。	
開催頻度:1回/年		日数:46日間	受講者数:6人	定員 15名	対象 レベル1(建設関連会社への就職希望者)
科目	教 科 概 要		授業形式	使用材料・機材等	数量
1	安全衛生	①労働安全衛生法の概要 ②事業者と労働者の責務 ③労働安全衛生管理体制 ④労働安全教育と資格 ⑤機械設備の安全化と災害発生時の仕組み ⑥建設現場の一日の作業の流れ ⑦各保護具の正しい使い方 ⑧枠組足場組立演習 ⑨KY活動 ⑩ヒューマンエラーの防止	学科	プロジェクター、スクリーン、ホワイトボード	
			実習	枠組足場建ちわく(W=1,200)	4
			実習	縦巻 L=2,000:3本、L=2,500:4本、L=1,000:4本	左記
			実習	直交クランプ:30コ、自在クランプ:18コ、ジャッキベース:8コ、単管ジョイント:4コ	左記
			実習	足場板:2枚、筋交:2組	左記
			実習	ラチェット、シノ、番線、クリッパー、釘、金槌	1式
2	土木施工法	①土木概論 ②土木材料			
3	土木施工管理	①建設業法 ②施工計画・関連法規 ③見積もり ④工程・原価・品質と安全 ⑤道路関係法 ⑥コンクリート材料・性質、製造と施工、配合設計、 生コン試験・供試体製作、配合表、スランプ・空気量・塩分濃度試験 ⑦建設マネジメント	学科	ホワイトボード	1式
			学科	パソコン、プロジェクター	1式
			実習	スランプ・空気量・塩分濃度検査、4週強度試験ができる試験機、材料	1式
			実習	※生コンプラント・試験室の協力を得る	1式
4	土木構造・工事概論	①土木工事現場の施工管理・施工事例 ②建設材料 ③土木工学の役割 ④現場見学(実習6hとして算入)	学科	パソコン、プロジェクター	1式
			学科	DVD教材	1式
5	建築施工法	①建築施工 ②建設業法 ③工事の仕組みと管理 ④労働衛生管理 ⑤建設材料	学科	パソコン、プロジェクター	1式
			実習	関数計算機	1式
6	測 量	①測量概論 ②略測量 ③水準測量	実習	ボール(3本)、巻き尺50m、標尺(2本)、チョーク	1式
			実習	測量鉄・ベース	2~5組
			実習	レベル	1式
			実習	TS測距儀	1式
			実習	ピンホールプリズム	1式
7	型枠・鉄筋工事	①型枠・鉄筋 ②図面の見方 ③こしらえもの ④加工図 ⑤金物類 ⑥型枠加工 ⑦型枠建て方・おし ⑧鉄筋組立			
8	とび工事	①足場組立て ②資格 ③足場に作用する力 ④足場の種類 ⑤基本形と名称 ⑥墜落防止と落下防止 ⑦玉掛け・合図 ⑧KY活動 ⑨枠組足場組立			
8	製図	①製図用具の使い方 ②演習	実習	製図台・1定規・三角定規・参画スケール・字消し板・製図用ブラシ・筆記具	人数分
			実習	ホワイトボード	
			実習	電卓	
8	応急救護	①普通救急救命講習 I(消防署にて実施) ②異常時における措置 ③災害発生時の対応 ④災害・事故事例の分析手法	学科	演習用紙	
8	衛 生	①労働衛生管理 ②ストレスとメンタルヘルス ③健康障害(作業要因・温熱環境・騒音と振動・塵芥・じん肺、有害物)			
9	リスクアセスメント	①リスクアセスメント ②事例演習	学科	プロジェクター、スクリーン、ホワイトボード	
10	労働安全衛生法	①車両系建設機械運転技能講習(整地・運搬・積込・掘削) ②車両系建設機械運転技能講習(解体) ③小型移動式クレーン運転技能講習 ④高所作業車運転技能講習 ⑤玉掛け技能講習 ⑥酸素欠乏危険作業特別教育 ⑦石綿使用建築物等解体等業務特別教育 ⑧足場の組立て等作業従事者特別教育			
			学科	プロジェクター、スクリーン、ホワイトボード	

躯体技能者		レベル1	概要	平成27年度 厚生労働省 建設労働者緊急育成支援事業により、土木・建築の基礎、鉄筋・型枠・とび工の基礎を中心に、現場で必要となる玉掛け技能講習、足場の組立て等作業従事者安全教育などの資格を取得する。	
開催頻度:1回/年		日数:46日間	受講者数:6人	定員 15名	対象 レベル1(建設関連会社への就職希望者)
使用図面等	図面名等		数量	備考	
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					

実習用ユニット・教材等

枠組足場実習	鉄筋・型枠実習	とび実習
		
		

躯体技能者		レベル1		概要		対象	
開催頻度:1回/年		日数:64日間		受講者数:29人		定員 40名	
				平成27年度 厚生労働省 建設労働者緊急育成支援事業により、鉄筋・型枠・足場組立て工事の基礎を中心に、現場で必要となる玉掛け、小型移動式クレーン、ガス溶接等の技能講習の資格を取得する。		レベル1(建設関連会社への就職希望者)	
科目	教科概要	時間	学科 実習	形式	教材	教材 名称(書籍名等、採用ページ)	講師 番号
1	安全衛生	①ガイダンス ②マナー講習 ③修了式	11h	11h	オリジナル	入校のしおり	
2	基礎知識	①建設機械 ②建設材料	14h	14h			
2	型枠組立	①実習用型枠モデル組立(柱・梁・スラブ)	21h	7h	書籍	b	型枠の施工
3	鉄筋組立	①フーチング組立	21h	14h	書籍	c	おさまり詳細図集3 配筋要領編
4	足場組立	①枠組足場	21h	14h			
5	測量	①レベルの使い方	7h	7h			
6	実習用RC棟製作	①土工事 ②仮設足場工事 ③配筋工事 ④型枠工事 ⑤コンクリート打設	175h	175h			
7	外壁水洗・塗装	①仮設足場組立て ②高圧洗浄 ③外壁塗装工事	63h	63h			
8	労働安全衛生法	①車両系建設機械運転技能講習(整地・運搬・積込・掘削)	38h	13h	書籍	d	車両系建設機械運転者教本(整地・運搬・積込み用及び掘削用)
		②小型移動式クレーン運転技能講習	20h	25h	書籍	e	小型移動式クレーンの運転
		③フォークリフト運転技能講習	35h	11h	書籍	f	フォークリフト運転士テキスト
		④玉掛け技能講習	19h	12h	書籍	g	玉掛け作業者必修
		⑤ガス溶接技能講習	35	11h	書籍	h	ガス溶接・溶接作業の安全
		⑥アーク溶接特別教育	21h	24h	書籍	i	アーク溶接等作業の安全
合計		475h		10h			

※1. 1日の訓練時間:原則7h/日、ただし労働安全法の資格講習等で7~8h/日の場合もあり。  
 ※2. 1班10人前後×3班編成

修了資格	技能講習	○車両系建設機械運転技能講習(整地・運搬・積込・掘削)	○小型移動式クレーン技能講習	○フォークリフト運転技能講習	○玉掛け技能講習	○ガス溶接技能講習
	特別教育	○アーク溶接特別教育				
	安全教育					

教材リスト	教材	名称(書籍名等、採用ページ)	形式	出版社	価格(税込)	備考
	a	入校のしおり	オリジナル			
	b	型枠の施工	書籍	鹿島出版会	2,052円	
	c	おさまり詳細図集3 配筋要領編	書籍	理工学社	2,808円	
	d	車両系建設機械運転者教本(整地・運搬・積込み用及び掘削用)	書籍	建設業労働災害防止協会	1,850円	
	e	小型移動式クレーンの運転	書籍	日本クレーン協会	1,645円	
	f	フォークリフト運転士テキスト	書籍	中央労働災害防止協会	1,620円	
	g	玉掛け作業者必修	書籍	日本クレーン協会	1,645円	
	h	ガス溶接・溶接作業の安全	書籍	中央労働災害防止協会	864円	
	i	アーク溶接等作業の安全	書籍	中央労働災害防止協会	1,080円	
	j					

躯体技能者		レベル1		概要		対象	
開催頻度:1回/年		日数:64日間		受講者数:29人		定員 40名	
				平成27年度 厚生労働省 建設労働者緊急育成支援事業により、鉄筋・型枠・足場組立て工事の基礎を中心に、現場で必要となる玉掛け、小型移動式クレーン、ガス溶接等の技能講習の資格を取得する。		レベル1(建設関連会社への就職希望者)	
講師リスト	講師番号	職員/講師	年齢	所属・職種・前職等	資格・免許等(技能講習、特別教育等は省略)		
	①	講師					
	②	講師					
	③	講師					
科目	教科概要	授業形式	使用材料・機材等	数量			
1	基礎知識	①ガイダンス ②マナー講習 ③修了式					
2	型枠組立	①実習用型枠モデル組立(柱・梁・スラブ)	実習 型枠実習用ユニット	1式			
3	鉄筋組立	①フーチング組立	実習 フーチング組立実習用加工済み鉄筋 実習 ハッカー	1式 1式			
4	足場組立	①枠組足場	実習 枠組足場(建わく、布板、筋交、ベースジャッキ、クランプ) 実習 単管パイプ	1式 1式			
5	測量	①レベルの使い方	実習 ラチェット、番線カッター、インバクト、水平器 実習 レベル、三脚 実習 ホワイトボード	1式 1式 1式			
6	実習用RC棟製作	①土工事 ②仮設足場工事 ③配筋工事 ④型枠工事 ⑤コンクリート打設	実習 ユンボ 実習 プレート転圧機 実習 卓上丸ノコ盤、墨つぼ、セパレーターガイド、バイスブライヤー、スケール、インバクト 実習 合板、桧木、釘 実習 異形鉄筋(D10~D19) 実習 結束線、ハッカー、スベーター 実習 ペンダー、鉄筋カッター	1台 1台 1式 1式 1式 1式			
7	外壁水洗・塗装	①仮設足場組立て ②高圧洗浄 ③外壁塗装工事	実習 枠組足場(足場組立で用いる仕様材料・機材等と同等) 実習 枠組足場(足場組立で用いる仕様材料・機材等と同等)	1式 1式			
8	労働安全衛生法	①車両系建設機械運転技能講習(整地・運搬・積込・掘削)	実習 バックホー 実習 トラクターショベル	1式 1式			
		②小型移動式クレーン運転技能講習	実習 ユニク付きトラック(2.9t)	1式			
		③フォークリフト運転技能講習	実習 フォークリフト	1式			
		④玉掛け技能講習	実習 ラフテレーンクレーン	1式			
		⑤ガス溶接技能講習	実習 ガス溶接機器 実習 酸素 実習 アセチレン	1式 1式 1式			
		⑥アーク溶接特別教育	実習 アーク溶接機	1式			

使用図面等	図面名等	数量	備考
1	足場組立図	1式	外壁水洗・塗装実習用の足場図面
2	実習用RC棟製作図	1式	
3			
4			
5			
6			
7			

躯体技能者

レベル1

開催頻度:1回/年 日数:64日間 受講者数:29人

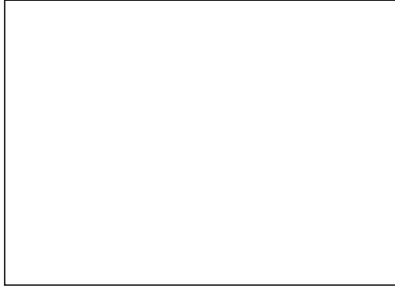
概要 平成27年度 厚生労働省 建設労働者緊急育成支援事業により、鉄筋・型枠・足場組立て工事の基礎を中心に、現場で必要となる玉掛け、小型移動式クレーン、ガス溶接等の技能講習の資格を取得する。

定員 40名

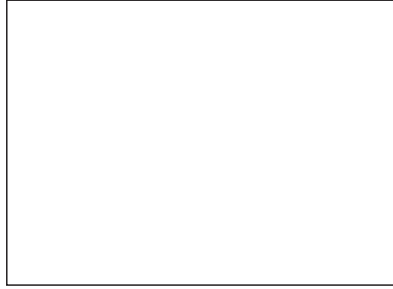
対象 レベル1(建設関連会社への就職希望者)

実習用ユニット・教材等

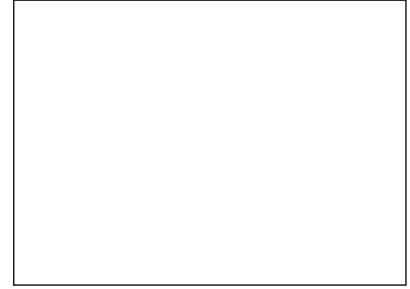
実習用型枠モデル(柱・梁・スラブ)



鉄筋組立(フーチング組立)



足場組立



実習用RC棟製作(型枠)



実習用RC棟製作(鉄筋)



実習用RC棟製作(完成)



建設機械オペレーター		レベル1		概要 平成27年度 厚生労働省 建設労働者緊急育成支援事業により、建設機械オペレーターに求められる技能講習の資格を取得する。					
開催頻度:1回/年		日数:46日間		受講者数:20人		定員:15名		対象 レベル1(建設関連会社への就職希望者)	
科目	教科概要			時間	学科 実習	形式	教材	教材 名称(書籍名等、採用ページ)	講師 番号
1	安全衛生	①入校式 ②ガイダンス ③修了式			4h	4h			
5	建設機械整備の基本	①整備点検法 ②リスクアセスメント ③整備実習 ④整備後の試運転			16h	2h 14h			⑤ (2)5
5	建設機械の運転	①建設機械3機種 運転実習 ②建設機械 基礎知識			46h	4h 42h			①5 (1)2,5,8
5	測量	①測量学概論 ②図面の見方 ③土木設計 ④測量基本実習			32h	18h 14h	書籍 a	新版測量実習	② (2)4,5
6	土木施工法	①土工事 ②仮設足場工事 ③配筋工事 ④型枠工事 ⑤コンクリート打設			12h	12h	書籍 b	土木施工法	(2)5
8	労働安全衛生法	①車両系建設機械運転技能講習(整地・運搬・積込・掘削)			42h	14h 28h	書籍 c	車両系建設機械運転者教本(整地・運搬・積込み用及び掘削用)	②5 (1)2,5,8
		②車両系建設機械運転技能講習(解体)			8h	5h 3h	書籍 d	車両系建設機械(解体用)運転技能講習	(2)6 (2)4,8
		③小型移動式クレーン運転技能講習			24h	14h 10h	書籍 e	小型移動式クレーンの運転	① (1)2,3
		④高所作業車運転技能講習			20h	12h 8h	書籍 f	高所作業車運転教本	(1)2,3 (1)2
		⑤玉掛け技能講習			16h	9h 7h	書籍 g	玉掛け作業者必携	(1)2 (1)2,3
		⑥不整地運搬車運転技能講習			16h	8h 8h	書籍 h	不整地運搬車運転者教本	② (1)2,3
		⑦ローラーの運転の業務に係る特別教育			16h	8h 8h	書籍 i	ローラー運転安全必携	(2)6 (1)2
		⑧足場の組立て等作業従事者特別教育			8h	8h	書籍 j	足場の組立て等作業従事者必携 特別教育用テキスト	(2)5
		⑨自由研削といし特別教育			8h	5h 3h	書籍 k	自由研削と石の安全	② (1)2,5
		⑩巻き上げ機(ウインチ)の運転特別教育			16h	8h 8h	書籍 l	ウインチ運転者必携	(2)4,7 (4)7,9
		⑪チェーンソー作業従事者特別教育			16h	8h 8h			⑤6 (1)2,4,5
		⑫携帯用丸のこ盤安全衛生教育			4h	3h 1h	書籍 m	建設業等における丸のこ等取扱作業の安全	② (1)2,4
		⑬振動工具(チェーンソー以外)取扱い作業者に対する安全衛生教育			4h	4h			②
		⑭刈払機取扱作業者に対する安全衛生教育			8h	4h 4h	書籍 n	刈払機講習テキスト	⑤ (1)5
合計					461h				

※1. 1日の訓練時間:8h/日(土曜日は4h)

建設機械オペレーター		レベル1		概要 平成27年度 厚生労働省 建設労働者緊急育成支援事業により、建設機械オペレーターに求められる技能講習の資格を取得する。					
開催頻度:1回/年		日数:46日間		受講者数:20人		定員:15名		対象 レベル1(建設関連会社への就職希望者)	
修了資格	技能講習	○車両系建設機械運転技能講習(整地・運搬・積込・掘削) ○車両系建設機械運転技能講習(解体用) ○小型移動式クレーン技能講習 ○高所作業車運転技能講習 ○玉掛け技能講習							
	特別教育	○ローラー特別教育 ○伐木等の業務に係る(チェーンソー)特別教育 ○足場組立作業従事者特別教育 ○振動工具取扱作業者特別教育 ○自由研削と石特別教育							
	安全教育	○巻き上げ機(ウインチ・大径木)特別教育 ○丸のこ取扱作業者安全衛生教育 ○刈払機取扱者安全衛生教育							
教材リスト	教材	名称(書籍名等、採用ページ)			形式	出版社	価格(税込)	備考	
	a	新版測量実習				実教出版	1,851円		
	b	土木施工法							
	c	車両系建設機械運転者教本(整地・運搬・積込み用及び掘削用)			書籍	建設業労働災害防止協会	1,650円		
	d	車両系建設機械(解体用)運転技能講習			書籍	建設業労働災害防止協会	1,540円		
	e	小型移動式クレーンの運転			書籍	日本クレーン協会	1,645円		
	f	高所作業車運転教本			書籍	建設業労働災害防止協会	1,850円		
	g	玉掛け作業者必携			書籍	日本クレーン協会	1,645円		
	h	不整地運搬車運転者教本			書籍	建設業労働災害防止協会	1,540円		
	i	ローラー運転安全必携			書籍	建設業労働災害防止協会	1,340円		
	j	足場の組立て等作業従事者必携 特別教育用テキスト			書籍	建設業労働災害防止協会	800円		
	k	自由研削と石の安全			書籍	建設業労働災害防止協会	1,650円		
	l	ウインチ運転者必携			書籍	建設業労働災害防止協会	1,030円		
	m	建設業等における丸のこ等取扱作業の安全			書籍	建設業労働災害防止協会	1,030円		
n	刈払機講習テキスト			書籍	キャタピラー教習所	1,030円			
講師リスト	講師番号	職員/講師	年齢	所属・職種・前職等		資格・免許等(技能講習、特別教育等は省略)			
	①	講師							
	②	講師							
	③	講師							
	④	講師							
	⑤	講師							
	⑥	講師							
	⑦	講師							
	⑧	講師							
	⑨	講師							

建設機械オペレーター		レベル1	概要 平成27年度 厚生労働省 建設労働者緊急育成支援事業により、建設機械オペレーターに求められる技能講習の資格を取得する。		
開催頻度:1回/年	日数:46日間	受講者数:20人	定員 15名	対象 レベル1(建設関連会社への就職希望者)	
科目	教科概要	授業形式	使用材料・機材等	数量	
1	安全衛生	①入校式 ②ガイダンス ③修了式			
2	建設機械整備の基本	①整備点検法 ②リスクアセスメント ③整備実習 ④整備後の試運転			
3	建設機械の運転	①建設機械3機種 運転実習 ②建設機械 基礎知識			
4	測量	①測量学概論 ②図面の見方 ③土木設計 ④測量基本実習			
5	土木施工法	①測量学概論 ②図面の見方 ③土木設計 ④測量基本実習			
8	労働安全衛生法	①車両系建設機械運転技能講習(整地・運搬・積込・掘削)			
		②車両系建設機械運転技能講習(解体)			
		③小型移動式クレーン運転技能講習			
		④高所作業車運転技能講習			
		⑤玉掛け技能講習			
		⑥不整地運搬車運転技能講習			
		⑦ローラーの運転の業務に係る特別教育			
		⑧足場の組立て等作業従事者特別教育			
		⑨自由研削といし特別教育			
		⑩巻き上げ機(ウインチ)の運転特別教育			
		⑪チェーンソー作業従事者特別教育			
		⑫携帯用丸のご盛安全衛生教育			
		⑬振動工具(チェーンソー以外)取扱い作業者に対する安全衛生教育			
		⑭刈払機取扱作業者に対する安全衛生教育			
使用図面等	図面名等	数量	備考		
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					

建設機械オペレーター		レベル1	概要 平成27年度 厚生労働省 建設労働者緊急育成支援事業により、建設機械オペレーターに求められる技能講習の資格を取得する。		
開催頻度:1回/年	日数:46日間	受講者数:20人	定員 15名	対象 レベル1(建設関連会社への就職希望者)	
実習用ユニット・教材等					
-----					
-----					

とび・土工科		レベル1	概要 平成27年度 厚生労働省 建設労働者緊急育成支援事業により、とび・土工業に求められる基本技能の修得及び建設機械等技能講習の資格を取得する。				
開催頻度:1回/年	日数:46日間	受講者数:7名	定員:15名	対象 レベル1(建設関連会社への就職希望者)			
科目	教科概要	時間	学科 実習	形式	教材 名称(書籍名等、採用ページ)	講師 番号	
1	安全衛生	①入校式 ②ガイダンス ③修了式	4h	4h			
2	枠組足場組立て等		8h			⑨⑩	
3	くさび型緊結足場	①組立実習 ②解体実習	16h			④⑩⑪⑫	
4	型枠支保工		24h			(1)(5)	
5	建設機械の運転	①建設機械3機種 運転実習 ②建設機械 基礎知識	18h	18h		(1)(2)(5)	
6	測量	①測量学概論 ②図面の見方 ③土木設計 ④測量基本実習	32h	18h 14h	書籍 a 8h12/2	新版測量実習 (2) (2)(4)(5)	
7	土木施工法	①土工事 ②仮設足場工事 ③配筋工事 ④型枠工事 ⑤コンクリート打設	12h	12h	書籍 b	土木施工法	
8	労働安全衛生法	①車両系建設機械運転技能講習(整地・運搬・積込・掘削)	42h	14h 28h	書籍 c	車両系建設機械運転者教本(整地・運搬・積込み用及び掘削用)	(2)(5) (1)(2)(5)(8)
		②車両系建設機械運転技能講習(解体)	8h	8h	書籍 d	車両系建設機械(解体用)運転技能講習	(2)(6) (2)(4)(8)
		③小型移動式クレーン運転技能講習	24h	14h 10h	書籍 e	小型移動式クレーンの運転	(1) (1)(2)(3)
		④高所作業車運転技能講習	20h	12h 8h	書籍 f	高所作業車運転教本	(2) (1)(2)(3)
		⑤玉掛け技能講習	16h	9h 7h	書籍 g	玉掛け作業者必携	(1)(2) (1)(2)(3)
		⑥不整地運搬車運転技能講習	16h	8h 8h	書籍 h	不整地運搬車運転者教本	(2) (1)(2)(3)
		⑦ローラーの運転の業務に係る特別教育	16h	8h 8h	書籍 i	ローラー運転安全必携	(1)(2) (1)
		⑧足場の組立て等作業従事者特別教育	8h	8h	書籍 j	足場の組立て等作業従事者必携 特別教育用テキスト	(2)(5)
		⑨自由研削といし特別教育	8h	5h 3h	書籍 k	自由研削と石の安全	(2) (1)(2)(5)
		⑩巻き上げ機(ウインチ)の運転特別教育	16h	8h 8h	書籍 l	ウインチ運転者必携	(4) (5)(6) (1)(2)(4)(5)
		⑪チェーンソー作業従事者特別教育	16h	8h 8h			(2) (1)(2)(4)
		⑫携帯用丸のこ盤安全衛生教育	4h	3h 1h	書籍 m	建設業等における丸のこ等取扱作業の安全	(2) (1)(2)(4)
		⑬振動工具(チェーンソー以外)取扱作業に対する安全衛生教育	4h	4h			(2)
		⑭刈払機取扱作業に対する安全衛生教育	8h	4h 4h	書籍 n	刈払機講習テキスト	(5) (1)(5)
合計		461h					

※1.1日の訓練時間:8h/日(土曜日は4h隔週)

とび・土工科		レベル1	概要 平成27年度 厚生労働省 建設労働者緊急育成支援事業により、とび・土工業に求められる基本技能の修得及び建設機械等技能講習の資格を取得する。			
開催頻度:1回/年	日数:46日間	受講者数:7名	定員:15名	対象 レベル1(建設関連会社への就職希望者)		
修了資格	技能講習	○車両系建設機械運転技能講習(整地・運搬・積込・掘削) ○車両系建設機械運転技能講習(解体用)○小型移動式クレーン技能講習 ○高所作業車運転技能講習 ○玉掛け技能講習				
特別教育		○ローラー特別教育 ○伐木等の業務に係る(チェーンソー)特別教育 ○足場組立作業従事者特別教育 ○振動工具取扱作業者特別教育 ○自由研削と石特別教育 ○巻き上げ機(ウインチ)				
安全教育		○丸のこ取扱作業安全衛生教育 ○刈払機取扱作業安全衛生教育				
教材リスト	教材	名称(書籍名等、採用ページ)	形式	出版社	価格(税込)	備考
	a	新版測量実習		実教出版	1,851円	
	b	土木施工法				
	c	車両系建設機械運転者教本(整地・運搬・積込み用及び掘削用)	書籍	建設業労働災害防止協会	1,650円	
	d	車両系建設機械(解体用)運転技能講習	書籍	建設業労働災害防止協会	1,540円	
	e	小型移動式クレーンの運転	書籍	日本クレーン協会	1,645円	
	f	高所作業車運転教本	書籍	建設業労働災害防止協会	1,850円	
	g	玉掛け作業者必携	書籍	日本クレーン協会	1,645円	
	h	不整地運搬車運転者教本	書籍	建設業労働災害防止協会	1,540円	
	i	ローラー運転安全必携	書籍	建設業労働災害防止協会	1,340円	
	j	足場の組立て等作業従事者必携 特別教育用テキスト	書籍	建設業労働災害防止協会	800円	
	k	自由研削と石の安全	書籍	建設業労働災害防止協会	1,650円	
	l	ウインチ運転者必携	書籍	建設業労働災害防止協会	1,030円	
	m	建設業等における丸のこ等取扱作業の安全	書籍	建設業労働災害防止協会	1,030円	
	n	刈払機講習テキスト	書籍	キャタビラー教室所	1,030円	
講師リスト	講師番号	職員/講師	年齢	所属・職種・前職等	資格・免許等(技能講習、特別教育等は省略)	
	(1)	講師				
	(2)	講師				
	(3)	講師				
	(4)	講師				
	(5)	講師				
	(6)	講師				
	(7)	講師				
	(8)	講師				
	(9)	講師				
	(10)					
	(11)					
	(12)	講師				

とび・土工科		レベル1	概要 平成27年度 厚生労働省 建設労働者緊急育成支援事業により、とび・土工業に求められる基本技能の修得及び建設機械等技能講習の資格を取得する。		
開催頻度:1回/年	日数:46日間	受講者数:7名	定員 15名	対象 レベル1(建設関連会社への就職希望者)	
科目	教科概要	授業形式	使用材料・機材等	数量	
1 安全衛生	①入杖式 ②ガイダンス ③修了式				
2 枠組足場組立て等	0				
3 くさび型緊結足場	①組立実習 ②解体実習				
4 型枠支保工	0				
5 建設機械の運転	①建設機械3機種 運転実習 ②建設機械 基礎知識				
6 測量	①測量学概論 ②図面の見方 ③土木設計 ④測量基本実習				
7 土木施工法	①測量学概論 ②図面の見方 ③土木設計 ④測量基本実習				
8 労働安全衛生法	①車両系建設機械運転技能講習(整地・運搬・積込・掘削)				
	②車両系建設機械運転技能講習(解体)				
	③小型移動式クレーン運転技能講習				
	④高所作業車運転技能講習				
	⑤玉掛け技能講習				
	⑥不整地運搬車運転技能講習				
	⑦ローラーの運転の業務に係る特別教育				
	⑧足場の組立て等作業従事者特別教育				
	⑨自由研削といし特別教育				
	⑩巻き上げ機(ウインチ)の運転特別教育				
	⑪チェーンソー作業従事者特別教育				
	⑫携帯用丸のご盛安全衛生教育				
	⑬振動工具(チェーンソー以外)取扱い作業員に対する安全衛生教育				
	⑭刈払機取扱作業員に対する安全衛生教育				
使用図面等	図面名等	数量	備考		
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					

とび・土工科		レベル1	概要 平成27年度 厚生労働省 建設労働者緊急育成支援事業により、とび・土工業に求められる基本技能の修得及び建設機械等技能講習の資格を取得する。		
開催頻度:1回/年	日数:46日間	受講者数:7名	定員 15名	対象 レベル1(建設関連会社への就職希望者)	
実習用ユニット・教材等					
-----					
-----					
-----					
-----					
-----					
-----					
-----					
-----					

# 建設労働者確保育成支援事業(未就業者) ～技能工『鉄筋工』養成講座～



## 養成講座 実施概要

第一期：平成27年11月16日(月)～  
(3名) 平成28年1月15日(金)  
第二期：平成28年2月1日(月)～  
(6名) 平成28年3月31日(木)

- 1.鉄筋加工・組立 実技研修・現場研修
- 2.大型構造物 現場研修  
諫早外環状線(大型函渠)  
九州新幹線(高架橋)  
長崎県庁舎(行政棟) 等
- 3.座学研修(3科目)  
安全研修、CAD研修、  
『長崎県の土木行政について』
- 4.材料試験(引張り・曲げ)研修
- 5.その他(技能講習、加工場体験等)

7

# 建設労働者確保育成支援事業(未就業者) ～技能工『鉄筋工』養成講座～

## 実施フロー

① 教育者確保養成	現役1級技能士9名(富士センターで教育者養成1名)
② カリキュラム作成	実技訓練を主体に基礎技術訓練、安全、免許講習など
③ 教科書作成	2級技能検定、出前研修、新人研修のテキスト
④ 会場確保	長崎県建設技術研究センター
⑤ 教材・機材調達	加工機械等：リース、鉄筋・工具：購入
⑥ 人材募集	ハローワーク紹介(チラシ等)、テレビCM、新聞広告
⑦ 教育訓練	講義、実技、免許講習、現場実習など2ヶ月間
⑧ 就職斡旋	訓練終了後就職斡旋

資料6-17

8



# 鉄筋工養成講座：鉄筋組立 実技研修・現場研修



# 鉄筋工養成講座：建設現場研修



《諫早外環状線(大型函渠)現場》



《長崎県庁舎(行政棟)現場》



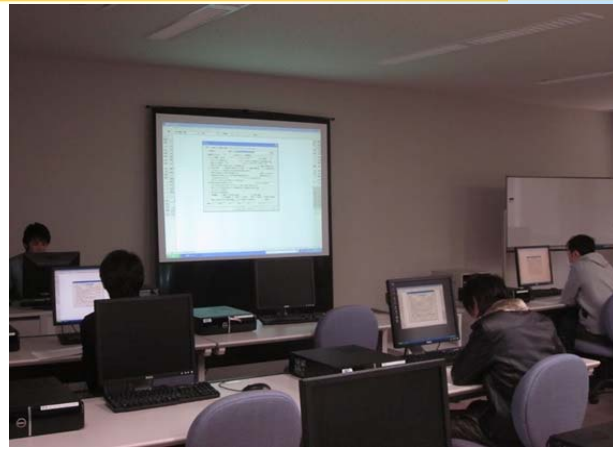
《九州新幹線(高架橋)現場》



# 鉄筋工養成講座：座学研修(安全・CAD・土木講話)



《安全研修》



《CAD研修》



《土木講話：長崎県の土木行政について》

7. プレ入職を対象とした教材開発及び体験実習カリキュラム（試案）

○建設現場で働くための基礎知識（仮称）

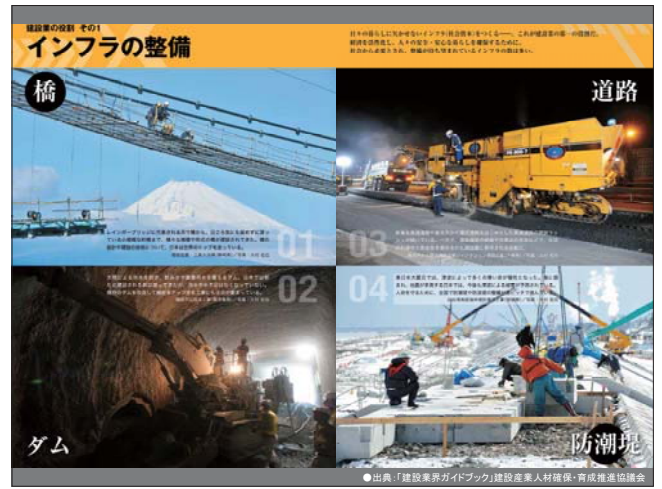
○建築躯体系職種体験実習カリキュラム（試案）

- ・カリキュラム概要
- ・カリキュラム日程
- ・実習用モデル（案）

# 建設現場で働くための基礎知識(仮称)

(一財)建設業振興基金

1-1



1-5

## 建設現場で働くための基礎知識(仮称) 目次

- |  |  |
|--|--|
| <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 建設業の役割とその魅力</li> <li>2. 建築物の主な構造種別</li> <li>3. 施工の体制と工事の流れ</li> <li>4. 現場で活躍する専門職種を紹介</li> <li>5. 建設現場の安全             <ul style="list-style-type: none"> <li>5-1 建設現場の安全衛生管理体制</li> <li>5-2 新入社員教育・送り出し時教育・新規入場時教育とは</li> <li>5-3 正しい服装・保護具の装着</li> <li>5-4 安全衛生標識</li> <li>5-5 建設現場の安全を確保する</li> </ul> </li> <li>6. 作業現場に入場する際の注意点             <ul style="list-style-type: none"> <li>6-1 作業現場の確認</li> <li>6-2 安全通路</li> <li>6-3 工具類の点検と管理</li> <li>6-4 はしご・脚立・作業台・足場・開口部付近・屋根上等での作業</li> </ul> </li> </ol> | <ol style="list-style-type: none"> <li>7. 建設現場作業に関する共通事項             <ul style="list-style-type: none"> <li>7-1 図面の種類と役割</li> <li>7-2 墨出し作業</li> <li>7-3 現場作業に必要な資格</li> </ul> </li> <li>8. 仮設(足場・仮囲い)の共通事項             <ul style="list-style-type: none"> <li>8-1 足場の分類</li> <li>8-2 足場作業の安全</li> <li>8-3 仮囲い</li> </ul> </li> <li>9. 工具と材料の共通事項             <ul style="list-style-type: none"> <li>9-1 現場作業で使用する主な器具</li> <li>9-2 足場部材と規格</li> <li>9-3 鉄筋部材と規格</li> <li>9-4 型枠部材と規格</li> </ul> </li> <li>10. 現場作業の技能の基礎             <ul style="list-style-type: none"> <li>10-1 かなづち・ハンマーの使い方</li> <li>10-2 のこぎりの使い方</li> <li>10-3 丸のこの取扱い上の注意</li> <li>10-4 ディスクグラインダの取扱い上の注意</li> <li>10-5 ラチェットレンチの使い方</li> <li>10-6 インパクトレンチの使い方</li> <li>10-7 ロープワーク</li> </ul> </li> </ol> |
|--|--|

1-2



1-6

## 1. 建設業の役割とその魅力

1-3



1-7

### 1. 建設業の役割とその魅力

建設産業は、国内総生産(GDP)の約10%に相当する建設投資を担い、全産業の約1割の就業人口を抱える基幹産業です。

1-4 資料編7-1



1-8

# 1. 建設業の役割とその魅力

## 建設業の特徴

- **受注産業**である  
顧客の注文を請負って工事を完成する受注産業です。
- **個別生産**である  
固有の土地に密着して建設するので、同じ内容のものはありません。
- **移動産業**である  
工事現場を移動しながら生産します。
- **屋外産業**である  
工事現場の大半が屋外のため、天候等の自然の影響を受けやすい産業です。
- **チームワーク産業**である  
建設現場は、元請企業のもと、工種毎に専門技術を持つ下請企業がチームを組んで、建設物を完成させます。  
建設企業の多くは、資本金1億円未満の中小企業であり、工種によっては工事の一部を再下請させる“重層化”も特徴です。

# 1. 建設業の役割とその魅力

## 建設業の1日の作業の流れ



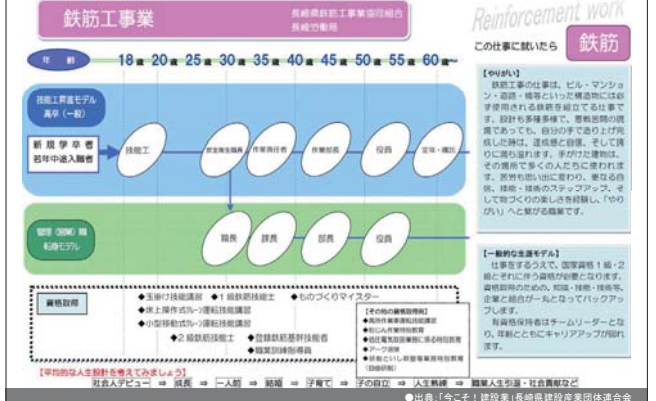
# 1. 建設業の役割とその魅力

## 建設業で働く魅力

<p>地図、歴史、記憶に残せる誇らしさ</p>	<p>スケールの大きなものづくりの楽しさ</p>	<p>毎日、毎回違うものをつくり、日々、変化していく“ものづくり”の面白さ</p>
<p>人々の暮らしや生活の一部になる仕事の責任感</p>	<p>建物が完成した時の達成感</p>	<p>体を動かして仕事をする充実感</p>

# 1. 建設業の役割とその魅力

## 生涯モデル:鉄筋工



# 1. 建設業の役割とその魅力

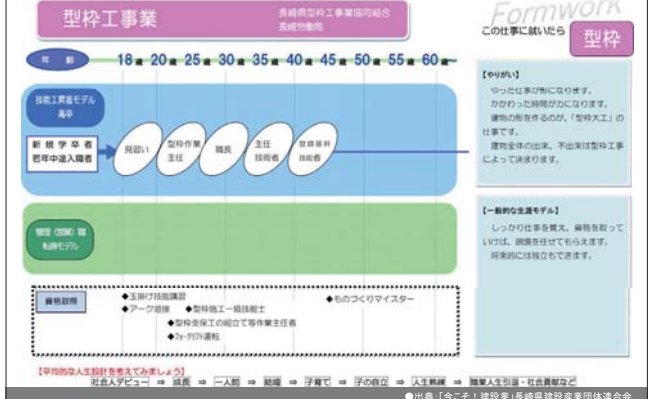
## 今、建設業は

やる気の有る若い人材を求めています!  
そして、建設業の将来を担う技能者として育成します!

建設業界は様々な取り組みをしています!

# 1. 建設業の役割とその魅力

## 生涯モデル:型枠大工



# 1. 建設業の役割とその魅力

## 人材確保・育成の建設業界の取り組み事項

### 処遇の改善

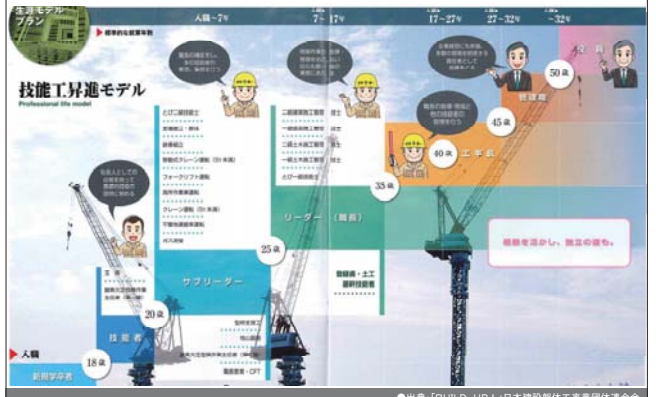
- ・適切な賃金支払いの浸透と社会保険加入の促進
- ・ダンピング対策の強化、歩切りの根絶
- ・建設業における休日の拡大(週休2日の実現)
- ・安定的・持続的な建設事業の見通しの確保
- ・若者の早期活躍の促進、教育訓練の充実強化
- ・女性の更なる活躍の推進

### 生産性の向上

- ・新技術・新工法の活用等
- ・適正工期の設定・工程管理等の円滑化等
- ・施工時期等の平準化
- ・技術や技能・経験等に応じた人材の配置
- ・行き過ぎた重層化の回避

# 1. 建設業の役割とその魅力

## 生涯モデル:とび工



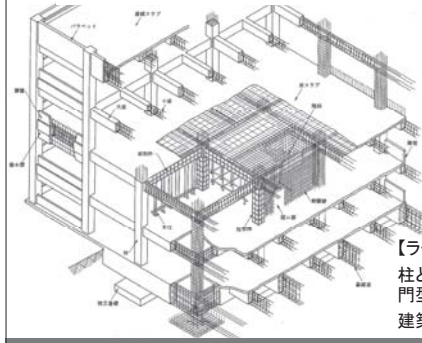
## 2. 建築物の主な構造種別

2-1

### 2. 建築物の主な構造種別

#### 鉄筋コンクリート構造①

耐火性が大きく圧縮力に強いコンクリートと、引張力に強い鉄筋の特性を活かし、両者を組合せた一体的構造。RC造とも呼ばれます。



#### 【ラーメン構造】

柱と梁の接合部を剛接合とした門型の骨組構造。建築物に広く用いられています。

●出典「構造用教材」日本建築学会

2-5

### 2. 建築物の主な構造種別

木構造

鉄筋コンクリート構造

鋼(鉄骨)構造

鉄骨鉄筋コンクリート構造

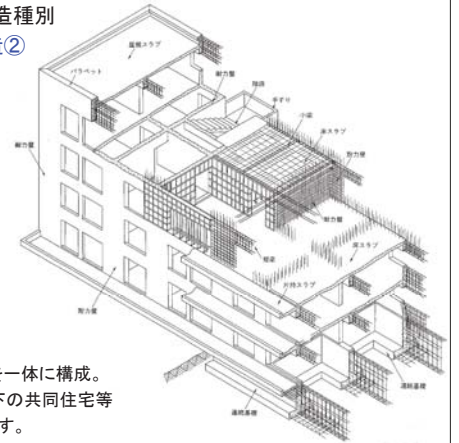
補強コンクリートブロック構造

使用する材料の分類により、構造の種別が分かります。

2-2

### 2. 建築物の主な構造種別

#### 鉄筋コンクリート構造②



#### 【壁式構造】

柱がなく、壁とスラブを一体に構成。壁の多い5階建て以下の共同住宅等に多く採用されています。

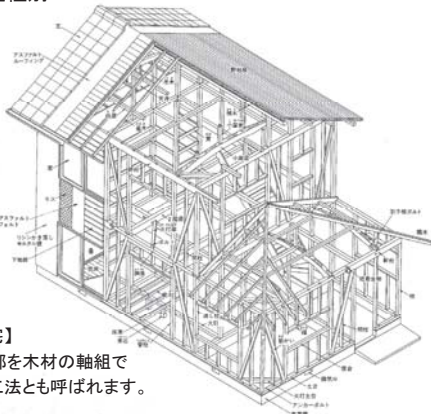
●出典「構造用教材」日本建築学会

2-6

### 2. 建築物の主な構造種別

#### 木構造①

加工性に優れた木材を組み立ててつくる構造



#### 【在来軸組構法の住宅】

柱、梁等の主要構造部を木材の軸組で構成する構法。在来工法とも呼ばれます。

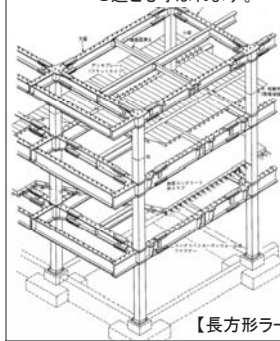
●出典「構造用教材」日本建築学会

2-3

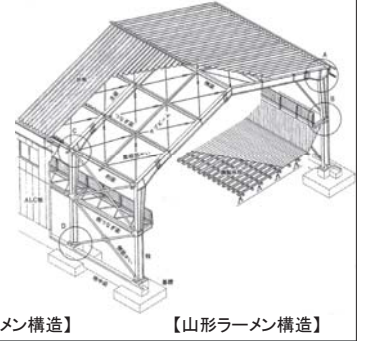
### 2. 建築物の主な構造種別

#### 鋼(鉄骨)構造

H型や箱形などの断面形状をした鋼材を組立て、骨組をつくる構造。S造とも呼ばれます。



#### 【長方形ラーメン構造】



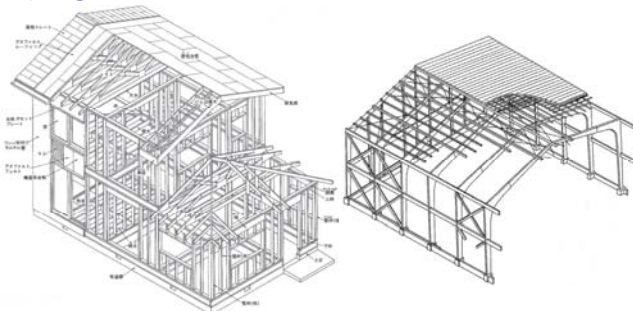
#### 【山形ラーメン構造】

●出典「構造用教材」日本建築学会

2-7

### 2. 建築物の主な構造種別

#### 木構造②



#### 【枠組壁工法の住宅】

北アメリカの工法を採り入れたものでツーバイフォー構法とも呼ばれます。

#### 【集成材構造】

集成接着をした木質材料で骨組みをつくる構造。体育館等に用いられます。

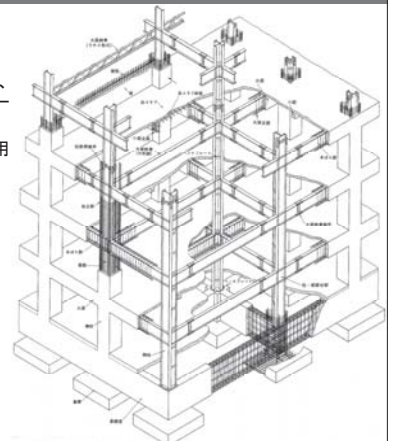
●出典「構造用教材」日本建築学会

2-4

### 2. 建築物の主な構造種別

#### 鉄骨鉄筋コンクリート構造

鋼製部材のまわりに鉄筋を配し、その外側に鉄筋を組みコンクリートで固めた構造。SRC造とも呼ばれ、高層建築に用いられます。



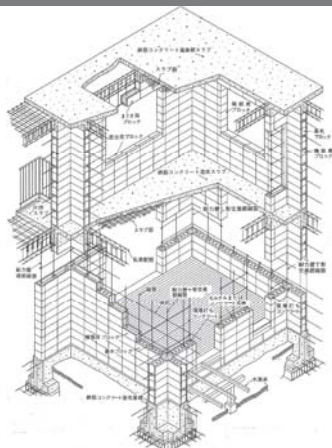
●出典「構造用教材」日本建築学会

2-8

## 2. 建築物の主な構造種別

### 補強コンクリートブロック構造

空洞コンクリートブロックをモルタルで接着しながら積み上げて壁体をつくり、空洞部に鉄筋を入れたコンクリートを充填し、補強する構造。



● 出典「構造用部材」日本建築学会

### 3. 施工の体制と工事の流れ

### 3. 施工の体制と工事の流れ

#### 建設会社の種類

建設会社は、大きく2つに分けることができます。

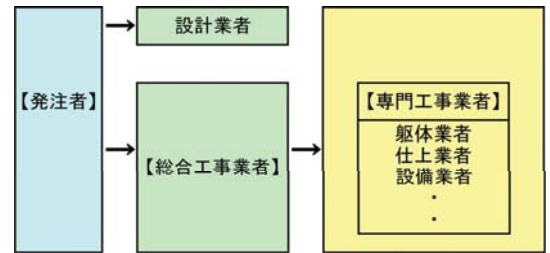
- **総合工事業業者**：  
建築主から直接建築工事一式または土木工事一式を請負う業者。
- **専門工事業業者**：  
おもに総合工事業業者の下請となつて、建築工事のうちの一部を専門に請け負う業者。

### 3. 施工の体制と工事の流れ

建設業に関連する職種には、多くの種類があります。様々な専門職種の人々が参加し、それぞれの技術を組み合わせて、1つの建物が完成します。

### 3. 施工の体制と工事の流れ

#### 建設業の施工の体制



発注者： お金を出して建物等をつくらうとする人又は機関。  
国・自治体及びその機関と民間(企業・個人)に大きく分かれます。  
設計業者： 発注者が企画した建築物等の形態や構造、材料などを決めて図面を作成します。設計事務所、ゼネコンの設計部、又は発注者である国・自治体自身が行う場合もあります。

### 3. 施工の体制と工事の流れ

建設業の業種は28業種に分類されています

- **土木工事業、建築工事業の2つの総合工事業**
- **大工工事業や左官工事業等26の専門工事業**

建設業を営むためには、工事の業種別に建設業の許可が必要です。

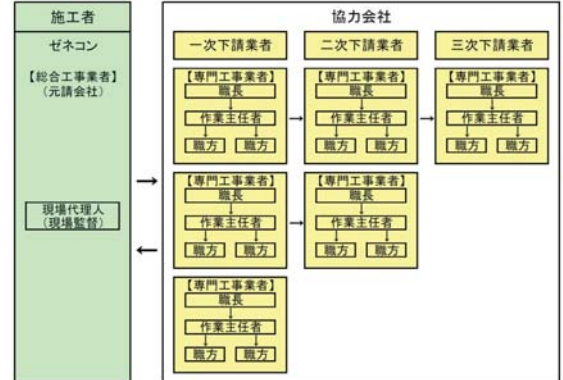


建設業の業種例

●出典：「建設業界ガイドブック」建設産業人材確保・育成推進協議会

### 3. 施工の体制と工事の流れ

#### 建設業の発注の流れ



### 3. 施工の体制と工事の流れ

#### 建設業の28業種

建設工事の種類	内容
土木一式工事	総合的な企画、指導、調整のもとに土木工作物を建設する工事
建築一式工事	総合的な企画、指導、調整のもとに建築物を建設する工事
大工工事	木材の加工又は取付により工作物を築造し、又は工作物に木製設備を取付ける工事
石工工事	工作物に礎石、モルタル、しっくい、プラスター、鐵構等を用いて、取付け又ははり付ける工事
及び土工・コンクリート工事	現場の掘立て、垂れ物の掘削設置、致害等の掘立て、くい打ち、土砂等の掘削、コンクリート工事
石工工事	石材の加工又は積方により工作物を築造し、又は工作物に石材を取付ける工事
屋根工事	瓦、スレート、金属薄板等により屋根をふく工事
電気工事	発電設備、変電設備、送電設備、積内電気設備等を設置する工事
配管工事	冷暖房、空気調和、給排水、衛生等の設備の設置、水、油、ガス等を送配する設備を設置する工事
タイル・れんが・ブロック工事	れんが、コンクリートブロック等により工作物を築造し、又は取付け、タイルをはり付ける工事
鋼構造物工事	形鋼、製板の鋼材の加工、又は積立により工作物を築造する工事
鉄筋工事	鉄筋等の鋼材を加工し、接合し、又は組立てる工事
舗装工事	道路等の地面をアスファルト、コンクリート、砂、砂利等により舗装する工事
しゅんせつ工事	かせん、港湾等の水底をしゅんせつする工事
板金工事	金属薄板等を加工して工作物に取付け、又は工作物に金属製の付属物を取付ける工事
ガラス工事	工作物にガラスを加工して取付ける工事
塗装工事	塗料、塗材等を工作物に取付け、塗付け、又ははり付ける工事
防水工事	アスファルト、モルタル、シーリング材等によって防水を行う工事
内装仕上工事	木材、石膏ボード、吸音板、壁紙、たみ等を用いて建築物の内装仕上を行う工事
機械器具設置工事	機械器具の組立て等により工作物を建設し、又は工作物に機械器具を取付ける工事
熱絶縁工事	工作物又は工作物を熱絶縁する工事
電気通信工事	有線電気通信設備、無線電気通信設備、放送機械設備等の電気通信設備を設置する工事
築園工事	築地、樹木の植栽等により庭園、緑地などの苑地を築造し、建築物の屋上等を緑化する工事
改修工事	及び井欄等を置いてお盆、お灸を行う工事、又はこれらの工事に伴う排水設備設置等を行う工事
建築工事	工作物に木製又は金属製の建具等を取付ける工事
水道施設工事	上水道、浄水、配水等の施設を築造する工事又は公共下水道の処理設備を設置する工事
消防施設工事	火災警報設備、消火設備、避難設備等を設置し、又は工作物に取付ける工事
清掃施設工事	し尿処理施設又はごみ処理施設を設置する工事

### 3. 施工の体制と工事の流れ

#### 建築のしごとをする人たち



●出典：「ニッポンをつくる人たちまるまる」建設産業人材確保・育成推進協議会



# 4. 現場で活躍する専門工事業

## 4. 現場で活躍する専門工事業

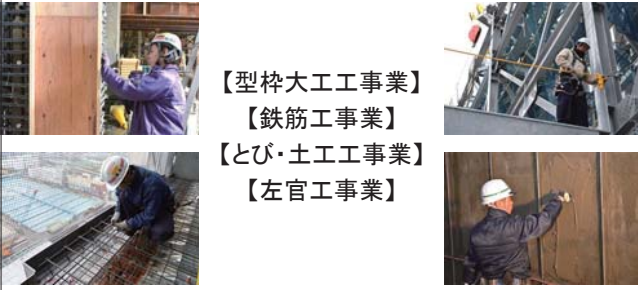
### 【型枠大工工事業】



鉄筋コンクリートの建物は、まだ柔らかいコンクリートを建物の形の「枠」に流し込み、固まらせて作ります。  
 コンクリートの形を決める枠が「型枠」であり、「型枠」を作り込む仕事は型枠工事業であり、建物の垂直水平を測ることも重要な仕事のひとつです。  
 型枠大工は図面を読み取ることはもちろん、平面上に描かれた2次元の設計図を立体的な3次元の世界に展開できる能力が求められます。

## 4. 現場で活躍する専門工事業

専門工事業者とは、総合建設業者と連携し、それぞれ特化した技能により建築をつくり上げていくスペシャル集団です。その専門性において26業種に分かれます。躯体系を中心とした4業種を紹介します。



- 【型枠大工工事業】
- 【鉄筋工事業】
- 【とび・土工事業】
- 【左官工事業】

## 4. 現場で活躍する専門工事業

### 【型枠大工工事業】



#### 型枠大工工事の流れ

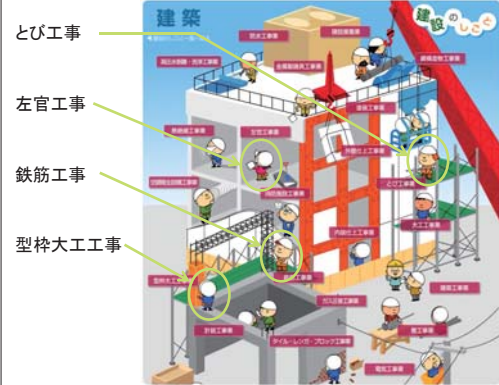
- 読み取り
  - ・図面を読み取り加工手順を作成する。
- 型 工
  - ・加工図をもとに、型枠を組み立てる。
- 組み出し
  - ・基準位置に、型枠を設置し、位置を調整する。
- 型枠組立
  - ・型枠の位置を正確に、じらなどを定める型枠や金具の調整を行う。隙間を埋め立てる。
  - ・内側部分の型枠（陰側）を埋め立てる。
  - ・外側部分の型枠（陽側）を埋め立てる。
- 型枠解体
  - ・型枠の中に流し込んだコンクリートが固まったら、型枠を取り外す。

#### ● 型枠大工の仕事の特徴

図面を読んで型枠を加工し、現場で立体的に組み上げるには、「知恵」と「技」、そして「創造性」が必要です。一方、この仕事は一人ではできないチームワーク作業であり、協調性やリーダーシップが求められるとともに、スケジュールを管理することも重要です。自分のつくった型枠から生まれた建物が世の中に残っていくことは、やりがいがあり、出来上がった建物は忘れられないものになっています。

## 4. 現場で活躍する専門工事業

### 躯体系の4業種



## 4. 現場で活躍する専門工事業

### 【鉄筋工事業】



しっかりした確実な仕事で、建物の強さを生み出します。

## 4. 現場で活躍する専門工事業

### 【型枠大工工事業】



コンクリートを流し込むための型枠をつくる大工さんです。

## 4. 現場で活躍する専門工事業

### 【鉄筋工事業】



鉄筋は人間のからだで言えば「骨組み」にあたります。鉄筋工事業の仕事は、工場の中から始まります。図面から使用する鉄筋の種類・数量を読み出し、工場内で鋼材を切断し、曲げ加工します。加工した鉄筋は、現場で建物の骨格として組上げられます。

4. 現場で活躍する専門工事業  
【鉄筋工事業】



**鉄筋工事業の流れ**  
 現場から、使用する鉄筋の種類、数量を算出し、工場で鉄筋を切断し、様々な形に加工する。  
 最近では、自動切断機、自動曲げ機などコンピュータを駆使した高度な機械も導入され、専任の作業員による作業が盛んに行われている。  
 組み立て  
 1. 設計図を現場へ運搬し、現場に従って転送の輸送方法に留意よく組み立てる。  
 2. 注意を怠り、かごのような状態にならないよう、重なり、歪み等は厳禁に注意する。

●鉄筋工の仕事の特徴  
 鉄筋工事は構造力学的に重要な仕事であり、仕事に慣れるに従って、材料の選別・正しい加工・配筋基準に沿った取付けを行うための技能と知識が必要になってきます。  
 また、最近では、工事着手前の施工計画や施工図面の作成、施工方法の改善、他職種との工程調整など、守備範囲は広がっており、努力次第でどんどん仕事の幅を広げることができます。  
 重量物を扱う仕事であり、ある程度の体力は必要ですが、最近は、機械や重機を使うようになってきているので、女性も働いています。

4. 現場で活躍する専門工事業  
【左官工事業】



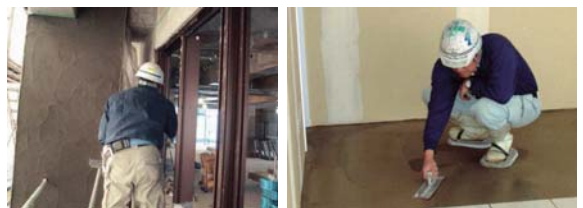
美装感覚を育む、よりよい環境をつくります。

4. 現場で活躍する専門工事業  
【とび・土工事業】



現場に一番乗り、建物の骨組みや工事の安全設備をつくります。

4. 現場で活躍する専門工事業  
【左官工事業】



左官工事業は、工作物に壁土、モルタル、しっくい、珪藻土等を「こて」塗り、吹きつけなどにより、最終的な表面仕上げをする仕事です。  
 長年培われてきた伝統技能によって確立されてきた多くの工法は、今もなお現代建築に柔軟に対応しています。  
 近年、環境への配慮から珪藻土等の自然素材を使用した壁が見直され、手仕事による仕上げの多様性や味わいが再認識されています。

4. 現場で活躍する専門工事業  
【とび・土工事業】



現場に最初に入り、現場回りの仮囲いを組み立てた後、現場で働く全ての人の命を預かる足場を組み立て、最後に足場をすべて解体撤去するまでが仕事です。  
 建物の骨組みとなる鉄骨をクレーン等を使用して組み立てる「鉄骨建方」、高い所で重量物をおさめるなど、仕事は広い範囲に及びます。

4. 現場で活躍する専門工事業  
【左官工事業】



**左官の特徴**  
 ・火災に強い  
 ・冷暖房効率が良く省エネ  
 ・調湿作用に優れている  
 ・結露しない  
 ・空気を汚さず、アトピー・アレルギーの心配が少ない  
 ・自然素材なので地球にやさしい  
 ・歴史に実証された安全性

**左官工事の流れ**  
 (例：珪藻土塗り仕上げ)  
 下地処理  
 ・ボード下地  
 ・ボードのジョイントにメッシュ等のテープを貼る。  
 下塗り  
 ・石膏系の下塗り材で全面下塗りする。  
 ・乾燥期間が必要。  
 上塗り  
 ・乾燥後、珪藻土の仕上げ材を上塗りする。  
 仕上げ  
 ・罫（こて）を使って色や凹凸（ターン）を付ける。

●左官工の仕事の特徴  
 左官の仕事は、全てが手仕事(手作業)仕上げで、作業は根気としてぬいさが求められます。  
 多種多様な「こて」を使って1ミリ単位の精度で壁などを仕上げますが、出来上がりは、ひと目で判断され評価されることから、そこに仕事の素晴らしさや楽しさがあります。

4. 現場で活躍する専門工事業  
【とび・土工事業】

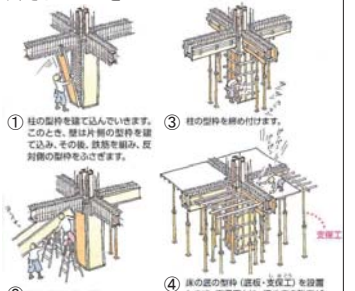


**とび・土工事業の流れ (例：ビル建組)**  
 取組現場  
 ・設計、工事監理、建設事務所・行政機関、工業団地等での業務開始  
 ・図面、設計、現場、設計との連携  
 基礎工事  
 ・材料、設備、立機、養生などの基礎工事  
 躯体工事  
 ・外装、内装、高層部での躯体工事  
 ・躯体工事の進行に伴って、エレベーターの設置や仮設エレベーターの設置、高層部での躯体工事を行う。  
 ・躯体工事の進行に伴って、エレベーターの設置や仮設エレベーターの設置、高層部での躯体工事を行う。  
 ・躯体工事の進行に伴って、エレベーターの設置や仮設エレベーターの設置、高層部での躯体工事を行う。  
 躯体工事  
 ・躯体工事の進行に伴って、エレベーターの設置や仮設エレベーターの設置、高層部での躯体工事を行う。  
 躯体工事  
 ・躯体工事の進行に伴って、エレベーターの設置や仮設エレベーターの設置、高層部での躯体工事を行う。

●とび工・土工の仕事の特徴  
 木造住宅をはじめ、ビルやマンション、橋、高速道路などの建設工事では、高所作業や重量物の運搬・設置など、様々な技能が要求され、工事現場での足場の組立、解体、鉄骨の建方などの作業を専門に行うのが、「とび工」の仕事です。  
 土工はコンクリートの打設工事、土工事、現場の準備を行います。

4. 現場で活躍する専門工事業  
【型枠工事】

建築で使われる部材は、ほとんど工場で加工されます。  
 加工された部材は、現場で取付けたり、さらに加工を加え、組立てたりします。



加工場にて加工

現場で型枠を組立てる

#### 4. 現場で活躍する専門工事業

##### 【鉄筋工事】

工場にて加工



鉄筋は、現場で使用する長さに切り揃えたり、端部を曲げたりしておく必要があります。



鉄筋は、専用の機械で曲げます。熱を加えることはありません。

現場で鉄筋を組立てる



●出典：イラスト建築施工「日本建設業連合会関西委員会」

4-17

#### 4. 現場で活躍する専門工事業

##### 【鉄骨工事】

工場にて製作



原寸検査  
製材が設計どおりに作られるか、正しい規格の寸法(実寸)を確認して検査をします。



今ではほとんどがCADで描かれているため、モニターの画面上で確認が行われています。



現場に搬入できる大きさまで工場で作られます。運搬作業は、より設定した規格での作業がされます。

現場へ出荷される前には製品検査も行われます。

現場にて鉄骨建方



●出典：イラスト建築施工「日本建設業連合会関西委員会」

4-18

#### 4. 現場で活躍する専門工事業

##### 【プレキャストコンクリート工事】

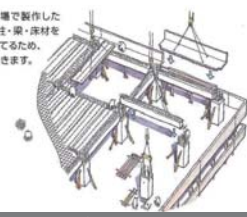
工場にて製作

工場で作成した柱、梁、壁のコンクリート部材を、プレキャストコンクリートと呼びます。タイルを張った外壁を工場で作成することもできます。



現場にて組立てる

あらかじめ工場で製作したコンクリート柱・梁・床材を現場で組み立てるため、工期が短縮できます。



●出典：イラスト建築施工「日本建設業連合会関西委員会」

4-19

## 5. 建設現場の安全

建設現場は、安全に働くことができます。

5-1

### 建設現場は、安全第一

- ① あなたは法律で守られている  
建設現場は労働安全衛生法に従い労働者の安全を確保しなければなりません。
- ② 作業は安全な手順で進められる  
作業は、安全を確保した作業手順に従います。
- ③ 身を守る保護具をつける  
ヘルメット、安全帯、安全靴等、保護具をつけ作業します。
- ④ 万一事故にあっても保険が掛けられている  
元請会社が建設現場の全労働者に労災保険を掛けています。

5-2

### 5-2 雇入れ時教育・送り出し教育・新規入場者教育とは

建設現場のルールをしっかり覚えましょう！

#### 【建設現場のルール(例)】 (一般事項)

- ① 作業着はきちんと、保護具は正しく着用する
- ② 互いに協力して作業を進める
- ③ 安全指示をしっかりと守る
- ④ わからないことは指示を受ける。勝手に作業を進めない
- ⑤ 4S（整理・整頓・清掃・清潔）に努める



5-5

### 5-2 雇入れ時教育・送り出し教育・新規入場者教育とは

#### 【建設現場のルール(例)】 (作業共通事項)

- ⑥ 正しい作業手順を守る
- ⑦ 資格が必要な作業は、必ず有資格者が行う
- ⑧ 工具、機材等は正しく使用する
- ⑨ 重機の作業半径内等、立入禁止エリアには立ち入らない
- ⑩ つり荷の下には入らない。上下作業はしない



5-6

### 5-1 建設現場の安全衛生管理体制

建設現場には、あなたの安全や健康を守るため、安全衛生管理体制が構築されています。



5-3

### 5-3 正しい服装、保護具の装着

#### ① 正しい服装

安全の第一歩は、服装は正しく着用することです。



5-7

### 5-2 雇入れ時教育・送り出し教育・新規入場者教育とは

労働安全衛生法では様々な安全衛生教育の実施が定められており、あなたは十分な教育を受けることができます。

- ① 雇入れ時教育  
雇入れ時に雇用主による安全衛生教育が行われます。
- ② 新規入場者教育  
建設現場に新たに入場する作業員に対し、現場の状況、作業概要、危険箇所、現場のルール等の教育を行います。また、本人の実務経験、健康状態等を確認し、適正配置の参考とします。

その他、協力会社が作業員を建設現場に送り出す前に、安全教育等を行う **送り出し教育** もあります。

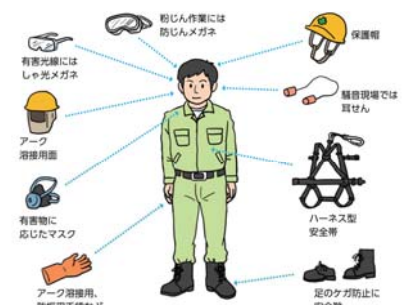


5-4 資料編7-9

### 5-3 正しい服装、保護具の装着

#### ② 正しい保護具

作業に応じ、必要な保護具の装着が定められています。また、保護具は正しく装着しないとあなたの身を守ってくれません。



5-8

5-3 正しい服装、保護具の装着

③ ヘルメット

上から物が落ちてきても、あなたの頭を守ってくれます。

5-9

5-3 正しい服装、保護具の装着

⑦ 安全靴

重い物がつま先に落ちてきても、あなたのつま先を守ってくれます。落ちてくる釘を踏んでしまっても、あなたの足裏を守ってくれます。

安全靴

プロテクティブスニーカー

5-13

5-3 正しい服装、保護具の装着

④ 安全帯

誤って落ちそうになっても、あなたを墜落災害から守ってくれます。高さ2m以上で、手すり、ネットなどの墜落防護措置がない場所での作業は、安全帯を使用しなければなりません。

墜落の危険がある高い場所では、必ず安全帯を使用する。

安全帯のフックは腰の高さより上部にかける。

フックは水平部材に直接かけるか、回しかけにする。

このようなかけ方はしない

5-10

5-3 正しい服装、保護具の装着

⑧ 保護手袋

切傷防止手袋は、切り傷、突き刺し、やけどから、あなたの手を守ってくれます。防振手袋は、あなたを振動障害から守ってくれます。

切創防止手袋

振動手袋

5-14

5-3 正しい服装、保護具の装着

⑤ 胴ベルト型の安全帯

5-11

5-4 安全衛生標識

建設現場には、危険な箇所などに様々な標識がかけられています。一つひとつしっかり覚えましょう。

担架	分別励行	駐車禁止	酸欠注意	墜落注意
安全通路	昇降階段	休憩所	頭上注意	

5-15

5-3 正しい服装、保護具の装着

⑥ ハーネス型の安全帯

ハーネス型安全帯

墜落阻止時の衝撃を身体の腿、肩、腰等の複数箇所に分散し、身体にかかる負担を低減する安全性の高い安全帯です。

5-12

5-4 安全衛生標識

足もと注意	開口部注意	感電注意	安全帯着用
保護帽着用	立入禁止	整理整頓	積載荷重
消火器	喫煙所	禁煙	火気厳禁

5-16

5-5 現場の安全を確保する

「安全第一」は、ここから始まった

1906年、アメリカのUSスチール社が最初に安全第一を唱えました。EHゲリー会長が経営方針を安全第一、品質第二、生産第三と改め安全を最優先したところ、品質も生産も向上した素晴らしい他の模範となる会社になりました。

# 安全 + 第一

5-17

5-5 現場の安全を確保する

建設業の労働災害発生状況

建設現場ではどのような災害が多発しているのか、しっかりと覚えましょう

## 建設業の死亡災害発生状況（平成26年）

災害種別	人数	割合
墜落・転落	148人	39.3%
交通事故（道路）	45人	11.9%
その他	72人	19.1%
はさまれ・巻き込まれ	38人	10.1%
崩壊・倒壊	30人	8.0%
土砂崩壊	26人	6.9%
飛来・落下	18人	4.8%

資料：厚生労働省安全課調べ

5-21

5-5 現場の安全を確保する

### 労働災害がもたらす損失は甚大！

労働災害が発生したら悲劇です。被災者の家族の悲しみを想像したことは、ありますか？さらに、労働災害は経済的な損失をもたらします。労働災害が発生したらどれくらい損失が発生するのかご存知ですか？実例をみると損失額は1億円以上になることもあります。利益を上げるために安全をおろそかにして、それで災害が発生し、莫大な損失が発生する。非常に残念な話ですね。

**★事例…シートパイル引抜作業中の飛来・落下災害**

- 工事種類 橋梁河川改修工事
- 被災程度 死亡
- 災害発生状況 シートパイル引抜作業中、クレーンでセッとしたクリアーパイラー（約5t）が転倒。準備作業を行っていた被災者の上に落下
- 被災者の概要 53歳、男。家族構成：妻（53歳）子2人（29歳、25歳）、雇入会社：2次下請会社
- 災害による影響 工事の中断17日、遅延10日

損失額：被災者が所属する2次下請業者の上積み補償2400万円、元請業者と2次下請業者が共同負担した示談金4200万円ほか、間接的損失として被災者の稼働能力喪失等に伴う2次下請業者の損失3654万円など。

## 合計1億942万円

5-18

5-5 現場の安全を確保する

### 建設現場で多発する労働災害

5-22

5-5 現場の安全を確保する

労働災害とは  
労働者が仕事や通勤中にケガ、病気、死亡すること。

### 建設業は、他産業に比べ事故発生率が高い

建設業と全産業の労働災害発生状況の比較（平成26年）

	建設業(A)	全産業(B)	(A/B)
就業者数	505万人	6,351万人	8.0%
生産額等	48.5兆円	490.6兆円	9.9%
死傷者数	17,184人	119,535人	14.4%
死亡者数	377人	1,057人	35.7%

資料：・就業者数（暦年平均値）：総務省「労働力調査」（暦年平均値）  
・生産額（年度）：建設業は建設投資見通（名目）、全産業はGDP（名目）  
・死傷者数（暦年）、死亡者数は厚生労働省発表（暦年）

5-19

5-5 現場の安全を確保する

### 建設現場で多発する労働災害

5-23

5-5 現場の安全を確保する

事故発生率が高い理由は、建設生産の特殊性があげられます。

### 建設生産の特殊性

- ① 作業内容が日々刻々と変化する  
作業内容が日々刻々と変化するため、それに適した安全設備を設置し続けることは極めて難しいです。
- ② 単品受注生産である  
建設物は同じ場所に同じ条件で同じ物をつくることはなく、安全設備面の対策が困難な状況が生まれやすくなります。
- ③ 多業種の専門工事業者の入退場が激しい  
建設現場は様々な専門工事業者が現場に入り、担当工事が完了したら退場し、次の新しい業者が入場してきます。このため、どこに危険があるかわからない状況などが生じやすくなります。

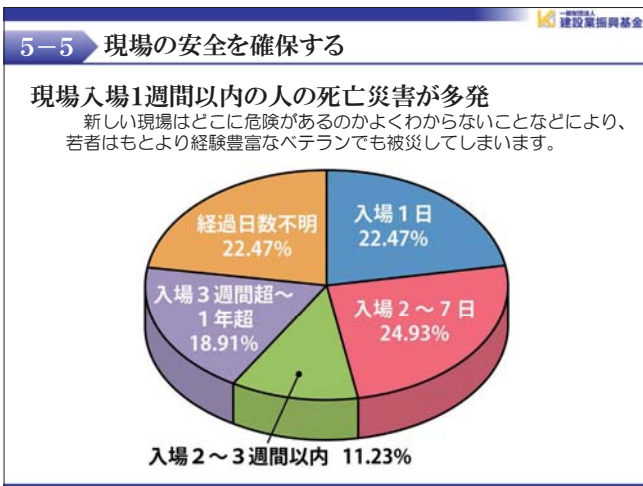
**設備面の対策が難しいため、安全の基本ルールを守ることがとても重要になる**

5-20

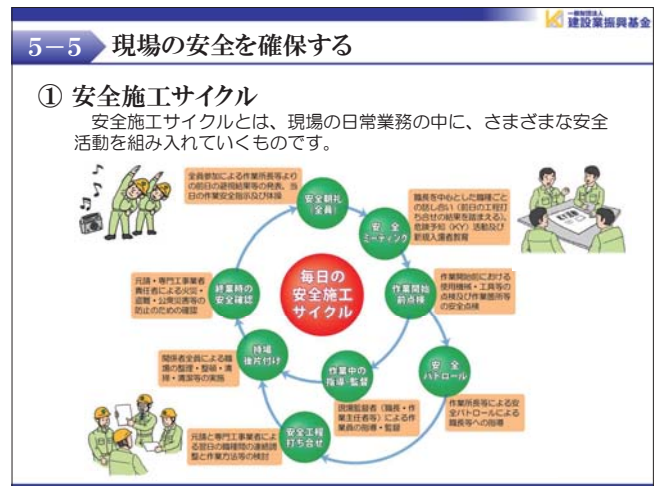
5-5 現場の安全を確保する

### 建設現場で多発する労働災害

5-24



5-25



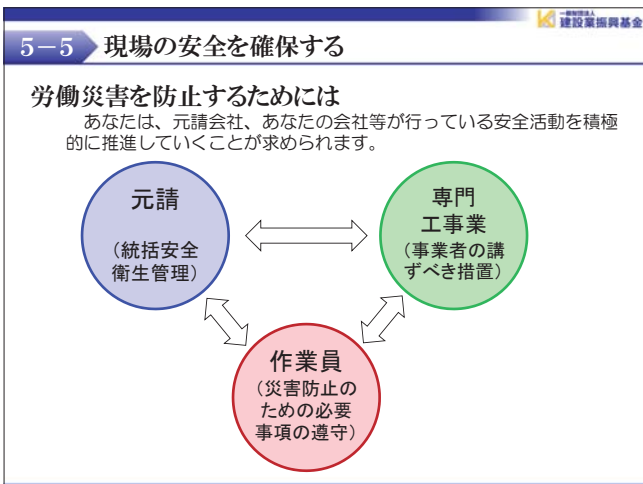
5-29



5-26



5-30



5-27



5-31

- ### 5-5 現場の安全を確保する
- 皆さんが取り組むべきこと
- ① 労働安全衛生法を遵守する
  - ② 災害やヒヤリハットを確実に報告しよう
  - ③ ヒューマンエラー災害を防止しよう
  - ④ リスクアセスメントの考えを理解し日々の作業にいかそう

5-28 資料編7-12

### 5-5 現場の安全を確保する

③ KY活動(危険予知活動)

KY活動の進め方

ラウンド	ねらい	手順	すすめ方
1R	《現状把握》 どんな危険がひそんでいるか	・予測できる危険を多く抽出し発言する ・この段階では質より量	《危険のポイント》 ～なので ～となる
2R	《本質追求》 これが危険のポイントだ	・1Rで発言した危険要因の評価を行う ・重要なものは◎印	危険の「可能性」と「重大性」を考慮
3R	《対策樹立》 あなたなどとする	・◎印の問題点を解決するためにどうしたらよいか、具体的な対策を立てる	対策自体の「具体性」と「可能性」を十分掘り下げる
4R	《目標設定》 私たちはこうする	・対策のうち、すぐ実施する対策、どうしてもやるべき対策を行動目標とする	《行動目標》 ～を～して～しようヨシ!

5-32

5-5 現場の安全を確保する

### ③ KY活動(危険予知活動)

5-33

5-5 現場の安全を確保する

### リスクアセスメントの手順

Step3 見積った結果で対策の優先順位づけを行う  
 ・優先順位となる優先度は、見積った点数の高い方から対策を立てる。

<リスク評価基準(例)>

見積り点数	優先度	検討基準
9	5	他の方法(工法等)を講ずる必要あり
6	4	すぐにリスク低減措置を講ずる必要あり
3~4	3	計画的な改善の必要あり
2	2	何らかの改善の必要あり
1	1	必要に応じて低減措置の実施

5-37

5-5 現場の安全を確保する

### ④ リスクアセスメント

**リスクアセスメントとは、**

- 作業前に、作業に潜在する危険を洗い出し、
- その洗い出した作業の危険は、どのくらいの頻度で発生するのか、どのくらいのケガや病気になるのか、危険の大きさを見積り、
- その結果から対策を立てるものの優先順位をつけ、
- 優先度の高いものから除去・低減対策を立て、
- 対策を実施し、危険の大きさを許される水準まで下げる

ことである。

5-34

5-5 現場の安全を確保する

### リスクアセスメントの手順

Step4 リスク低減措置の検討  
 リスク低減措置を検討する場合にも、次のような優先順位で対策を検討する。

- 計画や計画段階で危険作業などの廃止や変更や安全な施工方法への変更など
- ガードや安全装置や局排気装置など工学的な対策
- 立入り禁止措置や教育訓練、共同作業などの管理的対策
- 安全帯や呼吸用保護具などの個人用保護具の使用

\* 1~3の措置の検討をせずに、4の保護具に頼るのは×。

Step5 リスク低減措置の実施  
 Step6 リスクアセスメントの実施結果記録

5-38

5-5 現場の安全を確保する

### ④ リスクアセスメント

対策を講じることでリスクの大きさは変わる!

5-35

5-5 現場の安全を確保する

### ⑤ ヒューマンエラー災害

あなたは、「ヒューマンエラー」という言葉を聞いたことがありますか?建設現場では、ヒューマンエラーによる事故に頭を悩ませているところがとても多いのが現状です。しかし、ヒューマンエラーは、その原因となる人間の特性を正しく理解すれば、効果的な対策を打つことができます。

### ヒューマンエラー原因別災害発生率

資料: 労働安全衛生総合研究所調べ

5-39

5-5 現場の安全を確保する

### リスクアセスメントの手順

Step1 危険性又は有害性等を洗い出す  
 ・作業に伴う潜在的な危険性や有害性を洗い出す。  
 ・洗い出しは、過去の災害、安全パトロールでの指摘事項、ヒヤリハット、作業員の業務経験等に基づき洗い出す。

Step2 洗い出した危険性又は有害性を見積る  
 ・洗い出した危険性、有害性について「災害発生の可能性」、「災害の重大性」の大きさを見積る。危険性、有害性に対する対策の優先度を決めるために見積る。  
 ・見積りは次のとおり行う。  
 ・「災害発生の可能性」と「災害の重大性」を点数化して、掛け算や足し算で計算し、その総合点を出す。

<見積りの方法例>  
 3(災害の可能性)×2(災害の重大性)=6点

<災害の可能性基準>		<災害の重大性基準>	
点数	判断基準	点数	判断基準
1	5年に1回しか起こらない	1	4日未満の休業災害
2	1年に1回起こる	2	4日以上10日未満の休業災害
3	6ヶ月に1回起こる	3	死亡・障害

5-36

5-5 現場の安全を確保する

### ヒューマンエラーの原因 その① 危険軽視

ヒューマンエラーの原因のひとつに危険軽視があります。建設業で最も多いヒューマンエラーです。

危険軽視対策は、2段階です。その1 まずは、安全設備面の対策を徹底しましょう。その2 次に、基本ルールを絶対に守り、守らせましょう。

基本ルールを守らなければ、労働災害は絶対に減りません。逆に、あなたが基本ルールを守らないと、仲間が災害に巻き込まれるおそれがあります。起きてからでは遅いです。

資料: 三井住友海上

5-40



5-5 現場の安全を確保する

ヒューマンエラーの原因 その② **不注意**

建設現場では、不注意によるヒューマンエラーも多発しています。

**状況①**

バックしてきたダンプに気づかず激突

作業に集中すれば、警報音も耳に入らない!

**状況②**

数均し作業をしている作業員にバックホウが激突

まさか入らないだろう

バックホウがバックでひく災害はあまりに多い!

上の事故防止は、安全指示「重機に注意」ですか? 違います。人間の注意力には限界があり、「〇〇に注意」は効果がありません。作業に集中し安全に気を配らなくても事故に遭わない。これがヒューマンエラー対策です。例えば重機誘導員を配置し、彼が作業員を守ります。

資料: 三井住友海上

5-41

5-5 現場の安全を確保する

⑦ **クレーン作業の安全**

クレーン作業中、つり荷にはさまれ、つり荷の落下などの死亡災害が多発しています。基本ルールをしっかりと学ばなければなりません。

基本ルール: 玉掛けは2点つり、荷振れ防止に介錯ロープをつけ手では荷に触れない、地切りをしっかりと行うなど

**地切りをしっかりと3・3・3運動**

地切30cm上げる  
3秒停止  
合図は3m離れる

2点つり  
3秒停止  
3m  
3m  
介錯ロープ

5-45

5-5 現場の安全を確保する

ヒューマンエラーの原因 その② **本能のおもむくままの行動**

① 場面行動本能 (人間は、自らの命より手に持つ工具を大事にしてしまう時がある)  
② 近道・省略行動本能 (「面倒だな」と感じると、簡単に不安全行動を起こしてしまふ)

**状況①**

手に持つ工具を落とそうにその瞬間、「落とすまい!」と、とっさにつかまれないも、身を振り出して落下

高所での安全帯不使用はこわくてできない!

**状況②**

渡り機橋では遠回りと思い切実上を歩き墜落

ここを通りなさい!

この方が近いのだ

「近道したい!」という本能のおもむくままに...

本能がもたらすエラーはいくら教育・訓練しても防ぎようがありません。対策は、場面行動がいつ起こっても墜落しないために、安全帯を必ず使いまししょう。また、近道行動が起きないように、「面倒だな」と感じさせない設備の充実に努めましよう。

資料: 三井住友海上

5-42

5-5 現場の安全を確保する

⑧ **合図で安全確保**

クレーン作業、建設機械・高所作業車の運転、発破作業などでは、作業する者同士が、直接話すことができなくてもよいように合図が定められています。クレーン作業では、クレーンのオペレーターと玉掛合図者との間で合図が交わされます。

**呼出し**

片手を高く上げる。

**巻上げ**

手でまたの上をたたいた後、片手を上げて軸を指す。

**停止**

角度をつけて手のひらを高く上げる。

5-46

5-5 現場の安全を確保する

⑥ **ヒヤリハット報告**

皆さんは作業中にヒヤリとしたり、ハットしたことはありませんか? たまたま災害に結び付かなかったとしても、次も災害から逃れられるとは限りません。この経験を自分だけのものとせず、仲間の人たちにも知ってもらうことこそ、似たような災害から皆さんが身を守ることに繋がります。「みっともない」、「叱られる」と思わずに職場や会社幹部に報告しまししょう。

5-43

5-5 現場の安全を確保する

⑨ **グーパー運動(重機災害防止)**

バックホウの作業半径内への立ち入りは非常に危険です。しかし時に、やむを得ず立ち入らなければならないことがあります。その時はバックホウの動きを完全に止めてから立ち入る。大手ゼネコンなどが採用しているグーパー運動が推奨されています。

5-47

5-5 現場の安全を確保する

**ヒヤリハット事例**

枠組み足場の作業床で転倒しそうになった

**業種**  
建設業

**作業の種類**  
足場上での移動

**ヒヤリハットの状況**  
建設工事現場において、作業床の上で布板を結束してあった番線につまずいたが、とっさに枠組み足場の筋交いに捕まって、転倒をまぬがれた。

**対策**  
建設現場の足場は、段差がないように組み立てるとともに、よく点検して番線や細な足が引っかかるおそれのものを放置しない。

5-44 資料編7-14

5-5 現場の安全を確保する

⑩ **労働災害発生時の報告**

労働災害が不幸にして発生した場合には、事業者は労働者死傷病報告書を労働基準監督署に報告する義務があります。また労働者災害補償保険法によって休業等に関して給付が受けられる仕組みとなっています。どのような事情があろうとも、治療や休業に伴う支出を事業者から現金で受け取ったり、健康保険を使用してはいけません。

**労働安全衛生法に基づく報告**

労働者私傷病報告書の提出は事業者の義務です。

労働者私傷病報告書  
休業4日未満 (様式24号)  
休業4日以上 (様式23号)

**労災保険法に基づく請求**

労災保険の請求は被災者が行い、元請は、事実を証明します。

療養の給付  
休業の給付  
備書の給付  
遺族の給付  
その他

所轄労働基準監督署

5-48

## 6. 作業現場に入場する際の注意点

作業現場で守るべき安全ルールを学び、労働災害を防ぎましょう。

6-1

## 6-2 工具類の点検と管理

始業前点検を行い、工具に異常がないことを確認します。異常があれば必ず修理や取替等を行います。また、作業終了後は、入念に手入れをして保管します。



6-5

## 6-1 建設現場の確認

あなたが働く建設現場では、どのようなことに気をつけ、何を守らなくては行けないか。作業する前に、元請会社、職長などからそれらの説明を受け、よく理解しましょう。

### 【説明事項(例)】

危険な場所、立入禁止箇所、避難場所、安全通路、消火器設置場所、救急用具置場

6-2

## 6-4 はしご・脚立・作業台・足場・開口部付近・屋根上等での作業

### ① 移動はしご

はしごからの墜落災害は、建設現場はもとより製造業でも多く、死亡災害も多発しています。正しい使い方を覚えなければなりません。

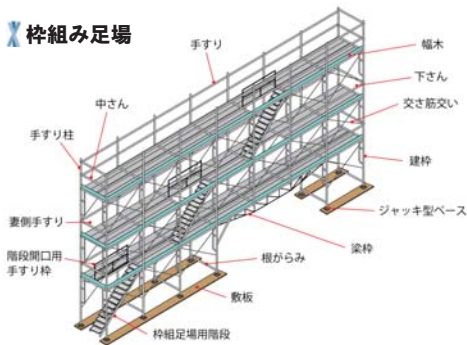


6-6

## 6-2 安全通路

安全通路の代表が足場です。枠組み足場と単管足場などがあります。

### 枠組み足場



6-3

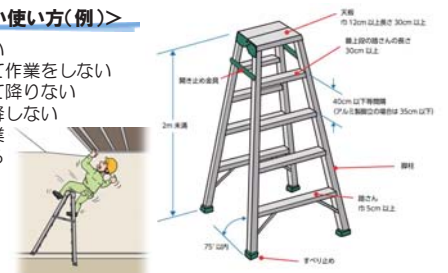
## 6-4 はしご・脚立・作業台・足場・開口部付近・屋根上等での作業

### ② 脚立

脚立は使い勝手のよさから、様々な作業で頻りに使われます。脚立から身を乗り出したり天板に乗ったりすると、バランスを崩し墜落に直結します。低所からの死亡災害があまりに多発していることも事実です。正しい使い方を覚えなければなりません。

#### <脚立の正しい使い方(例)>

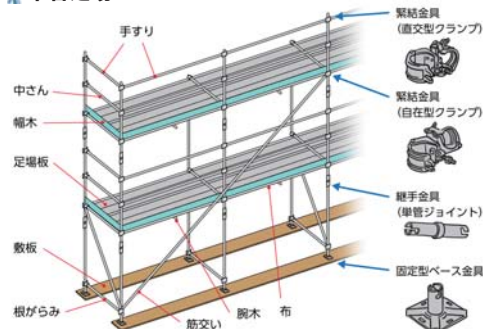
1. 天板に乗らない
2. 身を乗り出して作業をしない
3. 脚立を背にして降りない
4. 物を持って昇降しない
5. 反動を伴う作業では片側に乗る



6-7

## 6-2 安全通路

### 単管足場



6-4 資料編7-15

## 6-4 はしご・脚立・作業台・足場・開口部付近・屋根上等での作業

### ③ 可搬式作業台

墜落災害が多い脚立に替え、より移動範囲が広い可搬式作業台を使うケースが見受けられますが、2人が乗り作業台の転倒を招いたり、身を乗り出して墜落したりするなど災害が発生しています。

#### 必ず使用前点検をしよう

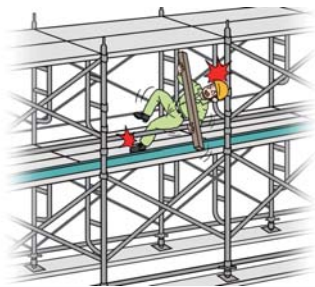


6-8

6-4 はしご・脚立・作業台・足場・開口部付近・屋根上等での作業

④ 足場

足場上の作業で墜落災害が多発しています。勝手に手すりや筋かきを外しそこから墜落したり、脱臼等、反動を伴う作業で墜落したり、重い荷物を手で運搬中、よろけて墜落したりするような災害が起きています。正しく使用しなければなりません。

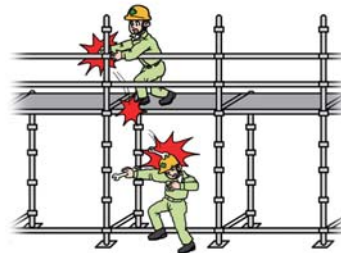


6-9

6-4 はしご・脚立・作業台・足場・開口部付近・屋根上等での作業

⑧ 上下作業は禁止

上の作業で物を落とすと下にいる作業員に当たる災害が繰り返し発生しています。高所から物を落とせば、それはすぐに凶器に変わります。「上下作業は行わない!」これに尽きます。下で作業しない場合でも、下のエリアは関係者以外立入禁止とします。



6-13

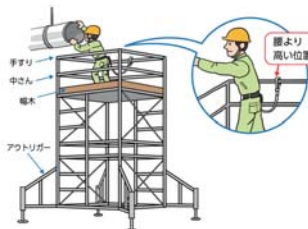
6-4 はしご・脚立・作業台・足場・開口部付近・屋根上等での作業

⑤ 移動式足場(ローリングタワー)

ローリングタワーでも正しく使用しないことにより墜落災害が多発しています。基本ルールの遵守徹底が必要です。

ローリングタワーの正しい使い方(例)

- 身を乗り出して作業しない
- 安全帯を使用する
- 作業員を乗せたまま移動しない
- 設置位置を決めたら固定する



6-10

6-4 はしご・脚立・作業台・足場・開口部付近・屋根上等での作業

⑥ 開口部付近での作業

作業で手すりを一時的に取外している時に墜落、別の場所で作業をしていた者がそこにある開口部に気づかず、開口部が「落とし穴」となり墜落などの災害が繰り返し発生しています。開口部周りは常に養生しなければなりません。

通路や作業床には開口部を作らない



6-11

6-4 はしご・脚立・作業台・足場・開口部付近・屋根上等での作業

⑦ 屋根上等での作業

建築工事では屋根からの墜落も多発しています。特に、スレート屋根です。改修工事などでは、老朽化して傷んだスレートを見つけることはとても困難です。墜落防護措置をしっかりとマスターしなければなりません。

墜落災害防止のポイント



## 7.建設現場作業に関する共通事項

7-1

### 7-1 図面の種類と役割

主に専門工業者が作成する施工図

設計図書に基づいて作られる、各種工事の詳細な図面。

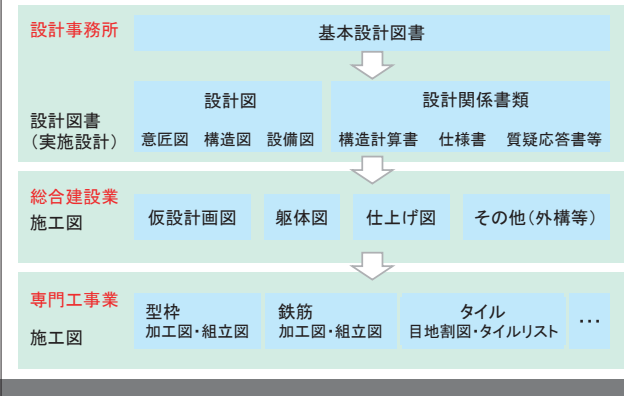
●主に専門工業者が作成する施工図の種類

施工図	植工	植伏図
	土工	掘削図
	コンクリート工事	コンクリート寸法図
	型枠工事	型枠加工図・型枠支保工組立図
	鉄筋工事	鉄筋組立加工図、鉄筋加工絵符集
	木工	木工施工図
	石工	削付図
	タイル工事	タイル削付図 床タイル割図
	金属工事	詳細図 手摺工事施工図
	カーテンウォール工事	天井および壁下地鉄骨詳細図 天井および壁金属壁張り詳細図
	左官工事	特殊部分納まり詳細図 目地割図
	内装工事	現寸図 平面詳細図
	外装工事	床伏図
		外装施工図
		プレキャストコンクリート削付図 プレキャストコンクリート現寸図 プレキャストコンクリート取付詳細図

7-5

### 7-1 図面の種類と役割

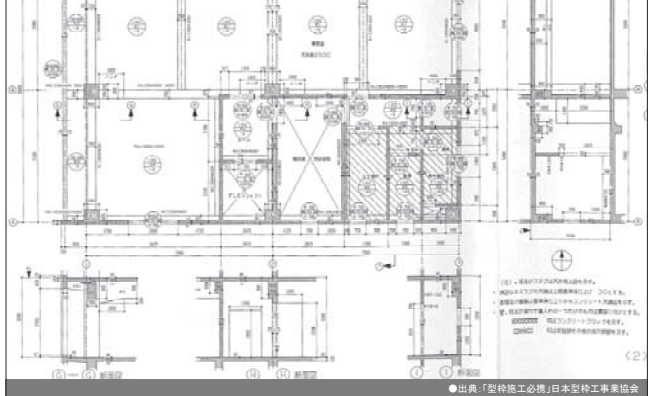
図面の種類と役割



7-2

### 7-1 図面の種類と役割

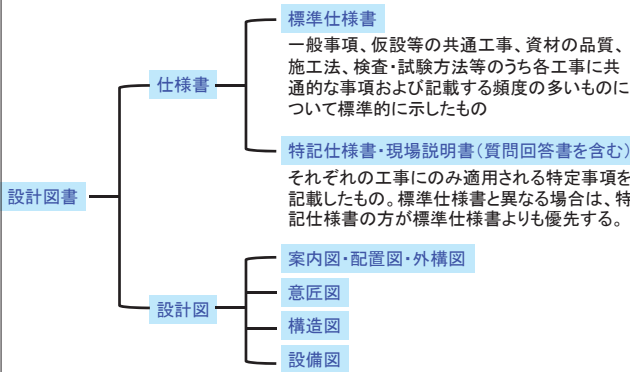
コンクリート寸法図(躯体図)



7-6

### 7-1 図面の種類と役割

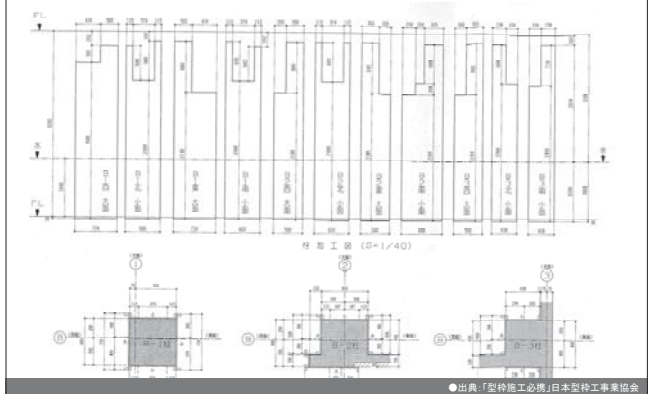
設計図書：建築物や工作物の製作・施工に必要な図面類と仕様書の総称。



7-3

### 7-1 図面の種類と役割

型枠加工図(下拵図)



7-7

### 7-1 図面の種類と役割

主に総合建設業者が作成する施工図

設計図書に基づいて作られる、各種工事の詳細な図面。

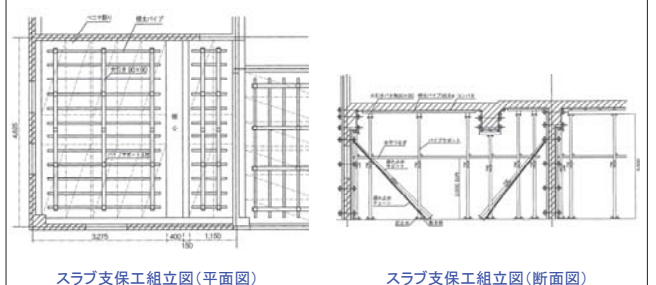
●主に総合建設業者が作成する施工図の種類

計画図	仮設工事	総合仮設計画図
		仮設建物計画図
		足場計画図
		仮設機械設置計画図
		仮設電力用水計画図
		各種構台計画図
	土工	掘削計画図
		山止め計画図
	コンクリート工事	杭打ち計画図
		コンクリート打設計画図
鉄骨工事	コンクリート型枠計画図	
	鉄骨建方計画図	

7-4 資料編7-17

### 4-1 図面の種類と役割

型枠支保工組立図



スラブ支保工組立図(平面図)

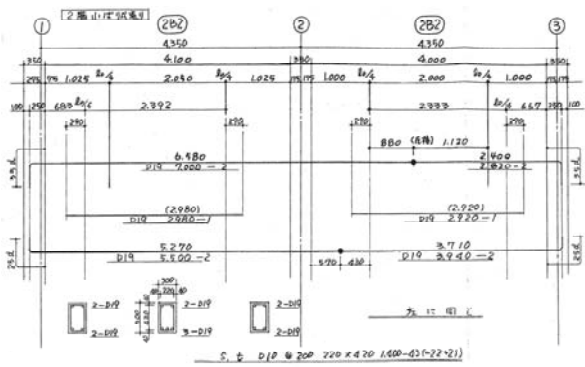
スラブ支保工組立図(断面図)

●出典:「型枠施工必携」日本型枠工事業協会

7-8

### 7-1 図面の種類と役割

#### 鉄筋組立加工図



●出典：「鉄筋技術士教育テキスト」全国鉄筋工事業協会

### 7-2 墨出し作業

#### 測量・墨出しに使用する器具



1地点から他の2点間の水平角と高度角を測定する機械をセオドライト(トランシット)という。  
トータルステーションは距離を測る光波測距儀と、角度を測るセオドライト(トランシット)とを組み合わせたもの。距離と角度を同時に観測でき、平面的な位置を容易に求められる。

地面の高低差の測定や、水準測量をする場合に用いられる機械をレベルという。オートレベルは、ある程度平らに据え付けられれば視線を自動的に補正するための自動補正機構が内蔵されており、一般的に使用されている。レーザーレベルは、本体から光線を発し、受光器を用いて一人で測量ができる。

### 7-1 図面の種類と役割

#### 鉄筋加工絵符帳

上	端主筋	6.580	D22	7.000	2
		2.600	+	2.920	2
下	端主筋	5.680	+	6.000	2
		3.600	+	3.920	2
上	端トツブ筋	1.780	+	2.100	1
		(3.160)	+	3.160	1
下	端トツブ筋	1.730	+	2.050	1
		3.780	+	4.100	1
部	筋	(2.560)	+	2.560	1
		(4.060)	D10	4.060	2
ス	トラップ	(3.860)	+	3.860	2
		240 × 640	+	1.880	4
止	め筋	240	+	360	9

●出典：「鉄筋技術士教育テキスト」全国鉄筋工事業協会

### 7-2 墨出し作業

#### 測量・墨出しに使用する器具



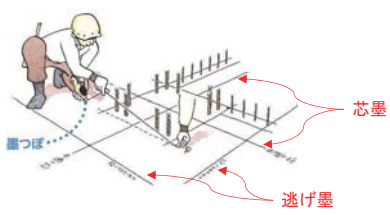
墨つぼ  
墨を吸わせた綿状のものを墨つぼに入れ、この中に糸を通して墨糸とし、墨糸をはじくと直線が書ける仕組みとなっている。

墨差し  
短い直線の墨付けを行う時に使う。

### 7-2 墨出し作業

#### 建築工事墨出し

柱や壁などの正確な位置を出すために、基準の線を床の上に「墨」で印していく。  
墨出しは建物を造る場合の基本となるもので、その建物の出来上がり程度に直接影響する重要な作業となる。



●出典：「イラスト建築施工」日本建設業連合会関西委員会

### 7-2 墨出し作業

#### 測量・墨出しに使用する器具



下げ振り器  
糸の先端に円錐形の重りがついた道具。鉛直方向が正しく出ているかどうかをみる。柱が垂直に建っているか、地盤を打つ時などに使用する。

水平器  
地面に対する角度や傾斜を確認する。気泡管タイプの水平器は、気泡の位置が標線の中央にきた時に水平・垂直・勾配を示す。

スケール  
携帯型小型スチール製巻尺。コンペックス、メジャーともいう。

差金  
指矩ともいう。L字型の金属製で両方の辺に目盛りがある。長さや測ったり、直角を確かめることができる。

### 7-2 墨出し作業

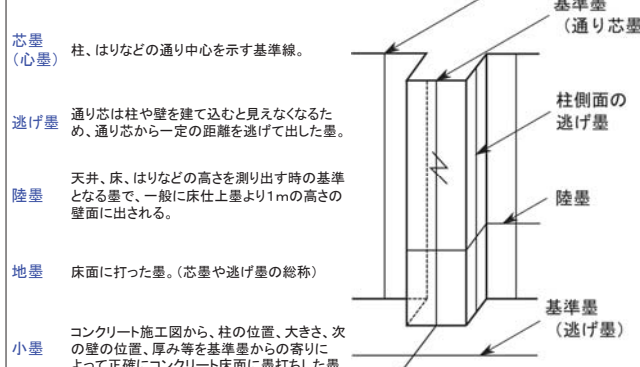
#### 建築工事墨出しの種類・内容 (測量～仕上げ)

名称	内容	概要(測量者等)
1 基本墨出し(親墨)	通り芯、レベル、コンクリート天端墨、下階からの墨の移動	通常、元請の係員が行う。専門工事業者側で出した場合は、必ず元請のチェックを受け、責任を明確にする。
2 型枠用小墨出し	躯体コンクリートの位置の表示	型枠建込用墨出しと称するもの。
3 型枠建込中の墨出し	設備用箱、スリブ、ルーフトレイン、インサート、アンカー、差筋、面木、目地棒の位置出し	通常、型枠業者が別途工事で行う。
4 鉄骨アンカーボルト	アンカーボルト位置、レベル、ベースモルタル墨出し	鉄骨業者と事前のテープ合わせが必要。
5 鉄骨歪直し	鉄骨の垂直度、レベル等のチェック	高所作業は鷹職が行う事が望ましい
6 躯体工事中のその他墨出し	カーテンウォール、プレキャスト版等のファスナー、その他の埋込み金物等の位置、レベル出し、デッキプレート取付けの相番	それぞれの関連業者が墨出しを行う
7 仕上基準墨出し	陸墨、柱芯、壁芯の立上げ、開口部芯、階段返り墨、外部角のタテ墨	通常、請負で行う
8 仕上細部墨出し	内外、各芯よりの返り墨、間仕切り墨、二重天井用墨、石・タイル墨、天井・床割付墨、金物取付用墨、等	通常、請負で行う。ブロック、レンガ等の縦道方は各職種が行う。
9 設備関連墨出し	電灯器具取付用墨、各点検口墨、空調器具取付用墨、等	

●出典：「型枠施工必携」日本型枠工事業協会

### 7-2 墨出し作業

#### 基本墨出し(親墨出し)



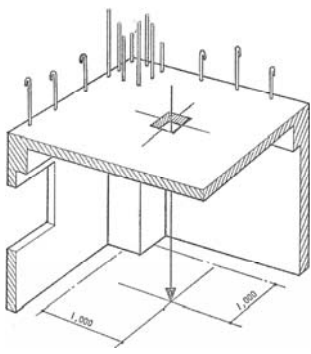
## 7-2 墨出し作業

### 基本墨の上階への移動

※基本墨は非常に重要なので、必ず現場の担当責任者に行ってもらるか、責任者の立会いで墨出しし、再チェックする。

### 芯墨の上階への移動

- ① 逃げ墨の交点の上階床に15cm角の孔をあける。
- ② 上階から逃げ墨の交点に向けて下げ振り器を下げ、墨を上階の床に移す。
- ③ 交点は四隅とも出して基準線を書く。



### 陸墨の上階への移動

- ① 1階の基準高さとなる陸墨はベンチマーク・基準点から直接移す。
- ② 2階から上の墨は、1階の基準高さを示す隅から鉄骨や柱などを利用して、スチールテープを用いて出す。

●出典:「型枠施工必携」日本型枠工事業協会

7-17

## 7-3 現場作業に必要な資格

### 資格の種類と役割

作業範囲 難易度 責任	免許	労働安全衛生法では、労働衛生に係る技術的事項を管理する衛生管理者、労働者の指揮等を行う作業主任、就業制限業務に従事する者については、その資格要件に免許を受けた者を規定しているものがある。
	技能講習	労働安全衛生法では、労働者の指揮等を行う作業主任、就業制限業務に従事する者については、その資格要件として技能講習を修了した者を規定しているものもある。
	特別教育	事業者は、厚生労働省令で定める危険又は有害な業務に労働者をつかせるときは、その業務に関する安全又は衛生のための特別の教育を行わなければならないこととされている。
	安全衛生教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>●雇入れ時、作業内容変更時の教育 事業者は、労働者を雇い入れたとき、又は労働者の作業内容を変更したときは、当該労働者に対し、その従事する業務に関する安全又は衛生のための教育を行う必要がある。</li> <li>●職長等に対する教育 事業者は新たに職務に就くことになった職長その他の作業中の労働者を直接指導又は監督する者に対し、特に必要とされる安全又は衛生の事項のための教育を行う必要がある。</li> </ul>

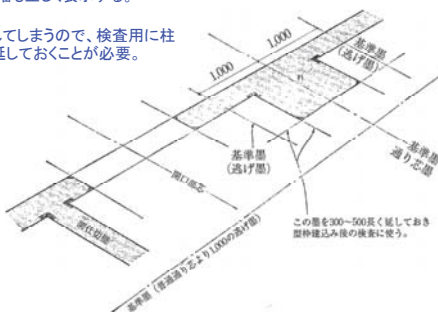
7-21

## 7-2 墨出し作業

### 型枠建込用墨出し(小墨出し)

躯体図から、柱の位置、大きさ、次の壁の位置、厚み等を基準墨からの寄りによって正確にコンクリート床面に墨出しする。また開口部の芯、幅も正しく表示する。

型枠を建て込むと墨が隠れてしまうので、検査用に柱断面の地墨を300~500mm延しておく必要がある。



●出典:「型枠施工必携」日本型枠工事業協会

7-18

## 7-3 現場作業に必要な資格

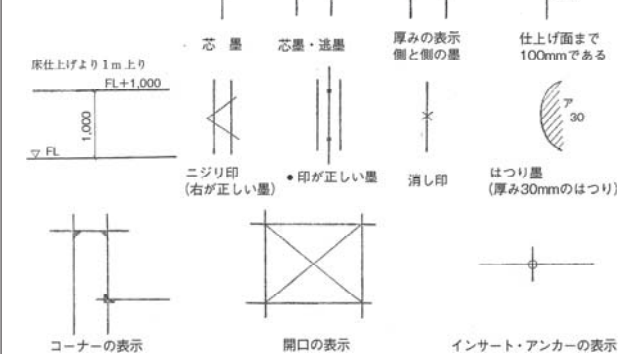
### 建築工事における主な就業制限と資格 (躯体系 共通)

建設業法	主任技術者 1級建築施工管理技士 2級建築施工管理技士
労働安全衛生法	職長・安全衛生責任者 安全衛生教育(雇入れ時) 玉掛技能講習(1t以上) 玉掛特別教育(1t未満) 高所作業車運転技能講習(10m以上) 高所作業車運転技能講習(10m未満) フォークリフト運転技能講習(1t以上) フォークリフト運転特別教育(1t未満) 床上操作式クレーン運転技能講習(5t以上) 小型移動式クレーン運転技能講習(1t以上) 移動式クレーン特別教育(1t未満) クレーン特別教育(5t未満) デリック特別教育(5t未満) 動力巻上げ機運転特別教育 足場の組立等特別教育

7-22

## 7-2 墨出し作業

### 墨出しの表示記号



●出典:「型枠施工必携」日本型枠工事業協会

7-19

## 7-3 現場作業に必要な資格

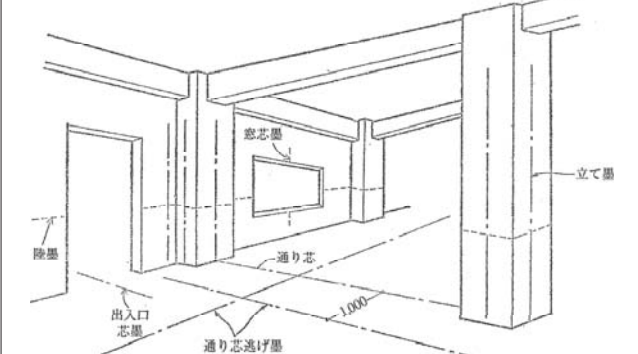
### 型枠大工に関わる主な就業制限と資格

職業能力開発促進法	1級型枠施工技能士 2級型枠施工技能士 (職業訓練指導員)
建設業法	登録型枠基幹技能者 型枠支保工組立等作業主任者技能講習 酸素欠乏危険作業主任者技能講習 足場の組立等作業主任者技能講習 足場の組立等特別教育
労働安全衛生法	アーク溶接特別教育 酸素欠乏危険作業主任者技能講習 酸素欠乏危険作業特別教育 自由研削砥石の取替え等の業務特別教育 丸のこ等取扱作業安全衛生教育

7-23

## 7-2 墨出し作業

### 仕上基準墨出し



●出典:「型枠施工必携」日本型枠工事業協会

7-20 資料編7-19

## 7-3 現場作業に必要な資格

### 鉄筋工に関わる主な就業制限と資格

職業能力開発促進法	1級鉄筋施工技能士 2級鉄筋施工技能士 (職業訓練指導員)
建設業法	登録鉄筋基幹技能者 ガス溶接技能講習 アーク溶接特別教育
労働安全衛生法	揚貨装置運転特別教育 酸素欠乏危険作業主任者技能講習 酸素欠乏危険作業特別教育

7-24

7-3 現場作業に必要な資格

とびに関わる主な就業制限と資格

職業能力開発促進法	1級とび技能士
	2級とび技能士
	3級とび技能士
	(職業訓練指導員)
建設業法	登録薦・土工基幹技能者
労働安全衛生法	型枠支保工組立等作業主任者技能講習
	建築物等の鉄骨組立等作業主任者技能講習
	足場の組立等作業主任者技能講習
	足場の組立等特別教育
	ガス溶接技能講習
	クライミングクレーン組立・解体作業指揮者安全講習
工事用エレベーター組立・解体作業指揮者安全講習	

7-25

7-3 現場作業に必要な資格

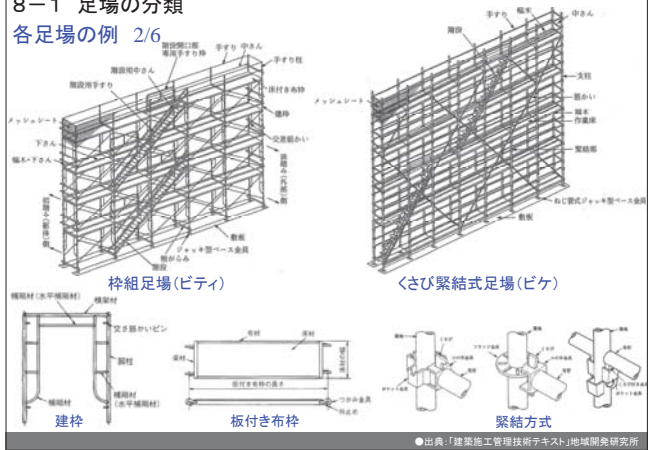
左官に関わる主な就業制限と資格

職業能力開発促進法	1級左官技能士
	2級左官技能士
	3級左官技能士
建設業法	登録左官基幹技能者
労働安全衛生法	自由研削砥石の取替え等の業務特別教育

7-26

# 8. 仮設(足場・仮囲い)の共通事項

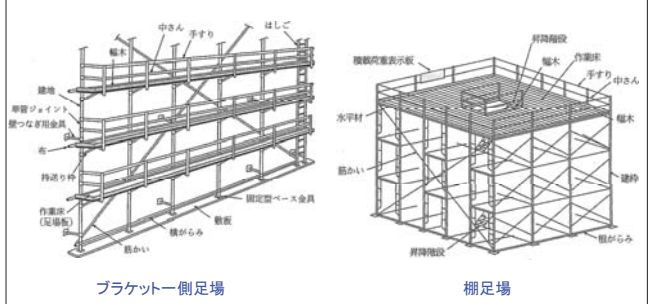
## 8-1 足場の分類 各足場の例 2/6



## 8-1 足場の分類 用途別・構造別分類

用途別	構造別			つり足場	機械足場	その他
	本足場	支柱足場 一側足場	組足場			
外壁工専用	・枠組足場(ビティ) ・くさび緊結式足場(ビケ) ・単管足場 ・手すり先行足場	・ブラケット側足場 ・くさび緊結式一側足場	・組足場		・高所作業車 ・ゴンドラ ・移動式昇降足場	・突出し足場(突出しステージ上) ・移動式足場(ローリングタワー)
内装工専用			・枠組足場(ビティ) ・くさび緊結式足場(ビケ) ・単管足場		・高所作業車	・移動式足場(ローリングタワー) ・移動式室内足場(可搬式・足場を含む)
躯体工専用	・枠組足場(ビティ) ・くさび緊結式足場(ビケ) ・単管足場 ・手すり先行足場	・ブラケット側足場 ・くさび緊結式一側足場		・つり組足場 ・つり組足場	・高所作業車	

## 8-1 足場の分類 各足場の例 3/6



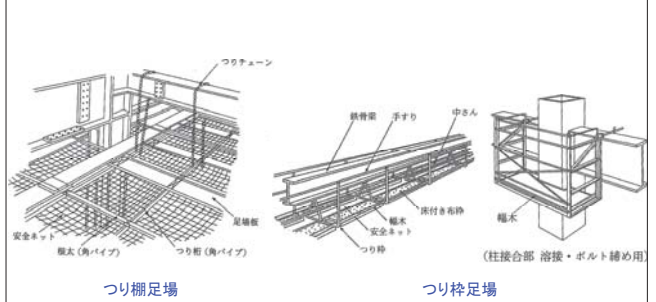
## 8-1 足場の分類



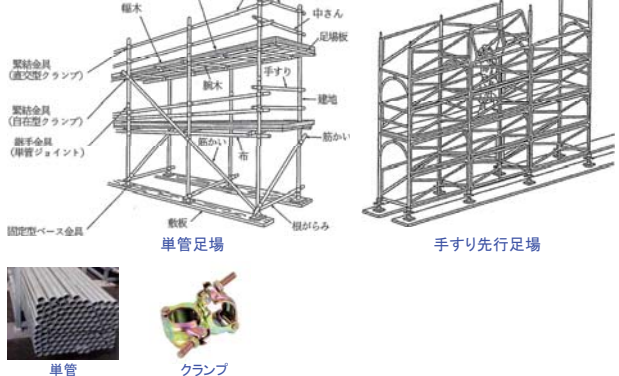
単管足場

枠組足場(ビティ)

## 8-1 足場の分類 各足場の例 4/6



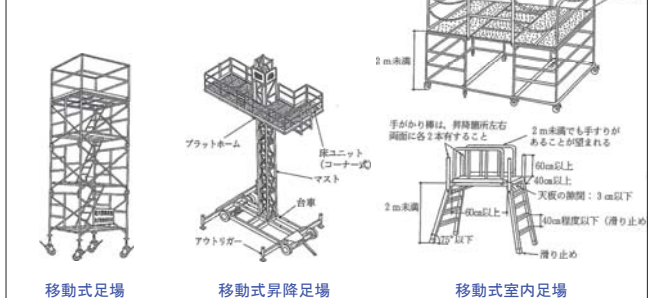
## 8-1 足場の分類 各足場の例 1/6



単管足場

手すり先行足場

## 8-1 足場の分類 各足場の例 5/6



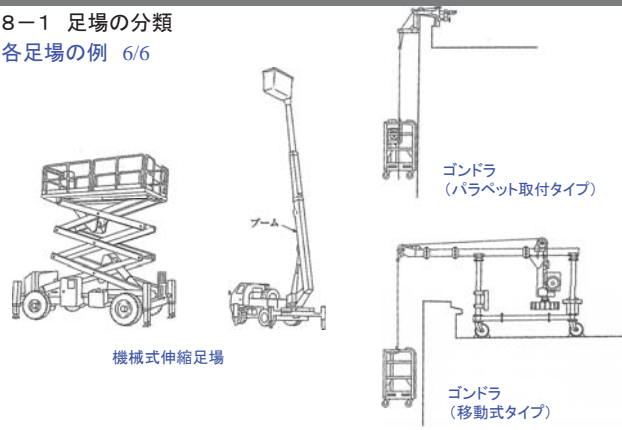
移動式足場

移動式昇降足場

移動式室内足場



### 8-1 足場の分類 各足場の例 6/6



●出典:「建築施工管理技術テキスト」地域開発研究所

### 8-2 足場作業の安全 手すり先行工法

「手すり先行工法」とは、建設工事において、足場の組立て等の作業を行うに当たり、労働者が足場の作業床に乗る前に、手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準に基づいて、当該作業床の端となる箇所に適切な手すりを先行して設置し、かつ、最上層の作業床を取りはずすときは、当該作業床の端の手すりを残して行う工法。

働きやすい安心感のある足場を使用することにより...

- 労働者の足場からの墜落等を防止
- 快適な職場環境の形成



●出典:「手すり先行工法及び働きやすい安心感のある足場」厚生労働省

### 8-2 足場作業の安全 足場に関わる死亡災害発生状況

1. 足場の種類として災害が多いものは、多い順に以下ようになる。  
①梯子 28人 ②枠組足場 28人 ③吊り足場 25人 ④脚立・うま 20人
2. 足場の作業別等(組立・使用・解体)に多い順は以下となり、全体の2/3は足場を使用中(移動を含む)に発生している。  
①足場の使用中 134名 ②足場の組立作業中 33名 ③足場の解体作業中 33名

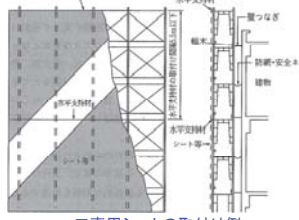
種類	3年間計(H21~H23)	3年間計(H21~H23)		
		組立	使用	解体
枠組足場	28	5	15	8
くさび足場	8	1	4	3
吊り足場	25	11	5	9
丸太足場	4	2	2	0
単管足場→側足場・プラケット足場	19	2	14	3
種類不明の足場・その他	65	11	44	10
ローリングタワー・移動式足場	3	0	3	0
梯子	28	0	28	0
脚立・うま	20	1	19	0
合計	200	33	134	33

●出典:「建設業における仮設機材に起因する死亡災害発生状況」(一社)仮設工業会

### 8-2 足場作業の安全 落下物に対する防護

1. 工事現場からの飛来・落下物による通行人や隣家への危害を防止する
2. 足場からの飛来・落下物による労働災害の防止

1. 工事用シート: 帆布とメッシュの2種類があり、通常は風圧力を緩和するメッシュが多く使用される。
2. 取付け: 水平材を垂直方向に5.5m以下ごとに設けて、緊結材(紐など)を使って全てのハツメを用いて隙間・たるみが無いように緊結する。



●出典:「建築施工管理技術テキスト」地域開発研究所 ●キョーワ株式会社

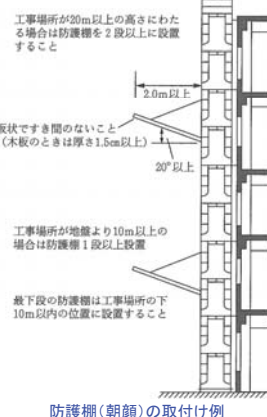
### 8-2 足場作業の安全 足場の安全基準 1/2

項目	枠組足場(ビティ)	くさび緊結式足場(ビケ)	単管足場	プラケット側足場(単管)
高さ	(特種1200mm、900mmの場合)原形45m以下	45m以下(31mを超える場合、原形から測って31m以下は鋼管2本組とする)	31mを超える場合、最上部から測って31m以下は鋼管2本組とする。ただし、建地の下端に作用する設計荷重が建地の最大使用荷重を越えないときは、この限りでない。	原則15m以下(建地等を補強すれば、それ以上の高さで使用できる)
建柱・建地の間隔	建柱の高さ:2m以下 建柱の間隔:1.85m以下	桁方向:1.85m以下 梁間方向:1.5m以下	桁方向:1.85m以下 梁間方向:1.5m以下	1.8m以下
地上第一の布の高さ	-	2.0m以下(桁の上下方向の間隔:2m以下)	2.0m以下(桁の上下方向の間隔:1.85m以下)	2.0m以下(桁の上下方向の間隔:1.8m以下)
建柱・建地脚部の滑動・沈下防止措置	ジャッキ型ベース金具、敷板、敷角	ねじ管式ジャッキ型ベース金具、敷板	固定型ベース金具、敷板、敷角	同左
継手部	継手金具で接続	支柱および布材等に取り付けられている緊結部により緊結	継手金具で接続	同左
接続部、交差部	交差筋かい(手すり先行工法の場合は交差筋かい、手すりピン、アームロックで接続する)	支柱および布材等に取り付けられている緊結部により緊結	緊結金具で接続	同左
補強	筋かいを入れる	同左	同左	同左
壁つなぎ、控え	垂直方向:3m以下 水平方向:0.8m以下	垂直方向:5m以下 水平方向:0.5m以下	垂直方向:5m以下 水平方向:0.5m以下	垂直方向:3.6m以下 水平方向:0.35m以下
建柱・建地間の最大積載荷重	特種1200mm:500kg以下 特種900mm:400kg以下	前縁みと後縁みの間隔900mm以下:400kg以下(同一スパンより離すまで、連続スパンにわたって積載しない) 400mm以上、900mm未満:200kg以下(同一スパンに2層まで、連続スパンに渡って積載しない)	1スパン当たり400kg以下(1スパン内の同時積載層数2層までで連続スパンに渡って積載しない)	1スパン当たり150kg以下(建地1本当たり100kg以下)

●出典:「建築施工管理技術テキスト」地域開発研究所

### 8-2 足場作業の安全 落下物に対する防護

1. はね出しは20~30°の角度で、足場から水平距離で2m以上。
2. 1段目を地上10m以下、2段目以上は下の段から10m以下ごとに設ける。
3. 一般に防護棚には厚み1.6mmの鋼板が用いられる。



●出典:「建築施工管理技術テキスト」地域開発研究所 ●出典:日産住建建材株式会社

### 8-2 足場作業の安全 足場の安全基準 2/2

項目	枠組足場(ビティ)	くさび緊結式足場(ビケ)	単管足場	プラケット側足場(単管)
水平材	最上層および5層以内のごと	同左	同左	同左
作業床	床付き布枠 幅:40cm以上 間隔:3cm以下 床材と建地との間隔は12cm未満。	床付き布枠又は緊結部付き布枠 幅:40cm以上 間隔:3cm以下 床材と建地との間隔は12cm未満。	幅:40cm以上 間隔:3cm以下 床材と建地との間隔は12cm未満。 転位墜落防止のため2箇所以上緊結	同左
墜落防止	構造: -交差筋かい、高さ15cm以上40cm以下の下ごしら -手すり先行工法の場合、手すり棒、片側のみ手すり棒の場合は、片側には交差筋かいと高さ15cm以上40cm以下の下ごしら 表面: 高さ85cm以上の手すり、高さ35cm以上50cm以下の中間 -高さ10cm以上の幅網 -防護棚(朝顔)	高さ85cm以上の手すり、高さ35cm以上50cm以下の中間	同左	同左
落下物防止	高さ10cm以上の幅網 -防護棚(朝顔)	同左	同左	同左

●出典:「建築施工管理技術テキスト」地域開発研究所

### 8-2 足場作業の安全 落下物に対する防護

1. 工事現場の境界近くの高い所から、クズ、ゴミその他の飛散する恐れのあるものを投下する場合は、飛散を防止するためにダストシュートを用いる。



●有限会社海王

### 8-3 仮囲い

#### 仮囲いとは

工事現場と外部との隔離、盗難の防止、通行人の安全、隣接物の保護等のために仮囲いを設置する。木造の建築物で高さが13mもしくは軒の高さが9mを超えるもの、または木造以外で2階以上の建築物の工事を行う場合は高さ1.8m以上の板塼その他これに類する仮囲いを工事期間中設ける。(建築基準法施行令136条の2の20)



#### 仮囲いの仕様の配慮事項

- ① 強風などによる倒壊がないよう安全な構造とする。
- ② 出入口、通常口は引き戸または内開きとする。
- ③ 周囲の美観を損なわないようにする。

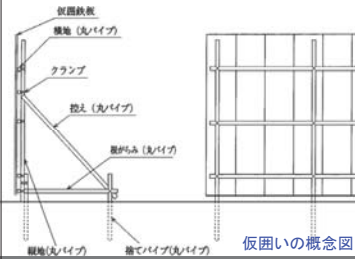
8-17

### 8-3 仮囲い

#### 仮囲いの構成

仮囲いの組立て手順

- ① 捨てパイプの埋め込み
- ② 縦地(支柱パイプ)および横地(布パイプ)の取付け
- ③ 控えパイプ、根がらみパイプの取付け
- ④ 仮囲鉄板にフックボルトを取付け
- ⑤ 仮囲鉄板を枠組の横地(布パイプ)に掛ける



●出典「土木工事数量算出要領」国土交通省

8-18



## 9-1 現場作業で使用する主な器具

### ヘルメット(保護帽)

#### 保護帽の種類

- ・飛来・落下物用  
上方からの飛来、落下物に対する防護用
- ・墜落時保護用  
足場等の墜落による頭部の防護用。衝撃吸収ライナーがある
- ・電気用  
使用電圧7000V以下の感電防止用。

厚生労働省の型式検定に合格した「労・検」ラベルを確認する。

#### 保護帽の構成部品

保護帽は、下記の部品によって構成されています。これらの部品の一部でも性能が低下すれば、危険を防止または軽減することができなくなります。



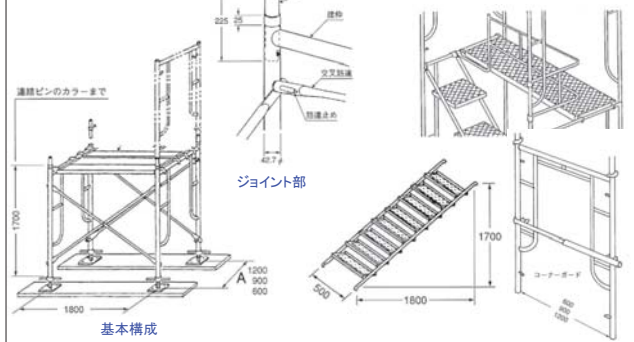
●出典: 株式会社社会製作所

9-9

## 9-2 足場部材と規格

### 足場の部材名

#### 枠組足場の基本構成



9-13

## 9-1 現場作業で使用する主な器具

### 作業衣類

- ・長袖、長ズボンが基本。  
安全性の面から肌の露出はできるだけ避ける。  
直射日光を肌に浴びると疲れやすくなる。

- ・ニッカボッカ  
とび職をはじめとする専門工事職人が着用。  
腰・膝回りなどは太く、裾は狭まっているズボン。  
足が動かし易く作業性がよい。  
高所作業時、ズボンが出っ張り等に触れることで危険を認識する、またズボンのなびきで下から風の強さが把握できる等の機能も併せ持つ。



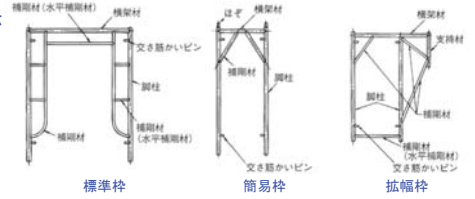
●出典: 株式会社資産 ●出典: 株式会社ジーベック

9-10

## 9-2 足場部材と規格

### 足場部材の寸法

#### 建枠の規格



#### 建枠の標準寸法および許容支持力

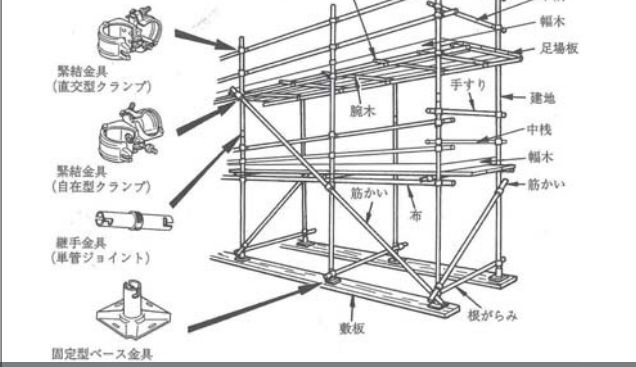
種類	脚柱、横架材、支持材の外径(mm)	標準寸法(mm)			許容支持力(kg/1枠)
		幅(上端間隔)		高さ	
標準枠	42.7	900	914	1600 1625	4350
		1200	1219	1700 1725	
				1900 1925 1955 2000	
低層枠	34.0	600			1500
簡易枠	42.7	410	600 610	1600 1700	3500
			750 762	1725 1800	
拡幅枠	42.7	600以上1250以下		1800以下	3000

9-14

## 9-2 足場部材と規格

### 足場の部材名

#### 単管足場の全体構成



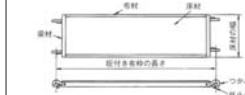
●出典: 「足場の組立て等工事の作業指針」建設業労働災害防止協会

9-11

## 9-2 足場部材と規格

### 足場部材の寸法

#### 板付き布枠の規格



#### 建枠の標準寸法および許容荷重

種類	幅	長さ	許容荷重(kg/1枚)
板付き布枠(低層枠用の板付き布枠を除く)	240	1800	120
	300	1829	150
	500		250
低層枠用板付き布枠	500	1800	1800
		1829	250

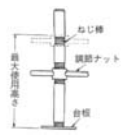
#### 交差筋かいの規格

##### 交差筋かいの標準寸法

スパン(mm)	高さ(mm)	ピン穴間の中心間の距離(mm)
1800	1200	2163
1829	1219	2193

#### ジャッキ型ベース金具

ジャッキ型ベース金具は、建枠の最下部の脚柱の下端に取り付けて、建枠の沈下防止、荷重の伝達をする。また、調節ナットで各建枠の高さを揃える。



#### ジャッキ型ベース金具の構造

区分	構造
使用高	350mm(低層枠用は250mm)以下
脚柱への差込長	95mm以上
台板	板厚5.4mm以上、辺長120mm以上の正方形又は長方形であって、かつ2個以上の釘穴

#### ジャッキ型ベース金具の許容支持力

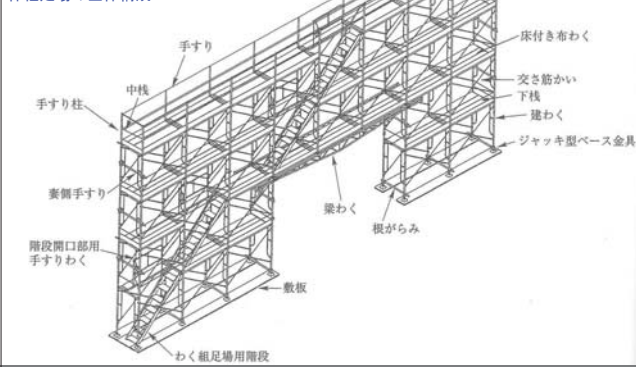
種類	許容支持力(kg)
標準枠、簡易枠用	2200
低層枠用	900

9-15

## 9-2 足場部材と規格

### 足場の部材名

#### 枠組足場の全体構成



●出典: 「足場の組立て等工事の作業指針」建設業労働災害防止協会

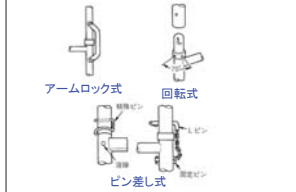
9-12 資料編7-25

## 9-2 足場部材と規格

### 足場部材の寸法

#### 脚柱ジョイントの規格

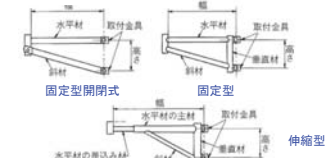
脚柱ジョイントは、建枠を上方に組み立てる場合、建枠の脚柱にほぞを挿入し、上下の脚柱を継ぐための金具。  
ジョイントを回転させてロックするタイプとピン差しでロックするタイプ、交差筋かひピンにアームロックを取り付けるアームロック併用タイプがある。



#### 脚柱ジョイントの許容引張力

固定止め方式	許容引張力(kg)
ピンロック(回転式を含む)	500
アームロック併用	300

#### 持送り枠の規格



#### 持送り枠の構造

区分	構造
水平材の寸法、幅	幅300mm以上、1150mm以下、高さ(取付部間隔)200mm以上、かつ、幅の30%以上
高さ	
水平材、垂直材、斜材の厚さ	鋼管のとき肉厚1.7mm以上 鉄材のとき肉厚1.6mm以上
取付金具	2個以上とし板厚3.0mm以上、ボルト(ねじ山含めて)直径9.0mm以上
水平材の先端	水平材の先端に水平材の上面から高さが30mm以上の防落防止板、又は手すり柱受けを有すること 上笠以外に
伸縮型のもの	(1)伸縮部の重なり長さが50mm以上 (2)水平材の差込み材がボルト、ピン等で固定できること
許容荷重(kg/1枠)	250

9-16

### 9-3 鉄筋部材と規格

#### 配筋と部材名

##### 基礎の配筋例

柱  
基礎スラブ  
基礎梁  
基礎スラブ  
独立フーチング基礎の配筋例  
床コンクリート  
砂石

● 出典：「構造用鉄材」日本建築学会

9-17

### 9-3 鉄筋部材と規格

#### 鉄筋の規格

##### 鉄筋の規格

鉄筋コンクリート用棒鋼[JIS G 3112]

寸法、重量及び節の許容限度

呼び名	(d)	(I)	(S)	単位重量	節の平均	節の長さ	節の許容	節の輪郭
	mm	mm	mm	kg/m	間隔の最大値	mm	の許容最大値	の角度
D6	6.35	2.0	0.3167	0.249	4.4	0.3	0.6	5.0
D10	9.53	3.0	0.7133	0.560	6.7	0.4	0.8	7.5
D13	12.7	4.0	1.207	0.995	8.9	0.5	1.0	10.0
D16	15.9	5.0	1.986	1.56	11.1	0.7	1.4	12.5
D19	19.1	6.0	2.865	2.25	13.4	1.0	2.0	15.0
D22	22.2	7.0	3.871	3.04	15.5	1.1	2.2	17.5
D25	25.4	8.0	5.007	3.98	17.8	1.3	2.6	20.0
D29	28.6	9.0	6.424	5.04	20.0	1.4	2.8	22.5
D32	31.8	10.0	7.942	6.23	22.3	1.6	3.2	25.0
D36	34.9	11.0	9.566	7.51	24.4	1.7	3.4	27.5
D38	38.1	12.0	11.40	8.95	26.7	1.9	3.8	30.0
D41	41.3	13.0	13.40	10.5	28.9	2.1	4.2	32.5
D51	50.8	16.0	20.27	15.9	35.6	2.5	5.0	40.0

異形棒鋼の標準長さ

単位 m
3.5
4.0
4.5
5.0
5.5
6.0
6.5
7.0
8.0
9.0
10.0
11.0
12.0

● 出典：「鉄筋技術士教育テキスト」全国鉄筋工事業協会

9-21

### 9-3 鉄筋部材と規格

#### 配筋と部材名

##### 柱・梁交差部の配筋例

柱  
梁  
柱交差部の配筋例  
通常の内柱・梁接合部  
柱・梁接合部の配筋例

● 出典：「構造用鉄材」日本建築学会

9-18

### 9-3 鉄筋部材と規格

#### 鉄筋のかぶり厚さ

最小かぶり厚さは、建築基準法で規定されている厚さを基本として、仕上げなし(柱、梁、耐力壁は屋外の仕上げなし)の場合は10mm加算した数値としている。

かぶり厚さが小さいと・・・

- ① 火災時に鉄筋の耐力が低下したり、過大なたわみや変形が生じる。
- ② 地震時に鉄筋コンクリートの付着性能が低下して付着剥離破壊を生じる。
- ③ コンクリートの中性化が進むと鉄筋が腐食されやすくなる。

鉄筋の最小かぶり厚さ

構造部分の種類	公共建築工事標準仕様書			
	最小かぶり厚さ(mm)			
土に接しない部分	スラブ、耐力壁以外の壁	仕上げあり	20	
		仕上げなし	30	
	柱、梁、耐力壁	屋内	仕上げあり	30
		屋内	仕上げなし	30
		屋外	仕上げあり	30
		屋外	仕上げなし	40
土に接する部分	擁壁、耐圧スラブ	40		
	柱、スラブ、壁	40		
	基礎、擁壁、耐圧スラブ	60		
煙突等高温を受ける部分		60		

● 出典：「建築施工管理技術テキスト」地域開発研究所

9-22

### 9-3 鉄筋部材と規格

#### 配筋と部材名

##### 耐震壁の配筋例

柱  
スラブ  
耐震壁  
柱交差部の配筋例

● 出典：「構造用鉄材」日本建築学会

9-19

### 9-3 鉄筋部材と規格

#### 鉄筋のあき

鉄筋相互のあきは、次の値のうち最大のものとする。

- ① 粗骨材の最大寸法の1.25倍
- ② 25mm
- ③ 隣り合う鉄筋の平均径の1.5倍  
(径(d)は呼び名に用いた数値)
- ④ 鉄筋の間隔は、鉄筋相互のあきに鉄筋の最大外径(D)を加えたものとする。

異形鉄筋の最大径寸法と鉄筋のあき・鉄筋間隔の最小値(mm)

呼び名	D10	D13	D16	D19	D22	D25	D29	D32	D36	D41	D51
最大径	11	14	18	21	25	28	33	36	40	43	58
粗骨材最大寸法20	鉄筋のあき	25	25	25	29	33	38	44	48	53	77
	鉄筋間隔	38	39	43	50	58	66	77	84	92	135
粗骨材最大寸法25	鉄筋のあき	32	32	32	33	38	44	48	53	57	77
	鉄筋間隔	43	46	50	53	58	66	77	84	93	135

● 出典：「鉄筋技術士教育テキスト」全国鉄筋工事業協会

9-23

### 9-3 鉄筋部材と規格

#### 配筋と部材名

##### 床スラブの配筋例

柱  
スラブ  
床スラブ  
柱交差部の配筋例

● 出典：「構造用鉄材」日本建築学会

9-20 資料編7-26

### 9-3 鉄筋部材と規格

#### スペーサー

##### スペーサーの数量・配置

パーサットおよびスペーサーなどの種類および数量・配置の基準 JASS5

部位	スラブ		梁		柱	
種類	鋼製・コンクリート製		鋼製・コンクリート製		鋼製・コンクリート製	
数量または配置	上端筋、下端筋それぞれ1.3個/m程度		間隔は1.5m程度 端部は1.5m以内		上段は梁下より0.5m程度 中段は柱脚と上段の中間 柱幅方向は1.0mまで2個、1.0m以上3個	
備考			側梁以外の梁は上または下に設置 側梁は側面にも設置			

部位	基礎		基礎梁		壁・地下外壁	
種類	鋼製・コンクリート製		鋼製・コンクリート製		鋼製・コンクリート製	
数量または配置	面積4m <sup>2</sup> 程度 16m <sup>2</sup> 程度	8個 20個	間隔は1.5m程度 端部は1.5m以内		上段梁下より0.5m程度 中段上段より1.5m間隔程度 横間隔は1.5m程度、端部は1.5m以内	
備考			上または下に設置			

- (1) 表の数量または配置は5~6階程度までのRC造を対象としている。
- (2) 梁・柱・基礎梁・壁および地下外壁のスペーサーは側面に限りプラスチック製でも良い。
- (3) 断熱材打込み時のスペーサーは支持荷重に対して、めり込まない程度の接触面積を持ったものとする。

● 出典：「鉄筋技術士教育テキスト」全国鉄筋工事業協会

9-24

### 9-3 鉄筋部材と規格

#### スペーサー

#### スペーサー・サポートの種類、設置方法

プラスチック製スペーサー ※かぶり厚さに応じて色分けしたこともある

コンクリート製サポート

鋼製サポート

専用プラスチック製スペーサー

専用鋼製プラスチック製スペーサー

スペーサーの設置方法

鋼製連続サポート

鋼製連続サポート 床スラブ下端筋用

鋼製連続サポート 床スラブ下端筋用

### 9-4 型枠部材と規格

#### 型枠の主な付属製品

3型リブ産金D

KP産金

KP産金SW

KP産金H

本体

Pコン

丸セバ

フォームタイ

サポート倒れ止め金具

プラスチックPコン

### 9-3 鉄筋部材と規格

#### 定着・重ね継手の長さ

種別	コンクリートの設計基準強度 (N/mm <sup>2</sup> )	重ね継手の長さ (L)	定着の長さ	
			一般 (L <sub>1</sub> )	下層部 (L <sub>2</sub> )
SD295A	21	45倍または35φ <sup>2</sup> 以上	40倍または30φ <sup>2</sup> 以上	小室
	24-27	35倍または25φ <sup>2</sup> 以上	30倍または20φ <sup>2</sup> 以上	10φ <sup>2</sup> 以上
	30-38	35倍または25φ <sup>2</sup> 以上	30倍または20φ <sup>2</sup> 以上	20φ <sup>2</sup> 以上
	35-45	30倍または20φ <sup>2</sup> 以上	25倍または15φ <sup>2</sup> 以上	φ15/φ <sup>2</sup> 以上
	40-48	30倍または20φ <sup>2</sup> 以上	25倍または15φ <sup>2</sup> 以上	φ15/φ <sup>2</sup> 以上
	45-55	30倍または20φ <sup>2</sup> 以上	25倍または15φ <sup>2</sup> 以上	φ15/φ <sup>2</sup> 以上
SD345	21	45倍または35φ <sup>2</sup> 以上	40倍または30φ <sup>2</sup> 以上	
	24-27	35倍または25φ <sup>2</sup> 以上	30倍または20φ <sup>2</sup> 以上	
	30-38	35倍または25φ <sup>2</sup> 以上	30倍または20φ <sup>2</sup> 以上	
	35-45	30倍または20φ <sup>2</sup> 以上	25倍または15φ <sup>2</sup> 以上	
	40-48	30倍または20φ <sup>2</sup> 以上	25倍または15φ <sup>2</sup> 以上	
	45-55	30倍または20φ <sup>2</sup> 以上	25倍または15φ <sup>2</sup> 以上	
SD390	21	45倍または35φ <sup>2</sup> 以上	40倍または30φ <sup>2</sup> 以上	
	24-27	40倍または30φ <sup>2</sup> 以上	40倍または30φ <sup>2</sup> 以上	
	30-38	40倍または30φ <sup>2</sup> 以上	35倍または25φ <sup>2</sup> 以上	
	35-45	40倍または30φ <sup>2</sup> 以上	35倍または25φ <sup>2</sup> 以上	
	40-48	35倍または25φ <sup>2</sup> 以上	30倍または20φ <sup>2</sup> 以上	
	45-55	35倍または25φ <sup>2</sup> 以上	25倍または15φ <sup>2</sup> 以上	
SD430	21	45倍または35φ <sup>2</sup> 以上	40倍または30φ <sup>2</sup> 以上	
	24-27	45倍または35φ <sup>2</sup> 以上	40倍または30φ <sup>2</sup> 以上	
	30-38	45倍または35φ <sup>2</sup> 以上	40倍または30φ <sup>2</sup> 以上	
	35-45	45倍または35φ <sup>2</sup> 以上	40倍または30φ <sup>2</sup> 以上	
	40-48	45倍または35φ <sup>2</sup> 以上	40倍または30φ <sup>2</sup> 以上	
	45-55	45倍または35φ <sup>2</sup> 以上	40倍または30φ <sup>2</sup> 以上	

1) 実線のフックは、定着長さに含まない。  
 2) 階下スラブの下端筋の定着長さは、一般定着(L<sub>2</sub>)とする。  
 3) 直径の異なる重ね継手長さは、細いほうのdを用いる。  
 4) 重ね継手は次のいずれかによる。

### 9-4 型枠部材と規格

#### せき板の部材寸法

#### 合板せき板の規格

コンクリートを打込み、所定の形に成型するための型枠として使用する合板をいう。

1種	次のいずれかに該当するコンクリート型枠合板の種類をいう。 1. 主として打ち放し仕上げをするコンクリート及び直仕上げをするコンクリートの型枠として使用するもの 2. 表面に塗装又はオーバーレイを施したものを。(以下「表面加工品」という。)
2種	1種以外のコンクリート型枠用合板の種類をいう。

表面加工コンクリート型枠用合板

●出典：日本合板工業連合会

#### 市販の定尺寸法

板厚(mm)	幅(mm) × 長さ(mm)
12.0	600 × 1800
15.0	900 × 1800
18.0	1000 × 2000
21.0	1200 × 2400
24.0	1200 × 2400

最も一般的に流通している市販品

### 9-3 鉄筋部材と規格

#### 継手の種類

- 重ね継手
- ガス圧接継手
- 機械式継手
  - ねじ節継手
    - トルク方式
    - グラウト方式
  - 圧着継手
    - 連続圧着方式
    - 断続圧着方式
  - 充填継手
  - 端部ねじ継手
  - 併用継手(ねじ節と充填を併用した継手など)
  - その他の継手(くさび式継手など)
- 溶接継手
  - フレア溶接継手
  - 突合せアーク溶接
  - 突合せ抵抗溶接継手

機械式継手の例

### 9-4 型枠部材と規格

#### 支保工の部材寸法

#### 端太材の規格

せき板にあてて型枠を補強する部材。せき板に接して補強する内端太と内端太に直交して指示する外端太がある。端太材の材質は木材の角材、鋼製の鋼管、角鋼管であり、主に鋼製の鋼管や角鋼管が使用されている。

#### 端太材の定尺寸法

端太角	断面寸法(mm)		定尺(m)
	90 × 90	100 × 100	
丸鋼管	外形48.6 × 肉厚2.3		0.5, 1.0 1.5, 2.0 3.0, 3.5 4.0, 4.5 5.0
	50 × 50 × 肉厚2.3		1.0, 1.5 2.0, 2.5 3.0, 3.5 4.0
	60 × 60 × 肉厚2.3		

### 9-4 型枠部材と規格

#### 型枠の部材名

サポート倒れ止め金具

大引

せき板

継付け金具

セパレータ

コーン

はく離剤

開き止め

挿下受け木

パイプサポート

通り心

せき板 挿入れ直し チェーン

外端太 挿入れ直し アンカー

根がらみ

通り心逃げ盛

外端太 挿入れ直し

内端太

地盤

根角

せき板

### 9-4 型枠部材と規格

#### 支保工の部材寸法

#### パイプサポートの規格

鋼管製のコンクリート型枠支柱。スラブ・梁などの型枠を指示する。JIS規格では最大使用長によって5種に分類されている。

#### パイプサポートの種類別

種類	最大使用長(mm)
1種	3850以上4000未満
2種	3350以上3500以下
3種	2950以上3100以下
4種	2550以上2700以下
5種	2200以下

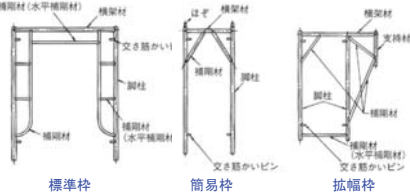
パイプサポートは組立前に倒壊の原因になるガタ、曲がり、ヘコミ、腐食等の欠点の有無を確認すること。

ふれ：6cm以内かつ、最大長さの55分の1以下

### 9-4 型枠部材と規格

#### 支保工の部材寸法

枠組支柱(枠組足場)の規格  
枠組足場も型枠支柱として使用される。大空間用のステージ部材や梁受け支柱として使用される。



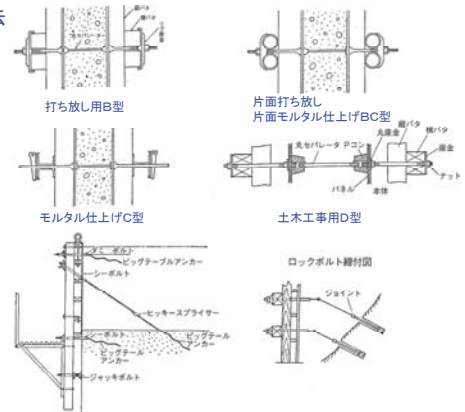
建枠の標準寸法および許容支持力

種類	脚柱、横架材、支持材の外径(mm)	標準寸法(mm)		許容支持力(kg/1枠)
		幅(上端間隔)	高さ	
標準枠	42.7	900 914	1600 1625	4350
		1200 1219	1700 1725	
簡易枠	34.0	600	1800以下	1500
		42.7	410 600 610	
拡幅枠	42.7	750 762	1725 1800	3500
		600以上1250以下	1800以下	

### 9-4 型枠部材と規格

#### 緊結材の部材寸法

##### 型枠締付け金物の構成



●出典:「型枠施工必携」日本型枠工事業協会

### 9-4 型枠部材と規格

#### 支保工の部材寸法

##### 支柱の水平つなぎ

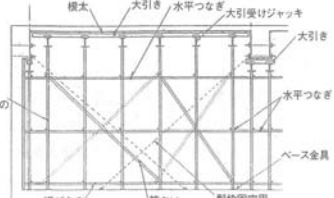
##### 支柱の水平つなぎと継ぎ方

安衛則第242条

鋼管を支柱にしたもの	高さ2m以内毎に2方向に設け、かつ水平つなぎの変位を防止する
パイプサポートを支柱にしたもの	(高さ3.5mを超えるとき) 高さ2m以内毎に2方向に設け、かつ水平つなぎの変位を防止する
パイプサポートの継ぎ方	・4m以上のボルト又は専用の金具で継ぐ ・パイプサポートを3以上継いで使用しないこと

##### 鋼管枠を支柱にしたもの 安衛則第242条

水平つなぎと変位防止	最上層と5層以内ごとの箇所において、型枠支保工の側面並びに枠面の方向及び交差筋かいの方向における5枠以内毎の箇所
布枠取付	最上層と5層以内ごとの箇所において、型枠支保工の枠面の方向における両端及び5枠以内毎の箇所に交差筋かいの方向



●出典:「型枠施工必携」日本型枠工事業協会

### 9-4 型枠部材と規格

#### 緊結材の部材寸法

##### フォームタイの形式と形状

品名	呼称	形状	寸法(mm)		
			L	φ	φ <sub>2</sub>
C型	C-150		150	95	—
	C-180		180	125	—
	C-210		210	150	—
	C-250		250	145	—
D型	D-250		250	120	85
	D-300		300	120	85
	D-360		360	120	85
G型	G-60		47	12	—
	G-110		107	12	—
ハイパー型	HY-C-150		150	95	—
	HY-C-180		180	125	—
	HY-C-210		210	120	—
	HY-C-250		250	145	—
ハイパーD型	HY-D-250		250	120	85
	HY-D-300		300	120	85
	HY-D-360		360	120	85

●出典:「型枠施工必携」日本型枠工事業協会

### 9-4 型枠部材と規格

#### 緊結材の部材寸法

##### くぎ(丸釘)

せき板の組立には45mm~50mm、型枠支保工の組立には65mm~100mmの釘が使用される。長期間使用する大ハネルなどの型枠を製作するときは耐力が低下し難いスクルー釘が使用される。



##### 釘の寸法と釘接合の許容耐力

呼称	径cm	くぎ		長期荷重に対する値 kg f	短期荷重に対する値 kg f	使用板圧 mm
		スギ	アカマツ			
N38	0.215	8	12	18.15	15	せき板の組立て 型枠支保工の組立て
N45	0.245	11	15	20.18	15	
N50	0.275	13	18	25.20	15	
N65	0.305	16	22	30.25	15	
N75	0.340	19	27	35.30.25	15	
N90	0.365	23	32	40.35.30	15	
N100	0.420	28	39	50.40.35	15	
N125	0.460	33	46	60.50.40	15	
N150	0.520	41	58		15	

●出典:「型枠施工必携」日本型枠工事業協会

### 9-4 型枠部材と規格

#### 緊結材の部材寸法

##### フォームタイの形式と形状

品名	呼称	形状	寸法(mm)		
			L	φ	φ <sub>2</sub>
F型	F-185		185	70	—
	F-220		220	90	—
K型	K3L		220	133	60
	K2P		140	63	48

##### フォームタイ座金

##### アイビーフォームタイ®3型セット

##### アイビーフォームタイ®3型セット(GW付)

##### ハイパー3型セット®



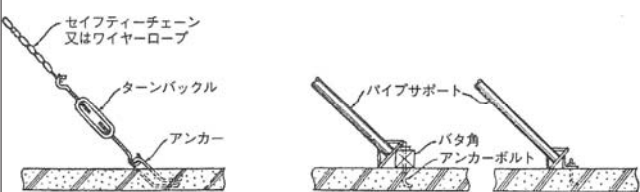
●出典:「型枠施工必携」日本型枠工事業協会

### 9-4 型枠部材と規格

#### 緊結材の部材寸法

##### セイフティチェーン、ターンバックル、ワイヤロープ

階高の高い建物の柱、壁、橋梁の梁、スラブ等には、倒れやねじれを防ぐため控えを設ける必要がある。その控えにセイフティチェーンまたはワイヤロープとターンバックルを組み合わせ用いる。また控えのアンカーにはボルト、アングル、鉄筋等をコンクリート床に埋込み使用する。(逆に突っ張りアンカーを忘れてはならない)



●出典:「型枠施工必携」日本型枠工事業協会

### 9-4 型枠部材と規格

#### 緊結材の部材寸法

##### 丸セパレーター®の形状




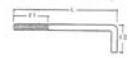




品名	形状	呼び径	品名	形状	呼び径
丸セパレーター® B型		WS/16 WS/8	スタップセパレーター®		WS/16
丸セパレーター® C型		WS/16 WS/8	丸セパレーター® D型		W1/2
丸セパレーター® BC型		WS/16 WS/8	コの字セパレーター® C型(深溝セパレーター®)		WS/16 WS/8
丸セパレーター® H型		WS/16 WS/8	コの字セパレーター® H型(深溝セパレーター®)		WS/16 WS/8
丸セパレーター® BH型		WS/16 WS/8	尖頭セパレーター® B型		WS/16

●出典:「型枠施工必携」日本型枠工事業協会

## 9-4 型枠部材と規格

### 緊結材の部材寸法

#### 丸セパレーターの形状

品名	形状	ねじ径	品名	形状	ねじ径
挿付型 ハットセパ C型		W5/16 W3/8	突継セパ (受注生産) C型		W3/8
ハットHセパ		W5/16	アンカーセパ (受注生産)		W5/16 W3/8
スタップセパ C型		W5/16	フックセパ (受注生産)		W5/16 W3/8
スタップセパ BC型		W5/16	スタットセパ (受注生産)		W5/16 W3/8

●出典「型枠施工必携」日本型枠工事業協会



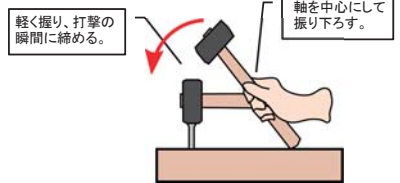
# 10.現場作業の技能の基礎

10-1

## 10-1 かなづち・ハンマーの使い方

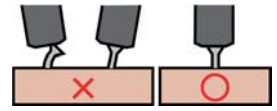
### 基本の使い方

柄の先端に近い方を軽く握る。脇を締め加減にして、ヒジを中心に手首、肩をうまく使い金槌の重みと振り落としの力を利用して打つ。



### ○釘をまっすぐに打つ

- ・釘の平面の中央を使うようにする
- ・釘の打ち始めは軽く叩き、釘が真っ直ぐに立てば強く打ちつける。
- ・大きめの釘や割れやすい木に打つときは、予め下穴を開けておくと割れ難い。



### ○金槌の使い分け

- ・大きい釘には重い金槌、小さい釘には軽い金槌を使うと打ちやすい
- ・小さい釘を打つときは、柄を短く持ち軽く叩き、大きい釘を打つときは柄を長く持ち強く叩く。
- ・板厚の2~3倍の長さの釘を一般に使用する。

●参考: コメリホームセンター

10-5

## 10-1 かなづち・ハンマーの使い方

### 種類と用途 <釘を打つ>

**両口玄能**  
平面側で釘の3/4位打ち込み、その後凸面で打ち込むと打痕が残らずきれいに打ち込める



**片口玄能**  
先端部はカンメ・釘メ等に使用できる



**箱屋槌**  
釘打ちと打ち曲げ釘の抜き取りに使用



**仮杵槌**  
釘打ち、釘抜き、作業の多い型枠大工向け。頭部が長いので、長い釘も抜き易い。木柄、パイプ柄、グラスファイバー柄がある。



●参考: トップマン

10-2

## 10-2 のこぎりの使い方

### 種類と用途

**木工用鋸**  
木材を繊維方向に沿って切断する「縦挽き」、繊維方向と直角に切断する「横挽き」と呼びます。



**引廻し鋸**  
せっこうボードの穴あけや曲線引きに使用する。



**金切り鋸**  
金属等を切るフレーム式の鋸。



**塩ビ鋸**  
エンビ管の切断等で使用する。



**竹挽き鋸**

竹挽き、ベニヤ挽き等に使用する。



●参考: トップマン

10-6

## 10-1 かなづち・ハンマーの使い方

### 種類と用途 <たたく>

**木槌**  
木部のはめ込み等で傷付けたくない箇所で使用。



**プラスチックハンマー**  
ウレタン、ナイロン製。軟質・硬質のプラスチックは用途によって使い分ける。



**ラバーハンマー**  
黒・白のゴムの2種類。白は汚れを嫌う白っぽいものの組立作業に使用。



**掛矢**  
木槌の大きいもので杭打ちや木造の組み立てなどに用いる。



**足場ハンマー**  
くさび緊結式足場の組立・解体作業で使用。



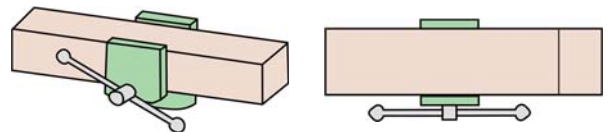
●参考: トップマン

10-3

## 10-2 のこぎりの使い方

### 基本の使い方 1/2

- ① のこぎりを使用する前に材料をバイス等でしっかりと固定する。
- ② 墨付けた線が真上から見えるように構える。
- ③ 手前に引くときに材料に食い込ませるようにし、引き追われば力を抜いて戻すようにする。引き始めは小刻みに、切込んだら寝かせて深く切溝を入れる。この切溝をガイドにして、前、水平、後ろを切るという要領で切り進める。



●参考: コメリホームセンター

10-7

## 10-1 かなづち・ハンマーの使い方

### 種類と用途 <はつり・割り>

**トンカチ槌**  
刃の部分でハツリ・割り作業に広く使われる。



**ブロック槌**  
刃の部分長く、ブロック等割り易い形状になっている。



**石頭槌**  
タガネ等でコンクリート等のハツリ作業を行う時に使用する重作業向けのハンマー。



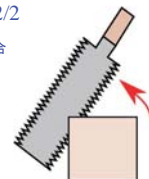
●参考: トップマン

10-4 資料編7-30

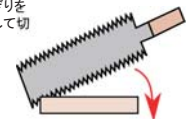
## 10-2 のこぎりの使い方

### 基本の使い方 2/2

○厚い材料を切る場合  
・厚い板はのこぎりを立てて切り進める。



○薄い材料を切る場合  
・薄い板はのこぎりを寝かせるようにして切り進める。



側面



正面

●出典: 「職業実習教科書」職業学院

10-8

### 10-2 のこぎりの使い方のこぎりの手入れ・保管

- ① 使用後、歯に着いた木くずを歯ブラシ等で取り除く
- ② 汚れやヤニ、水分を拭き取る
- ③ 完全に乾かしてから、工業油やサビ止め油などを刃の全体に薄く塗る
- ④ 新聞紙等に包んで保管する



**手入れ不足になると・・・**  
 汚れやヤニ、サビで切れ味が悪くなり、作業効率が落ちるだけでなく、たわみや刃が折れる原因になる。

### 10-4 ディスクグラインダの取扱い上の注意

#### ディスクグラインダの注意

- グラインダ(研削盤)作業での労働災害対策
- 研削といしの破裂による危害**  
 事例:切断といしの側面を使用して破壊。破片が当たり重傷。  
 ① 研削といしに貼付されているラベルや検査表に記載されている種類や性質に合った使い方をすること。  
 ② といしの形状毎に指定された使用面以外での研削は禁止すること。  
 ③ といしのカバーは外さないこと 等
- 粉じん・切削屑の飛来による危害**  
 ① グラインダを使用した金属加工では、粉じん・切削屑の飛来による危害防止対策が重要課題になる。  
 ② 研削粉じんの飛来で目を負傷するのを防ぐため、防じん眼鏡の着用を徹底すること。
- 接触・巻き込まれ・感電等による危害**  
 ① といしに適切なカバーを設置すること。  
 ② といし部分以外でも接触・巻き込まれによる危害がある部分にはカバーを取り付けること。  
 ③ ディスクグラインダについては、といしの回転が完全に停止してから台の上等に置くよう徹底すること。  
 ④ ディスクグラインダについては、研削中に材料に刺さってその反動でグラインダが跳ねるのを防止するため、といしを水平面から30度以内の角度にして特にといしが新しい時は引いて研削すること。  
 ⑤ 感電防止のため、充電部分の被覆を徹底すること。
- 粉じんを吸い込むことによる危害**  
 ① ディスクグラインダについては全体換気装置を設置・稼働させること。  
 ② 防じんマスクの着用を徹底すること。

### 10-3 丸のこの取扱い上の注意

#### 作業前

- ・丸のこは、木材の大きさや、切断する方向にあったものを選ぶ。(縦びき刃、横びき刃、縦横兼用刃、特殊刃)
- ・丸のこの締付けは、専用スパナで行い、作業開始前に締付け状態を確認する。
- ・作業開始前に移動覆い(安全カバー)の動きを確認する。
- ・スイッチを切った時に回転がすばやく止まるブレーキ付丸のこを使用するようにする。



**丸のこの良い使い方**  
 丸のこの前後には絶対に手や足を出さない！  
 車手等の巻き込まれやすいものは着用しない！

### 10-5 ラチェットレンチの使い方

#### シノ付きラチェットレンチの種類

- 片口ラチェットレンチと両口ラチェットレンチ
- 片口ラチェットレンチ  
片側へ1サイズのソケットが出ている。
- 両口ラチェットレンチ  
両側に各々違う2サイズのソケットが出ている。
- ロングソケットラチェットレンチ  
ソケットが標準タイプより長く、深い所にも使いやすくしてあります。
- 薄型ラチェットレンチ  
ロングソケットの逆で、狭い場所でも便利のようにソケット部を薄くしてあります。
- ショートタイプラチェットレンチ  
柄柄を短くし、狭い工事現場や高所作業に便利です。
- アルミ製ラチェットレンチ  
本体がアルミニウムで作られた軽量タイプです。
- その他、用途に応じたいろいろなラチェットレンチも作られています。



### 10-3 丸のこの取扱い上の注意

#### 作業中

- ・持ち運ぶ時は回転を止め、スイッチに指をかけたままでは持ち運ばない。
- ・移動覆い(安全カバー)を固定したり、外しての作業は絶対にしない。
- ・切断する材料は安定のよい台におき、材料及び丸のこをしっかり保持する。
- ・部材を手にもって浮かした状態での切断はしない。
- ・回転部には絶対に手を出さない。
- ・丸のこを回転させたまま本体を戻すと、強い反発力が作用するので、スイッチを切り回転を止めてから本体を持ち上げる。
- ・コードを誤って切断しないよう、コードの方向に注意する。
- ・高い所、又は不安定な所に丸のこをおかない。また、不安定な足場上で作業をしない。
- ・丸のこを裏返しにした状態で使用しない。



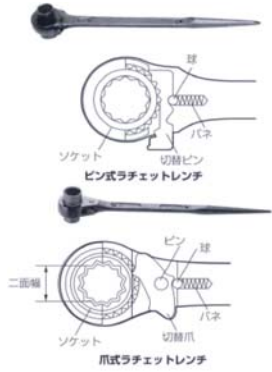
○ 使用されていないときの携帯用丸のこの移動覆いの適正な位置である。(安衛則127条、丸のこの型等構造規格30条、安衛則123条)

× 携帯用丸のこの移動覆いが元の位置に自動的に戻らないものを使用した。(安衛則127条、丸のこの型等構造規格30条、安衛則123条)

### 10-5 ラチェットレンチの使い方

#### シノ付きラチェットレンチの用途と特徴

- ① シノ付きラチェットレンチは、ソケット部を正逆回転を切替でき、柄部先端がシノになっている。
- ② ボルトナット組付けや取り外しに使われる。シノ部分は鉄骨、橋梁工事などでボルト穴を合わせたり、足場組みや番線締め等に使われる。
- ③ ツメを合わせた回転方向と逆方向へは空転するので、ハンドルを回転させたり、何度も差替えずにグルグル回して締付け作業ができる。



### 10-4 ディスクグラインダの取扱い上の注意

#### ディスクグラインダの取扱い



- ① といしの全面を材料に当てないで、図のように機体を15°～30°傾けて、といしの外周部で研削する。
- ② 研削といしが新しいうちは深く切り込み恐れがあるので機体を手前に引くようにして使用すること。
- ③ 研削といしが広い面積で当たるとなれば前後に押し引きして研削すること。

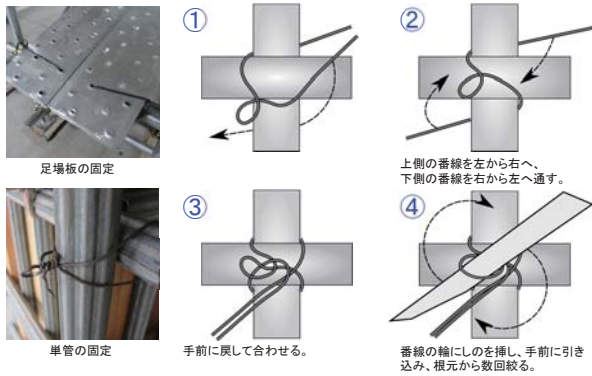
### 10-5 ラチェットレンチの使い方

#### 使用上の注意



### 10-5 ラチェットレンチの使い方

#### シノを使った番線の締め方

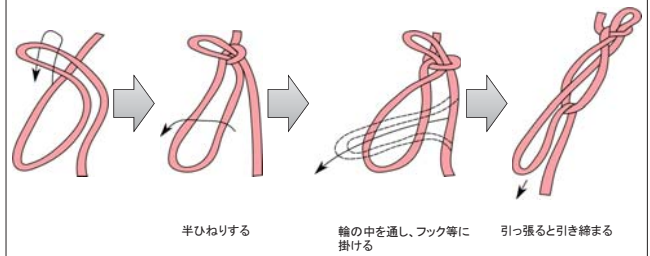


10-17

### 10-7 ロープワーク

#### 南京結び

トラックの荷台に引き締めながら固定する方法で、振動でも緩まない結び方。搬入・搬出等で、一般的によく用いられている。



10-21

### 10-6 インパクトレンチの使い方

内蔵されたハンマーが出力軸に打撃(インパクト)を与えて大きなトルクをかけることができる機械工具。

#### インパクトレンチの使い方

- ① インパクトレンチをしっかりと持ち、ソケットをボルトまたはナットに差し込む。
- ② 押さえつけたり、無理な力をかけず、ボルトまたはナットに対してまっすぐに持ち、スイッチトリガーを引き、締め付ける。

※ボルトを過大なトルクで締め付けると、ボルトが伸びたり破損する危険があるので、事前に試しに締め付けて、適当な締め付け時間を把握する。

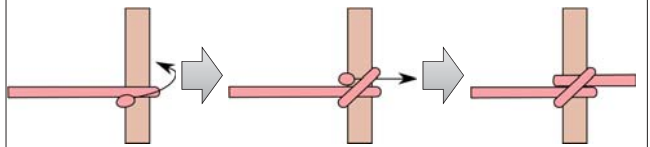


10-18

### 10-7 ロープワーク

#### 巻き結び(徳利結び)

柱や木などにロープを縛り付ける結び方。結びやすく、一度縛ると緩み難い。



10-22

### 10-7 ロープワーク

ロープの結び方には、使用場所、使用方法、目的に応じて様々な方法がある。ロープワークは「結びやすく解けにくい」、「解きたいときには解きやすい」が基本。

#### <目的に応じた結び方の種類>

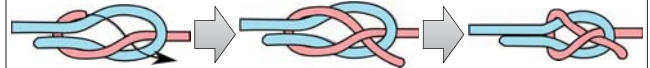
- 端を止める
- 他の物体に巻きつける
- 輪を作る
- 2本のロープをつなぐ
- ロープを収納・保管する

10-19

### 10-7 ロープワーク

#### はた結び

機糸が切れた時に、すばやく結ぶ為に工夫された便利な結び方。異種のロープでも容易に結べる。湿ったロープ、太さの違うロープをつなぐ時は、もう1度回して二重にすると確実に安全である。

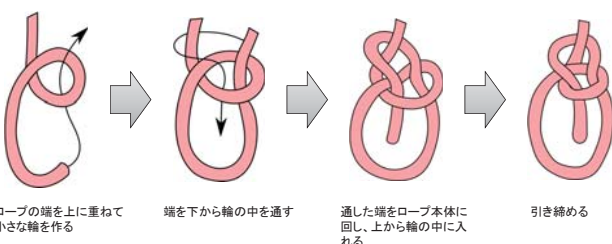


10-23

### 10-7 ロープワーク

#### もやい結び

ロープの大小に関係なく、結び方が簡単で解きやすく、しかも安全確実な結び方。「結びの王様」King of Knots と言われている、代表的な結び。



■ 躯体系職種体験実習カリキュラム[試案]

- ・ 仮設・鉄筋・型枠工事について、実習を中心とした1日8時間、計6日間のカリキュラムについて検討を行った。
- ・ 躯体系職種に共通して求められる現場での安全、墨等に関する内容を「建設現場の基本」として盛り込み、「足場の組立て等の業務に係る特別教育」と合わせてカリキュラム冒頭に配置する。また、修了時の資格として、足場の組立て等の業務に係る特別教育に加え、雇入れ時安全衛生教育相当のカリキュラムを含むものとする。
- ・ 実習を先行し、実習を通じて道具の使い方、資材・機材の名称や特徴について学ぶ。
- ・ 工業高校、大学等において単位認定が可能となるカリキュラムとして検討を行った。(48時間=2,880分)  
 [工業高校：学校外における学修の単位認定(就業体験)として各校長の判断で単位認定(50分×35週=1750分=1単位)]  
 [大学：大学設置基準より一単位45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とする。(実習等は30~45時間の範囲で大学が定める時間)]
- ・ 対象としてプレ入職を想定しているが、レベル1初期(新規入職者)向けとしての利用も視野に入れた内容として検討を行った。
- ・ 本カリキュラムについて、年度内に概ねの成案を得たうえで、来年度、富士教育訓練センター等において、試行的に実施する。
- ・ 今後、内装工事、リニューアル工事等を含め、半分程度(24h~30h)の体験講座についても検討を行う。

**躯体系職種体験 [試案]** **プレ入職** 建設業体験 概要 建築工事の概要、安全に関する基礎知識、工具類の取扱い、工事の流れ等を体験を通じて理解を深める

開催頻度: 1回/年 日数: 6日間 受講者人数: 15人(5人1組×3での実習) 対象: プレ入職

科目	教科概要	時間	学 科				講 師 番 号
			実習	形式	教材	教 材 名称(書籍名等、採用ページ) ※オリジナルの場合は講義内容を記載	
1 建設現場の基本	①建設業と現場の安全確保 ②安全・KY活動 ③墨出し ④水盛り・遣り方 ⑤基準墨	10h	4h 6h	オリジナル オリジナル	a b	建設現場で働くための基礎知識(仮称) 水盛り・遣り方実習用プリント	
2 仮設工事	①レベルの出し方 ②足場組み立て作業と安全確保 ③単管足場組立 ④枠組足場組立 ⑤ロープワーク	8h	2h 6h	オリジナル	c	仮設工事実習用プリント(足場図面等)	
3 鉄筋工事	①鉄筋工事概要 ②鉄筋加工 ③柱筋の組立 ④壁筋の組立	8h	2h 6h	オリジナル	d	鉄筋工事実習用プリント(配筋図・鉄筋の種類・資材・ピッチ等)	
4 型枠工事	①型枠工事概要 ②型枠製作 ③柱型枠建て込み ④壁型枠建て込み	8h	8h	オリジナル	e	型枠工事実習用プリント(型枠図面・資材・工事の進め方等)	
5 躯体系共通	①仮設・鉄筋・型枠工事	7h	4.5h 2.5h	オリジナル	a	建設現場で働くための基礎知識(仮称)	
6 労働安全衛生法	①足場の組立て等の業務に係る特別教育	6h	6h	書籍	f	足場の組立て等作業従事者必携(特別教育用)	
7 修了式	①訓練まとめ	1h	1h				
合 計		48h	15.5h 32.5h				

修了資格	技能講習 特別教育 安全教育	○足場の組立て等の業務に係る特別教育
------	----------------------	--------------------

教材リスト	名称(書籍名等、採用ページ) ※オリジナルの場合は講義内容を記載		出版	価格(税込)	備考
	教材	形式			
a	建設現場で働くための基礎知識(仮称)	PPT			
b	水盛り・遣り方実習用プリント	オリジナル			
c	仮設工事実習用プリント(足場図面等)	オリジナル			
d	鉄筋工事実習用プリント(配筋図・鉄筋の種類・資材・ピッチ等)	オリジナル			
e	型枠工事実習用プリント(型枠図面・資材・工事の進め方等)	オリジナル			
f	足場の組立て等作業従事者必携(特別教育用)	書籍	建設業労働災害防止協会	800円	

■ 躯体系職種体験 [試案]

**プレ入職**

建設業体験

概要 建築工事の概要、安全に関する基礎知識、工具類の取扱い、工事の流れ等を体験を通じて理解を深める

開催頻度: 1回/年 日数: 6日間 受講者人数: 15人(5人1組×3での実習) 対象: プレ入職

講師リスト	講師番号	職員/講師	年齢	所属・職種・前職等	資格・免許等(技能講習、特別教育等は省略)

科目	教科概要	授業形式	使用材料・機材等	数量
1 建設現場の基本	①建設業と現場の安全確保 ②安全・KY活動 ③墨出し ④水盛り・遣り方 ⑤基準墨	座学 座学 実習 実習 実習 実習	PC プロジェクター 合板 水杭・水貫・大矩用木材 水盛り管 レベル	1台 1台 15枚 3組 3コ 3台
2 仮設工事	①レベルの出し方 ②足場組み立て作業と安全確保 ③単管足場組立 ④枠組足場組立 ⑤ロープワーク	実習 実習 実習 実習 実習	三脚 バカボ 単管足場 枠組足場 鉄筋	3台 3台 3本 1式 1式 1式
3 鉄筋工事	①鉄筋工事概要 ②鉄筋加工 ③柱筋の組立 ④壁筋の組立	実習 実習 実習 実習 実習	アンカー加工済み鉄筋 スベーカー 柱筋組立実習ユニット 壁配筋組立実習ユニット コンパネ(加工実習用)	1式 1式 1式 1式 15組
4 型枠工事	①型枠工事概要 ②型枠製作 ③柱型枠建て込み ④壁型枠建て込み	実習 実習 実習 実習 実習 実習 実習 実習 実習 実習	加工済みコンパネ 機木 レベル Pコン セパレーター フォームタイ 溝管 ターナーバックル チェーン PC	3組 3組 3台 適宜 適宜 適宜 適宜 適宜 適宜 適宜
5 躯体系共通	①仮設・鉄筋・型枠工事	座学 座学 座学	PC プロジェクター	1台 1台 1台
6 労働安全衛生法	①足場の組立て等の業務に係る特別教育	座学 座学 座学	PC プロジェクター 単管パイプ・枠組足場	1台 1台 1式
7 修了式	①訓練まとめ			

使用図面等	図面名等	数量	備考
1	足場組図面	1	躯体系実習ユニット用図面
2	鉄筋加工図・組立図	1	躯体系実習ユニット用図面
3	型枠加工図・組立図	1	躯体系実習ユニット用図面
4			
5			

カリキュラムシート		躯体系職種体験(試案)			
実施日	1日目				
時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	実習用具・使用機材等
午前	学科	【建設現場の基本】 ・1.建設現場の基礎知識 ・2.建設現場の安全衛生全般 【建設現場で働くための基礎知識(仮称)】	2h		PC、プロジェクター
午前・午後	学科	【足場の組立て等の業務に係る特別教育】 ・足場及び作業の方法に関する知識	3h		枠組足場、単管パイプ
午前	学科	【足場の組立て等の業務に係る特別教育】 ・工事用設備、機械、器具、作業環境等に関する知識	0.5h		
午後	学科	【足場の組立て等の業務に係る特別教育】 ・労働災害の防止に関する知識	1.5h		
午後	学科	【足場の組立て等の業務に係る特別教育】 ・関係法令	1h		

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済	延べ時間	実習用具・使用機材等
	1	2			
	1	建設現場の基本【学科】	2h	4h	PC 1台
		建設現場の基本【実習】		6h	プロジェクター 1台
	2	仮設工事【学科】	2h	2h	枠組足場 1式
		仮設工事【実習】	6h	6h	単管パイプ 1式
	3	鉄筋工事【学科】	2h	2h	
		鉄筋工事【実習】	6h	6h	
	4	型枠工事【実習】		8h	
5	躯体系共通【学科】		4.5h		
	躯体系共通【実習】		2.5h		
6	足場の組立て等の業務に係る特別教育【学科】		6h	6h	
7	修了式【学科】			1h	

カリキュラムシート		躯体系職種体験(試案)			
実施日	2日目				
時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	実習用具・使用機材等
午前	学科	【建設現場の基本】 ・3.作業現場に入場する際の注意点 ・7.現場作業の技能の基礎 【建設現場で働くための基礎知識(仮称)】	2h		PC、プロジェクター
午前	実習	【建設現場の基本】(墨出し・のこぎり・釘打ち) ・水盛り、矩尺の使い方 ・合板に引いた線を鋸で切る ・合板に打った墨の交点に釘を打つ	2h		墨つぼ、矩尺、合板、ハタ角等、手鋸(又は丸のこ)、げんのう
午後	実習	【建設現場の基本】(水盛り・遣り方) ・水盛り、遣り方 ・大矩 ・水糸	2h		水杭、水貫、大矩、水糸、水盛り管(又はホース・バケツ)
午後	実習	【建設現場の基本】(基準墨) ・墨つぼ、矩尺 ・実習場の床に基準墨、小墨を出す	2h		墨つぼ、矩尺

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済	延べ時間	実習用具・使用機材等
	1	2			
	1	建設現場の基本【学科】	4h	4h	PC 1台
		建設現場の基本【実習】	6h	6h	プロジェクター 1台
	2	仮設工事【学科】	2h	2h	枠組足場 1式
		仮設工事【実習】	6h	6h	単管パイプ 1式
	3	鉄筋工事【学科】	2h	2h	合板 15枚
		鉄筋工事【実習】	6h	6h	ハタ角等 適宜
	4	型枠工事【実習】		8h	水杭・水貫・大矩用木材 3組
5	躯体系共通【学科】		4.5h	水盛り管 3組	
	躯体系共通【実習】		2.5h	墨つぼ 各自	
6	足場の組立て等の業務に係る特別教育【学科】		6h	6h	矩尺 各自
7	修了式【学科】			1h	鋸 各自
					げんのう 各自

カリキュラムシート		躯体系職種体験(試案)			
実施日	3日目				
時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	実習用具・使用機材等
午前	学科	【仮設工事】 ・足場の種類と役割 ・足場組立作業について ・足場の資材	2h		
午前	実習	【仮設工事】 ・基本作業(レベル・安全確保) ・足場組立作業と安全確保	1h		レベル、三脚、水平器、バカボ、ハーネス
午前・午後	実習	【仮設工事】(枠組足場) ・枠組足場組	4h		足場組図面、ベースジャッキ、建枠、プレース、板付布枠、アームロック、手すり、シノ付キラチャェット
午後	実習	【仮設工事】(単管足場) ・単管足場と資材 ・番線の張り方 ・クランプの締め方	1h		足場組図面、ベース、ベース板、根がらみ、控え、手すり、筋かい等、シノ付キラチャェット、
課外		【仮設工事】 ・ロープワーク(南京結び・徳利結び)			ロープ

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済	延べ時間	実習用具・使用機材等
	1	2			
	1	建設現場の基本【学科】	4h	4h	レベル 3台
		建設現場の基本【実習】	6h	6h	三脚 3台
	2	仮設工事【学科】	2h	2h	水平器 各自
		仮設工事【実習】	6h	6h	バカボ 各自
	3	鉄筋工事【学科】	2h	2h	ハーネス 各自
		鉄筋工事【実習】	6h	6h	ロープ 各自
	4	型枠工事【実習】		8h	単管足場一式 一式
5	躯体系共通【学科】		4.5h	枠組足場一式 一式	
	躯体系共通【実習】		2.5h	シノ付キラチャェット 各自	
6	足場の組立て等の業務に係る特別教育【学科】		6h	6h	
7	修了式【学科】			1h	

カリキュラムシート		躯体系職種体験(試案)			
実施日	4日目				
時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用機材等
午前	学科	【鉄筋工事】 ・鉄筋工事とは ・工事の流れと規格・資材	2h		鉄筋工事資材
午前	実習	【鉄筋工事】 ・図面(種別・主筋・あばら筋・帯筋他) ・定着、継ぎ手 ・運び方	1h		鉄筋、アンカー加工済鉄筋等
午前	実習	【鉄筋工事】 ・結束 ・ピッチ ・かぶり	1h		ハッカー、スパーサー、スケール
午後	実習	【鉄筋工事】 ・柱筋の組立(定着、継ぎ手位置等)	2h		主筋、帯筋 600φ
午後	実習	【鉄筋工事】 ・壁配筋の組立	2h		シングル・ダブル配筋

科目別 訓練時間	訓練科目		実施済	延べ時間	実習用具・使用機材等
	1	2			
	1	建設現場の基本【学科】	4h	4h	鉄筋 適宜
		建設現場の基本【実習】	6h	6h	アンカー加工済鉄筋 適宜
	2	仮設工事【学科】	2h	2h	ハッカー 各自
		仮設工事【実習】	6h	6h	スパーサー 適宜
	3	鉄筋工事【学科】	2h	2h	スケール 各自
		鉄筋工事【実習】	6h	6h	曲げ加工機 1台
	4	型枠工事【実習】		8h	切断加工機 1台
5	躯体系共通【学科】		4.5h	曲げハッカー 各自	
	躯体系共通【実習】		2.5h	ライバー(カットベンダー) 各自	
6	足場の組立て等の業務に係る特別教育【学科】		6h	6h	柱筋組立実習ユニット 3組
7	修了式【学科】			1h	壁配筋組立実習ユニット 3組

カリキュラムシート 躯体系職種体験(試案)

実施日		5日目				
時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用機材等	
午前	実習	【型枠工事】 ・型枠をつくる材料 ・手鋸、釘打ちの方法 ・パネル製作	2h		加工図、鋸、コンパネ(加工実習用、加工済み)、棧木、仮枠ハンマー、シノ付きラチェット、インパクトドライバー、パカボー、手鋸、げんのう	
午前	実習	【型枠工事】 ・柱建て込み ※2日目に打った墨を基準	2h		コンパネ(加工実習用、加工済み)、レベル、Pコン、セパレーター、フォームタイ、単管、下げ振り	
午後	実習	【型枠工事】 ・もと壁建て込み	2h		コンパネ(加工実習用、加工済み)、レベル、Pコン、セパレーター、フォームタイ、単管、下げ振り	
午後	実習	【型枠工事】 ・返し壁建て込み ・押し引き ・角締め	2h		コンパネ(加工実習用、加工済み)、セパレーターフック、フォームタイ、ターンバックル、チェーン、単管、下げ振り	

科目別 訓練時間	訓練科目	実施済		延べ時間		実習用具・使用機材等	
		実施済	延べ時間	実施済	延べ時間	実施済	延べ時間
1	建設現場の基本【学科】		4h		4h	コンパネ(加工実習用)	15組
	建設現場の基本【実習】		6h		6h	加工済みコンパネ	3組
	仮設工事【学科】		2h		2h	棧木	3組
	仮設工事【実習】		6h		6h	鋸	各自
	鉄筋工事【学科】		2h		2h	仮枠ハンマー	各自
	鉄筋工事【実習】		6h		6h	シノ付きラチェット	各自
						インパクトドライバー	各自
	型枠工事【実習】		8h		8h	レベル	3組
	躯体系共通【学科】			4.5h		Pコン	適宜
	躯体系共通【実習】			2.5h		セパレーター	適宜
6	足場の組立て等の業務に係る特別教育【学科】		6h		6h	フォームタイ	適宜
						単管	適宜
7	修了式【学科】				1h	下げ振り	各自
						セパレーターフック	各自
						ターンバックル	適宜
						チェーン	適宜

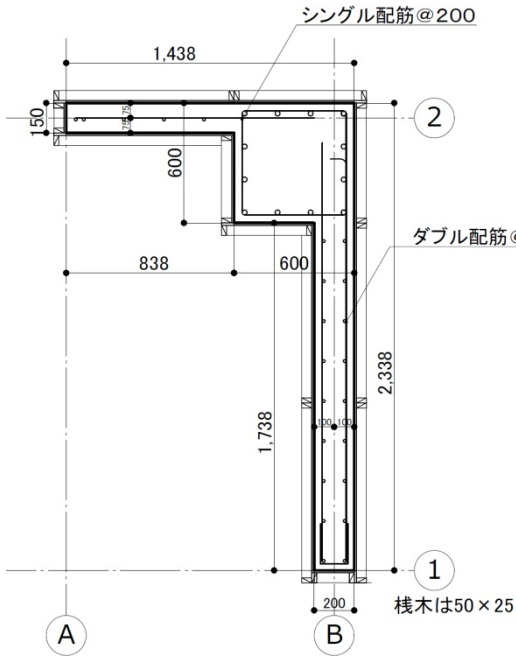
カリキュラムシート 躯体系職種体験(試案)

実施日		6日目				
時間割	授業形式	講義・実習科目	時間	講師	使用機材等	
午前	学科	【躯体系共通】 ・スラブの配筋、型枠、支保工について ・コンクリート打設手順	1.5h		PC、プロジェクター	
午前	実習	【躯体系共通】 ・実習教材解体 ・片付け、清掃	2.5h			
午後	学科	【躯体系共通】仮設・鉄筋・型枠工事総復習 ・4.建設現場作業に関する共通事項 ・5.仮設(足場・仮囲い)の共通事項 ・6.工具と材料の共通事項 【建設現場で働くための基礎知識(仮称)】	3h		PC、プロジェクター	
午後	学科	【修了式】 ・レポート作成	1h			

科目別 訓練時間	訓練科目	実施済		延べ時間		PC	
		実施済	延べ時間	実施済	延べ時間	PC	台
1	建設現場の基本【学科】		4h		4h		
	建設現場の基本【実習】		6h		6h	プロジェクター	1台
	仮設工事【学科】		2h		2h		
	仮設工事【実習】		6h		6h		
	鉄筋工事【学科】		2h		2h		
	鉄筋工事【実習】		6h		6h		
	型枠工事【実習】		8h		8h		
	躯体系共通【学科】		4.5h		4.5h		
	躯体系共通【実習】		2.5h		2.5h		
6	足場の組立て等の業務に係る特別教育【学科】		6h		6h		
7	修了式【学科】		1h		1h		

## 躯体系職種体験実習用モデル（案1 修正版）

- ・躯体系職種体験実習カリキュラム（試案）の中で使用する実習用モデルを想定し、検討・修正を行った。
- ・実習用モデルを用い、3日目：仮設工事（8時間）、4日目：鉄筋工事（8時間）、5日目：型枠工事（8時間）での実習を想定する。また、解体は6日目（2.5時間）に実施する。
- ・RC造の柱、壁のL字型の構成とする。
- ・L字型の各面で、鉄筋はシングル・ダブル配筋、仮設は単管・枠組み足場で分けても良い。
- ・型枠パネルはなるべく定尺サイズとする。パネルの一部は実習の中で加工しても良い。







平成 27 年度 建設産業担い手確保・育成コンソーシアム  
プログラム・教材等ワーキンググループ報告書  
資料編

発行日 平成 28 年 3 月

発行 一般財団法人 建設業振興基金

〒105-0001

東京都港区虎ノ門4丁目2番12号 虎ノ門4丁目MTビル2号館

ホームページ <http://www.kensetsu-kikin.or.jp/>